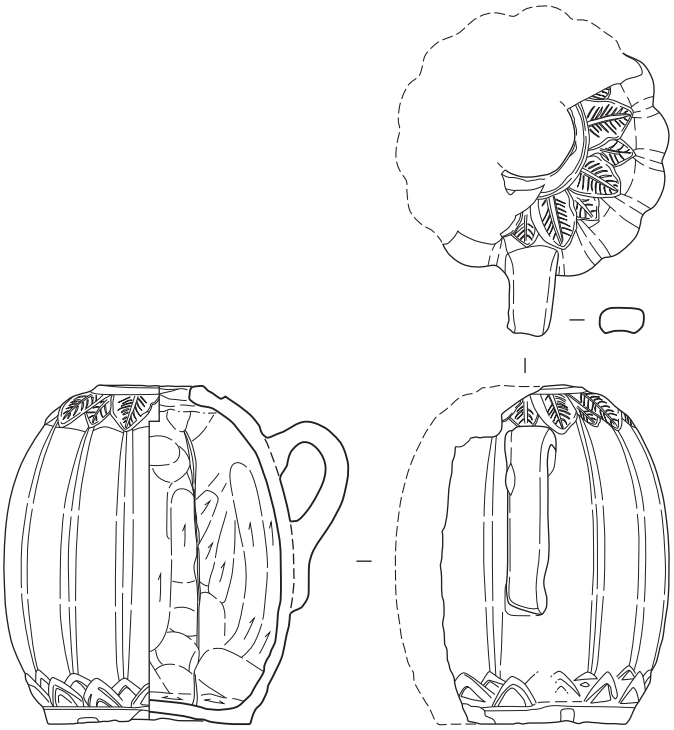
東　村　跡

― 沖縄県立離島児童生徒支援センター建設に伴う緊急発掘調査報告書―



3 地点　SK92 出土の中国産緑釉陶器（瓜形水注）

平成29(2017)年3月

沖縄県立埋蔵文化財センター

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第 92 集

東　村　跡

－沖縄県立離島児童生徒支援センター建設に伴う緊急発掘調査報告書－

平成 29 年（2017）年 3 月

沖縄県立埋蔵文化財センター

序

本報告書は、沖縄県立離島児童生徒支援センターの建設に伴い、平成 26（2014）年 7 月～ 12 月まで沖縄県立埋蔵文化財センターが実施した「東村跡」の発掘調査成果をまとめたものです。

東村跡は現在の那覇市東町に所在し、琉球王国の当時、海外交易の玄関口であった那覇港と近接する位置にありました。この周辺には、冊封使の宿舎として利用された天使館 (てんしかん)、航海安全の神（媽祖）を祭った下天妃宮 (しもてんぴぐう)、港に設置された行政機関である親見世 (おやみせ) などの施設がありました。

戦前には、那覇市役所や東町交番等の公的機関のほか、問屋や商店、銀行等も建設され、古くから那覇の中心地として多くの人でにぎわいをみせる場所でした。

発掘調査の結果、グスク期から近代期に至る様々な遺構や遺物が確認されました。中でも、15 世紀前～中頃を主体とする陶磁器がまとまって出土した遺構は、壊れた輸入製品を一括で廃棄した土坑と考えられ、当時の東村が交易品の集積地として機能したことを示すものと考えられ重要です。その他、サラサバテイがまとまって出土した貝集積遺構や、切断された牛の角からは、何らかの工芸や産業に関わる作業場であった可能性を示しています。

人工遺物では、数多くの陶磁器類が出土しています。その産地は中国を中心に、タイ、ベトナム、朝鮮半島など東アジア各地の製品のほか、肥前をはじめとする本土産もみられ、琉球王国が各国との中継貿易で繁栄したかつての姿が浮かび上がるようです。

本報告書が学術研究をはじめ、地域の文化・歴史学習などの基礎資料として広く活用されることを期待するとともに、多くの方々が文化財の保護・活用についてさらに関心を持っていただく契機になれば幸いです。

末尾になりましたが、現地調査及び資料整理作業にあたり、ご指導・ご助言を賜りました諸先生方、ならびに事業の実施にあたり、ご協力を賜りました那覇市教育委員会をはじめとした関係機関ならびに関係各位に深く感謝申し上げます。

平成 29（2017）年 3 月

沖縄県立埋蔵文化財センター
所　長　　金城　亀信

巻頭図版 1　遺跡一帯の航空写真 (2005 年撮影)

巻頭図版２　３地点 第２検出面 遺構完掘状況 (東から)

巻頭図版３　上：１地点 第３検出面 遺構検出状況 (南から)
　　下：２地点 第２検出面 遺構検出状況 (南から)

巻頭図版４　上：３地点 円形石組遺構検出状況 (北から)
下：３地点 円形石組遺構（SK136) と方形石組遺構（SK88）　切合い状況（北から）

巻頭図版 5　上：２地点 廃棄土坑 (SX13) 検出状況 (東から)
　　下：２地点 廃棄土坑 (SX13) 出土遺物

巻頭図版 6　上：1 地点 サラサバテイ集積遺構 (SU2) 検出状況 (東から)
下：SU2 出土のサラサバテイ

例　言

1　本報告書は、沖縄県那覇市東町に所在する東村跡における沖縄県立離島児童生徒支援センターの建設に伴う記録保存を目的とした緊急発掘調査の成果をまとめたものである。

2　本調査及び資料整理業務は、教育庁教育支援課から令達を受け、沖縄県立埋蔵文化財センターが平成26（2014）年度に現地調査、平成26（2014）～平成28（2016）年度に資料整理を実施した。

3　地図データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたもの、航空写真は、国土地理院が撮影したもの（整理番号ＣＯＫ 20041 Ｘ、コース番号Ｃ８、2005（平成17）年撮影）を使用している。

4　本報告で使用している座標は、世界測地系の第XV系である。

5　土色は、農林水産省農林水産技術会議事務局　監修「新版標準土色帖」2013年度版を使用した。

6　本書の編集は、具志堅清大をはじめ当センター職員の協力を得て、金城貴子が行った。執筆は下記以外を金城が行ったが、第１章第１節は島袋 洋氏の協力を得た。

具志堅清大　第１章第３節、第３章第１節、同第３節
玉城　綾　第３章第４節第２～９項
南　勇輔　第３章第４節第３・５・９項
パリノ・サーヴェイ　第４章

7　本書に掲載された写真撮影は、現地調査記録写真を具志堅清大、金城貴子が行い、遺物写真を領家範夫、宮城淳一が行った。

8　現地調査で得られた遺物、実測図及び写真等の記録は、全て沖縄県立埋蔵文化財センターにて保管している。

目　次

序
例　言

第１章　調査に至る経緯
　第１節　調査に至る経緯…… 1
　第２節　調査体制…… 1
　第３節　調査経過…… 3

第２章　遺跡の位置と環境
　第１節　遺跡の立地と地理的環境 …… 6
　第２節　歴史的環境 …… 6

第３章　調査の方法と経過
　第１節　調査の方法…… 11
　第２節　基本層序…… 13
　第３節　遺構…… 19
　第４節　遺物…… 60
　　第１項　遺物の概要・分類…… 60
　　第２項　Ⅱ層出土遺物…… 79
　　第３項　第１検出面出土遺物…… 82
　　第４項　Ⅲ層出土遺物…… 105
　　第５項　第２検出面出土遺物…… 139
　　第６項　Ⅳ層出土遺物…… 170
　　第７項　Ⅴ層出土遺物…… 179
　　第８項　第３検出面出土遺物…… 188
　　第９項　撹乱層出土遺物…… 190
　第５節　自然遺物…… 245
　　第１項　脊椎動物遺体…… 245
　　第２項　貝類遺体…… 250

第４章　東村跡の自然科学分析…… 287

第５章　基礎資料…… 297

第６章　総括…… 301

引用・参考文献…… 306
報告書抄録

挿図目次

第 1 図　沖縄本島の位置 …… 8
第 2 図　東村跡と周辺遺跡 …… 9
第 3 図　発掘調査箇所と周辺遺跡 …… 10
第 4 図　グリッド設定図 …… 12
第 5 図　土層断面図 (1 地点 北壁・2 地点 北壁) …… 14
第 6 図　土層断面図 (3 地点 南壁) …… 15
第 7 図　第 1 検出面の遺構 1 …… 20
第 8 図　第 1 検出面 全体遺構図（1 ～ 3 地点）…… 21
第 9 図　第 1 検出面の遺構 2 …… 23
第 10 図　第 1 検出面の遺構 3 …… 24
第 11 図　第 1 検出面の遺構 4 …… 25
第 12 図　第 1 検出面の遺構 5 …… 26
第 13 図　第 1 検出面の遺構 6 …… 27
第 14 図　第 1 検出面の遺構 7 …… 28
第 15 図　第 1 検出面の遺構 8 …… 29
第 16 図　第 2 検出面 遺構全体図（1 ～ 3 地点）…… 35
第 17 図　第 2 検出面の遺構 1 …… 37
第 18 図　第 2 検出面の遺構 2 …… 38
第 19 図　第 2 検出面の遺構 3 …… 39
第 20 図　第 2 検出面の遺構 4 …… 40
第 21 図　第 2 検出面の遺構 5 …… 41
第 22 図　第 2 検出面の遺構 6 …… 43
第 23 図　第 2 検出面の遺構 7 …… 44
第 24 図　第 2 検出面の遺構 8 …… 45
第 25 図　第 2 検出面の遺構 9 …… 46
第 26 図　第 2 検出面の遺構 10 …… 47
第 27 図　第 3 検出面の遺構 …… 58
第 28 図　Ⅱ層 出土遺物 …… 80
第 29 図　第 1 検出面 出土遺物 1 …… 89
第 30 図　第 1 検出面 出土遺物 2 …… 90
第 31 図　第 1 検出面 出土遺物 3 …… 91
第 32 図　第 1 検出面 出土遺物 4 …… 92
第 33 図　Ⅲ層 出土遺物 1 …… 113
第 34 図　Ⅲ層 出土遺物 2 …… 114
第 35 図　Ⅲ層 出土遺物 3 …… 115
第 36 図　Ⅲ層 出土遺物 4 …… 116
第 37 図　Ⅲ層 出土遺物 5 …… 117
第 38 図　Ⅲ層 出土遺物 6 …… 118
第 39 図　Ⅲ層 出土遺物 7 …… 119
第 40 図　Ⅲ層 出土遺物 8 …… 120
第 41 図　Ⅲ層 出土遺物 9 …… 121
第 42 図　Ⅲ層 出土遺物 10 …… 122
第 43 図　Ⅲ層 出土遺物 11 …… 123
第 44 図　Ⅲ層 出土遺物 12 …… 124
第 45 図　Ⅲ層 出土遺物 13 …… 125
第 46 図　第 2 検出面 出土遺物 1 …… 150
第 47 図　第 2 検出面 出土遺物 2 …… 151
第 48 図　第 2 検出面 出土遺物 3 …… 152
第 49 図　第 2 検出面 出土遺物 4 …… 153
第 50 図　第 2 検出面 出土遺物 5 …… 154
第 51 図　第 2 検出面 出土遺物 6 …… 155
第 52 図　第 2 検出面 出土遺物 7 …… 156
第 53 図　第 2 検出面 出土遺物 8 …… 157
第 54 図　第 2 検出面 出土遺物 9 …… 158
第 55 図　Ⅳ層 出土遺物 1 …… 173
第 56 図　Ⅳ層 出土遺物 2 …… 174
第 57 図　Ⅳ層 出土遺物 3 …… 175
第 58 図　Ⅴ層 出土遺物 1 …… 182
第 59 図　Ⅴ層 出土遺物 2 …… 183
第 60 図　Ⅴ層 出土遺物 3 …… 184
第 61 図　第 3 検出面 出土遺物 …… 189
第 62 図　撹乱層 出土遺物 1 …… 203
第 63 図　撹乱層 出土遺物 2 …… 204
第 64 図　撹乱層 出土遺物 3 …… 205
第 65 図　撹乱層 出土遺物 4 …… 206
第 66 図　撹乱層 出土遺物 5 …… 207
第 67 図　撹乱層 出土遺物 6 …… 208
第 68 図　撹乱層 出土遺物 7 …… 209
第 69 図　撹乱層 出土遺物 8 …… 210
第 70 図　撹乱層 出土遺物 9 …… 211
第 71 図　撹乱層 出土遺物 10 …… 212
第 72 図　撹乱層 出土遺物 11 …… 213
第 73 図　撹乱層 出土遺物 12 …… 214
第 74 図　撹乱層 出土遺物 13 …… 215
第 75 図　撹乱層 出土遺物 14 …… 216
第 76 図　撹乱層 出土遺物 15 …… 217
第 77 図　撹乱層 出土遺物 16 …… 218
第 78 図　撹乱層 出土遺物 17 …… 219
第 79 図　撹乱層 出土遺物 18 …… 220
第 80 図　撹乱層 出土遺物 19 …… 221
第 81 図　撹乱層 出土遺物 20 …… 222
第 82 図　撹乱層 出土遺物 21 …… 223
第 83 図　牛角芯 (SK1 出土) …… 246
第 84 図　植物珪酸体含量 …… 292

図版目次

巻頭図版１　遺跡一帯の航空写真（2005 年撮影）
巻頭図版２　３地点 第２検出面 遺構完掘状況
巻頭図版３　上：１地点 第３検出面 遺構検出状況
　　下：２地点 第２検出面 遺構検出状況
巻頭図版４　上：３地点 円形石組遺構検出状況
　　下：３地点 円形石組遺構（SK136）と
　　方形石組遺構（SK88）切合い状況
巻頭図版５　上：２地点 廃棄土坑（SX13）検出状況
　　下：２地点 廃棄土坑（SX13）出土遺物
巻頭図版６　上：１地点 サラサバテイ集積遺構（SU2）検出状況
　　下：SU2 出土のサラサバテイ

図版 1　発掘調査経過 …… 5
図版 2　１地点 北壁 …… 16
図版 3　２地点 北壁・東壁 …… 17
図版 4　３地点 南壁 …… 18
図版 5　第１検出面の遺構検出状況１地点（南から） … 19
図版 6　第１検出面の遺構 完掘状況 …… 30
図版 7　第１検出面の遺構１ …… 31
図版 8　第１検出面の遺構２ …… 32
図版 9　第１検出面の遺構３ …… 33
図版 10　第１検出面の遺構４ …… 34
図版 11　第２検出面 検出状況（１～３地点） …… 48
図版 12　第２検出面の遺構１ …… 49
図版 13　第２検出面の遺構２ …… 50
図版 14　第２検出面の遺構３ …… 51
図版 15　第２検出面の遺構４ …… 52
図版 16　第２検出面の遺構５ …… 53
図版 17　第２検出面の遺構６ …… 54
図版 18　第２検出面の遺構７ …… 55
図版 19　第２検出面の遺構８ …… 56
図版 20　第２検出面の遺構 完掘状況（１～３地点） …… 57
図版 21　第３検出面の遺構 …… 59
図版 22　Ⅱ層 出土遺物 …… 81
図版 23　第１検出面 出土遺物 1 …… 93
図版 24　第１検出面 出土遺物 2 …… 94
図版 25　第１検出面 出土遺物 3 …… 95
図版 26　第１検出面 出土遺物 4 …… 96
図版 27　第１検出面 出土遺物 5 …… 97
図版 28　第１検出面 出土遺物 6 …… 98
図版 29　第１検出面 出土遺物 7 …… 99
図版 30　第１検出面 出土遺物 8 …… 100
図版 31　第１検出面 出土遺物 9 …… 101
図版 32　第１検出面 出土遺物 10 …… 102
図版 33　第１検出面 出土遺物 11 …… 103
図版 34　第１検出面 出土遺物 12 …… 104
図版 35　Ⅲ層 出土遺物 1 …… 126
図版 36　Ⅲ層 出土遺物 2 …… 127
図版 37　Ⅲ層 出土遺物 3 …… 128
図版 38　Ⅲ層 出土遺物 4 …… 129
図版 39　Ⅲ層 出土遺物 5 …… 130
図版 40　Ⅲ層 出土遺物 6 …… 131
図版 41　Ⅲ層 出土遺物 7 …… 132
図版 42　Ⅲ層 出土遺物 8 …… 133
図版 43　Ⅲ層 出土遺物 9 …… 134
図版 44　Ⅲ層 出土遺物 10 …… 135
図版 45　Ⅲ層 出土遺物 11 …… 136
図版 46　Ⅲ層 出土遺物 12 …… 137
図版 47　Ⅲ層 出土遺物 13 …… 138
図版 48　第２検出面 出土遺物 1 …… 159
図版 49　第２検出面 出土遺物 2 …… 160
図版 50　第２検出面 出土遺物 3 …… 161
図版 51　第２検出面 出土遺物 4 …… 162
図版 52　第２検出面 出土遺物 5 …… 163
図版 53　第２検出面 出土遺物 6 …… 164
図版 54　第２検出面 出土遺物 7 …… 165
図版 55　第２検出面 出土遺物 8 …… 166
図版 56　第２検出面 出土遺物 9 …… 167
図版 57　第２検出面 出土遺物 10 …… 168
図版 58　第２検出面 出土遺物 11 …… 169
図版 59　Ⅳ層 出土遺物 1 …… 176
図版 60　Ⅳ層 出土遺物 2 …… 177
図版 61　Ⅳ層 出土遺物 3 …… 178
図版 62　Ⅴ層 出土遺物 1 …… 185
図版 63　Ⅴ層 出土遺物 2 …… 186
図版 64　Ⅴ層 出土遺物 3 …… 187
図版 65　第３検出面 出土遺物 …… 189
図版 66　撹乱層 出土遺物 1 …… 224
図版 67　撹乱層 出土遺物 2 …… 225
図版 68　撹乱層 出土遺物 3 …… 226
図版 69　撹乱層 出土遺物 4 …… 227
図版 70　撹乱層 出土遺物 5 …… 228
図版 71　撹乱層 出土遺物 6 …… 229
図版 72　撹乱層 出土遺物 7 …… 230
図版 73　撹乱層 出土遺物 8 …… 231
図版 74　撹乱層 出土遺物 9 …… 232
図版 75　撹乱層 出土遺物 10 …… 233
図版 76　撹乱層 出土遺物 11 …… 234
図版 77　撹乱層 出土遺物 12 …… 235
図版 78　撹乱層 出土遺物 13 …… 236
図版 79　撹乱層 出土遺物 14 …… 237
図版 80　撹乱層 出土遺物 15 …… 238
図版 81　撹乱層 出土遺物 16 …… 239
図版 82　撹乱層 出土遺物 17 …… 240

図版 83　撹乱層 出土遺物 18 …… 241
図版 84　撹乱層 出土遺物 19 …… 242
図版 85　撹乱層 出土遺物 20 …… 243
図版 86　撹乱層 出土遺物 21 …… 244
図版 87　牛角芯 …… 246
図版 88　脊椎動物遺体 1 …… 248
図版 89　脊椎動物遺体 2 …… 249
図版 90　貝類遺体（巻貝）1 …… 282
図版 91　貝類遺体（巻貝）2 …… 283
図版 92　貝類遺体（二枚貝）1 …… 284
図版 93　貝類遺体（二枚貝）2 …… 285
図版 94　炭化材 …… 294
図版 95　種実遺体 …… 295
図版 96　花粉化石・植物珪酸体 …… 296

表目次

第 1 表　SU5 貝出土表 …… 27
第 2 表　SU1 貝出土表 …… 44
第 3 表　SU2 貝出土表 …… 44
第 4 表　SU3 貝出土表 …… 45
第 5 表　SU4 貝出土表 …… 45
第 6 表　SU6 貝出土表 …… 45
第 7 表　SU7 貝出土表 …… 46
第 8 表　SU8 貝出土表 …… 46
第 9 表　SU9 貝出土表 …… 46
第 10 表　中国産青磁出土状況一覧 …… 74
第 11 表　中国産白磁出土状況一覧 …… 74
第 12 表　中国産青花出土状況一覧 …… 75
第 13 表　中国産褐釉・白釉・無釉陶器出土状況一覧 …… 75
第 14 表　中国産その他陶磁器出土状況一覧 …… 74
第 15 表　タイ・ベトナム・朝鮮産他出土状況一覧 …… 75
第 16 表　本土産磁器出土状況一覧 …… 75
第 17 表　本土産陶器出土状況一覧 …… 76
第 18 表　沖縄産施釉陶器出土状況一覧 …… 76
第 19 表　沖縄産無釉陶器出土状況一覧 …… 76
第 20 表　陶質土器出土状況一覧 …… 76
第 21 表　瓦質土器出土状況一覧 …… 76
第 22 表　カムィヤキ・土器出土状況一覧 …… 76
第 23 表　硬質土器他出土状況一覧 …… 77
第 24 表　土製品出土状況一覧 …… 77
第 25 表　石器・石製品出土状況一覧 …… 77
第 26 表　円盤状製品出土状況一覧 …… 77
第 27 表　骨製品出土状況一覧 …… 77
第 28 表　鉄製品出土状況一覧 …… 77
第 29 表　金属製品出土状況一覧 …… 77
第 30 表　銭貨出土状況一覧 …… 77
第 31 表　窯道具出土状況一覧 …… 77
第 32 表　煙管出土状況一覧 …… 77
第 33 表　高麗系瓦出土状況一覧 …… 78
第 34 表　大和系瓦出土状況一覧 …… 78
第 35 表　明朝系軒丸・軒平瓦出土状況一覧 …… 78
第 36 表　明朝系丸・平瓦出土状況一覧 …… 78
第 37 表　瓦製品出土状況一覧 …… 78
第 38 表　塼出土状況一覧 …… 78
第 39 表　Ⅱ層出土遺物観察一覧 …… 79
第 40 表　遺構内出土遺物一覧（第 1 検出面） …… 85
第 41 表　第 1 検出面出土遺物観察一覧 1 …… 87
第 41 表　第 1 検出面出土遺物観察一覧 2 …… 88
第 42 表　Ⅲ層出土遺物観察一覧 1 …… 106
第 42 表　Ⅲ層出土遺物観察一覧 2 …… 107
第 42 表　Ⅲ層出土遺物観察一覧 3 …… 108
第 42 表　Ⅲ層出土遺物観察一覧 4 …… 109
第 42 表　Ⅲ層出土遺物観察一覧 5 …… 110
第 42 表　Ⅲ層出土遺物観察一覧 6 …… 111
第 42 表　Ⅲ層出土遺物観察一覧 7 …… 112
第 43 表　遺構内出土遺物一覧（第 2 検出面） …… 143
第 44 表　第 2 検出面出土遺物観察一覧 1 …… 145
第 44 表　第 2 検出面出土遺物観察一覧 2 …… 146
第 44 表　第 2 検出面出土遺物観察一覧 3 …… 147
第 44 表　第 2 検出面出土遺物観察一覧 4 …… 148
第 44 表　第 2 検出面出土遺物観察一覧 5 …… 149
第 45 表　Ⅳ層出土遺物観察一覧 1 …… 171
第 45 表　Ⅳ層出土遺物観察一覧 2 …… 172
第 46 表　Ⅴ層出土遺物観察一覧 1 …… 180
第 46 表　Ⅴ層出土遺物観察一覧 2 …… 181
第 47 表　第 3 検出面出土遺物観察一覧 …… 188
第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 1 …… 192
第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 2 …… 193
第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 3 …… 194
第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 4 …… 195
第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 5 …… 196
第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 6 …… 197
第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 7 …… 198
第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 8 …… 199
第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 9 …… 200
第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 10 …… 201
第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 11 …… 202
第 49 表　脊椎動物遺体出土一覧 …… 247

第 50 表　タカラガイ科有孔製品 …… 250
第 51 表　イタヤガイ科 …… 251
第 52 表　ヤコウガイ殻の個体数 …… 251
第 53 表　ヤコウガイ蓋の個体数 …… 252
第 54 表　ヤコウガイ殻の欠損状況による分類 …… 256
第 55 表　ヤコウガイ殻 セ計測値別出土量…… 257
第 56 表　ヤコウガイ殻 セ計測値別孔の大きさ比較…… 257
第 57 表　ヤコウガイ殻 セ計測値と殻径の比較…… 257
第 58 表　ヤコウガイ蓋 大きさ別出土量…… 257
第 59 表　サラサバテイ殻の欠損状況による分類 …… 258
第 60 表　サラサバテイ殻 完形の径計測値…… 259
第 61 表　サラサバテイ殻 下層の径計測値…… 260
第 62 表　巻貝類 出土一覧（Ⅱ層・Ⅳ層・Ⅴ層）…… 261
第 63 表　巻貝類 出土一覧（Ⅲ層）…… 263
第 64 表　巻貝類 出土一覧（SP）…… 265
第 65 表　巻貝類 出土一覧（SP 以外の遺構）1 …… 267
第 65 表　巻貝類 出土一覧（SP 以外の遺構）2 …… 268
第 66 表　二枚貝類 出土一覧（Ⅲ層）1 …… 269
第 66 表　二枚貝類 出土一覧（Ⅲ層）2 …… 270
第 66 表　二枚貝類 出土一覧（Ⅲ層）3 …… 271
第 67 表　二枚貝類 出土一覧（Ⅱ層・Ⅳ層）…… 272
第 68 表　二枚貝類 出土一覧（Ⅴ層）…… 273
第 69 表　二枚貝類 出土一覧（SP）…… 274
第 70 表　二枚貝類 出土一覧（SP 以外）1 …… 275
第 70 表　二枚貝類 出土一覧（SP 以外）2 …… 276
第 70 表　二枚貝類 出土一覧（SP 以外）3 …… 277
第 71 表　巻貝類・二枚貝類 出土一覧（撹乱層）…… 279
第 72 表　東村跡出土の巻貝類一覧 …… 280
第 73 表　東村跡出土の二枚貝類一覧 …… 281
第 74 表　遺物出土状況 (全体) …… 286
第 75 表　分析試料及び分析項目一覧 …… 287
第 76 表　放射性炭素年代測定結果 …… 289
第 77 表　暦年較正結果 …… 289
第 78 表　微細物分析結果 …… 290
第 79 表　花粉分析結果 …… 291
第 80 表　植物珪酸体含量 …… 291
第 81 表　第 1 検出面の遺構内出土遺物 1 …… 297
第 81 表　第 1 検出面の遺構内出土遺物 2 …… 298
第 82 表　第 2 検出面の遺構内出土遺物 …… 299
第 83 表　第 2 ・ 3 検出面の遺構内出土遺物 …… 300

第１章　調査に至る経緯

第１節　調査に至る経緯

本調査は、沖縄県立離島児童生徒支援センター建設に伴う、記録保存のための発掘調査である。平成 26 年４月 16 日に沖縄県教育庁文化財課（以下、県文化財課）、同教育支援課（以下、県教育支援課）、沖縄県立埋蔵文化財センター（以下、県埋文センター）の３者による調整会議が行われた。事前に県文化財課から県埋文センターに連絡が入ったもので、県教育支援課が進めている離島児童生徒支援センター建設予定地から発見された埋蔵文化財の取り扱いについての調整である。

県教育支援課からの説明では、平成 26 年１月に離島児童生徒支援センターの設計が完了し、建設予定地における磁気探査を終わらせ、同年３月 18 日に工事契約を締結した。その後、工事業者が那覇市へ建築申請したところ、文化財の有無についての事前調査が必要との回答があり、那覇市文化財課が試掘調査を実施した結果、文化財ありの結果報告がなされた。那覇市文化財課、県教育支援課、県施設建築課による現場調整では、記録保存のための発掘調査が必要との結論になったが、那覇市文化財課は今年度の事業数から対応は困難な状況であった。

しかしながら、県としても支援センター建設を大きく遅延させるわけにもいかず、できれば年内で発掘調査を終了してほしいという状況より、記録保存のための発掘調査を県埋文センターで実施してほしいとの申し入れがなされた。発掘調査に係る予算については、県埋文センターからの積算が出てから、流用により予算の確保を図りたいとの意向が示された。

それを受けた県埋文センターとしては、現状については承知し、経費の見積りや発掘調査スケジュール等の具体的な内容については、那覇市文化財課の試掘調査結果を確認した後に提示すること、また年内での調査終了ということであれば、できるだけ早期に着手できるように努めるとの旨回答を行った。

後日、関係者で再度調整を持つこととなり、平成 26 年４月 24 日に第２回調整会議を県教育支援課、県文化財課、県施設建築課、県埋文センター、那覇市文化財課の５者で行った。その際、県埋文センターから、那覇市文化財課が実施した試掘調査結果を基に算出した初年度の発掘調査費用及び現地調査に６か月、資料整理・報告書刊行を平成２８年度に終了するという事業スケジュールを提示した。その資料提示を受け、県教育支援課や県施設建築課担当から内容確認に係る質疑がなされ、県埋文センターがそれに答える形で調整を進め、両課ともに県埋文センターが提示した発掘調査費用及び事業スケジュールについて承知されることになった。さらに、県教育支援課からは事業スケジュールに沿って５月には予算の令達を行いたい旨の話があった。

離島児童生徒支援センター建設予定地内で発見された埋蔵文化財（東村跡：アガリムラアト）の取り扱いについて、２回の調整会議でお互いが了解し、その後も細かな調整を継続して行った。そして５月には予定通り県教育支援課からの予算令達を受けて、県埋文センターは発掘調査支援業務委託の入札を行い、平成 26 年６月 17 日付けで株式会社島田組 沖縄支店と「平成 26 年度　離島児童・生徒支援センター（仮称）建設予定地内東村跡発掘調査に伴う支援業務委託」契約を締結した。そして調整会議で提示したスケジュール通り、平成 26 年７月１日から東村跡発掘調査に着手することになった。

第２節　調査体制

現地における発掘調査については、沖縄県教育委員会が主体となり、平成 26 年度に沖縄県立埋蔵文化財センターが株式会社島田組へ発掘調査支援業務を委託して実施し、資料整理及び報告書刊行に係る業務については、平成 27 ～ 28 年度にかけて沖縄県立埋蔵文化財センターが実施した。各年度の実施体制は以下のとおりである。

沖縄県教育庁教育支援課　離島児童生徒支援センター運営事業に係る予算令達事業

平成 26（2014）年度　（発掘調査・資料整理）

事業主体　沖縄県教育委員会　教育長　諸見里 明

事業所管　沖縄県教育庁文化財課　参事兼課長　嘉数 卓

記念物班　班長　金城亀信、主任専門員　長嶺 均

事業総括・実施　沖縄県立埋蔵文化財センター　所長　下地英輝、副参事　島袋 洋

総務班　班長　新垣勝弘、主任　比嘉 睦

調査班　班長　盛本 勲、主任　金城貴子、専門員　具志堅清大

発掘調査作業　調査斑　主任　金城貴子、専門員　具志堅清大　文化財調査嘱託員　新屋敷小春

資料整理作業　資料整理作業員　眞玉橋良太

平成 27（2015）年度　（資料整理）

事業主体　沖縄県教育委員会　教育長　諸見里 明

事業所管　沖縄県教育庁文化財課　課長　萩尾俊章

記念物班　副参事兼班長　金城亀信、主任専門員　長嶺 均

事業総括・実施　沖縄県立埋蔵文化財センター　所長　下地英輝、副参事　盛本 勲

総務班　班長　新垣勝弘、主査　比嘉 睦、新里 靖

調査班　班長　上地 博、主任　金城貴子、専門員（臨任）　又吉幸嗣

資料整理作業　調査班　主任　金城貴子、専門員（臨任）又吉幸嗣

埋蔵文化財資料整理嘱託員　市川里恵、大城友嘉、小渡直子、慶田秀美、照屋麻美、徳本加代子、仲里千秋、東仲千夏、有光綾子、石橋英子、具志みどり、照屋芳美、仲間文香、宮城友香

資料整理作業員　下里利美、玉那覇美野、知花香織、當真 香、仲松安花奈、又吉 淳、宮城綾子

整理協力者　文化財調査嘱託員　新屋敷小春、玉城 綾

平成 28（2016）年度　（資料整理）

事業主体　沖縄県教育委員会　教育長　平敷昭人

事業所管　沖縄県教育庁文化財課　課長　萩尾俊章

記念物班　班長　上地 博、指導主事　神村智子

事業総括・実施　沖縄県立埋蔵文化財センター　所長　金城亀信、副参事　濱口寿夫

総務班　班長　比嘉智博、主査　比嘉　睦

調査班　班長　仲座久宜、主任　金城貴子、主任　具志堅清大

資料整理作業　調査班　主任　金城貴子、主任　具志堅清大

埋蔵文化財資料整理員　新垣美香、園田露子、知花香織、仲松安花奈、慶田秀美、下里利美、照屋芳美

整理協力者　史跡・埋蔵文化財調査員　大屋匡史、太田樹也、奥平大貴、仲嶺真太

埋蔵文化財資料整理員　宮城初枝、宮平笑里子、孔 智賢、嶺井幸恵、兼島小百合、宮城かの子、仲里由利、嘉数 渚、當間郁子、城間彩香、工藤孝美、比屋根沙耶香、花城咲子、金城礼子、糸数永子、仲間文香、宮城友香、鈴木友璃子、松田仁美、玉那覇美野、領家範夫、安里小弥子、富山由貴、鈴木真理

業務委託　発掘調査支援業務　㈱島田組　　自然科学分析　パリノ・サーヴェイ㈱

調査指導・資料整理指導及び協力機関（所属等は当時）

島 弘、玉城安明、當銘由嗣、仲宗根啓、樋口麻子、安斎真知子、吉田健太（那覇市教育委員会）、池田榮史（琉球大学）、上原 靜（沖縄国際大学）、森 達也（沖縄県立芸術大学）、高島裕之（専修大学）、宮里正子（浦添美術館館長）、宮腰哲雄（明治大学理工学部）、黒住耐二（千葉県立博物館）、丸山真史（東海大学）、桜井国俊（下関大学）、東町自治会、西町自治会、サンシャイン通り会

第３節　調査経過

発掘調査及び資料整理の経過について、以下に概略を記す。

発掘調査経過　現地調査は平成 26（2014）年７月１日から 12 月 26 日まで行った。調査は、１～３地点の３つの地点に分けて実施した。調査面積は約 450㎡である。地点ごとの調査経過を日誌抄でまとめる。

１地点（162㎡、遺構面：３面）

７月：１地点の表土掘削を１日より開始。磁気探査（経層探査）により異常が無いことを確認し、４日から１面目（近世）の遺構検出作業に着手した。１面目の遺構検出写真撮影を 15 日に行い、翌 16 日から遺構掘削を開始した。主な遺構はピット、土坑、溝、石列、井戸、方形石組み遺構等が確認された。１面目の遺構完掘写真撮影を 29 日に行い、１面目の遺構調査を終えた。

８月：１面目の遺構調査後は包含層掘削（Ⅲ層）を行い、２面目（グスク時代）の遺構検出写真撮影を 15 日に行った。遺構掘削は 18 日から開始し、26 日に２面目の遺構完掘写真撮影を行った。遺構は建物跡（ピット）や土坑を主体に、石列、貝集積が確認され、１地点では最も遺構密度が高かった。

９月：２面目の遺構調査終了後、再び包含層掘削（Ⅳ層及びⅤ層）を行った。３面目（グスク時代）の遺構検出写真撮影を４日に行った。遺構は溝、石列が確認され、遺構完掘写真撮影は 12 日に行った。遺構調査後は、壁面の記録作業を行うとともに、重機による井戸の断割を行った。17 日には地山確認のためのトレンチを北壁際で掘削し、１地点の調査を終了した。翌 18 日に埋め戻しを完了した。

２地点（130㎡、遺構面：２面）

９月：２地点の表土掘削は 18 日から開始し、19 日には磁気探査まで終了した。22 日から１面目（近世）の遺構検出作業を開始した。１面目の遺構検出写真撮影は 25 日に行い、翌 26 日に遺構掘削を開始した。主な遺構は建物跡（ピット）、土坑、溝、井戸等が確認された。また、地下式礎石の土坑も２基（SK68、69）確認された。１面目の遺構完掘写真撮影は 30 日に行った。

10 月：１面目の遺構調査後は包含層掘削（Ⅲ層）を行い、８日に２面目（グスク時代）の遺構検出写真撮影、翌日から遺構掘削を開始した。遺構は建物跡（ピット）、土坑を主体に多量の青磁や白磁、獣骨等が廃棄された土坑（SX13）や貝集積が確認された。２面目の遺構完掘写真撮影は 23 日に行った。

遺構調査後は、壁面の写真撮影・図面作成を行った。また、地山の白砂層（Ⅵ層）上面には、包含層（Ⅲ層）に伴う陶磁器類、貝等の遺物が含まれていたため、地山面表層を人力により掘削し、遺物を回収した。27 日には、壁面際で地山確認のためのトレンチを掘削したが、湧水が著しく、記録後にすぐ埋め戻しを行った。また、確認トレンチ掘削と平行して重機により井戸（SE4）の断割を行ったが、井戸内から不発弾（手榴弾等）が見つかり、掘削を中断した。警察へ連絡後、不発弾は自衛隊爆弾処理班によって回収された。翌 28 日に井戸断面の記録作業を終え、２地点の調査を終了した。

３地点（155㎡、遺構面：１面）

10 月：３地点の表土掘削は 29 日から開始した。なお、３地点の表土掘削による残土で、調査を終了した２地点を埋め戻していく形をとり、翌 30 日には磁気探査まで終了した。

11 月：３地点においても、２地点と同様にグスク時代と近世の２時期の遺構が検出されたが、３地点は地山直上まで撹乱を受けていたため、遺構面１面での検出となった。１面目（近世）の遺構検出作業は４日から開始し、６日に遺構検出写真撮影を行った。遺構はピット、土坑、石列（SS6）の他に窯跡が確認された。また、調査区の東側では北西－南東方向にほぼ等間隔で並ぶ４基の方形石組遺構（SK86 ～ 89）、西側では３基の円形石組遺構（SK90 ～ 92）が検出された。10 日から遺構掘削を開始し、１面目の遺構完掘写真撮影を 27 日に行った。写真撮影後の 28 日からは現地説明会の準備を行い、30 日に現地説明会を行った。

12 月：現地説明会が終了した２日からは、壁面の記録作業や遺構の補足調査を行った。方形・円形の石積遺構（SK86 ～ 92）は、石積みの掘方部分の掘削などを行った。SK88 の直下からは新たな遺構（SK137）が検出された。なお、調査区南壁にかかる円形石組遺構（SK91、92）は建設工事の掘削区域外であることが判明したため、石積みの掘方掘削は行わなかった。また、窯跡（SL1、SL2）の炉壁サンプル採取なども行った。

また壁面の記録作業と平行し、２地点と同様、地山の白砂層（Ⅵ層）上面には、包含層（Ⅲ層）に伴う陶磁器、瓦、貝等の遺物が含まれていたため、地山面表層を人力により掘削し、遺物を回収した。10 日には重機を用いて、井戸（SE5）の断割を行ったが、崩落する危険性が見られたことから、断面の写真撮影のみ行い、立面図の実測は行わずに即埋め戻しを行った。また、確認トレンチの掘削を行い､岩盤は調査区西側で検出された。岩盤は東側に向かって落ち込んでいる状況を確認したものの、東側は湧水によって岩盤を確認することが出来なかった。先述した井戸と同様、安全を考慮して岩盤検出面の測量を終えた後はすぐに埋め戻しを行い、12 日に３地点の調査を終了した。12 日からは３地点の埋め戻しを開始し、17 日には終了した。26 日に現場撤収をもって調査完了となった。

資料整理の経過　資料整理は平成 27 年度から実施した。出土遺物の洗浄は現場の雨天時に行っていたため、まず注記等を中心に進めた。続いて遺物の分類、接合作業、実測用遺物の抜出しを行い、平成 28 年度に実測図の作成、トレース、写真撮影等を行った。これらの作業と並行して、遺構図等のトレースを進めた後、発掘現場で撮影した写真と併せてレイアウト作成を行った。発掘調査によって見つかった遺構数も多く、また密な箇所も多かったため、他の遺構との関連に注意しながら検討する必要があった。また、遺構とともに出土した遺物の量も膨大に及んだため、整理には多くの時間を要した。平成 28 年度は、原稿執筆及び報告書全体のレイアウトを完成させた後に、指名競争入札により落札した印刷業者と契約を行い、本調査報告書を刊行した。

公開活用　今回の調査では、東村跡に係るグスク時代から近世に至る多種多様な遺構・遺物が出土し、特に３地点では方形石組み遺構が列状に並ぶ状況が確認されたため、遺構調査の目処が付いた平成 26 年 11 月 30 日（日）には現地説明会を実施した。内容は、３地点の遺構解説を中心とし、調査が終了した１～２地点の調査成果と合わせて報告を行った。なお、現地説明会は現場近隣（東町）の住民を対象とし、事前に告知文を配布して来跡してもらう形をとった。30 日（日）の現地説明会は午前（10 時 30 分～ 11 時 30 分）と午後（14 時～ 15 時）の２回に分けて行った。総勢 74 名の来跡者があり、本遺跡に対して多くの関心が寄せられた。

東村跡発掘調査終了後には、「離島児童生徒支援センター」の建設工事が着手され、平成 28 年１月８日に開所式が行われた。開所式に合わせて、施設を利用する児童・生徒及び関係者や地域住民への公開活用のため、建物内交流スペースの一角にパネルや遺物による調査成果の展示を行っている。

調査前の現地状況（平成 26 年 4 月）

表土掘削状況

磁気探査状況

遺構調査状況（SX13）

出土品分析指導

現場説明会の様子

離島児童生徒支援センター（平成 28 年）

離島児童生徒支援センター内遺物展示状況

図版１　発掘調査経過

第２章　遺跡の位置と環境

第１節　遺跡の立地と地理的環境

東村跡の所在する那覇市は沖縄本島の南西部に位置する。北は浦添市、東から南にかけて西原町、南風原町、豊見城市に隣接し、西は東中国海に面している。総面積は 39.57㎢、地形をみると、西側（海側）に低地が広がり、これを取り囲むように東側（内陸側）に小高い丘陵地帯が展開している。地質をみると、島尻層群（砂岩・泥岩）、琉球石灰岩、沖積層（現世サンゴ礁堆積物含む）に区分され、島尻群層が那覇市の基盤をつくっており、内陸側は琉球石灰岩がそれを覆い、さらにその風化土である赤褐色粘土（島尻マージ）が広がる。低地の海側は沖積層が分布する。市内には東から西に国場川と安里川が流れ、それぞれ那覇ふ頭、泊ふ頭に注いでいる。

今調査箇所は、那覇港に近接したかつての海岸線に近いと考えられる低地で、標高は約 3m をはかる。その周辺には天使館、親見世、渡地村跡など、琉球王国の歴史を語る上で重要な遺跡が点在する。

第２節　歴史的環境

東村は西村、泉崎村、若狭町村とともに「那覇四町（なはよまち）」と称され、那覇港の繁栄に伴って栄えた商業の中心地である。また、那覇四町の中でも手元村と言い、那覇の中心地であり、那覇の経済を支配していたとされる。この東村形成の背景には、那覇港の存在が大きく関係すると考えられる。

那覇港の成立については明確ではないが、第一尚氏代に基盤が形成されたと考えられる。1450 年頃に築造されたと考えられる「御物城」、「硫黄城（渡地）」の位置から推定すると、はじめ那覇の港はその二つの内側、すなわち漫湖に臨む地域であったと考えられている。その後、西・東村に人口が集中し、商業活動が盛んになるに伴い現在の位置へ変わったとされる。同じ時期に冊封使を迎える館として「迎恩亭」、王府時代の役所の一つである「親見世」等が港岸あるいは港近くに創建される等、港湾施設の整備が進められた。1451 年には東村を含む浮島と崇元寺付近をつなぐ約 1 km の海中道路「長虹堤」が築かれ、首里と浮島であった那覇の交通は便利となり、首里・那覇が繁栄する大きな契機となった。那覇港は、古琉球の歌謡集『おもろさうし』にも「しより　おわる　てだこが　うきしまは　げらへて　たう（唐）　なばん（南蛮）、よりやう　なはとまり」と謡われるような国際貿易の拠点となっていった。また、15 世紀中旬頃の琉球の国情を記した『海東諸国記』の「琉球国紀」には「地窄（せま）く人多し。海船の行商を以て業と為す。西は南蛮と中国に通じ、東は日本と我が国に通ず。日本と南蛮の商船亦（また）其の国都の国都の海浦（那覇港）に集まる。国人は肆（し）（店、親見世）を浦辺に置き互市を為す」とあり、国王によって造営された那覇港は中国、日本、朝鮮、南方諸国へ行く船、来る船で賑わい、港近くには市場と開かれていた（沖縄県史 2010）と、当時の様子が描かれている。

古琉球期の那覇には外来者が居留地を形成し暮らしていたとされる。華人の住む「久米村（唐営）」は外来者の居留地として知られているが、浮島のほぼ中央部に位置する。狭義の那覇（東村･西村）、若狭町、泉崎村には琉球の地元民と日本人が雑居していたとされ、その他那覇には朝鮮人、南蛮（東南アジア人）も滞在していたとされる。15 世紀後半に琉球に滞在した朝鮮漂着民たちの記録に、那覇の町は「江南人及び南蛮国人、みな来りて商販し、往来絶えず。」とあり、その商品については絹布や苧布（ちょふ）、梳（くし）、ハサミ、針等の日用品、野菜、魚、塩辛等の食料品、そして東南アジア渡来の模様染めの絹、綿布、壇香（だんこう）、籐、中国の青黒白綿布、陶磁器等、各国の物資が販売されていたとされ、市場の賑わいを伝える。那覇は港を基盤に明治７、８年まで市場中心に発展した。那覇市（方言ナーファヌマチ）という親見世の前から下天妃宮前にかけての広場に立った市は、当時の琉球で最も規模の大きい商業地点の一つであり、今回の発掘調査区に近接する。那覇市の周辺には一般の民家を利用した店が少数あったといわれるが、本格的な店構え

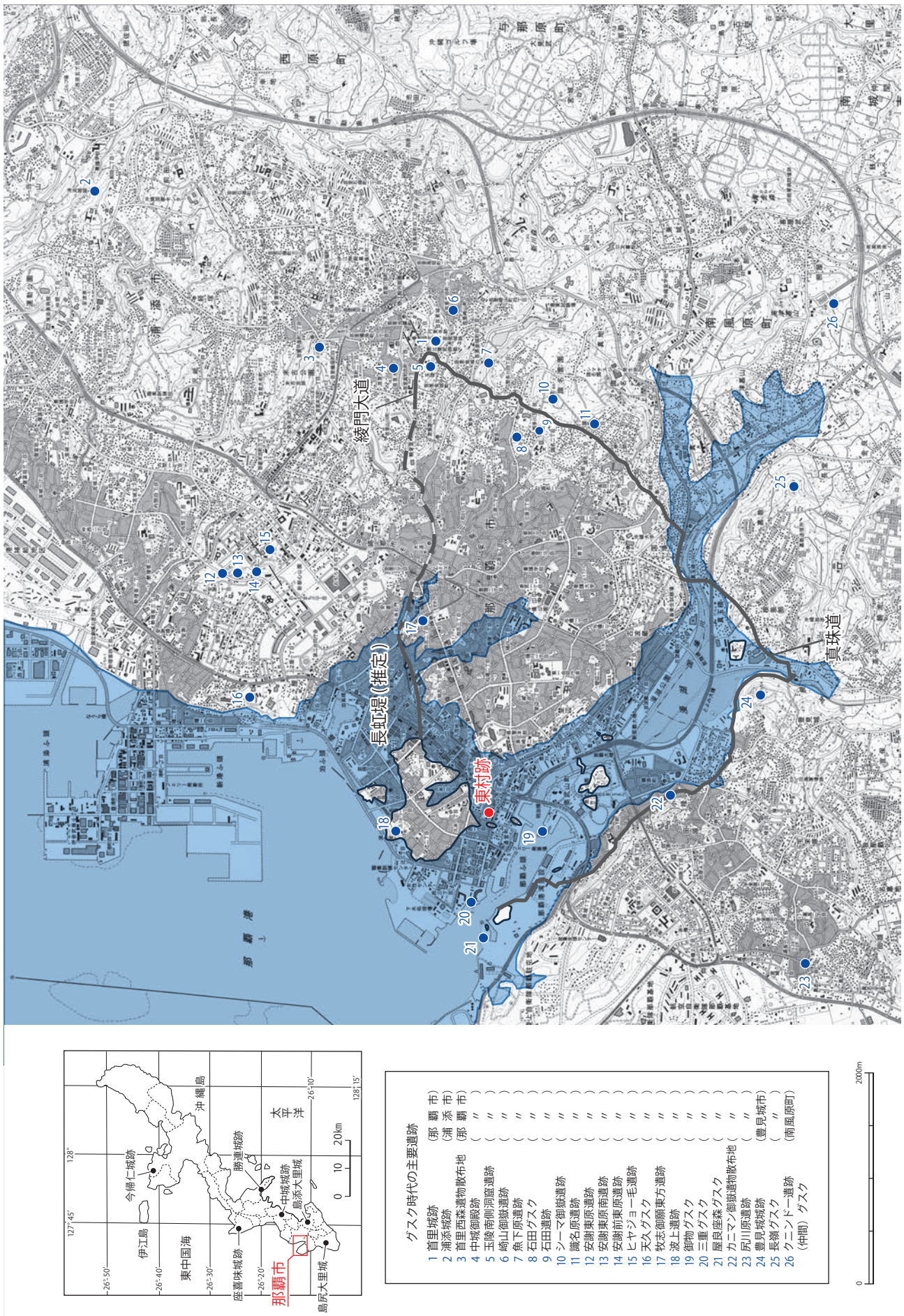
のものはほとんどなく、本格的な店構えに近い商店街は、那覇市から渡地村にかかる思案橋までの道筋にあり、東町屋と呼ばれた。『南島風土記』の中で東恩納寛惇は、東町屋はほとんど全部士流婦女の経営で、その商品は味噌、醤油等が主として取り扱われたこと、さらに、思案橋に至る周辺には金細工、皮細工等の職人の家が軒を並べていたところがあり、職人町的な景観も持っていたと記している。

琉球処分後は、那覇西村にあった薩摩の在番奉行の役所であった御仮屋（うかいや）跡地に県庁が建築された。日本本土から沖縄へ寄留する者も次第に増加していき、これらの寄留者は商業や貿易などに従事する者が多く、引き続き東村を中心にその付近は商業・貿易の中心地であった。同じくして役所や警察署等の公的機関や銀行等が建設される。大正６（1917）年には天使館跡地に那覇区役所が新庁舎を建設した。昭和に入ると、親見世の跡地に山形屋百貨店が移築された。また東村には、沖縄電気軌道株式会社による電車が大正３（1914）年から昭和８（1933）年の 19 年間走っていた。電車は通堂を起点に東町市場を経由して、首里観音堂へ約 6km の区間を走行した。このように東町・西付近は戦前の那覇中心地であり、官公庁のほか商店・会社・銀行等が建ち並ぶ等、多くの人で賑わいをみせた場所であった。

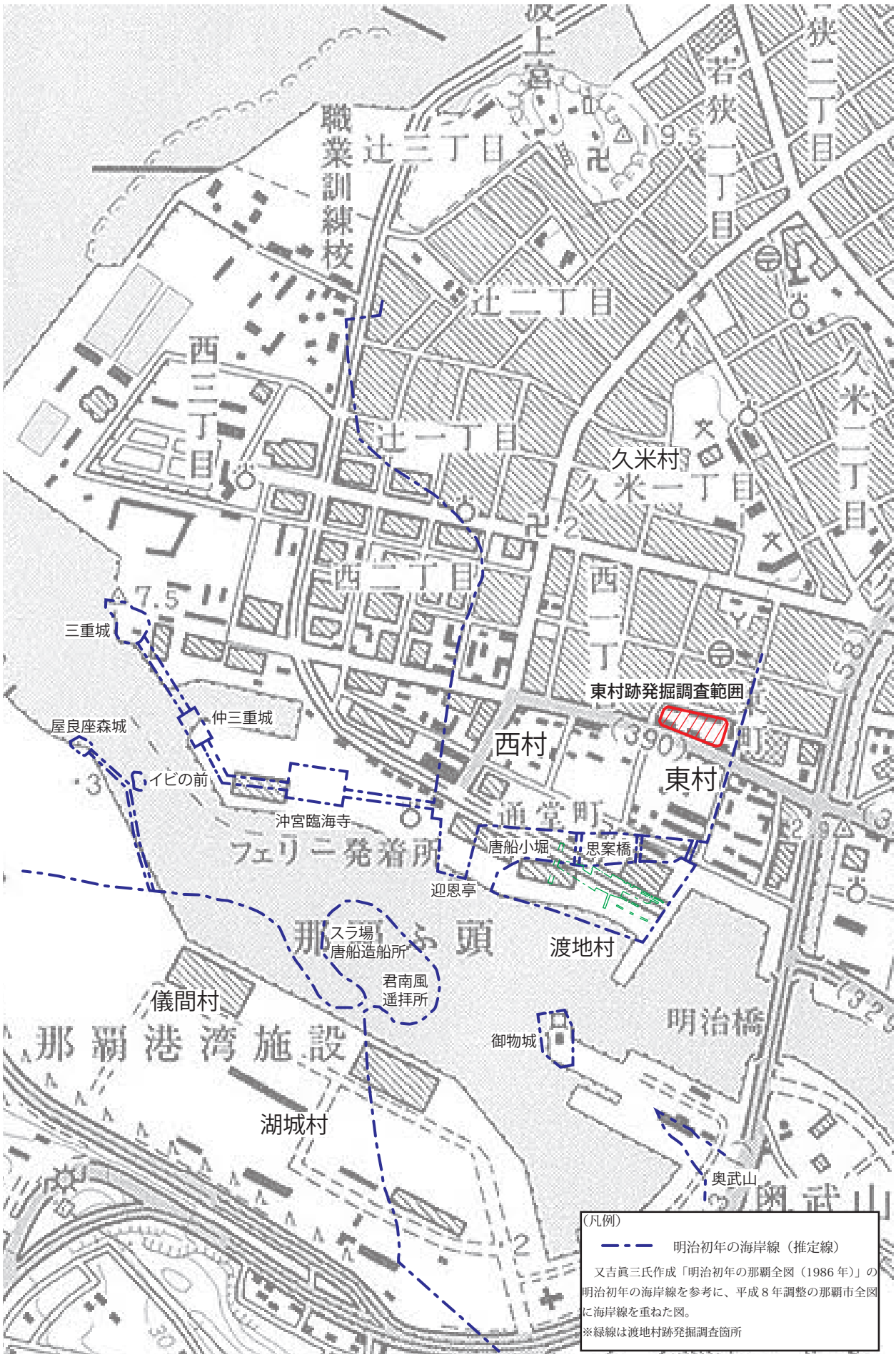
去る沖縄戦では、東町を含む那覇全体と那覇港、港湾施設は昭和 19（1944）年 10 月 10 日にアメリカ艦載機（かんさいき）の空襲 (10・10 空襲) を受け壊滅的な被害を受けた。終戦後、沖縄県は南西諸島の軍政を施行するために米軍の統治下に置かれることになる。戦禍を避けて逃げ延びた住民も米軍の保護下に入り、昭和 20（1945）年 10 月より元の居住地への住民の移動は開始されたが、那覇は旧市内が軍使用地で未開放だったため、正式な移動の許可は許されなかった。旧東村である東町は昭和 26（1951）年に開放されたものの、戦前の東町の面影は無く、現在は商社等が立ち並ぶビル街になっている。

120°
130°
140°
40°
30°
20°
10°
モンゴル
MONGOLIA
ロシア連邦
RUSSIAN FEDERATION
ウラジオストク Vladivostok
朝鮮民主主義人民共和国
NORTH KOREA
北京 Beijing
平壌 Pyongyang
ソウル Seoul
大韓民国
SOUTH KOREA
東京 Tokyo
博多 Hakata
中華人民共和国
CHINA
日本
JAPAN
上海 Shang hai
東中国海
EAST CHINA SEA
那覇 Naha
沖縄
OKINAWA
台北 Taipei
太平洋
PACIFIC OCEAN
台湾
TAIWAN
香港 Hong Kong
南中国海
SOUTH CHINA SEA
フィリピン諸島
PHILIPPINES
マニラ Manila
0
500
1000km

第１図　沖縄本島の位置



第２図　東村跡と周辺遺跡　　1451 年頃の海岸線（新島 2005 を参考に復元）



第３図　発掘調査箇所と周辺遺跡

第３章　調査の方法と経過

第１節　調査の方法

発掘区とグリッドの設定　調査範囲は、沖縄県教育庁教育支援課による離島児童生徒支援センター建設計画に伴う工事範囲 1274㎡のうち、那覇市市民文化部文化財課による試掘調査結果を踏まえ、埋蔵文化財に影響を及ぼす範囲を特定し調査区を設定した。調査区は１～３地点の三つに分け、地点ごとに調査を行った。各地点の調査終了後は埋め戻しを行い、残土置き場として利用した。

グリッドは、調査区より北東側の座標（X：23,570、Y：17,300　世界測地系）を起点に４ｍグリッドで設定した。記号は北東側のＡ１グリッド（以下、グリッドは省略）を起点とし、西から東へＡ２、Ａ３、北から南へＢ１、Ｃ１等としている。今回調査区のうち１地点はＣ４～Ｆ９、２地点 D10 ～ G14、３地点Ｇ６～Ｊ 13 にあたる。

表土掘削と遺構検出　調査は、初めに調査区の位置出しを行った。磁気探査については、既に工事発注機関である県土木部施設建築課により表層探査及び鉛直探査は実施されていたため、経層探査からの実施となった。結果、調査範囲で異常点が確認され、確認探査は 22 点となった。磁気探査により不発弾など異常が無いことを確認し、表土掘削を実施した。表土掘削は重機により行い、撹乱土及び近代～戦前の遺物包含層（Ⅱ層）までを掘削した。

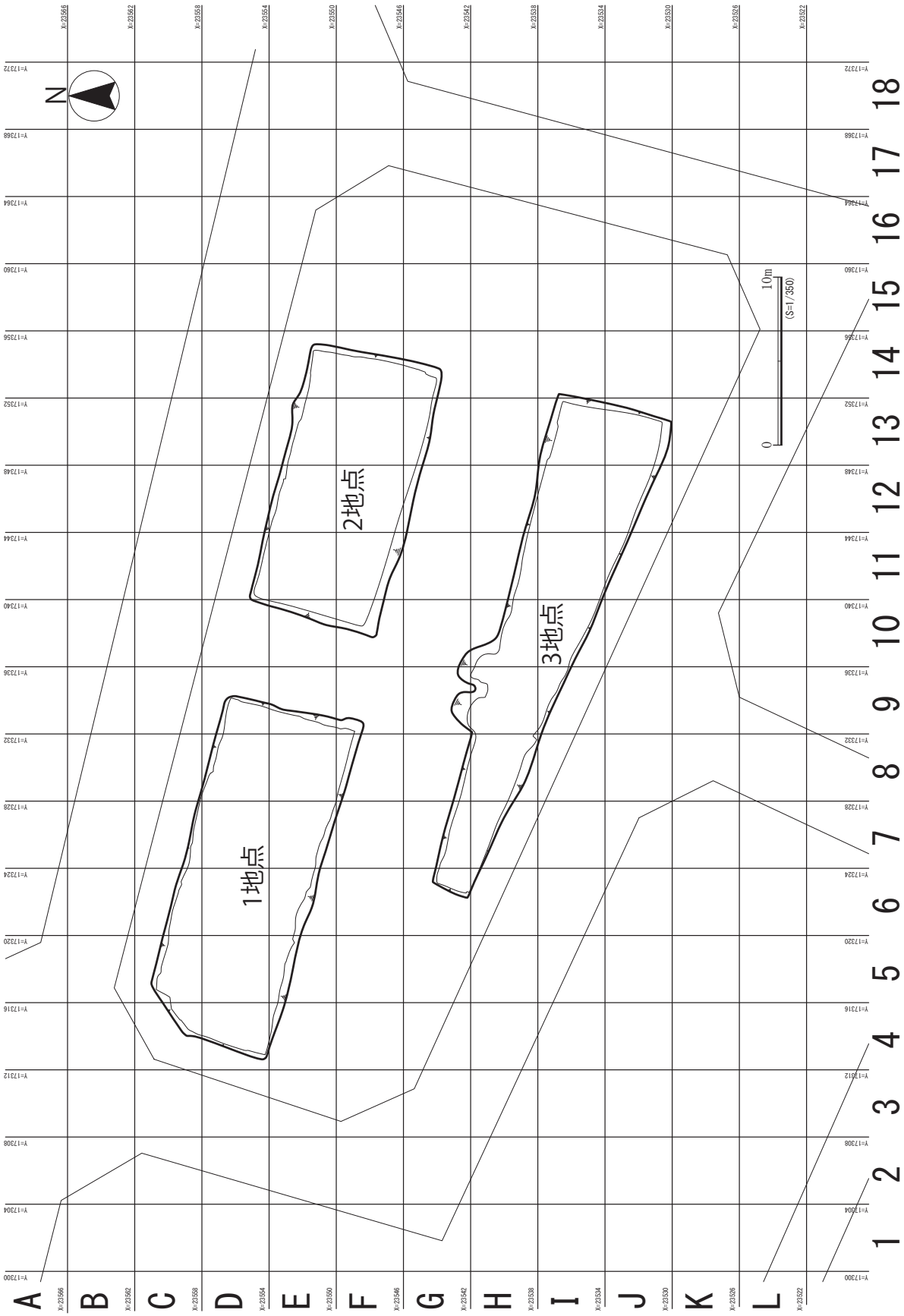
表土掘削後は、作業員の手作業による包含層掘削と遺構検出を行った。１・２地点では、グスク時代～近世の遺物包含層が堆積しており検出面が複数面となったため、検出面ごとに遺構の調査を行った。遺物包含層の掘削は、青磁など遺物を多く含むため人力掘削により行い、グリッド毎で遺物の取り上げを行った。表土掘削時には、遺構検出面を確認するためのサブトレンチを設定した。

発掘作業と写真撮影　本遺跡では検出された遺構数が多かったため、遺構記号は、『発掘調査のてびき』のものを便宜的に当てはめ、種別毎に通し番号を付して SP １、SK １等とした。遺構番号は、基本的に固定番号方式としたが、本報告書作成の便宜上、建物跡など遺構番号をふり直したものもある。遺構半裁時に遺構ではないと判断したものは欠番とした。遺構個々の調査は、半裁や４分割による調査を行った。井戸など人手による掘削が困難なものは、重機による半裁を行った。検出時及び完掘状況の平面図作成は測量機器を用いて行い、断面図作成は基本的に人手により行った。遺物集中部や井戸の断面、調査区壁面図など、効率が良いと考えられる場合は写真測量も実施した。各地点の検出面毎に、高所作業車による遺構検出状況と完掘状況の写真撮影を行っている。

遺構の調査終了後には、捕捉調査としてのトレンチを調査区中央や壁面沿いに設定し、包含層の堆積状況や地山の確認を行った。本遺跡の地山は白砂層となっており、壁面崩落の恐れがあったため段掘りにより掘削するとともに安全対策を行った。

写真撮影は遺構個々については、半裁状況など状況に応じて、デジタルカメラと 35mm フィルムカメラにより白黒フィルム・カラーリバーサルフィルムで撮影した。高所作業車を使用した遺構検出状況・完掘状況の写真撮影時には中判フィルムカメラも用いた。なお、本報告書ではデジタルカメラによる写真を使用している。

安全管理・対策等について　今回の調査範囲は、那覇市東町中心部の住宅や店舗などが密集し、付近には専門学校もあり人や車の往来が多い市街地域であったため、周辺住民や通行者に配慮しての調査となった。また、沖縄県内で発掘調査面積（土置き場を含めた裸地面積）が 1000㎡を超える場合は、沖縄県赤土等流出防止条例に基づく届出が必要となるが、既に県土木部施設建築課から届出がなされていたため届出は行っていない。現場の対応としては、調査区及び土置き場の周囲に小堤を設置し、濁水が調査区外へ流出しないように対策を行った。


N
1地点
2地点
3地点
0
10m
(S=1/350)
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18

第４図　グリッド設定図

第２節　基本層序

本調査ではⅠ～Ⅶ層の７枚の層が確認された。１～３地点と分割した３つの調査区では、それぞれ堆積状況に違いがみられた。以下に調査区別に土層の堆積状況について報告する。

層序

Ⅰ層：表土・現代の造成土。３地点では地山の白砂層（Ⅵ層）まで大きく撹乱を受けた箇所もある。

Ⅱ層：暗オリーブ褐色（2.5Y3/3）～オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/4）で、近代～戦前の造成土。１地点では５層、２地点では 12 層に細分され、３地点では確認されていない。一部で上面にて炭層が薄く堆積している箇所が確認された。これは 10・10 空襲を受けた際の堆積土か、あるいは戦前東町一帯で何度か発生した火事の痕跡とも考えられる。また、Ⅱ層の下部では、約５cm 厚の白砂層の広がりが確認された。遺物は、中国産陶磁器の他、沖縄産陶器等、近世以降の資料も出土しているが、量や種類は少ない。

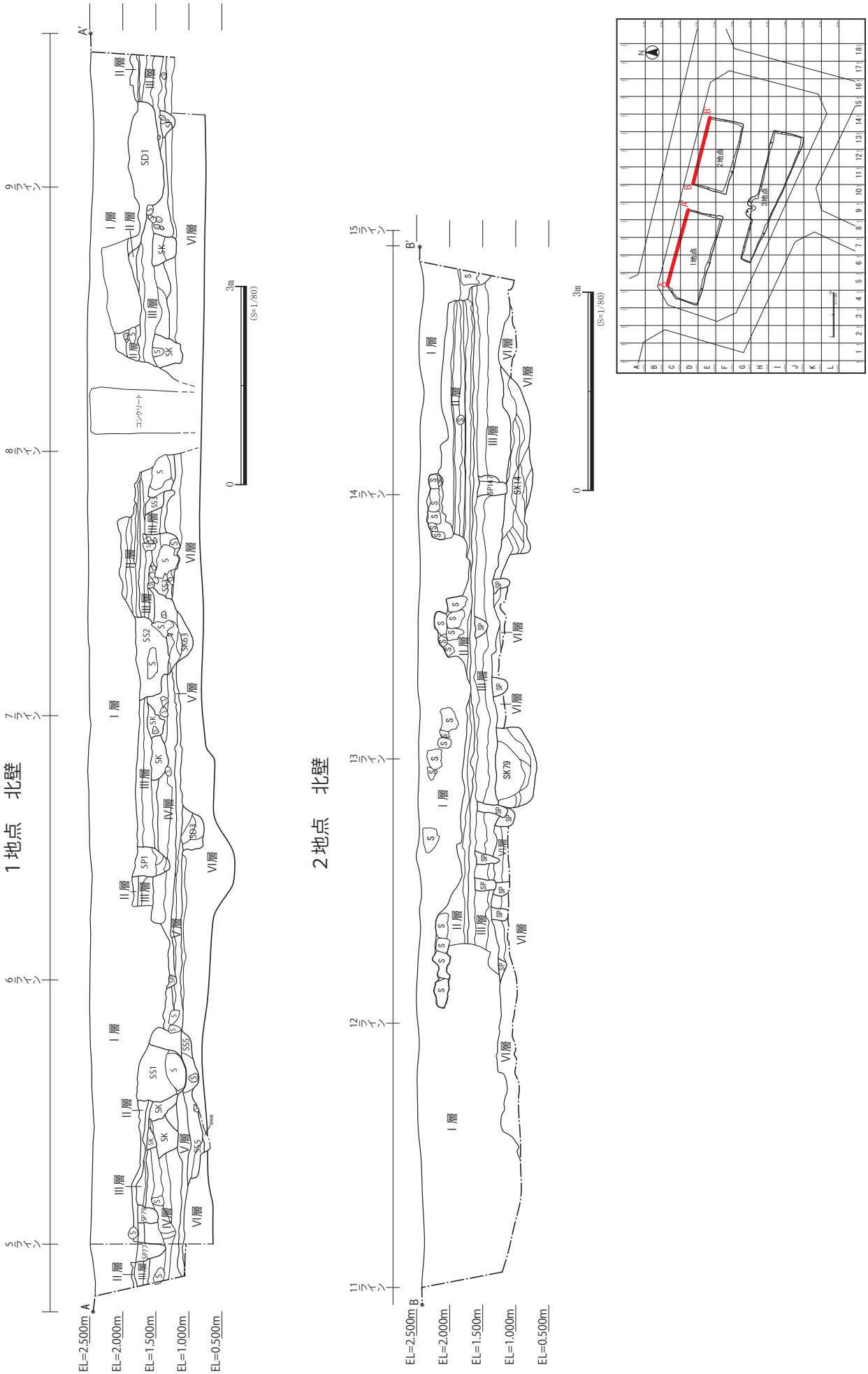
Ⅲ層：暗オリーブ色（Hue5Y4/4）砂質シルト。１地点では５層、２地点では３層、３地点では９層に細分される。１地点から２地点へかけて（東から西方向へ）緩やかに下がっていく。また、３地点では厚く堆積している（最も厚い箇所で約 80cm）。上面は遺構面（第１検出面）。Ⅲ層は清代の中国産陶磁器の他、本土産や沖縄産陶器等、年代的には 15 世紀中頃～ 17 世紀代の遺物が出土しているが、全体的には少ないため主体は 15 世紀後半～ 16 世紀中頃と考えられ、近世期以前の造成土と考えられる。

Ⅳ層：黄褐色（Hue2.5Y5/6）での白砂が混じる層。１地点では４層に細分される。全体的に西から東方向へ緩やかに下がっていく傾向がみられ、３地点の西側では確認されるが、試掘Ｃグリッドを挟んで東側では確認されない。また、２地点でも確認されていない。上面は遺構面（第２検出面）。遺物はグスク時代のものが主体を占め、年代的には 15 世紀前半～中頃を主体とする。

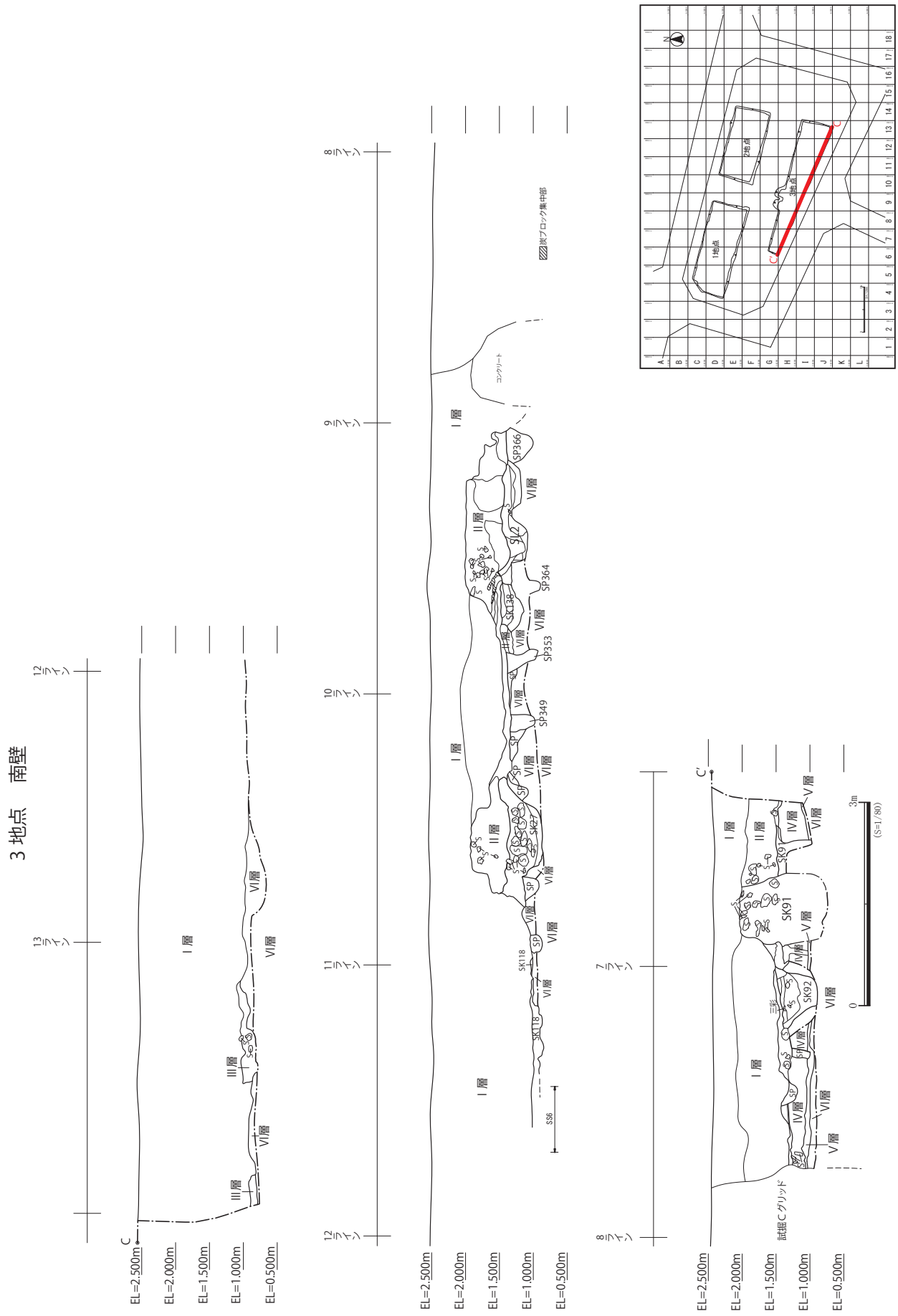
Ⅴ層：黒色混砂土層下層。暗オリーブ色（Hue5Y4/4）砂質シルト。１地点では３層に細分される。１地点及び３地点の西側で確認されるが、東側へいくにつれてみえなくなり、２地点ではみられない。層厚は約 10 ～ 30cm の遺物包含層で、グスク期の遺物が出土している。年代的には 14 世紀中頃～ 15 世紀前半を主体とする。

Ⅵ層：黄褐色 (Hue2.5Y5/6) を呈する白砂層。地山。白砂とサンゴ片がほぼ占め、しまりは強い。１地点における本層上面は第３検出面で、２・３地点における本層上面は第２検出面となっている。遺物はほぼみられない。

Ⅶ層：岩盤。１及び３地点では標高約 70cm から岩盤が検出された。２地点においても岩盤確認のための掘削を行ったが、岩盤が検出される前に湧水がみられたため、掘削を中止した。３地点では、西側では岩盤が確認されたが、東側では確認されなかった。そのため、一部トレンチを設定して岩盤確認のための掘削を行ったところ、Ｈ９グリッドから東側へ向かって急激に落ち込む様相が確認された。よって、全体的に西側から東側（久茂地川方向）に向かって地形が下がる状況が判明した。



第５図　土層断面図（１地点北壁・２地点北壁）



第６図　土層断面図（3 地点 南壁）

1 地点　北壁 1（南から）

1 地点　北壁 2（南から）

1 地点　北壁 3（南から）

1 地点　北壁 4（南から）

1 地点　北壁 5（南から）

1 地点　北壁 6（南から）

1 地点　北壁 7（南から）

1 地点　北壁 8（南から）

図版 2　1 地点 北壁

２地点　北壁１（南から）

２地点　北壁２（南から）

２地点　北壁３（南から）

２地点　北壁４（南から）

２地点　北壁５（南から）

２地点　北壁６（南から）

２地点　北壁７（南から）

２地点　東壁（西から）

図版３　２地点 北壁・東壁

３地点　南壁１（北から）

３地点　南壁２（北から）

３地点　南壁３（北から）

３地点　南壁４（北から）

３地点　南壁５（北から）

３地点　南壁６（北から）

３地点　南壁７（北から）

３地点　南壁８（北から）

図版４　３地点 南壁

第３節　遺構

那覇市市民文化部文化財課による試掘調査では、グスク時代から近世期、近代（戦前）の堆積層とともに各期の遺構が報告されていたことから、遺構検出面が複数となることが想定された。今回の調査では、Ⅱ層（近世～近代）を重機により掘削し、Ⅲ層（グスク時代）上面に検出された遺構（第１検出面）からを調査対象とした。

１地点　最初の調査区となった１地点では、第１検出面の調査を進めつつ、試掘結果も踏まえたⅠ～Ⅶ層の基本層序を設定した。第１検出面の遺構調査を終え、Ⅲ層掘削後にⅣ層上面で遺構が検出された（第２検出面）。そして、第２検出面の遺構調査後、Ⅳ層・Ⅴ層を掘削したところ、地山のⅥ層上面に遺構が検出された（第３検出面）。最終的に、１地点ではⅢ層上面（第１検出面）・Ⅳ層上面（第２検出面）・Ⅵ層上面（第３検出面）で遺構が検出され、遺構面は３面となった。その後の２・３地点の調査では、１地点で確認された基本層序と各検出面を対応させている。第３検出面は１地点のみで確認されている。

２地点　１地点と同様にⅢ層上面で遺構が検出された（第１検出面）。２地点にはⅣ・Ⅴ層はみられず、Ⅲ層以下のⅥ層上面に遺構が確認されている（第２検出面）。

３地点　３地点は、近代（大正～昭和初期）に路面電車が敷設されていた範囲にあたり、３地点より南東側の試掘坑（G グリッド）では線路とみられる構造物が検出されている。この構造物とその周辺については、工事による影響範囲外とされ、現地保存されることとなった。そのことから、３地点の表土掘削時には、上述の路面電車に係る構造物がないか慎重に行ったが、関連しそうな構造物は確認できなかった。また、３地点は撹乱によりⅢ層の残りが悪く、Ⅵ層上面で遺構検出を行ったため、時期が異なる遺構が同一面で検出されることとなった。遺構の切り合い関係や出土遺物から、１・２地点の第１検出面の遺構と第２検出面の遺構にそれぞれ対応させた。

第１検出面（近世～近代）

第１検出面の遺構は、１・２地点ではⅢ層上面で検出され、建物跡（ピット）や土坑、方形石組遺構、溝状遺構、井戸跡、石列、獣骨集積等が確認された。遺構の時期は、近世期と近代（戦前）に大きく分けられる。

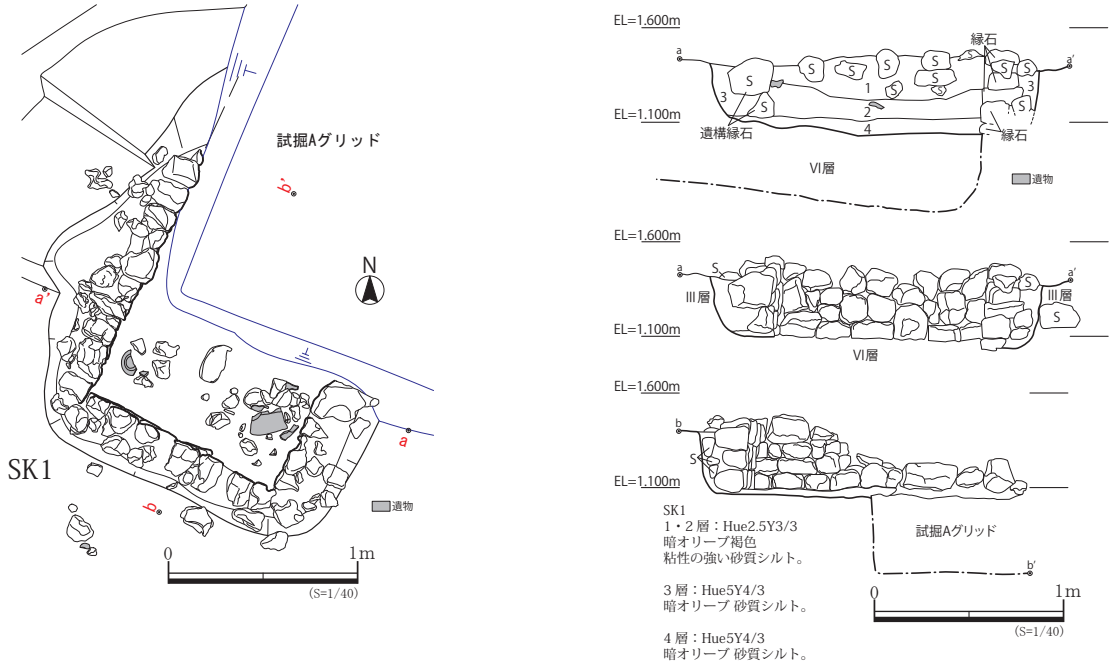
図版５　第１検出面の遺構検出状況　１地点（南から）

近世の遺構

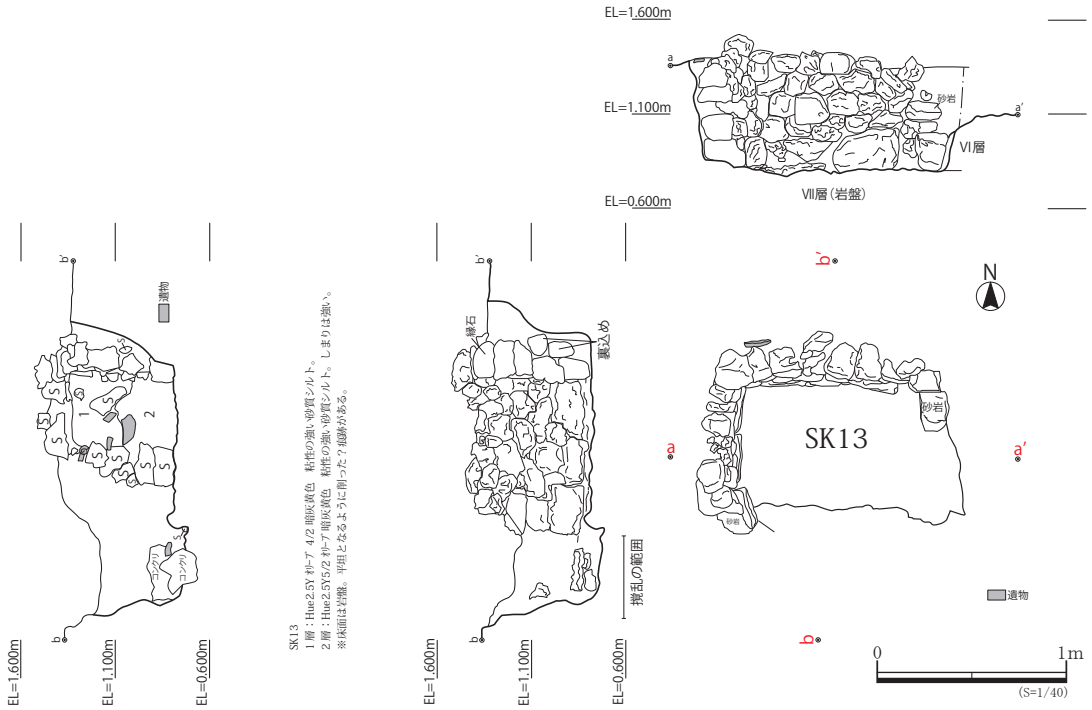
方形石組遺構（SK1、13、19、86 ～ 89）

方形石組遺構は、石灰岩の切石を方形状に配するもので７基検出された（第８図）。なかでも３地点のSK86 ～ 89 は北西 － 南東方向（北 60 度西）に、ほぼ等間隔で並んでいる。

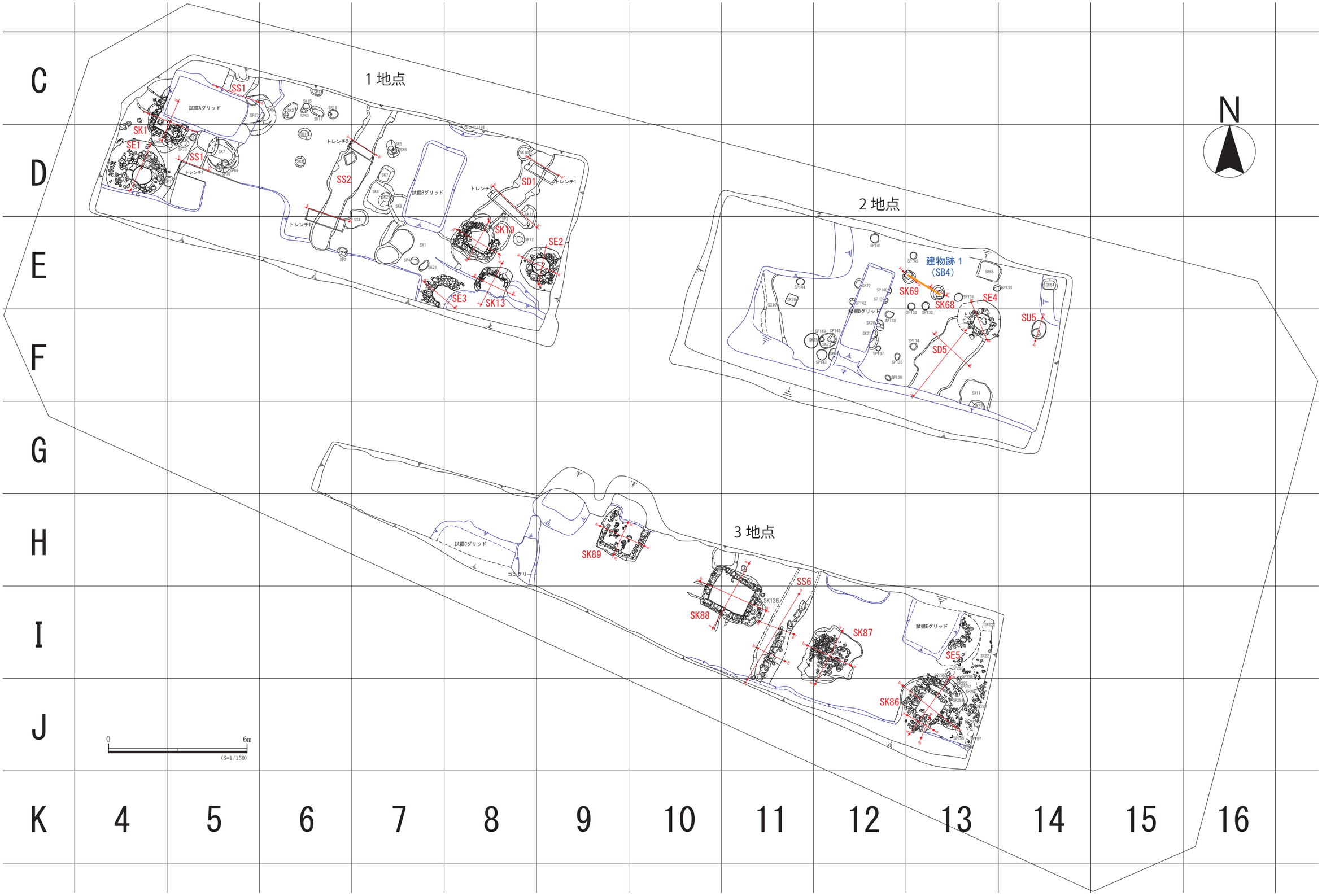
SK1　１地点Ｃ４・Ｄ４・Ｄ５グリッドに位置する。規模は残存する南壁の石組内側で 110cm、石積みは最大 40cm(四段)残存する。石積みは相方積みである。北側は試掘坑にかかったために残存していない。石組内の埋土は４層に分けられ、暗オリーブ～暗オリーブ褐色土で粘質が強い。床面はⅥ層である。



SK13　１地点Ｅ８グリッドに位置する。遺構検出時は土坑として認識され、全体を一段掘り下げたところ、方形の石組を検出した。規模は石組内で約 100 ×（70）cm、石積みは最大 70cm（五段）残存する。石積みは相方積みである。南東側は撹乱を受け欠損している。石組内の埋土は３層に分けられ、オリーブ褐色～暗灰黄色土で粘質が強い。床面は岩盤である。



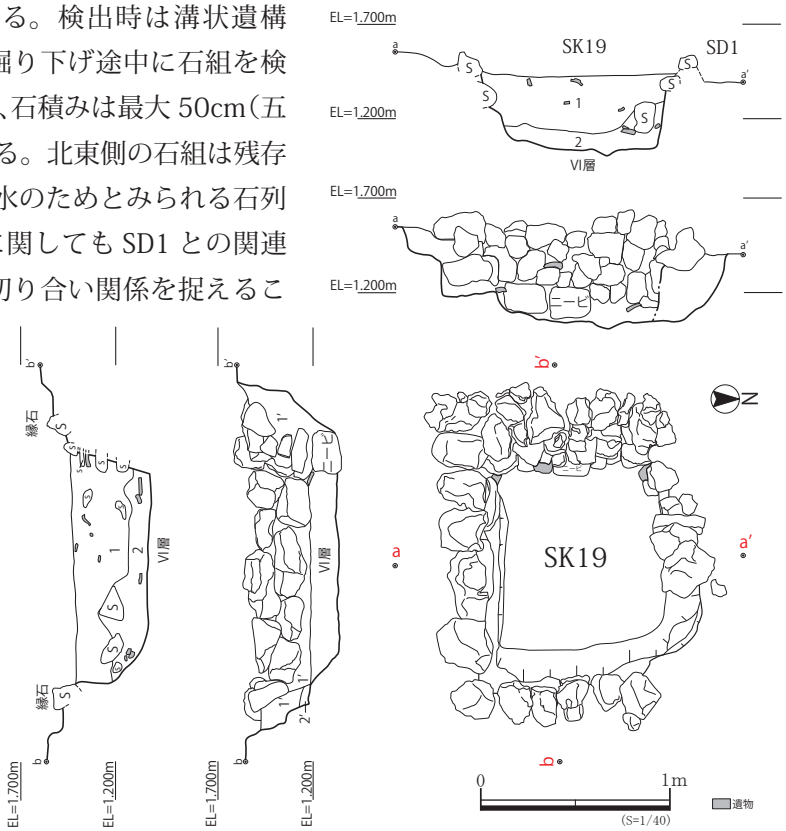
第７図　第１検出面の遺構１



第８図　第１検出面　全体遺構図（１～３地点）

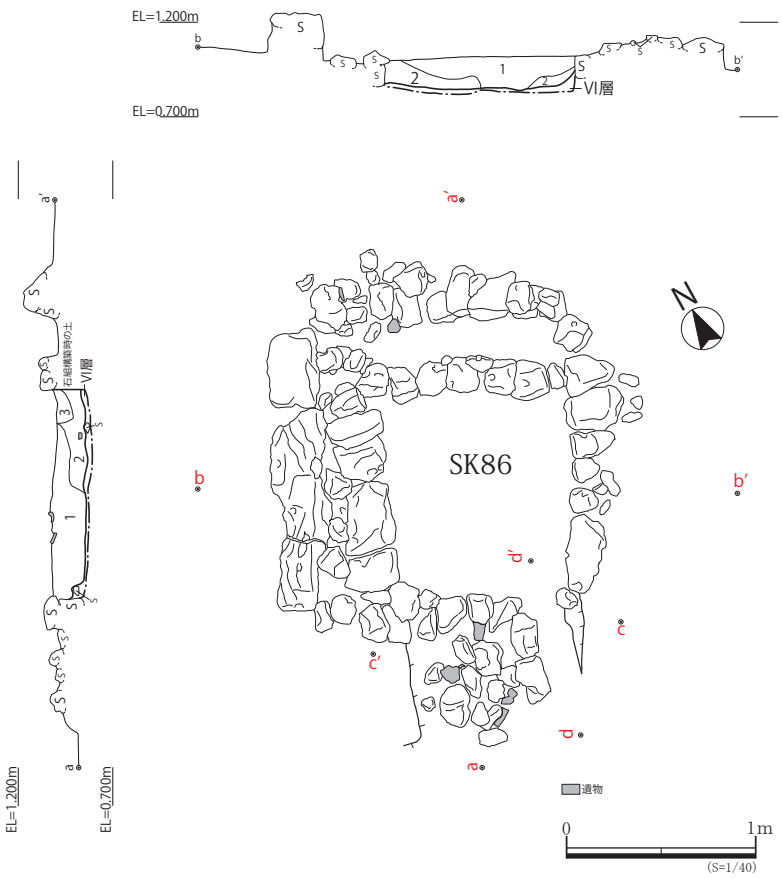
SK19　１地点Ｅ８グリッドに位置する。検出時は溝状遺構（SD1）の一部として捉えていたが、掘り下げ途中に石組を検出した。規模は石組内で 130 × 90cm、石積みは最大 50cm（五段）残存する。石積みは相方積みである。北東側の石組は残存していないが、後述する SK86 には排水のためとみられる石列が付属していることから、当該遺構に関しても SD1 との関連が窺えるものの、調査では SD1 との切り合い関係を捉えることが出来なかった。石組内の埋土は２層に分けられ、灰色の粘質土で遺物を含む。床面はⅥ層であり、石組内南～東側に石組を構築するための段状の掘り込みがみられる。遺構内出土遺物として、沖縄産陶器や中国産、本土産等の陶磁器類のほか、獣骨ではイノシシ / ブタが多く、その他、牛の角芯が出土している。

また、本遺構の２層（下層）から出土した炭化材について、放射性炭素年代測定を行った結果、230 ± 20BP（17 世紀中頃以降）の値が示された。詳細は第５章に記載する。

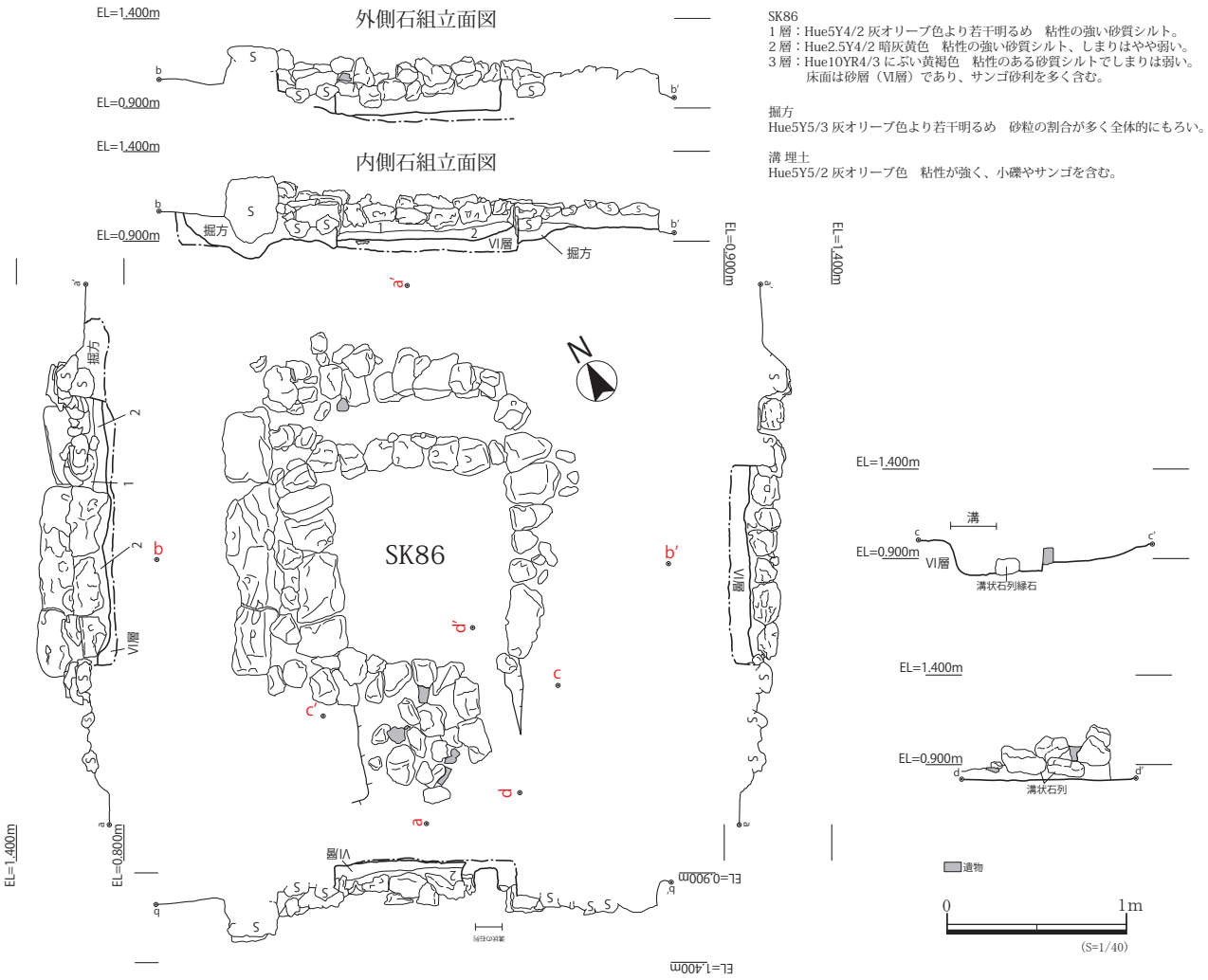


SK19
1 層：Hue5Y4/1 灰色　粘質シルト炭粒・砂粒が多く、人工・自然遺物などを含む。　2 層：1 層より砂粒が多い。
堀方
1' 層：Hue5Y4/1 灰色　砂質シルト　2' 層：Hue2.5Y5/4 黄褐色　サンゴ混じりの層。

SK86　３地点 J13 グリッドに位置する。規模は石組内で 150 × 140cm、石積みは最大 20cm（一段）残存する。北～西側石組は二重に石組みが配されている。この石組の構造について、内側の石組を支えるためなどの可能性、あるいは当初は外側の石組を巡らせていたが、その後、規模を縮小して築き直した可能性等も考えられる。しかしながら、石組は一段のみ残存のため不明である。また、石組内南東側には溝状に石列が構築されており、排水のための施設として考えられる。東側の石列は残存してないが、確認された掘り込みから想定される溝の幅は約 20cm である。石組内の埋土は３層に分けられ、１層は粘質の強い灰オリーブ色土である。床面はⅥ層である。



第９図　第１検出面の遺構２

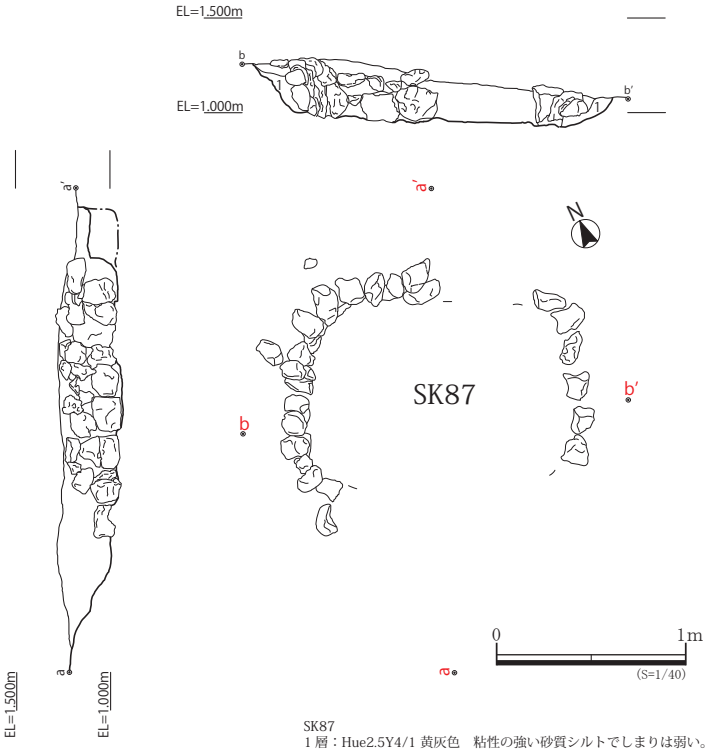


SK86
1 層：Hue5Y4/2 灰オリーブ色より若干明るめ　粘性の強い砂質シルト。
2 層：Hue2.5Y4/2 暗灰黄色　粘性の強い砂質シルト、しまりはやや弱い。
3 層：Hue10YR4/3 にぶい黄褐色　粘性のある砂質シルトでしまりは弱い。
床面は砂層（VI層）であり、サンゴ砂利を多く含む。

掘方
Hue5Y5/3 灰オリーブ色より若干明るめ　砂粒の割合が多く全体的にもろい。

溝 埋土
Hue5Y5/2 灰オリーブ色　粘性が強く、小礫やサンゴを含む。

SK87　３地点 I12 グリッド、SK86 の北西側に位置し、SK86 との距離は約 2.5 mである。本遺構は石組みの残りが悪く、検出時は石組みのプランを検出できなかった。当該遺構の北西側・南東側に同規模の方形石組遺構が検出されていたことから、当該遺構も同様なものと想定されたため、遺構半裁時に慎重に石を取り上げながら掘削したところ、北側半分で石組みを検出した。規模は石組み内側で 140 ×（100）cm、石積みは最大 20cm（三段）残存する。石組内の埋土は粘質の強い灰オリーブ色土で、石組み内に転石が多く含まれる。床面はVI層である。



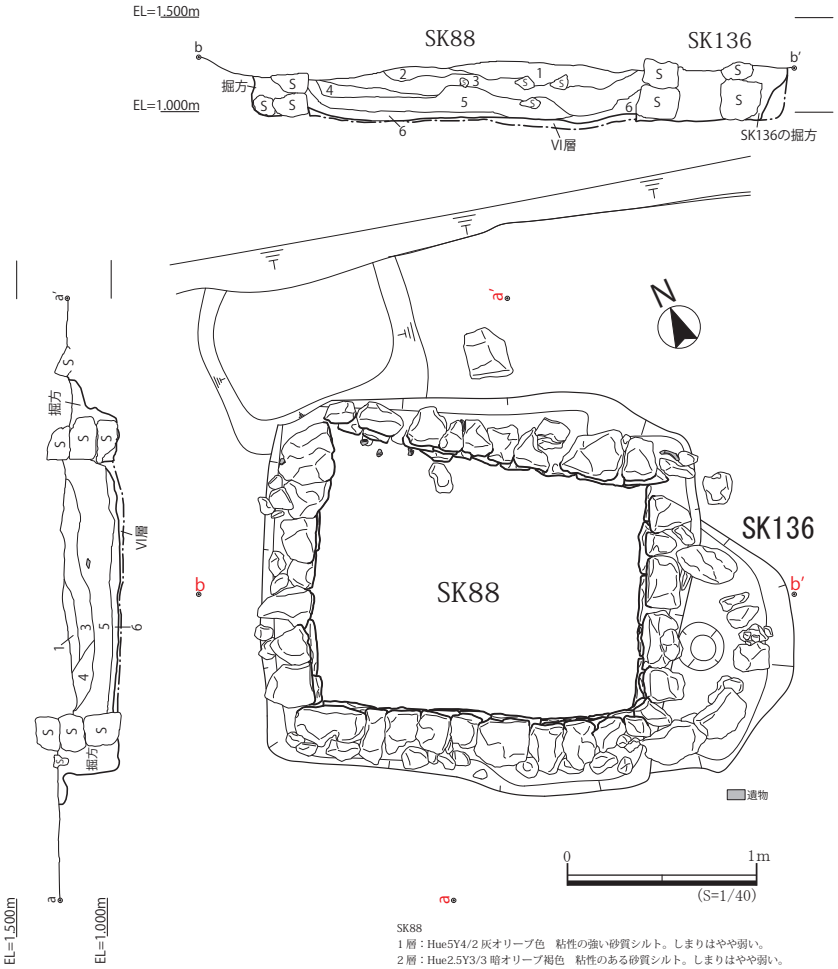
SK87
1 層：Hue2.5Y4/1 黄灰色　粘性の強い砂質シルトでしまりは弱い。

第 10 図　第 1 検出面の遺構 3

SK88　３地点H10～I11グリッド、SK87の北西側に位置し、SK87との距離は約３ｍである。規模は石組み内側で175×140cm、石積みは最大20cm（三段）残存する。東側で円形石組（SK136）を切って構築されている。また、北側では土坑（SK137）を切る。この円形石組や土坑は第２検出面（グスク時代）の遺構である。

石組内の埋土は６層に分けられ、粘質の強い灰オリーブ色～暗オリーブ褐色土で、遺物を多く含む。床面はⅥ層である。

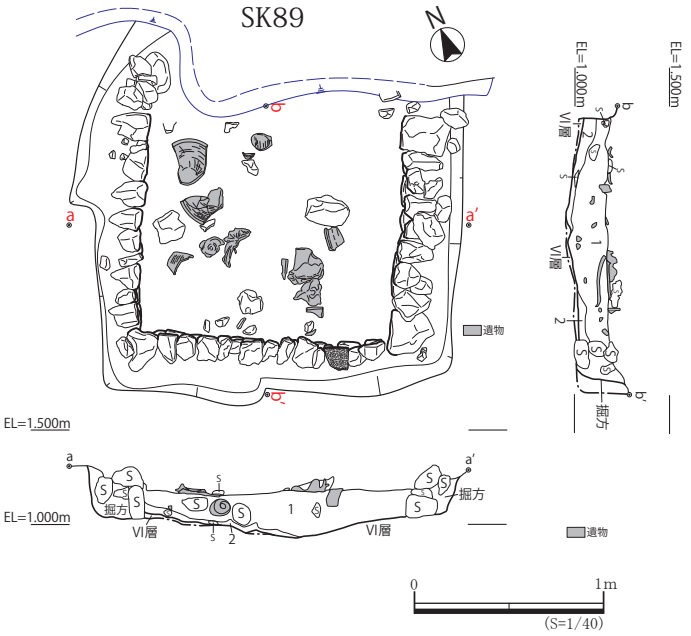
SK136　３地点I11グリッドに位置する。規模は石組内で幅約80cm、石積みは最大45cm（三段）残存する。石積みには石灰岩の切石を用いている。前述したが、西側は第１検出面の方形石組（SK88）に切られる。石組内の埋土は３層に分けられ、粘質の強いオリーブ褐色～黄灰色土で、SK88構築に伴う埋め土の可能性もある。床面はⅥ層である。



SK88
1層：Hue5Y4/2 灰オリーブ色　粘性の強い砂質シルト。しまりはやや弱い。
2層：Hue2.5Y3/3 暗オリーブ褐色　粘性のある砂質シルト。しまりはやや弱い。
3層：２層より粘性の強い砂質シルト層、しまりはやや強い。
4層：Hue2.5Y4/3 やや暗いオリーブ褐色　やや粘性のある砂質シルト。しまりはやや弱い。
5層：Hue2.5Y3/3 暗オリーブ褐色　粘性の強い砂質シルト。しまりはやや強い。
6層：Hue5Y4/2 やや暗い灰オリーブ色　粘性の強い砂質シルト。しまりはやや弱い。
※粘質の層と砂質の層が交互に堆積している。
掘方：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　粘性あり。

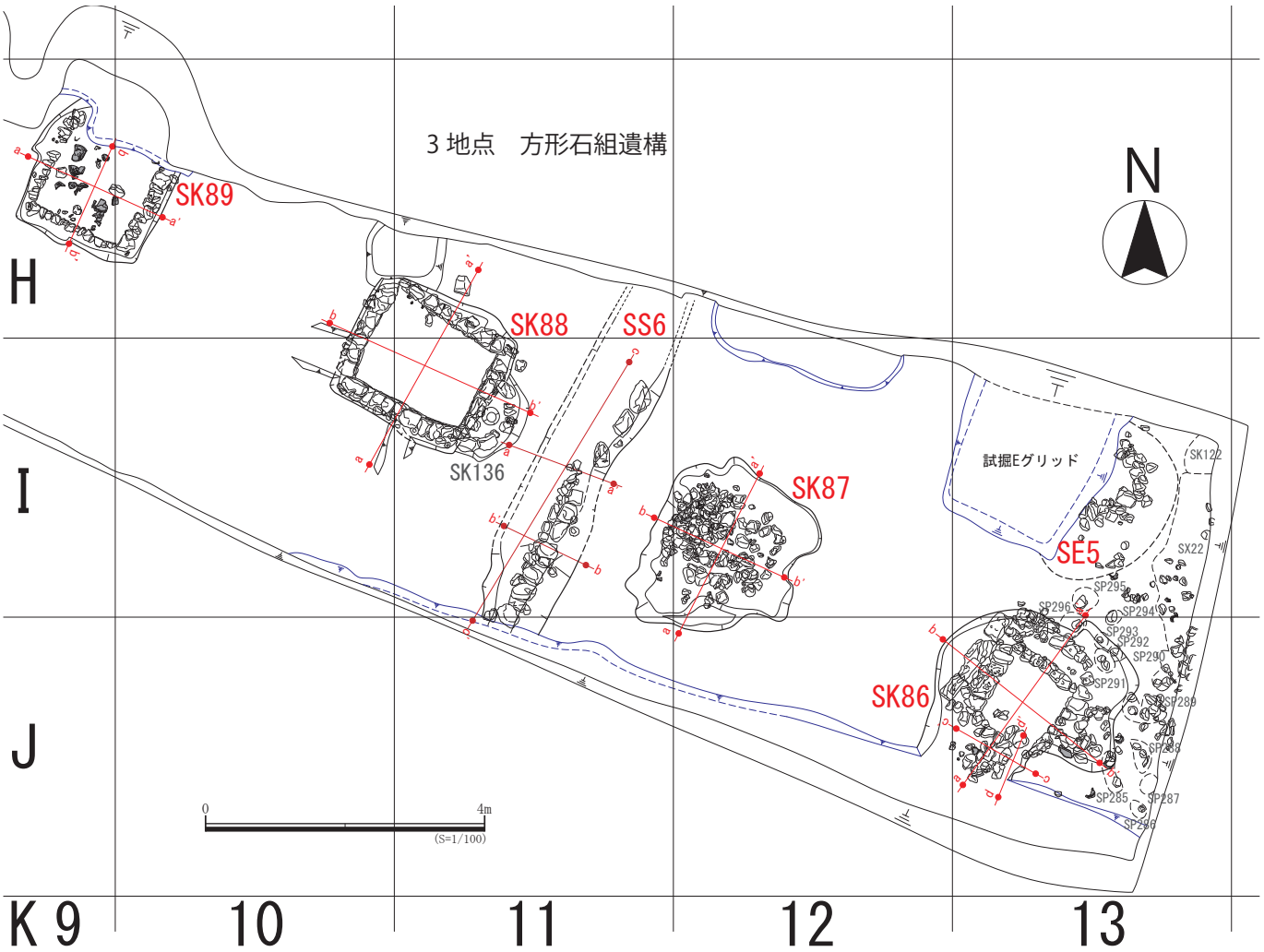
SK88とSK136の切合関係により、方形石組遺構と円形石組遺構の新旧関係がうかがえ、重要である。

SK89　３地点H９・10グリッド、SK88の北西側に位置し、SK88との距離は約3.2ｍである。規模は石組み内側で140cm、石積みは最大30cm（三段）残存する。北側の石組は残存していない。石組内の埋土は２層に分けられ、粘質の強い暗灰黄色で遺物を多く含む。床面はⅥ層である。



SK89
1層：Hue2.5Y4/2 暗灰黄色　粘性の強い砂質シルトでしまりは強い。
2層：Hue2.5Y4/2 暗灰黄色　粘性のやや強い砂質シルトでしまりはやや強い。
※遺物は１層に集中している。
※石は白砂層（Ⅵ層）からすえている。
掘方
Hue5Y4/4 オリーブ色、粘性が強い。

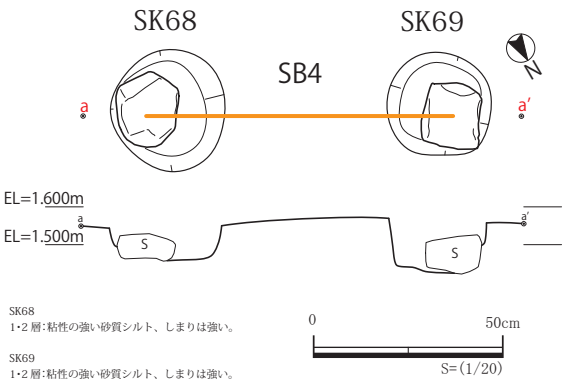
第11図　第１検出面の遺構４



ピット群・土坑

Ⅲ層上面ではピットや土坑が検出された（第８図）。検出されたピットの殆どは、明確な建物のプランは想定できなかった。土坑は、平面形が楕円状や方形状を呈するが、性格は不明なものが多い。

建物跡１（SB4）　２地点 E13 グリッドに位置する。隣接した柱穴内から地下式礎石が検出されたため、これらは同じ建物を構成する柱穴と考えられ建物プランとした。建物の規模・構造は不明である。SK68 は規模 60 × 60cm、礎石の大きさは約 40 × 30cm で上面は平坦を呈する。SK69 は規模 50 × 50cm、礎石の大きさは約 40 × 30cm で SK68 同様に上面は平坦を呈する。SK68・69 ともに、断面で柱痕は確認できなかった。

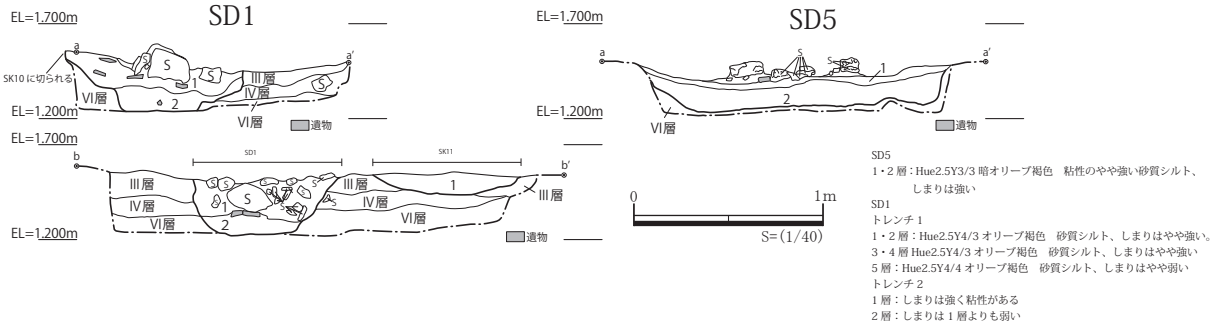


第 12 図　第１検出面の遺構５

溝状遺構（SD1・5）

SD1　１地点Ｄ８～E8 グリッドに位置する。北壁から方形石組（SK19）まで北東‐南西方向（北 40 度東）に延びるもので、方形石組との関連を窺えるものの、調査では SK19 との切り合い関係を捉えることが出来なかった。埋土はオリーブ褐色の砂質土で遺物を多く含む。遺構内からは中国産陶磁器や沖縄産陶器、貝、獣骨等が多量に出土している。SD1 からは牛の角が４本出土した（図版 86）。

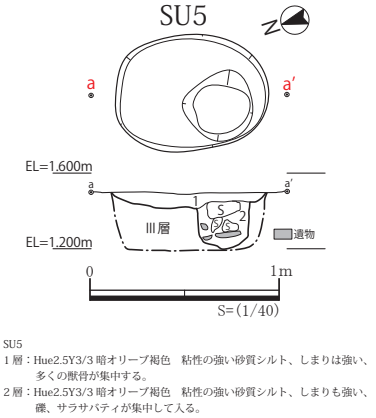
SD5　２地点 F13 グリッドに位置する。井戸（SE4）から南壁に向かって北東‐南西方向（北 40 度東に延びる。SE4 に切られる。埋土は暗オリーブ褐色の砂質土で遺物を多く含む。



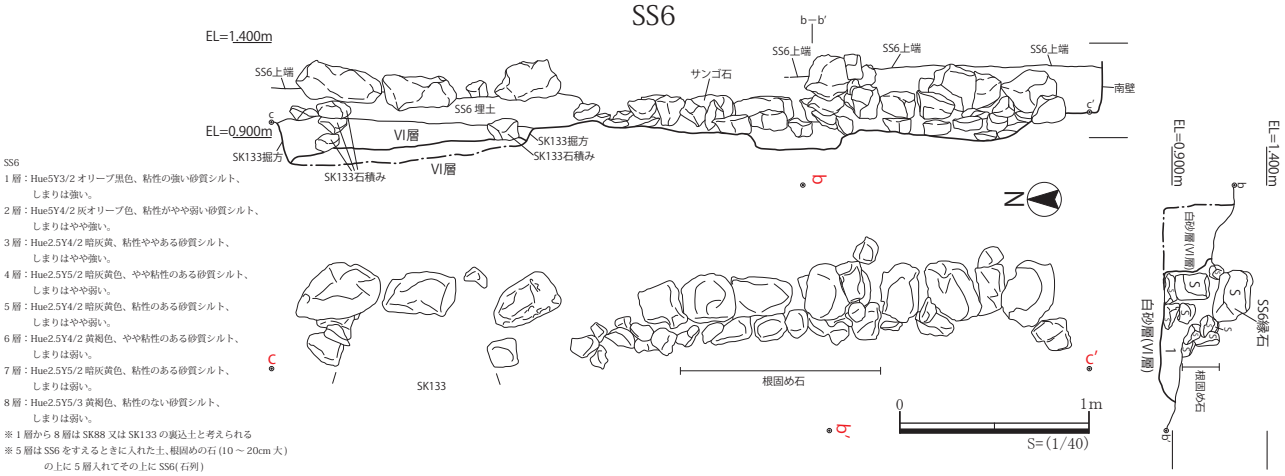
獣骨集積遺構（SU5）　２地点 F14 グリッドに位置する。Ⅲ層上面で獣骨が集中する範囲として検出された。平面形は楕円形で規模は 80 × 60cm、深さ約 10cm で浅い。直下でピットを切る。本遺構からは、イノシシ / ブタやウシの獣骨がみられ、特にイノシシ / ブタの幼獣が４個体分出土している。獣骨は主に１層からの出土で、２層では貝が多く出土している（第１表）。

第１表　SU5 貝出土表

SU5			
種名		残存部	点数
巻貝	サラサバテイ	殻頂	1
	サラサバテイ	体層	4
	サラサバテイ	破片(体層)	11
	サラサバテイ	破片(下層)	8
	サラサバテイ	破片	12
	チョウセンサザエ	破片	1
	ヤコウガイ	破片	4
	ヤコウガイ	螺肋	2
	ヤコウガイ蓋	完形	1
	ハナマルユキ	殻頂	1
二枚貝	エガイ	完形(L)	1
	ｲﾀﾎﾞｶﾞｷ科不明	殻頂(R)	1
合計			47



石列（SS6）　３地点 I11 グリッドに位置する。石灰岩切石を西面させ、北東－南西方向（北 27 度東）に配するもので、全長 4.2 m、幅 40cm である。北側で第２検出面の円形石組（SK133）を切る。方形石組（SK87・88）間を仕切るような位置関係にあるが、方形石組との関係は不明である。



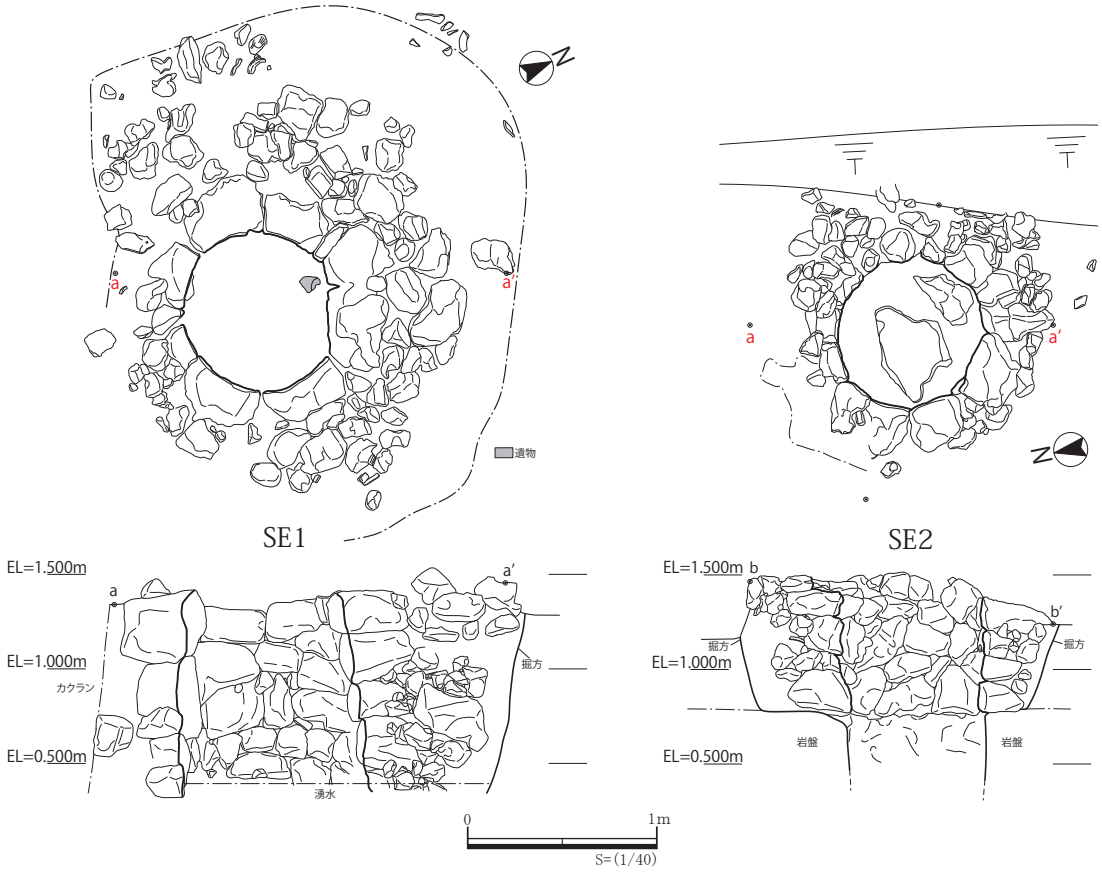
第 13 図　第１検出面の遺構６

井戸跡（SE1 ～ 5）

井戸は１～３地点で５基確認されている（第８図）。岩盤から石灰岩切石を相方積みで丁寧に積んでおり、漆喰により目張りするもの（SE4）もある。また、比較的石積みが雑なもの（SE3）もある。

SE1　１地点Ｄ４グリッドに位置する。石灰岩の切石を相方積みで丁寧に積んでいる。井戸の直径は80cm である。井戸の断割りを行った際、検出面より１ｍ下の地点で水が湧き掘削を中止したため、石積みの底は確認できていない。

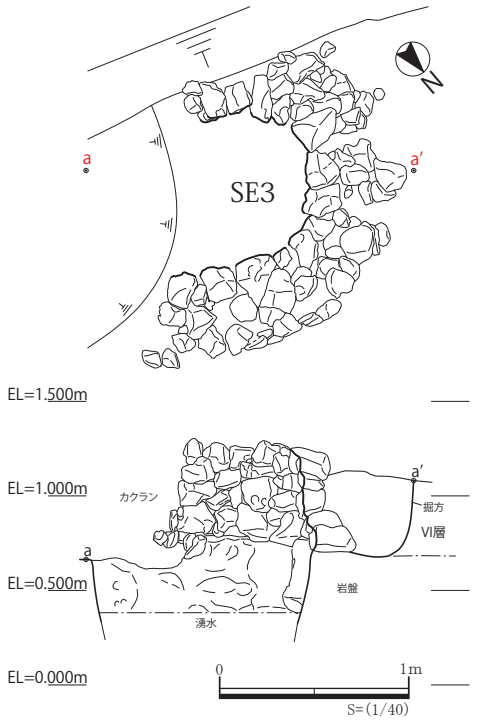
SE2　１地点Ｅ８・９グリッドに位置する。石灰岩切石を岩盤から相方積みで丁寧に積み、目張りとての小礫とともに赤瓦の破片が含まれている。井戸の直径は約 80cm である。岩盤は、石積みの直径に合わせて掘り込まれている。

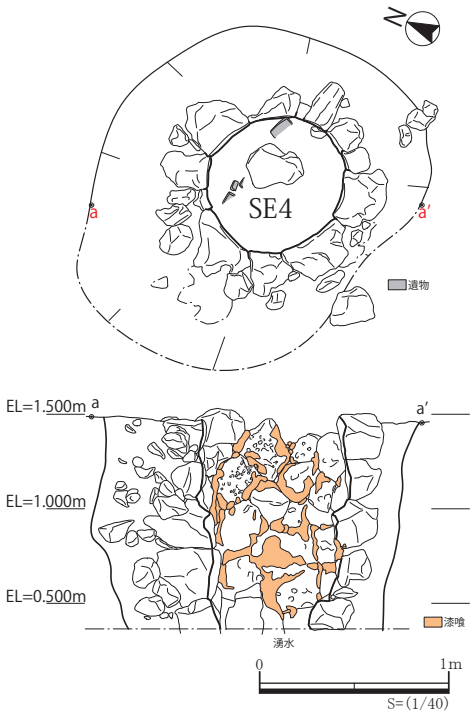


SE3　１地点Ｅ７・８グリッドに位置する。石灰岩切石を岩盤から相方積みで積む。SE1・2 より比較すると、切石は小さくやや雑な積み方となる印象を受ける。東側の石積みは撹乱により残存していない。井戸の直径は約 80cm である。SE2 と同様に、岩盤は石積みの直径に合わせて掘り込まれている。

SE4　２地点 F13 グリッドに位置する。石灰岩切石を相方積みで丁寧に積み、井戸内を漆喰により目張りしている。井戸の直径は約 80cm である。SE １と同様、井戸の断割りを行った際に、検出面より 1.2 ｍ下の地点で水が湧き掘削を中止したため、石積みの底は確認できていない。さらに、井戸内（検出面により１ｍ下の地点）からは、手榴弾等の不発弾が出土した。

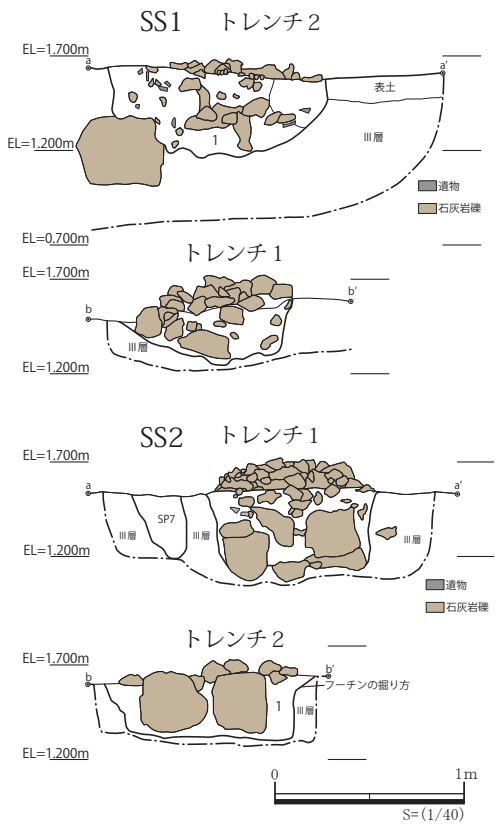
第 14 図　第１検出面の遺構７





近代（戦前）の遺構

SS1・2　SS1 は１地点Ｃ５・Ｄ５グリッド、SS2 は１地点Ｃ７～Ｅ６グリッドで検出された。ともに北東 - 南西方向に延びるもので、石灰岩の礫が詰められていた。遺構内からは、礫とともに沖縄産陶器やタイルが出土した。近代（戦前）の建物基礎部分（フーチン）と考えられる。



SS1
トレンチ１
レンガ等の新しい遺物が出土。戦前のフーチンと思われる。
試掘Ａグリット北壁
１層：2.5Y3/3 暗オリーブ褐色　砂質シルト。
SS2 や SS1 トレンチ１とは埋土が異なるため元々あった溝状遺構を利用して、上部にフーチンを構築したものと考えられる。

SS2
トレンチ１
赤レンガや赤瓦が出土、戦前のフーチンと思われる。
トレンチ２
１層：オリーブ褐色土 (Hue2.5Y4/4) 砂質シルト。
戦前のフーチンの掘方。

第 15 図　第１検出面の遺構８

SS1　トレンチ１　断面（南から）

SS2　トレンチ２　断面（南から）

1 地点　第 1 検出面　遺構完掘状況（西から）

2 地点　第 1 検出面　遺構完掘状況（東から）

3 地点　第 1 検出面　SK86 ～ 89・SS6（西から）

図版６　第１検出面の遺構　完掘状況

１地点　SK1　断面（北から）

１地点　SK1　床面検出状況（北から）

１地点　SK1　掘方断面（東から）

１地点　SK13　断面（南東から）

１地点　SK13　掘方断面（南から）

１地点　SD1・SK19　検出状況（西から）

１地点　SK19　1/4 半裁（南から）

１地点　SK19　床面検出状況（南から）

図版７　第１検出面の遺構１

３地点　SK86　床面検出状況（南から）

３地点　SK86　D-D' ライン（東から）

３地点　SK86　内側石積断割状況（東から）

３地点　SK87　検出状況（南から）

３地点　SK87　検出状況（東から）

３地点　SK88　1/4 半裁断面（北東から）

３地点　SK88・136　切り合い状況（北から）

３地点　SK136　断面（北から）

図版８　第１検出面の遺構２

３地点　SK89　検出状況（北から）

３地点　SK89　床面検出状況（北から）

２地点　SK68　断面（北から）

２地点　SK69　断面（北から）

１地点　SD1　トレンチ１断面（南から）

２地点　SD5　断面（北から）

２地点　SU5　断面（西から）

３地点　SS6　検出状況（南西から）

図版９　第１検出面の遺構３

１地点　SE1　検出状況（西から）

１地点　SE1　断割状況（東から）

１地点　SE2　検出状況（東から）

１地点　SE2　検出状況（西から）

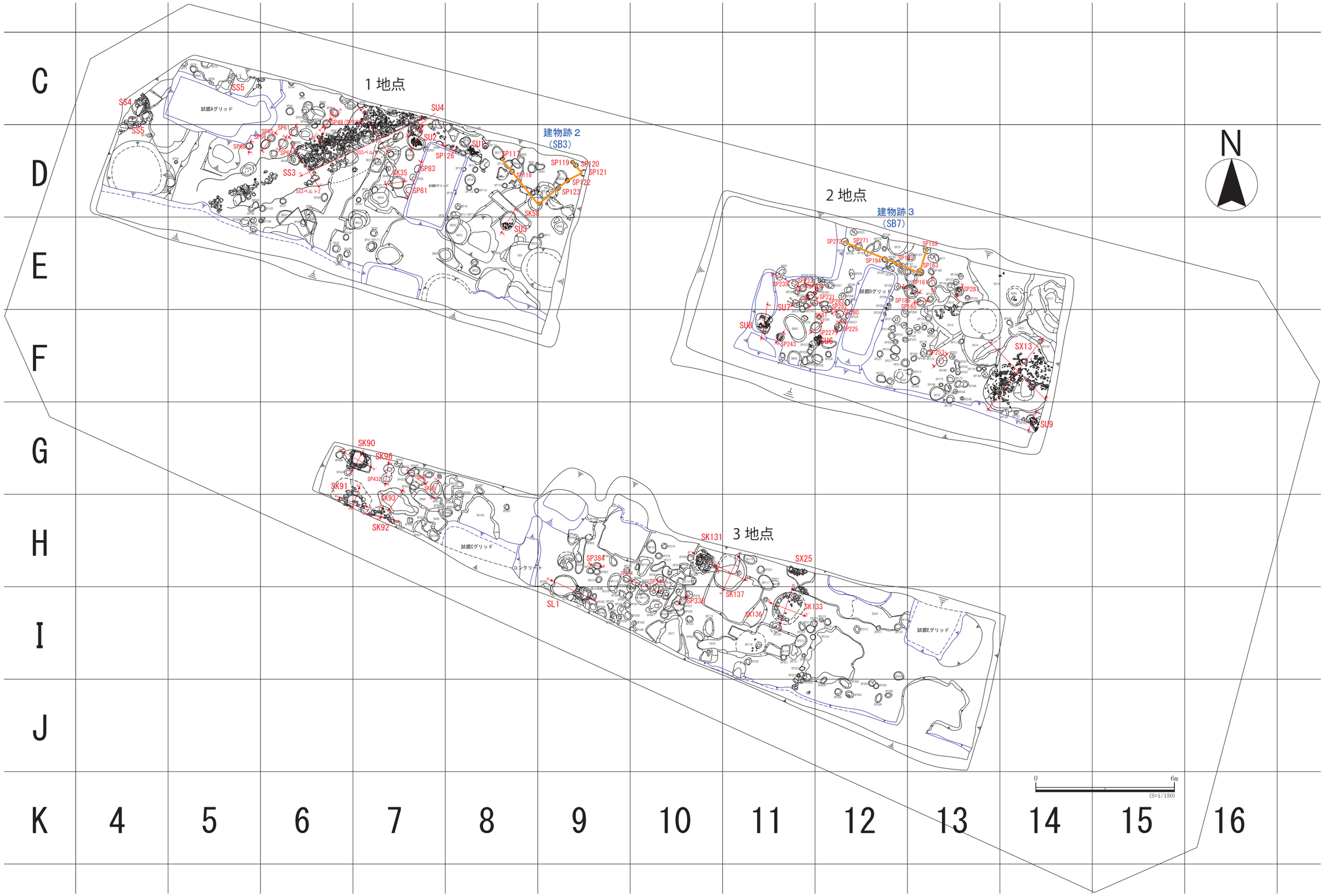
１地点　SE3　検出状況（南から）

１地点　SE3　断割状況（北から）

２地点　SE4　断割状況（西から）

２地点　SE4　断割状況（西から）

図版 10　第１検出面の遺構４



第 16 図　第２検出面　遺構全体図（１～３地点）

第２検出面（グスク時代）

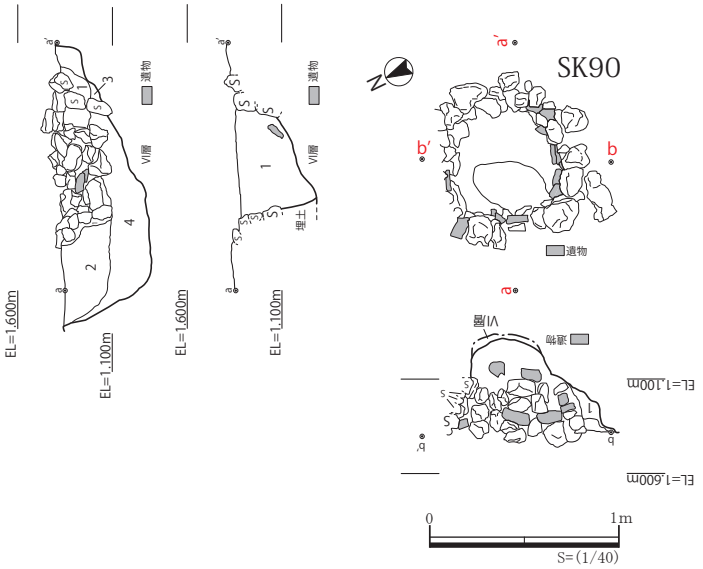
第２検出面の遺構は、Ⅲ層以下で確認されるもので、１地点ではⅣ層上面、２・３地点ではⅥ層上面で検出された。最も遺構密度の高い検出面である。遺構は、建物跡（ピット）や土坑、円形石組遺構、石列、窯跡、貝集積、集石遺構、廃棄土坑等が確認された。Ⅲ層の途中から掘り込んでいる遺構もあったが、調査の工程上、本来の検出面で捉えきれていない遺構もある。さらに、切りあう遺構が多く、また第１検出面の遺構による撹乱を受けているものもあり、検出面を厳密にとらえきれていない遺構も多い。第２検出面の遺構は、出土遺物からは個々の遺構で時期差が認められ、一部、16 世紀以降と考えられる遺構もみられるが、そのほとんどは 15 ～ 16 世紀代の年代幅に収まるものと考えられる。

円形石組遺構（SK90 ～ 92、133、136）

円形石組遺構は、石灰岩の切石または未加工の礫を円形状に配するもので６基検出された（第 16 図）。岩盤を掘り抜いていないため、井戸とは区別できる。３地点のＧ６～Ｈ７グリッドでは３基（SK90 ～ 92）がまとまって検出された。

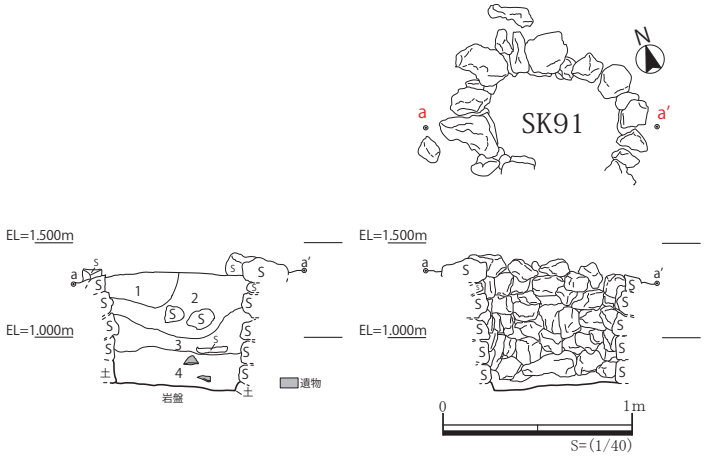
SK90　３地点Ｇ６・Ｇ７グリッドに位置する。規模は石組内で 60 × 50cm、石積みは最大 30cm（四段）残存する。石積みには、石灰岩の未加工の礫や珊瑚塊、塼、瓦を使用している。石組内の埋土は、粘質の強い灰オリーブ色土である。床面はⅥ層である。

SK90
1 層：Hue5Y4/2 灰オリーブ色　粘性の強い砂質シルト、締りは強い。
東西ライン
掘方
1 層：Hue2.5Y4/2 暗灰黄色　粘性の強い砂質シルトで締りは強い、砂粒、炭粒、貝片、焼土粒を含む、砂粒の割合がやや多い、石積が入る層
2 層：Hue2.5Y4/2 暗灰黄色　やや粘性の強い砂質シルトでしまりは強い。
3 層：Hue2.5Y5/3 黄褐色　粘性の強い砂質シルトでしまりはやや弱い。
4 層：Hue2.5Y4/2 暗灰黄色　粘性の強い砂質シルトでしまりは強い。



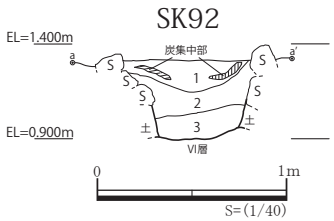
SK91　３地点Ｇ６～Ｈ７グリッドに位置する。規模は石組内で幅約 70cm、石積みは最大 60cm（七段）残存する。石積みには石灰岩の切石を用いている。石組内の埋土は４層に分けられ、粘質の強い灰オリーブ色土である。床面は岩盤である。石組内底部からは、中国産褐釉陶器壷の口縁～肩部片（第 47 図 307）が上向きの状態で出土した。

SK91
1 層：Hue5Y5/2 灰オリーブ色　粘性の強い砂質シルト、しまりは強い。
2 層：Hue5Y4/2 灰オリーブ色　粘性の強い砂質シルト、しまりはやや弱い。
3 層：Hue5Y4/2 灰オリーブ色　粘性の強い砂質シルト、しまりは弱い。
4 層：Hue5Y4/2 灰オリーブ色より若干明るめ　粘性の強い砂質シルト、しまりは弱い。



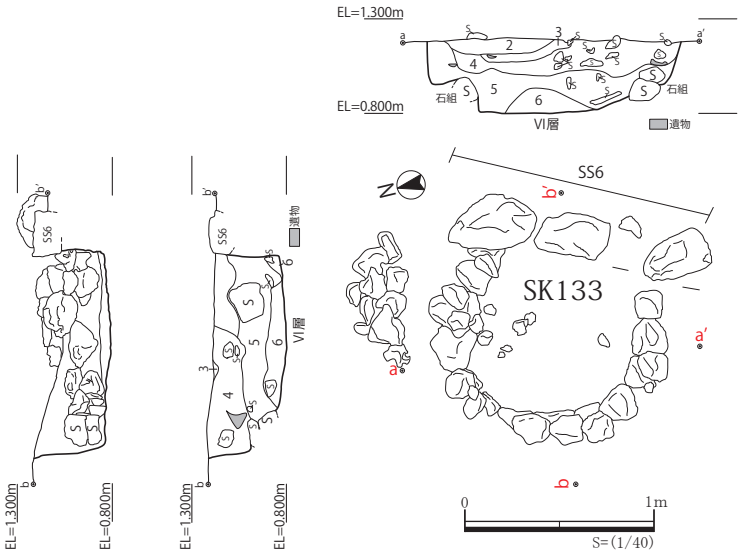
第 17 図　第２検出面の遺構１

SK92　３地点Ｈ７グリッドに位置し、SK91 の東に隣接する。規模は石組内で幅 65cm、石積みは最大 30cm（三段）残存する。石積みには石灰岩の切石を用いている。石組内の埋土は３層に分けられ、粘質の強い灰オリーブ色土である。床面は岩盤である。石組内からは、中国産緑釉陶器瓜形水注（第 47 図 311）が出土した。



SK92
１層：Hue5Y4/2 灰オリーブ色　粘性の強い砂質シルト、しまりはやや弱い、炭ブロックの割合が多い。
２層：Hue5Y4/2 灰オリーブ色　粘性の強い砂質シルト、しまりはやや強い。
３層：Hue5Y4/2 灰オリーブ色より若干明るめ　粘性の強い砂質シルト、しまりはやや弱い。

SK133　３地点 I11 グリッドに位置する。規模は石組内で幅 80cm、石積みは最大約 30cm（三段）残存する。石積みには石灰岩の切石を用いている。東側は第１検出面の石列（SS ６）に切られる。石組内の埋土は６層に分けられ、粘質の強いオリーブ褐色～暗オリーブ褐色土である。床面はⅥ層である。また、６層から出土した炭化材について、放射性炭素年代測定を行った結果、330 ± 20BP（15 世紀後半～17 世紀前半）の値が示された。さらに、埋土の花粉分析からは寄生虫卵（回虫卵）が確認されている。詳細は第５章に記載する。



SK133
１層：Hue5Y5/3 灰オリーブ　粘性の強い砂質シルト、しまりは強い。
５層：Hue2.5Y4/1 黄灰色　やや粘性のある砂質シルト、しまりはやや強い。

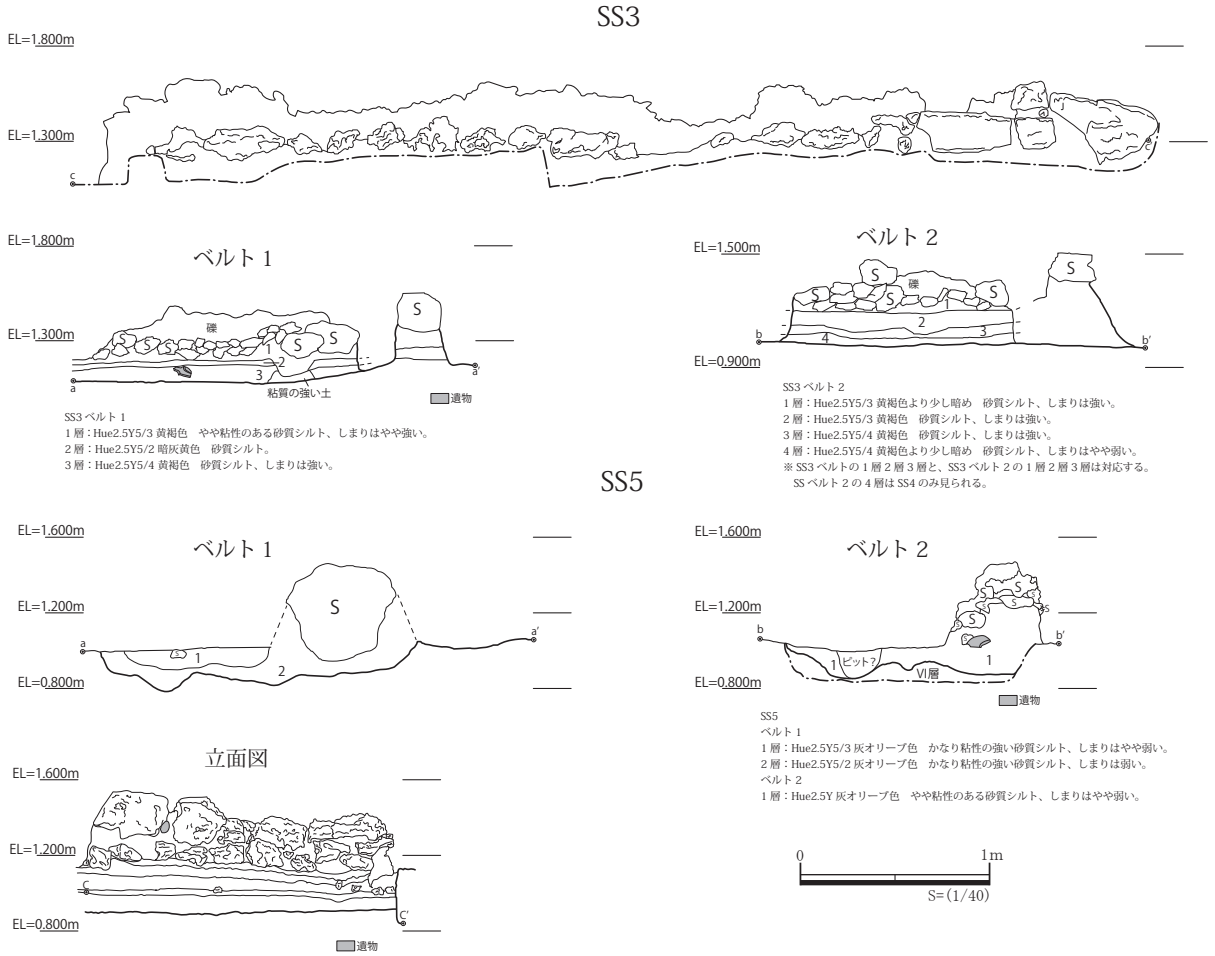
石列（SS3・5）

１地点第２検出面では、北東－南西方向に並行するように、二つの石列が検出されている（第 16 図）。区画するために礫を並べたものの可能性がある。

SS3　１地点Ｃ７、Ｄ５～９グリッドで検出された「L」字状にのびる石列と、その西側に隣接する石列をまとめて報告する。「L」字状にのびる石列は、北壁から北東－南西方向（北 65 度東）あるいは北西－南東方向（北 60 度西）に礫を配する。石列には未加工の自然礫を用いているため明瞭な面は見られないことや、現場では明瞭な掘込ラインを確認できなかった。また北東－南西方向の石列は二重となっており、内側（西側）の石列は、南東側に面を持ち、小礫による裏込めがみられる。検出面はⅣ層上面である。この内側の石列と外側の石列は、検出面が異なることから（SS3 ベルト１・２）、時期差があるものとして本来は別遺構として分けられる可能性がある。

SS5　１地点Ｃ４～５、Ｄ４～５グリッドで検出された。北東－南西方向（北 65 度東）にのびる石列で、未加工の自然礫を用いており明確な面は見られない。石列は、溝内に約 15 ～ 20cm の小礫を並べ、その上に約 25 ～ 40cm の大礫を並べている。溝の埋土は２層に分けられ、粘質の強い灰オリーブ色土である。SS4 とした円形石組遺構に切られる。

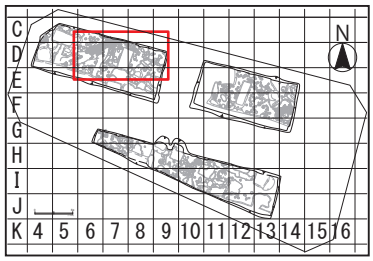
第 18 図　第２検出面の遺構２

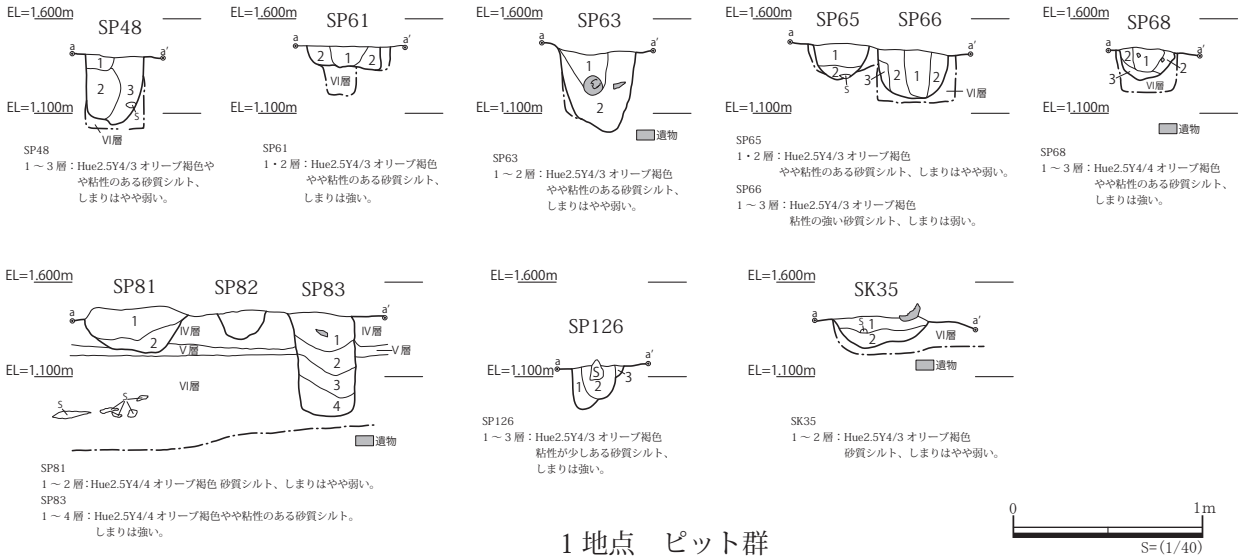


ピット群・土坑

ピット･土坑は、１～３地点の第２検出面のほぼ全域で検出された（第16図）。

ピット群　ピットの多くは密集し切り合うかたちで検出され、また調査区が小規模であったこともあり、建物プランの想定は難しかった。特に２地点Ｅ 11～Ｆ 13 グリッド、３地点Ｈ９～Ｉ 10 グリッドはピットが密集している。

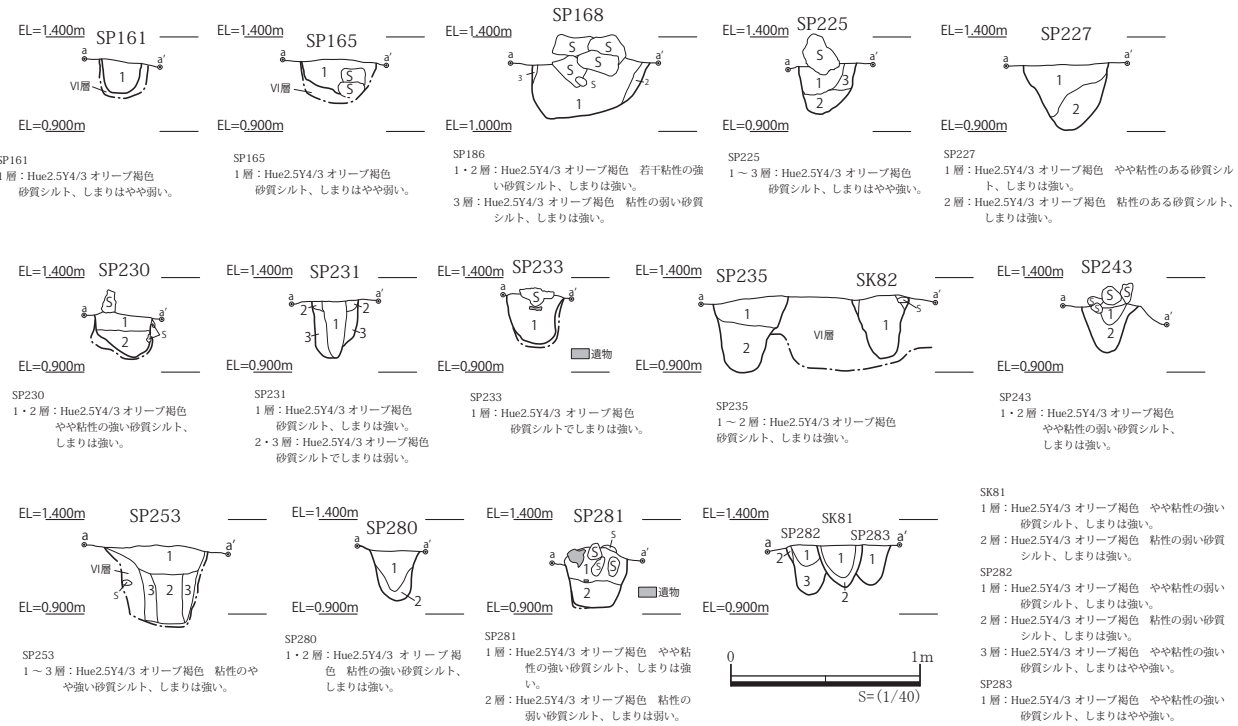




１地点　ピット群

第 19 図　第２検出面の遺構３

２地点　ピット群



SP161
1 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色
砂質シルト、しまりはやや弱い。

SP165
1 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色
砂質シルト、しまりはやや弱い。

SP186
1・2 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　若干粘性の強い砂質シルト、しまりは強い。
3 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　粘性の弱い砂質シルト、しまりは強い。

SP225
1 ～ 3 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色
砂質シルト、しまりはやや強い。

SP227
1 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　やや粘性のある砂質シルト、しまりは強い。
2 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　粘性のある砂質シルト、しまりは強い。

SP230
1・2 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色
やや粘性の強い砂質シルト、
しまりは強い。

SP231
1 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色
砂質シルト、しまりは強い。
2・3 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色
砂質シルトでしまりは弱い。

SP233
1 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色
砂質シルトでしまりは強い。

SP235
1 ～ 2 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色
砂質シルト、しまりは強い。

SP243
1・2 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色
やや粘性の弱い砂質シルト、
しまりは強い。

SP253
1 ～ 3 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　粘性のやや強い砂質シルト、しまりは強い。

SP280
1・2 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　粘性の強い砂質シルト、しまりは強い。

SP281
1 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　やや粘性の強い砂質シルト、しまりは強い。
2 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　粘性の弱い砂質シルト、しまりは弱い。

SK81
1 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　やや粘性の強い砂質シルト、しまりは強い。
2 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　粘性の弱い砂質シルト、しまりは強い。
SP282
1 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　やや粘性の弱い砂質シルト、しまりは強い。
2 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　粘性の弱い砂質シルト、しまりは強い。
3 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　やや粘性の強い砂質シルト、しまりはやや強い。
SP283
1 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　やや粘性の強い砂質シルト、しまりはやや強い。

第 20 図　第２検出面の遺構４

集石（SS4、SK131、SX25）

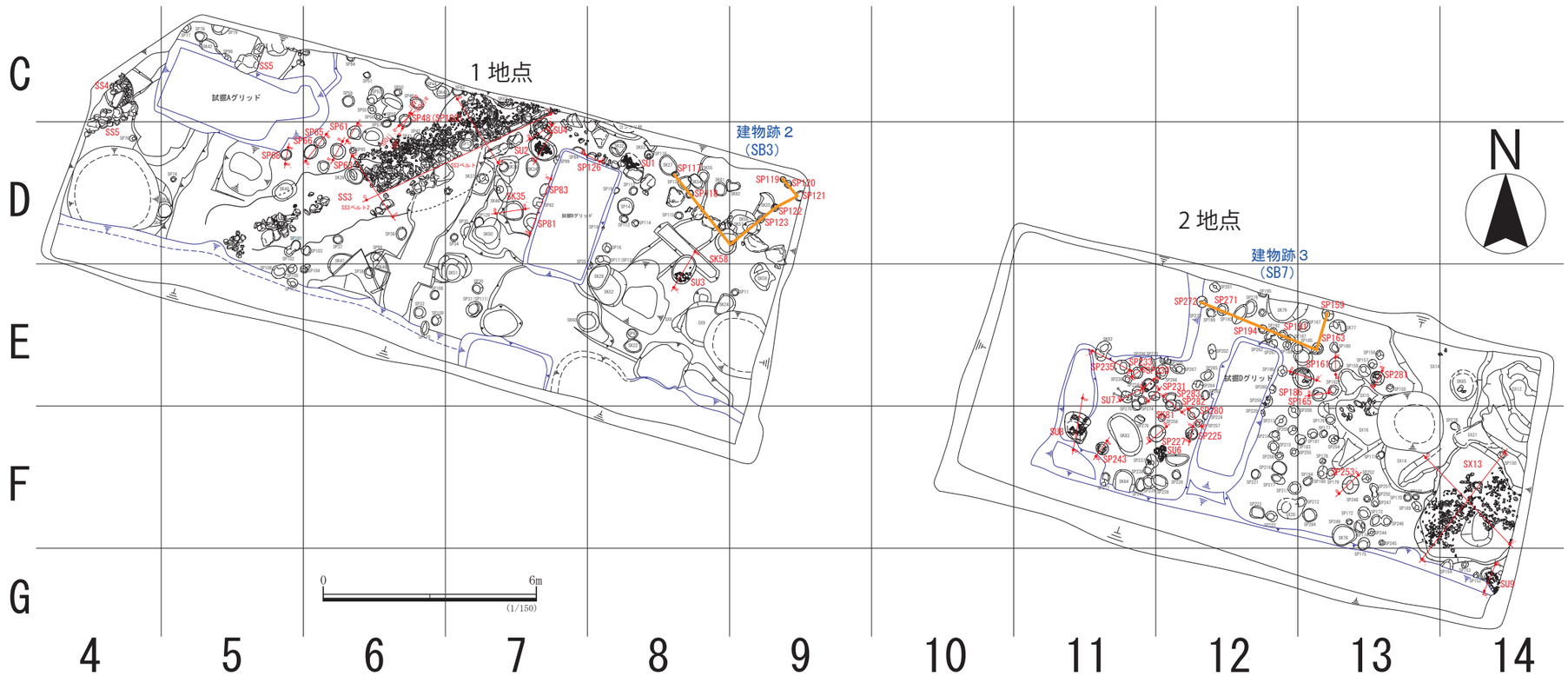
土坑内に未加工の礫を円形に配する遺構である。第２検出面で３基検出された（第 16 図）。

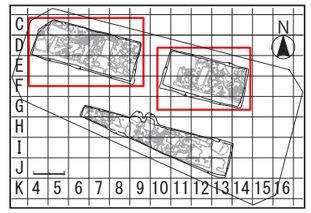
SS4　１地点Ｃ４グリッドに位置する。土坑内に未加工の自然礫を円形に配する遺構である。その中央から南側で 45cm 大の長方形の礫が検出されている。本遺構の用途や性格は不明である。西側は壁面にかかっている。規模は幅約 70cm である。

SK131　３地点 H10 グリッドに位置する。土坑内に未加工の自然礫を円形に配する遺構である。検出時には上面でシャコガイが検出されている。本遺構の用途や性格は不明である。規模 80 × 75cm である。

SX25　３地点 H11 グリッドに位置する。土坑内に未加工の自然礫を円形に配する遺構で、北側半分は北壁にかかっている。礫とともにシャコガイが検出されている。本遺構の用途や性格は不明である。規模は幅約 1m である。

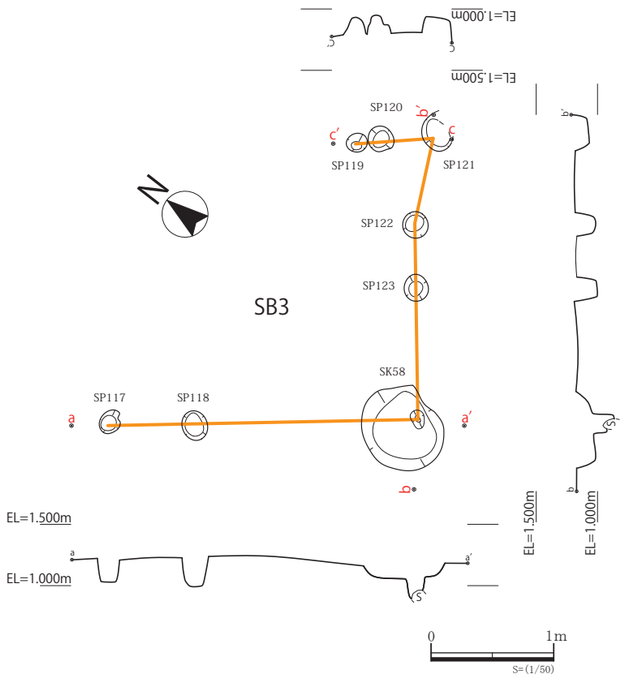
第２検出面全体遺構図（１・２地点）





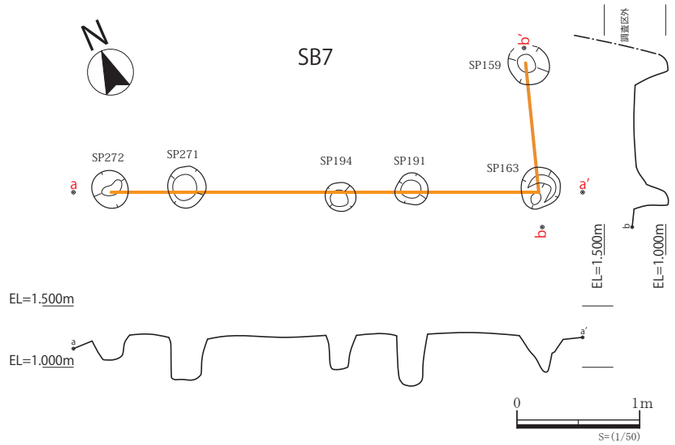
建物跡２（SB3）

１地点Ｄ８・９グリッドに位置する。掘立柱建物で、中柱の有無は不明である。北側半分が北壁にかかっているが、平面プランは長方形状と思われる。規模は梁行（短軸）2.3 m、桁行の向きは北西－南東(北40度西)である。柱穴（SK58）からは青磁碗Ⅳ類、明朝系瓦が出土している。



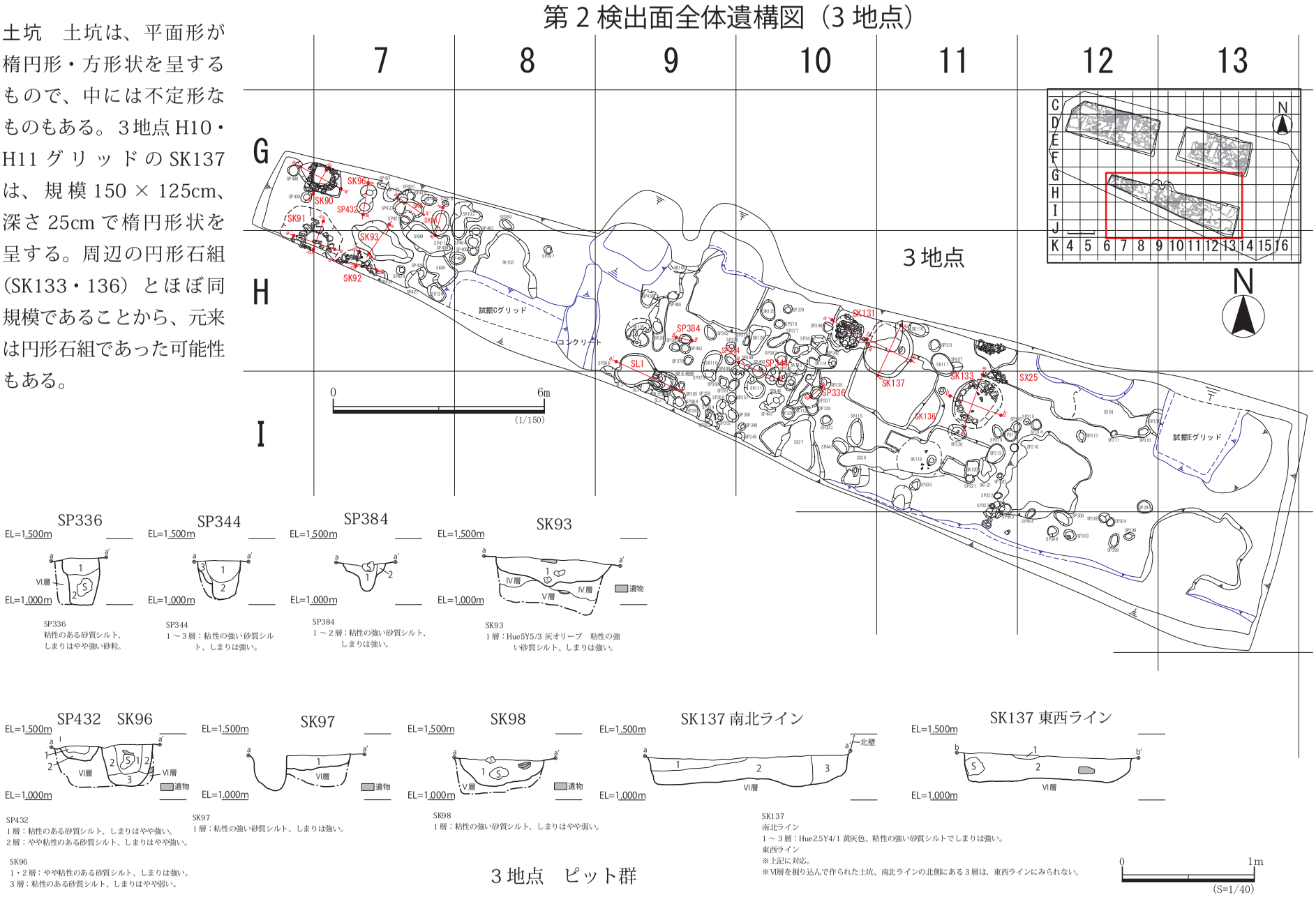
建物跡３（SB7）

２地点Ｅ 12・13 グリッドに位置する。ピットが集中しているなかで、ピットの位置関係や埋土、大きさから建物プランとして想定した。掘立柱建物で、平面プランや規模は不明である。SP272-SP163 ラインを桁行と考えた場合、西北西－東南東（北 67 度西）を向く。柱穴 SP159 からは青磁碗Ⅵ－ｂ類、SP191 からは青磁碗Ⅴ－ｂ類、宮古式土器、明朝系瓦、SP271 からは青磁碗Ⅵ類が出土している。



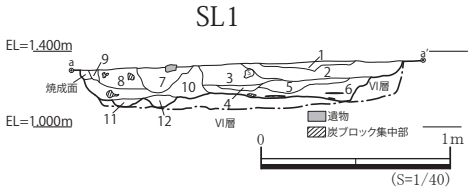
第 21 図　第２検出面の遺構５

土坑　土坑は、平面形が楕円形・方形状を呈するもので、中には不定形なものもある。３地点 H10・H11 グリッドの SK137 は、規模 150 × 125cm、深さ 25cm で楕円形状を呈する。周辺の円形石組（SK133・136）とほぼ同規模であることから、元来は円形石組であった可能性もある。



第 22 図　第２検出面の遺構６

窯跡（SL1）　３地点Ｈ９・Ｉ９グリッドに位置する（第 16 図）。窯跡は、燃焼部と灰原部分に分けられ、ともに楕円形状に掘り込まれている。燃焼部の壁面・床面は熱により赤く硬化している。燃焼部と灰原部分の堆積土には炭粒を多く含む。全長は約 1.7 m、燃焼部は規模約 1.8 × 1.8 m、灰原部分は規模約 60 × 60cm、深さ 20cm である。本遺構から出土した炭化材について、放射性炭素年代測定を行った結果、660 ± 20BP（13 世紀後半～ 14 世紀後半）の値が示された。また炭化材同定の結果、針葉樹のマツ属複維管束亜属に同定され、リュウキュウマツの可能性が高いことが示されている。詳細は第５章に記載する。



SL1
1 層：Hue5Y3/2 オリーブ黒色　粘性の強い砂質シルト、しまりは強い。炭が集中しており、下層では特に顕著。
2 層：Hue5Y4/3 暗オリーブ色　粘性のある砂質シルト、しまりはやや強い。
3 層：Hue5Y3/1 オリーブ黒色　粘性の強い砂質シルト、しまりは強い。
4 層：Hue5Y4/1 灰色　粘性の強い砂質シルト、しまりは強い。
5 層：Hue5Y4/1 灰色　粘性の強い砂質シルト、しまりは強い。大きく焼土が入る。
6 層：Hue5Y3/1 オリーブ黒色　粘性の強い砂質シルト、しまりは強い。
7 層：Hue5Y4/3 暗オリーブ色　粘性のある砂質シルト、しまりは強い。焼土ブロックの割合が多い層。
8 層：Hue5Y5/2 灰オリーブ色　粘性の強い砂質シルト、しまりはやや弱い。
9 層：Hue5Y4/3 暗オリーブ色　粘性のある砂質シルト、しまりはやや強い。7cm 大の石が含まれる。炉を固める石か？
10 層：Hue5Y4/2 灰オリーブ色　粘性の強い砂質シルト、しまりはやや強い。

貝集積（SU1 ～ 4、6 ～ 9）

サラサバテイやヤコウガイ、アラスジケマンガイなどの巻貝・二枚貝が集積された遺構である（第 16 図）。第２検出面で８基検出されている。注目される点として、特に出土したサラサバテイの殻は同じサイズ・形状の破片でまとまっている様相がみられた。渡地村跡で類似した遺構が報告されている。

SU1　１地点Ｄ８グリッドに位置する。サラサバテイの集積遺構である。出土した貝は全て巻貝で、ほかにヤコウガイが含まれる。集積の範囲は、石列（SS3）の礫北側にかかるものの、検出時に SU1 の平面プランをおさえることが出来なかったため、SS3 との明確な切り合い関係は不明である。しかし、SU1 の検出面が SS3 の礫より上位となることから、SU1 が時期的に新しいと考えられる。

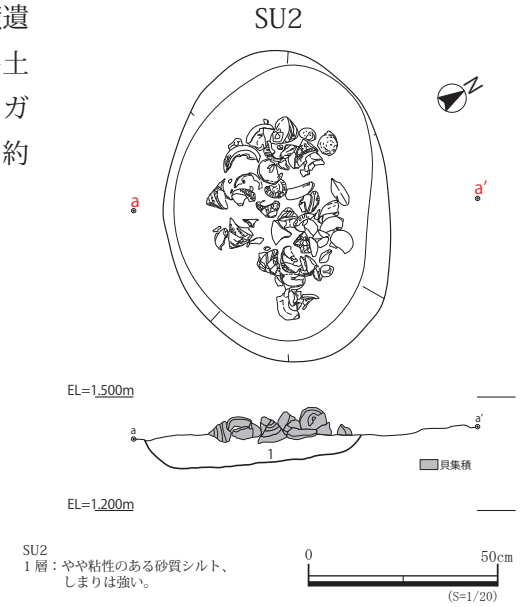
第２表　SU1 貝出土表

SU1			
種名		残存部	点数
巻貝	サラサバテイ	殻頂	19
	サラサバテイ	破片(体層)	5
	サラサバテイ	破片(下層)	9
	サラサバテイ	破片	1
	ヤコウガイ	破片-a	1
合計			35

SU2　１地点Ｄ７グリッドに位置する。サラサバテイの集積遺構である。楕円形の土坑内中央で、貝が集積されている。出土した貝は巻貝のサラサバテイ主体で、ほかに二枚貝のヌノメガイがみられる。北側で SU4 を切る。規模 80 × 60cm、深さ約 10cm である。

第３表　SU2 貝出土表

SU2			
種名		残存部	点数
巻貝	サラサバテイ	殻頂	16
	サラサバテイ	体層	1
	サラサバテイ	破片(体層)	29
	サラサバテイ	破片(下層)	25
	サラサバテイ	破片	12
二枚貝	ヌノメガイ	破片	1
合計			84



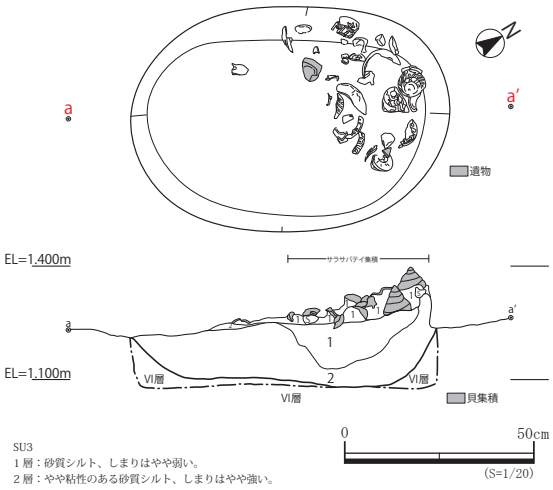
第 23 図　第２検出面の遺構７

SU ３　１地点Ｄ８・Ｅ８グリッドに位置する。サラサバテイ・ヤコウガイの集積遺構である。楕円形の土坑内南側に貝が集積されている。出土した貝は巻貝主体でサラサバテイ、ヤコウガイのほか、二枚貝ではダテオキシジミ、シラナミガイ、カワラガイ、ユウカゲハマグリがみられる。規模 85 × 60cm、深さ約 20cm である。

第４表　SU3 貝出土表

SU3			
種名		残存部	点数
巻貝	サラサバテイ	殻頂	6
	サラサバテイ	体層	2
	サラサバテイ	破片(体層)	22
	サラサバテイ	破片(下層)	16
	サラサバテイ	破片	23
	ヤコウガイ	Ⅲ−②	1
	ヤコウガイ	螺肋	2
	ヤコウガイ	破片−a	1
	ヤコウガイ	破片	4
二枚貝	ダテオキシジミ	破片	1
	シラナミガイ	完形(R)	1
	カワラガイ	破片	1
	ユウカゲハマグリ	完形(R)	1
合計			81

SU3

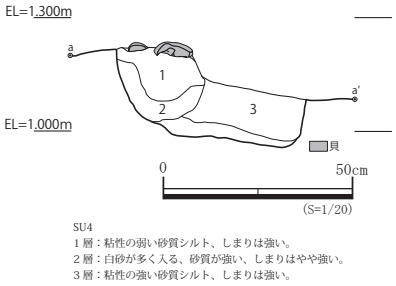


SU4　１地点Ｄ７グリッドに位置する。サラサバテイの集積遺構である。楕円形の土坑内南側に貝が集積されている。南側で SU2 に切られる。規模約 60 × 50cm、深さ 20cm である。

第５表　SU4 貝出土表

SU4			
種名		残存部	点数
巻貝	サラサバテイ	殻頂	3
	サラサバテイ	体層	2
	サラサバテイ	下層	1
	サラサバテイ	破片(体層)	1
	サラサバテイ	破片(下層)	3
合計			10

SU4

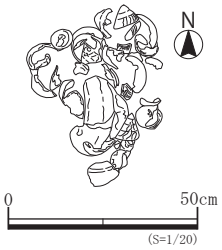


SU6　２地点 F11・12 グリッドに位置する。サラサバテイ・ヤコウガイの集積遺構である。本来の検出面がⅢ層中であったため、検出時に平面プランをおさえることが出来なかった。貝の図化のみ行った。

第６表　SU6 貝出土表

SU6			
種名		残存部	点数
巻貝	サラサバテイ	殻頂	12
	サラサバテイ	体層	12
	サラサバテイ	下層	2
	サラサバテイ	破片(体層)	11
	サラサバテイ	破片(下層)	26
	サラサバテイ	破片	2
	ヤコウガイ	Ⅲ−②	1
	ヤコウガイ	螺肋	4
	ヤコウガイ	破片	4
合計			74

SU6

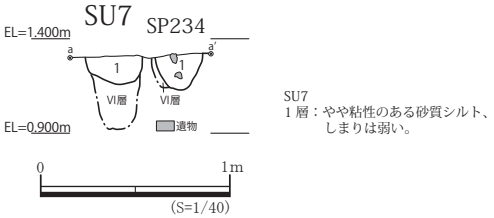


第 24 図　第２検出面の遺構８

SU7　２地点Ｄ８・Ｅ８グリッドに位置する（第 16 図）。ヤコウガイと獣骨の集積遺構である。二枚貝のユウカゲハマグリも出土している。本来の検出面がⅢ層中であったために、検出時に平面プランをおさえることが出来ず、Ⅲ層掘削後に SU7 の底が検出された。そのため、本来の規模は不明である。貝の図化は行っていない。

第７表　SU7 貝出土表

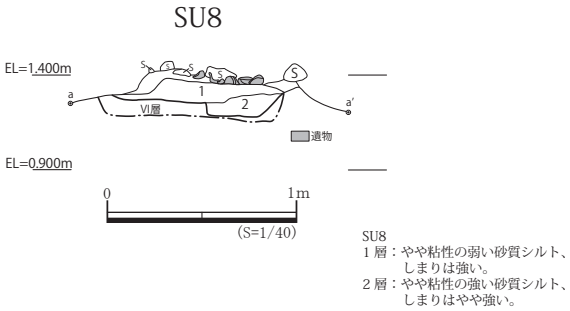
SU7			
種名		残存部	点数
巻貝	ヤコウガイ	Ⅳ類	1
	ヤコウガイ	Ⅲ−③	1
二枚貝	ユウカゲハマグリ	完形(R)	1
合計			3



SU8　２地点 F11 グリッドに位置する（第 16 図）。サラサバテイ・ヤコウガイの集積遺構である。楕円形の土坑内中央〜南側に貝が集積されている。出土した貝は巻貝主体でサラサバテイ、ヤコウガイのほか、ハナマルユキがみられる。二枚貝ではヌノメガイ、ホソスジイナミガイ、エガイ、ヒメシャコガイがみられる。本来の検出面はⅢ層中と思われる。規模約 85 × 80cm、深さ 10cm である。

第８表　SU8 貝出土表

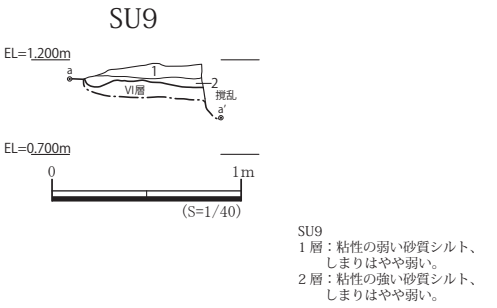
SU8			
種名		残存部	点数
巻貝	サラサバテイ	殻頂	14
	サラサバテイ	下層	4
	サラサバテイ	破片(体層)	50
	サラサバテイ	破片(下層)	20
	サラサバテイ	破片	13
	ヤコウガイ	Ⅱ−①	1
	ヤコウガイ	Ⅳ	1
	ヤコウガイ	螺肋	5
	ヤコウガイ	破片	1
	ハナマルユキ	破片	2
二枚貝	ヌノメガイ	破片	3
	ホソスジイナミガイ	完形(R)	1
	エガイ	完形(R)	1
	ヒメシャコガイ	殻頂(R)	1
合計			117



SU9　２地点 G14 グリッドに位置する（第 16 図）。アラスジケマンガイの集積遺構である。土坑内南側に貝が集積されている。東側半分は東壁にかかっている。出土した貝は二枚貝主体でアラスジケマンガイ、ホソスジイナミガイ、ユウカゲハマグリ、ダテオキシジミがみられ、巻貝ではヤコウガイ、トラダマがみられる。本来の検出面はⅢ層中と思われる。深さ約７cm である。

第９表　SU9 貝出土表

SU9			
種名		残存部	点数
巻貝	ヤコウガイ	Ⅲ−①	1
	ヤコウガイ	螺肋	2
	ヤコウガイ	破片−a	1
	トラダマ	完形	1
二枚貝	アラスジケマンガイ	完形(L)	62
	アラスジケマンガイ	完形(R)	57
	アラスジケマンガイ	殻頂(L)	18
	アラスジケマンガイ	殻頂(R)	17
	アラスジケマンガイ	破片	47
	ホソスジイナミガイ	完形(L)	1
	ホソスジイナミガイ	完形(R)	2
	ユウカゲハマグリ	完形(L)	1
	ユウカゲハマグリ	完形(R)	1
	ダテオキシジミ	破片	1
合計			212

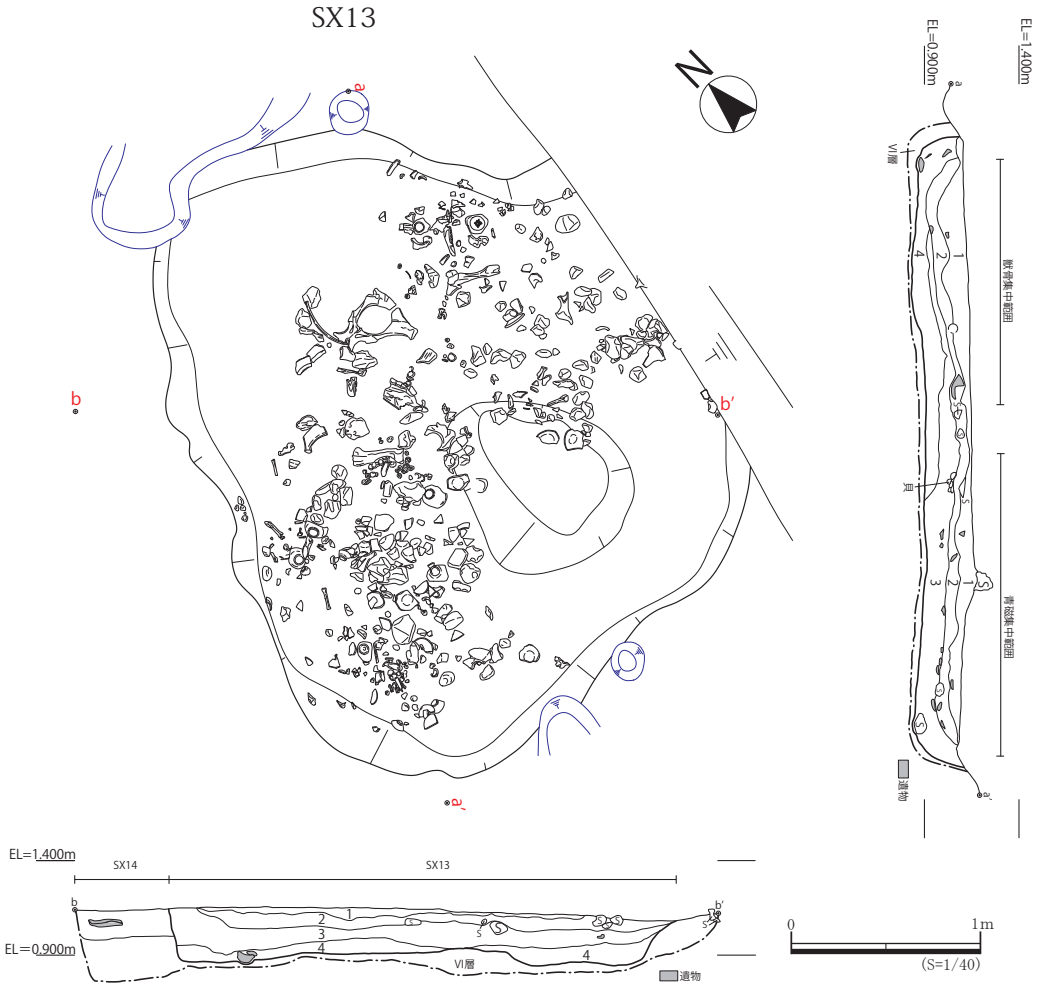


第 25 図　第２検出面の遺構９

廃棄土坑（SX13）　２地点 F13・14、G13・14 グリッドに位置する（第 16 図）。遺構検出時は不明な遺構として認識された。平面形が楕円形の土坑で、規模 3.4 × 2.7cm、深さ約 30cm である。土坑内からは多量の青磁や白磁、染付、貝、大型の獣骨などが出土した。陶磁器や食料残滓などを廃棄した土坑と考えられる。

遺構の埋土は４層に分けられ、大きく上層と下層に分けることが出来る。上層（１・２層）は粘性の弱いオリーブ褐色～暗灰黄色土、下層（３・４層）は粘性の強い暗オリーブ褐色である。獣骨の集中は２層下部～３層上面、青磁集中部は３層上面であり、獣骨がやや上位のレベルで出土した。さらに、土坑内の南西側には青磁の集中部が、北東側に獣骨類が集中しており、平面で遺物のまとまりが認められた。上述のように、出土遺物の平面分布と層位・レベルからは、青磁類を南西側に廃棄した後、北東側に獣骨が廃棄されたものと考えられる。また、本遺構の北側には、同規模の土坑が検出されており（SX12）、本遺構のような遺物は出土していないが、同様な遺構であった可能性が考えられる。

本遺構から出土した遺物は、15 世紀前半～中頃のもので、一括性が高く、青磁は碗、白磁は皿が多いことから、当時の器種構成が窺える。出土した遺物の詳細は、第４節に記載する。



SX13
1 層：Hue2.5Y4/3 オリーブ褐色　粘性のやや弱い砂質シルト、しまりは強い。獣骨が多い。
2 層：Hue2.5Y4/2 暗灰黄色　粘性の弱い砂質シルト、しまりは強い。
3・4 層：Hue2.5Y3/3 暗オリーブ褐色　粘性の強い砂質シルト、しまりは強く、3 層と比べて砂質が強い。

※ 1 層 2 層 (上層)... 獣骨の集中が見られる (2 層下部～ 3 層上面、北側)
※ 3 層 4 層 (下層)... 青磁集中 (3 層上面、南側) 獣骨の集中と青磁集中部にまとまりがあり、出土するレベルから青磁が南側に廃棄された後、北側に獣骨が廃棄されたと思われる

第 26 図　第２検出面の遺構 10

１地点　遺構検出状況（南から）

２地点　遺構検出状況（南から）

３地点　遺構検出状況（東から）

図版 11　第２検出面　検出状況（１～３地点）

３地点　SK90　断面（南から）

３地点　SK90　掘方断面（南から）

３地点　SK91　断面（北から）

３地点　SK91　床面検出状況（南から）

３地点　SK92　断面（北から）

３地点　SK133　1/4 半裁（北東から）

３地点　SK133　床面検出状況（北から）

１地点　SS3　検出状況（北から）

図版 12　第２検出面の遺構１

１地点　SS3　東側縁石検出状況（東から）

１地点　SS3　東側縁石検出状況（南東から）

１地点　SS3　ベルト２断面（南西から）

１地点　SS5　検出状況（東から）

１地点　建物跡２（SB3）（南東から）

１地点　SP48　断面（西から）

１地点　SP61　断面（東から）

１地点　SP63　断面（南から）

図版 13　第２検出面の遺構２

１地点　SP65・66　断面（西から）

１地点　SP68　断面（西から）

１地点　SP81　断面（東から）

１地点　SP126　断面（南から）

１地点　SK35　断面（北から）

１地点　SP81　断面（西から）

２地点　SP161　断面（南東から）

２地点　SP165　断面（南東から）

図版 14　第２検出面の遺構３

２地点　SP225　断面（東から）

２地点　SP227　断面（南東から）

２地点　SP230　断面（南西から）

２地点　SP231　断面（南東から）

２地点　SP233　断面（南東から）

２地点　SP235　断面（北から）

２地点　SP186　断面（南から）

２地点　SP243　断面（西から）

図版 15　第２検出面の遺構４

２地点　SP280　断面（南から）

２地点　SP281　断面（東から）

２地点　SP253　断面（東から）

３地点　SK93　断面（西から）

３地点　SK96　断面（東から）

３地点　SP336　断面（東から）

３地点　SP344　断面（南から）

３地点　SP374　断面（南東から）

図版 16　第２検出面の遺構５

３地点　SP384　断面（北から）

３地点　SK137　1/4 半裁（南から）

３地点　SL1　検出状況（北から）

３地点　SL1　ベルト断面（北から）

３地点　SL1　床面検出状況（西から）

１地点　SU1　検出状況（北から）

１地点　SU2　検出状況（東から）

１地点　SU2　断面（南東から）

図版 17　第２検出面の遺構６

１地点　SU3　検出状況（東から）

１地点　SU3　断面（西から）

１地点　SU4　検出状況（東から）

１地点　SU4　断面（東から）

２地点　SU6　検出状況（東から）

２地点　SU6　断面（東から）

２地点　SU7　検出状況（南東から）

２地点　SU7　断面（南東から）

図版 18　第２検出面の遺構７

２地点　SU8　検出状況（東から）

２地点　SU8　断面（西から）

２地点　SU9　検出状況（西から）

２地点　SX13　検出状況（西から）

２地点　SX13　検出状況（南東から）

２地点　SX13　a-a' ライン断面（東から）

２地点　SX13　a-a' ライン断面（北東から）

２地点　SX13　b-b' ライン（南東から）

図版 19　第２検出面の遺構８

１地点　第２検出面　遺構完掘状況（西から）

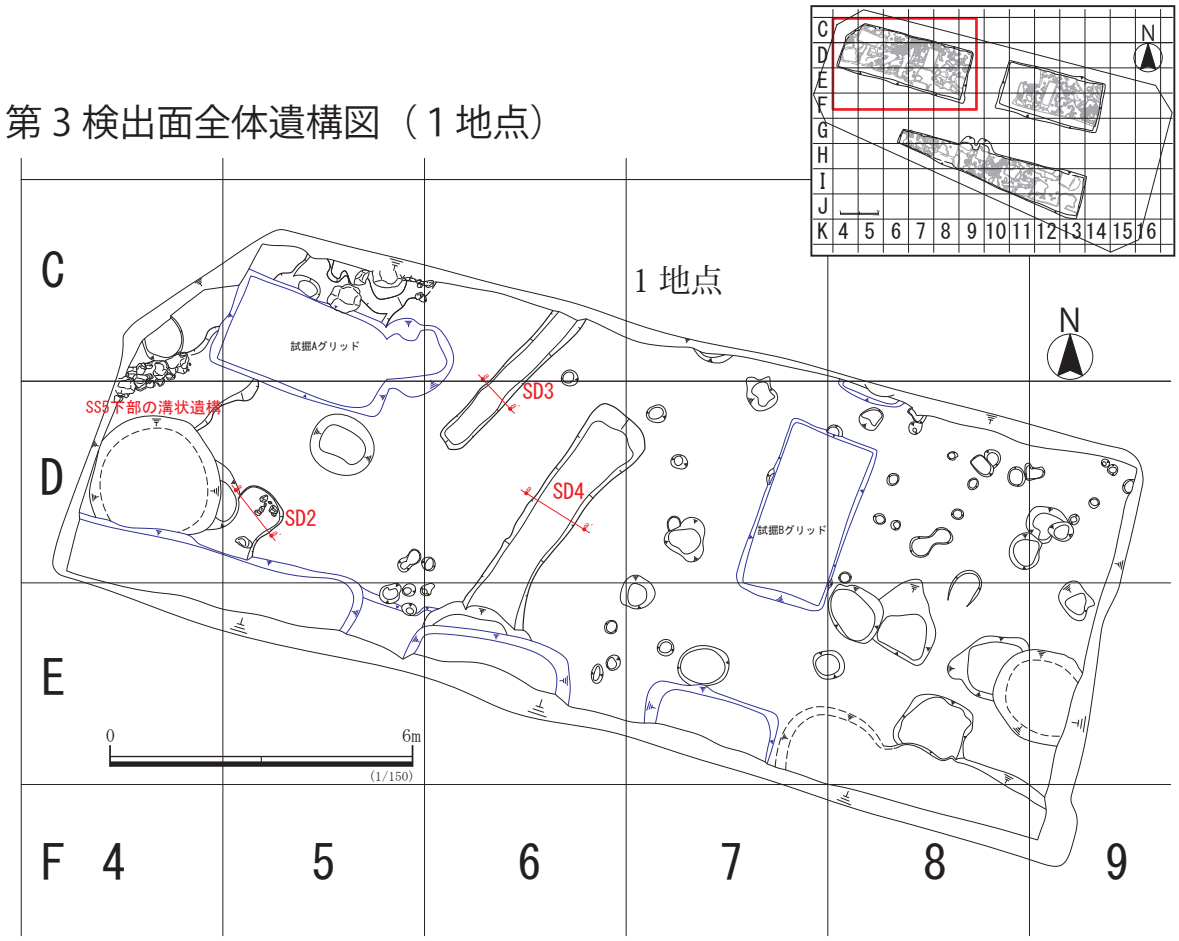
２地点　第２検出面　遺構完掘状況（南東から）

３地点　第２検出面　遺構完掘状況（東から）

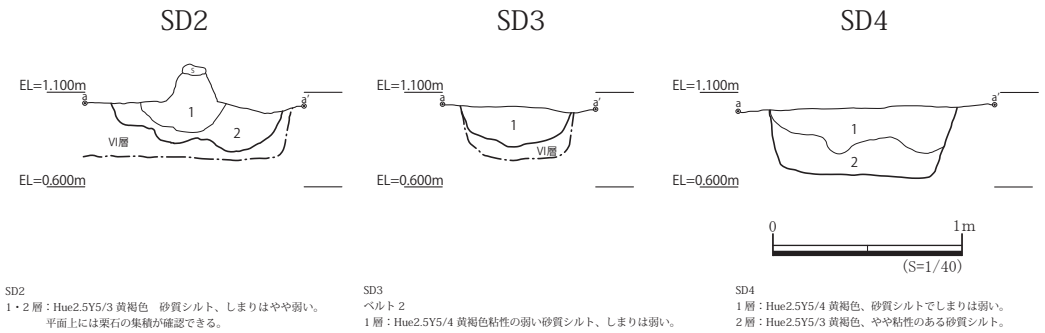
図版 20　第２検出面の遺構　完掘状況（１～３地点）

第３検出面（グスク時代）

第３検出面では溝状遺構が確認されている。第３検出面は１地点でのみ確認されており、１地点Ⅳ・Ⅴ層掘削後のⅥ層上面で検出された。層位的に１地点で最も古い遺構と考えられる。２・３地点の遺構と関連については、Ⅳ層・Ⅴ層以下で遺構が検出されていないため、２・３地点第２検出面とした遺構に、時期的に並行するものが含まれている可能性もある。第３検出面の遺構からは、14 世紀中頃～ 15 世紀前半を主体とする遺物が出土している。



溝状遺構（SD2～4）　SD2 は１地点Ｄ４・５グリッド、SD3 は１地点Ｃ６・Ｄ６グリッド、SD4 は１地点Ｄ６・Ｅ６グリッドに位置する。いずれも北東‐南西方向（SD2：北 50 度東、SD3：北 45 度東、SD4：北 35 度東）にのびるもので、第２検出面の SS3・5 より若干北側に向いている。埋土は黄褐色土である。



SD2
１・２層：Hue2.5Y5/3 黄褐色　砂質シルト、しまりはやや弱い。
平面上には栗石の集積が確認できる。

SD3
ベルト２
１層：Hue2.5Y5/4 黄褐色粘性の弱い砂質シルト、しまりは弱い。

SD4
１層：Hue2.5Y5/4 黄褐色、砂質シルトでしまりは弱い。
２層：Hue2.5Y5/3 黄褐色、やや粘性のある砂質シルト。

第 27 図　第３検出面の遺構

1 地点　第 3 検出面　遺構検出状況（南から）

1 地点　SD2　断面（南から）

1 地点　SD3　断面（南から）

1 地点　SD4　断面（南から）

1 地点　SS5 下部の溝状遺構　断面（北から）

図版 21　第３検出面の遺構

第４節　遺物

本遺跡からは総数 15,715 点もの遺物が出土した。種類別にみると、中国・タイ・ベトナム・韓半島の他、本土産陶磁器、沖縄産陶器、土器、瓦、塼、土・石・骨・貝製品、銭貨、金属製品、脊椎動物遺体、貝類遺体等、多岐にわたる遺物が出土している。最も多いのは陶磁器類で、中でも中国産が多い。これらの遺物は出土した層序や遺構の検出面別に時期差等が表れていると考えられるため、層序別、遺構内出土遺物については検出面別に整理していく事とする。はじめに、各遺物の分類と概略を述べた後に、各層序及び遺構出土の遺物の様相について報告する。

第１項　遺物の概要・分類

本項では、種類別に概要を述べていく。なお分類を付した遺物については分類概念を記述する。各遺物の出土点数はそれぞれ表にまとめる。

①中国産陶磁器

中国産陶磁器は、青磁、白磁、青花、褐釉陶器が主体的にみられ、その他、無釉陶器、色絵、瑠璃釉磁器、褐釉磁器、黒釉陶器、翡翠釉や緑釉などの施釉陶器が少数みられた。以下、種類ごとに概要・分類を記述する。

青磁

総点数 5,431 点が出土した（第 10 表）。碗・皿については、瀬戸・仁王・玉城・宮城・安座間・松原による沖縄出土分類（2007）を基本として分類を試みた。しかしながら、外底を釉剥ぎするものを主体とする同分類の碗Ⅴ類について、東村跡出土資料の中には、従来確認されている外底釉剥ぎのタイプと差異がみられるものが見受けられた。この差異は本資料の大きな特徴となることが考えられたため、今回はⅤ類について、便宜的に外底の釉剥ぎ方法からさらに３種に細分を行った。その他、盤についても本資料で便宜的に分類を設けた。その他の器種については個別に記す。

碗　4,404 点が出土しており、Ⅳ～Ⅶ類が出土している。年代については、Ⅳ類は 14 世紀後半～ 15 世紀前半頃、Ⅳ’類は 14 世紀末～ 15 世紀初頭頃、Ⅴ類は 15 世紀前半～中ば頃、Ⅵ類は 15 世紀後半～ 16 世紀前半頃、Ⅶ類は 16 世紀半ば～後半頃と考えられる。

Ⅳ類　原則的に外底に釉薬が掛けられず露胎となるもの（施釉範囲は高台際までで、畳付から外底内にかけて露胎）。高台の形は台形状を呈し、釉調は暗めで全体的に薄く施釉される。素地は軟質で灰色を呈する。外面の文様により、a 類（無文）、b 類（蓮弁文）と細分を行った。本資料は a 類がほとんどで、b 類は少ない。

Ⅳ－a 類　無文のもの。口縁部が外反し、腰が張る器形（165、423、424、451 ～ 453）。内底は広く、内底に印花文が施されるものもある。

Ⅳ－b 類　幅広のヘラ彫りによる蓮弁文を施す。口縁部は内湾を呈する。

Ⅳ’類　外底無釉の一群で、釉調は暗めで全体的に薄く施釉され、素地は軟質で灰色を呈する等、Ⅳ類の特徴に近いものや、器形がⅤ類の特徴に近いものもみられる。Ⅳ類とⅤ類の中間的な様相をもつタイプである。口縁部は端部をわずかに外反させ、玉縁状に肥厚させるものが多い。底部は台形状を呈するものや、逆三角形に近いものもみられる。内底を釉剥ぎするものがほとんどで、内底には型押し文様が施される。その他、特徴的な事項として、内底中央部に小孔が確認されるものがある。Ⅳ’類は a 類（無文）のみ確認された。

Ⅳ’－a 類　無文のもの。426 は外底を蛇の目釉剥ぎ、169 は外底を雑に釉剥ぎする。426 は大振りで器形や釉調等がⅤ類の特徴を強く示すが、本分類に分けた。169 は内底中央部に小孔が

確認される。

Ｖ類　外底を釉剥ぎするものが主体の一群。底部は全体的に厚手の造りとなり、口径に比して腰高な器形となる。口縁部は外反するタイプと直口するタイプがある。釉薬は厚く施され、釉調は緑色や濃緑色を呈する。素地は白色で硬質のものと、灰色でやや軟質の粗粒子のものがみられる。Ｖ類の大きな特徴である外底の釉剥ぎの方法に着目すると、本類を主体とする首里城京の内跡SK01 出土資料は外底を蛇の目状に釉剥ぎするタイプがほとんどを占める。しかしながら東村跡出土資料を観察すると、外底を蛇の目状に釉剥ぎする資料の他に、外底内途中まで釉を施す（外底は無釉）タイプが一定量みられた。そこで、外底の仕様を１類（外底蛇の目釉剥ぎ）、２類（高台内途中まで施釉）、３類（その他）の大きく３種に細分し、従来の資料との差別化を図った。さらに外面文様による細分（a 類（無文）、b 類（蓮弁文）、c 類（雷文帯）、d 類（その他））も合わせて整理した。なお、破片のため外底の仕様がはっきりしない資料等、細分類が判別できないものは分類を付していない。

Ｖ－１　外底を蛇の目釉剥ぎを施すもの。a 類（無文）、b 類（蓮弁文）が確認された。内底の圏線内に印花文を施すものがみられる。431 は素地がやや軟質の粗粒子で灰色を呈し、429、430 は素地が白色または薄い灰色で硬質など、素地の特徴に差異がみられるものがある。

Ｖ－２　高台内途中まで釉を施すもの。a 類（無文）、b 類（蓮弁文）、c 類（雷文帯）が確認された。内底には圏線内に印花文を施すものがある。459、366 ～ 376（SX13 出土資料）の素地は軟質を呈する等、本分類資料は素地が軟質のものが多く、口縁部は直口タイプが多い。

Ⅵ類　底部は小型化し、厚みも増し、高台の抉りが深いもの。腰が張らず腰部から直上する器形である。外底を蛇の目釉剥ぎするもの、高台内途中まで釉を施すもの、外底露胎のものがある。口縁部は直口タイプが多い。また、内底を釉剥ぎするものもみられる。釉薬はＶ類よりは薄く、釉調は濃緑色や黄色味を帯びた緑色等もみられる。素地は白色で硬質のものと、灰色でやや軟質の粗粒子のものがみられる。外面文様は a 類（無文）、b 類（蓮弁文）、c 類（雷文帯）が確認された。

Ⅵ－ａ類　無文のもの。口縁部は外反するタイプと直口するタイプがみられ、後者が多い。内底に印花文が施されるものもある。

Ⅵ－ｂ類　線刻蓮弁文を施すもの（180、181、182）。

Ⅵ－ｃ類　口縁部に型押しの雷文帯を施すもの（501）。

Ⅶ類　釉調が白磁のようなガラス質の水色や白色を呈するもの。口縁部は直口する。外面文様は b 類（蓮弁文）、c 類（雷文が退化した波状文）が確認された。

Ⅶ－ｂ類　線刻蓮弁文を施すもの。弁先は省略され、蓮弁も簡略化されたもの。

Ⅶ－ｃ類　外面口縁部に波状文・波濤文を施すもの（433）。

幅広高台タイプ　高台は低く、畳付幅が広いもの。畳付端部を斜めにケズリを入れる。高台際まで施釉し、外底は露胎。内底を蛇の目釉剥ぎを行う。外面は轆轤痕が明瞭。産地は福建・広東系と考えられる（183）。

磁灶窯系　黄色味を帯びた釉を外面胴部途中まで施釉し、素地には黒色粒や白色粒を多く含む。泉州窯系とされるもので、泉州の中でも磁灶窯を中心に生産されているとされる。碗 15 点、皿 1 点が出土している。碗は外反口縁で、器壁が薄いものと厚いものが確認された。器壁が薄く、口縁部の外反（屈曲）が強いものは皿として集計を行い、いずれも小破片のため図化はせず、集計のみとした。

皿　614 点が出土しており、Ⅳ～Ⅵ類が出土している。素地・釉薬等は碗と同様の特徴を示しているため、説明を略する。以下、分類ごとに器形や文様について説明する。

Ⅳ類　原則的に外底に釉薬が掛けられず露胎となるもの（施釉範囲は高台際までで、畳付から外底内にかけて露胎）。器形は口折皿がみられる。外面文様は、b 類（蓮弁文）が確認された。

Ⅳ－ b 類　幅広のヘラ彫りによる蓮弁文を施す。

Ⅳ′類　外底無釉の一群で、高台は角型、器形は口折皿や腰折皿がみられる。内底を釉剥ぎするものがほとんどで、碗と同様に内底中央部に小孔が確認されるものがある。462、463 は内底を蛇の目状に釉剥ぎするもの、184、185、464、504 は内底を全体的に釉剥ぎする。すべて外面文様は無文である。また、504 の内底中央部には小孔が確認される。

Ⅴ類　外底を釉剥ぎするものを主体とし、Ⅳ類に比べると厚めのものもみられる。器形は口縁部が外反する腰折皿、稜花皿、口折皿、直口皿などがみられる。また、碗と同様に外底の仕様に 1 類（蛇の目釉剥ぎ）、2 類（高台内途中まで施釉）が確認された。

Ⅴ－ 1　外底を蛇の目釉剥ぎを施すもの。外面文様は a 類（無文）、b 類（蓮弁文）が確認された。

Ⅴ－ 1a 類　505 は口折皿。

Ⅴ－ 1b 類　186、506 は腰折皿。

Ⅴ－ 2　高台内途中まで釉を施すもの。外面文様は a 類（無文）が確認された。

Ⅴ－ 2a 類　434 は腰折皿、508 は稜花皿である。

Ⅵ類　Ⅴ類に比べて底径は小さくなり、またさらに腰高になる。器形は直口皿や稜花皿が主体となる（510、511）。外面文様は、b 類（蓮弁文）が確認された。

Ⅵ－ b 類　線刻蓮弁文を施すもの。

盤　出土点数は 287 点を数える。盤は素地や釉調から、碗・皿で分類したⅣ・Ⅴ類の範疇のものと考えられ、中でもⅤ類が主体と考えられる。碗・皿との対応は分類を提示することは出来てないが、便宜的に口縁形態をⅠ～Ⅳ群、底部形態により底Ⅰ～Ⅱ群に大別した。さらに内面の文様により、a 群（内面に櫛描による蓮弁文を施すもの）、b 群（内面に片切彫りによる蓮弁文を施すもの）、c 群（内面に丸ヘラによる蓮弁文（幅 5 ～ 12mm）を施すもの）の３種に細分した。

Ⅰ群　鍔縁口縁で、端部が上部に伸びるもの。内面の文様は a ～ c 群が確認された。

Ⅰ－ a 群　内面に櫛描による蓮弁文を施すもの。

Ⅰ－ b 群　内面に片切彫りによる蓮弁文を施すもの。

Ⅰ－ c 群　内面に丸ヘラによる蓮弁文（幅 5 ～ 12mm）を施すもの。

Ⅱ群　鍔縁口縁で、稜花状に成形したもの。内面の文様は a 群及び c 群が確認された。

Ⅱ－ a 群　内面に櫛描による蓮弁文を施すもの。

Ⅱ－ c 群　内面に丸ヘラによる蓮弁文（幅 5 ～ 12mm）を施すもの。

Ⅲ群　直口口縁のもの。内面の文様は a 群が確認された。

Ⅲ－ a 群　内面に櫛描による蓮弁文を施すもの。

Ⅳ群　鍔縁口縁で、平坦に仕上げたもの。内面の文様は c 群が確認された。

Ⅳ－ c 群　内面に丸ヘラによる蓮弁文（幅 5 ～ 12mm）を施すもの。

底Ⅰ群　底部形態が碁笥底のもの。内面の文様は a 群が確認された。

底Ⅰ－ a 群　内面に櫛描による蓮弁文を施すもの。

底Ⅱ群　底部形態が高台をもつもの。内面の文様は、a 群及び c 群が確認された。

底Ⅱ－ a 群　内面に櫛描による蓮弁文を施すもの。

底Ⅱ－ c 群　内面に丸ヘラによる蓮弁文（幅 5 ～ 12mm）を施すもの。

その他　青磁でその他の器種として、大鉢（437）、擂鉢（438）、瓶、壺、香炉（516）などが出土している。中でも大鉢は良質の大型製品で官窯製品と考えられ、胴部片が 2 点出土した。437 は大鉢の胴部片で内外面に草花文等の文様がみられる。Ⅳ層出土。

白磁

総点数 1,092 点が出土した（第 11 表）。碗・皿については、森田 1982、新垣 2005 を参考として分類を行い、分類記号は分類 2007 の分類記号があるものはこれを付した。中でも、福建産の D 群（森田 D 群に相当）に分類される皿については、高台形状及び施釉方法から数種類に分けられるものが確認された。そこで D 群について、高台形状及び施釉方法から便宜的に 5 種に細分を行った。その他の器種については個別に説明を行う。景徳鎮窯系、福建系、徳化窯系の産地別に整理していく。

景徳鎮窯系

碗、小碗、皿、杯、小杯、袋物等合計 74 点が出土している。

E 群　全体に不透明な灰白色の釉薬を掛けた後に畳付を釉剥ぎするもの。526 は外反皿、198 は碁笥底の皿である。

その他　素地・釉調から景徳鎮窯系と考えられるものである。199 は口径が 3.5cm の瓶、523 は小杯である。525 の碗は清代の製品と考えられる。

福建産

碗、小碗、皿、杯、小杯、袋物等合計 891 点が出土している。すべて明代の資料である。

A 群　口禿げの碗が SK99（第２検出面の遺構）から 1 点出土したが、小破片のため、図化はせず集計のみ行った。

C－3 群　内底は平坦で、口縁部が外反する厚手の碗。高台の抉りは浅い。素地は灰色で軟質を呈する。金武正紀により、無文外反碗（金武 1990）とされていたもので、生産地の判明によりビロースクタイプⅢ類とされた（金武 2010）。外反が弱めのもの（193、378、518）と強いもの（517）がみられる。それぞれ内底は広く、193 は圏線内に花文がみられる。194 は底部資料で、やや小振りの碗である。

D 群　厚みのある底部で、高台は低く小振りのもの。素地は軟質を呈する。福建省閩江上流域の邵武四都窯で生産されたと考えられる。小碗、直口皿、腰折皿等がある。中でも直口皿については、高台形状により Ⅰ群（方形高台）、Ⅱ群（抉り高台）に大別し、さらに施釉方法により 1（総釉）、2（内面～外面胴部途中まで施釉）、3（内底釉剥ぎ）の３種に細分を行った。

Ⅰ群　方形高台をもつもの。施釉方法は２と３が確認された。

Ⅰ－2　方形高台。内面から外面胴部途中まで施釉するもので、高台際まで施釉されるものも含む。皿（440、475、476）が確認された。

Ⅰ－3　方形高台。内底を釉剥ぎするもの。直口皿（379 ～ 399）と小碗（521）がある。

Ⅱ群　抉り高台をもつもの。施釉方法は 1 と 2 が確認された。

Ⅱ－1　抉り高台。内外面全体に釉薬を施すもの。直口皿（400 ～ 404）がみられる。

Ⅱ－2　抉り高台。内面から外面胴部途中まで施釉するもの。

D' 群　D 群に素地・釉調が類似しており、素地は軟質を呈する厚みのあるもの。196、197 は口縁部が厚く、上げ底状を呈する平底の皿。釉薬は内面のみ施釉され、口縁部に煤の付着が確認されることより、灯明皿である。新垣福建 D 類皿Ⅲ－ b 類に相当。また、195 は器高の低い内湾する碗で、新垣福建 E 群碗Ⅱ類に相当する。

その他　素地・釉調から福建産と考えられるものがあり、522 は稜花皿である。

徳化窯系

素地は白色で精緻であり、口唇部を釉剥ぎする特徴がみられ、型成形の小形品などがみられる。年代は 18 世紀後半～ 19 世紀代と考えられる。碗、小碗、皿、小杯、灯明具等合計 55 点が出土している。このうち、小碗（527、528）、皿（529）、灯明具（530）について図化を行った。

その他、撹乱層より柄の先端に蝶形の装飾が施された蓮華（531）が出土した。景徳鎮窯系か徳化窯系の製品と考えられる。

青花

総点数 936 点が出土した（第 12 表）。明代、清代と時代別に分け、さらに産地別に整理を行う。

明代　碗、小碗、皿、杯、小杯、鉢、瓶、袋物等合計 441 点が出土している。産地は景徳鎮窯と漳州窯系が確認されており、景徳鎮窯が多い。

景徳鎮窯系

碗、小碗、皿、杯、小杯、鉢、瓶、袋物等合計 411 点が出土している。碗、皿については、小野正敏（小野 1982）を基本とし、分類記号も小野分類を付した。

碗　碗は小野 B 群、C 群、D 群、E 群、皿は小野 B_1 群、C 群が確認された。

B 群　端反の碗。内底は広く腰が張る。高台が内傾するものがほとんどである（200、310、325、327、532、533）。

C 群　直口碗。胴部は直線的に開き、内底が凹む器形で、いわゆる蓮子碗である。外面腰部に芭蕉文、内底に法螺貝文が描かれる（104、534）。

D 群　直口碗。内底は広く平坦で、大きな高台をもち、胴部は直線的に少し開く器形。外面にアラベスク文、内底に十字花文を描く（201）。

E 群　直口碗。胴部は直線的に開き、内底はゆるやかに盛り上がる器形で、いわゆる饅頭心のタイプである。Ⅲ層で 1 点のみ出土している。小破片のため、図化は行わず集計のみ行った。

その他　535 は外面及び内底に白抜き牡丹文が描かれる碗、543 は青磁染付の碗で、内面に花弁文が描かれる。

皿　皿は小野 B_1 群、C 群が確認された。

B_1 群　高台をもつ端反の皿。外面には牡丹唐草文が描かれる（202、536 ～ 539）。内底に玉取獅子文（202、539）や、亀に類似する文様（536）等がみられる。

C 群　口縁部がやや内湾する碁笥底の皿。外面に蕉葉文を描き、内底には沢瀉文（203）や、花文（318）等がみられる。

その他　540 は碁笥底皿で、内底に鉄釉による魚文が描かれる。322 は高台の低い直口皿、331 は口縁部が外反する製品等が確認された。

その他の器種　素地・釉調から景徳鎮窯系と考えられる製品に、小碗（316、406）、小鉢（204、205）、瓶（75、542）、小型の壺（206）、高足杯（51）等が出土している。

漳州窯系

福建省漳州窯周辺で生産されたと考えられる資料。素地は軟質で、呉須は鈍いものが多い。年代は 16 世紀後半～ 17 世紀初の明末清初に相当すると考えられる。碗、小碗、皿、瓶、袋物等がみられ、合計 30 点が出土している。544 は直口碗で、胴部は直線的に開く。545 は碗、82 は皿の底部で内底に草花文が描かれる。

清代　碗、小碗、皿、杯、小杯、鉢、瓶、袋物等合計 449 点が出土している。産地は景徳鎮窯系と徳化窯系、福建・広東系の資料が確認されており、徳化窯系が多い。

景徳鎮窯系

碗、小碗、皿、杯、小杯、鉢、瓶、袋物等合計116点が出土し、年代は17～19世紀代と考えられるものが出土している。546は直口碗で波文と魚文が描かれるもので、撹乱層出土。547、548は外反する碗で、それぞれ外面胴部に「金」字や草花文がみられ、撹乱層出土。549は直口皿、550は型打ち成形による菊花皿、552は腰部に稜をもつ器形の小杯でそれぞれ撹乱層出土。1は外面に花唐草文を描くものでⅡ層出土。555は小型の壺で撹乱層出土、551～553は小杯で撹乱層出土である。

福建・広東系

福建省や広東省などの中国南部地域で生産されたと考えられる資料で、碗、皿、大鉢等合計145点が出土している。年代は17世紀～18世紀代と考えられる。碗は直口で、胴部が直線的に開くものがみられ、557～560は内底を釉剥ぎする。561は内底を蛇の目釉剥ぎを施す。いずれも撹乱層出土。120は大鉢で、SD1（第1検出面）の出土である。

その他、福建産と考えられる資料として、碗、皿、杯等合計32点が出土している。562は碗で外面胴部に白抜き菊唐草文が描かれる。撹乱層出土。

徳化窯系

碗、小碗、皿、袋物等合計156点が出土している。年代は18世紀～19世紀代と考えられる。570は直口皿でⅢ層出土。碗は外反（565、566）と、直口（563、564）や、高台が高いタイプ（567）がある。小碗（568、569）もみられる。皿はやや外反するもの（573）がみられ、内底に菊唐草文（571）、外底に銘があるもの（572）がある。いずれも撹乱層出土。

褐釉陶器

壺、鉢、擂鉢、瓶等総点数1,120点が出土した（第13表）。壺が最も多い。壺は口縁断面が方形状を呈し、最大径を肩部にもつ大型の壺（307、313、407、574、575）の他、小振りの壺（101、576）もあり、中には大海と称される福州の洪塘窯産とされる小型の壺（581）も確認された。底部資料は上げ底状を呈するもの（97、408、478、577、578、579、580）がほとんどである。鉢は口縁部外側を方形状または半円状に肥厚させるもの（217、218、312、582）、口縁部が逆「L」字状に屈曲するもの（583）、口縁断面が方形を呈するもの（584）がみられる。擂鉢は肥厚口縁をもち、内湾するもの（216）、瓶は口縁部外側が三角形状に肥厚するもの（219）がみられる。

その他、産地不明のものとしてⅣ層から出土した441がある。同資料は器壁が薄く、口縁部から胴部にかけて段をもつ器形である。胎土の質感等より、中国産の可能性を考え、本項に入れた。

白釉陶器

壺等の胴部片が22点出土した（第13表）。全て小破片のため、図化はせず、集計のみ行った。

無釉陶器

鉢、擂鉢、壺等総点数7点が出土した（第13表）。壺は口縁部を外側に折り曲げて肥厚させるもの（220）があり、鉢は口縁部の内側を肥厚させるもの（587）、口縁断面が方形を呈するもの（586）がみられる。その他の器種には、擂鉢の底部（588）、蓋受けを有する小型の壺（589）がみられる。

その他の中国産陶磁器

色絵磁器、瑠璃釉磁器、褐釉磁器、黒釉陶器、施釉陶器、朱泥・紫泥が確認された（第14表）。

色絵磁器

碗、小碗、皿等総点数 27 点が出土した（第 14 表）。明代と清代に大別され、明代は皿（224、225）で景徳鎮窯系である。清代は碗（590、591）、小碗（592、593）、皿（594）があり、590 以外は徳化窯系である。

瑠璃釉磁器

碗、小碗、皿、香炉等総点数 18 点が出土した（第 14 表）。明代と清代に大別され、明代は碗（595）、皿（596）、香炉（102）でいずれも景徳鎮窯系と考えられる。清代は小碗（597）があり、徳化窯系である。

褐釉磁器

小碗が 9 点出土した（第 14 表）。384 は小碗で、外面に梅文が描かれる。清代で景徳鎮窯系である。

黒釉陶器

碗、壺等総点数 123 点が出土した（第 14 表）。中でも多いのは天目と称される碗である（98、222、223、326、328、330、332、479、598、599、600、601）。221 は袋物の胴部片で、胎土が軟質を呈する質感等より福建産と考えられる。

施釉陶器

華南三彩と称される明代の資料が 3 点、緑釉陶器の水注が 1 点、翡翠釉の皿が 2 点出土した（第 14 表）。中でも SK91（第 2 検出面）から出土した緑釉陶器の瓜形水注（311）は口縁部から底部まで残存する資料で注目される。602 は鶴形または鴨形水注の口縁部、226 と 603 は翡翠釉の皿と考えられる。

朱泥・紫泥

朱泥が 5 点、紫泥が 3 点出土した（第 14 表）。いずれも清代の江蘇省宜興窯産で、急須や小壺が確認される。いずれも胴部片のため、図化はせず、集計のみ行った。

②タイ産陶磁器

タイ産陶磁器は、褐釉陶器が主体的に出土し、その他、無釉陶器、半練土器、鉄絵、青磁等も少数確認された。Ⅲ層で最も多く出土している。

褐釉陶器

壺、瓶等総点数 171 点が出土した（第 15 表）。壺が最も多い。産地はシーサッチャナライ窯（227、228、604）とメナムノイ窯（57、103、229）が確認された。

無釉陶器

壺、鉢等総点数 5 点が出土した（第 15 表）。壺（230、301）、鉢（231）はバンプーン産と考えられ、その他、鉢（232）が数点確認された。

半練土器

壺、蓋等総点数 37 点が出土した（第 15 表）。Ⅳ層とⅤ層では 1 点と少ないが、第 2 検出面及びⅢ層の段階で数量が増え、第 1 検出面段階で再び量が減る傾向がみられる。口縁部がラッパ状に外反する長頸壺（234、480、605）や、短頸壺（233）があり、胴部に叩き文を施す（235、442）。蓋は撮みが宝珠形（239）と、饅頭形（238、421）のものがみられる。

鉄絵

合子の蓋及び身が 5 点出土した（第 15 表）。出土量は少なく、Ⅳ層及びⅤ層では出土していない。蓋（156、240、308、607）、身（321）。

青磁

袋物の胴部片が 1 点出土した。SU3（第 2 検出面）出土。小破片のため、図化はせず集計のみ行った（第 15 表）。

③ベトナム産陶磁器

ベトナム産陶磁器は、青花が３点出土した。碗が２点、合子の蓋が１点みられ、碗は 443 がⅣ層出土、383 が SK38（第２検出面）出土である。241 は合子の蓋で、Ⅲ層出土である。

④朝鮮産陶磁器

象嵌青磁が１点出土した。碗の胴部片と考えられる（242）。Ⅲ層出土。

⑤その他の輸入陶磁器

産地の特定が難しい産地不明の陶磁器をまとめた（第 14 表）。243 は壺の胴部片で外面には突帯が巡り、内面は櫛？による調整痕が明瞭に残るものである。胎土の質感等はタイ産の 233 に類似する。317 は素地が軟質である質感等より、ベトナム産の可能性を考えた。しかしながら、中国産にも類似する資料があるとのご教示も受けたため、今回は産地不明として報告する。その他、軟質で円形状を呈する蓋（410、608、609）がある。

⑥本土産磁器

本土産磁器は、染付、色絵等があり、産地は肥前（肥前系含む）・薩摩・瀬戸等が確認された。年代的には 17 世紀～ 19 世紀代（明治以前）の製品と明治以降の製品に分けられる。なお、明治以降の近代磁器については絵付け技法により分類を行った。

17 ～ 19 世紀代　肥前系（肥前･波佐見）、薩摩の碗、小碗、皿、蓋、仏飯器等合計 82 点が出土しており、肥前系の染付が主体である。

肥前系（肥前・波佐見）

肥前の碗（610）、皿（617、618）、波佐見の碗（13、611 ～ 613）、皿（614、615）が出土している。

薩摩産

内底に蛇の目状に耐火土を施す碗（620）や、直口の小碗（619）が出土している。

近代（明治以降）　碗、小碗、皿、急須、袋物、火鉢等合計 360 点が出土しており、主に瀬戸・美濃産であるが、僅かに薩摩産の急須が出土している。碗、小碗、皿については絵付け技法により以下のように分類した。なお、近代磁器については今回図化はせず、集計のみ行った。

碗・小碗　A 類　型紙絵付け。
　　B 類　銅版絵付け。
　　C 類　ゴム版絵付け。
　　D 類　吹き絵。
　　E 類　通常の染付。
　　F 類　クロム青磁。
　　G 類　口縁部に圏線が巡るもの。
　　G － 1　緑色の線、G － 2　青色の線

皿　A 類　型紙絵付け。
　　B 類　銅版絵付け。
　　C 類　クロム青磁。直口口縁。

⑦本土産陶器

本土産陶器は、碗、小碗、皿、鉢、擂鉢、瓶、急須、灰吹き、壺等 511 点が出土した。産地は肥前（肥前系含む）・薩摩・備前・信楽・関西系（京焼含む）等が確認され、年代的には 15 世紀代に遡る資料も一部みられるが、近世以降の資料が多い。

肥前系（肥前・唐津・内野山ほか）

肥前産は擂鉢（247）、唐津産は碗（62、621）、皿（35、53、244、627、628）、内野山産は碗（622 ～ 625）が出土している。その他、131 の碗については、素地等の質感より九州産と考えられる。

備前産

擂鉢が 17 点出土している。444 はⅣ層、245、246 はⅢ層、630 ～ 632 は撹乱層出土。

薩摩産

土瓶（63）、蓋（248、638）、壺（634 ～ 637）、土管（639）が出土している。

関西系、瀬戸・美濃産

関西系のものとして擂鉢（633）、また瀬戸・美濃産は灰吹き（640）が出土している。いずれも撹乱層出土である。

⑧沖縄産施釉陶器

沖縄産陶器の中で「上焼（ジョウヤチ）」と称される一群で、器面に釉薬や絵付けを施す製品である。碗、小碗、皿、鉢、瓶、急須、酒器、蓋、鍋、壺、火取、火炉、袋物等 473 点が出土した。碗及び小碗については釉薬の種類や文様の有無等より分類を行った。

碗　A 類　直口口縁。灰釉単掛けで胴部以下露胎となるもの（641 ～ 645）。文様の有無により２種に細分。

A-1　無文。

A-2　鉄釉の文様を施す。

B 類　黒釉（鉄釉）を施釉するもの。施釉方法より３種に細分。

B － 1　黒釉単掛けで胴部以下露胎となるもの。内底に鉄絵の文様を施す（646、647）。

B － 2　外面に黒釉、内面に白化粧＋透明釉で掛け分けるもの。内底は蛇の目釉剥ぎを施す（648）。

B － 3　外面に黒釉、内面に灰釉を掛け分けるもの。

C 類　白化粧＋透明釉を単掛けするもの。文様の有無により２種に細分。

C － 1　無文のもの。（649、650）

C － 2　外面に呉須で文様を描くもの。（651）

D 類　透明釉を施釉するもの。（白化粧は施さない）

小碗　A 類　直口口縁。灰釉単掛け。無文。

B 類　黒釉（鉄釉）を施釉するもの。施釉方法より３種に細分。

B － 1　黒釉単掛けで胴部以下露胎となるもの。内底に鉄絵の文様を施す。

B － 2　外面に黒釉、内面に白化粧＋透明釉で掛け分けるもの。端反口縁。

B － 3　外面に黒釉、内面に灰釉を掛け分けるもの。端反口縁。

C 類　白化粧＋透明釉を単掛けするもの。器形及び文様の有無により３種に細分。

C － 1　胴部を面取りするもの。端反口縁。無文。（652、653）

C － 2　端反口縁または直口口縁。無文。（654）

C － 3　外面に呉須で文様を描くもの。端反口縁。（655）

D 類　透明釉を施釉するもの（白化粧は施さない）。（656）

皿　呉須や飴釉で文様を描くもの（657、658）、白化粧＋透明釉を施し、内底を蛇の目状に釉剥ぎするもの（659）、高台が高い大型のもの（14）がみられる。
鉢　口縁部資料は口縁部が内湾するもの（663）、鍔縁口縁を呈するもの（661、663）、口縁断面形が三角形を呈するもの（662）がみられる。その他、外底に不明文字が墨書された底部資料（666）がある。
瓶　瓶子（671 ～ 673）や渡名喜瓶（670）と称されるものが出土している。670 は胴下部が丸みを帯び、上部は筒形を呈する。671 は怒り肩を呈するもの、672 と 673 は底部がスカート状に広がる。
急須　大型の急須でアンビンと称される急須の底部（668）と把手（669）が出土している。
蓋　鍋の蓋（679 ～ 681）と急須の蓋（682）が出土している。682 の庇内面には墨書がみられる。680 と鍋（677）はセットと考えられる。
鍋　口唇内側を窪ませ、胴部は緩やかに丸みをもつもの（677）と口縁部が「く」の字状に屈曲するもの（678）が出土している。
壺　油壺と称される小型の壺である（674、675）。
火炉　683 は口縁部に三角形状の突起があり、684、685 は火炉の底部資料である。
香炉　口縁断面形が方形を呈し、頸部が長いものがみられる（676）。
陶管　686 は内面に受け部がみられる形状より陶管と考えられ、つくりはやや粗い。

⑨沖縄産無釉陶器

沖縄産陶器の中で「荒焼（アラヤチ）」と称される一群で、高火度で焼成された焼き締め陶器である。年代や作法から大きく２種に大別でき、17 世紀前半の製品と考えられる焼き締め陶器の一群を初期無釉陶器、17 世紀後半以降と考えられる無釉陶器と分けて報告する。

初期無釉陶器　湧田古窯跡を中心に焼成されたと考えられる資料で、高火度で器面に泥釉などが施釉される一群である。鉢、擂鉢、瓶、壺、火炉、袋物等合計 45 点が出土している。
壺　口縁部が玉縁状を呈するもの（83）や、外面胴下部に珊瑚目、また外底に貝目と思われるものがみられる（699）。どちらも外面には泥釉を施すもので、器形が大きく変形するものや、焼き膨れ等もみられる。
火炉　平底で底部の厚みは薄く、口縁部直下に角状の突起をもつ。泥釉が施され、焼き膨れが目立つ（703）。

無釉陶器　17 世紀後半以降に焼成されたと考えられる一群をまとめた。皿、鉢、擂鉢、瓶、急須、壺、甕、火炉、袋物等合計 670 点が出土している。
皿　灯明皿（687）である。
鉢　口縁部資料は鍔縁口縁を呈するもの（688）、口縁部を内湾させた後に外側へつまみ出して肥厚させたもの（689）がみられる。
擂鉢　口縁部資料は鍔縁口縁を呈するもの（690）、口縁部が「F」字状を呈するもの（691）がみられる。
瓶　最大径が胴部中央にくるもの（692）と、胴下部にくるもの（693）がみられる。また、高台をもつもの（694）もある。
急須　胴部が丸みをおびるもの（695）、胴部から底部にかけての直線的にすぼまるもの（696）がみられる。
壺　口縁断面形が方形状を呈するもの（697）、口縁部が玉縁状に肥厚するもの（698）がある。
甕　口縁部が逆「L」字状を呈するもの（700、701）、口唇端部が三角形状に尖るもの（702）が出土している。
火取　口縁断面形が方形を呈し、口縁部から胴部にかけてややすぼまるもの（704）がみられる。
錘　形状が円筒状のもの（705）、H 形を呈するもの（706、707）が出土している。
その他　その他の器種として、蔵骨器と考えられる資料が出土している（708）。

⑩陶質土器

壺屋において「アカモノ」と称されるもので、胎土は細かく、器色は橙色や黄褐色を呈する。焼成は弱く、脆いものが多い。轆轤引きや輪積みにより成形される。鉢、急須、鍋、蓋、火炉等合計 101 点が出土している。小破片がほとんどのため今回は図化はせず、集計のみ行った。

⑪瓦質土器

瓦質土器は産地が沖縄産と本土産に分けられる。以下に産地別に報告する。

沖縄産

鉢、植木鉢、火炉、焜炉、火鉢、目皿、袋物等合計 37 点が出土している。

鉢　口縁部が「く」の字状に屈曲する（249、250）。

擂鉢　口縁部が「く」の字状に屈曲し、内面に櫛目がある（324）。

植木鉢　口縁部はやや内湾するもので、波状の凸帯を 2 条巡らせる（309）。

火炉　火炉と思われる底部資料である（251）。内外面に調整痕が明瞭に残る。外底には脚部が付くものと考えられる。

本土産

皿、擂鉢、火炉、火鉢等合計 13 点が出土している。このうち特徴的な 2 点を図化する。

火鉢　口縁部は逆「L」字状を呈し、内面及び口唇部に煤が付着する（161、709）。口縁部の区画内に円筒印章の凸文（湧田古窯跡Ⅳ参照）による雲文を連続的に施文する。

⑫硬質土器

土師質な胎土を呈しており、本土産焙烙と考えられるものである。外面に煤が付着する（712 ～ 714）。

⑬土器

土器は宮古式土器、八重山式土器、パナリ焼、島外産と考えられる土器等が出土しており、1,242 点を数える。なかでも宮古式土器が最も多く出土している。先史土器は確認されていない（第 22 表）。

宮古式土器

壺、鉢等合計 1,183 点が出土している。多くは壺である。

壺　器面が黒色を呈するもの（52、56、252 ～ 255）と、橙色を呈するもの（155、422）、灰白色を呈するもの（710）がある。252 は頸部に耳が付く。254 は頸部が短く、口縁部は屈曲する。255 は平底を呈する。56 は頸部が短く、口縁部は「く」の字状に屈曲する。52 は頸部は長く、肩部に瘤状の耳が 4 つ付く。253 は頸部が長い。155 と 710 は頸部から口縁部へ長く直立する。422 は底部資料で、外底には葉文が明瞭に残る。

八重山式土器

胎土中に大粒の貝殻片を含むものであり、器種不明の破片が 4 点出土している（第 22 表）。小破片のため、集計のみ行った。

パナリ焼

胎土中に大粒の貝殻片を多く含むもので、器壁がさらに厚いものをパナリ焼とした。壺の他、器種不明の破片が 54 点出土している。本資料についても集計のみ行った。

本土産土師質土器

土師質の皿が 1 点出土した。本土産と考えられる（715）。

⑭カムィヤキ

壺の胴部片が１点のみ出土している（第 22 表）。256 でⅢ層出土。

⑮土製品

土製品は２点出土しており、錘（257）、土鈴（15）がある（第 24 表）。

⑯石器・石製品

石器は 22 点、石製品は５点出土している（第 25 表）。

石器は細粒砂岩製の砥石（481）、石皿（263）が、図化はしていないが磨石がみられる。

石製品は硯（716）がみられる。その他、火打石の可能性が考えられる製品もみられた。

⑰骨製品

骨製品は５点出土している（第 27 表）。ヤスと考えられるもの（258、411）、梳櫛（すきぐし）と考えられる製品（717）、歯ブラシの柄部と思われる製品（259）がある。

その他の資料として、素材は骨と思われるもので、平坦面に墨書を施した製品（315）がある。「刀、元加」などの文字と判読され、荷札のような用途が想定される。

⑱貝製品

貝製品は貝錘が１点出土している。414 で SX14（第２検出面）出土。

⑲円盤状製品

円盤状製品は 61 点出土している（第 26 表）。素材別にみると、中国産青磁８点、中国産白磁８点、中国産青花３点、中国産褐釉陶器１点、沖縄産施釉陶器３点、沖縄産無釉陶器７点、明朝系瓦 31 点である。そのうち５点について図化を行った。

445 は中国産青磁製、261 は中国産褐釉陶器製、260、718、719 は中国産白磁製である。

⑳煙管

煙管は陶器製がみられ、合計 10 点が出土している。全て雁首である（第 29 表）。そのうち６点について図化を行った。

725 は中国産瑠璃釉製、724 は沖縄産施釉陶器製、71、323、722、723 は沖縄産無釉陶器製である。

㉑銭貨

銭貨は中国銭 111 点、日本銭６点、琉球銭６点、無文銭 70 点、不明 178 点の合計 371 点出土している（第 30 表）。中国銭は 22 種が確認され、最も古いのが開元通寶（初鋳年　621 年）、新しいのが永楽通寶（初鋳年　1408 年）である。内訳をみると、唐銭４点、北宋銭 30 点、南宋銭５点、明銭 70 点を数える。日本銭は寛永通寶が４点、近代の一銭が２点出土している。琉球銭は大世通寶（初鋳年　1454 年）が５点、世高通寶（初鋳年　1461 年）が１点みられた。

出土状況をみると、銭貨はⅢ層で最も多く出土している。本遺跡出土の銭貨は遺跡の立地もあってか、かなり錆化の進んだ状態のものがほとんどであったため、銭種が判読できる資料は少なかった。また、複数枚が重なった状態のものも確認された。

㉒鉄製品・金属製品

鉄製品は少なく、鉄釘の他、器種不明のものがほとんどで、合計 37 点出土した（第 28 表）。また同様に、鉄製品以外の金属製品についてもその出土量は非常に少なく、金具類の他、器種不明のものがほとんどで、全体で 15 点の出土に留まった（第 29 表）。これらのほとんどは破片で詳細不明のため、図化はせず、集計のみ行った。

㉓窯道具

円盤状のハマが２点出土した。305 と 306 はいずれも SK83（第２検出面）出土である。

㉔瓦

瓦は高麗系瓦、大和系瓦、明朝系瓦、近代大和系瓦が出土している。なかでも明朝系瓦については、那覇市の渡地村跡で出土した渡地系瓦と称される一群が確認された。渡地系瓦とは、典型的な明朝系瓦と瓦当文や造りが異なる製品である（那覇市 2010）。これらの瓦については、便宜的に「Ｂタイプ」として、従来知られる明朝系瓦と区別して整理を行った。また、その他に瓦に類似するものとして、形状が直線的で厚さが約 1.5cm 前後の扁平を呈する資料がみられ、同資料を「板状の瓦製品」と称して区別した。以下に、種類別に報告する。

高麗系瓦

平瓦 17 点、丸平不明２点が出土している（第 33 表）。凸面に羽状打捺文様がみられるが、文字銘を残すものはない。そのうち１点について図化を行った。

484 は平瓦で、凸面に不明瞭な羽状打捺文様がみられる。Ⅴ層出土。

大和系瓦

丸瓦３点、平瓦 15 点、雁振瓦５点、丸平不明２点の合計 25 点出土している（第 34 表）。叩き文様は丸瓦の凸面に羽状文がみられたが、平瓦は文様を確認できなかった。雁振瓦の瓦当部の両側に付く平瓦部分はやや湾曲するもの等がみられた。大和系瓦のうち、２点について図化を行った。

319 は平瓦で SK131（第２検出面）出土、287 は丸瓦でⅢ層出土である。

明朝系瓦

軒丸瓦５点、軒平瓦 17 点、丸瓦 337 点、平瓦 973 点、丸平不明 661 点、合計 1,993 点出土している（第 35・36 表）。第２検出面で出土量が増え始め、Ⅲ層で最も多く、第１検出面まで多く出土する傾向がみられる。代表的な 12 点について図化を行った。

軒丸瓦

色調別には灰色系、褐色系、赤色系に区分できる。446 は褐色系、288 は灰色系でどちらの文様も牡丹文様である。

軒平瓦

色調別には灰色系、褐色系、赤色系に区分できる。これらのほとんどが破片資料で詳細不明のため、図化はせず、集計のみ行った。

丸瓦

色調別には灰色系、褐色系、赤色系、さらに焼成が堅緻で沖縄産無釉陶器のような質感をもち、断面が赤色のものを硬質陶器質として区分した。289 は褐色系で玉縁部に魚文のようなヘラ描きがある。Ⅲ層出土。

平瓦

色調別には灰色系、褐色系、赤色系、硬質陶器質に区分できる。447 は硬質陶器質で二次焼成の影響か、大きく変形する。Ⅳ層出土。293 は灰色系で、凸面に半円弧状の印を複数回押したもの、294 は「大」

の字を手書きしたものでそれぞれⅢ層出土。731 ～ 733 は灰色系で、撹乱層出土。

明朝系瓦　B タイプ

従来知られる明朝系瓦と瓦当文や成形技法等が異なるもので、渡地系瓦とも称される一群。凹面の調整が粗雑で、板状の工具を用いたと思われる筋状の整形痕等が確認される。また、布目はほとんどみられない等の特徴がある。色調は赤色である。軒丸瓦２点、軒平瓦６点、丸瓦 10 点、平瓦 17 点、丸平不明６点、合計 41 点出土している。B タイプについても、明朝系瓦同様に、第２検出面で出土がみられ、Ⅲ層で最も多く、第１検出面まで出土する傾向がみられる。

162 は軒丸瓦で、瓦当部の縁部に珠文？がみられる。163 は軒平瓦の瓦当部と考えられるもので、どちらも SX5（第１検出面）出土。730 は軒平瓦で瓦当文様は唐草文。渡地村跡で類例資料がみられる。撹乱層出土。290 は丸瓦で小型のもの、292 は平瓦でいずれも渡地村跡で類例資料がみられる。Ⅲ層出土。

近代大和系瓦

器表面が磨かれ、燻し銀色を帯びる灰色瓦。平瓦が１点出土している（第 34 表）。小破片のため、図化はせず集計のみ行った。

板状の瓦製品

瓦に類似するものとして、形状が直線的で、厚さが約 1.5cm 前後の扁平を呈する資料。文様はみられない。器面調整は粗いものがほとんどだが、中には器面調整が丁寧なものも数点みられた。合計 61 点出土し、第２検出面の遺構出土が最も多い（第 37 表）。全て破片資料のため、図化はせず集計のみ行った。735 は調整が丁寧なタイプ、736 は調整が粗いタイプであり、出土資料のほとんどが 736 と同様のものである。

㉕塼

塼は無文塼と有文塼がみられ、合計 181 点出土した（第 38 表）。無文塼は平面形態から分類して５タイプがみられる。なお、分類は上原分類（2011）を参考にした。手書きによる線状のヘラ印がみられるものもあった。

Ⅰ式

平面に敷き並べるタイプ。灰色系、褐色系、赤色系が出土している。なお、ほとんど破片資料のため、方形か三角形かは判別できない資料がほとんどである。448 は灰色系で方塼と考えられる。

Ⅱ式

平面形が長方形のいわゆる条塼。灰色系、赤色系が出土している。

Ⅳ式

外観に下駄状の突起を有するタイプ。褐色系が１点出土している。

Ⅴ式

形態が方向の異なる二枚の平面から構成され、側面に噛み合わせの段を造形するタイプ。赤色系が１点出土している。

Ⅵ式

形態が方形を呈し、窯の壁材（耐火材）としての機能が考えられるもの。灰色系、褐色系、赤色系が出土している。449 は灰色系で、側面にヘラ印と思われる数条の線刻がみられる。

有文塼

有文塼は１点出土した（737）。雲形文様が残る。撹乱層出土。

その他の遺物として、石材があり、砂岩や軽石がみられる。

第 10 表　中国産青磁出土状況一覧

合計 / 点数				層 / 検出面								総計
種類	分類		部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
碗	Ⅳ	Ⅳ-a類	口～底				1					1
			口		2	22	1	26	31			82
			底			3	1	5	3			12
			胴					1	4			5
		Ⅳ-b類	口				2					2
			底			1	1	1			1	4
			胴			1						1
		Ⅳ-d類	胴			1						1
		－	口	2	9	33	38	1	7	4	8	102
			底		2	15	16	3	5		17	58
			胴	2	10	102	21	28	87	3	5	258
	Ⅳ'	Ⅳ'-a類	口			4		9				13
			底					3				3
			胴					1				1
		Ⅳ'-1	底					1				1
		－	口		1	41	4	4	1			51
			底		2	5	7	4	7		9	34
			胴			1	3			1	4	9
	Ⅳ・Ⅳ'	－	口			46						46
	Ⅴ	Ⅴ-1a類	底				1	1	1			3
		Ⅴ-1b類	底			1	2					3
		Ⅴ-1類	底		3	15	12	8	3		7	48
			胴		1							1
		Ⅴ-2a類	口～底				4					4
			底				2					2
		Ⅴ-2b類	底				1		1		1	3
			胴			1						1
		Ⅴ-2c類	口～底			1	14					15
			底				1					1
		Ⅴ-2類	口			1						1
			胴～底				1					1
			底		1	6	5	1	2		4	19
		Ⅴ-3類	底				1					1
		Ⅴ-a類	口			3	1					4
		Ⅴ-b類	口			1		1	1		1	4
			胴		1							1
		Ⅴ-c類	口								1	1
		Ⅴ-d類	口			1						1
		－	口	3	35	165	170	72	3	1	65	514
			底		4	4	19	5	1		6	39
			胴	10	37	268	144	22	16	7	31	535
	Ⅳ・Ⅴ	－	口		17	68	50	11	1		9	156
			底		2	3		1	1			7
			胴		16	110	34	68	31		8	267
	Ⅵ	Ⅵ-a類	口		1	1					9	11
			口～底								1	1
			胴			3						3
		Ⅵ-b類	口	1	21	60	44		3		52	181
			口～底				1		1			2
			底		8	7	3		1		13	32
			胴	2	24	69	29				93	217
		Ⅵ-c類	口		2						3	5
		－	口		2	24	3				4	33
			底	1	11	21	15	1			13	62
			胴		12	408	15				9	444
	Ⅴ・Ⅵ	－	口				1					1
			底								1	1
			胴		1		3					4
	Ⅶ	Ⅶ-b類	口		3		1				1	5
			胴		1							1
		Ⅶ-c類	口					1				1
		－	口			1	1					2
			底		1							1
	幅広高台碗		口			1	1					2
			底		1	1					3	5
	－		口		34	13	46			3	70	166
			底		1	1	2	3			6	13
			胴	6	144	352	218			7	168	895
小碗	－		底				1					1
皿	Ⅳ	Ⅳ-b類	口				4		8			12
			底		1	10			1		1	13
			胴		2							2
	Ⅳ'	Ⅳ'-a類	口～底			2			1			3
		－	口～底		1							1
			底		1	10	3		2		6	22
			胴			1						1
	Ⅴ	Ⅴ-1a類	口～底								1	1
		Ⅴ-1b類	底		1	1						2
		Ⅴ-1類	底				1				1	2
		Ⅴ-2類	底						1			1
		Ⅴ-1d類	口～底			1						1
		Ⅴ-2a類	口～底					1			1	2
		Ⅴ-a類	口				1		2			3
			口～底			1						1
		Ⅴ-3b類	底			1						1
		Ⅴ-b類	口	1	1		7				1	10
			口～底				1				1	2
			底				1				1	2
			胴			3				1	1	5
		口折	口			8					2	10
			胴									1
		稜花	口		2	51	15	2			5	75
			口～底			10						10
			胴			2						2
		－	口	1	7	39	9	8		3	6	73
			口～底		1		2				1	4
			底	1		20	4	1	3		1	30
			胴		3	15	1	1	1		1	22
	Ⅳ・Ⅴ-b類		口								1	1
	Ⅳ・Ⅴ	口折	口			5		1	1			7
		－	口		1			3	2			6
			底			5	1					6
			胴			14		3	1		3	21
	Ⅴ・Ⅵ	－	底			7						7
			胴			6						6
	Ⅵ	Ⅵ-b類	口			1					2	3
		口折	口				1				3	4
		－	口			5	2					7
			口～底								2	2
			底	1		6						7
			胴			1					2	3
	口折		口				4				1	5
	稜花		口		3		2				18	23
	－		口	2	13	9	38				43	105
			底	1	8	1	11				5	26
			胴	2	15	10	19			2	13	61
杯	－		口			1	1					2
高足杯	－		底		1							1
盤	Ⅰ	Ⅰ-a群	口		2	15	11	1	5	1	4	39
			口～底			1						1
			底					1	1		1	3
		Ⅰ-b群	口								1	1
		Ⅰ-c群	口		4	3	2	2			5	16
		Ⅰ-1c群	口				1					1
		－	口		2	8	2		8		1	21
	Ⅱ	Ⅱ-a群	口				1					1
		Ⅱ-c群	口				2					2
		－	口		1	2	2	1			2	8
			底								1	1
	Ⅲ	Ⅲ-a群	口					1	1			2
			口～底			1						1
		Ⅲ-c群	口～底			1						1
		－	口			5	2					7
	Ⅳ	Ⅳ-c群	口			1	1					2
			口			1					2	3
	Ⅴ	－	胴	1	2	27	12	11	5		4	62
	底Ⅰ	底Ⅰ-a群	底			4	1	2				7
		底Ⅰ-c群	底							1		1
		－	底		1	10	5		2		4	22
	底Ⅱ	底Ⅱ-a群	底			1	1					2
		底Ⅱ-c群	底				1					1
		－	口								1	1
			底		3	8	3	2			3	19
	－		口		1		1				1	3
			底				1					1
			胴		11	17	11	4		1	14	58
鉢	－		口				1				1	2
			底				1					1
			胴		1					1	1	3
大鉢	－		胴					1			1	2
小鉢	－		胴			1						1
擂鉢	－		口				1	1				2
			胴				1					1
瓶	－		口	1		1	3					5
			胴		2	3	2				1	8
酒会壺	－		口		1							1
			胴			1						1
壺	－		胴			1						1
香炉	－		口		2	7	3		1		1	14
			口～底		1						2	2
			底						1	1	2	4
袋物	－		底			1	1					2
			胴		3	10	2	2	2		10	29
合子	－		口	1								1
器台	－		底				1					1
－			口			1	3			1		5
			底								1	1
			胴		3	19	7				5	34
			撹					1				1
総計				39	511	2,282	1,155	332	260	38	814	5,431

第 11 表　中国産白磁出土状況一覧

合計 / 点数				層 / 検出面								総計
産地	器種	分類	部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
景徳鎮	碗	E群	口		2	1	1				1	5
			底		1							1
			胴			5						5
		－	口				3					3
			底				3		1			4
			胴		1	3	1		1			6
	小碗	E群	口～底			2						2
	皿	E群	口		1	5	3				3	12
			口～底		1						1	2
			底		2	4	1				3	10
			胴		1						1	2
		－	口				1					1
			口～底								1	1
			底		2						1	3
			胴				1					1
	杯	E群	口		1							1
		－	口								1	1
			胴			1						1
	小杯	E群	口								4	4
		－	口～底								1	1
			底								1	1
	袋物	－	胴			2						2
	－		胴			5						5
福建	碗	AⅡ群	口				1					1
		C-3群	口			9	2	4			1	16
			口～底		1	1					1	3
			底			1						1
			胴					1				1
		C群	口		1							1
			底			1						1
			胴			7	3	3				13
		D-Ⅰ2群	底		1							1
		D'群	口		1		1	2			8	12
			口～底			1						1
			底		1						3	4
			胴								3	3
		E群	底		1							1
		－	口		1	3	1			1	5	11
			底			1	2	1				4
			胴		5	14	4				5	28
	小碗	D-Ⅰ3群	底								1	1
		D群	口				1		1		1	3
			底						1		1	2
		－	口		1							1
	皿	D-2群	口		1		102		1			104
			底				1					1
			胴		1		7				1	9
		D-Ⅰ2群	口								2	2
			口～底			1	14	1			2	18
			底	1	10	17	26	7	8	1	8	78
		D-Ⅰ3群	口～底			3	3					6
			底	1	1	8			1		3	14
		DⅠ群	底			1	1					1
		D-Ⅱ1群	口～底	1		4	14				1	20
			底			7	18				4	29
		D-Ⅱ2群	口～底			1						1
			底		2		2	1			3	8
		D群	口	1	19	122	129	5	4	1	18	299
			底				4				2	6
			胴		12	88	17	8	6		9	140
		D'群	口			3						3
			口～底			2						2
		－	口		1		1				4	6
			底		1						3	4
			胴		1		1					2
	杯	D群	口		1	3		1				5
			口～底			2	1					3
			底			2						2
			胴					1				1
		－	底								1	1
	小杯	D群	口		1		1				1	3
			底				1				1	2
			胴				1					1
	瓶		底				1					1
	壷		－				1					1
	袋物		胴				1					1
	－	D群	口		1							1
			胴			1						1
		－	胴		3			3				6
徳化	碗		口		1						6	7
			底								5	5
			胴		1							1
	小碗		口		8						8	16
			口～底		8						4	12
			底		3						2	5
			胴		2						1	3
	皿		口～底								2	2
	鉢入れか		口		1							1
	小杯		口								1	1
			底				1					1
	灯明具		底								1	1
－	碗		胴				2				11	13
	小碗		口		1							1
			口～底		1							1
	皿		口		1						3	4
			口～底				26					26
			底			3						3
			胴								1	1
	杯		底						1			1
	壷		胴				1					1
	瓶		口			1						1
	連華		－								1	1
	－		底		1							1
			胴		5	1					12	18
総計				4	113	335	406	38	25	3	168	1,092

第 14 表　中国産その他陶磁器出土状況一覧

種類 / 出土地				層 / 検出面								総計
種類	年代	器種	部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
色絵	明代	皿	口		3	3						6
			底		1							1
			胴		1	6						7
	清代	小碗	口		1						2	3
		皿	胴		1							1
	－	碗	口								1	1
			底								1	1
		碗	胴		1							1
		皿	口～底									1
		－	胴			1					3	5
瑠璃釉	－	碗	口		1						3	4
			胴		1							1
		皿	口～底								1	1
			底								1	1
		小杯	口								1	1
		瓶	口		1							1
		香炉	底		1							1
		袋物	胴			4					1	5
		－	口								3	3
褐釉磁器	－	小碗	口	2	4		1					7
			底		2							2
		小杯	口		1							1
黒釉陶器	－	碗	口		1	11	8	5	1		6	32
			底		1	3	1				1	6
			胴	1	5	53	9	5	2		9	84
		袋物	－			1						1
三彩	－	水注	口								1	1
			胴		1							1
		－	胴			1						1
緑釉		水注	口～底				1					1
翡翠釉	－	皿	口			2						2
		－	胴			1						1
朱泥	清代	急須	胴		3							3
			底		2							2
		小壷	胴									0
紫泥		急須	胴		2						1	3
総計				3	34	86	21	10	3	0	36	193

第 12 表　中国産青花出土状況一覧

合計 / 点数						層 / 検出面							総計
年代	産地	器種	分類	部位		Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
明代	景德鎮	碗	B群	口				1	2				1	4
				口～底				1						1
				底				8	4				3	15
				胴									1	1
			C群	口～底			1	1						2
				底									1	1
			D群	口				9					2	11
				口～底				1	1					2
				底									1	1
				胴			1	1						2
			E群	底				1						1
			－	口			12	51	5		1		9	78
				口～底					1					1
				底			1	6	2				7	16
				胴		4	10	82	14				10	120
		小碗		口				2						2
				口～底					1					1
				底			3		1				1	5
		皿	B₁群	口			2						2	4
				口～底				1					1	2
				底			1	1	1				1	4
			C群	口			1	4						5
				底			1	4					3	8
			－	口			10	8	2				2	22
				口～底				1	1				2	4
				底			1	9	2				5	17
				胴			4	3	3				11	21
		杯		口					2				1	3
				底				1					1	2
		小杯		口			1	1	2				5	9
				胴			5						1	6
		鉢		胴				2						2
		小鉢		口									1	1
				口～底				4						4
				底									3	3
				胴			1						1	2
		瓶		口			1	1	1					3
				胴			1						4	5
		袋物		胴			3	4	1				3	11
		壺		口				1						1
		高足杯		底			1							1
				－			1							1
		-		胴			1	1					4	6
	漳州	碗		口			3	1					5	9
				底									1	1
				胴					2				4	6
		小碗		底									1	1
		皿		口									1	1
				底			1						3	4
				胴									1	1
		瓶		胴			3		1					4
		袋物		胴									1	1
		-		胴					1				1	2
清代	景德鎮	碗		口			3						21	24
				口～底			1							1
				底			1	1					3	5
				胴			4	1	2				18	25
		小碗		口			2						4	6
				口～底		1								1
				底				1					2	3
				胴					1				1	2
		皿		口			2						5	7
				口～底			1							1
				底									1	1
				胴			4	1					4	9
		杯		口									1	1
				胴									1	1
		小杯		口			2		1				5	8
				口～底									1	1
				底									7	7
				胴									1	1
		瓶		口									3	3
		袋物		胴				1					1	2
		小壺		口									1	1
		蓮華		－									2	2
		-		胴			1		1				2	4
	德化	碗		口			9						26	35
				口～底			2						3	5
				底			4						16	20
				胴			8	1					47	56
		小碗		口			3						3	6
				口～底									1	1
				底			1							1
		皿		口			1		1				3	5
				口～底			1						2	3
				底			3						12	15
				胴		1			1				3	5
		袋物		底									1	1
				胴					1					1
		-		口					1					1
				胴			1							1
	福建	碗		口			2						11	13
				口～底									1	1
				胴									10	10
		小碗		口									1	1
		皿		口									5	5
				底			1							1
		杯		口									1	1
	福建・広東	碗		口			27	2	2				36	67
				口～底			2							2
				底			10	1					17	28
				胴			20	4	2				11	37
		小碗		口			1							1
				口～底			2							2
		皿		口					2				2	4
				底					2					2
				胴									1	1
		大鉢		口			1							1
-	景德鎮	碗		口				3	1				6	10
		小碗		口									1	1
		皿		底					1					1
		小杯		口				3						3
	－	碗		胴				4					18	22
				底					1					1
		皿		口			1						2	3
				底									1	1
				胴									1	1
		袋物		口									1	1
		-		胴									2	2
総計						6	191	234	70	0	1	0	434	936

第 13 表　中国産褐釉・白釉・無釉陶器出土状況一覧

種類 / 出土地			層 / 検出面							総計
種類	器種	部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
褐釉陶器	鉢	口			2	4		1		10	17
		胴			1	1				1	3
	鉢か	口～胴				1					1
	擂鉢	口			1					1	2
		底								1	1
		胴			2		1			1	4
	植木鉢	-				2					2
	瓶	口		1	2					1	4
	壺	胴		1		7					8
	壺	口		3	9	8				5	25
		底	3	3	8	12		1		8	35
		胴	9	134	478	148	24	20	2	141	956
	小壺	口								1	1
	水注	胴						1			1
	袋物	胴		2		1					3
	-	底				1					1
		胴		14	3	14				25	56
白釉陶器	壺	胴		2	9	2				6	19
	－	胴		2		1					3
無釉陶器	鉢	口								3	3
	擂鉢	底								1	1
	壺	口			1					1	2
	－	胴		1							1
総計			12	163	516	202	25	23	2	206	1,149

第 15 表　タイ・ベトナム・朝鮮産他出土状況一覧

種類 / 出土地				層 / 検出面							総計
産地	種類	器種	部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
タイ	青磁	瓶	胴		1							1
		袋物	胴				1					1
	褐釉	瓶	口		1							1
		壺	口		4	9	3		1		1	18
			底			8	1					9
			胴	3	17	58	25	2			35	140
			－				1					1
		壺	底		1							1
		－	胴				1					1
	無釉	鉢	口			2						2
		壺	胴			2	1					3
	鉄絵	合子	蓋		1	1	1				1	4
			身				1					1
			－			1						1
	半練土器	皿	胴				1					1
		壺	－			6	5	1			1	13
			口			2					1	3
			底			1						1
			胴		1	7	2	1				11
			－			3						3
		－	胴		1		3				1	5
ベトナム	染付	碗	口				1	1				2
		合子	蓋			1						1
朝鮮	青磁	碗	胴			1						1
東南アジア	無釉	壺	胴			1						1
総計				3	27	103	47	5	1	0	40	226

第 16 表　本土産磁器出土状況一覧

種類 / 出土地					層 / 検出面								総計
種類	分類	産地	器種	部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
磁器	染付	肥前	碗	口		1						3	4
				底								2	2
				胴		2						7	9
			小碗	口		2							2
			皿	口		1						1	2
				底		1						2	3
				胴								2	2
			鉢	底								1	1
			瓶	胴		1							1
			袋物	胴								1	1
		波佐見	碗	口			1					3	4
				胴								2	2
				底		1							1
			皿	口		1						1	2
				口～底		1							1
	色絵	肥前	皿	口								1	1
			壺	-								1	1
	－	肥前	碗	口		3						2	5
				口～底		4							4
				底		2	1						3
				胴								1	1
			小碗	口		3							3
				底		3							3
			皿	口								1	1
				底								2	2
				胴		2							2
			瓶	口		1							1
			壺	-								1	1
			仏飯具	底		1							1
			-	胴		1							1
		波佐見	碗	口～底								1	1
				底								1	1
			皿	底								1	1
		関西	鶴	胴								1	1
		薩摩	碗	底								1	1
			小碗	口								1	1
		－	碗	口								1	1
				胴		1						1	2
			小碗	胴		1						1	1
			皿	口		1						2	3
			急須	口～底								1	1
			袋物	胴		1							1
近現代	－	薩摩	急須	胴								1	1
		瀬戸・美濃	碗	底					3				3
			火鉢	底								1	1
			便器	縁								3	3
	色絵	－	碗	口								4	4
				底								4	4
				胴								2	2
			小碗	口								1	1
				底								1	1
				胴				2					2
			皿	口								1	1
				底								3	3
			小杯	口～底								1	1
			鉢	口								1	1
			-	胴								2	2
				口								12	12
				口～底								1	1
				底								1	1
				胴								11	11
				口								1	1
				口～底								1	1
				底								5	5
				胴				1				14	15
				口								3	3
				口								4	4
				底								4	4
				胴								2	2
				口								4	4
				口～底		1						1	2
				底		1							1
				胴				1				4	5
			小碗	A類	口							1	1
					底		1						1
				B類	口		1					4	5
					底							3	3
					胴							4	4
				E類	口		1					6	7
					底		1					4	5
					胴		1					2	3
				F類	口							2	2
					胴		1					2	3
				色絵	口							1	1
					底							1	1
					胴				2				2
				－	口							8	8
					底		1					3	8
					胴		2		1			3	6
			皿	A類	口							9	9
					口～底							1	1
					底							4	4
					胴							2	2
				B類	口							1	1
					口～底							2	2
					底		1					4	5
					胴		2						2
				C類	口							2	2
				色絵	口							1	1
					口～底							2	2
					底							3	3
				－	口		1					17	18
					口～底		1					2	3
					底		1					19	20
					胴		3					5	8
	小皿		－		口							1	1
	杯		－		底							1	1
	小杯		－		口		1					2	3
					底			1				1	2
					胴							2	2
	鉢		－		胴		3						4
					口～底		3						3
					胴		1						1
	小鉢		－		底		1						1
	瓶		－		底		1						1
					胴		1						1
	急須		－		口							1	1
					底							3	3
					胴							2	2
	蓋		－		－							12	12
	鍋		－		胴							1	1
	壺		－		底							1	1
	香炉		－		口							1	1
	火鉢		－		胴							1	1
	碍子		－		－							3	3
	型物		－		－							1	1
	袋物		－		口							4	4
					底		2						3
					胴		1					15	16
			－		口		2					3	5
					底		1					2	3
					胴		1					29	30
					把手							1	1
総計						0	74	3	7	3	0	0	355	442

第 17 表　本土産陶器出土状況一覧

種類	分類	産地	器種	部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	総計
陶器	–	肥前	碗	口		1							1
			小碗	口		1							1
			杯	口～底		1							1
			擂鉢	底			1						1
				胴			1					1	2
		肥前・内野山	碗	口				1				2	3
				底				1				2	3
				胴		2							2
			小碗	口～底		1							1
			皿	口		1							1
		唐津	碗	口～底		1							1
				底	1							1	2
			皿	口		1	1						2
				口～底		1							1
				底								2	2
			大皿	底		1							1
			盤	口		1						1	2
			鉢	底								1	1
		薩摩	碗	胴				1					1
			鉢	胴								1	1
			擂鉢	底		1							1
			急須	口		1							1
			土瓶	口～底		1							1
			蓋	–		3						4	7
			壺	口			1	1				2	4
				底			1					4	5
				胴		6	1	3				28	38
			袋物	胴								2	2
			土管	口								1	1
			–	胴		4		2				4	10
		九州	壺	胴								1	1
			碗	口～底		1							1
		備前	擂鉢	口			3	2				3	8
				底					2				2
				胴		2			2	1		2	7
		信楽	壺	胴			1						1
			–	胴		1	1						2
		関西	碗	口		2						1	3
			皿	底			1						1
			擂鉢	底								320	320
			急須	胴								1	1
			蓋	–								1	1
			鍋	口								1	1
			袋物	胴								1	1
		瀬戸・美濃	灰吹	口			1						1
				口～底								1	1
		–	碗	口		1						1	2
				底				1					1
				胴		2						2	4
			小碗	口			1						1
			皿	口								1	1
				底								1	1
			鉢	口				1					1
			焼酎瓶	口								1	1
				底								1	1
				胴								2	2
			急須	口		1							1
				胴		1						1	2
			蓋	底			1						1
			壺	胴	2	2		1					5
			火取	口～底		1							1
			灰吹	口								1	1
			袋物	胴			1					1	2
			–	胴		2	4						6
近代	–		小碗	口～底		1							1
				底								1	1
			皿	口～底								1	1
			植木鉢	–								1	1
			急須	胴		1							1
			蓋	–								3	3
			香炉	口		1							1
			袋物	口								4	4
				口～底								1	1
				胴								5	5
			–	胴								5	5
			合子	身				1					1
総計					3	47	20	15	4	1	0	421	511

第 20 表　陶質土器出土状況一覧

器種	部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	総計
鉢	口								1	1
	底								2	2
擂鉢か	口								1	1
急須	口								8	8
	胴		4						6	10
蓋	–		4						6	10
鍋	口		3		1				2	6
	底		1							1
	胴		13						3	16
火炉	口		1						2	3
	胴			1	1				2	4
袋物	胴								1	1
–	胴		10	3	4				21	38
総計		0	36	4	6	0	0	0	55	101

第 21 表　瓦質土器出土状況一覧

産地	器種	部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	総計
沖縄	鉢	口		1	2					1	4
		底								1	1
		胴		1							1
	擂鉢	口		1		1					2
	植木鉢	口				1					1
	香炉か	口		1							1
	火炉	口			1						1
	焜炉	口～底								2	2
	火鉢	胴								2	2
	目皿	胴		1							1
	袋物	胴		1							1
	-	口	1								1
		胴		3	2	7				7	19
本土	皿	口					1				1
	擂鉢	胴		1	1					1	3
	火炉	胴								1	1
	火鉢	口		1							1
		底			1						1
	火鉢か	口								1	1
	–	口				1					1
		胴			1	1					2
-		胴		1			1				2
総計			1	12	8	11	2	0	0	16	50

第 22 表　カムィヤキ・土器出土状況一覧

種類	器種	部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	総計
カムィヤキ	壺	胴			1						1
宮古式	鉢	胴			2						2
	壺	口		6	31	7				1	45
		底		2	13	9				1	25
		胴	9	44	360	154	8			55	630
	–	底				1					1
		胴		43	377	49				11	480
八重山式	–	胴			4						4
パナリ焼	壺	口			1					1	2
		底			1						1
		胴								10	10
	–	底		1							1
		胴		6		4				16	26
–		–		4	5	3				2	14
総計			9	106	795	227	8	0	0	97	1,242

第 18 表　沖縄産施釉陶器出土状況一覧

種類	分類		部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	総計
碗	A	A-2	口								1	1
		–	口		9	1	2				12	24
			口～底		3						2	5
			底		1						9	9
			胴	1	5						10	16
	B	B-1	口		2	1					3	6
			底								8	8
			胴								6	6
		B-2	口		1						3	4
			底								6	6
			胴		5							5
		B-3	底								3	3
			胴								2	2
		–	口								3	3
			胴			1						1
	C	C-1	口～底								1	1
			底								1	1
		C-2	口		2						4	6
			口～底								1	1
			胴								3	3
		–	口								8	8
			底		1		1				12	14
			胴								5	5
	D		口								1	1
			底								1	1
小碗	A		口								1	1
			胴								1	1
	B	B-1	底								2	2
			胴			2						2
		B-2	底			1					3	4
			胴								3	3
		B-3	底								2	2
			胴								1	1
		–	底								1	1
			胴								1	1
	C	C-1	口								2	2
			口～底								2	2
			底								2	2
			胴								3	3
		C-2	口								1	1
			口～底								3	3
			底								1	1
			口								1	1
		C-3	底				1				1	2
			胴								1	1
		–	口	1							5	6
			底								6	6
			胴								2	2
	–		底		1							1
皿			口		4						3	7
			口～底		3						1	4
			底								3	3
			胴		2						1	3
杯			口		1							1
鉢			口		3						14	17
			口～底								1	1
			底		1						12	13
			胴		3						13	16
擂鉢			口		4							4
瓶			口		1						2	3
			口～底		1						1	2
			底		4						5	9
			胴		5						2	7
急須			口		1						5	6
			底								11	11
			胴		9						17	26
嘉瓶			底		1							1
酒器			口								1	1
			底	1	1							2
			胴		1	1					5	7
蓋			–		5						16	21
鍋			口		4						5	9
			底		3						1	4
			胴		4						7	11
壺			底								2	2
			胴								2	2
小壺			底								2	2
			胴		1						1	2
火取			口		1						4	5
			底								2	2
			胴		1							1
香炉			口		1						2	3
			口～底		1							1
			底		2							2
火炉			口								5	5
			底								2	2
			胴		1							1
灯明具			口		1						3	4
			底		1							1
袋物			口								1	1
			底		2			1			4	7
			胴		4	1	1				24	30
陶管			端部								2	2
不明			口		1							1
			底								2	2
			胴		3	1					11	15
総計				3	111	9	5	0	1	0	344	473

第 19 表　沖縄産無釉陶器出土状況一覧

種類	器種	部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	総計
初期無釉陶器	鉢	口		2							2
	擂鉢	胴		1						1	2
	壺	口		1							1
		底		4							4
		胴		8	2					12	22
	火炉か	口		1							1
	袋物	-			1						1
		口								1	1
	-	胴		6		1				4	11
合計			0	23	3	1	0	0	0	18	45
無釉陶器	碗	底		2							2
	皿	口		1							1
		口～底		2							2
	鉢	口	1	14	4					8	27
		底		2						2	4
		胴	1	2						7	10
	擂鉢	口		12	2					13	27
		口～底		3							3
		底		4						4	8
		胴		15	1					17	33
	瓶	口		4						1	5
		底								2	2
		胴		2						1	3
	急須	口		1							1
		口～底		2						2	4
		胴		3							3
	蓋	–		3							3
	壺	口		10		1				9	20
		底		18	1	2				26	47
		胴	3	75	16	2				141	237
	小壺	口～底		1							1
		底	1								1
		胴		2							2
	甕	口		6						7	13
		底								1	1
		胴		2						13	15
	火取	口								1	1
	火炉	口		4							4
		口～底								1	1
		底		1							1
		胴		1						1	2
	灯明皿	口～底								1	1
	袋物	底								1	1
		胴		4						3	7
	鍋	-		1						3	4
	蔵骨器	口		1						1	2
	-	口			1					1	2
		胴		52	4	5				63	124
合計			6	250	29	10				330	625
総計			6	273	32	11	0	0	0	348	670

第 23 表　硬質土器他出土状況一覧

種類 / 出土地				層 / 検出面								総計
産地	種類	器種	部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
本土	硬質土器	焙烙	口		1						3	4
			口～底		2						1	3
			底								1	1
			脚		2							2
	土師質土器	皿	口								1	1
－	島外産 不明土器	壺	底				2					2
総計				0	5	0	2	0	0	0	6	13

第 24 表　土製品出土状況一覧

種類 / 出土地		層 / 検出面								総計
種類		Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
土製品	錘			1						1
	土鈴		1							1
総計		0	1	1	0	0	0	0	0	2

第 25 表　石器・石製品出土状況一覧

合計 / 点数		層 / 検出面								総計
種類		Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
石器	磨石					1				1
	砥石		4	1	3		1		3	12
	－		1	7	1					9
石製品	硯			1	1				1	3
	石球		1							1
	火打石				1					1
総計		0	6	9	6	1	1	0	4	27

第 26 表　円盤状製品出土状況一覧

種類 / 出土地		層 / 検出面								総計
種類	素材	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
円盤状製品	青磁			3		1	1		3	8
	白磁		1	3	2				2	8
	青花								3	3
	褐釉			1						1
	沖施		1						2	3
	沖無		2						5	7
	瓦	1	11	5	4	1			9	31
総計		1	15	12	6	2	1	0	24	61

第 27 表　骨製品出土状況一覧

種類 / 出土地		層 / 検出面								総計
種類		Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
骨製品	ヤス			1	1					2
	梳櫛								1	1
	歯ブラシ			1						1
	荷札か				1					1
総計		0	0	2	2	0	0	0	1	5

第 28 表　鉄製品出土状況一覧

合計 / 点数		層 / 検出面								総計
種類		Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
鉄製品	角釘		1	7	4					12
	釘		3		2					5
	鉄滓			1						1
	－			8	8		1		1	18
－			1							1
総計		0	5	16	14	0	1	0	1	37

第 29 表　金属製品出土状況一覧

合計 / 点数		層 / 検出面								総計
種類		Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
金属製品	金具			2	1				1	4
	鋲			1						1
	－		3	5	1				1	10
総計		0	3	8	2	0	0	0	2	15

第 31 表　窯道具出土状況一覧表

種類 / 出土地		層 / 検出面								総計
種類	器種	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
窯道具	ハマ				2					2
総計		0	0	0	2	0	0	0	0	2

第 32 表　煙管出土状況一覧

合計 / 点数			層 / 検出面								総計
種類	素材	部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
煙管	瑠璃釉	雁首								1	1
	沖施			1						2	3
	沖無			3		1				2	6
総計			0	4	0	1	0	0	0	5	10

第 30 表　銭貨出土状況一覧

合計 / 点数				層 / 検出面								総計
種類	年代	分類	初鋳年	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
銭貨	唐	開元通寶	621			2					1	3
			845								1	1
	北宋	至道元寶	995			1						1
		咸平元寶	998			1						1
		祥符元寶	1009		1							1
		天聖元寶	1023			2						2
		景祐元寶	1034			2						2
		熙寧元寶	1064	1		2						3
		治平元寶	1064	1								1
		元豊通寶	1078		2						1	3
		元祐通寶	1086			4						4
			1093									0
			－			1	2					3
		元符通寶	1098				2					2
		皇宋通寶	1037	1		1						2
		紹聖元寶	1094			1	1					2
		紹聖通寶	1094				1					1
		政和通寶	1111			1						1
		宣和通寶	1119			1						1
	南宋	淳熙元寶	1174								1	1
		紹熙元寶	1190			1						1
		皇宋元寶	1253			2					1	3
	元	至大通寶	1310			2						2
	明	洪武通寶	1368	4		10	3		1		6	24
		永楽通寶	1408	8	6	9	4				19	46
	江戸	寛永通寶	－								4	4
	琉球	大世通寶	1454			2					3	5
		世高通寶	1461			1						1
	近代	一銭	－		1	1						2
	－	無文銭	－		2	40	7		1		20	70
	－	－	－	4	11	94	19				50	178
総計				19	23	181	39	0	2	0	107	371

第 33 表　高麗系瓦出土状況一覧

種類 / 出土地			層 / 検出面								総計
種類		部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
高麗系	平瓦	狭端部				1					1
		筒部		1	6	2	2	3		1	15
		端部						1			1
	－	筒部				1					2
総計			0	1	6	4	2	4	0	2	19

第 34 表　大和系瓦出土状況一覧

種類 / 出土地			層 / 検出面								総計
種類		部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
大和系	丸瓦	筒部		1	1						2
		－				1					1
	平瓦	広端部		2		1					3
		狭端部		2							2
		筒部		2						5	7
		－			3						3
	雁振瓦	筒部			5						5
	－	筒部		2							2
近代大和系	平瓦	狭端部								1	1
総計			0	9	9	2	0	0	0	6	26

第 38 表　塼出土状況一覧

種類 / 出土地		層 / 検出面								総計
分類	色調	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
Ⅰ式	灰色	2	9	5	6	1			11	34
	褐色	2	13	21	22	1			10	69
	赤色		12	13	5				6	36
Ⅱ式	灰色								2	2
	赤色		1							1
Ⅳ式	褐色		1							1
Ⅴ式	赤色				1					1
Ⅵ式	灰色		2		1	1				4
	褐色		1	1						2
	赤色								2	2
－	灰色		1	1	1				1	4
	褐色		3	11	5				1	20
	赤色	1	2						1	4
有文塼	赤色								1	1
総計		5	45	52	41	3	0	0	35	181

第 35 表　明朝系軒丸・軒平瓦出土状況一覧

種類 / 出土地				層 / 検出面								総計
種類		色調	部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
－	軒丸	灰色	瓦当部			1	1				1	3
		褐色					1					1
		赤色					1					1
	軒平	灰色	筒部		1							1
			端部				1					1
		褐色	筒部			1	1	1				3
			瓦当部			4	2				4	10
		赤色	筒部				1					1
			瓦当部								1	1
Ｂタイプ	軒丸	褐色	－					1				1
		赤色	端部		1							1
	軒平	赤色	筒部								1	1
			端部		2							2
			瓦当部		2							2
		－					1					1
総計				0	6	6	9	2	0	0	7	30

第 36 表　明朝系丸・平瓦出土状況一覧

種類 / 出土地			層 / 検出面								総計
種類	色調	部位	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
丸瓦	灰色	玉縁部		14	8	7	2			10	41
		筒部		2	4	2				3	11
		端部		5	2	3	1			3	14
	褐色	玉縁部	3	38	21	5				11	78
	赤色	玉縁部		36	1	3				26	66
		筒部	1	8	3					1	13
		端部		8	1	1				18	28
		狭端部		1							1
	硬質陶器質	筒部	1	13	17	8				2	41
		端部	1	15	15	5				5	41
		筒部				1					1
		端部			1					1	2
平瓦	灰色	広端部		39	23	9	1			16	88
		筒部	3	21	26	20				37	107
		狭端部	3	28	18	7				23	79
		広～狭端部								1	1
	褐色	広端部	1	30	29	9		1		25	95
		筒部	5	25	133	21				7	191
		端部								1	1
		狭端部	1	40	22	4	1			23	91
	赤色	広端部	1	45	10	13	1			31	101
		筒部		15	24	13				9	61
		狭端部	3	48		12				25	88
		広～狭端部								1	1
	硬質陶器質	広端部		7	4					7	18
		筒部		5	1	2				11	19
		狭端部		17	2	3				9	31
		広～狭端部								1	1
－	灰色	筒部		37	61	23				6	127
	褐色			54	100	45	7			67	273
	赤色		7	42	92	49	1			53	244
	硬質陶器質			6	6	4				1	17
Ｂタイプ 丸瓦	褐色	玉縁部			1						1
	赤色	筒部			1	1					2
		端部		1							1
	－	玉縁部				3				2	5
		端部		1							1
Ｂタイプ 平瓦	褐色	広端部			1						1
		筒部				1					1
	赤色	広端部				1				2	3
		筒部		1							1
		端部			1	1					2
		狭端部					1			1	2
	－	広端部				1					1
		筒部		1	2	1					4
		狭端部			1	1					2
	－	筒部			4	2					6
総計			30	603	635	281	15	1	0	439	2,004

第 37 表　瓦製品出土状況一覧

種類 / 出土地	層 / 検出面								総計
種類	Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
板状の瓦製品	3	7	13	19	1			18	61
総計	3	7	13	19	1	0	0	18	61

第２項　Ⅱ層出土遺物（第 28 図　１～ 12、図版 22　１～ 12）

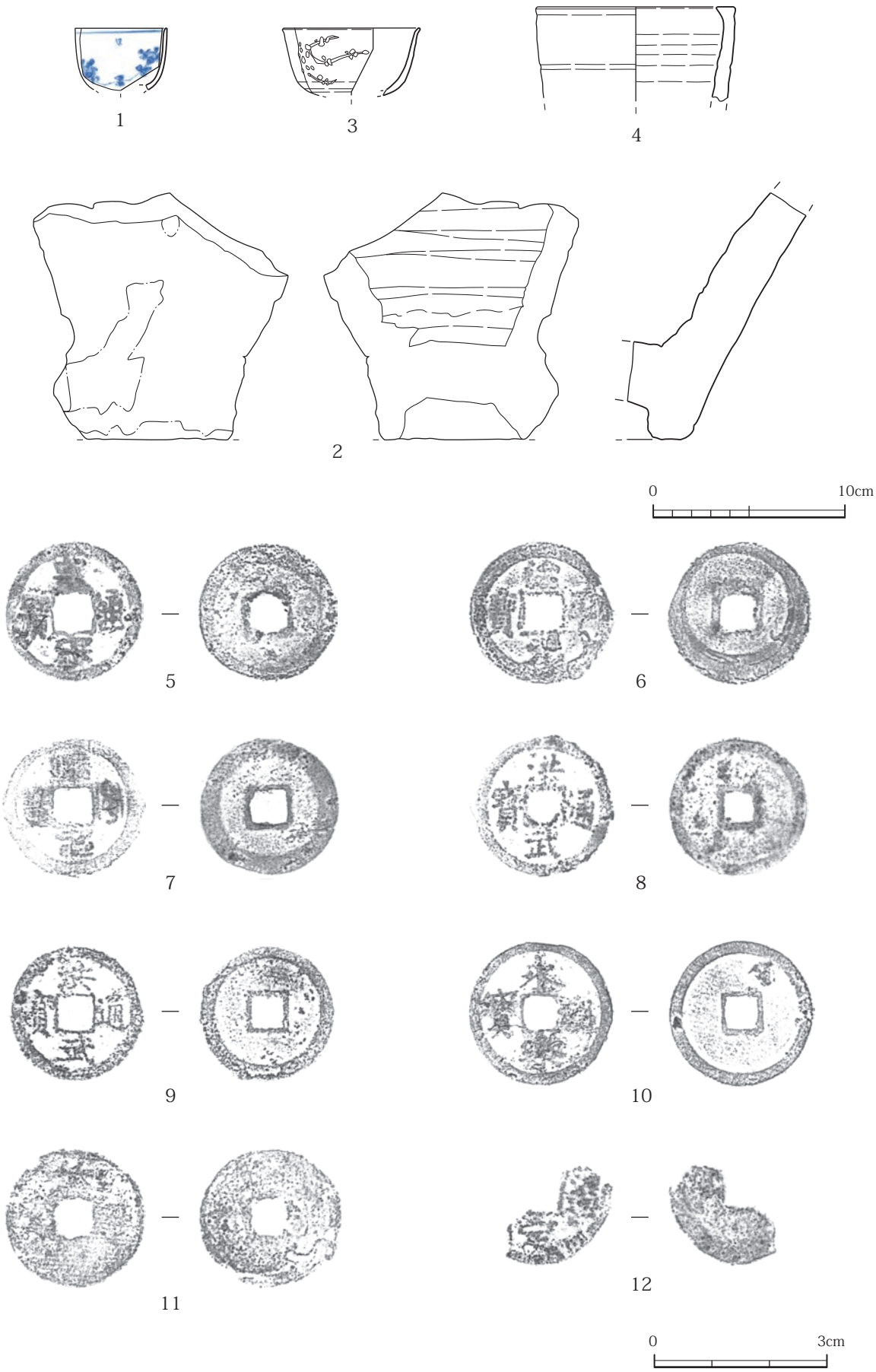
Ⅱ層からは総数 158 点の遺物が出土した（第 74 表）。近代～戦前の造成土で、グスク時代～近代の遺物が出土している。種類別にみると、中国産陶磁器 64 点、本土産陶磁器３点、沖縄産陶器 10 点、土器 20 点、銭貨 19 点、明朝系瓦 30 点、板状の瓦製品３点、塼５点である。以下、中国産陶磁器の各種類については、中国産を省略する。

青花（１）　景徳鎮窯産の小杯で 17 世紀前半。
褐釉陶器（２）　壺の底部で、高台をもつもの。
褐釉磁器（３）　景徳鎮窯産の小碗で 17 世紀後半。
沖縄産無釉陶器（４）　鉢の口縁部である。
銭貨（５～ 12）　５～７は北宋銭、５は皇宋通寶、６は治平元寶、７は熙寧元寶である。８～ 10 は明銭で、８、９は洪武通寶、10 は永楽通寶。

第 39 表　Ⅱ層出土遺物観察一覧

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 28 図 図版 22	1	青花	小杯	口～底	－	(4.8)	－	－	素地は白色。釉は光沢のある透明で両面に施釉。外面に花唐草文。17 c 前半で景徳鎮窯。	１地点 E7 Ⅱ層
	2	中国産褐釉陶器	壺	底	－	－	－	－	素地は赤褐色で白色粒や黒色粒を含む。釉は褐色で外面胴部途中まで施釉。器厚は厚く、高台を意識的に作る。	１地点 E7 Ⅱ層
	3	褐釉磁器	小碗	口	－	(7.2)	－	－	素地は白色。釉は褐釉を外面、透明釉を内面に施釉。外面に白色釉で梅文か。	１地点 D6 Ⅱ層
	4	沖縄産無釉陶器	鉢	口	－	(10.4)	－	－	素地は褐色と灰色のサンドウィッチ状で白色粒と赤色粒を含む。釉は泥釉で外面に施釉。	１地点 E7 Ⅱ層
	5	銭貨	皇宋通寶	－	－	－	－	－	銭文：皇宋通寶。真書。背面は摩耗の為、平滑になる。外径：24.69mm、内径：19.26mm、最大銭厚：1.58mm、重量：3.3g	１地点 E7 Ⅱ層
	6	銭貨	治平元寶	－	－	－	－	－	銭文：治○元寶。真書。銭文や輪は平滑で、輪の一部は削れている。外径：24.76mm、内径：18.85mm、最大銭厚：1.62mm、残存重量：3.4g	１地点 E7 Ⅱ層
	7	銭貨	熙寧元寶	－	－	－	－	－	銭文：○寧元○。篆書。初鋳年 1064 年。輪にバリが残り、銭文は錆のため不鮮明。外径：23.87mm、内径：19.18mm、最大銭厚：1.48mm、重量：3.3g	１地点 E7 Ⅱ層
	8	銭貨	洪武通寶	－	－	－	－	－	銭文：洪武通寶。真書。錆に覆われているが、銭文と輪の残りは比較的良好。外径：24.34mm、内径：19.44mm、最大銭厚：2.15mm、重量：4.2g	１地点 E7 Ⅱ層
	9	銭貨	洪武通寶	－	－	－	－	－	銭文：洪武通寶。銭文や輪の残りは良好。バリが残る。外径：23.72mm、内径：18.58mm、最大銭厚：1.82mm、重量：3.4g	１地点 E7 Ⅱ層
	10	銭貨	永楽通寶	－	－	－	－	－	銭文：永樂通寶。真書。銭文や輪の残りは比較的良好。外径：25.42mm、内径：20.59mm、最大銭厚：1.75mm、重量：4.1g	１地点 E7 Ⅱ層
	11	銭貨	大○○寶	－	－	－	－	－	銭文：大○○寶。銭文は不鮮明で、輪は僅かしか残らない。外径：24.53mm、内径：22.25mm、最大銭厚：1.43mm、重量：2.5g	１地点 E7 Ⅱ層
	12	銭貨	○定通寶	－	－	－	－	－	銭文：□定通□。真書。背面は摩耗の為、平滑になる。最大銭厚：1.68mm、残存重量：1.2g	１地点 E7 Ⅱ層

※法量　（　）内は復元による推定値
※銭貨　□：欠損、○：不鮮明



第 28 図　Ⅱ層 出土遺物

図版 22　II 層 出土遺物

第３項　第１検出面出土遺物（第 29 ～ 32 図　図版 23 ～ 34）

第１検出面（Ⅲ層上面）で検出された遺構から出土した遺物を遺構別にまとめる。総数 2,497 点の遺物が出土した（第 74 表）。遺物は青磁や白磁等、グスク時代の遺物から、清代の青花、近世の沖縄産陶器、近代以降の本土産陶磁器等もみられる。近代以降の遺物については、出土した遺構は限られており、近代の遺構であるSS1、2の他、SE2、4などの近代以降まで使用されたと考えられる遺構からの出土が主である。その他出土がみられたSKや石組遺構はそれぞれ出土点数は数点以下であることから、これらは上層からの混入と考えられる。よって、第１検出面の年代は 17 世紀～ 19 世紀代を主体とし、一部については近代以降の遺構と判断される。以下に、遺構別に報告することとし、代表的な遺物については図化または写真図版を掲載する。

SK1 出土遺物（第 29 図　13 ～ 16、図版 23・27　13 ～ 32）

13 は本土産磁器で肥前系波佐見の碗、14 は沖縄産施釉陶器の皿で高い高台をもつ。15 は土鈴である。16 は牛角芯で、表面には工具痕が残る。17 は青磁の碗Ⅵ－ｂ類、18 は白磁で福建系の碗、19 ～ 23 は青花で、23 は景徳鎮窯系で明代、19、20 は福建・広東系の碗で清代、21、22 は徳化窯系の碗と皿で清代である。26 は沖縄産施釉陶器の皿、24、25、27 は沖縄産無釉陶器でそれぞれ碗、皿、擂鉢である。28、29 は円盤状製品で素材は明朝系瓦、30 は明朝系丸瓦、31、32 は明朝系平瓦である。

SK1 掘方出土遺物（図版 27　33・34）

33 は青磁の碗でⅣ類、34 は青磁の盤Ⅰ群である。

SK2 出土遺物（第 29 図　35、図版 23　35）

35 は本土産陶器で肥前系唐津の皿である。

SK8 出土遺物（図版 28　36 ～ 45）

39 は青花の高足杯で、外底に「大明成化年製」という銘がみられる。明代である。37、38 は福建・広東系の碗、36 は徳化窯系の碗、40 は朱泥の急須、いずれも清代。41 は本土産陶器で肥前系内野山の小碗、42 ～ 44、45 は沖縄産無釉陶器で鉢、擂鉢、小壺、土錘である。

SK9 出土遺物（第 29 図　47、図版 28　46 ～ 50）

47 は火入れで本土産陶器と考えられ、外底に「文」という墨書がみられる。46 は青花の碗であり、福建・広東系で清代、48 は硬質土器で、本土産焙烙、49 は沖縄産無釉陶器の壺、50 は明朝系丸瓦で凸面に「×」のヘラ描きがある。

SK10 出土遺物（第 29 図　51・52、図版 23　51・52）

51 は青花の高足杯であり、景徳鎮窯系で明代と考えられる。52 は宮古式土器の壺で、器面は黒色を呈し、肩部に瘤状の耳が４つ付く。

SK11 出土遺物（第 29 図　53、図版 29　53・54）

53 は本土産陶器で肥前系唐津の皿、54 はサンゴ製品の石球である。

SK12 出土遺物（図版 29　55）

55 は軽石製の砥石と考えられ、表裏面及び側面に磨面が確認される。

SK16 出土遺物（第 30 図　56・57、図版 24　56・57）

57 はタイ産褐釉陶器の壺で、メナムノイ窯、56 は宮古式土器の壺で、器面は黒色を呈し、口縁部は「く」の字状に屈曲する。

SK19 出土遺物（第 30 図　60・62 ～ 64・71、図版 24　60・62 ～ 64・71、図版 30　58 ～ 73）

60 は白磁の小碗であり、徳化窯系で清代、62 は本土産陶器の肥前系内野山の碗、63 は薩摩の土瓶である。64 は沖縄産施釉陶器の香炉、71 は煙管の雁首で、沖縄産無釉陶器製である。58 は青磁碗Ⅳ’類、59 は白磁の小碗であり徳化窯系で清代、61 は本土産磁器で、肥前系波佐見の碗、65 ～ 69 は沖縄産無

釉陶器でそれぞれ鉢、擂鉢、蓋、壺となっている。70 は円盤状製品で素材は沖縄産無釉陶器、72、73 は煙管の雁首で、沖縄産無釉陶器製である。

SK19 掘方出土遺物（図版 30　74）

74 は円盤状製品で素材は明朝系瓦である。

SK73 出土遺物（第 30 図 75、図版 24　75）

75 は青花の瓶であり、景徳鎮窯系で明代と考えられる。

SK75 出土遺物（第 30 図 76、図版 24　76）

76 は元豊通寶で、北宋銭である。

SK76 出土遺物（第 30 図 77、図版 24　77）

77 は祥符元寶で、北宋銭である。

SK87 出土遺物（第 30 図　82・83、図版 24　82・83、図版 31　78 ～ 83）

82 は青花の皿で、漳州窯系で明代、83 は初期沖縄産無釉陶器の壺である。78 は青磁碗Ⅳ類、79 は白磁の碗でＣ－３類、80 は皿でＤ－Ⅰ２群、81 は杯でＥ群である。

SK88 出土遺物（図版 32　84・87・89・91・92）

84 は白磁の小碗であり、徳化窯系で清代、87、89、91、92 は青花であり、89 は福建・広東系の碗、87 は徳化窯系の小碗、91 は景徳鎮窯系の皿、92 は福建産の皿である。青花はすべて清代のものである。

SK88 上層出土遺物（図版 32　85・86・88・90、93 ～ 96）

85、86 は青花の碗、88、90 は青花の小碗であり、いずれも福建・広東系で清代のもの、93 は褐釉磁器の小碗であり景徳鎮窯系で清代、94 は本土産磁器の小碗で肥前、95 は本土産陶器の杯で肥前、96 は沖縄産無釉陶器の鉢である。

SP1 出土遺物（第 30 図　97、図版 24　97）

97 は褐釉陶器の壺である。

SP67 出土遺物（第 31 図　98・99、図版 25　98・99）

98 は黒釉陶器の碗、99 は明銭で永楽通寶と考えられる。

SP73 出土遺物（第 31 図　100、図版 25　100）

100 は青磁の酒会壺である。

SP75 出土遺物（第 31 図　101、図版 25　101）

101 は褐釉陶器の壺である。

SP136 出土遺物（第 31 図　102、図版 24　102）

102 は瑠璃釉磁器の香炉の底部である。景徳鎮窯系。

SP142 出土遺物（第 31 図　103、図版 25　103）

103 はタイ産褐釉陶器の壺で、メナムノイ窯である。

SP143 出土遺物（第 31 図　104、図版 25　104）

104 は青花碗Ｃ群である。

SD1 出土遺物（第 31 図　116・120・131、図版 25　116・120・131、図版 33　105 ～ 146）

120 は青花の大鉢で、福建・広東系、116 は青花の碗で景徳鎮窯系と考えらえる。いずれも清代。131 は本土産陶器の碗で、産地は九州か。その他、105、106 は青磁碗Ⅵ－ｂ類、110 は白磁の皿でＥ群、107 ～ 109 は小碗であり、徳化窯系で清代、112 は青花の碗で漳州窯系、それ以外の青花はすべて清代のもので、111、113、118 は碗で福建・広東系、114、115、117、119 は碗で徳化窯系である。121 は褐釉陶器の壺、122 ～ 126 は色絵の皿で明代、127 は瑠璃釉磁器の碗で徳化窯系で清代、128 は褐釉磁器の小碗であり、景徳鎮窯系で清代、130 は本土産磁器の碗で肥前系、129 は本土産磁器の皿で肥前系波佐見、132、133 は本土産陶器で、132 は肥前系唐津の二彩手の盤、133 は薩摩の擂鉢である。134

～ 138 は沖縄産施釉陶器で、134 は碗 A 類、135 は鉢、136 は瓶、137 は蓋、138 は火炉、139 は沖縄産無釉陶器の甕、141 は硬質土器で、本土産焙烙、140 は沖縄産の瓦質土器で擂鉢、142、143 は明朝系丸瓦、144 ～ 146 は明朝系平瓦である。

SD5 出土遺物（第 31 図　147、図版 25　147、図版 34　148 ～ 153）

147 は白磁の皿で、D － Ⅰ 2 群、152 は青磁碗Ⅳ ' 類、148 は青磁碗Ⅳ・Ⅴ類、151 は青磁碗Ⅴ－ b 類、149 は青磁碗Ⅵ－ b 類、150 は磁灶窯系の碗、153 は青磁皿Ⅳ ' 類である。

SU5 出土遺物（第 32 図　155、図版 26　155）

155 は宮古式土器の壺で、器面は橙色を呈するもので、頸部から口縁部へ長く直立する。

SS2 出土遺物（第 32 図　156、図版 26　156）

156 はタイ産鉄絵で合子の蓋である。シーサッチャナライ窯。

SS6 出土遺物（第 32 図　157 ～ 161、図版 26　157 ～ 161）

158 は青磁碗Ⅴ類、157 は青磁碗Ⅳ・Ⅴ類、159 は青磁皿Ⅴ類、160 は青磁盤Ⅰ群、161 は本土産瓦質土器の火鉢である。

SX5 出土遺物（図版 26　162・163）

162 は明朝系 B タイプの軒丸瓦で、瓦当部の縁部に珠文が確認される。163 は明朝系 B タイプの軒平瓦と考えられるものである。

SX11 出土遺物（図版 29　164）

164 は青花の碗で D 群である。

第 40 表　遺構内出土遺物一覧（第 1 検出面）

遺物名	年代	産地・窯	器種	分類	細分類
青磁			碗	IV類	a類
					b類
				IV'類	-
				V類	-
					1a類
					1b類
					1類
					2a類
					2b類
					2c類
					2類
					3類
					-
				IV・V類	-
				VI類	a類
					b類
					c類
					-
				V・VI類	-
				VII類	b類
				磁灶窯系	-
				幅広高台碗	-
				-	-
			小碗	-	-
			皿	IV類	口折
				IV'類	-
				V類	-
					1類
					外反
					直口
					稜花
					-
				IV・V類	-
				VI類	b類
					-
				-	外反
					口折
					腰折
					直口
					稜花
					-
			盤	I群	a群
					c群
					-
				II群	a群
					c群
					-
				III群	-
				IV群	c群
				底I群	a群
					c群
					-
				底II群	-
				-	-
			鉢	-	-
			擂鉢	-	-
			酒会壷	V類	-
			瓶	-	-
			香炉	-	-
			高足杯	-	-
			袋物	-	-
			器台	-	-
			器種不明	-	-
白磁		景徳鎮	碗		E群
					-
			皿		C群
					E群
					-
			杯		-
		福建	碗		C-3群
					C群
					D-I 2群
					D群
					D'群
					E群
					-
			皿		D-I 2群
					D-I 3群
					D-I群
					D-II 1群
					D-II 2群
					D群
					-
			小碗		D群
			杯		D群
			小杯		D群
			瓶		-
			器種不明		-
		福建・広東	碗		-
			皿		-
		徳化	小碗		-
			餌入れか		-
		-	碗		-
			小碗		-
			壷		-
			器種不明		-
青花	明代	景徳鎮	碗		B群
					D群
					-
			小碗		-
			皿		B1群
					C群
					-
			杯		-
			小杯		-
			高足杯		-
			小鉢		-
			瓶		-
			袋物		-
		漳州	碗		-
			皿		-
			瓶		-
		-	碗		-
	清代	景徳鎮	碗		-
			小碗		-
			皿		-
			器種不明		-
		徳化	碗		-
			小碗		-
			皿		-
			器種不明		-
		福建	碗		-
			皿		-
		福建・広東	碗		-
			小碗		-
			皿		-
			大鉢		-
	-	景徳鎮	碗		C群
					D群
					-
			小碗		-
			皿		-
中国産褐釉陶器	-	-	壷		-
			鉢		-
			植木鉢		-
			袋物		-
			器種不明		-
中国産白釉陶器		-	壷		-
			器種不明		-
中国産色絵	明代	-	皿		-
	-	-	器種不明		-
中国産瑠璃釉	-	徳化	碗		-
		-			
	-	景徳鎮	香炉		-
中国産褐釉磁器	清代	景徳鎮	小碗		-
中国産施釉陶器	-	-	壷		-
中国産黒釉陶器	-	-	碗		-
三彩	-	-	緑釉陶器		-
中国産朱泥	清代	宜興窯	急須		-
中国産紫泥	清代	-	-		-
タイ産青磁		-	-		-
タイ産鉄絵		シーサッチャナライ	袋物		-
			合子（蓋）		-
			合子（身）		-
タイ産褐釉陶器		シーサッチャナライ	壷		-
		メナムノイ	瓶		-
		バンプーン	壷		-
タイ産無		-	壷		-
タイ産半練土器		-	壷		-
ベトナム産青花		-	器種不明		-
本土産磁器		肥前	碗		-
			小碗		-
			皿		-
			-		-
		近現代	-		-
		-	-		-
本土産陶器		肥前	杯		-
		肥前・内野山	碗		-
			小碗		-
			-		-
		薩摩	碗		-
			擂鉢		-
			土瓶		-
		薩摩・堂平系	-		-
		関西	-		-
		備前	-		-
		唐津	碗		-
			皿		-
			盤		-
		近現代	-		-
		-	碗		-
			火入		-
			合子（身）		-
沖縄産施釉陶器		-	-		-
			碗		-
			皿		-
			鉢		-
			嘉瓶		-
			壷		-
			香炉		-
			火炉		-
			-		-
沖縄産無釉陶器		初期無釉陶器	壷		-
			-		-
		無釉陶器	碗		-
			皿		-
			鉢		-
			擂鉢		-
			壷		-
			壷		-
			小壷		-
			甕		-
			土鍋		-
			-		-
産地不明陶器		-	壷		-
陶質土器		-	-		-
瓦質土器		沖縄	火鉢		-
		本土	-		-
硬質土器		-	焙烙		-
土器		宮古式	壷		-
			-		-
		パナリ	-		-
		-	壷		-
土製品		土鈴	-		-
石器・石製品		-	砥石		-
		-	石球		-
石材		-	-		-
円盤状製品		-	-		-
煙管		沖施	雁首		-
		沖無	-		-
銭貨		北宋	-		-
		明	-		-
	近代	一銭	-		-
		銭種不明	-		-
金属製品		-	-		-
瓦		高麗系	平瓦		-
		大和系	丸瓦		-
			平瓦		-
			-		-
		明朝系	軒丸瓦		-
			軒平瓦		-
			丸瓦		-
			平瓦		-
			丸平不明		-
		Bタイプ	軒平瓦		-
			平瓦		-
			丸平不明		-
板状の瓦製品		-	-		-
塼		灰色	I式		-
			VI式		-
			-		-
		褐色	I式		-
			VI式		-
			-		-
		赤色	I式		-
			V式		-
塼か		赤色	-		-
骨製品		ヤス	-		-
		荷札か	-		-
貝製品		貝錘	-		-
牛角芯		-	角		-
窯道具		-	ハマ		-
その他		-	-		-

第1検出面	SK1	SK2	SK14号	SK6	SK9	SK10	SK11	SK12	SK16	SK19	SK19号	SP1	SP67	SP73	SP75	SD1	SS2	SS5	SK73	SK75	SK76	SP136	SP142	SP143	SS6	SS5	SX11	SK87	SK88	SK88上層	SS6	総計
総計	84	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	28	21	1,378

第 41 表　第 1 検出面出土遺物観察一覧 1

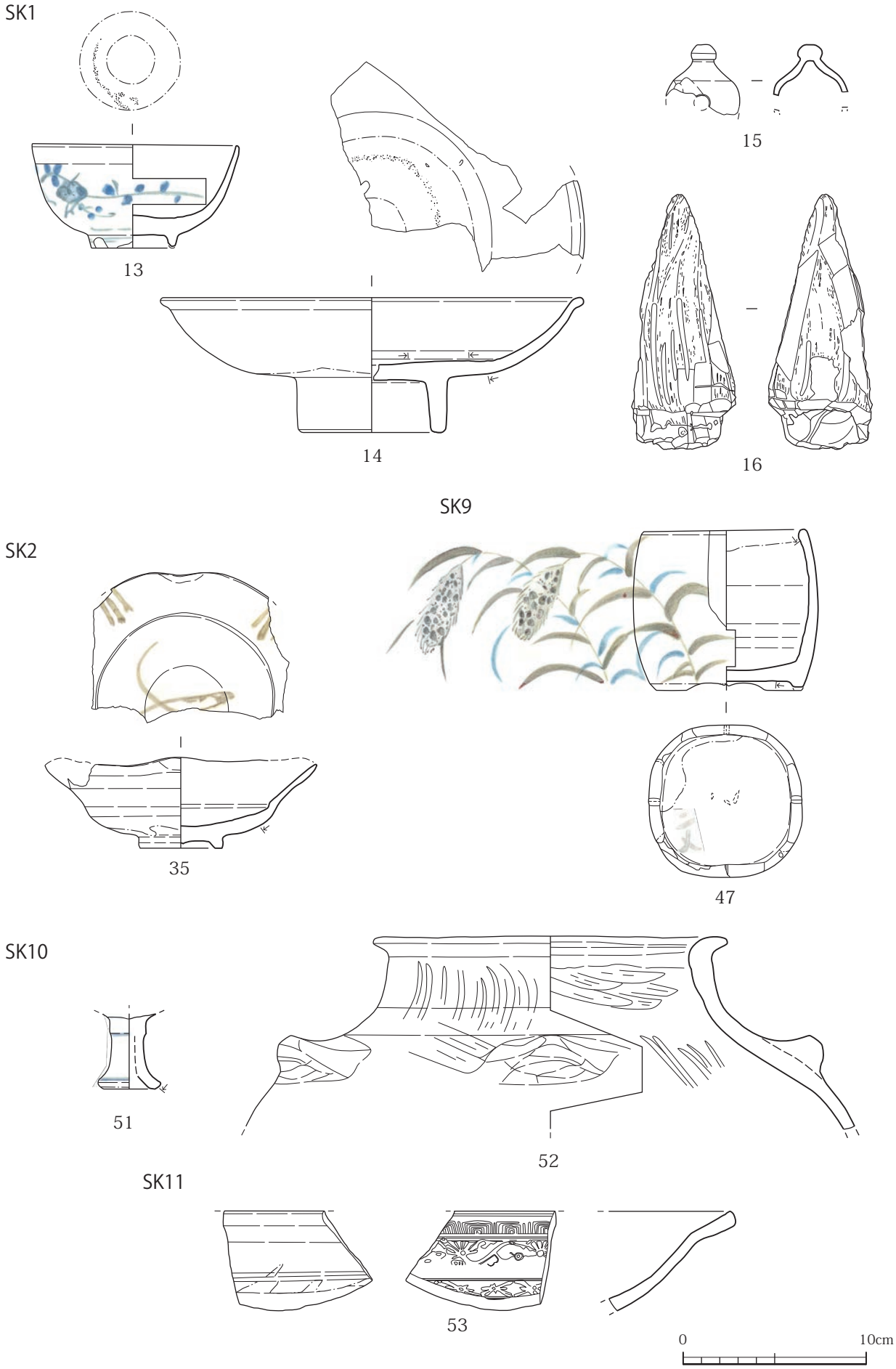
挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 29 図 図版 23	13	本土産 磁器	碗	口～底	―	(11.3)	(4.5)	5.7	素地は灰白色。釉は一部不透明な青白色を両面に施釉し、内底は蛇の目釉剥ぎ。外面は胴部に発色の異なる呉須で梅樹文、腰部に圏線、高台に二重圏線。18 c 以降。肥前。	1 地点 SK1 埋土
	14	沖縄産 施釉 陶器	皿	口～底	―	(23.1)	(8.0)	7.4	素地は灰白色。釉は灰釉を両面の胴部まで施釉し、高台は露胎。内底の中心に丸文状に灰釉を施す。内底と畳付に白色の砂が付着。	1 地点 C4 ～ D5 SK1 埋土
	15	土製品	土鈴	―	―	―	―	―	素地は鈍い黄橙色で、芯は灰色。焼成は良好。ロクロナデが内外面とも施される。体部に透かしの孔有り。	1 地点 C4 ～ D5 SK1 埋土
	16	骨製品	牛角芯	角	―	長さ 14.0	幅 5.6	―	芯部には角の根元から先端に向けて角鞘を削り取った単位と、角を頭骨から取り外す際のノミ状の工具の単位が残る。	1 地点 C4 ～ D5 SK1 埋土
	35	本土産 陶器	皿	口～底	―	(14.8)	(4.6)	4.9	変形皿。素地は淡い橙色で一部灰白色。釉は透明な灰オリーブ色を両面に施釉し、内底と腰部は釉が一部白色に発色。内面に鉄絵で草文。唐津。	1 地点 C6 SK2 埋土
	47	本土産 陶器	火入	口～底	―	(87.5)	―	8.8	素地は灰色。釉は透明な浅黄橙色を施釉し、口縁部内面と脚部で釉剥ぎ。底部露胎。外面に呉須と鉄釉で草文。外底に墨書で「文」。	1 地点 D7 SK9 埋土
	51	青花	高足杯	―	―	―	3.4	―	素地は灰白色でやや焼成不良。釉は青白色。15 c 代で景徳鎮窯。	1 地点 D8 SK10 埋土
	52	宮古式 土器	壺	口	―	(19.3)	―	―	胎土は橙色で 2mm 以下の細かい白色粒を多く含む砂泥質。肩部に簡略化した突起状の横耳が付く。外面は耳を付けた後、ミガキを施し、ススの付着によって黒色を呈する。内面も工具ナデやユビナデを細かく施す。	1 地点 D8 SK10 埋土
	53	本土産 陶器	皿	口	―	―	―	―	素地は赤褐色。釉は半透明な白色を内面から外面の胴部まで薄く施釉。内面は圏線で区画され、口縁部に雷文、胴部に菊唐草文、内底に花文を描く。唐津。	1 地点 E8 SK11 埋土
第 30 図 図版 24	56	宮古式 土器	壺	口	―	(21.6)	―	―	胎土は橙色で白色粒や赤色粒を多く含む泥質。外面はミガキが施されススの付着によって黒色を呈する。内面は工具ナデが細かく施される。	1 地点 D6 SK16 埋土
	57	タイ産 褐釉 陶器	壺	口	―	―	―	―	素地は灰色。釉は褐灰色を外面に施釉。メナムノイ窯。	1 地点 D6 SK16 埋土
	60	白磁	小碗	口～底	―	(8.6)	(4.6)	4.2	素地は白色。釉は透明で両面に施釉し、口唇部と畳付を釉剥ぎ。外面は菊花唐草文と風景文。	1 地点 E8 SK19 埋土
	62	本土産 陶器	碗	口～底	―	(10.5)	4.4	7.2	素地は浅黄橙色。釉は透明な明黄褐色を両面に施釉後、畳付を釉剥ぎ。唐津。	1 地点 E8 SK19 埋土
	63	本土産 陶器	土瓶	口～底	―	(9.8)	(6.8)	11.8	素地は鈍い橙色。釉は土灰釉を内面から外面の胴部まで施釉。胴部は粘土を積み上げた後、ロクロ成形。注口は胴部に貼り付け。薩摩。	1 地点 E8 SK19 埋土
	64	沖縄産 施釉 陶器	香炉	口	―	(10.0)	―	―	素地は灰白色。釉は灰釉を全面に施釉後、口唇部と口縁部内面を釉剥ぎ。	1 地点 E8 SK19 埋土
	71	煙管	―	雁首	―	―	―	―	雁首。素地は暗赤褐色。釉は泥釉を施釉。火皿の上面観は八角形、羅宇の断面形は八角形状になる。沖縄産無釉陶器。	1 地点 E8 SK19 床面直上
	75	青花	瓶	胴	―	―	―	―	素地は灰白色。釉は被熱の影響か発色が悪く、灰白色で両面に施釉。外面に草文と如意頭繋文。明代で景徳鎮窯。	2 地点 F12 SK73 埋土
	76	銭貨	元豊 通寶	―	―	―	―	―	銭文：元豊通寶。行書。初鋳年：1078 年。銭文はやや摩滅し、輪に一部欠損がある。外径：24.40mm、内径：18.23mm、孔径：5.74mm、最大銭厚：1.32mm、残存重量：3.4g	2 地点 F11・12 SK75
	77	銭貨	祥符 元寶	―	―	―	―	―	銭文：祥符元寶。真書。初鋳年：1009 年。全体的に錆に覆われている。外径：25.62mm、内径：17.79mm、孔径：5.86mm、最大銭厚：1.19mm、重量：3.6g	2 地点 E11 SK76
	82	青花	皿	底	―	―	6.6	―	素地は灰白色。釉は灰白色で厚く両面に施釉し、外面は胴部途中まで。内底に草花文。明代で漳州窯。	3 地点 I12 SK87 埋土
	83	沖縄産 無釉 陶器	壺	口	―	(8.8)	―	―	素地は暗赤褐色。釉は黒色で外面胴部途中まで施釉。口唇部は口縁部を折りたたんで玉縁状に成形。初期沖縄産無釉陶器。	3 地点 I125 SK87 埋土
	97	中国産 褐釉 陶器	壺	底	―	―	(12.0)	―	素地は灰白色で白色粒が混じり、芯は暗赤褐色。釉は黒褐色を両面に施釉し、内面は胴部まで施す。内底は露胎。	1 地点 C6 SP1 埋土

第 41 表　第１検出面出土遺物観察一覧２

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 31 図 図版 25	98	黒釉陶器	碗	口	－	(11.9)	－	－	素地は灰白色で黒色の微粒子が多く混じる。釉はややマットな明褐色に黒色を二度掛けし、両面に施釉。	1 地点 SP67 Ⅲ・Ⅳ層
	99	銭貨	永樂通寶か	－	－	－	－	－	銭文：永○○寶。真書。錆や錆膨れのため、銭文は不鮮明。最初の銭文に「永」の一部が認められることから、永樂通寶の可能性。バリの痕が僅かに残る。外径：25.02mm、内径：19.95mm、孔径：5.57mm、最大銭厚：1.91mm、重量：3.8g	1 地点 C6 SP67
	100	青磁	酒会壺	口	Ⅴ	(21.6)	－	－	素地は灰白色。釉は明オリーブ灰色を両面とも施釉し、口唇部と口縁部内面を釉剥ぎ。	1 地点 D5 SP73 埋土
	101	中国産褐釉陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は灰白色。釉は黒褐色を両面に施釉し、口唇部を釉剥ぎ。	1 地点 D5 SP75 埋土
	102	瑠璃釉	香炉	底	－	－	9.1	－	素地は白色。釉は瑠璃釉を外面に施釉し、外底と脚部の接地面を釉剥ぎ。簡素化した脚部が三足付く。景徳鎮窯。	2 地点 F12 SP136 埋土
	103	タイ産褐釉陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は明赤褐色で赤色粒が混じる。釉は黒褐色を口縁部の内面から外面に施釉し、口唇部と口縁部の内面を釉剥ぎ。メノムナイ窯。	2 地点 F12 P142 埋土
	104	青花	碗	口～底	C	(14.2)	5.6	6.6	素地は白色。釉は半透明な青白色を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外面は口縁部に波濤文帯、腰部に芭蕉文、腰部に二重圏線。内面は口縁部に圏線、内底に法螺貝文。蓮子碗。	2 地点 F12 SP143
	116	青花	碗	口～底	－	(15.0)	(7.0)	7.5	素地は白色で黒色の粒子を含む。釉は透明な青白色を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外面は口縁部に二重圏線、胴部に花唐草文と獅子文、腰部に圏線と蓮弁文。高台に二重圏線。内面は口縁部に二重圏線、内底に二重圏線と花唐草文。清代で景徳鎮窯。	1 地点 E8 SK19 SD1 埋土
	120	青花	大鉢	口	－	(28.0)	－	－	素地は灰白色。釉は透明な青白色を両面に施釉。外面は口縁部に圏線、胴部に丸文、内面は口縁部に圏線。清代で福建・広東系。	1 地点 D・E8 SD1 埋土
	131	本土産陶器	碗	口～底	－	(9.7)	3.3	4.95	素地は灰白色。釉は透明な黄褐色を両面に施釉し、高台は露胎。九州か。	1 地点 E8 SD1 上面
	147	青磁	碗	底	Ⅳ’	－	(6.0)	－	素地は灰白色。釉は貫入が入るオリーブ灰色を両面に施釉し、内底と畳付を釉剥ぎ。内底に圏線。	2 地点 F13 SD5 Ⅲ層
図版 26	154	瓦質土器	香炉か	口	－	－	－	－	素地は灰白色。内外面とも工具ナデを施し、口唇部は平坦に成形。16 c 後～ 17 c 。	2 地点 SU5
第 32 図 図版 26	155	宮古式土器	壺	口	－	(23.3)	－	－	胎土は橙色で 2mm 以下の細かい赤色粒や白色粒を含む砂泥質、器内面はややアバタ状になる。内外面とも密にミガキやナデが施される。	2 地点 SU5
	156	鉄絵	合子（蓋）	口	－	(11.4)	－	－	素地は灰白色で黒色粒や白色粒を含む。釉は透明を外面に施釉し、口唇部を釉剥ぎ。外面に鉄絵で六条の圏線と縦線、斜格子文。シーサッチャナライ窯。	1 地点 E6 SS2
	157	青磁	碗	口	Ⅳ・Ⅴ	(15.4)	－	－	素地は灰色で白色粒を含む。釉は透明なオリーブ灰色を両面に施釉。	3 地点 I11 SS6
	158	青磁	碗	口	Ⅴ	(13.6)	－	－	素地は浅黄橙色。釉は斑状に白色の鈍い黄色を両面に施釉。	3 地点 I11 SS6
	159	青磁	皿	口	Ⅴ	－	－	－	素地は灰白色。釉は淡い明緑灰色を両面に施釉。外面に蓮弁文。	3 地点 I11SS6
	160	青磁	盤	口	－	－	－	－	素地は灰白色。釉は斑状に白色の明緑灰色を両面に施釉。胴部内面に蓮弁文。	3 地点 I11SS6
	161	瓦質土器	火鉢	口	－	－	－	－	素地は灰白色でガラス質の粒子を含む。器面は一部橙色で、口唇部と内面は黒色を呈する。口縁部は内側に逆 L 字状で、外面は二条の隆帯の間に渦文。本土産	3 地点 I 11 SS6 SP441 埋土 SK121 埋土

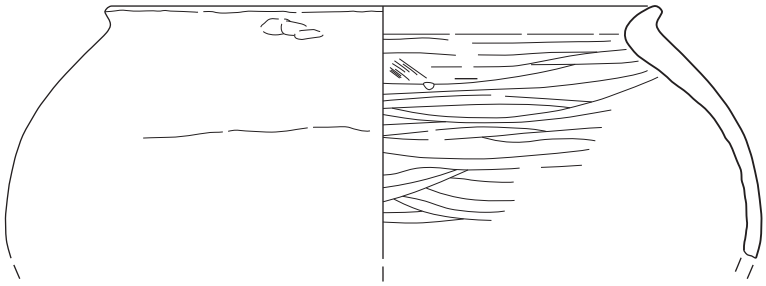
※法量　（　）内は復元による推定値

※銭貨　□：欠損、○：不鮮明

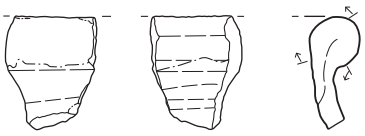


第 29 図　第 1 検出面 出土遺物 1

SK16



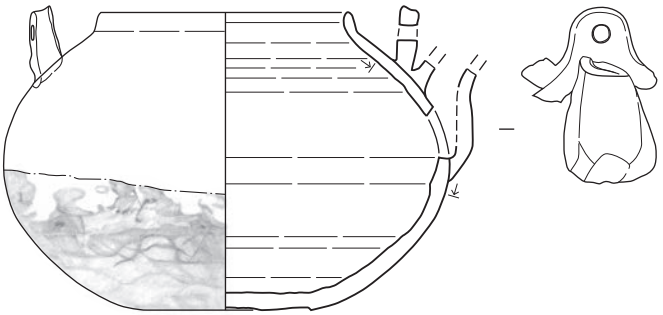
56



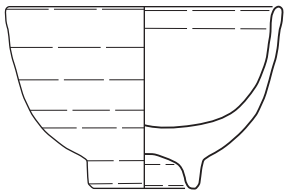
57

SK19

60

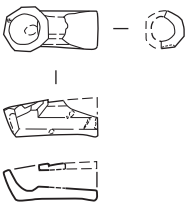


63

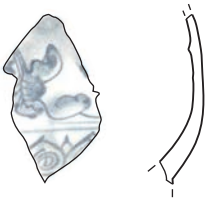


62

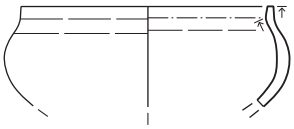
SK73



71



75

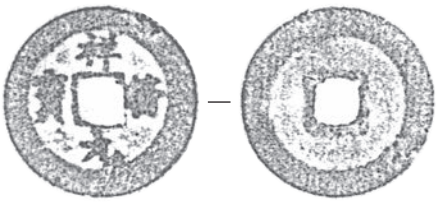


64

SK75

76

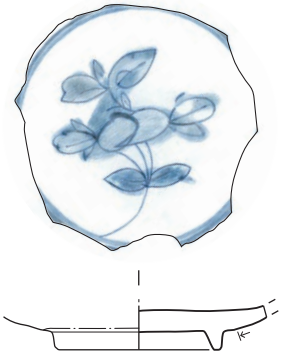
SK76



77

0　3cm

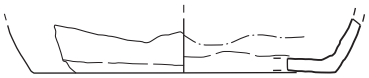
SK87



82

83

SP1

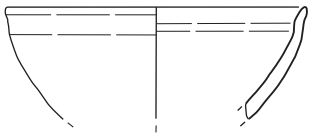


97

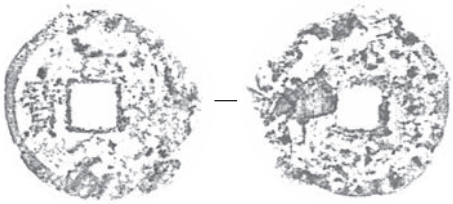
0　10cm

第 30 図　第 1 検出面 出土遺物 2

SP67



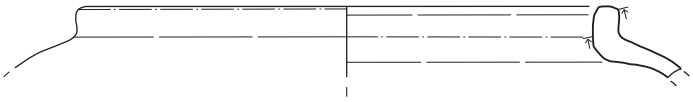
98



99

0　3cm

SP73



100

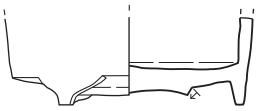
SP75

101

SP142

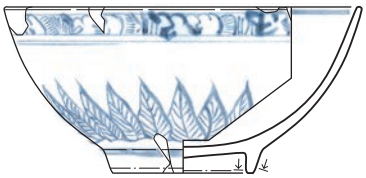
103

SP136



102

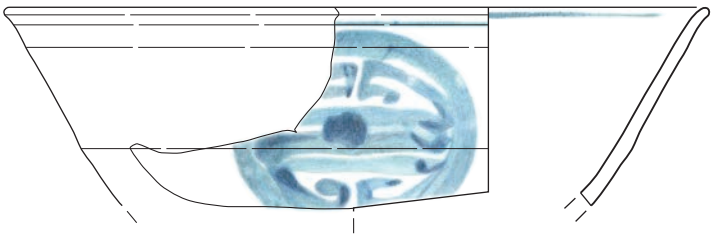
SP143



104

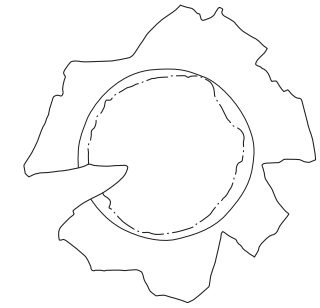
SD1

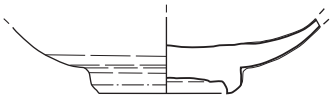
116



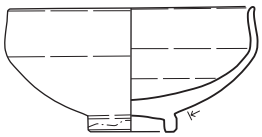
120

SD5





147

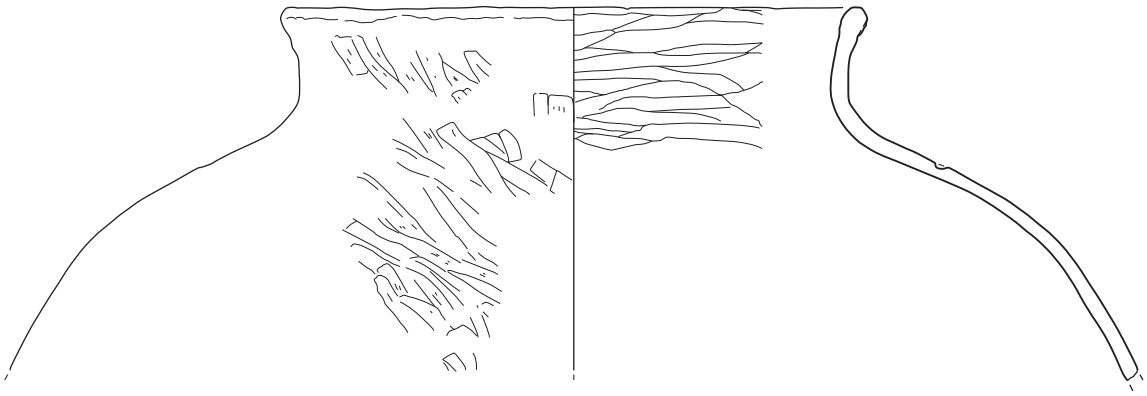


131

0　10cm

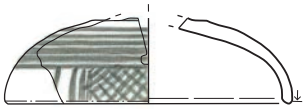
第 31 図　第 1 検出面 出土遺物 3

SU5



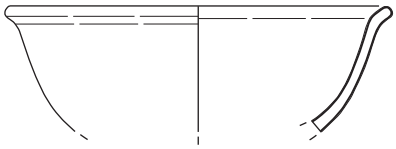
155

SS2

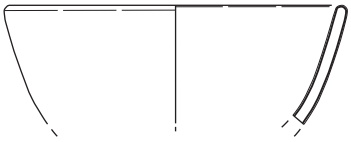


156

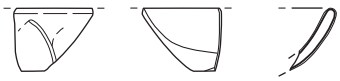
SS6



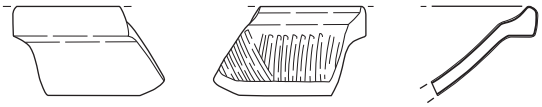
157



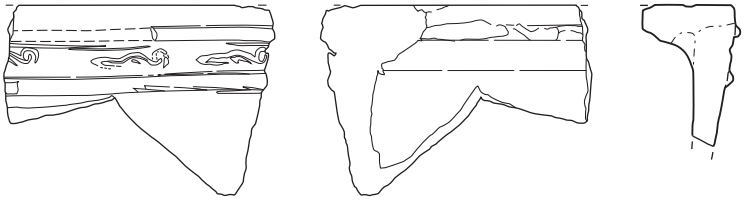
158



159



160



161

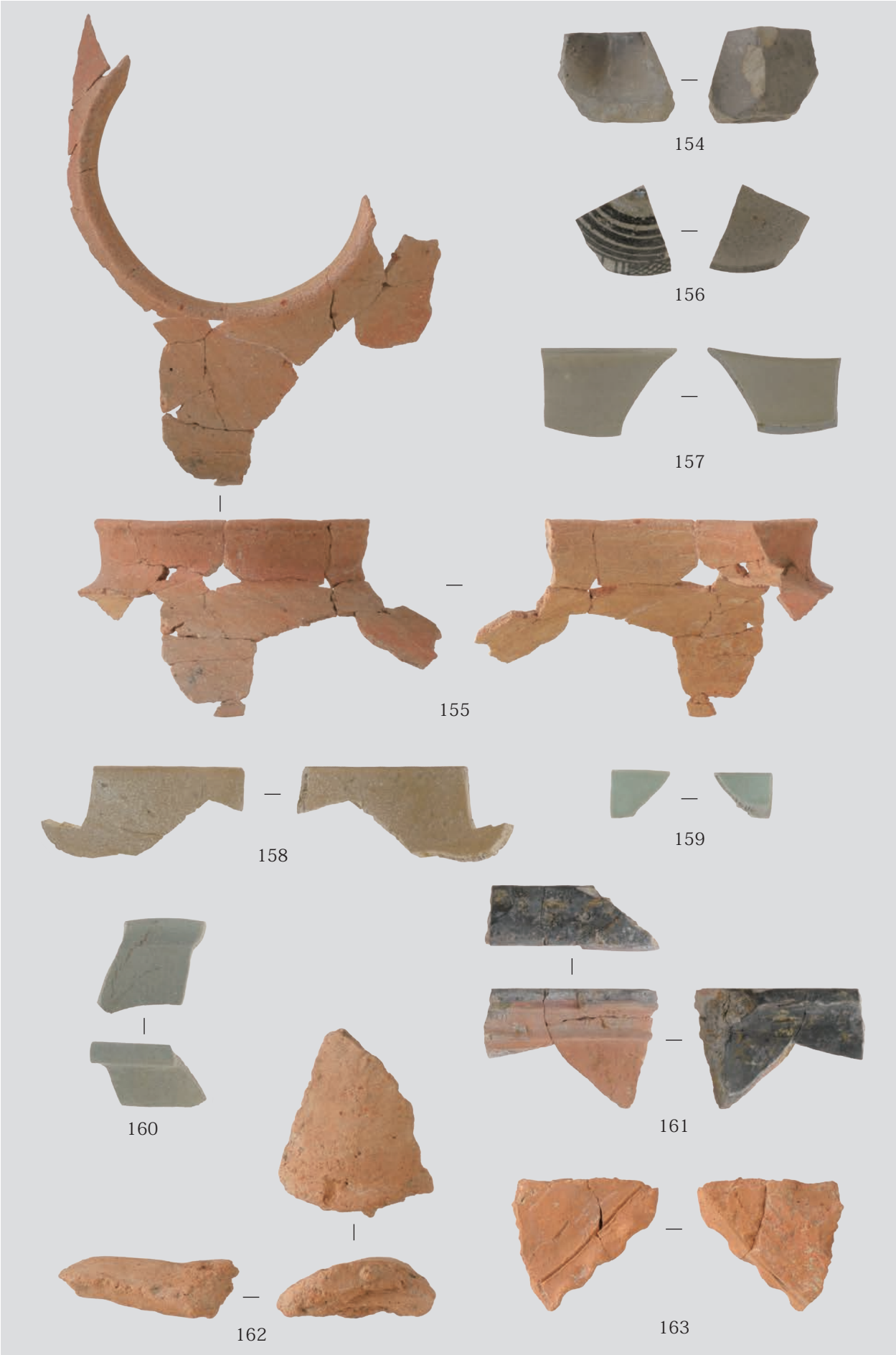
0　10cm

第 32 図　第 1 検出面 出土遺物 4

図版 23　第１検出面 出土遺物１　SK1（13 ～ 16）、SK2（35）、SK9（47）、SK10（51・52）、SK11（53）

図版 24　第 1 検出面 出土遺物 2　SK16（56・57）、SK19（60・62 ～ 64・71）、SK73（75）、SK75（76）、SK76（77）、SK87（82・83）、SP1（97）

図版 25　第１検出面 出土遺物３　SP67（98･99）、SP73（100）、SP75（101）、SP136（102）、SP142（103）、SP143（104）、SD1（116･120・131）、SD5（147）



図版 26　第 1 検出面 出土遺物 4　SU5（155）、SS2（156）、SS6（157 ～ 161）、SX5（162・163）

SK1 出土遺物（13 ～ 15、17 ～ 32）、SK1 掘方（33・34）

図版 27　第 1 検出面 出土遺物 5

SK8 出土遺物（36 ～ 45）、SK9 出土遺物（46 ～ 50）

図版 28　第 1 検出面 出土遺物 6

SK11 出土遺物（53・54）、SK12 出土遺物（55）、SX11 出土遺物（164）

図版 29　第 1 検出面 出土遺物 7

SK19 出土遺物（58 ～ 73）、SK19 掘方出土遺物（74）

図版 30　第 1 検出面 出土遺物 8

SK87 出土遺物（78 ～ 83）

図版 31　第 1 検出面 出土遺物 9

SK88 出土遺物（84・87・89・91・92）、SK88 上層出土遺物（85・86・88・90、93 ～ 96）

図版 32　第 1 検出面 出土遺物 10

SD1 出土遺物（105 ～ 146）

図版 33　第 1 検出面 出土遺物 11

SD5 出土遺物（147 ～ 153）

図版 34　第 1 検出面 出土遺物 12

第４項　Ⅲ層出土遺物（第 33 ～ 45 図　165 ～ 294、図版 35 ～ 46　165 ～ 300）

Ⅲ層からは総数 5,436 点の遺物が出土した。種類別にみると、中国産陶磁器 3,454 点、タイ産陶磁器 47 点、本土産陶磁器 26 点、沖縄産陶器 50 点、土器 802 点、石器 8 点、石製品 2 点、円盤状製品 12 点、銭貨 181 点、高麗系瓦 6 点、大和系瓦 9 点、明朝系瓦 641 点、板状の瓦製品 12 点、塼 52 点である。グスク時代～近世の遺物が出土している。青磁はⅤ類とⅥ類が主体となっており、ほぼ同量出土している。白磁はⅢD 群、青花は明代のものが多い。年代的には 15 世紀中頃～ 17 世紀代の遺物が出土しているが、主体は 15 世紀後半～ 16 世紀中頃と考えられる。僅かに近代以降の遺物も出土しているが、これらは上層からの混入と考える。

以下に代表的な遺物については図化または写真図版を掲載する。

青磁（165 ～ 192）　165 は碗Ⅳ－ a 類、166 は碗Ⅳ－ b 類、167、168 は碗Ⅳ類、169 は碗Ⅳ’類、170 ～ 172 は碗Ⅴ－ a 類、173 は碗Ⅴ－ b 類、174 は碗Ⅴ－ d 類、175 は碗Ⅴ－ 2c 類、176 は碗Ⅴ類、180 ～ 182 は碗Ⅵ－ b 類、178、179 は碗Ⅵ類、184、185 は皿Ⅳ’－ a 類、186 は皿Ⅴ－ 1d 類、177 は皿Ⅴ－ 3b 類、188 は盤Ⅰ－ a 類、189 はⅢ－ a 類、190 はⅢ－ c 類 191 はⅣ－ c 類、187 は杯、192 は酒会壺の胴部片である。

白磁（193 ～ 199）　193、194 は碗 C － 3 群、195 は碗 D’群で莆田窯産、196、197 は皿 D’群で灯明皿、198 は碁笥底の皿、199 は瓶の口縁部である。

青花（200 ～ 206）　200 は碗 B 群、201 は碗 D 群、202 は皿 B_1 群、203 は皿 C 群、204、205 は小鉢、206 は壺でいずれも明代である。

褐釉陶器（207 ～ 220）　207 ～ 214、215 は壺、216 は擂鉢、217、218 は鉢、219 は瓶である。

中国産無釉陶器（220）　壺の口縁部である。

色絵（224・225）　皿で明代である。

黒釉陶器（221 ～ 223）　222 と 223 は碗の口縁部と底部である。221 は胎土が軟質の袋物の胴部片と考えられる資料である。胎土の質感等より福建産と考えられる。

翡翠釉（226）　皿の口縁部である。

タイ産褐釉陶器（227 ～ 229）　壺が出土しており、227、228 はシーサッチャナライ窯、229 はメナムノイ窯産である。

タイ産無釉陶器（230 ～ 232）　230 は壺で肩部に花文の叩き文様が施される。231 は鉢であり、ともにバンプーン窯と考えられる。232 はやや内湾する鉢である。

タイ産半練土器（233 ～ 239）　233、234、235 は壺、236 ～ 239 は蓋である。

タイ産鉄絵（240）　合子の蓋である。

ベトナム産青花（241）　合子の蓋である。

朝鮮産陶磁器（242）　象嵌青磁で碗の胴部片と考えらえる。

東南アジア無釉陶器　243 は無釉陶器で、壺の胴部片と考えられる。外面には突帯が巡り、内面は櫛？による調整痕が明瞭に残るものである。胎土の質感等はタイ産の 230 に類似することより、タイ産か。

本土産陶器（244 ～ 248）　244 は肥前系唐津の皿、245、246 は備前の擂鉢、247 は肥前の擂鉢、248 は薩摩の蓋である。

瓦質土器（249 ～ 251）　249、250 は鉢で、250 の口唇部には煤の付着がみられる。251 は火炉で内外面に調整痕が明瞭に残る。外底には脚部が付くものと考えられる。

宮古式土器（252 ～ 255）　器面が黒色を呈するものがみられる。252 は耳をもつもの、253 は頸部が長いもの、254 は頸部が短いもの、255 は底部資料で平底である。

カムィヤキ（256）　壺の胴部である。

土製品（257）　土錘である。

骨製品（258・259）　258 はヤス、259 は歯ブラシの柄の先端である。

石器・石製品（263）　表面は敲打痕、裏面には磨面が確認されるもので、石皿と考えられる。材質は細粒砂岩製。
円盤状製品（260 ～ 262）　260 は白磁、261 は褐釉陶器、262 は黒釉陶器の碗を素材とするものである。
銭貨（264 ～ 286）　264 は唐銭で開元通寶か。265 ～ 272 は北宋銭で、265 は天聖元寶、266、267 は皇宋通寶か、268 は元祐通寶、269 は元祐通寶か、270 は紹聖元寶か、271 は政和通寶か、272 は宣和通寶。273 は南宋銭で、紹熙元寶。274、275 は元銭で、至大通寶。276 ～ 282 は明銭で、276 ～ 278 が洪武通寶、279、280 が永楽通寶。281 は□元○□、282 は咸□□□、283 ～ 286 は無文銭で、中でも 285 は複数枚が重なった状態である。
金属製品・鉄製品（298 ～ 300）　298 と 299 は角釘、300 は鋲である。
大和系瓦（287・291）　丸瓦で、凸面には不明瞭な羽状文がみられる。291 は雁振瓦である。
明朝系瓦（288・289・293・294）　288 は軒丸瓦で、瓦当文様は連珠と簡略化が進む牡丹文。289 は丸瓦で、玉縁部に魚文に類似するヘラ描きがみられる。293 は平瓦で凸面に半円弧状の印を複数回押したもの、294 も平瓦で、凸面に「大」の字を手書きしたものが確認される。
明朝系瓦 B タイプ（290・292・295）　290 は丸瓦で小型のもの、292 と 295 は平瓦である。
板状瓦製品 (296)
塼（297）　窯の壁材（耐火材）としての機能が考えられるⅥ式とされるもの。長方形を呈し、厚みが約 10cm ある。

第 42 表　Ⅲ層出土遺物観察一覧 1

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm）			観察事項	出土地
						口径	底径	器高		
第 33 図 図版 35	165	青磁	碗	底	Ⅳ－a	－	6.5	－	素地は灰色。釉はオリーブ灰色で、外底は露胎。外底に砂付着。	1 地点 D6 Ⅲ層
	166	青磁	碗	底	Ⅳ－b	－	(5.1)	－	素地は灰色。釉はオリーブ灰色で透明、外底は露胎だが一部に釉が掛かる。外面は蓮弁文、内底は波状の印文と印花文。畳付きに砂付着。キズあり。	2 地点 E12 Ⅲ層
	167	青磁	碗	底	Ⅳ	－	6.0	－	素地は灰色。釉はオリーブ灰色。外底に小さな孔痕と弧状の線刻があり釉剥ぎか。内底は印花文と圏線。	2 地点 D6 Ⅲ層
	168	青磁	碗	底	Ⅳ	－	(5.7)	－	素地は灰色で焼成良好。釉はオリーブ灰色で発色が悪く、外底は一部露胎。内底に印花文と圏線。畳付き砂付着。	2 地点 E13 Ⅲ層
	169	青磁	碗	底	Ⅳ’	－	(6.5)	－	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で、外底と内底は雑に釉剥ぎ。内底ほぼ中心に小さな孔痕あり。外底と内底に胎土目付着。	2 地点 E12 Ⅲ層
	170	青磁	碗	口	Ⅴ－a	(16.0)	－	－	素地は灰白色で焼成はやや良好。釉はオリーブ灰色で厚く、両面に施釉。	2 地点 F12 Ⅲ層
	171	青磁	碗	口	Ⅴ－a	(17.6)	－	－	素地は灰白色でやや軟質。釉はオリーブ灰色で両面に施釉。細かい貫入が全体に入る。内底に圏線。	2 地点 F12 Ⅲ層
	172	青磁	碗	口	Ⅴ－a	(15.8)	－	－	素地は灰白色。釉は明オリーブ灰色で、所々アバタ。貫入が入る。	2 地点 F12 Ⅲ層
	173	青磁	碗	口	Ⅴ－b	－	－	－	素地は灰白色で焼成良好。釉はオリーブ灰色でやや厚く、両面に施釉。粗い貫入が全体に入る。外面に蓮弁文、内底に圏線。	2 地点 E12 Ⅲ層
	174	青磁	碗	口	Ⅴ－d	(12.8)	－	－	素地は灰白色で焼成良好。釉は暗オリーブ色でやや厚く、両面に施釉。外面に唐草文。	2 地点 E14 Ⅲ層
	175	青磁	碗	口～底	Ⅴ－２c	(14.3)	5.9	7.2	素地は灰色で焼成不良。釉は不透明な明オリーブ灰色で、両面に施釉し外底は露胎。外面に雷文と蓮弁文、内底に圏線。	2 地点 F14 Ⅲ層
	176	青磁	碗	底	Ⅴ	－	5.7	－	素地は灰白色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で、外底はヘラによる釉剥ぎか。内底は印花文。	2 地点 E13 Ⅲ層
	177	青磁	皿	底	Ⅴ－３b	－	(5.1)	－	素地は橙色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で発色は悪く、両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。外面に蓮弁文、内底に印花文？。	3 地点 I13 Ⅲ層

第 42 表　Ⅲ層出土遺物観察一覧 2

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm）			観察事項	出土地
						口径	底径	器高		
第 34 図 図版 36	178	青磁	碗	底	Ⅵ	－	（5.8）	－	素地は灰色。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は蛇の目釉剥ぎ。内面に唐草文。外底に胎土目付着。	2 地点 F13 Ⅲ層
	179	青磁	碗	底	Ⅵ	－	5.25	－	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底はヘラによる蛇の目釉剥ぎ。内底に印花文。外底に胎土目付着。	2 地点 E12 Ⅲ層
	180	青磁	碗	底	Ⅵ－ｂ	－	5.8	－	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色で、外底はヘラ等による釉剥ぎか。外面は細蓮弁文で内底は漢字の印文。外底に胎土目付着。	1 地点 D8 Ⅲ層
	181	青磁	碗	底	Ⅵ－ｂ	－	5.35	－	素地は灰白色。釉は暗オリーブ色で厚く、両面に施釉し、外底は蛇の目釉剥ぎ。粗い貫入が入る。外面は細蓮弁文、内底に印文。外底に胎土目付着。	2 地点 Ⅲ層
	182	青磁	碗	底	Ⅵ－ｂ	－	5.4	－	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で発色は悪く、両面に施釉し、外底は蛇の目釉剥ぎ。外面は細蓮弁文、内底は不明瞭な印花文？と花弁状の圏線。	2 地点 E14 Ⅲ層
	183	青磁	碗	底	－	－	6.9	－	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ黒色で外面は胴部途中まで施釉、内底は蛇の目釉剥ぎ。畳付と内底に重ね焼きの目痕あり。	3 地点 G6 Ⅲ層
	184	青磁	皿	口～底	Ⅳ’－ａ	（15.2）	（9.0）	3.5	素地は灰色。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は蛇の目釉剥ぎ、内底は釉剥ぎ。	2 地点 G13 Ⅲ層
	185	青磁	皿	口～底	Ⅳ’－ａ	（11.6）	（6.8）	3.0	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で、発色が悪く外底は蛇の目釉剥ぎ、内底は釉剥ぎ。内底に印花文。外底に胎土目付着。	1 地点 D8 Ⅲ層
	186	青磁	皿	口～底	Ⅴ－１ｄ	（11.8）	（6.0）	3.7	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色で、外底は釉剥ぎ。内面胴部は草花文、内底は圏線。稜花。	1 地点 C5 Ⅲ層
	187	青磁	杯	口	－	（5.05）	－	－	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色。	2 地点 E13 Ⅲ層
第 35 図 図版 37	188	青磁	盤	口～底	Ⅰ－ａ	（22.5）	（6.9）	5.1	素地は灰白色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で全体的に細かい気泡あり。外底は露胎。内底に印花文。碁笥底。	2 地点 E・F13 Ⅲ層
	189	青磁	盤	口～底	Ⅲ－ａ	（25.2）	（14.6）	4.5	素地は灰白色で焼成良好。釉は暗オリーブ色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。貫入なし。内底に印花文。外底に目痕あり。	2 地点 F13 Ⅲ層
	190	青磁	盤	口～底	Ⅲ－ｃ	－	－	－	素地は灰白色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で、外底は釉剥ぎ。貫入が入る。	1 地点 C6 Ⅲ層
	191	青磁	盤	口	Ⅳ－ｃ	－	－	－	素地はにぶい橙色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で、貫入が入る。内面にラマ式蓮弁文。	2 地点 F12 Ⅲ層
図版 37	192	青磁	酒会壺	胴部	－	－	－	－	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色で、粗い貫入が入る。外面に牡丹文。	Ⅲ層
第 35 図 図版 37	193	白磁	碗	口～底	Ｃ－３	（16.6）	5.9	6.6	素地は灰白色で貫入が入る。釉は透明な灰白色を胴部途中まで施釉。内底に花文と圏線。閩清義窯で 14 ｃ後半～ 15 ｃ前半。	2 地点 E12 Ⅲ層 No.2
	194	白磁	碗	底	Ｃ－３	－	（5.5）	－	素地は灰白色で貫入が入る。釉は不透明な灰白色を胴部途中まで施釉。内底に印花文と圏線。	2 地点 F12 Ⅲ層
	195	白磁	碗	口～底	Ｄ’	14.3	5.1	4.8	素地は淡黄色（完形のため表面の色）で焼成不良。釉は透明釉と思われるが焼成不良のため灰白色やにぶい橙色がまだらに発色。外面は胴部途中まで施釉、内底は雑な蛇の目釉剥ぎ。内底に雑な印花文。莆田窯で 15 ｃ～ 16 ｃ。	1 地点 Ⅲ層 No.3
	196	白磁	皿	口～底	Ｄ’	（8.9）	（4.5）	2.0	素地は灰白色。釉は浅黄色で不透明。外面は露胎だが口縁部近くに一部釉が掛かる、内面は総釉で口唇部は釉剥ぎ。口唇部に煤付着。灯明皿。	2 地点 F13 Ⅲ層
	197	白磁	皿	口	Ｄ’	（10.0）	－	－	素地は灰白色。釉は灰白色で不透明で、外面は口縁途中まで施釉。口縁部に煤付着。灯明皿。	1 地点 D8 Ⅲ層
	198	白磁	皿	底	Ｅ	－	（3.6）	－	素地は灰白色。釉は不透明な灰白色で、畳付は釉剥ぎ。	2 地点 F14 Ⅲ層
	199	白磁	瓶	口	－	（3.6）	－	－	素地は白色。釉は透明で、細かい貫入が入る。景徳鎮窯。	1 地点 E6 Ⅲ層
第 36 図 図版 38	200	青花	碗	口～底	Ｂ	（12.4）	4.8	6.7	素地は白色。釉は透明な青白色を両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。全体的に細かい貫入あり。外面は唐草文、内底に「寿」字文。景徳鎮窯。	2 地点 F14 Ⅲ層

第 42 表　Ⅲ層出土遺物観察一覧 3

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝）			観察事項	出土地
						口径	底径	器高		
第 36 図 図版 38	201	青花	碗	口～底	D	(12.1)	(5.8)	6.4	素地は灰白色。釉は透明な白色を両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。外面にアラベスク文、内底に十字花文で発色が悪い。	2 地点 F14 Ⅲ層
	202	青花	皿	口～底	B_1	(12.1)	(6.9)	2.9	素地は灰白色で焼成不良。釉は透明な青白色、内面に細かい気泡あり。両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。外面に宝相華唐草文、内底は玉取獅子。畳付に砂付着。16 c 前半で景徳鎮窯。	1 地点 D8 Ⅲ層
	203	青花	皿	口～底	C	(11.0)	(3.4)	2.85	素地は白色。釉は透明な青白色で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。外面に蕉葉文、内底に沢瀉文。16 c 前～ 16 c 中で景徳鎮窯。	2 地点 F14 Ⅲ層
	204	青花	小鉢	口～底	－	(9.2)	(4.6)	5.45	素地は白色。釉は透明な白色釉で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。外面はアラベスク文と草花文、内底は花鳥文。畳付に白砂付着。15 c 末～ 16 c 中頃で景徳鎮窯。	1 地点 北壁Ⅲ層
	205	青花	小鉢	底	－	－	(3.8)	－	素地は灰白色。釉は透明で青白色で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。外面に如意頭繋文、内底は十字花文か。明代で景徳鎮窯。	1 地点 D8 Ⅲ層
	206	青花	壺	口	－	(5.0)	－	－	素地は白色。釉は透明な青白色で両面に施釉。外面に蓮花唐草文と蓮弁文。明代で景徳鎮窯。	2 地点 E・F13 Ⅲ層
	207	中国産 褐釉 陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は灰白色で白色粒を含む。釉は黒褐色で外面に施釉し、口唇部は釉剥ぎ。	2 地点 F12 Ⅲ層
	208	中国産 褐釉 陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は灰白色で白色粒や黒色粒を含む。釉は黒褐色で両面に施釉する。口縁部の形が不均一。口唇部に目痕あり。	2 地点 F12 Ⅲ層
	209	中国産 褐釉 陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は灰色と橙色で白色粒や赤褐色粒を含む。釉は光沢のある黒褐色で口唇部は釉剥ぎ。	1 地点 D6 Ⅲ層
	210	中国産 褐釉 陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は赤褐色で白色粒を含む。釉は黒色。	3 地点 H・I10 Ⅲ層
	211	中国産 褐釉 陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は赤灰色で白色粒を含む。釉は黒褐色だが、施釉範囲は不明。	2 地点 F14 Ⅲ層
	212	中国産 褐釉 陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は灰白色。釉はオリーブ褐色で両面に施釉し、口唇部は釉剥ぎ。221 と同一個体か。	2 地点 E12 Ⅲ層
第 37 図 図版 39	213	中国産 褐釉	壺	底	－	－	(10.0)	－	素地は灰色で焼成にムラあり。釉はオリーブ褐色で外面胴部途中まで、内面にも一部釉が掛かる。225 と同一個体か。	2 地点 F14 Ⅲ層
	214	中国産 褐釉 陶器	壺	底	－	－	－	－	素地は灰赤色。釉は黒褐色で両面に施釉し、外底は露胎。15 c ～ 16 c。	2 地点 E12 Ⅲ層
図版 39	215	中国産 褐釉 陶器	壺	－	－	－	－	－	素地は橙色と灰色で白色粒を含む。褐色釉を外面に施釉。内面に煤？が付着。外面底部近くに布目あり。	Ⅲ層
第 37 図 図版 39	216	中国産 褐釉 陶器	擂鉢	口	－	－	－	－	素地は灰褐色で白色粒や黒色粒を含む。釉は褐色で内面口唇部から胴部途中まで施釉。10 ～ 11 本を単位に間隔を開け櫛目を付ける。	1 地点 E7 Ⅲ層
	217	中国産 褐釉 陶器	鉢	口	－	－	－	－	素地は灰色で白色粒を含む。釉は黒褐色で内面に施釉し、口唇部は無釉。口唇部に目痕あり。	2 地点 E12 Ⅲ層
	218	中国産 褐釉 陶器	鉢	口	－	－	－	－	素地は橙色で白色粒を含む。釉はマットな灰褐色で両面に施釉し、口唇部は釉剥ぎ。	1 地点 D6 Ⅲ層
	219	中国産 褐釉 陶器	瓶	口	－	(4.6)	－	－	素地は灰色で白色粒を含む。釉は褐色で両面に薄く施釉。	2 地点 F13 Ⅲ層
	220	中国産 褐釉 陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は赤色で白色粒を含む。無釉。	3 地点 H・I10 Ⅲ 層
図版 39	221	黒釉 陶器	袋物	－	－	－	－	－	素地は浅黄橙色で黒色粒を含み、軟質。黒色釉を外面に施釉。内面の轆轤目は顕著。福建産。	Ⅲ層
第 37 図 図版 39	222	黒釉 陶器	碗	口	－	－	－	－	素地は灰白色。釉はマットな褐色釉と光沢のある黒褐色釉を二度掛けし、両面に施釉。	1 地点 D9 Ⅲ層

第 42 表　Ⅲ層出土遺物観察一覧 4

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm）			観察事項	出土地
						口径	底径	器高		
第 37 図 図版 39	223	黒釉 陶器	碗	底	－	－	（4.6）	－	素地は灰白色。釉は光沢のある黒色で、外底は露胎。	２地点 E13 Ⅲ層
	224	色絵	皿	口～底	－	（14.4）	（7.3）	3.65	素地は白色。釉は透明な白色で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。外面と内底に赤と緑で圏線内に花唐草文を施文し、外底には方形銘あり。16 ｃで景徳鎮窯。	１地点 D8 Ⅲ層 撹乱
	225	色絵	皿	口～底	－	（14.8）	（7.8）	3.5	素地は白色。釉は透明な白色で両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外面は赤と緑で圏線内に花唐草文を施文。16 ｃで景徳鎮窯。	１地点 D9 Ⅲ層
	226	翡翠釉	皿	口	－	－	－	－	素地は灰白色。翡翠釉が口縁部付近に残る。景徳鎮窯。	３地点 H7 Ⅲ層
第 38 図 図版 40	227	タイ産 褐釉 陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は灰色で白色粒や黒色粒を含む。釉は黒褐色で口唇部は釉剥ぎ。シーサッチャナライ窯。	１地点 E8 Ⅲ層
	228	タイ産 褐釉 陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は暗赤褐色で白色粒を含む。釉は黒色で両面に施釉し、口唇部は釉剥ぎか。シーサッチャナライ窯。	２地点 E14 Ⅲ層
	229	タイ産 褐釉 陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は赤褐色で白色粒や赤色粒を含む。釉はオリーブ褐色で外面に施釉。内面口縁部に目痕あり。15 ｃ後～ 16 ｃ前でメナムノイ窯。	２地点 F14 Ⅲ層
	230	タイ産 無釉 陶器	壺	胴	－	－	－	－	素地は灰黄色で白色粒を含み、混和剤か植物の茎？の圧痕が割れた面に残る。有段の区画内に花文？を叩き具によって連続で施文。バンプーンで 14 ｃ後半。	１地点 E9 Ⅲ層
	231	タイ産 無釉 陶器	鉢	口	－	－	－	－	素地は灰白色で黒色粒を含む。肩部にヘラによる数条の沈線を施文。バンプーン。	３地点 H12 Ⅲ層
	232	タイ産 無釉 陶器	コネ鉢	口	－	－	－	－	素地は灰色で光を反射する白色粒を含む。口縁部にヘラによる数条の沈線を施文。無釉。タイ産？で 14 ｃ後半。	３地点 H・I9 Ⅲ層
	233	タイ産 半練 土器	壺	口	－	（22.6）	－	－	素地は灰色で表面は橙色や灰色で白色粒や黒色粒を含む。口縁部はヘラによる沈線が２条ある。	３地点 H12 Ⅲ層
	234	タイ産 半練 土器	壺	口	－	－	－	－	素地は灰色で表面は橙色で白色粒や黒色粒を含む。内面口縁部にヘラによる沈線を施文。	３地点 H・I10 Ⅲ 層
	235	タイ産 半練 土器	壺	底	－	－	－	－	素地は浅橙色で赤色粒や白色粒を含む。外面は打捺具により成形され、煤付着。	３地点 H11 Ⅲ層
	236	タイ産 半練 土器	蓋	端部	－	（11.8）	－	－	素地は灰色で表面は橙色で白色粒や赤色粒を含む。端部に段を有す。	２地点 E12 Ⅲ層
	237	タイ産 半練 土器	蓋	端部	－	－	－	－	素地は灰白色で表面は浅黄橙色で白色粒や赤色粒を含む。端部付近に断面三角の突帯を付ける。	２地点 F14 Ⅲ層
	238	タイ産 半練 土器	蓋 （撮み）	撮	－	－	－	－	素地は灰色で表面は橙色で白色粒や黒色粒を含む。撮みは平らな饅頭形。	１地点 D8 Ⅲ層
	239	タイ産 半練 土器	蓋 （撮み）	撮	－	－	－	－	素地は灰白色で表面は橙色では白色粒を含む。撮みは宝珠形。	２地点 F14 Ⅲ層
	240	タイ産 鉄絵	合子 （蓋）	口	－	（7.55）	－	－	素地は灰色で黒色粒を含む。釉は透明で蓋甲に施釉し、庇端部は釉剥ぎ、内面は露胎。蓋甲に鉄絵で施文。16 ｃでシーサッチャナライ窯。	３地点 H11 Ⅲ層
	241	ベトナム産 青花	合子 （蓋）	口	－	（6.4）	－	－	素地は白色でやや軟質。釉はやや不透明な青白色。蓋甲に蝙蝠と蝶？。ベトナム。	３地点 J12 Ⅲ層
	242	朝鮮産 陶磁器	碗	胴部	－	－	－	－	素地は灰色で白砂を含み、やや軟質。釉はオリーブ灰色で両面に施釉。内底に黒土象嵌で圏線を描く。朝鮮産で 14 ｃ後～ 15 ｃ前。	１地点 E7 Ⅲ層
	243	東南 アジア 無釉 陶器	壺	胴	－	－	－	－	素地は赤褐色で白色粒を含む。内面は一部、黒色で櫛による成形痕が明瞭に残る。胴部に凸帯。	２地点 F12 Ⅲ層
第 39 図 図版 41	244	本土産 陶器	皿	口	－	－	－	－	素地は褐色で白色粒を含む。釉は透明で両面に施釉し、外面は胴部途中まで。内面に鉄絵で草花文？。唐津。	１地点 C6 Ⅲ層

第 42 表　Ⅲ層出土遺物観察一覧 5

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 39 図 図版 41	245	本土産陶器	擂鉢	口	－	－	－	－	素地は赤褐色で白色粒を含む。釉は黒褐色で内面～外面口縁部まで施釉、内面は黄褐色。外面に目痕あり。備前。	2 地点 E12 Ⅲ層
	246	本土産陶器	擂鉢	口	－	－	－	－	素地は灰色で白色粒を含む。釉は暗褐色を両面に施釉。備前。	2 地点 F14 Ⅲ層
	247	本土産陶器	擂鉢	底	－	－	（12.0）	－	素地は橙色で白色粒や赤色粒を含む。13 ～ 14 本の櫛目が隙間無く入る。外面に指痕が残る。擂面は摩滅している。肥前。	2 地点 F13 Ⅲ層
	248	本土産陶器	蓋	口	－	－	－	－	素地は灰色で白色粒を含む。釉は黒色で両面に施釉。薩摩。	1 地点 D5 Ⅲ層
	249	瓦質土器	鉢	口	－	（30.2）	－	－	素地は灰黄褐色で表面は燻され灰色、白色粒や赤色粒を含む。口縁部は「く」の字状に屈折。内外面にヘラによる成形痕あり。	2 地点 F12 Ⅲ層
	250	瓦質土器	鉢	口	－	－	－	－	素地は灰褐色で白色粒や黒色粒を含む。口縁部は「く」の字状に屈折、口唇部は平坦に成形されていない。内外面に指とヘラによる成形痕あり。口唇部に煤付着。	3 地点 H11 Ⅲ層
	251	瓦質土器	火炉	底	－	－	－	－	素地は橙色で赤色粒や黒色粒を含む。器面は灰黄褐色を呈する。外面はミガキ調整によって一部平滑で光沢を帯びる。外底にはヘラ状の工具を用いた擦痕、内面にはナデの単位が残る。	2 地点 E12 Ⅲ層
第 40 図 図版 42	252	宮古式土器	壺	胴部	－	－	－	－	胎土は橙色で 2mm 以下の細かい白色粒や赤色粒を多く含む砂泥質。肩部に横耳を付ける。外面は耳を付けた後、ミガキを施し、ススの付着によって黒色を呈する。内面も外面の耳を付けた後、工具ナデを細かく施す。	2 地点 F13 Ⅲ層
	253	宮古式土器	壺	口	－	－	－	－	胎土は 1mm 以下の白色粒を多く含む橙色で泥質。内外面ともナデ調整が丁寧に施されるが、外面はミガキが密に施されるのに対し、内面は指頭圧痕が残る。	2 地点 E14 Ⅲ層
	254	宮古式土器	壺	口	－	（20.6）	－	－	胎土は橙色で 2mm 以下の細かい白色粒や赤色粒を多く含む砂泥質。口縁部は短く屈曲する。外面はミガキが施されススの付着によって黒色を呈する。内面は工具ナデが細かく施される。	2 地点 E14 Ⅲ層
	255	宮古式土器	壺	底	－	－	（10.0）	－	胎土は鈍い黄橙色で暗褐色や白色の粒を含む泥質。外面はミガキが施され、ススが付着して黒色を呈する。内面は工具ナデやユビナデを施す。	2 地点 F14 Ⅲ層
第 41 図 図版 43	256	カムィヤキ	壺	胴	－	－	－	－	素地は灰色で白色粒を含む。外面には叩き？による成形痕がある。	2 地点 E14 Ⅲ層
	257	土製品	錘	－	－	－	－	－	素地は浅黄橙色で雲母や白色粒を含む。	2 地点 E12 Ⅲ層
	258	骨製品	ヤス	－	－	－	－	－	表裏面の中央には稜が施される。	2 地点 F14 Ⅲ層
	259	骨製品	歯ブラシ	柄	－	－	－	－	尖らせた柄部の先端に孔を施し、青銅？の金具をはめ込む。表裏面及び側面は丁寧に磨かれる。厚さ約 4 ～ 5mm。	1 地点 D6 Ⅲ層
	260	円盤状製品	－	底	－	長径 4.7	短径 4.35	厚さ 1.3	素材は中国産白磁。内外面から剥離している。	1 地点 D8 Ⅲ層
	261	円盤状製品	－	—	－	長径 2.6	短径 2.42	厚さ 0.95	素材は中国産褐釉。内外面から剥離している。	3 地点 C12 Ⅲ層
	262	円盤状製品	－	底	－	長径 5.0	短径 4.98	厚さ 1.3	素材は中国産黒釉陶器。内外面から剥離している。	1 地点 D6 Ⅲ層
	263	石器	石皿	－	－	長さ（16.0）	幅（11.9）	厚さ 5.65	石材は細粒砂岩。表面は叩打痕が明瞭に残り、凹みや角を利用。裏面は平坦面を研磨に使用し、長軸や対角線で線条痕が確認できる。	2 地点 E12 Ⅲ層
第 42 図 図版 44	264	銭貨	開元通寶か	－	－	－	－	－	銭文：□元□寶。真書。欠損しているが、残存した銭文から開元通寶と判断。初鋳年 621 年。最大銭厚：1.94mm、残存重量：2.2g	2 地点 F14 Ⅲ層
	265	銭貨	天聖元寶	－	－	－	－	－	銭文：□聖元□。篆書。初鋳年：1023 年。銭文や輪は摩滅のため不鮮明。最大銭厚：1.41mm、残存重量：1.8g	2 地点 F13 Ⅲ層
	266	銭貨	皇宋通寶か	－	－	－	－	－	銭文：皇□□寶。真書。初鋳年：1038 年。摩滅のため銭文や背面の輪は不鮮明。最大銭厚：1.62mm、残存重量 1.3g	2 地点 E14 Ⅲ層

第 42 表　Ⅲ層出土遺物観察一覧 6

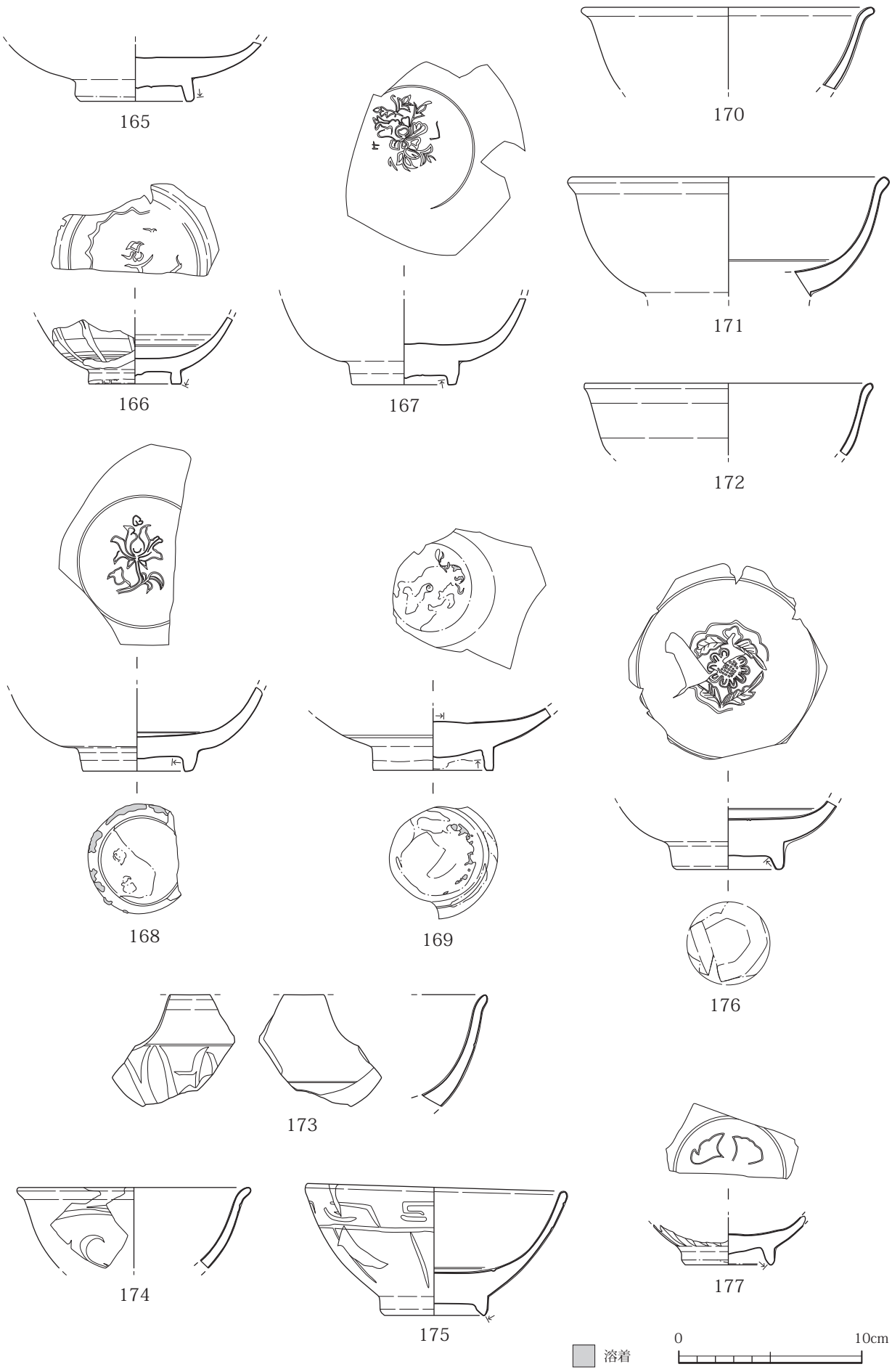
挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 42 図 図版 44	267	銭貨	皇宋通寶か	－	－	－	－	－	銭文：皇□□□。真書。初鋳年：1037 年。欠損箇所が多いため詳細な銭種は不明。最大銭厚：1.90mm、残存重量：1.2g。	2 地点 E13 Ⅲ層
	268	銭貨	元祐通寶	－	－	－	－	－	銭文：元祐□□。篆書。輪の背面は摩耗のため平滑。最大銭厚：1.19mm、残存重量：1.4g	2 地点 E12 Ⅲ層
	269	銭貨	元祐通寶か	－	－	－	－	－	銭文：元祐□○。行書。初鋳年：1086 年。錆や摩耗のため銭文は不鮮明。孔径：6.4g、最大銭厚：1.50mm、残存重量：2.7g。	2 地点 E12 Ⅲ層
	270	銭貨	紹聖元寶か	－	－	－	－	－	銭文：紹聖□□。篆書。初鋳年：1094 年。摩滅のため銭文は不鮮明。最大銭厚：1.60mm、残存重量：1.8g	2 地点 E12 Ⅲ層
	271	銭貨	政和通寶か	－	－	－	－	－	銭文：□和通□。隷書。初鋳年：1111 年。摩耗のため背面は平坦。最大銭厚：1.36mm、残存重量：1.5g。	2 地点 F12 Ⅲ層
	272	銭貨	宣和通寶	－	－	－	－	－	銭文：宣□通□。分楷。初鋳年：1119 年。最大銭厚：2.08mm、残存重量：2.3g。	2 地点 E12 Ⅲ層
	273	銭貨	紹熙元寶	－	－	－	－	－	銭文：紹熙□□。初鋳年：1190 年。磨輪され、銭文も錆のため不鮮明。最大銭厚：1.78mm、残存重量：1.4g	2 地点 E12 Ⅲ層
	274	銭貨	至大通寶	－	－	－	－	－	銭文：至大通○。初鋳年：1310 年。摩耗や錆のため銭文は不鮮明。外径：23.94mm、内径：18.59mm、孔径：5.91mm、最大銭厚：1.73mm、残存重量：2.8g。	2 地点 F14 Ⅲ層
	275	銭貨	至大通寶	－	－	－	－	－	銭文：至大通寶。初鋳年：1310 年。銭文は摩耗や錆のため不鮮明。外径：25.61mm、内径 20.74mm、孔径：6.0mm、最大銭厚：2.10mm、重量：4.5g	2 地点 E12 Ⅲ層
第 43 図 図版 45	276	銭貨	洪武通寶	－	－	－	－	－	銭文：洪武通寶。初鋳年：1368 年。真書。錆のため銭文はやや不鮮明。外径：20.91mm、内径：15.84mm、孔径：4.68mm、最大銭厚 2.14mm、重量 3.8g	2 地点 E12 Ⅲ層
	277	銭貨	洪武通寶	－	－	－	－	－	銭文：洪武通寶。真書。初鋳年：1368 年。銭文は鮮明に残る。外径：22.88mm、内径：18.53mm、孔径：5.91mm、最大銭厚：1.99mm、重量：3.0g	2 地点 F12 Ⅲ層
	278	銭貨	洪武通寶	－	－	－	－	－	銭文：洪武通寶。真書。初鋳年：1368 年。錆のため変形しており、銭文は不鮮明。複数の銭が溶着。最大厚：4.95mm、重量：10.5g	2 地点 F11 Ⅲ層
	279	銭貨	永樂通寶	－	－	－	－	－	銭文：永樂通寶。真書。初鋳年：1408 年。外径：25.8mm、内径：20.31mm、孔径：5.62mm、最大銭厚：1.75mm、残存重量：3.3g	2 地点 E13 Ⅲ層
	280	銭貨	永樂通寶	－	－	－	－	－	銭文：永樂通寶。真書。初鋳年：1408 年。銭文は比較的鮮明に残る。外径：25.35mm、内径：23.54mm、孔径：5.38mm、最大銭厚：1.49mm、重量：3.2g	2 地点 F14 Ⅲ層
	281	銭貨	□元○□	－	－	－	－	－	銭文：□元○□。真書。銭文は摩耗して輪郭は判然としない。最大銭厚：1.11mm、残存重量：1.5g	2 地点 E14 Ⅲ層
	282	銭貨	咸□□□	－	－	－	－	－	銭文：咸□□□。銭文「咸」の箇所のみ残存。最大銭厚：1.54mm、残存重量：0.4g。	2 地点 E13 Ⅲ層
	283	銭貨	無文銭	－	－	－	－	－	薄い青銅板を加工。外径：2.0mm、孔径 6.61mm、最大銭厚：0.79mm、重量：1.1g。	2 地点 E12 Ⅲ層
	284	銭貨	無文銭	－	－	－	－	－	角孔は不整方形。外径：20.72mm、孔径：8.46mm、最大銭厚：1.61mm、重量：1.7g	2 地点 E13 Ⅲ層
	285	銭貨	無文銭	－	－	－	－	－	全体的に小型化しているが、孔は大きい。角孔はタガネで穿つ。外径：15.82mm、孔径：7.7mm、最大銭厚：0.91mm、重量：0.5g。	2 地点 Ⅲ層
	286	銭貨	無文銭	－	－	－	－	－	錆のため複数枚（4 枚か）の無文銭が癒着。最大厚：3.93mm、重量：2.8g	Ⅲ層
第 44 図 図版 46	287	瓦	丸瓦	筒部	－	－	－	－	褐色で赤色粒や黒色粒を含む。凸面には不明瞭な羽状文、凹面には布と糸圧痕がある。側面はヘラにより成形される。高麗系瓦の影響を受けた大和系。	1 地点 D8 Ⅲ層
	288	瓦	軒丸瓦	瓦当部	－	－	－	－	色は灰色。文様は連珠と簡略化かが進む線表現の牡丹文。裏面はユビナデを施す。明朝系。	2 地点 F13 Ⅲ層上面
	289	瓦	丸瓦	玉縁部	－	－	－	－	色は褐色。凸面玉縁部に魚文？のヘラ印あり。凸面は布目痕がある。明朝系。	1 地点 D7 Ⅲ層

第 42 表　Ⅲ層出土遺物観察一覧 7

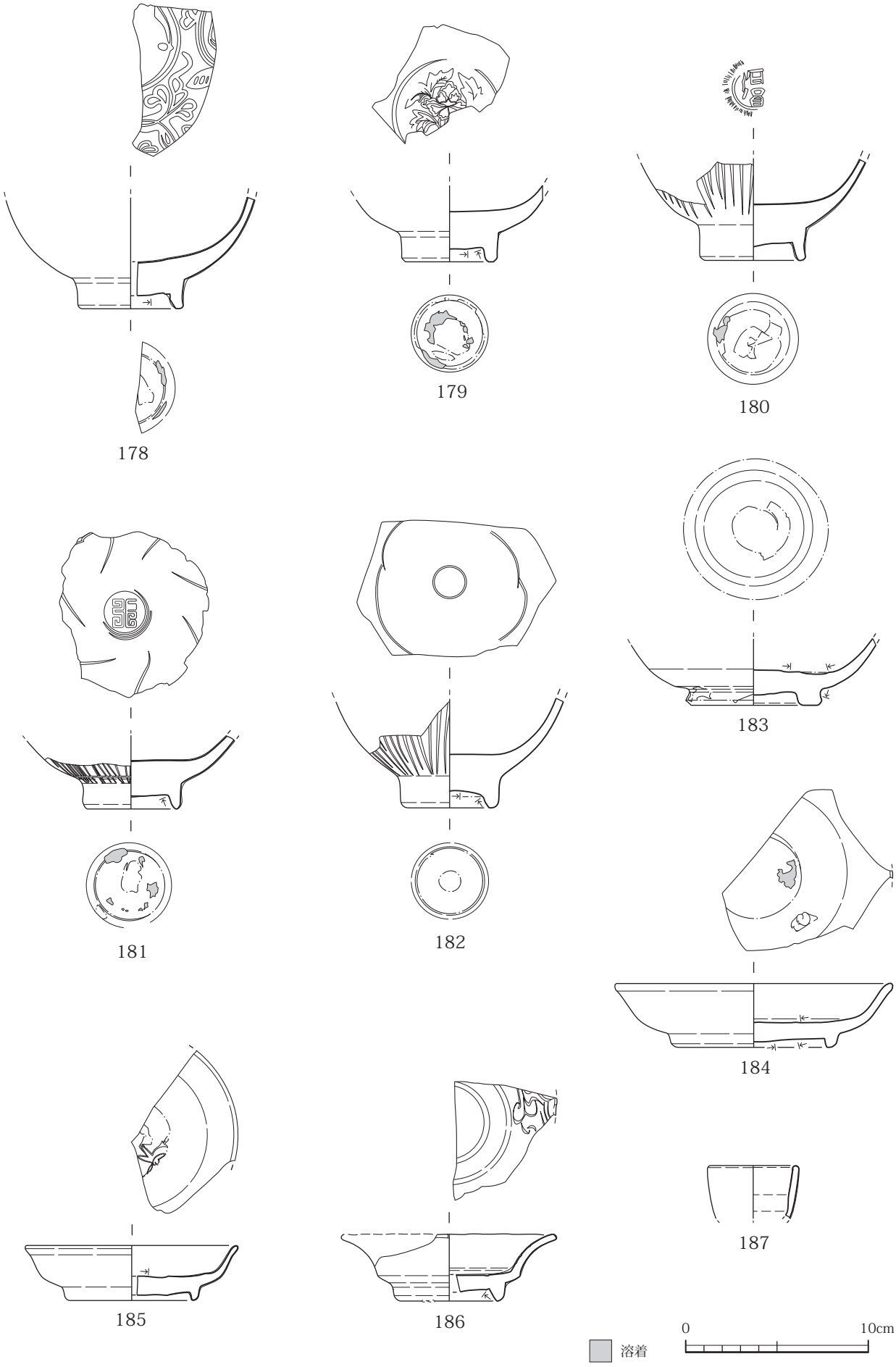
挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝）			観察事項	出土地
						口径	底径	器高		
第 44 図 図版 46	290	瓦	丸瓦	玉縁部	B タイプ	－	－	－	赤色で黒色粒を含む。凹面には長軸にヘラによる整形痕がある。側面は丁寧に成形される。従来のものとは胎土や成形技法が異なる小型の明朝系。	1 地点 E6 Ⅲ層
図版 46	291	瓦	雁振瓦	筒部	－	－	－	－	筒部。素地は明赤褐色で黒褐色の粒を含み、一部赤褐色を呈する。凸面はナデ、凹面は棒状の工具で長軸方向にケズリのようなナデ、側面は面取り。大和系。筒部厚 20.47mm	F14 Ⅲ層
第 45 図 図版 47	292	瓦	平瓦	広端部	B タイプ	－	－	－	赤色で褐色粒を含む。両面にはヘラによる成形か長軸に条痕がある。従来のものとは胎土や成形技法が異なる明朝系。	1 地点 E6 Ⅲ層
	293	瓦	平瓦	広端部	－	－	－	－	灰色で白色粒を含む。凸面に半円弧状の印を複数回押す。明朝系。	2 地点 E12 Ⅲ層
	294	瓦	平瓦	狭端部	－	－	－	－	灰色で白色粒を含む。凸面には手書きによる「大」の印。凹面には布目痕がある。明朝系。	2 地点 F13 Ⅲ層 上面
図版 47	295	瓦	平瓦	－	B タイプ	－	－	－	端部。素地は白色粒を含む橙色。凸面、凹面とも筋状の整形痕とナデ、端部は面取り。明朝系瓦。最大厚 20.36mm	Ⅲ層
	296	板状の 瓦製品	－	－	－	－	－	－	端部。素地はにぶい赤褐色で黒褐色の粒を含み、一部黒灰色を呈する。上面は長軸方向に筋状の整形痕と粗いナデ、下面は長軸方向に筋状の整形痕、側面はヘラ取り。最大厚 12.59mm	Ⅲ層
図版 46	297	塼	－	－	上原分類 Ⅵ式	－	－	－	素地は極暗赤褐色で芯は灰色。器形は長方形。外面に調整痕が残る。	1 地点 Ⅲ層
	298	鉄製品	角釘	－	－	－	－	－	頭部の上面観は小判状で、軸部の横断面形は長方形。軸部の途中で折れているため、全長は不明。全体的に錆に覆われ、海砂が付着。重量：8.3g、残存長：37.19mm、頭部（長軸・短軸）：11.37mm・14.28mm、軸部幅（長軸・短軸）：11.40mm・9.42mm	Ⅲ層
	299	鉄製品	角釘	－	－	－	－	－	錆膨れや海砂の付着のため、頭部の上面観や軸部の横断面形は不明。重量：16.1g、残存長：58.04mm	Ⅲ層
	300	金属 製品	鋲	－	－	－	－	－	頭部の上面観は円形で、打ち付けたためかやや扁平。軸部の横断面形は長方形。軸は途中で折れているため、全長は不明。重量：2.4g、残存長：6.95mm、頭部径：18.00mm、軸部幅（長軸・短軸）：2.62mm、1.31mm	Ⅲ層

※法量　（　）内は復元による推定値

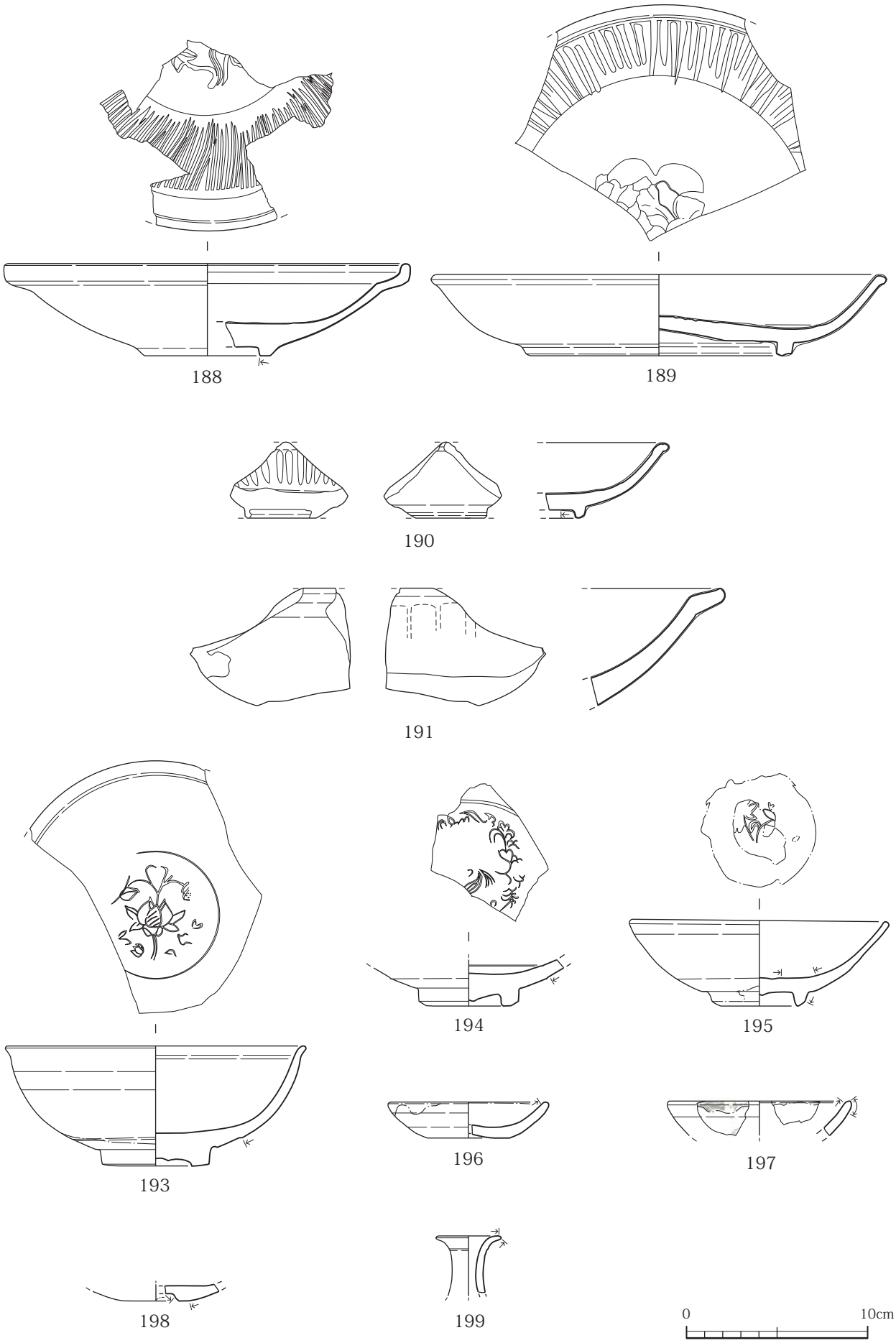
※銭貨　□：欠損、○：不鮮明



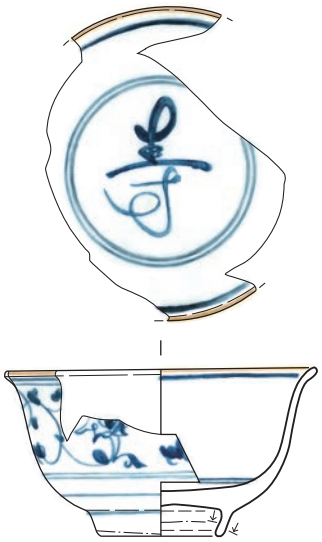
第 33 図　Ⅲ層 出土遺物 1

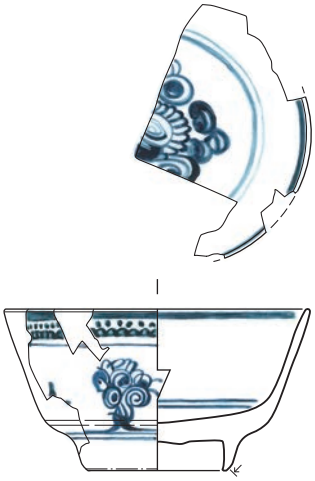


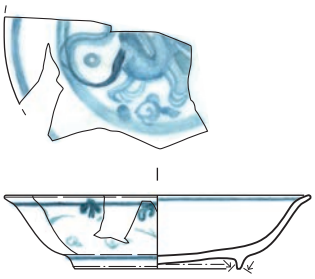
第 34 図　Ⅲ層 出土遺物 2

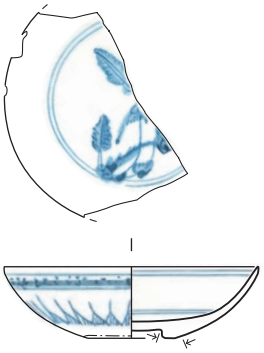


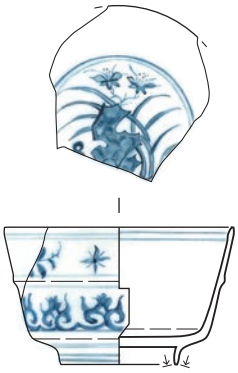
第 35 図　Ⅲ層 出土遺物 3

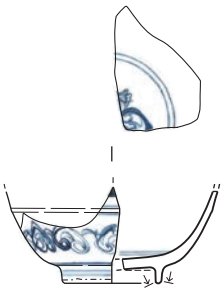

200

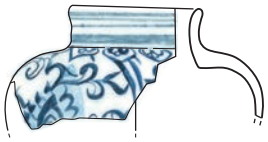

201

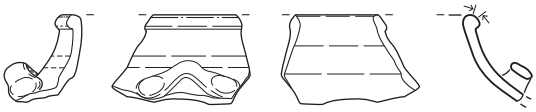

202

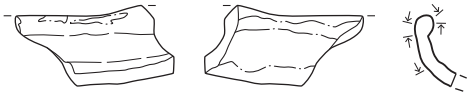

203


204


205


206


207

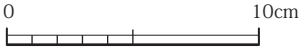

208

209

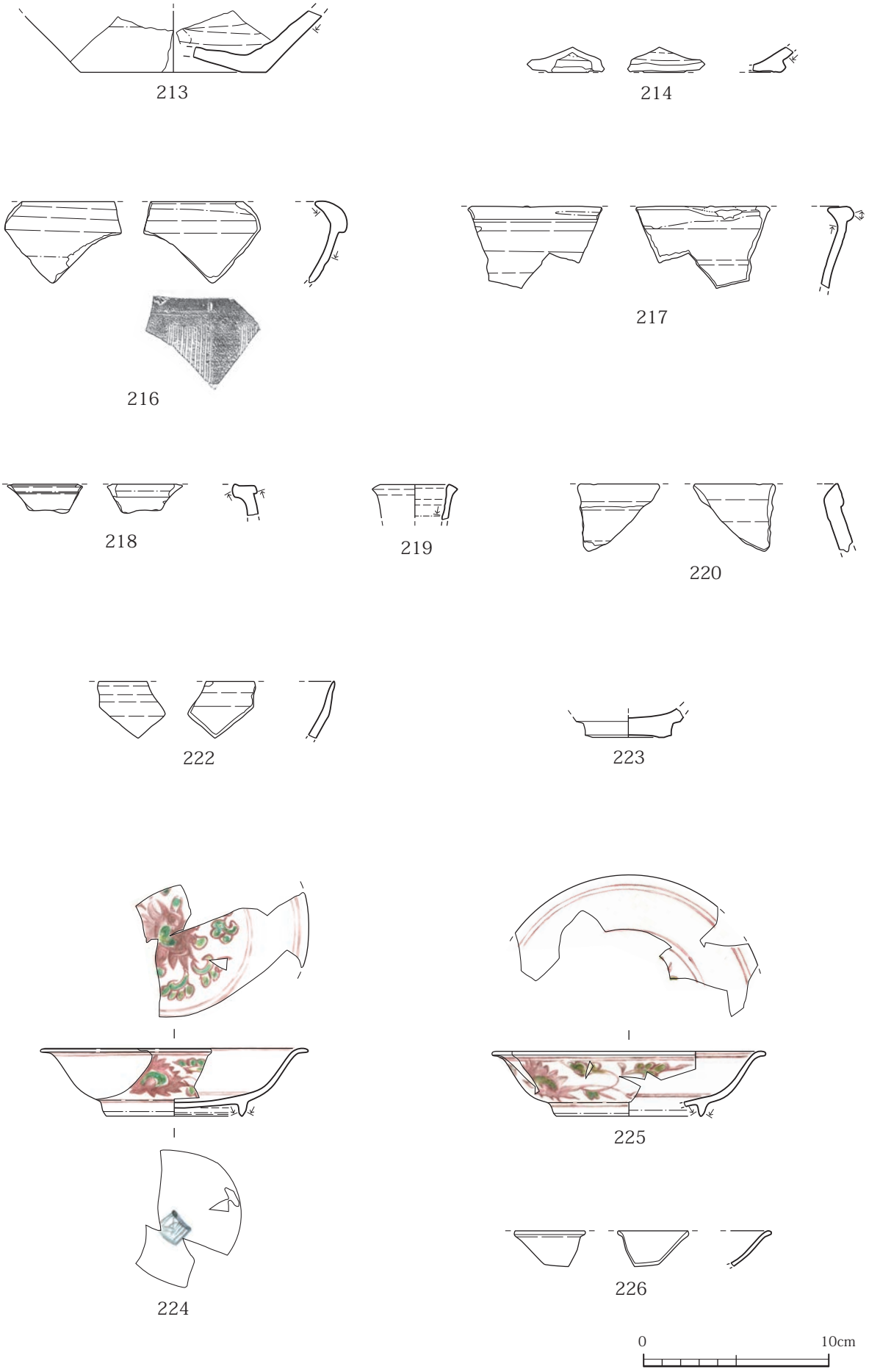
210

211

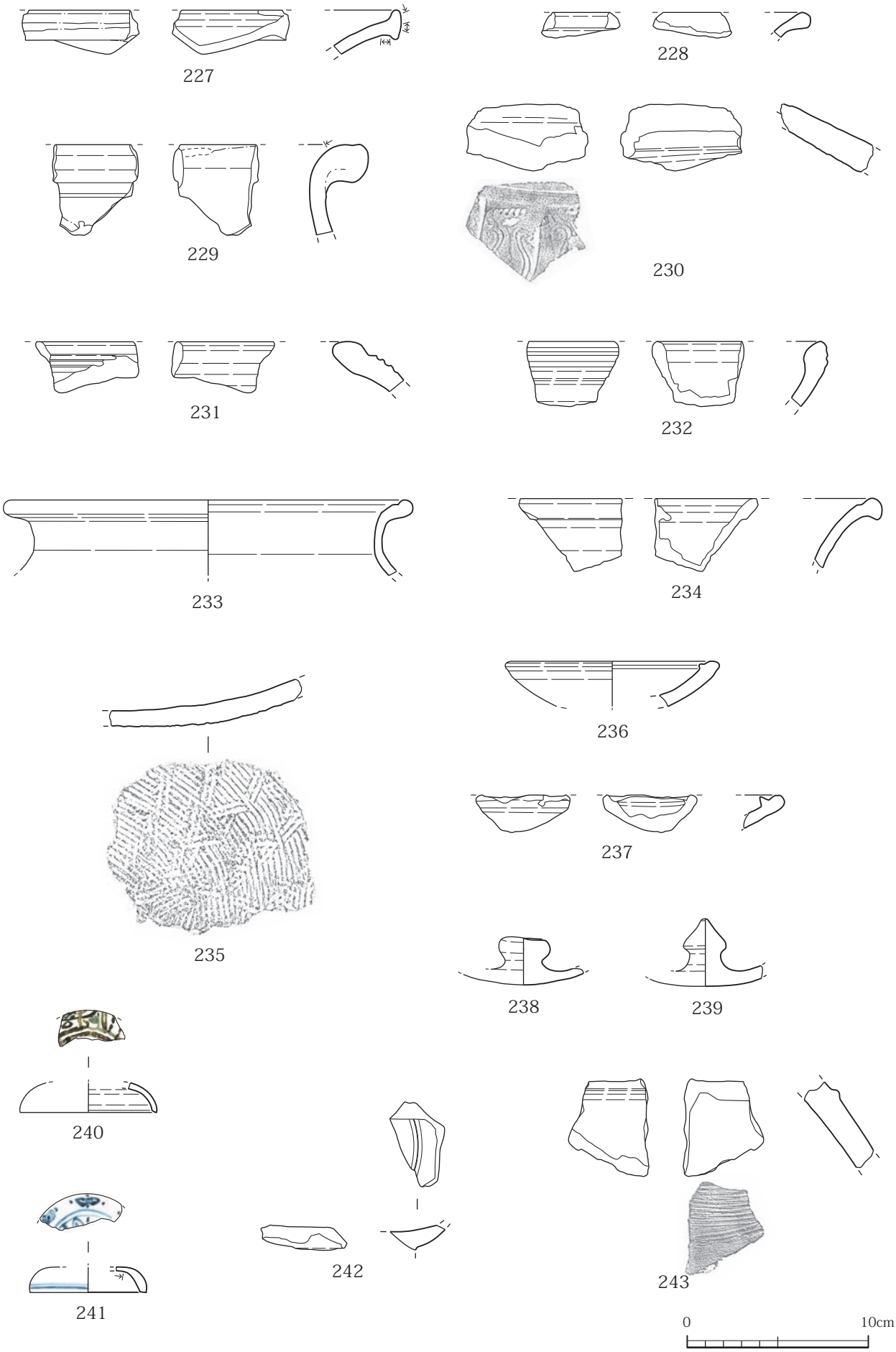
212



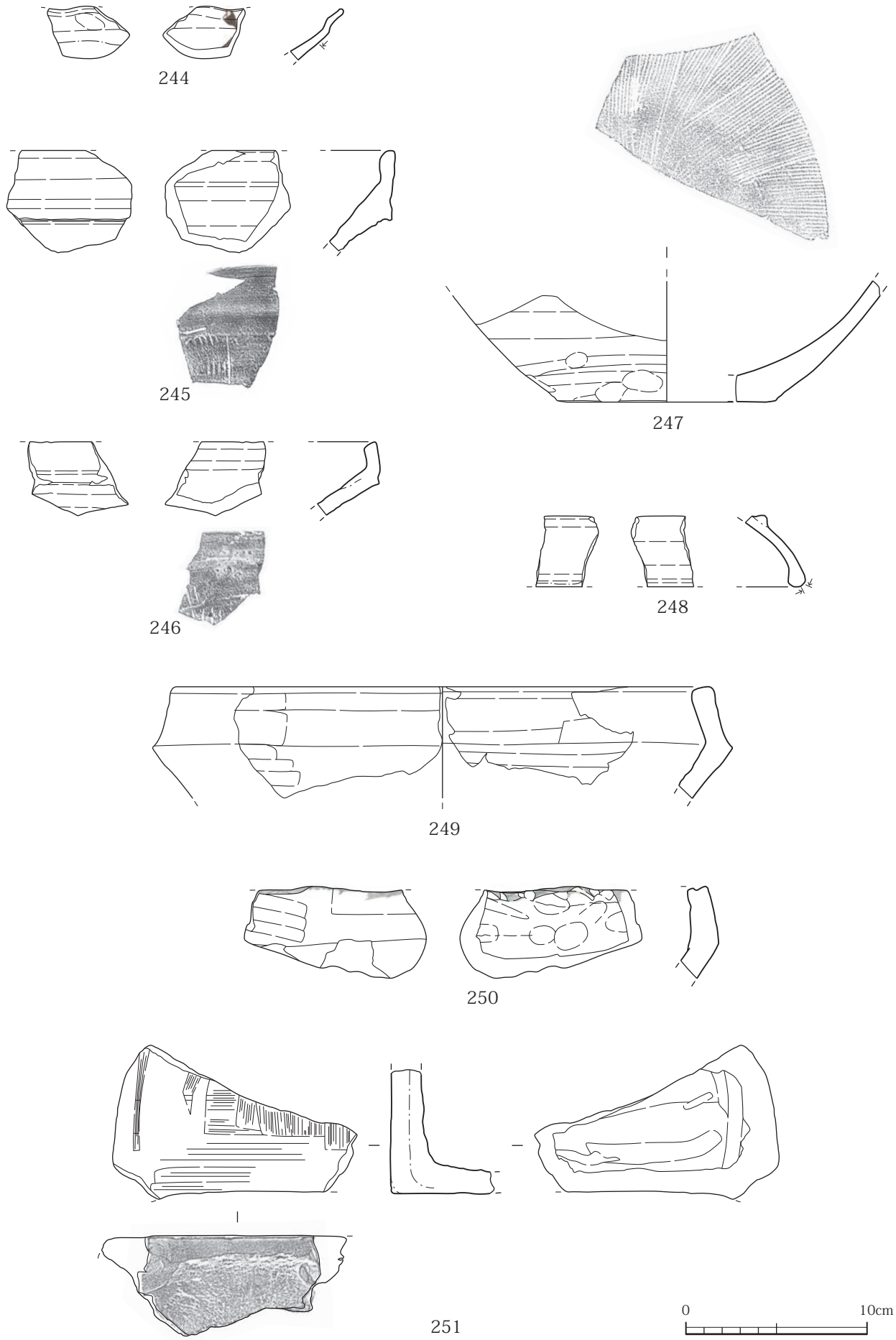
第 36 図　Ⅲ層 出土遺物 4



第 37 図　Ⅲ層 出土遺物 5

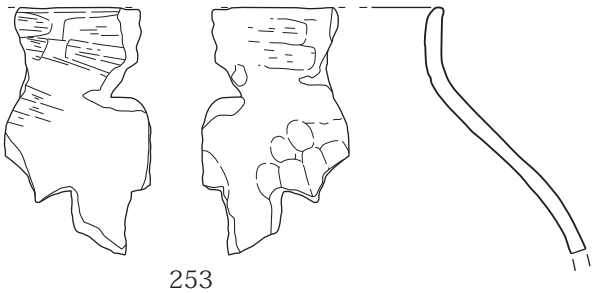


第 38 図　Ⅲ層 出土遺物 6

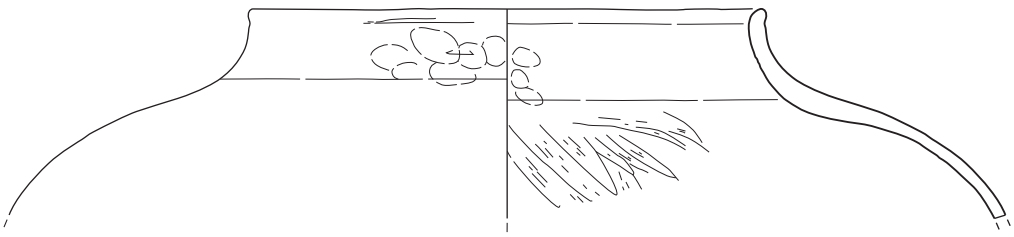


第 39 図　Ⅲ層 出土遺物 7

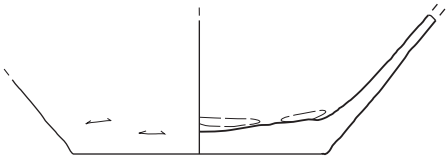
252



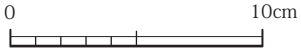
253



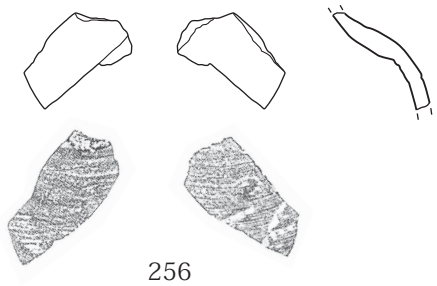
254

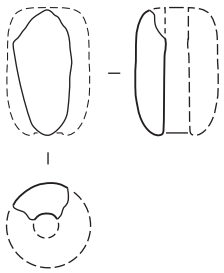


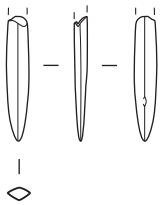
255



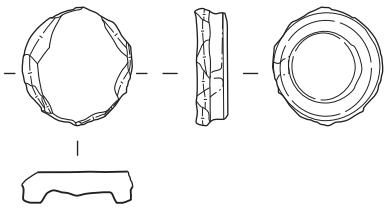
第 40 図　Ⅲ層 出土遺物 8

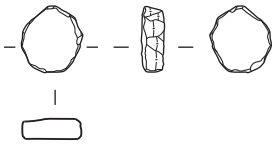

256

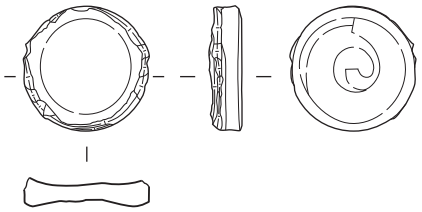

257

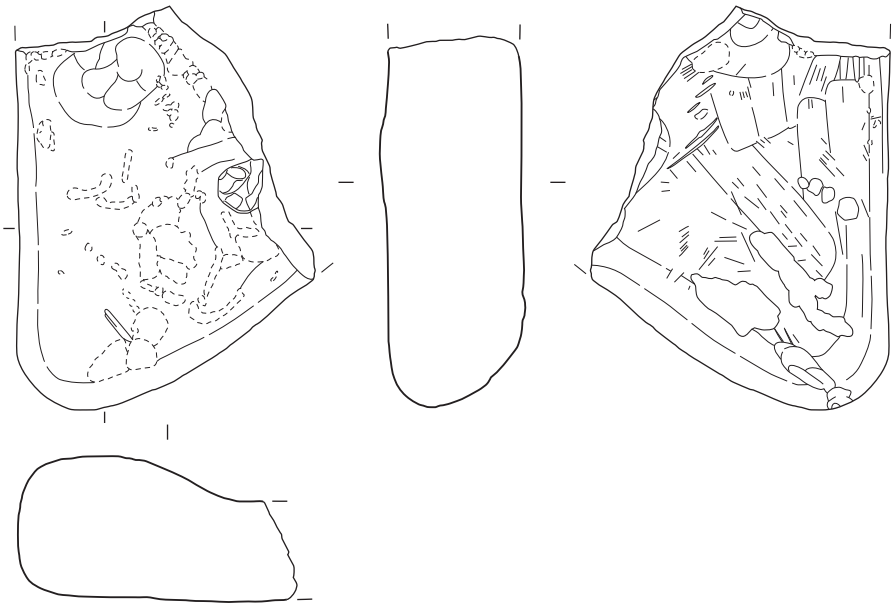

258

259

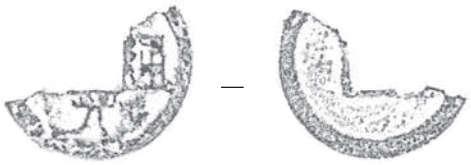

260


261


262


263

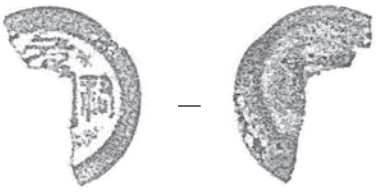
第 41 図　Ⅲ層 出土遺物 9

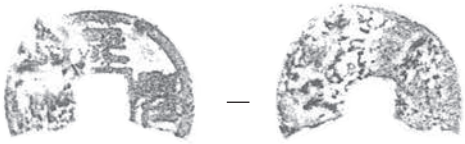

264

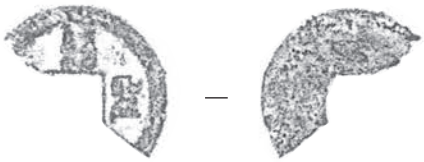
265

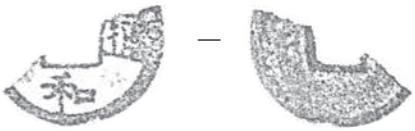
266

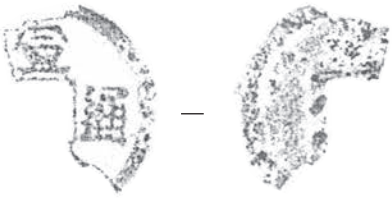
267

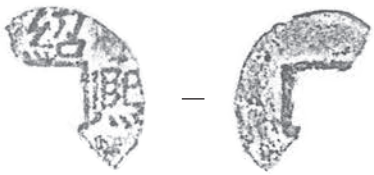

268

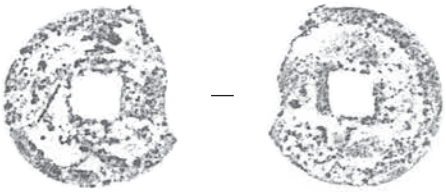

269

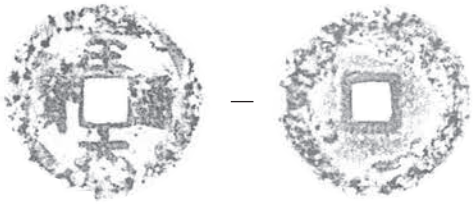

270


271


272

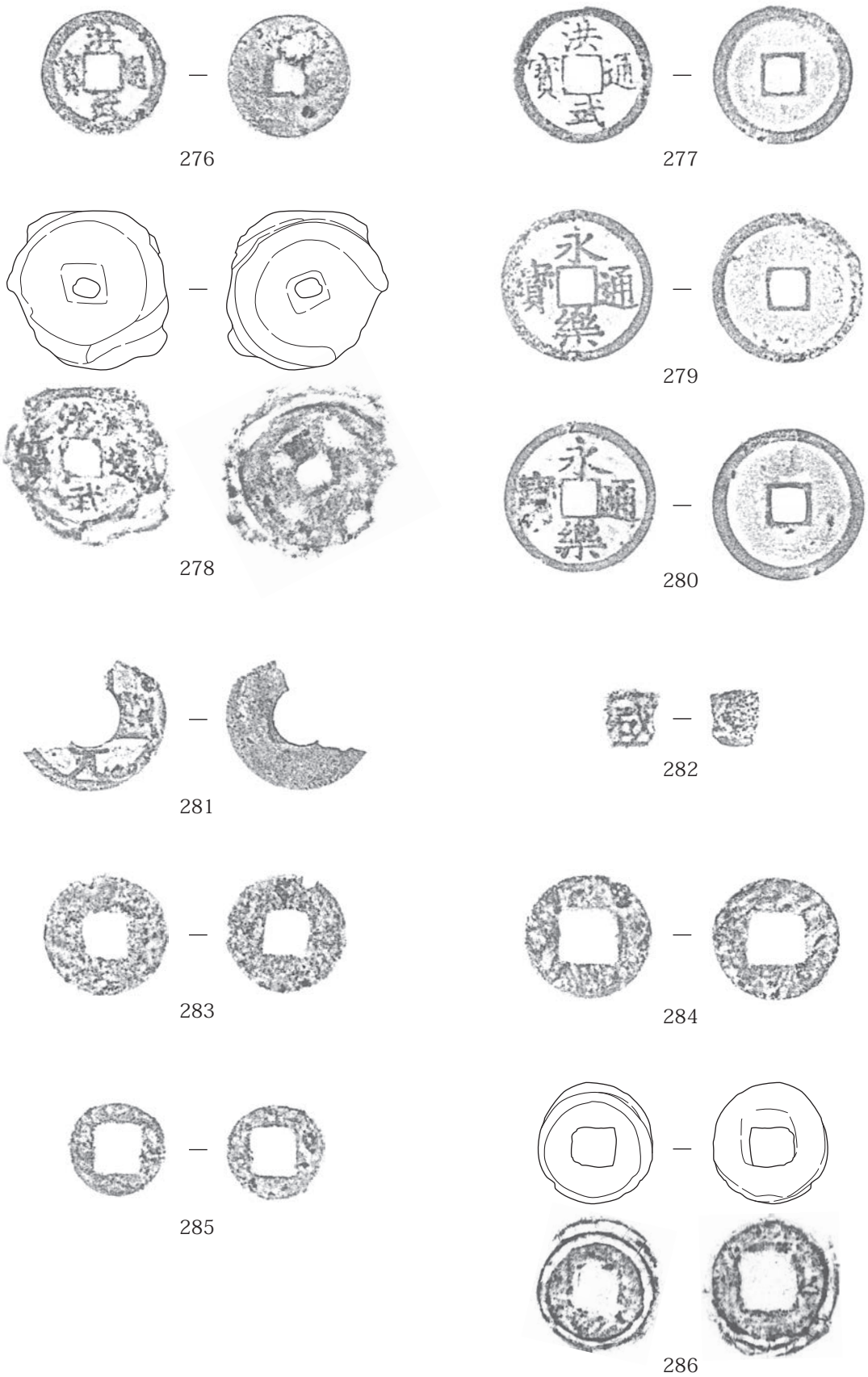

273


274

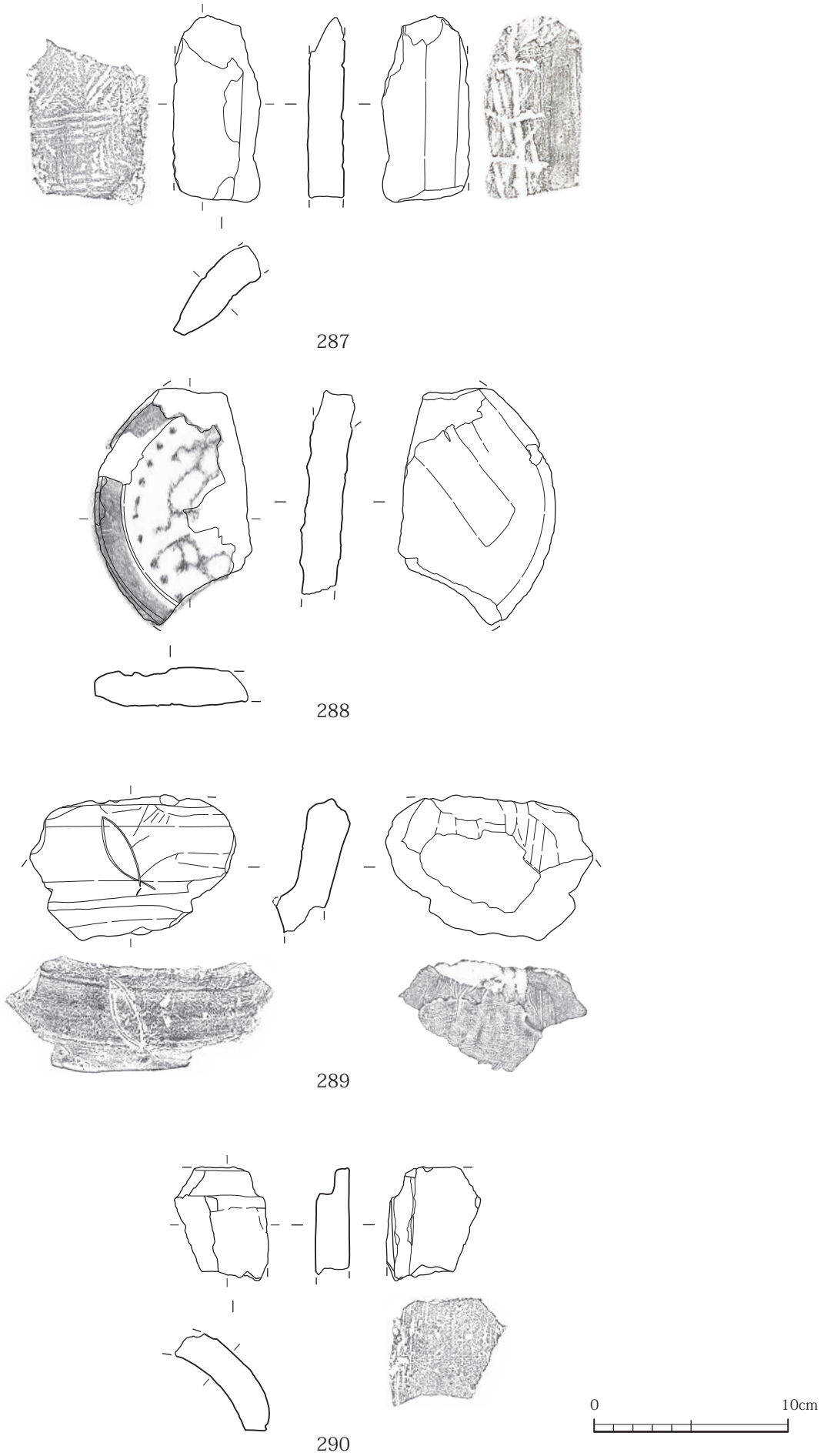

275

0　3cm

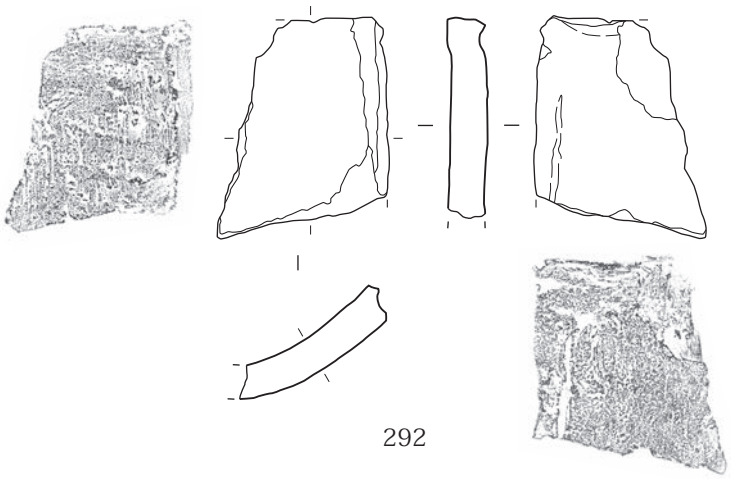
第 42 図　Ⅲ層 出土遺物 10



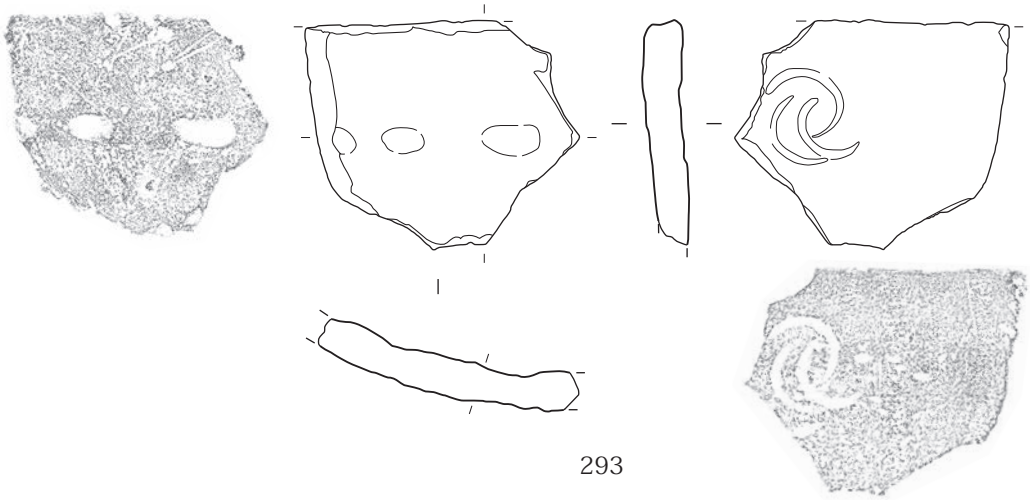
第 43 図　Ⅲ層 出土遺物 11



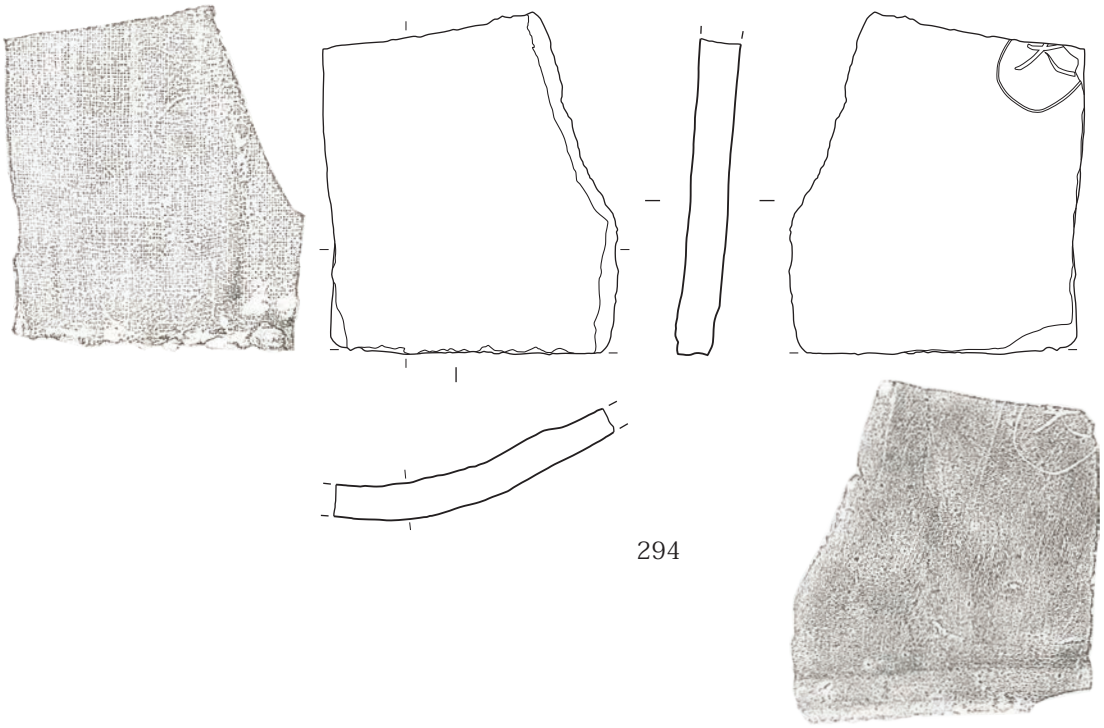
第 44 図　Ⅲ層 出土遺物 12



292



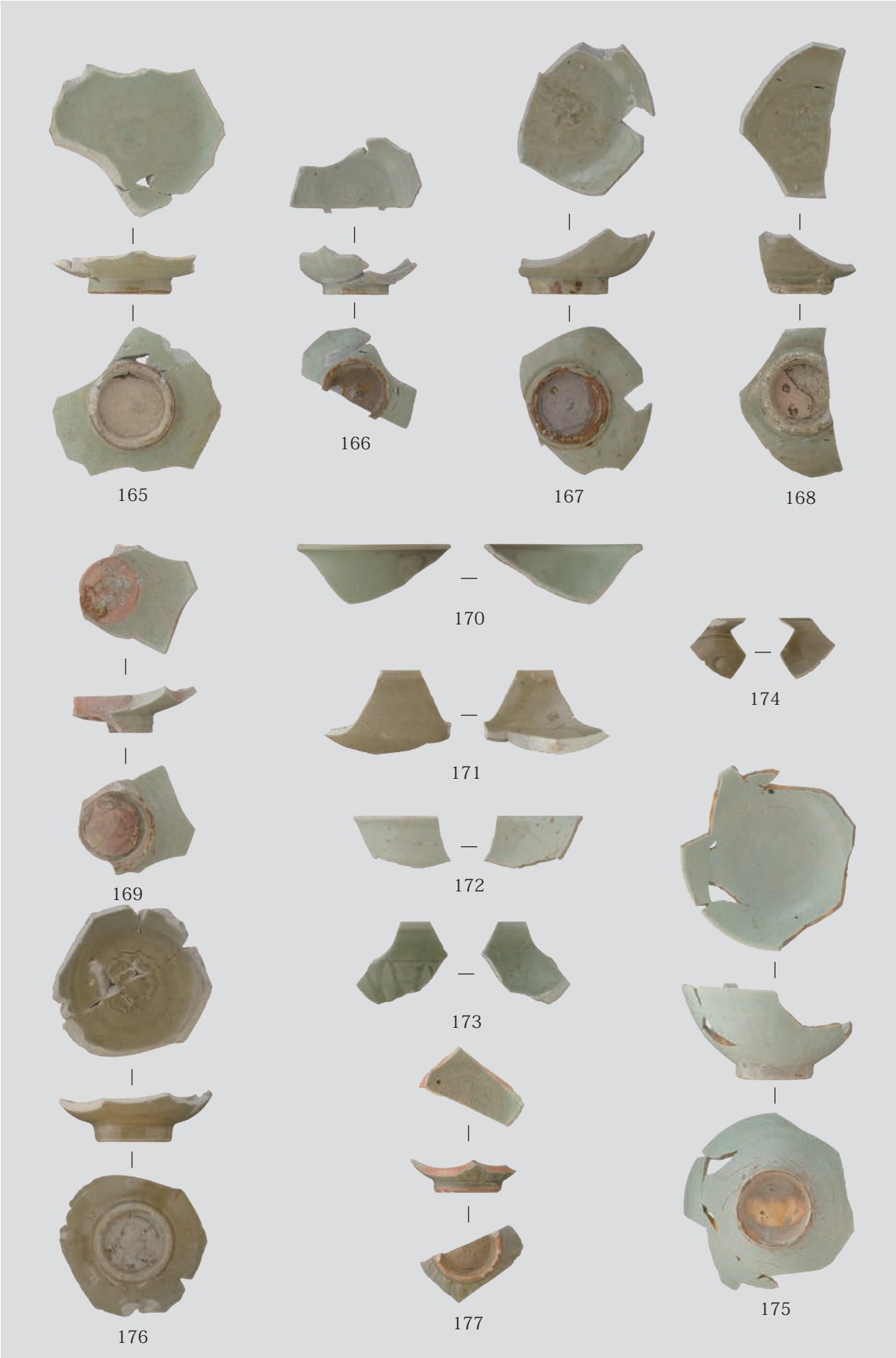
293



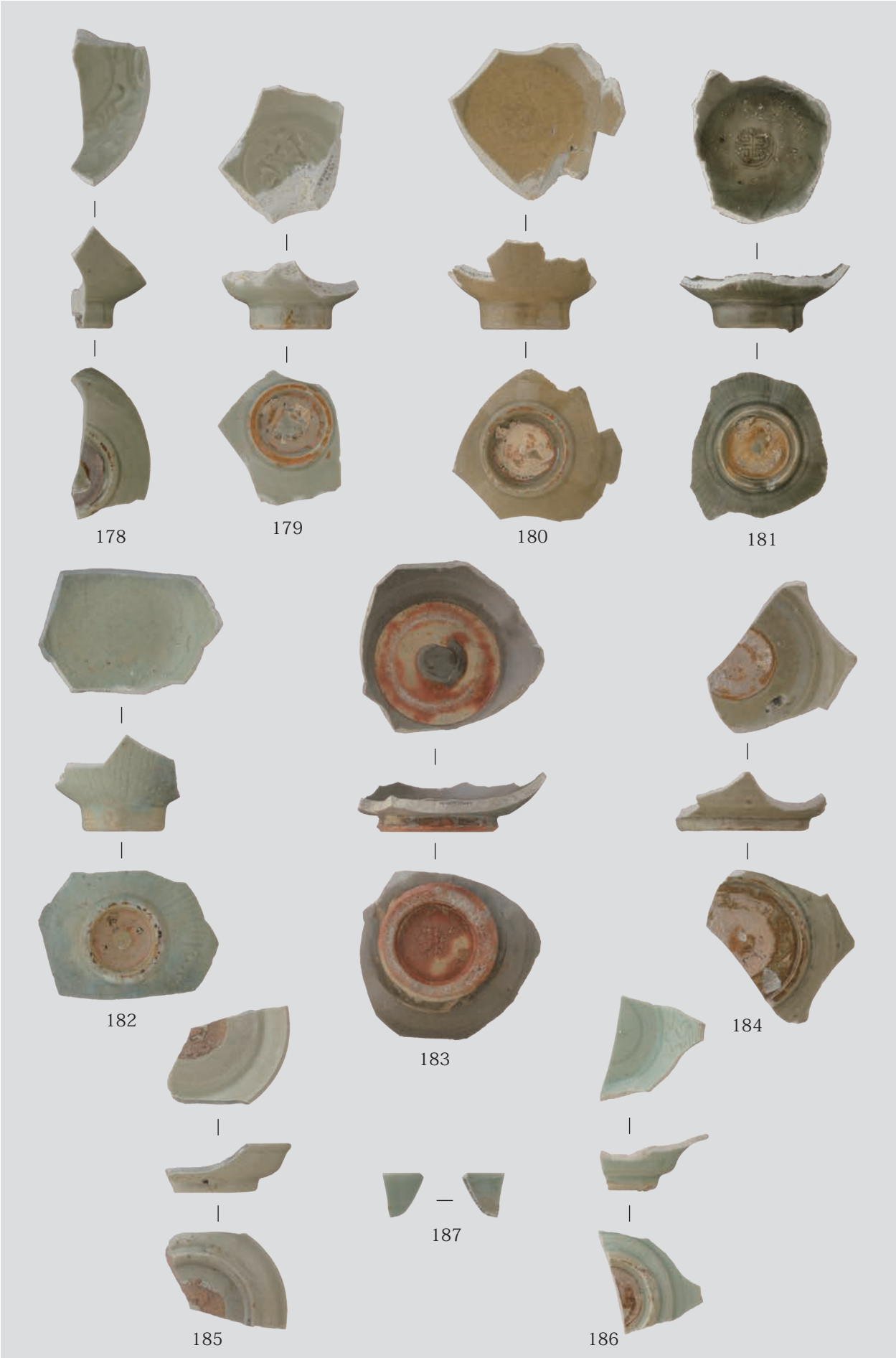
294

0　10cm

第 45 図　Ⅲ層 出土遺物 13



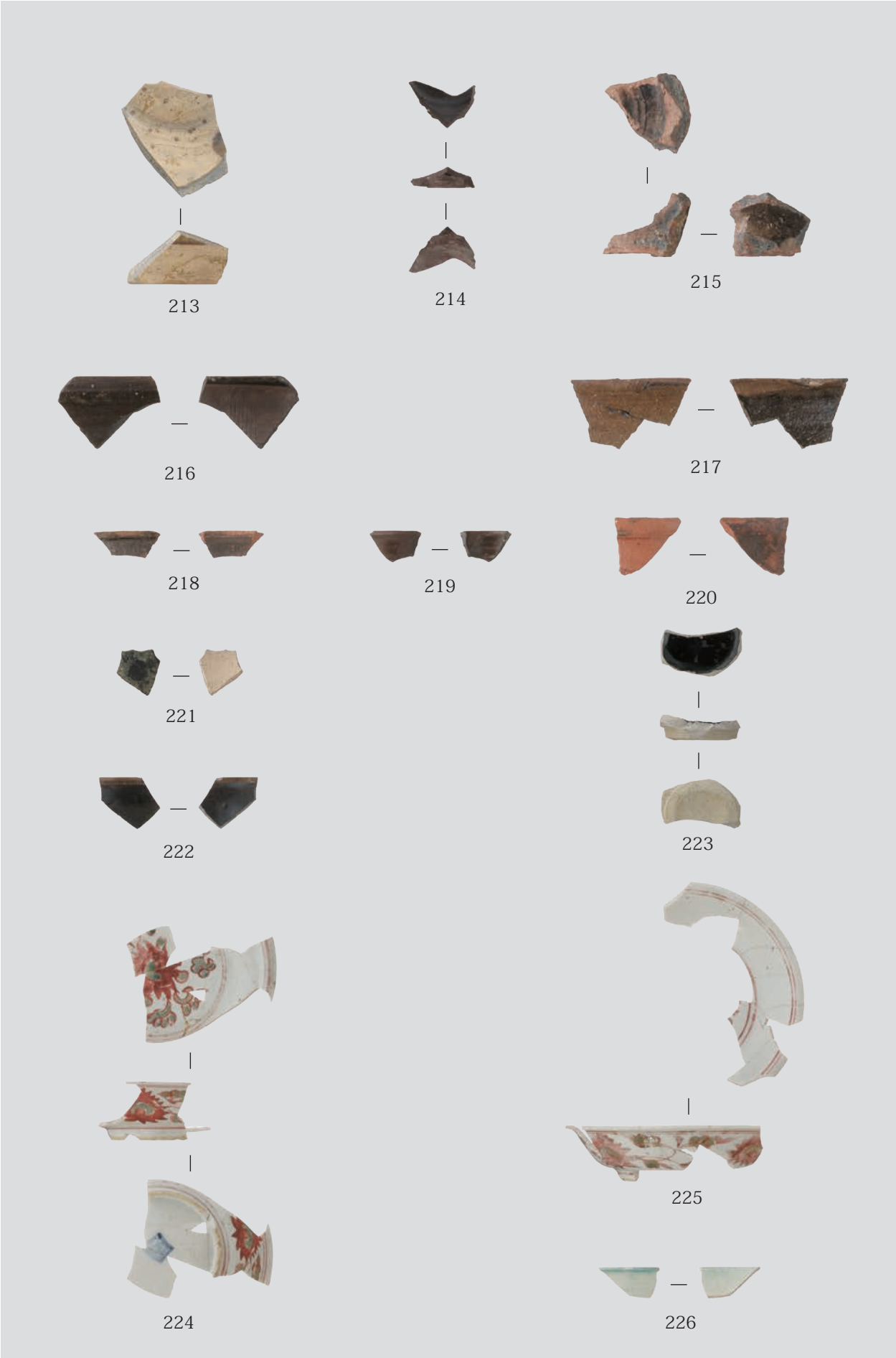
図版 35　Ⅲ層 出土遺物 1



図版 36　III 層 出土遺物 2

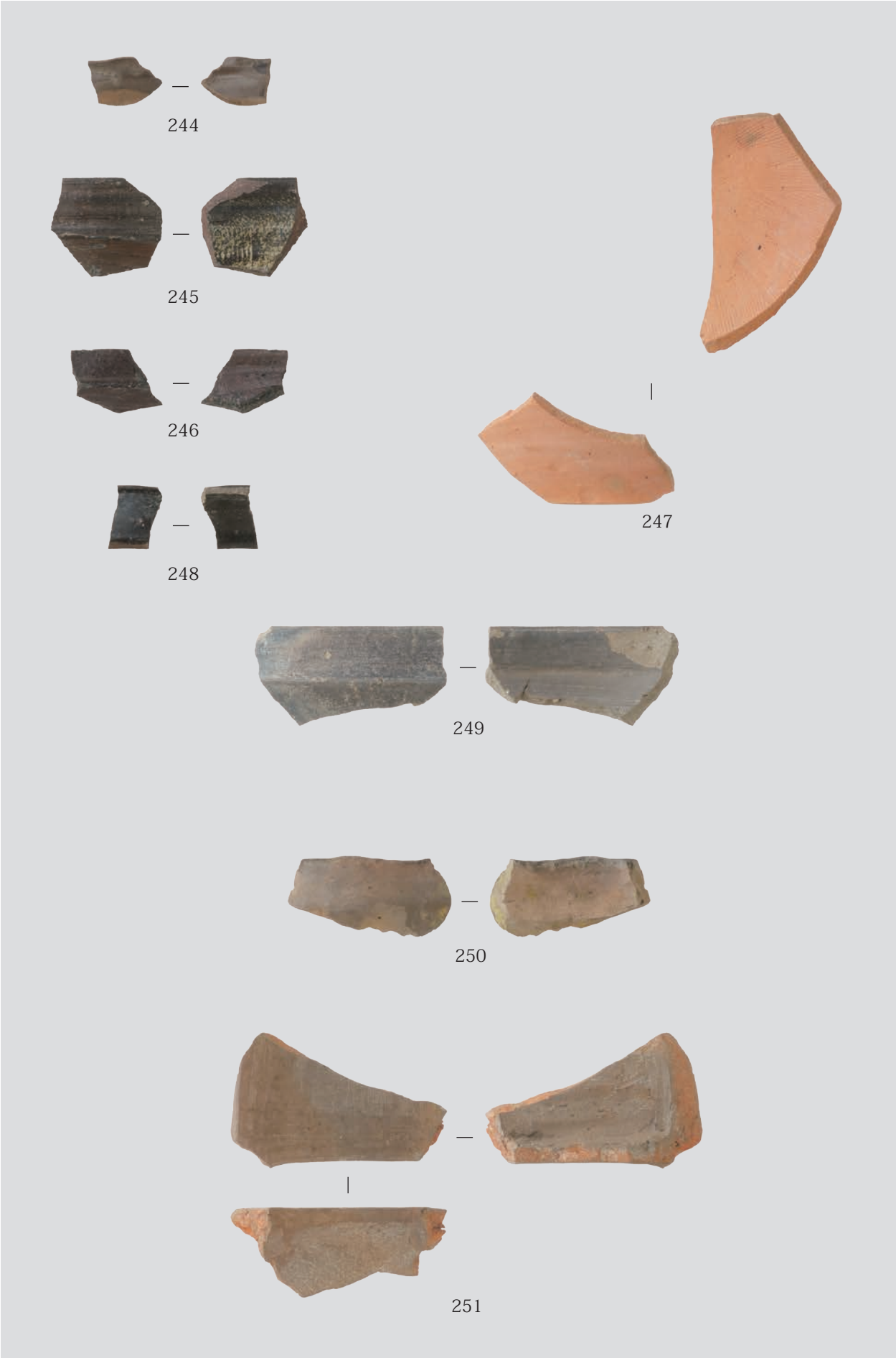
図版 37　Ⅲ層 出土遺物 3

図版 38　Ⅲ層 出土遺物 4



図版 39　Ⅲ層 出土遺物 5

図版 40　Ⅲ層 出土遺物 6



図版 41　Ⅲ層 出土遺物 7

図版 42　III 層 出土遺物 8

図版 43　Ⅲ層 出土遺物 9

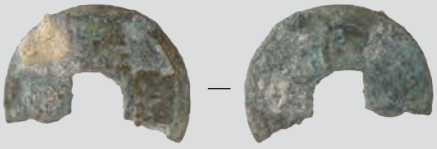
264

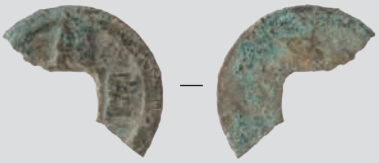
265

266

267

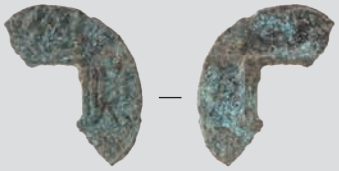
268

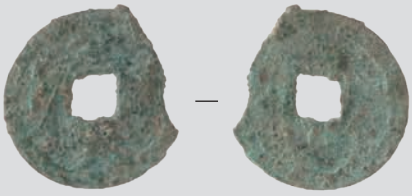

269

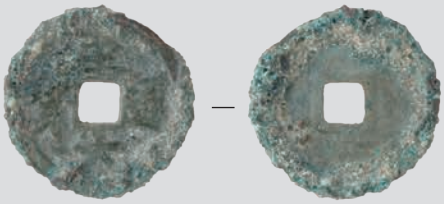

270

271

272


273

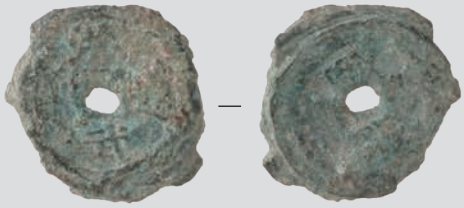

274


275

図版 44　Ⅲ層 出土遺物 10

276

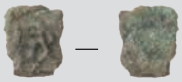
277

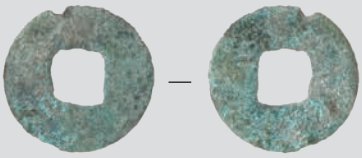

278

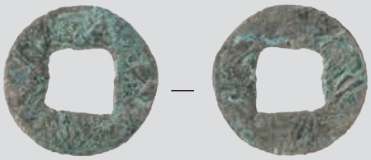
279

280

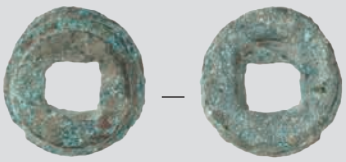
281


282


283


284

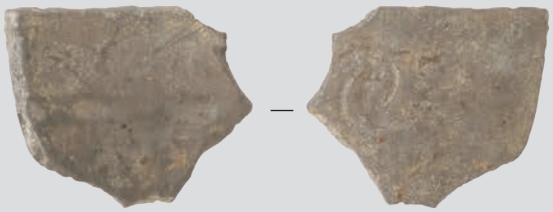
285


286

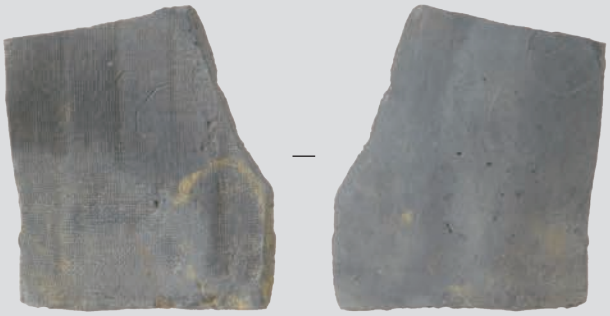
図版 45　Ⅲ層 出土遺物 11

図版 46　III 層 出土遺物 12

292

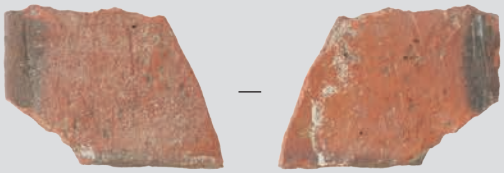


293



294

295



296

図版 47　Ⅲ層 出土遺物 13

第５項　第２検出面出土遺物（第 46 ～ 54 図　301 ～ 422、図版 48 ～ 58　301 ～ 422）

第２検出面（１地点ではⅣ層上面、２・３地点ではⅥ層上面）で検出された遺構から出土した遺物を遺構別にまとめる。総数 2,729 点の遺物が出土した（第 74 表）。遺物は青磁や白磁等、グスク時代の遺物が主体で、近世の遺物は１割に満たない。青磁は碗･皿Ⅴ類、白磁は皿Ｄ群が主体である。その他青磁碗･皿Ⅵ類や、青花碗Ｂ群、皿Ｂ$_1$群等の出土も確認される。一部の遺構からは近世の遺物が出土しているが、これは遺構の頁でもふれたようにⅢ層の途中から掘り込んでいる遺構や第１検出面の遺構による撹乱を受けている状況等、本来の検出面で捉えきれていない遺構も多いことに起因する。出土遺物は 15 世紀前半～ 16 世紀代のものがみられるが、主体は 15 世紀前半～後半という傾向を示すことから、第２検出面の年代は 15 世紀代を主体とし、一部は 16 世紀以降と考える。以下に、遺構別に報告することとし、代表的な遺物については図化または写真図版を掲載する。

SK36 出土遺物（第 46 図　301・302、図版 48　301・302）

301 はタイ産無釉陶器の壺でバンプーン産である。302 はベトナム産青花の碗である。

SK83 出土遺物（第 46 図　303 ～ 306、 図版 48　303 ～ 306）

青磁Ⅳ、Ⅴ、Ⅶ類、白磁皿Ｄ群、褐釉陶器、黒釉陶器碗、窯道具等が出土している。

303 は青磁盤の底Ⅰ－ａ群、304 は褐釉陶器の壺、305、306 は窯道具で円盤状を呈する。

SK91 出土遺物（第 47 図　307 ～ 309、 図版 49　307 ～ 309）

青磁、白磁Ｃ、Ｄ’、Ｅ群、清代の青花、褐釉陶器、タイ産鉄絵、明朝系瓦、塼Ⅵ式等が出土している。

307 は褐釉陶器の壺、308 はタイ産鉄絵で合子の蓋、309 は瓦質土器の植木鉢である。

SK92 出土遺物（第 47 図　310・311、 図版 49　310・311）

青磁Ⅴ類、白磁皿Ｄ群、青花碗Ｂ群、緑釉陶器、土器、明朝系瓦等が出土している。

310 は青花碗のＢ群、311 は緑釉陶器で瓜形水注である。

SK93 出土遺物（第 47 図　312・313、図版 49　312・313）

青磁Ⅳ～Ⅵ類、白磁皿Ｄ群、褐釉陶器、明代の青花、明朝系瓦、塼Ⅰ式の他、沖縄産無釉陶器が１点出土している。

312、313 は褐釉陶器で壺と鉢である。

SK95 出土遺物（図版 49　314）

青磁Ⅴ、Ⅵ類、白磁皿Ｄ群、褐釉陶器、タイ産褐釉陶器、半練土器、薩摩産の陶器、清代の青花、陶質土器、宮古式土器、明朝系瓦等が出土している。

314 は明朝系瓦Ｂタイプの丸瓦である。玉縁部は薄くて短い。

SK102 出土遺物（第 47 図　315、図版 49　315）

青磁、褐釉陶器、宮古式土器、明朝系瓦等が出土している。

315 は素材は骨と思われるもので、平坦面に「刀、元加」等の墨書が確認される。用途としては荷札のようなものが考えられる。

SK118 出土遺物（第 47 図　316・317、図版 49　316・317）

青磁はⅣ～Ⅵ類、白磁皿 D 群、明代の青花、褐釉陶器、タイ産褐釉陶器、半練土器、本土産陶器、宮古式土器、陶質土器、明朝系瓦、塼 I 式等が出土している。

316 は青花の小碗で、明代と考えられる。317 は素地が軟質の質感をもつので、産地は不明である。

SK131 出土遺物（第 48 図　318・319、図版 50　318・319）

青磁Ⅵ類、明代の青花、褐釉陶器、大和系瓦、明朝系瓦、塼 I 式等が出土している。

318 は青花皿 C 群、319 は大和系瓦の平瓦である。

SK133 出土遺物（第 48 図　320・321、図版 50　320・321）

青磁Ⅴ類、白磁 E 群、明代の青花、タイ産鉄絵、薩摩産の陶器、宮古式土器、明朝系瓦、塼 I 式等が出土している。

320 は青花碗 B 群、321 はタイ産鉄絵で合子の身である。シーサッチャナライ窯。

SK136 出土遺物（第 48 図　322、図版 50　322）

青磁、明代と清代の青花、タイ産褐釉陶器、宮古式土器、明朝系瓦等が出土している。

322 は青花の皿で、明代と考えられる。

SP13 出土遺物（第 48 図　323、図版 50　323）

褐釉陶器、煙管、明朝系瓦が出土している。323 は煙管の雁首で、沖縄産無釉陶器製である。

SP17 出土遺物（第 48 図　324、図版 50　324）

瓦質土器、宮古式土器、明朝系瓦が出土している。324 は瓦質土器の擂鉢である。

SP31 出土遺物（第 48 図　325、図版 50　325）

青磁、明代の青花、褐釉陶器が出土している。325 は青花碗の B 群である。

SP38 出土遺物（第 48 図　326、図版 50　326）

白磁碗（福建産）、黒釉陶器碗、明朝系瓦が出土している。326 は黒釉陶器の碗である。

SP43 出土遺物（第 48 図　327、図版 50　327）

青磁Ⅳ類、明代の青花、明朝系瓦が出土している。327 は青花碗の B 群である。

SP57 出土遺物（第 48 図　328・329、図版 50　328・329）

白磁、黒釉陶器碗、銭貨が出土している。328 は黒釉陶器の碗、329 は北宋銭の紹聖元寶である。

SP259 出土遺物（第 48 図　330、図版 50　330）

330 は黒釉陶器の碗である。

SP319 出土遺物（第 48 図　331、図版 50　331）

白磁碗、明代の青花が出土している。331 は青花の皿で、明代である。

SP420 出土遺物（第 48 図　332、図版 50　332）

青磁皿Ⅴ類、白磁皿Ｄ群、黒釉陶器碗が出土している。332 は黒釉陶器の碗である。

SS3 出土遺物（図版 57　334 ～ 340）

青磁はⅣ～Ⅵ類、白磁は C、D 群、明代と清代の青花、褐釉陶器（中国産、タイ産）、本土産陶器、灰釉碗、宮古式土器、銭貨、瓦（高麗系、明朝系）等が出土している。

334 はⅣ－ａ類、335 は器台、336 は白磁碗で福建産、337 は白磁皿Ｄ－Ⅰ２群、339 は産地不明の合子の身、338 は本土産陶器の碗で薩摩か、340 は高麗系瓦の平瓦である。

SS5 出土遺物（第 49 図　341 ～ 350、図版 51　341 ～ 350）

青磁Ⅳ～Ⅴ類、白磁皿Ｄ群、本土産陶器、明朝系瓦等が出土している。

341 ～ 347 は青磁で、341 は碗Ⅳ類、342 は碗Ⅳ’類、344、345 は皿Ⅴ類、343 は鉢、347 は盤Ⅰ－ｃ群、346 は盤Ⅳ－ｃ群、348、349 は本土産陶器の碗で、肥前系内野山である。350 は褐色系の塼である。

僅かに近世の遺物が混じる（348・349）。これは SS5 は同じく第２検出面の SS4 に切られており、SS4 と時期差が捉えられる。また、SS4 からは清代の青花が出土しているため、SS5 出土の 348、349 は SS4 に切られた時に混入したものの可能性が考えられる。

SU3 出土遺物（第 48 図　333、図版 50　333）

青磁Ⅳ類、Ⅵ類、タイ産青磁、銭貨、明朝系瓦等が出土している。

333 は北宋銭の元祐通寶と考えられる。

SX12 出土遺物（図版 58　351 ～ 360）

青磁Ⅳ～Ⅵ類、白磁Ｄ群、褐釉陶器（中国産、タイ産）、宮古式土器、金属製品、明朝系瓦等が出土している。

351 ～ 357 まで青磁で、352、353 は碗Ⅴ－１類、354、355 は碗Ⅴ－２類、356 は碗Ⅴ－2c 類、碗 351 は碗Ⅵ類、357 は皿Ⅴ－ａ類、358 は皿Ⅴ－ｂ類、359、360 は褐釉陶器で鉢と壺である。

SX13 出土遺物（第 50 ～ 53 図　361 ～ 408・410・411、図版 52 ～ 56　361 ～ 413）

総点数 725 点がまとまって出土した。青磁、白磁、褐釉陶器（中国産、タイ産）の他、僅かに明代の青花、白釉陶器、黒釉陶器、産地不明陶器の蓋、瓦質土器、石器、銭貨、金属製品、板状の瓦製品等が出土している。中でも青磁Ⅴ類、白磁皿Ｄ群を主体とする。青花は明代のものが僅か７点の出土である。年代的には 15 世紀前半～中頃を主体とする一群である。

361 ～ 377 は青磁で、361 は碗Ⅳ類、362 ～ 364 は碗Ⅴ－2a 類、365 は碗Ⅴ－ａ類、366 ～ 374 は碗Ⅴ－2c 類、375、376 は碗Ⅴ－２類、377 はⅥ－ｂ類である。378 ～ 404 は白磁で、378 は碗Ｃ－３類、379 ～ 399 は皿Ｄ－Ⅰ３群、400 ～ 404 は皿Ｄ－Ⅱ１群である。405 は青花碗で内底に「福」の字がみられ、15 世紀中葉、406 は小碗で明代である。407、408 は褐釉陶器の壺、409 はタイ産褐釉陶器の壺、410 は産地不明陶器の蓋、411 は骨製のヤス、412 は金雲母が胎土中に混じることより島外産の土器と考えられる。413 は砂岩製の砥石で磨面は４面残存し、平坦面には長軸方向に研磨痕が残る。

SX14 出土遺物（第 54 図　415・416、図版 56　414 ～ 416）

青磁Ⅳ～Ⅵ類、白磁Ｄ群、褐釉陶器、白釉陶器、本土産瓦質土器、宮古式土器、明朝系瓦Ｂタイプ、板状の瓦製品等が出土している。

415 は北宋銭で元祐通寶、416 は明銭で永楽通寶、414 は貝錘である。貝種はオオシラナミ。

SX15 出土遺物（第 54 図　417、図版 56　417）

青磁Ⅳ、Ⅴ類、磁灶窯系、白磁皿 D 群、銭貨が出土している。417 は北宋銭で元符通寶である。

SX16 出土遺物（第 54 図　418、図版 56　418）

青磁Ⅴ、Ⅵ類、タイ産褐釉陶器、銭貨、明朝系瓦が出土している。418 は明銭で洪武通寶である。

SX25 出土遺物（図版 56　419）

青磁Ⅳ’、Ⅵ類、明代の青花、褐釉陶器、沖縄産無釉陶器、パナリ焼、瓦（大和系、明朝系）等が出土している。419 は大和系瓦の丸瓦である。

SX26 出土遺物（第 54 図　420、図版 56　420）

青磁Ⅳ、Ⅴ類、白磁皿 D 群、明代の青花、褐釉陶器、宮古式土器、銭貨、明朝系瓦、板状の瓦製品等が出土している。420 は北宋銭の紹聖通寶と考えられる。

SX27 出土遺物（第 54 図　421・422、図版 56　421・422）

青磁Ⅳ～Ⅵ類、白磁皿 D 群、褐釉陶器、タイ産半練土器、備前の擂鉢、瓦質土器、宮古式土器、明朝系瓦、塼等が出土している。

421 はタイ産半練土器の蓋、422 は宮古式土器の底部で、外底に葉痕が明瞭にみられる。

第 43 表　遺構内出土遺物一覧（第２検出面）

遺物名／器種／窯・産地・年代・分類					第2検出面 1地点											2地点								3地点														総計
					SK36	SP1	SP13	SP17	SP31	SP38	SP43	SP57	SU3	SS3	SS5	SK83	SP259	SX12	SX13	SX13下層	SX14	SX15	SX16	SK91	SK92	SK93	SK95	SK102	SK118	SK131	SK133	SK136	SP319	SP420	SX25	SX26	SX27	
青磁		碗	IV類	a類										1	1																							2
				b類																						1												1
				－							1		1	28	1	3		1	6	5	8	2							2							1	1	60
			IV'類	－										1	1					2	2														1			7
			V類	1a類										1																								1
				1b類										1																							1	2
				1類										3				2		1						1												7
				2a類										2					2	2																		6
				2b類															1																				1
				2c類														1	5	8																		14
				2類														2	3	1																		6
				3類															1																				1
				－										19		4		19	67	144	17	2	5		1				2		1					2	1	284
			IV・V類	－										22		4		15	12		2	1	1			2	2										1	62
			VI類	a類																																		0
				b類									1	3				1	3	1	2		1			2	2		3	3					2		2	26
				c類																																		0
				－									1					1			10						2		1						1		16
			V・VI類	－												3																						3
			VII類	b類																																		0
				－												1																						1
			磁灶窯系	－																		1																1
			幅広高台碗	－																				1														1
			－	－	1								1	29	6			8	40	4	10		6	2	1	7	14		11	1	5				3		2	151
		小碗	－	－																											1							1
		皿	IV類	口折															2																				2
				－																																		0
			IV'類	－										1												1			1									3
			V類	1類																	1																		1
				外反																	1						1							1				3
				直口																	2																		2
				稜花										3				2	7		1																		13
				－											2			3	6										3										14
			IV・V類	－																	1																		1
			VI類	b類										1																								1
				－																																	2	2
			－	外反																	1					1						1				1		4
				口折																	2								2										4
				腰折															1																				1
				直口																									3										3
				稜花																																		0
				－									2	4				2	6	3		2	2				1	3	5							2		32
		盤	I群	a群										7												1								1			9
				c群											1								1																2
				－														1	1																			2
			II群	a群												1																						1
				c群																									1										1
				－														1													1							2
			III群	－															1		1																		2
			IV群	c群											1																							1
			底I群	a群												1																						1
				c群																																		0
				－										2					1		1								1										5
			底II群	－										1	1																							2
			－	－										6	1	1			2				2						1						2	2		17
		鉢	－	－											1								1																2
		擂鉢	－	－															1										1										2
		酒会壺	V類	－																																		0
		瓶	－	－							1																												1
		香炉	－	－										1																							1	2
		高足杯	－	－																																		0
		袋物	－	－																							2		1										3
		器台	－	－										1																								1
		器種不明	－	－										1																								1
白磁		景徳鎮	碗	E群															1																				1
				－										3							1			1										1						6
			皿	C群																				1														1
				E群																				1							1								2
				－															1																				1
			杯	－																																		0
		福建	碗	C-3群										2						1																			3
				C群										1																								1
				D-Ⅰ2群																																		0
				D群										1				1																				2
				D'群																				1														1
				E群																																		0
				－						1				1															1		1							4
			皿	D-Ⅰ2群										7				2	7	10	2					1											1	30
				D-Ⅰ3群															9	15																		24
				D-Ⅰ群																							1										1
				D-Ⅱ1群															7	5						1			2						1		16
				D-Ⅱ2群															1	17										1								19
				D群										9	2	2		1	27	158	10	1			1	1			1					1			3	217
				－																									1										1
			小碗	D群										1																								1
			杯	D群																				1														1
			小杯	D群																																		0
			瓶	－																									1										1
		福建・広東	碗	－																																		0
			皿	D-Ⅰ2群										1																								1
		徳化	小碗	－																																		0
			餌入れか	－																																		0
		－	碗	－																				2														2
			小碗	－																																		0
			壷	－								1																										1
青花	明代	景徳鎮	碗	B群																1																1		2
				D群																																		0
				－										2				1		3						2			2								1		11
			小碗	－															1		1																		2
			皿	－																																		0
				B1群																																		0
				C群																																		0
				－																										1		1						2
			杯	－															1																				1
			小杯	－																															1			1
			高足杯	－																																		0
			小鉢	－																																		0
			瓶	－															1																				1
			袋物	－																																		0
		漳州	碗	－																																		0
			皿	－																																		0
			瓶	－																											1							1
		－	碗	－																									1										1
	清代	景徳鎮	碗	－																																		0
			小碗	－																																		0
			皿	－																																		0
			器種不明	－																				1														1
		徳化	碗	－																																		0
			小碗	－																																		0
			皿	－																																		0
			器種不明	－																																		0
		福建	碗	－																																		0
			皿	－																																		0
		福建・広東	碗	－																				1														1
			小碗	－																																		0
			皿	－																							1					1						2
			大鉢	－																																		0
	－	景徳鎮	碗	B群						1		1																											
				C群																																		0
				D群																																		0
				－																					1						1							2
			小碗	－																									1										1
			皿	－																										1			1					2
中国産褐釉陶器	－		壷	－			1							11		3		8	39	20	8			1		5	1		4	1	7	1			2	5	2	119
			鉢	－														1								1		1										3
			植木鉢	－																																		0
			袋物	－																																		0
			器種不明	－					1										1						1	1	1											5
中国産白釉陶器	－		壷	－															1																				1
			器種不明	－																	1																		1
中国産色絵	明代	－	皿	－																																		0
	－	－	器種不明	－																	1																		1
中国産瑠璃釉	－	徳化	碗	－																																		0
		－		－																																		0
	－	景徳鎮	香炉																																			0
中国産褐釉磁器	清代	景徳鎮	小碗	－																																		0
中国産施釉陶器	－	－	壷	－														1																				1
中国産黒釉陶器	－	－	碗	－						1		1		2		1	1		1		1													1				9
三彩	－	－	緑釉陶器	－																					1													1
中国産朱泥	清代	宜興窯	急須	－																																		0
中国産紫泥	清代		－	－																																		0
タイ産青磁	－		袋物	－									1																										1
タイ産鉄絵	シーサッチャナライ		合子(蓋)	－																				1														1
			合子(身)	－																											1							1
タイ産褐釉陶器	シーサッチャナライ		壷	－															4	4			1			1	1		2			1				1		15
			瓶	－																																		0
	メナムノイ		壷	－														1	2	1																		4
タイ産無	バンプーン		壷	－	1																																	1
タイ産半練土器	－		壷	－																									1								1	2
	－		壷	－																							1			1							2
	－		器種不明	－																									1						1			2
ベトナム産青花	－		碗	－	1																																	1
本土産磁器	肥前		碗	－																																		0
	近現代		－	－																						1												1
本土産陶器	肥前		－	－																																		0
	肥前・内野山		碗	－											2																							2
	薩摩		碗	－										1																								1
			－	－																							1				1							2
	薩摩・堂平系		－	－																																		0
	関西		－	－																																		0
	備前		－	－																																	1	1
	唐津		碗	－																																		0
	－		合子(身)	－										1																								1
			－	－															1										1										2
沖縄産施釉陶器	－		－	－										1																								1
沖縄産無釉陶器	初期無釉陶器		壷	－																																		0
	無釉陶器		－	－																						2									1			3
産地不明陶器	－		蓋	－															1																				1
陶質土器	－		－	－																							1		1										2
瓦質土器	沖縄		－	－															3					2														1	6
	本土		－	－																	1																		1
	－		－	－				1																1														2
硬質土器	－		焙烙	－																																		0
土器	宮古式		壷	－				1						1				49		4	22			5			1	4	6		16	1					5	115
			－	－										1				15	8										1				1	1		27
	パナリ		－	－																					1										1			2
	－		壷	－															1																				1
土製品	土錘		－	－																																		0
石器・石製品	－		砥石	－															1																				1
	－		－	－																									1								2	3
石材	－		－	－									1	7	1	1		2	4	1	6			1		1	2		5	5		1			1	1	2	42
円盤状製品	－		－	－															2																				2
煙管	沖縄		雁首	－			1																														1
銭貨	北宋		－	－								1	1								1	2														1		6
	明		－	－																	2		2														4
	銭種不明		－	－									2	1					5	1	1			1														11
金属製品	－		－	－														2	5	2																		9
瓦	高麗系		平瓦	－										1																								1
	大和系		丸瓦	－																															1			1
			平瓦	－																										1							1
			－	－														1																				1
	明朝系		軒丸瓦	－																									1										1
			軒平瓦	－																						1	1			1							3
			丸瓦	－										1										1		2	1		1	1	4	2			6			19
			平瓦	－				1		1				6	1								1	2	3	4		1	4	10	4	5			15		3	61
			丸平不明	－			1			1	1		4	5	1			6		3				3	2	2		1	5	4	2	9			13	1	2	66
	明朝系 Bタイプ		軒平瓦	－																																		0
			平瓦	－																						1	1				1						3
			丸平不明	－																	1																		1
板状の瓦製品	－		－	－														1	2	3	2					1										1		10
塼	灰色		Ⅰ式	－	1																										2							3
			Ⅵ式	－																				1														1
			－	－																																		0
	褐色		Ⅰ式	－																						1			1	1	1				2		2	8
			Ⅵ式	－																																		0
			－	－											1																							2	3
	赤色		Ⅰ式	－																									2										2
			Ⅴ式	－																																	1	1
塼か	赤色		－	－																																		0
骨製品	ヤス		－	－																1																				1
	荷札か		－	－																								1										1
貝製品	貝錘		－	－																	1																		1
窯道具	－		ハマ	－												2																						2
その他	－		－	－															1										7										8
総　計						4	0	3	3	2	4	4	3	15	205	24	27	1	151	306	421	124	11	23	31	12	45	38	11	92	32	51	23	2	3	54	23	39	1,787

第 44 表　第２検出面出土遺物観察一覧１

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 46 図 図版 48	301	タイ産無釉陶器	壺	胴	－	－	－	－	素地は灰白色で器壁は厚い。両面ともケズリ調整の痕が残る。バンブーン。	１地点 SK36 埋土
	302	ベトナム産青花	碗	口	－	－	－	－	素地は灰白色。釉は透明で両面に施釉。外面に草花文で発色が悪い。14 ｃ後～ 15 ｃ初でベトナム。	１地点 SK36 埋土
	303	青磁	盤	底	底Ｉ－ａ	－	（10.7）	－	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色、外底途中まで施釉。内面胴部に櫛描きによる蓮弁文。	２地点 SK83 埋土
	304	中国産褐釉陶器	壺	底	－	－	（15.2）	－	素地は橙色。釉は黒褐色で外面は施釉し、底部は露胎。内面はロクロナデの単位が明瞭に残る。	２地点 SK83 埋土 Ⅲ層
	305	窯道具	ハマ	－	－	－	－	－	素地は赤褐色。製品との接触面は平坦になる。	２地点 SK83 埋土
	306	窯道具	ハマ	－	－	－	－	－	素地は赤褐色。製品との接触面は平坦になる。	２地点 SK83 埋土
第 47 図 図版 49	307	中国産褐釉陶器	壺	口	－	16.1	－	－	素地は灰黄色で白色の砂粒を含む。釉は黒褐色で両面に施釉し、口唇部と頸部内面を釉剥ぎ。肩部にはタタキの単位が残り、目跡が付着。	３地点 SK91 埋土
	308	鉄絵	合子（蓋）	－	－	－	－	－	素地は灰色で黒色粒を含む。釉はやや不透明な灰白色で外面のみ施釉。外面の区画内に花唐草文。シーサッチャナライ窯。	３地点 SK91 埋土
	309	瓦質土器	植木鉢	口	－	－	－	－	素地は灰黄色でガラス質の粒子を含む。口縁部に二条の波状突帯、胴部上半に一条の波状突帯を巡らす。	３地点 SK91 埋土
	310	青花	碗	底	B	－	（5.2）	－	素地は灰白色。釉は青白色で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。内底は梅枝文。景徳鎮窯。	３地点 SK92 埋土
	311	緑釉陶器	水注	口～底	－	（4.2）	（8.0）	13.4	素地は鈍い黄橙色で白色や灰色の粒子を含む。外面は白化粧し、釉は緑釉を外面に施釉。外底は露胎。型成形。胴部は把手の残る瓜形で、口縁部に葉文、胴部下部は蓮弁。内面には成型時の痕跡が明瞭で、粘土の接合箇所やユビナデの単位、指が届かない箇所に指頭圧痕が残る。	３地点 SK92 埋土
	312	中国産褐釉陶器	鉢	口	－	－	－	－	素地は鈍い黄色。釉は暗褐色で両面に施釉し、口縁部を釉剥ぎ。	３地点 SK93 埋土
	313	中国産褐釉陶器	壺	口	－	（15.6）	－	－	素地は赤灰色で白色や赤色の粒を含む。釉は黒褐色を両面に施し、口縁部は釉剥ぎ。	３地点 SK93 埋土
	315	骨製品	荷札か	－	－	－	－	－	平面形は滴形。表面に「刀、元加」の墨書？、裏面にソケット状に加工されている。表面は平滑で、厚さ 3mm 程までケズリや研磨が施される。	３地点 SK102 埋土
	316	青花	小碗	口	－	（7.0）	－	－	素地は灰白色。釉は青白色で両面に施釉。外面に雷文と松竹梅文？。景徳鎮窯。	３地点 SK118 埋土
	317	青花	碗	底	－	－	（5.5）	－	素地は灰白色で焼成不良。釉は青白色で発色が悪く両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。16 ｃ代でベトナム？。	３地点 SK118 埋土
第 48 図 図版 50	318	青花	皿	底	C	－	2.8	－	素地は灰白色。釉は灰白色で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。外面に蕉葉文、内底に花文。景徳鎮窯。	３地点 SK131 埋土
	319	瓦（大和系）	平瓦	広端部	－	－	－	－	広端部。素地は褐灰色で白色の粒子を含み、器面は灰白色。凸面は 1cm 幅の工具を用いたコビキ痕、凹面はナデ調整が施され、桶紐綴りの単位が僅かに残る。大和系瓦。端部はヘラ取り。最大厚 21.51mm	３地点 SK131 埋土
	320	青花	碗	底	B	－	（12.6）	－	素地は灰白色でやや焼成不良。釉は青白色で両面に施釉し、外面は高台途中まで。両面に文様あり。景徳鎮窯。	３地点 SK133 埋土
	321	鉄絵	合子（身）	口～底	－	（6.3）	（3.0）	3.1	素地は灰色で黒色粒を含む。釉は透明で外面の胴部途中まで薄く施釉、内面は露胎。外面は区画内に網目文。シーサッチャナライ窯。	３地点 SK133 埋土
	322	青花	皿	口～底	－	（12.0）	（5.4）	3.3	素地は灰白色。釉は青白色で両面に施釉し、外底は露胎。内底に文様あり。畳付に砂付着。明代で景徳鎮窯。	３地点 SK136 埋土
	323	煙管	－	雁首	－	－	－	－	雁首。素地は鈍い赤褐色。火皿の内面は被熱して黒色。火皿の上面観は面取されて多角形、羅宇の断面形は八角形を呈する。沖縄産無釉陶器。	１地点 SP13 埋土

第 44 表　第２検出面出土遺物観察一覧２

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 48 図 図版 50	324	瓦質土器	擂鉢	口	－	－	－	－	素地は灰白色で一部浅橙色。櫛目は間隔を空けて施す。口縁部はロクロナデを丁寧に施す。	1 地点 SP17 埋土
	325	青花	碗	底	B	－	(4.4)	－	素地は灰白色で焼成不良。釉は灰白色で発色が悪く両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。内底は花文。景徳鎮窯。	1 地点 SP31 埋土
	326	黒釉陶器	碗	口	－	(11.9)	－	－	素地は灰白色で白色粒を含む。白化粧し、釉は両面とも黒色に明褐色を重ね掛け。	1 地点 SP38 埋土
	327	青花	碗	底	B	－	(6.0)	－	素地は灰白色。釉は灰白色で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。内底に「福」の字文。高台に砂付着。景徳鎮窯。	1 地点 SP43 埋土
	328	黒釉陶器	碗	口	－	－	－	－	素地は浅黄橙色。釉はややマットな明褐色に黒色を二度掛けし、両面に施釉。	1 地点 SP57 埋土
	329	銭貨	紹聖元寶	－	－	－	－	－	銭文：□聖元□。篆書。初鋳年：1094 年。摩滅のため銭文や輪は平滑になる。最大銭厚：1.6mm、残存重量：2.3g	1 地点 SP57
	330	黒釉陶器	碗	底	－	－	(4.0)	－	素地は灰白色。釉は黒釉を内面から外面の胴部まで施釉し、底部は露胎。	2 地点 SP259 埋土
	331	青花	皿	口	－	(13.4)	－	－	素地は白色で焼成良好。釉は青白色で両面に施釉。外面は唐草文、内面は花唐草文。15 c 末～ 16 c 中で景徳鎮窯。	3 地点 SP319 埋土
	332	黒釉陶器	碗	口	－	－	－	－	素地は灰白色。釉は両面とも黒褐色に褐色を重ね掛け。	3 地点 SP420 埋土
	333	銭貨	元祐通寶か	－	－	－	－	－	銭文：元祐○○。行書。背面の輪は摩滅のため平滑になる。変形や錆のため銭文の判別が困難な箇所有り。孔径：7.23mm、最大銭厚：1.44mm、残存重量：2.3g	1 地点 SU3
第 49 図 図版 51	341	青磁	碗	底	Ⅳ	－	(6.0)	－	素地は黄橙色で、外底は浅黄橙色を呈する。釉は気泡の入る明緑灰色を畳付まで施釉し、外底は露胎。内底はロクロ痕が顕著。	1 地点 SS5
	342	青磁	碗	底	Ⅳ’	－	(6.2)	－	素地は灰色で白色粒を含み、内底と外底は浅黄橙色を呈する。釉は透明な灰オリーブ色を両面に施釉し、外面は畳付まで施す。内底と畳付を釉剥ぎ。外底は露胎。内底に草花文の印花。	1 地点 SS5
	343	青磁	鉢	底	－	－	(8.0)	－	素地は灰白色。釉は貫入が入る濃緑色の釉を厚く施し、外底を蛇の目釉剥ぎ。外底に重ね焼きの痕有り。内底に印花文。	1 地点 SS5
	344	青磁	皿	口～底	Ⅴ	(12.8)	7.0	3.9	素地は明褐灰色。釉は灰オリーブ色を厚く両面に施釉し、外底は蛇の目釉剥ぎ。外底に胎土目有り。	1 地点 SS5
	345	青磁	皿	口～底	Ⅴ	(13.0)	(7.2)	3.9	素地は灰白色。釉は斑状に白色の明緑灰色を厚く両面に施釉し、外底を蛇の目釉剥ぎ。	1 地点 SS5
	346	青磁	盤	口	Ⅳ－ c	－	－	－	素地は灰白色。釉は貫入が入る濃緑色を厚く施釉。内面胴部に幅の広い蓮弁文。	1 地点 SS5
	347	青磁	盤	口	Ⅰ－ c	－	－	－	素地は灰白色。釉は濃緑色を厚く施釉。内面胴部に幅の広い蓮弁文。	1 地点 SS5 埋土
	348	本土産陶器	碗	口	－	(10.2)	－	－	素地は灰白色。釉は掛け分けで銅緑釉を外面、透明な黄褐色を内面に施釉。内野山。	1 地点 SS5
	349	本土産陶器	碗	底	－	－	(4.4)	－	素地は淡い灰白色。釉は掛け分けで銅緑釉を外面、透明な灰白色を内面に施釉。内面の釉は一部白色に発色。内野山。	1 地点 SS5
	350	塼	－	－	－	－	－	－	平面形不明。素地は橙色で赤色や白色の砂粒を含み、白色土が縞状に入る。上面は斜め方向に薄いケズリ。下面は端部に対して垂直方向に約 11mm 幅の擦痕。最大厚 31.15mm	1 地点 SS5
第 50 図 図版 52	361	青磁	碗	口	Ⅳ	(15.0)	－	－	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で両面に施釉。粗い貫入と気泡が入る。外面に数条の圏線。	2 地点 SX13 埋土 Ⅲ層
	362	青磁	碗	口～底	Ⅴ－２ a	(14.4)	5.0	7.6	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は露胎。内底に印花文。外底に胎土目付着。	2 地点 SX13No.0 Ⅲ層
	363	青磁	碗	口～底	Ⅴ－２ a	(14.0)	4.9	7.45	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は露胎。内底に印花文。外底に胎土目、畳付に砂付着。	2 地点 SX13No.2 SX13 埋土 SX13 下層 SX14 埋土

第 44 表　第２検出面出土遺物観察一覧３

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝）			観察事項	出土地
						口径	底径	器高		
第 50 図 図版 52	364	青磁	碗	口～底	Ｖ－２ａ	14.4	4.9	7.75	素地は灰色。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は露胎。粗い貫入あり。内底は印花文。外底に胎土目付着。	２地点 SX13No.5 SX13 下層
	365	青磁	碗	口	Ｖ－ａ	(14.4)	－	－	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で両面に施釉。部分的に変色し貫入が入る。	２地点 SX13No.15 SX14 埋土
	366	青磁	碗	口～底	Ｖ－２ｃ	(15.5)	5.25	7.75	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は露胎。外面は雷文と蓮弁文、内底は印文。外底に胎土目付着。	２地点 SX13No.4 SX13 埋土 SX13 下層
	367	青磁	碗	口～底	Ｖ－２ｃ	(14.6)	4.8	7.9	素地は灰色。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は露胎。粗い貫入あり。外面は雷文と蓮弁文、内底は印花文。	２地点 SX13No.12
	368	青磁	碗	口～底	Ｖ－２ｃ	(14.5)	5.2	7.9	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は露胎。外面は雷文と蓮弁文、内底に印花文。外底に胎土目付着。	２地点 SX13 下層
第 51 図 図版 53	369	青磁	碗	口～底	Ｖ－２ｃ	(14.4)	5.2	7.7	素地は灰色。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は露胎。粗い貫入あり。外面は雷文と数条の圏線、内底は印花文。外底に胎土目付着。	２地点 SX13No.3 SX13 下層
	370	青磁	碗	口～底	Ｖ－２ｃ	(14.4)	4.9	7.8	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は露胎。外面は雷文、内底は印文。外底に胎土目付着。	２地点 SX13 埋土 SX13 下層
	371	青磁	碗	口～底	Ｖ－２ｃ	(14.6)	4.9	7.85	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は露胎。外面は雷文。外底に胎土目、畳付に砂付着。	２地点 SX13No.13 SX13 下層
	372	青磁	碗	口～底	Ｖ－２ｃ	(13.7)	5.3	7.6	素地は灰色。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は露胎。外面に雷文、内底に印花文。外底に胎土目付着。	２地点 SX13No.14 SX13 埋土 SX13 下層 Ⅲ層
	373	青磁	碗	口～底	Ｖ－２ｃ	(13.6)	5.4	7.8	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し外底は露胎、畳付は釉剥ぎ。外面は雷文。	２地点 SX13No.7 SX13 埋土
	374	青磁	碗	口～底	Ｖ－２ｃ	(14.2)	5.5	7.55	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は釉剥ぎ。外面は雷文、内底は印花文。外底に胎土目付着。	２地点 SX13No.8 SX13 埋土 SX13 下層 SX14
	375	青磁	碗	胴～底	Ｖ－２	－	5.2	－	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は露胎。内底に印花文。	２地点 SX13No.11
	376	青磁	碗	底	Ｖ－２	－	5.2	－	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は露胎。内底に印花文。外底に胎土目付着。	２地点 SX13No.1
	377	青磁	碗	口	Ⅵ－ｂ	(15.4)	－	－	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で両面に施釉。外面に蓮弁文。	２地点 SX13 下層
第 52 図 図版 54	378	白磁	碗	口	Ｃ－３	(17.0)	－	－	素地は灰白色。釉は不透明な灰白色で両面に施釉し、胴部途中まで施釉。内底に印文？と圏線。	２地点 SX13 埋土 SX13 下層
	379	白磁	Ⅲ	口～底	Ｄ－Ⅰ３	(9.2)	4.6	2.1	素地は白色。釉は透明な青白色で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。	２地点 SX13 埋土
	380	白磁	Ⅲ	口～底	Ｄ－Ⅰ３	(7.8)	(4.2)	1.9	素地は灰白色。釉はやや不透明な灰白色で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。畳付に胎土目？付着。	２地点 SX13 埋土
	381	白磁	Ⅲ	口～底	Ｄ－Ⅰ３	(9.0)	(3.9)	2.25	素地は白色。釉は薄く透明で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。	２地点 SX13No.17
	382	白磁	Ⅲ	口～底	Ｄ－Ⅰ３	(9.45)	4.45	2.3	素地は白色。釉は透明な青白色で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。内底に重ね焼きの目痕あり。	２地点 SX13 埋土
	383	白磁	Ⅲ	口～底	Ｄ－Ⅰ３	(9.3)	4.4	2.3	素地は白色。釉は透明な青白色で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。	２地点 SX13No.18 SX13 下層
	384	白磁	Ⅲ	口～底	Ｄ－Ⅰ３	9.3	4.3	2.25	素地は灰白色で焼成やや悪い。釉は透明な青白色で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。	２地点 SX13 下層

第 44 表　第２検出面出土遺物観察一覧４

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 52 図 図版 54	385	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(9.4)	(3.8)	2.5	素地は灰白色。釉は透明な青白色で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。	２地点 SX13 埋土 Ⅲ層
	386	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(9.4)	(4.3)	2.7	素地は灰白色でやや軟質。釉は透明で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。	２地点 SX13 下層
	387	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(9.5)	4.4	2.9	素地は灰白色でやや軟質。釉は不透明な灰白色で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。	２地点 SX13 下層
	388	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(9.6)	(4.4)	2.45	素地は白色。釉は薄く透明で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内面は露胎。内底に重ね焼きの抉り高台の目痕あり。	２地点 SX13 下層
	389	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(9.6)	(4.5)	2.35	素地は灰白色。釉は透明釉を両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。	２地点 SX13 下層
	390	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(9.6)	4.65	4.0	素地は灰白色でやや軟質。釉は薄く不透明な白色で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。	２地点 SX13 埋土 SX13 下層
	391	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(9.6)	(4.2)	2.2	素地は白色でやや軟質。釉は薄く透明で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。	２地点 SX13No.19
	392	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(9.6)	(4.3)	2.6	素地は白色でやや軟質。釉は薄く不透明な白色で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。	２地点 SX13 埋土
	393	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(9.7)	4.5	2.3	素地は灰白色でやや軟質。釉は薄く透明で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。	２地点 SX13No.20
	394	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(9.8)	4.2	2.45	素地は灰白色でやや軟質。釉は薄く不透明な白色で両面に施釉し、外底、内底は露胎。	２地点 SX13 埋土 SX13 下層
	395	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(9.8)	2.75	4.4	素地は灰白色でやや軟質。釉は薄く不透明な白色で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。	２地点 SX13 下層
	396	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(10.2)	4.5	2.6	素地は白色でやや軟質。釉は薄く透明で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。	２地点 SX13No.17
	397	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(10.0)	(4.45)	2.65	素地は灰白色でやや軟質。釉は不透明な白色で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は蛇の目釉剥ぎ。目痕あり？。	２地点 SX13 下層
	398	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(9.2)	4.45	2.4	素地は白色。釉は透明な青白色で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。内底に重ね焼きの目痕あり。	２地点 SX13 埋土 SX13 下層
	399	白磁	皿	口～底	D－Ⅰ３	(9.4)	4.5	4.1	素地は白色。釉は透明で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は露胎。内底に重ね焼きの抉り高台の目痕あり。	２地点 SX13 下層
第 53 図 図版 55	400	白磁	皿	口～底	D－Ⅱ１	9.3	4.15	2.4	素地は灰白色。釉は透明で総釉。内底に重ね焼きの目痕あり。	２地点 SX13 下層
	401	白磁	皿	口～底	D－Ⅱ１	(9.2)	(3.7)	1.8	素地は灰白色。釉はやや不透明な灰白色で総釉。畳付と内底に重ね焼きの目痕あり。	２地点 SX13 下層
	402	白磁	皿	口～底	D－Ⅱ１	(9.2)	4.0	2.2	素地は灰白色。釉は透明で総釉。畳付と内底に重ね焼きの目痕あり。	２地点 SX13 下層
	403	白磁	皿	口～底	D－Ⅱ１	(8.4)	(4.1)	2.0	素地は灰白色。釉は透明な青白色で総釉。内底に重ね焼きの目痕があり。	２地点 SX13 下層
	404	白磁	皿	口～底	D－Ⅱ１	(8.9)	(3.9)	2.15	素地は灰白色。釉は透明で総釉。畳付と内底に重ね焼きの目痕あり。	２地点 SX13 下層
	405	青花	碗	口～底	－	(14.7)	5.4	7.2	素地は白色で焼成良好。釉は透明で両面に施釉し、口唇部と畳付は釉剥ぎ。外面は無文で、内底は圏線内に「福」の字文。15 c 中葉で景徳鎮窯。	２地点 SX13No.21 SX13 埋土 SX13 下層 Ⅲ層
	406	青花	小碗	口～底	－	(7.2)	3.2	4.3	素地は白色。釉は青白色で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。外面と内底に松竹梅文。明代で景徳鎮窯。	２地点 SX13 埋土
	407	中国産 褐釉 陶器	壺	口	－	(23.6)	－	－	素地は赤褐色で白色粒を含む。釉は浅黄色で両面に施釉。口唇部の外側貼付。	２地点 SX13No.22 SX13No.23

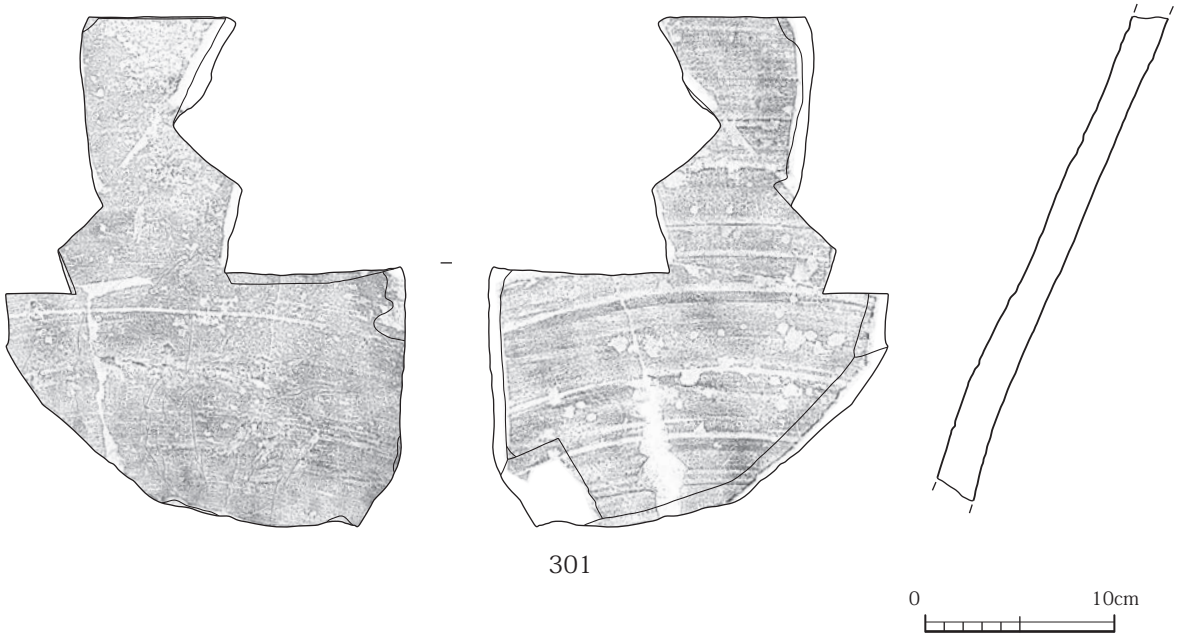
第 44 表　第 2 検出面出土遺物観察一覧 5

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 53 図 図版 55	408	中国産 褐釉 陶器	壺	底	―	―	（9.6）	―	素地は灰色で大粒の石英を含む。褐色釉を施釉。	2 地点 SX13 埋土 Ⅲ層
図版 55	409	タイ産 褐釉 陶器	壺	胴	―	―	―	―	素地は赤褐色で白色や赤色の粒を含む。釉は外面に黒褐色の褐釉を施す。破片の縁に研磨痕有り。シーサッチャナライ窯。	2 地点 SX13
第 53 図 図版 55	410	産地 不明	蓋	―	―	―	（10.2）	―	胎土は橙色で赤色粒を含み瓦質。側面と内面に褐色釉を施釉。	2 地点 SX13 埋土
	411	骨製品	ヤス	―	―	―	―	―	材質はウシの肋骨。断面は四角で先端に向け平たく尖り、光沢がある。簪からの転用品か。	2 地点 SX13 下層
図版 55	412	土器	壺	底	―	―	―	―	胎土は褐灰色で雲母や砂粒を含む。腰部はケズリ、内底はケズリとナデが施される。外底に原体不明の圧痕あり。	2 地点 SX13
図版 56	413	石器	砥石	―	―	―	―	―	砂岩製。平坦面が磨面となる。長軸方向に研磨痕が残る。	2 地点 SX13
	414	貝製品	貝錘	―	―	―	―	―	オオシラナミ製。L。風化した貝殻の蝶番近くを内面から複数回打ち欠いて穿孔。	2 地点 SX14
第 54 図 図版 56	415	銭貨	元祐 通寶	―	―	―	―	―	銭文：元○通寶。篆書。摩滅のため輪や銭文は平滑になり、一部変形や欠損が生じている。外径：24.74mm、内径：20.51mm、孔径：7.05mm、最大銭厚：1.03mm、残存重量：2.4g	2 地点 SX14
	416	銭貨	永樂 通寶	―	―	―	―	―	銭文：永樂○○。真書。全体的に錆に覆われているため銭文は不鮮明。外径：24.66mm、内径：20.22mm、孔径：5.26mm、最大銭厚：1.57mm、重量 3.2g	2 地点 SX14
	417	銭貨	元符 通寶	―	―	―	―	―	銭文：元符○寶。篆書。初鋳年：1098 年。錆のため銭文は一部不鮮明。外径：25.25mm、内径：19.23mm、孔径：5.94mm、最大銭厚：1.35mm、重量：3.3 g	2 地点 SX15
	418	銭貨	洪武 通寶	―	―	―	―	―	銭文：洪武通寶。真書。錆に覆われているが、比較的銭文は良好に残る。外径：23.73mm、内径：20.22mm、孔径：5.46mm、最大銭厚：1.66mm、重量：3.4g	2 地点 SX16
図版 56	419	瓦（大和系）	丸瓦	―	―	―	―	―	筒部。素地は灰白色で 1mm 以下の灰褐色粒を含み、芯は灰色。凸面はナデが丁寧に施され、ヘラ印「X」。凹面は桶紐綴りの粘土が重なる箇所で、布目やコビキ痕が残る。大和系瓦。最大厚 23.55mm	3 地点 SX25
第 54 図 図版 56	420	銭貨	紹聖 通寶	―	―	―	―	―	銭文：紹□○寶。摩滅や錆のため銭文は不鮮明。外径：24.21mm、内径：18.11mm、孔径：6.16mm、最大銭厚：1.57mm、残存重量：3.1g	3 地点 SX26
	421	タイ産 半練 土器	蓋	撮～端	―	端部 (12.6)	―	―	素地は橙色で赤色粒や白色粒を含む。内外面とも一部被熱のため黒灰色を呈する。撮みは饅頭形で、内外面ともロクロナデが施される。内外面に黒色の付着物（漆？）有り。タイ。	3 地点 SX27 埋土
	422	宮古式 土器	壺	底部	―	―	―	―	胎土は橙色で 6mm 以下の赤色粒や白色粒を含む砂泥質、器面はややアバタ状になる。外底に葉痕有り。内底及び底部外面はユビオサエやナデが施される。	3 地点 SX27 埋土

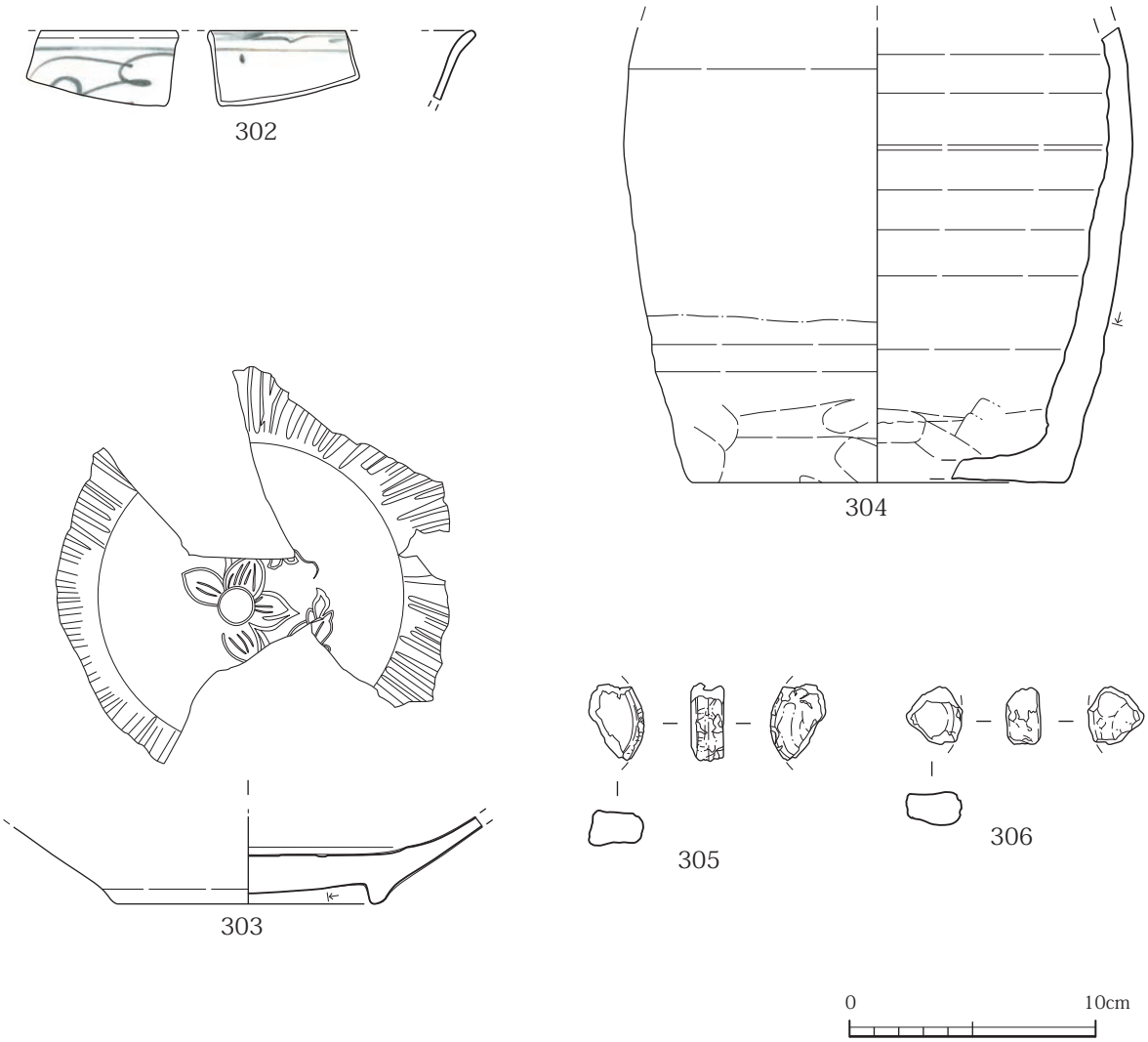
※法量　（　）内は復元による推定値

※銭貨　□：欠損、○：不鮮明

SK36

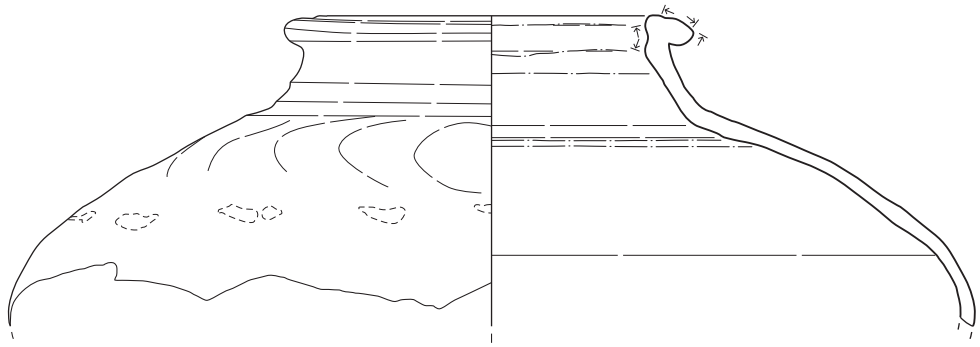


SK83



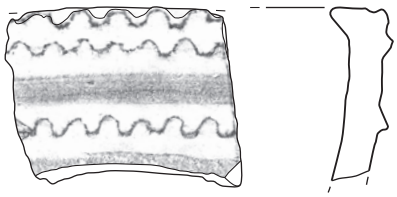
第 46 図　第 2 検出面 出土遺物 1

SK91



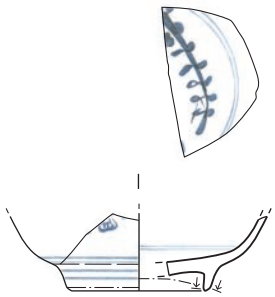
307

308

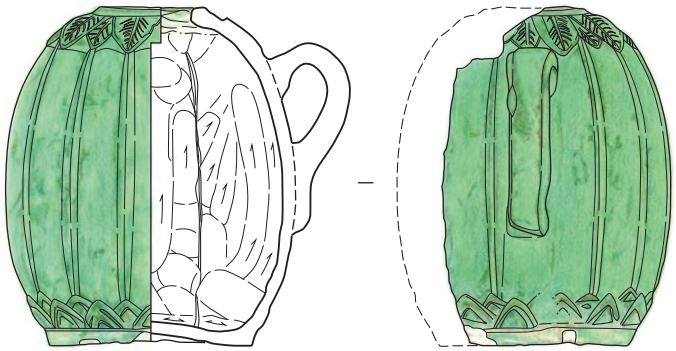


309

SK92



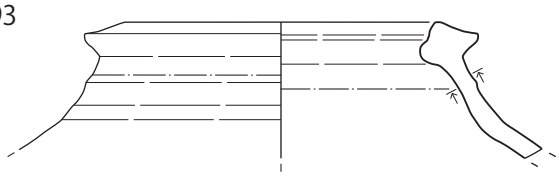
310



311

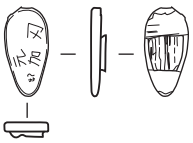
312

SK93



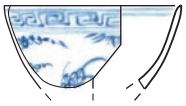
313

SK102

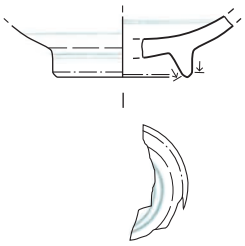


315

SK118



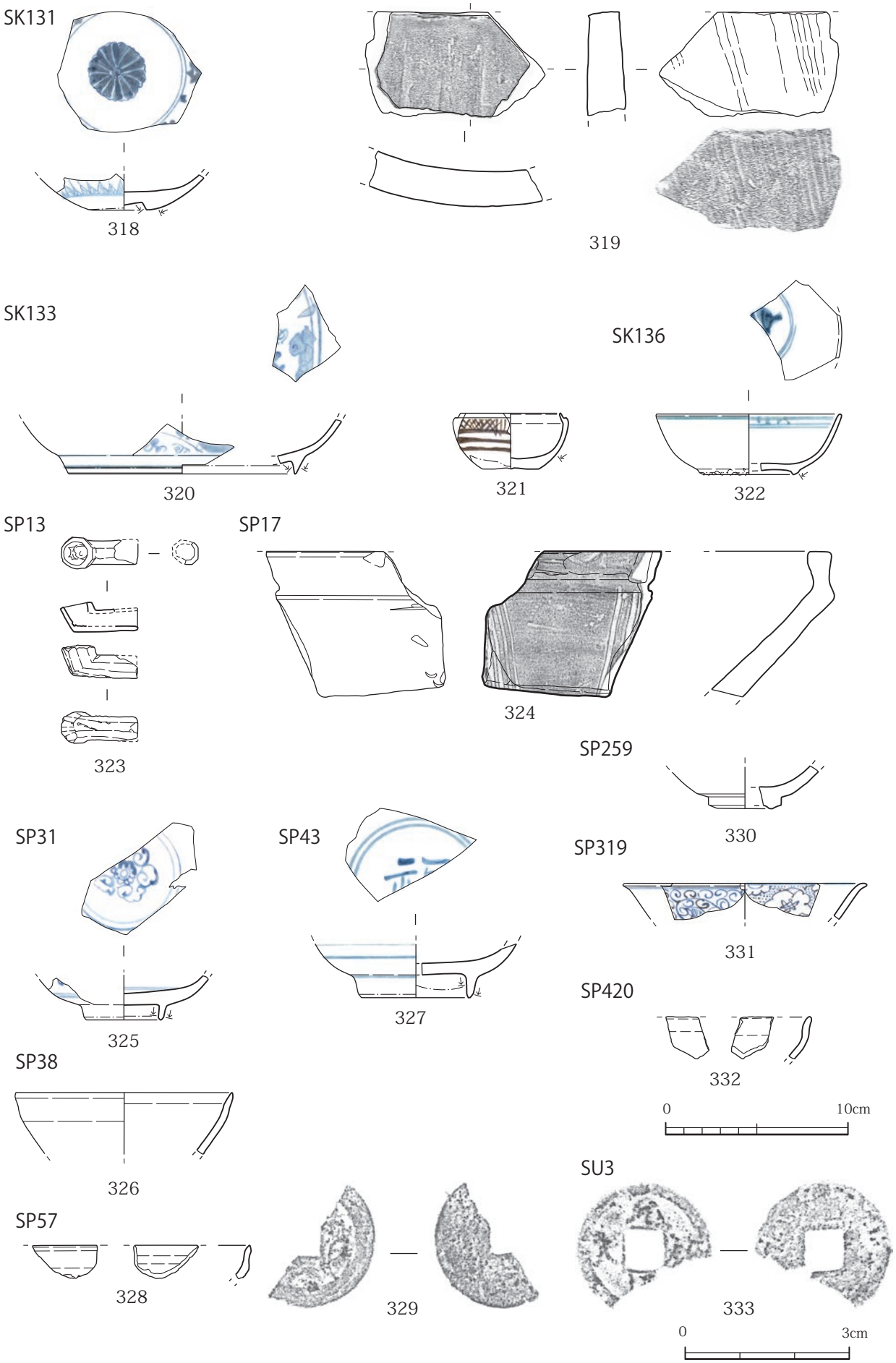
316



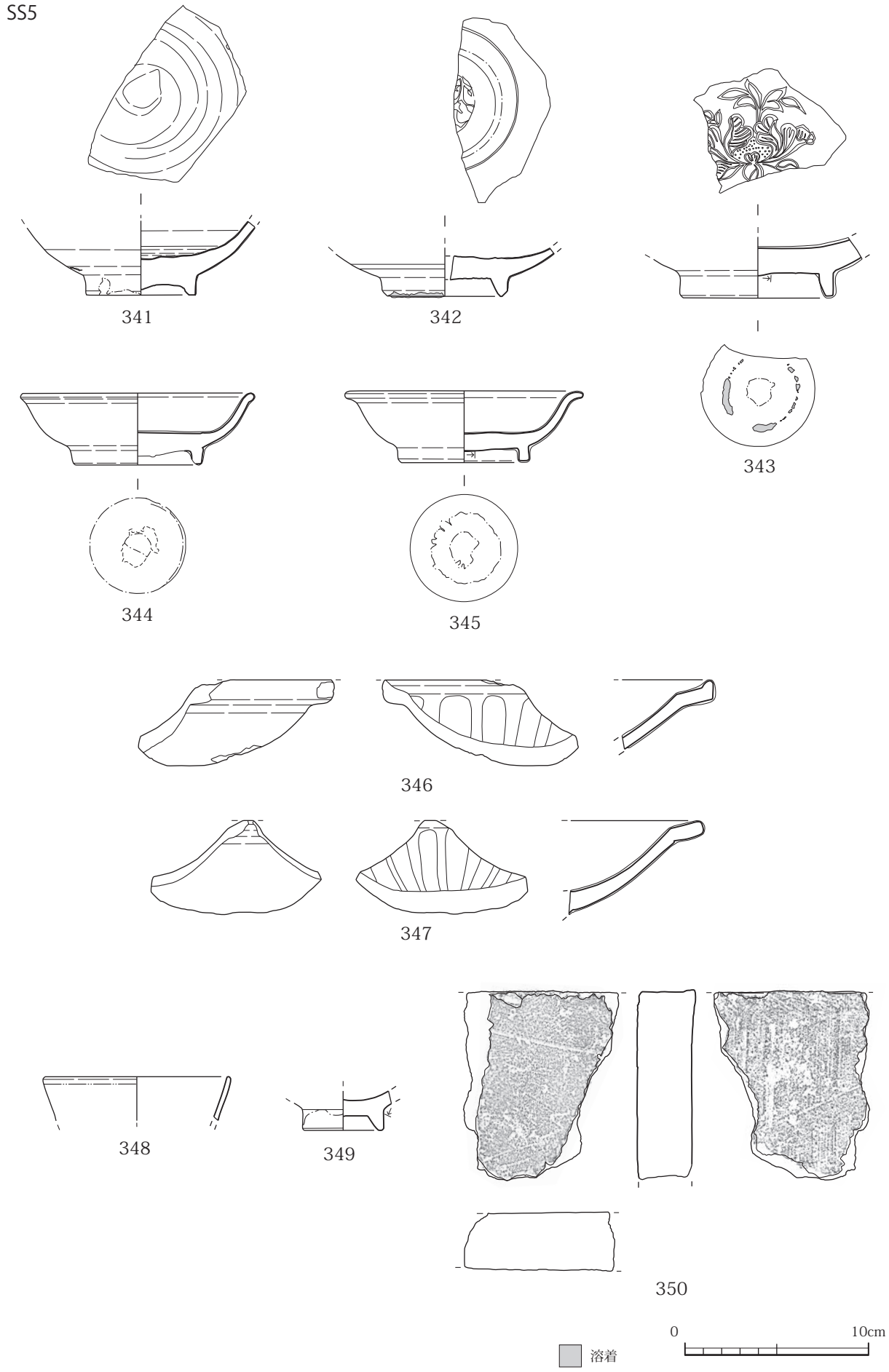
317

0　10cm

第 47 図　第 2 検出面 出土遺物 2

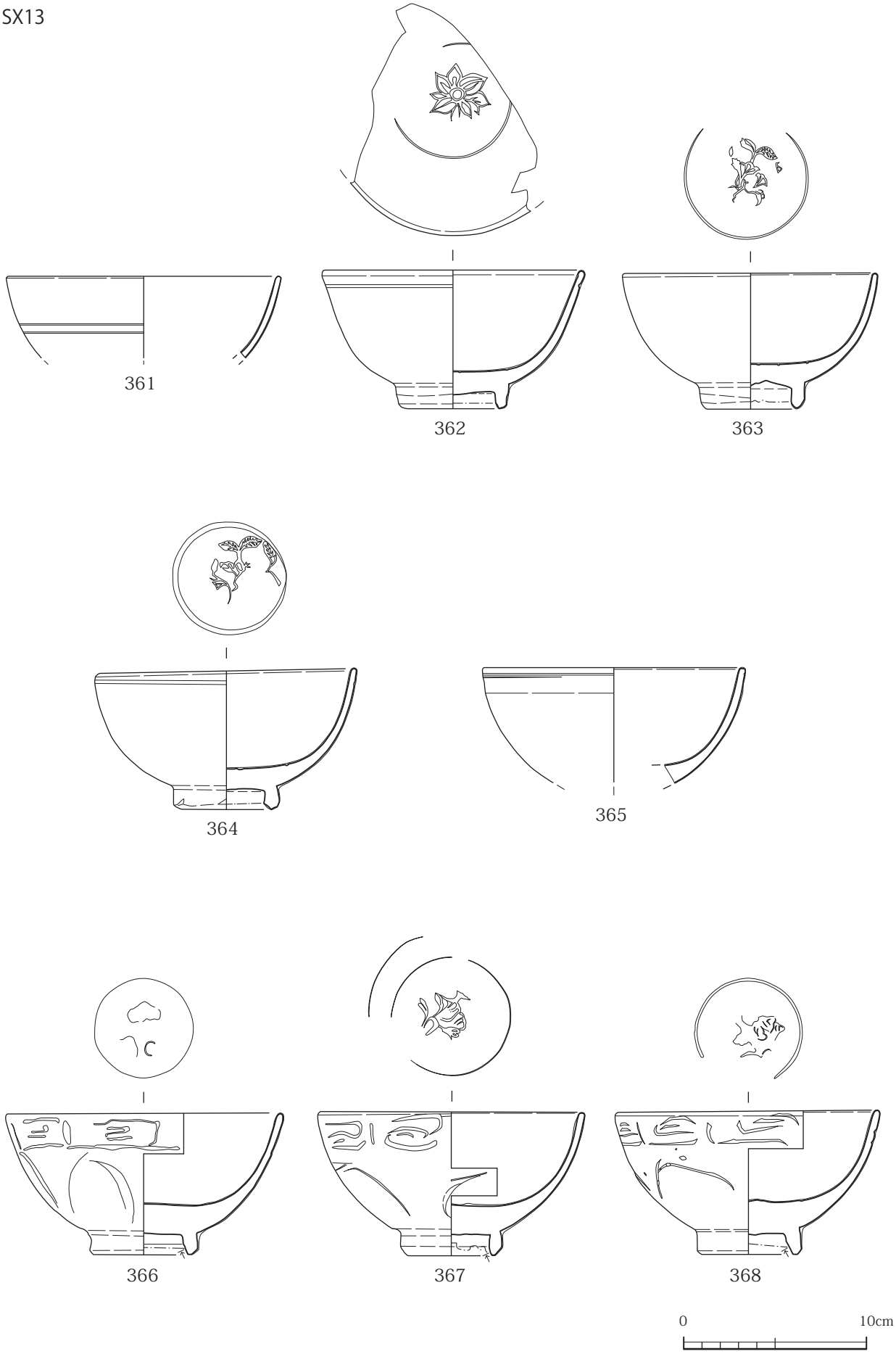


第 48 図　第 2 検出面 出土遺物 3



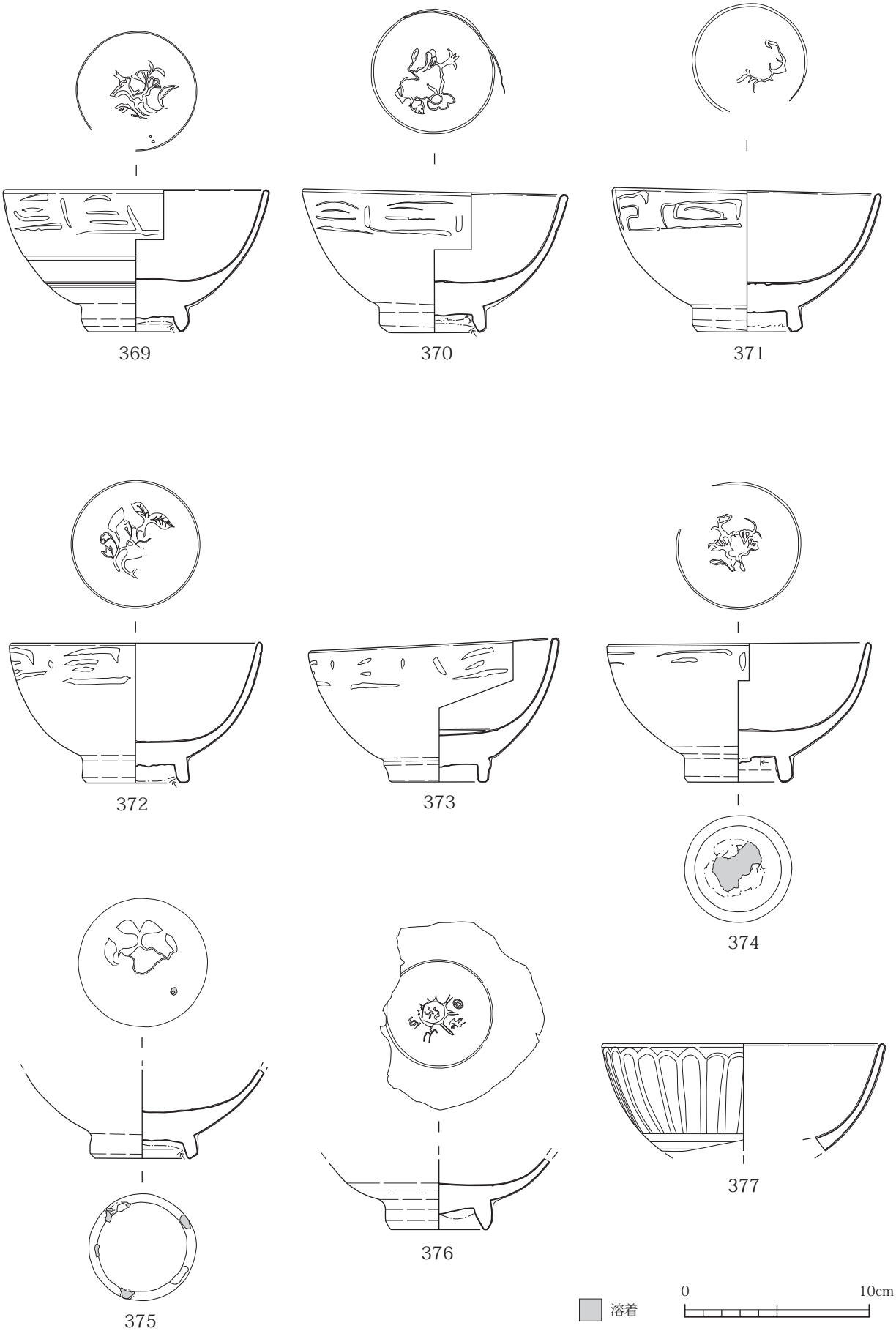
第 49 図　第 2 検出面 出土遺物 4

SX13



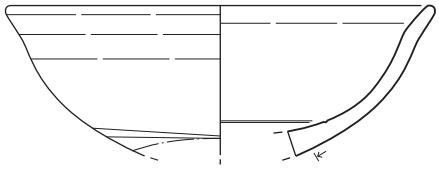
第 50 図　第 2 検出面 出土遺物 5

SX13



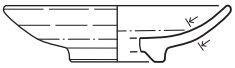
第 51 図　第 2 検出面 出土遺物 6

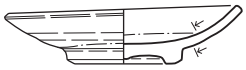
SX13

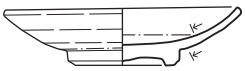

378

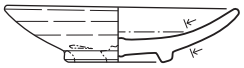
379

380


381

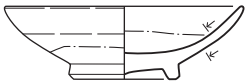

382

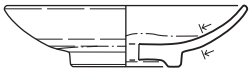

383

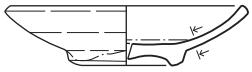

384

385

386

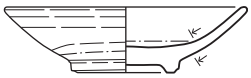

387


388

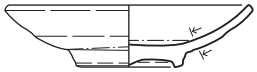

389

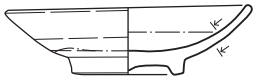
390

391

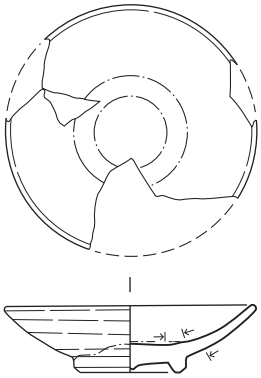

392

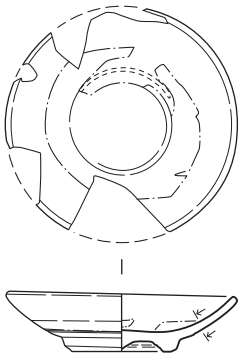
393

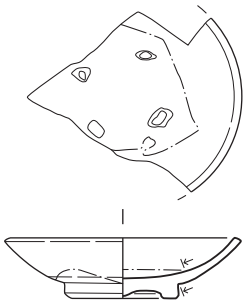

394

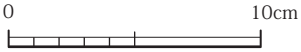

395

396


397

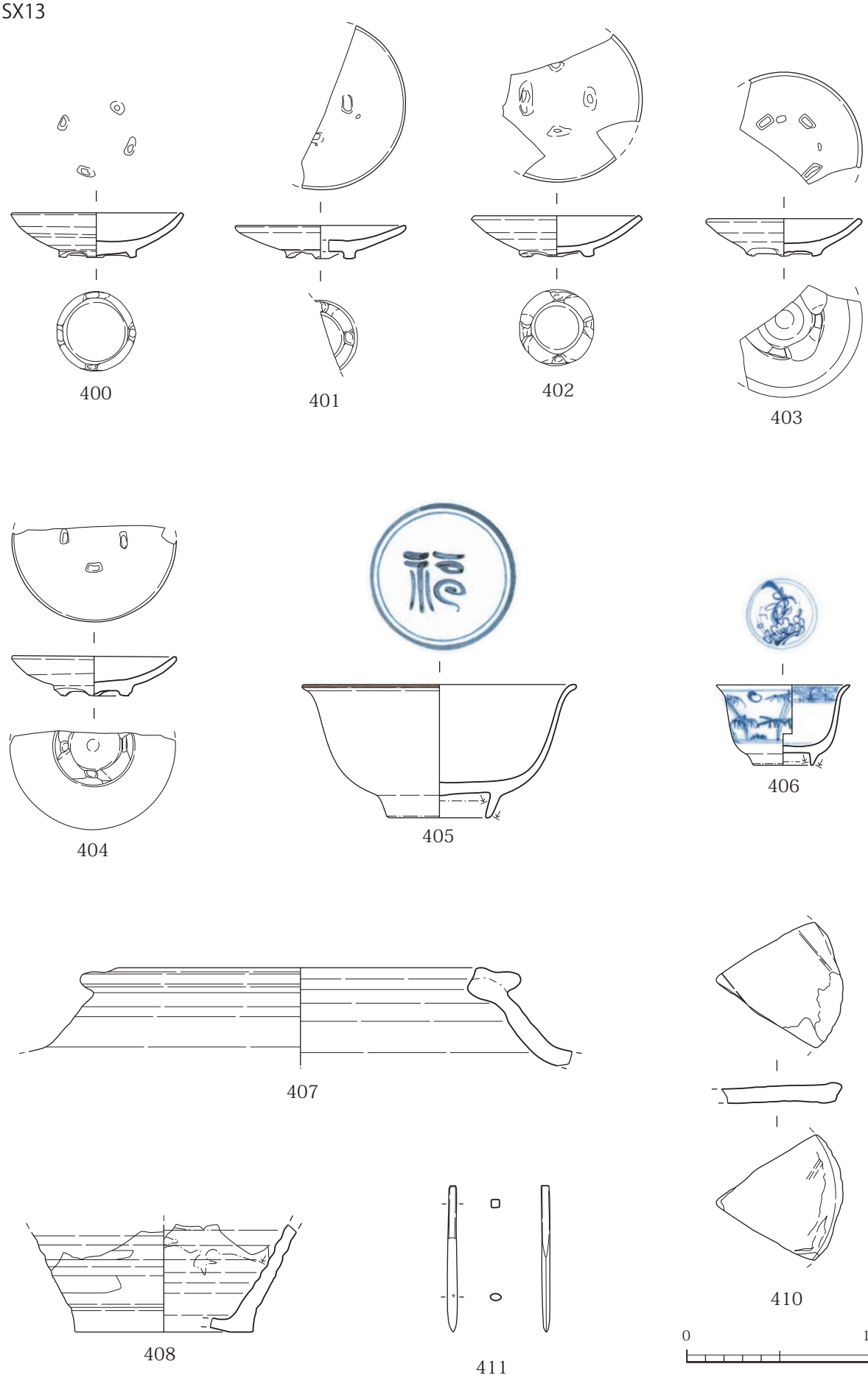

398


399



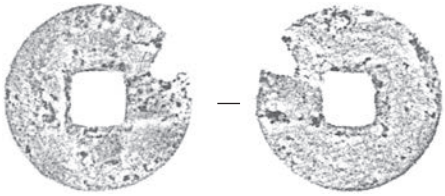
第 52 図　第 2 検出面 出土遺物 7

SX13

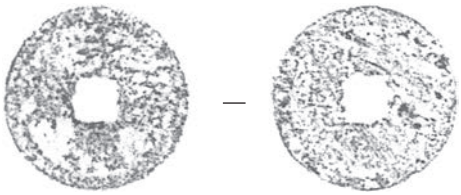


第 53 図　第 2 検出面 出土遺物 8

SX14



415



416

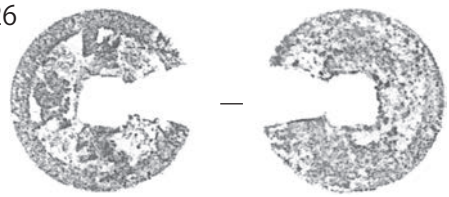
SX15

417

SX16

418

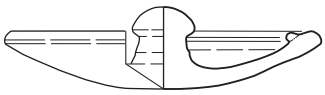
SX26



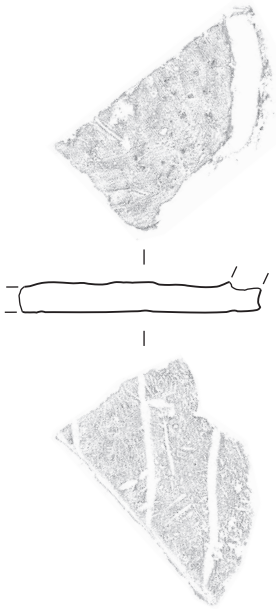
420

0　3cm

SX27



421



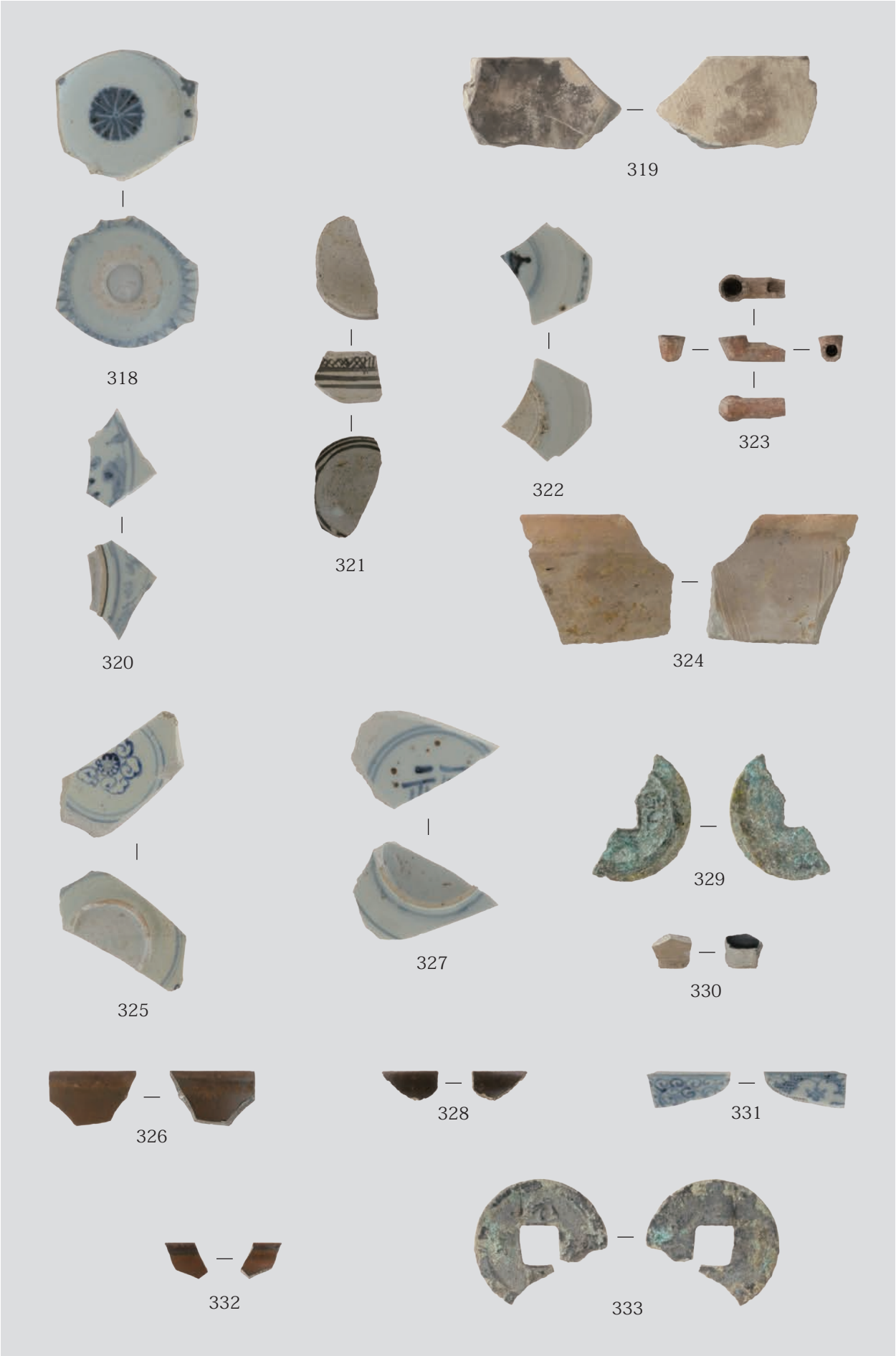
422

0　10cm

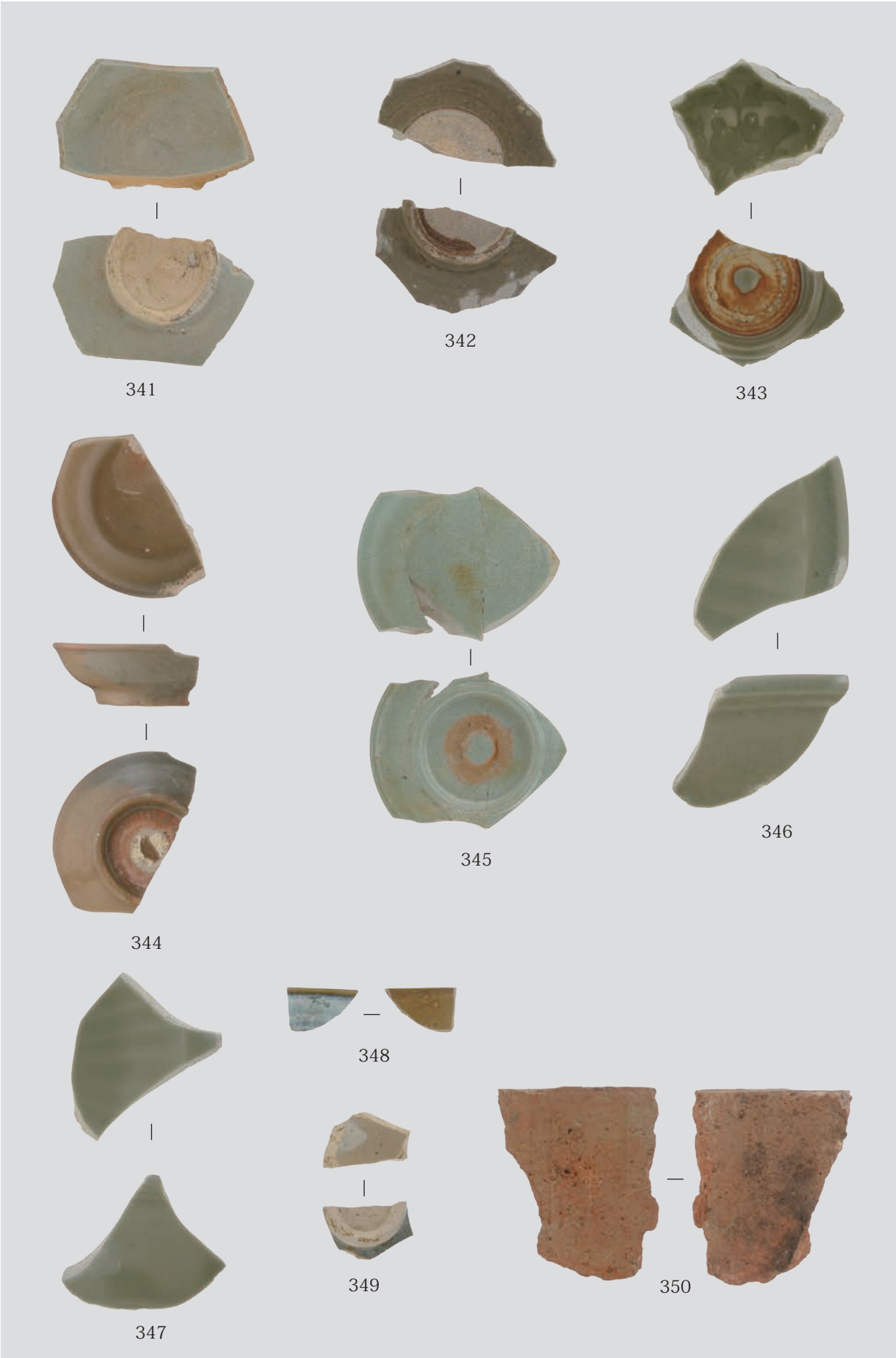
第 54 図　第 2 検出面 出土遺物 9

図版 48　第 2 検出面 出土遺物 1　SK36（301・302）、SK83（303 ～ 306）

図版 49　第 2 検出面 出土遺物 2　　SK91（307 ～ 309）、SK92（310・311）、SK93（312・313）、SK95（314）、SK102（315）、SK118（316・317）



図版 50　第 2 検出面 出土遺物 3　SK131（318・319）、SK133（320・321）、SK136（322）、SP13（323）、SP17（324）、SP31（325）、SP38（326）、SP43（327）、SP57（328・329）、SP259（330）、SP319（331）、SP420（332）、SU3（333）



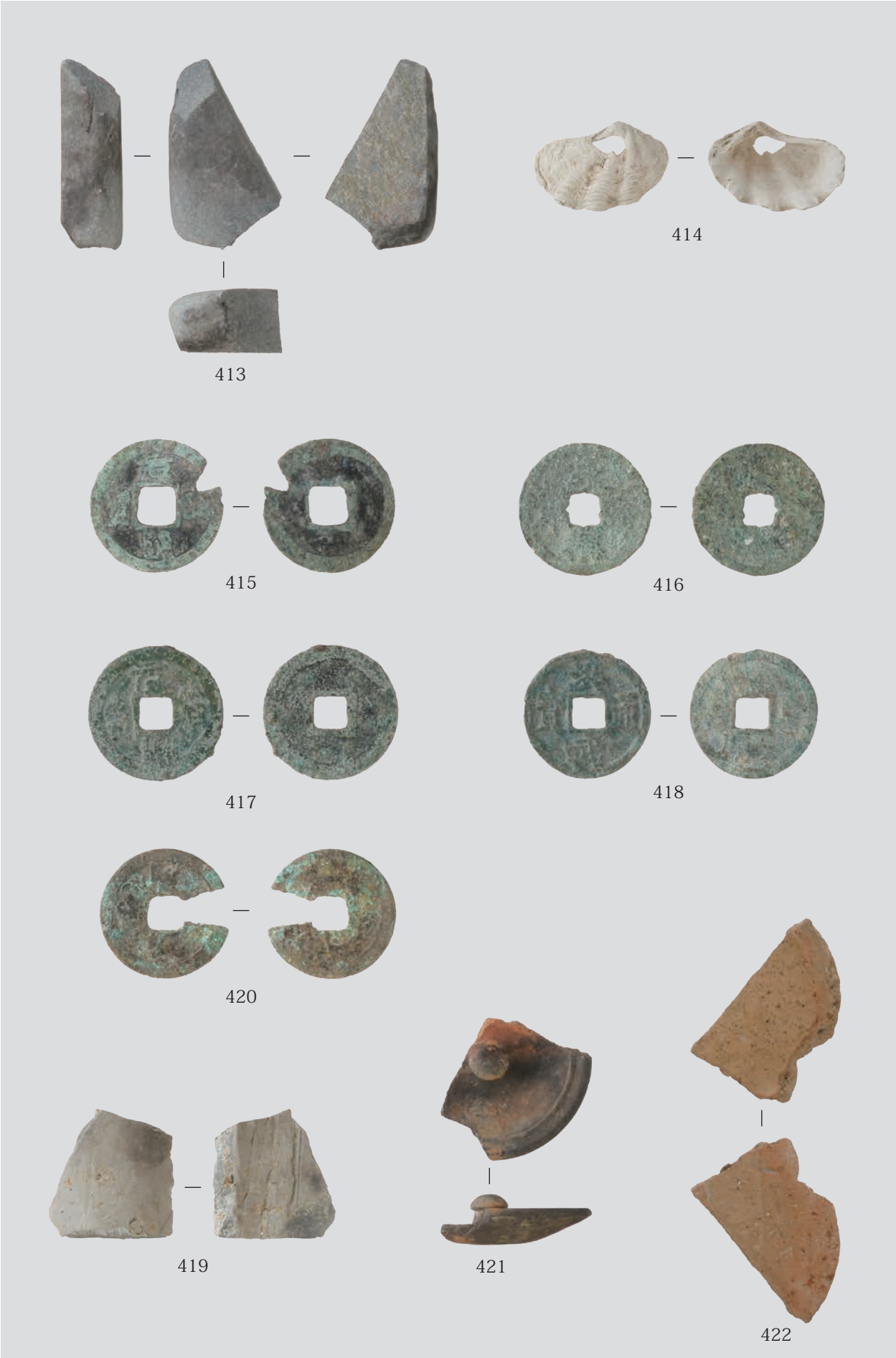
図版 51　第 2 検出面 出土遺物 4　SS5（341 ～ 350）

図版 52　第 2 検出面 出土遺物 5　SX13（361 ～ 368）

図版 53　第 2 検出面 出土遺物 6　　SX13（369 ～ 377）

図版 54　第 2 検出面 出土遺物 7　SX13（378 ～ 399）

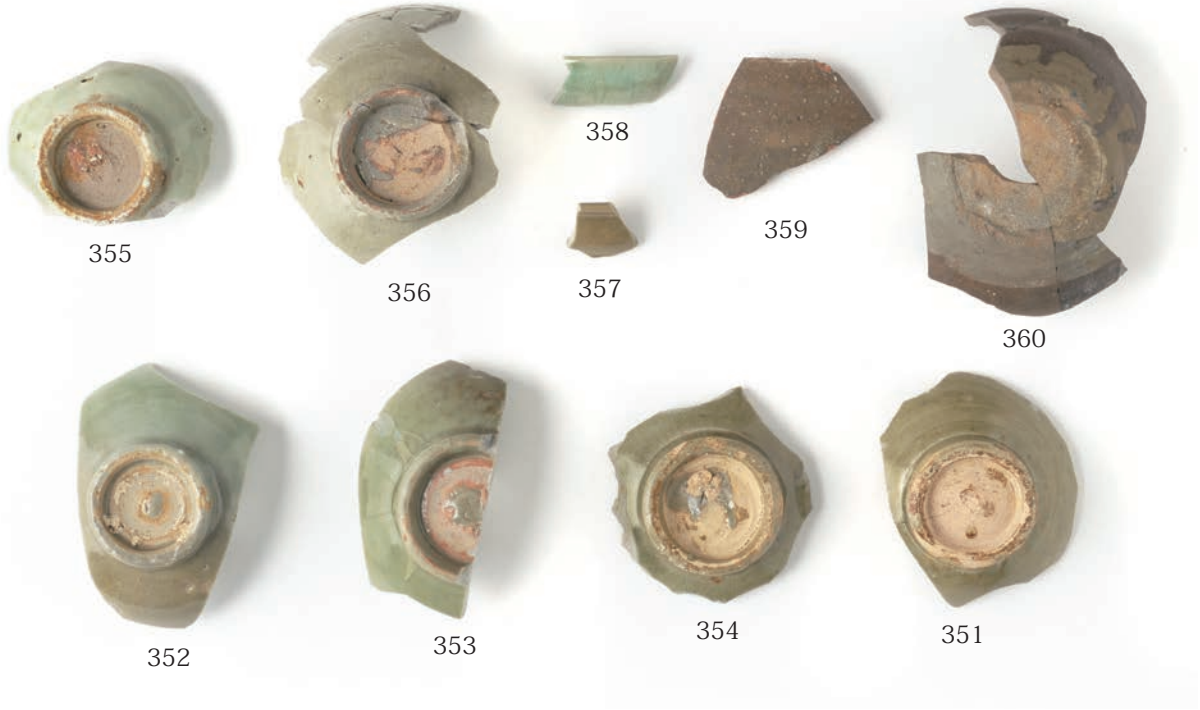
図版 55　第 2 検出面 出土遺物 8　SX13（400 ～ 412）



図版 56　第２検出面 出土遺物９　SX13（413）、SX14（414 ～ 416）、SX15（417）、SX16（418）、SX25（419）、SX26（420）、SX27（421・422）

SS3 出土遺物（334 ～ 340）

図版 57　第 2 検出面 出土遺物 10



SX12 出土遺物（351 ～ 360）

図版 58　第 2 検出面 出土遺物 11

第６項　Ⅳ層出土遺物（第 55 ～ 57 図　423 ～ 449、図版 59 ～ 61　423 ～ 449）

Ⅳ層からは総数 490 点の遺物が出土した（第 74 表）。種類別にみると、中国産陶磁器 405 点、タイ産陶磁器 33 点、ベトナム産陶磁器１点、本土産陶磁器９点、土器８点、石器１点、円盤状製品２点、高麗系瓦２点、明朝系瓦 17 点、板状の瓦製品１点、塼３点である。沖縄産施釉陶器や本土産の近現代磁器等の出土が数点確認されるため、本層においても上層からの混入が僅かにみられる状況であるが、グスク時代の遺物が主体的である。青磁はⅣ類とⅤ類が主体である。中でもⅤ類が多く、Ⅳ類の２倍多く出土している。Ⅵ類はみられない。白磁は碗Ｃ－３群、皿Ｄ群が出土しており、青花は確認されない。年代的には 15 世紀前半～中頃を主体とする。

以下に代表的な遺物については図化または写真図版を掲載する。

青磁（423 ～ 438）　423、424 は碗Ⅳ－ａ類、425、426 は碗Ⅳ’－ａ類、427 は碗Ⅴ－ｂ類、428 は碗Ⅴ類、429 は碗Ⅴ－ 1a 類、430、431 は碗Ⅴ－１類、432 は碗Ⅵ類、433 は碗Ⅶ－ｃ類、434 は皿Ⅴ－ 2a 類、435 は盤Ⅰ－ｃ群、436 は盤底Ⅰ－ａ群、437 は大鉢で、良質の大型製品であり「官器」と考えられる。438 は擂鉢である。

白磁（439・440）　439 は碗で福建産、440 は皿でＤ－Ⅰ２群である。

褐釉陶器（441）　中国産と考えられる鉢である。

タイ産半練土器（442）　壺で、頸部に連続した叩き文様を施す。

ベトナム産青花（443）　外反する碗である。

本土産陶器（444）　備前の擂鉢である。

円盤状製品（445）　素材は青磁である。

明朝系瓦（446・447）　446 は軒丸瓦の瓦当部で褐色系、447 は平瓦で、硬質陶器質であり、二次焼成により大きく変形する。

塼（448・449）　448 はⅠ式で灰色系、449 は窯の壁材（耐火材）としての機能が考えられるⅥ式とされるもの。側面に数条の線刻が確認される。

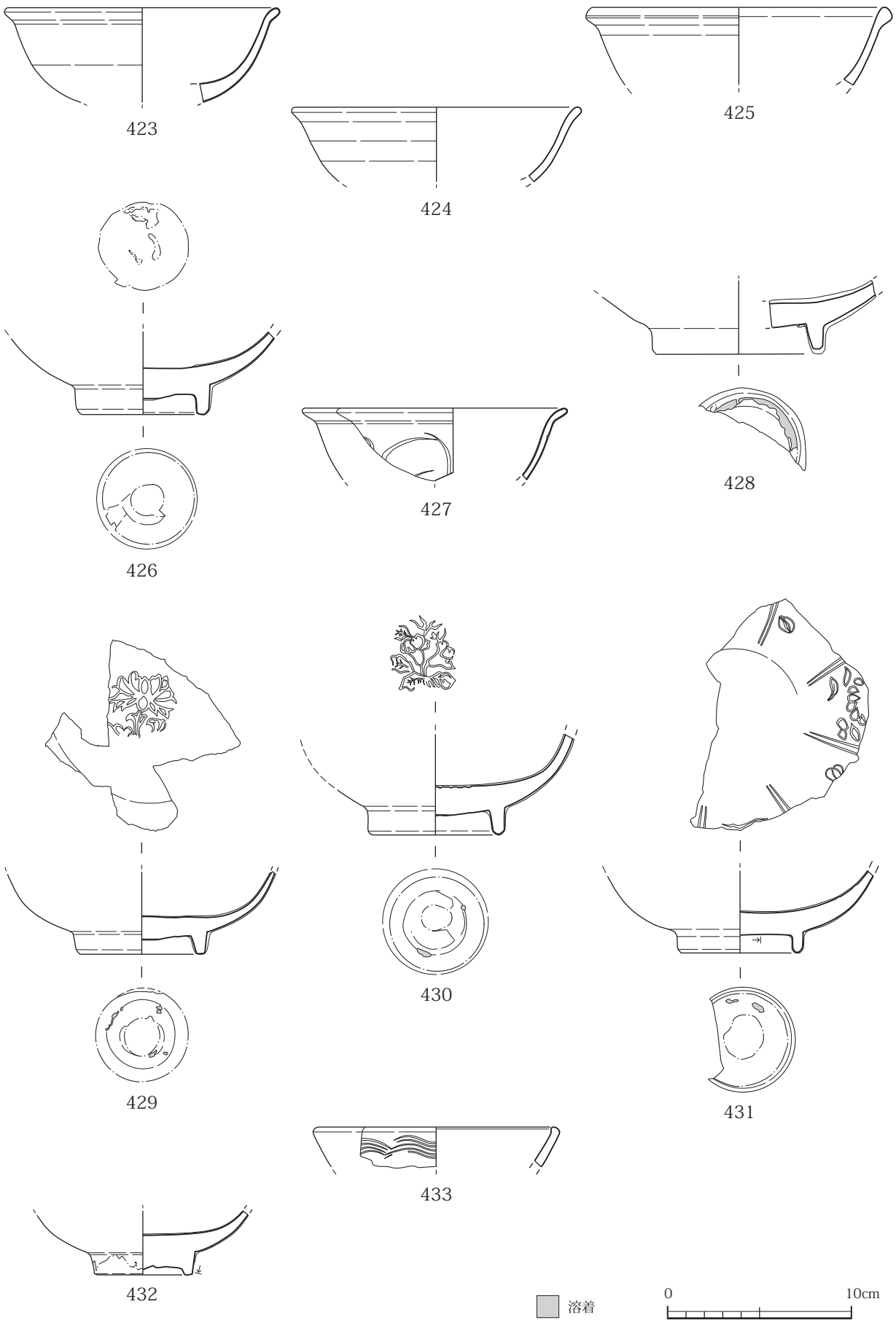
第 45 表　Ⅳ層出土遺物観察一覧 1

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝）			観察事項	出土地
						口径	底径	器高		
第 55 図 図版 59	423	青磁	碗	口	Ⅳ－ａ	(15.0)	－	－	素地は灰色。釉はオリーブ灰色で透明感がある。キズあり。	1 地点 D9 Ⅳ層
	424	青磁	碗	口	Ⅳ－ａ	(15.8)	－	－	素地は灰白色。釉は明オリーブ灰色。	1 地点 D6 Ⅳ層
	425	青磁	碗	口	Ⅳ’－ａ	(16.0)	－	－	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色。	1 地点 D5 Ⅳ層
	426	青磁	碗	底	Ⅳ’－ａ	－	(7.2)	－	素地は灰色で焼成不良。底部周辺は明赤褐色。釉はオリーブ灰色で発色が悪く、外底は蛇の目釉剥ぎ、内底は釉剥ぎ。	1 地点 D7 Ⅳ層 No.3
	427	青磁	碗	口	Ⅴ－ｂ	(14.4)	－	－	素地は灰白色。釉は明オリーブ灰色で少しアバタ。外面は蓮弁文。	1 地点 D5 Ⅳ層
	428	青磁	碗	底	Ⅴ	－	(9.1)	－	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色で厚い、外底は釉剥ぎ。外底に胎土目付着。	3 地点 GH7 Ⅳ層
	429	青磁	碗	底	Ⅴ－１ａ	－	(7.1)	－	素地は灰白色で薄く、焼成良好。釉はオリーブ灰色で厚く、外底は蛇の目釉剥ぎ。内底に印花文。外底に胎土目付着。	3 地点 GH7 Ⅳ層 GH8 Ⅳ層
	430	青磁	碗	底	Ⅴ－１	－	7.5	－	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色で厚い、外底は釉剥ぎ。粗い貫入が入る。内底に印花文。外底に胎土目付着。	3 地点 GH8 Ⅳ層
	431	青磁	碗	底	Ⅴ－１	－	(6.8)	－	素地は灰色で赤色粒を含む。釉は暗オリーブ灰色で、外底は蛇の目釉剥ぎ。内面は蓮弁区画内に印花文。外底に胎土目付着。	1 地点 C6 Ⅳ層
	432	青磁	碗	底	Ⅵ	－	5.3	－	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で発色が悪く、外面の高台途中まで施釉。高台の作りが雑。外底に胎土目付着。	3 地点 GH7 Ⅳ層
	433	青磁	碗	口	Ⅶ－ｃ	(13.4)	－	－	素地は灰白色。釉は水色で透明。外面は雷文が退化したと考えられる波濤文。	1 地点 D8 Ⅲ層 D8 Ⅳ層
第 56 図 図版 60	434	青磁	皿	口～底	Ⅴ－２ａ	(11.8)	5.8	4.0	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色で貫入が入る。	1 地点 Ⅳ層 No.1 撹乱
	435	青磁	盤	口	Ⅰ－ｃ	－	－	－	素地は灰白色。釉は明オリーブ灰色、貫入なし。	1 地点 C6 Ⅳ層
	436	青磁	盤	底	Ⅰ－ａ	－	(11.0)	－	素地は灰白色。釉は明オリーブ灰色、外底は蛇の目釉剥ぎ、畳付に釉。外底に胎土目付着。	1 地点 C6 Ⅳ層
	437	青磁	大鉢	胴	－	－	－	－	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色。内面は草花文、外面はラマ式蓮弁と草花文。官窯か。15 ｃ初頭。	1 地点 D7 Ⅳ層
	438	青磁	擂鉢	口	－	－	－	－	素地はにぶい橙色。釉は黄褐色で内面は口縁部まで施釉。	1 地点 D5 Ⅳ層
	439	白磁	碗	底	－	－	(7.2)	－	素地は灰白色で焼成はやや不良。釉は光沢がある透明で外面は胴部途中まで施釉、内底は蛇の目釉剥ぎ。福建産。	1 地点 D7 Ⅳ層
	440	白磁	皿	口～底	Ｄ－Ⅰ２	(10.7)	3.9	2.9	素地は白色。釉は光沢がある透明。	1 地点 D7 Ⅳ層 No.4
	441	中褐か	鉢か	口～胴	－	(10.7)	－	－	素地はにぶい褐色で白色粒や赤色粒を若干含む。釉は薄く、紫味がかった黒褐色釉を両面に施釉。口縁部近くや胴部に漆喰付着。	3 地点 GH7 Ⅳ層
	442	タイ産半練土器	壺	胴	－	－	－	－	素地は灰色で表面は橙色、黒色粒や赤色粒を含む。外面には羽状文系の叩き文を連続で施文。	3 地点 GH8 Ⅳ層
	443	ベトナム産青花	碗	口	－	(18.6)	－	－	素地は灰白色で軟質。釉は透明。内面口縁部と外面胴部に施文しており、圏線は灰オリーブ色、草花文は青色で異なる顔料を使用。15 ｃ代。	1 地点 C4 Ⅳ層
	444	本土産陶器	擂鉢	口	－	－	－	－	素地は灰色で白色粒や黒色粒を含む。無釉。備前。	1 地点 C5 Ⅳ層
	445	円盤状製品	－	底	－	長径 5.8	短径 5.3	厚さ 2.1	素材は中国産青磁。内外面から剥離し、一部は研磨している。	3 地点 GH7 Ⅳ層

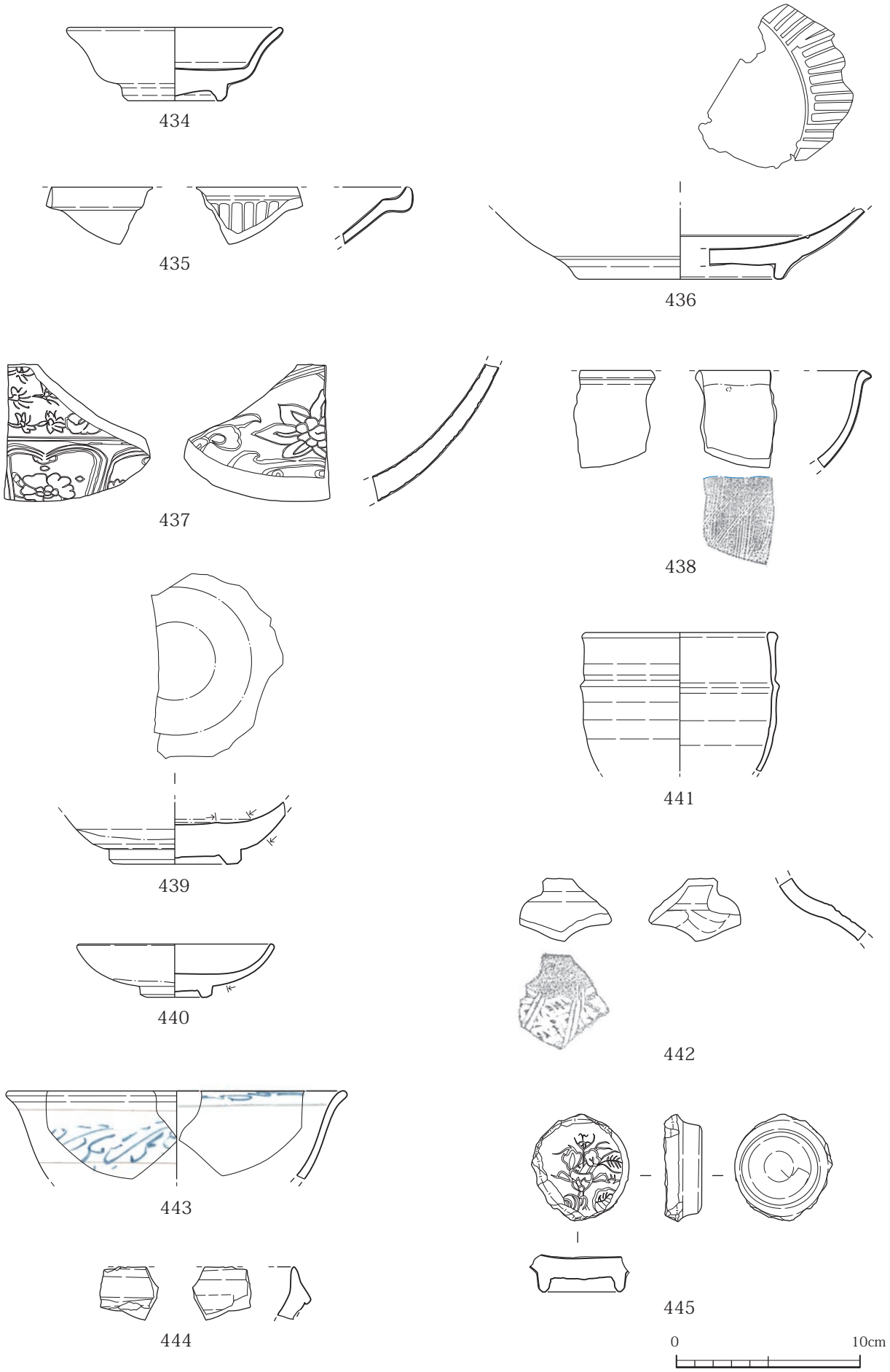
第 45 表　Ⅳ層出土遺物観察一覧 2

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm）			観察事項	出土地
						口径	底径	器高		
第 57 図 図版 61	446	瓦	軒丸瓦	－	－	－	－	－	褐色。文様は簡略化が進む線表現の牡丹文。瓦当と丸瓦の裏面接着部分はナデが甘い。漆喰が付着。明朝系。	1 地点 D4 Ⅳ層
	447	瓦	平瓦	広端部	－	－	－	－	灰色硬質。マンガン釉を両面に施釉。凹面に布目痕あり。二次焼成により変形。明朝系。	1 地点 D4 Ⅳ層
	448	塼	－	－	Ⅰ	－	－	－	灰色。４面が残存。シャープな作りで、ヘラによる成形。	1 地点 D4 Ⅳ層
	449	塼	－	－	Ⅵ	－	－	－	灰色。５面が残存。側面に数条の線刻がある。被熱を受けており窯の壁材か。	1 地点 D5 Ⅳ層

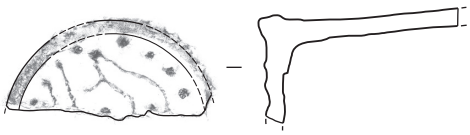
※法量　（　）内は復元による推定値



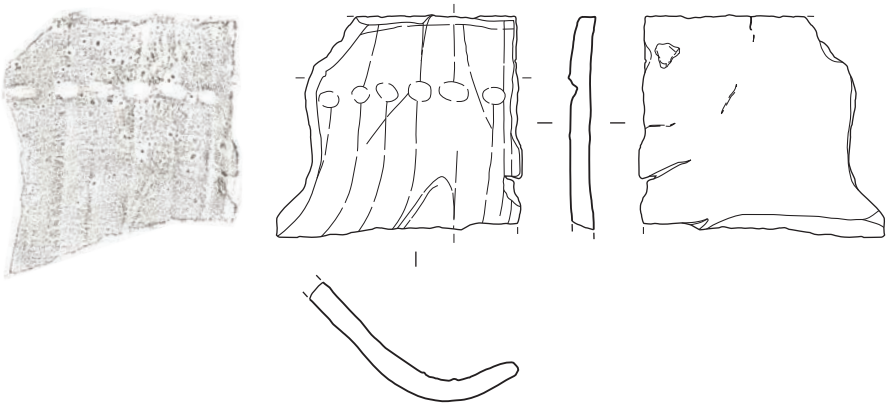
第 55 図　Ⅳ層 出土遺物 1



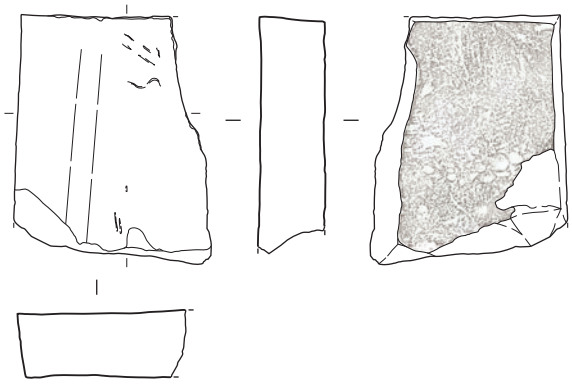
第 56 図　Ⅳ層 出土遺物 2



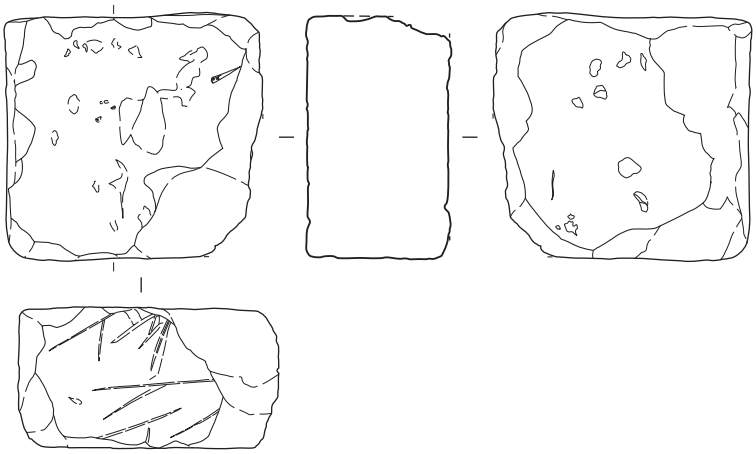
446



447



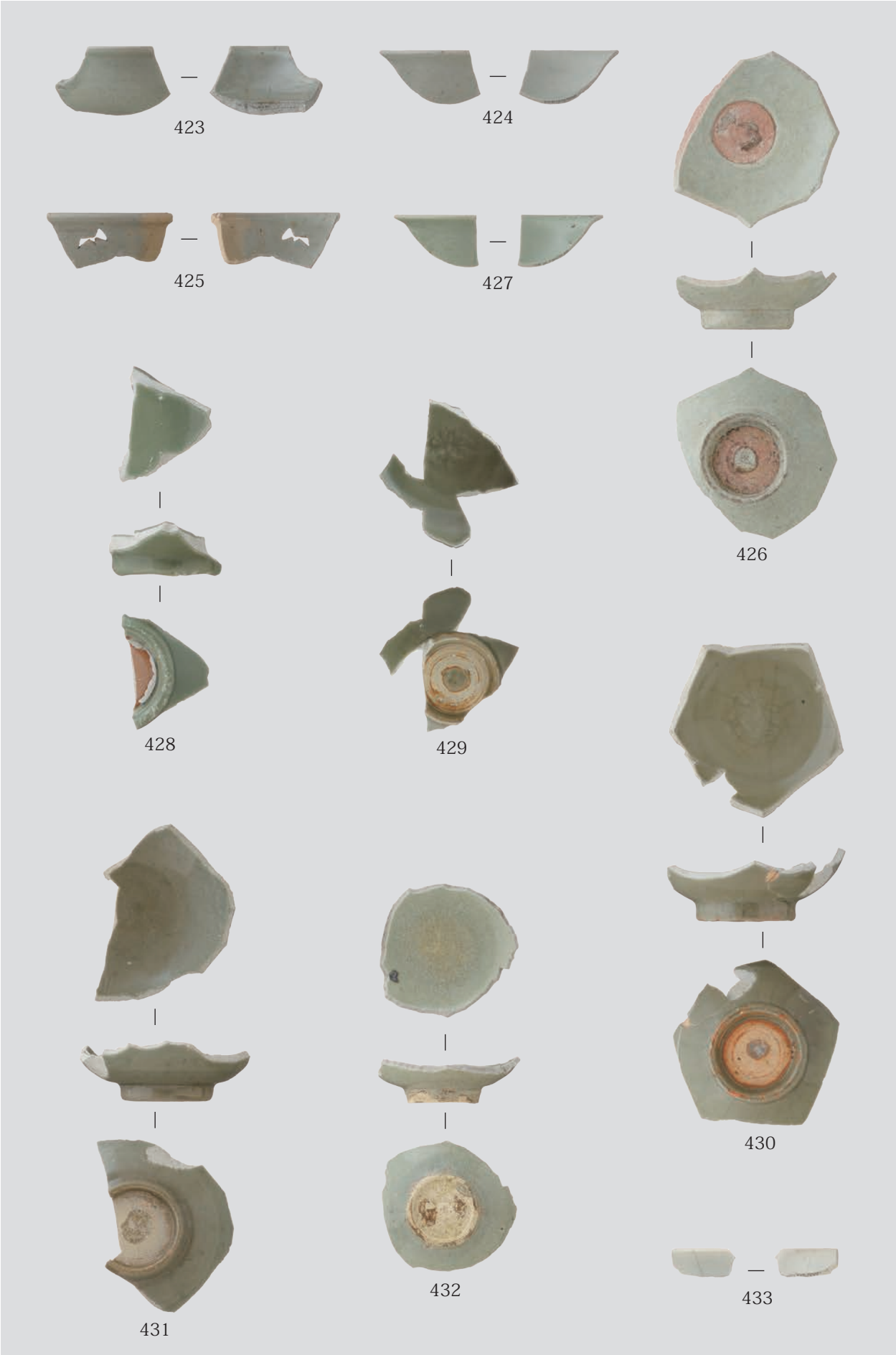
448



449

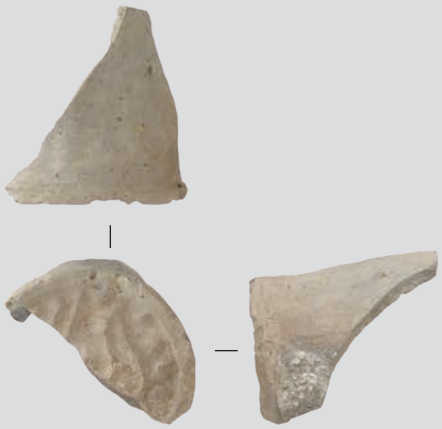
0　20cm

第 57 図　Ⅳ層 出土遺物 3

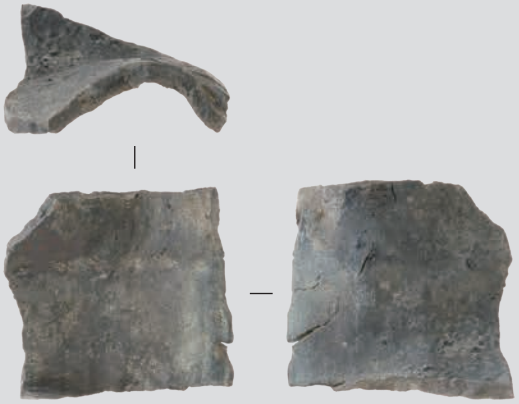


図版 59　Ⅳ層 出土遺物 1

図版 60　Ⅳ層 出土遺物 2



446



447

448

449

図版 61　Ⅳ層 出土遺物 3

第７項　Ｖ層出土遺物（第 58 ～ 60 図　450 ～ 484、図版 62 ～ 64　450 ～ 484）

Ｖ層からは総数 328 点の遺物が出土した（第 74 表）。種類別にみると、中国産陶磁器 312 点、タイ産陶器２点、本土産陶磁器１点、沖縄産陶器１点、円盤状製品１点、銭貨２点、鉄製品１点、高麗系瓦４点、明朝系瓦１点である。グスク時代の遺物が出土している。青磁はⅣ類とＶ類が主体を占める。中でもⅣ類が多く、Ⅳ類はＶ類の５倍多く出土している。白磁は景徳鎮窯系の碗やⅢＤ群が出土しており、青花は明代のものが１点のみ出土している。年代的には 14 世紀中頃～ 15 世紀前半を主体とする。

以下に代表的な遺物については図化または写真図版を掲載する。

青磁（450 ～ 471）　450 ～ 453 は碗Ⅳ－ａ類、454 は碗Ⅳ’類、455 はＶ類、456 は碗Ｖ－ 1a 類、457 は碗Ｖ－ｂ類、458、459 は碗Ｖ－２類、460、461 は碗Ⅵ－ｂ類、462 はⅢⅣ’－ａ類、463、464 はⅢⅣ’類、465、466 はＶ－ａ類、468 は盤Ｉ－ａ群、467 は盤Ⅲ－ａ群、469 は盤底Ｉ－ａ群、470、471 は香炉である。

白磁（472 ～ 477）　472、473 は小碗でＤ群、474 はⅢＤ－２群、475、476 はⅢＤ－Ｉ２群、477 は杯でＤ群である。

褐釉陶器（478）　壺の底部である。

黒釉陶器（479）　碗の口縁部である。

タイ産半練土器（480）　口縁部がラッパ状に外反する長頸の壺である。

石器（481）　砥石で、表裏面及び側面に磨面が確認される。材質は細粒砂岩製。

銭貨（482、483）　482 は明銭で洪武通寶、483 は無文銭である。

高麗系瓦（484）　平瓦で、凸面には不明瞭な羽状文、打捺具の重なりがみられる。

第 46 表　Ⅴ層出土遺物観察一覧 1

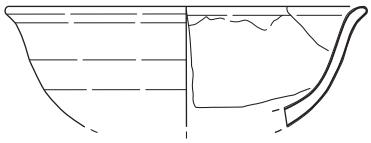
挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 58 図 図版 62	450	青磁	碗	口	Ⅳ－ａ	（14.4）	－	－	素地は灰色で一部、橙色（焼きムラか）。釉はオリーブ灰色。	３地点 GH ７Ⅴ層
	451	青磁	碗	底	Ⅳ－ａ	－	5.7	－	素地は灰白色。釉は明オリーブ灰色、外底露胎。黒色斑点が全体的にある。	１地点 北壁Ⅴ層
	452	青磁	碗	底	Ⅳ－ａ	－	6.3	－	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色、外底露胎で一部に掛かる。内底に印花文と圏線。	３地点 GH ７Ⅴ層
	453	青磁	碗	底	Ⅳ－ａ	－	5.85	－	素地は灰白色。釉はオリーブ色で発色が悪く、外底露胎で一部に掛かる。内底に印花文。	１地点 Ⅴ層 No.2
	454	青磁	碗	口	Ⅳ’	－	－	－	素地は灰白色。釉は透明感のある明オリーブ灰色。	３地点 GH7 Ⅴ層
	455	青磁	碗	底	Ⅴ	－	（7.2）	－	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色。内底に印花文と圏線。	３地点 GH7 Ⅴ層
	456	青磁	碗	底	Ⅴ－１ａ	－	（6.2）	－	素地は灰白色。釉は暗オリーブ色で厚く、外底は蛇の目釉剥ぎ。	３地点 GH7 Ⅴ層
	457	青磁	碗	口	Ⅴ－ｂ	（14.8）	－	－	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色。外面は片切彫により蓮弁文、内面はヘラにより蓮文。	１地点 C5 Ⅴ層
	458	青磁	皿	底	Ⅴ－２	－	7.2	－	素地は灰白色。釉は灰オリーブ色、外底は露胎だが畳付に釉。内底に印花文とヘラによる施文。	１地点 D7 Ⅴ層
	459	青磁	碗	底	Ⅴ－２	－	6.0	－	素地は灰白色。釉は明オリーブ色で不透明、外底は露胎。内面は蓮弁区画内に印文。	１地点 Ⅴ層 No.1
	460	青磁	碗	口～底	Ⅵ－ｂ	（11.8）	5.0	6.2	素地は灰色。釉は灰オリーブ色、外底は露胎、内底は釉剥ぎ。外面にヘラによる蓮弁文。	３地点 GH8 Ⅳ層 GH7 Ⅴ層
	461	青磁	碗	底	Ⅵ－ｂ	－	5.8	－	素地は灰色。釉はオリーブ灰色、外底は露胎で一部に掛かる。外面に片切彫による細蓮弁文。	１地点 E6 Ⅴ層
第 59 図 図版 63	462	青磁	皿	口～底	Ⅳ’－ａ	（12.2）	7.0	3.55	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色、外底はヘラによる掻き取り、内底は蛇の目釉剥ぎ。14 ｃ末～ 15 ｃ前。	３地点 C5H7 Ⅴ層
	463	青磁	皿	底	Ⅳ’	－	5.6	－	素地は灰白色。釉は灰オリーブ色、外底は釉剥ぎ、内底は蛇の目釉剥ぎ。外底と内底に胎土目付着。	３地点 G67 Ⅴ層
	464	青磁	皿	底	Ⅳ’	－	7.1	－	素地は灰白色。釉は明オリーブ色で不透明、外底は蛇の目釉剥ぎか。内底は梵字印文を施文後に、施釉し釉剥ぎ。	１地点 C6 Ⅴ層
	465	青磁	皿	口	Ⅴ－ａ	（12.0）	－	－	素地は灰色。釉はオリーブ灰色で厚い。	３地点 GH7 Ⅴ層
	466	青磁	皿	口	Ⅴ－ａ	（12.0）	－	－	素地は灰白色。釉は暗オリーブ色で厚い。	３地点 GH7 Ⅴ層
	467	青磁	盤	口	Ⅲ－ａ	－	－	－	素地は灰白色。釉は明オリーブ灰色。	１地点 D6 Ⅴ層
	468	青磁	盤	口	Ⅰ－ａ	－	－	－	素地は灰色。釉は灰オリーブ色で貫入多い。	３地点 G67 Ⅴ層
	469	青磁	盤	底	Ⅰ－ａ	－	（10.6）	－	素地は灰色。釉はオリーブ灰色、外底途中まで施釉。内面に印花文と蓮弁文。	１地点 E6 Ⅴ層
	470	青磁	香炉	口	－	－	－	－	素地は灰白色、露胎部分は浅黄橙色。釉はオリーブ灰色。	１地点 D7 Ⅴ層
	471	青磁	香炉	底	－	－	－	－	素地は橙色。釉は明オリーブ色で不透明。	１地点 C6 Ⅴ層
	472	白磁	小碗	口	D	－	－	－	素地は白色。釉は光沢がある透明。	３地点 G67 Ⅴ層

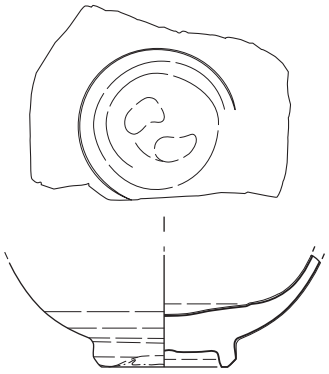
第 46 表　Ⅴ層出土遺物観察一覧 2

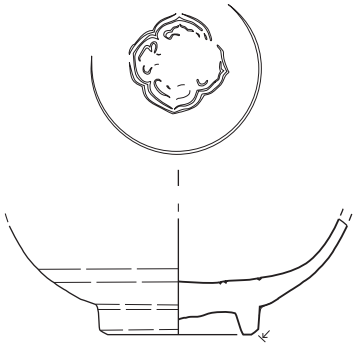
挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝）			観察事項	出土地
						口径	底径	器高		
第 59 図 図版 63	473	白磁	小碗	底	D	－	3.8	－	素地は白色。釉は光沢がある透明。	1 地点 IC6 Ⅴ層
	474	白磁	皿	口	D－２	(9.6)	－	－	素地は灰白色。釉は灰白色で半透明。	3 地点 GH ７Ⅴ層
	475	白磁	皿	底	D－Ⅰ２	－	4.3	－	素地は白色。釉は白色で透明。	1 地点 C6 Ⅴ層
	476	白磁	皿	底	D－Ⅰ２	－	(3.6)	－	素地は灰白色。釉は光沢がある白色で透明、外面に褐色釉が一部掛かる。	1 地点 C5 Ⅴ層
	477	白磁	杯	底	D	－	3.1	－	素地は白色。釉は灰白色で外面は胴部途中まで施釉。	1 地点 D6 Ⅴ層
第 60 図 図版 64	478	中国産 褐釉 陶器	壺	底	－	－	－	－	素地は灰色で表面はにぶい橙色を呈し、白粒を含む。褐釉を胴部途中まで施釉。	1 地点 C6 Ⅴ層
	479	黒釉 陶器	碗	口	－	－	－	－	素地は灰色。釉は黒色。	1 地点 C6 Ⅴ層
	480	タイ産 半練 土器	壺	口	－	(17.8)	－	－	素地は灰色で表面はにぶい橙色を呈し、赤色粒を含む。	3 地点 GH ７Ⅴ層
	481	石器	砥石	－	－	－	－	－	石材は細粒砂岩。残存する３つの面が磨面。大きさや重量から置き砥石と考えられる。	3 地点 G6 ７Ⅴ層
	482	銭貨	洪武通 寶	－	－	－	－	－	孔径は 0.4㎝。錆により一部､銭文が潰れる。背面は全面､錆。	1 地点 D6 Ⅴ層
	483	銭貨	無文銭	－	－	－	－	－	孔径は 0.7㎝。孔形は方形で少し歪む。	1 地点 E6 Ⅴ層
	484	瓦	平瓦	端部	－	－	－	－	胎土は灰色で芯は灰白色、赤色粒と雲母が含まれる。凸面には不明瞭な羽状文、打捺具の重なりあり。凹面には糸切痕と布目痕。側面の分割面は糸によって途中まで切れ目を入れている。高麗系。	3 地点 GH7 Ⅴ層

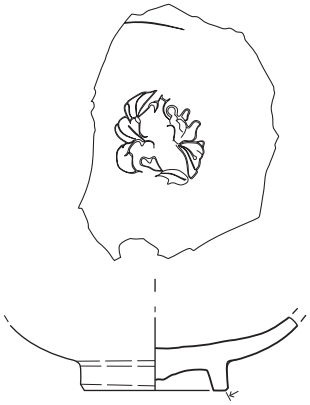
※法量　（　）内は復元による推定値

※銭貨　□：欠損、○：不鮮明

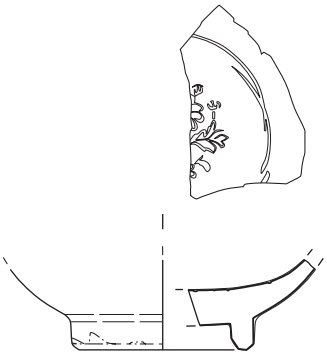

450


451

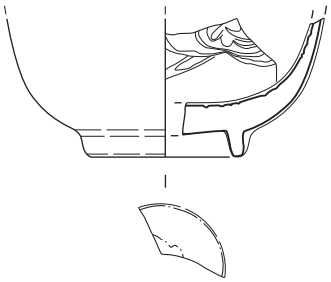

452

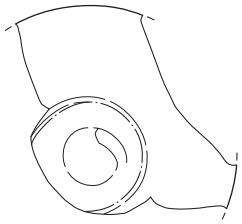

453

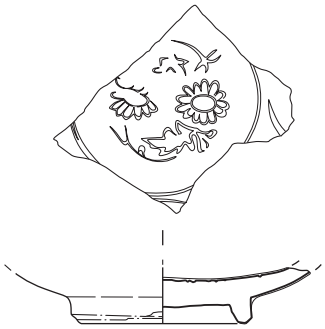
454

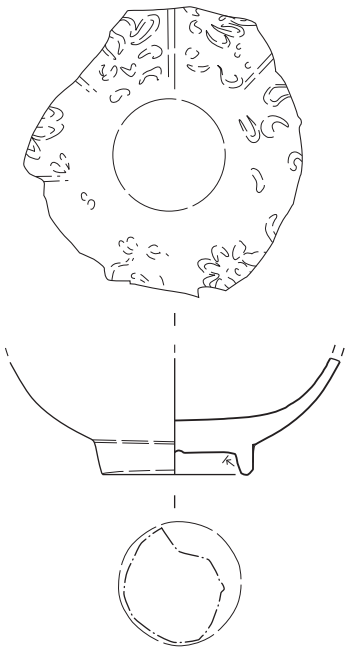

455

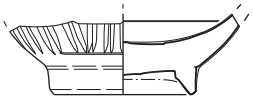
457


456


460

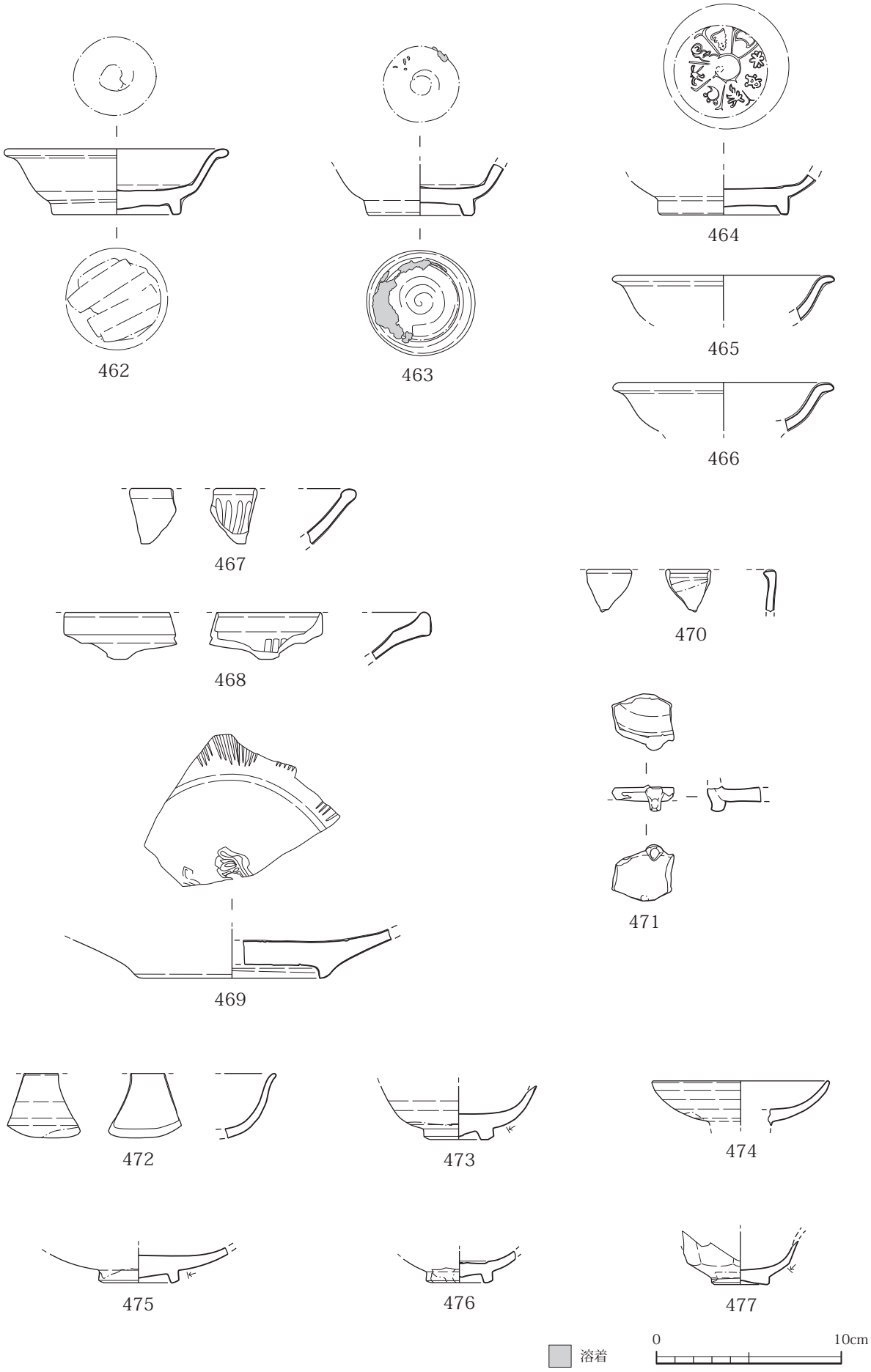

458


459

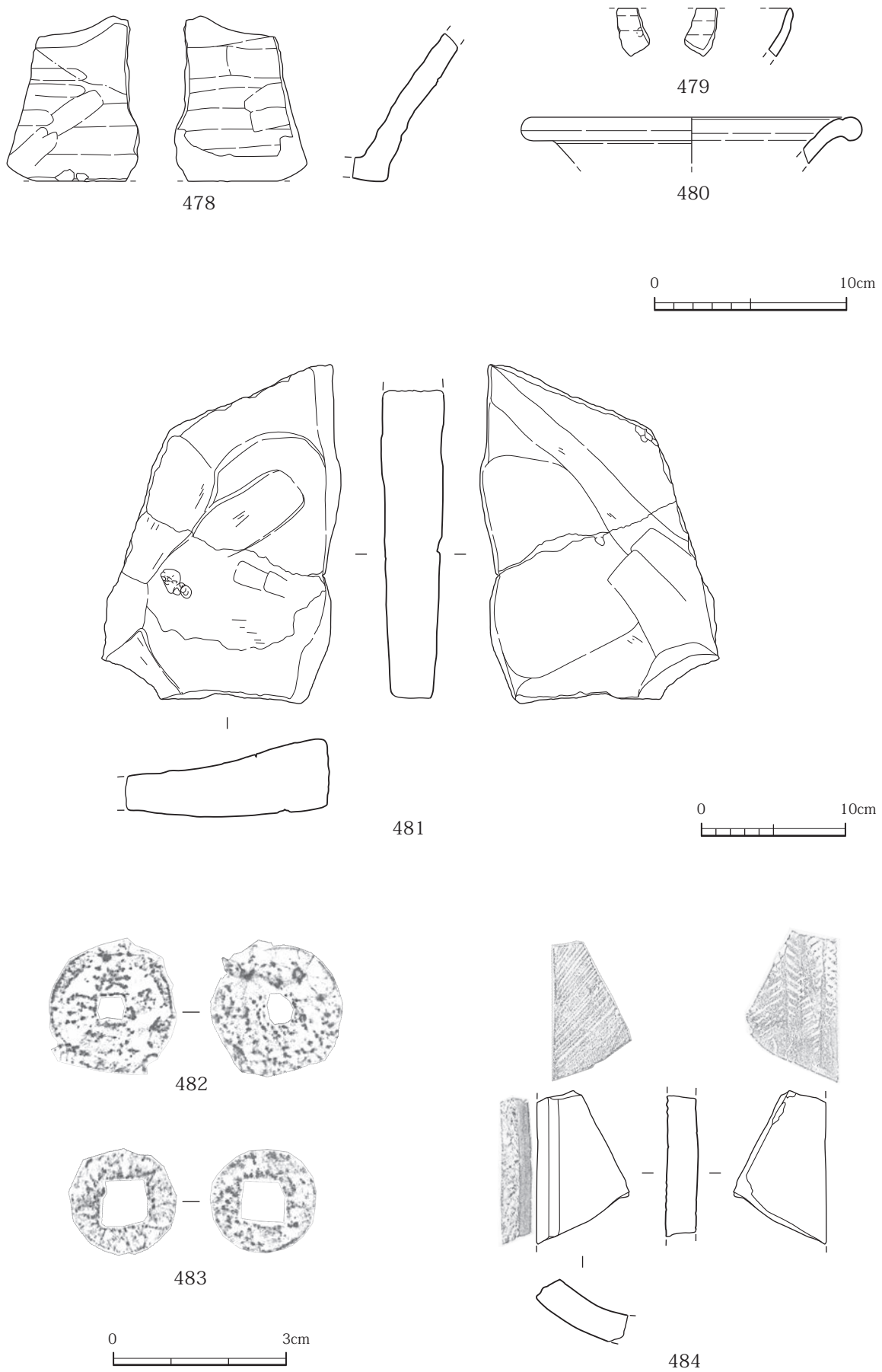

461

0　10cm

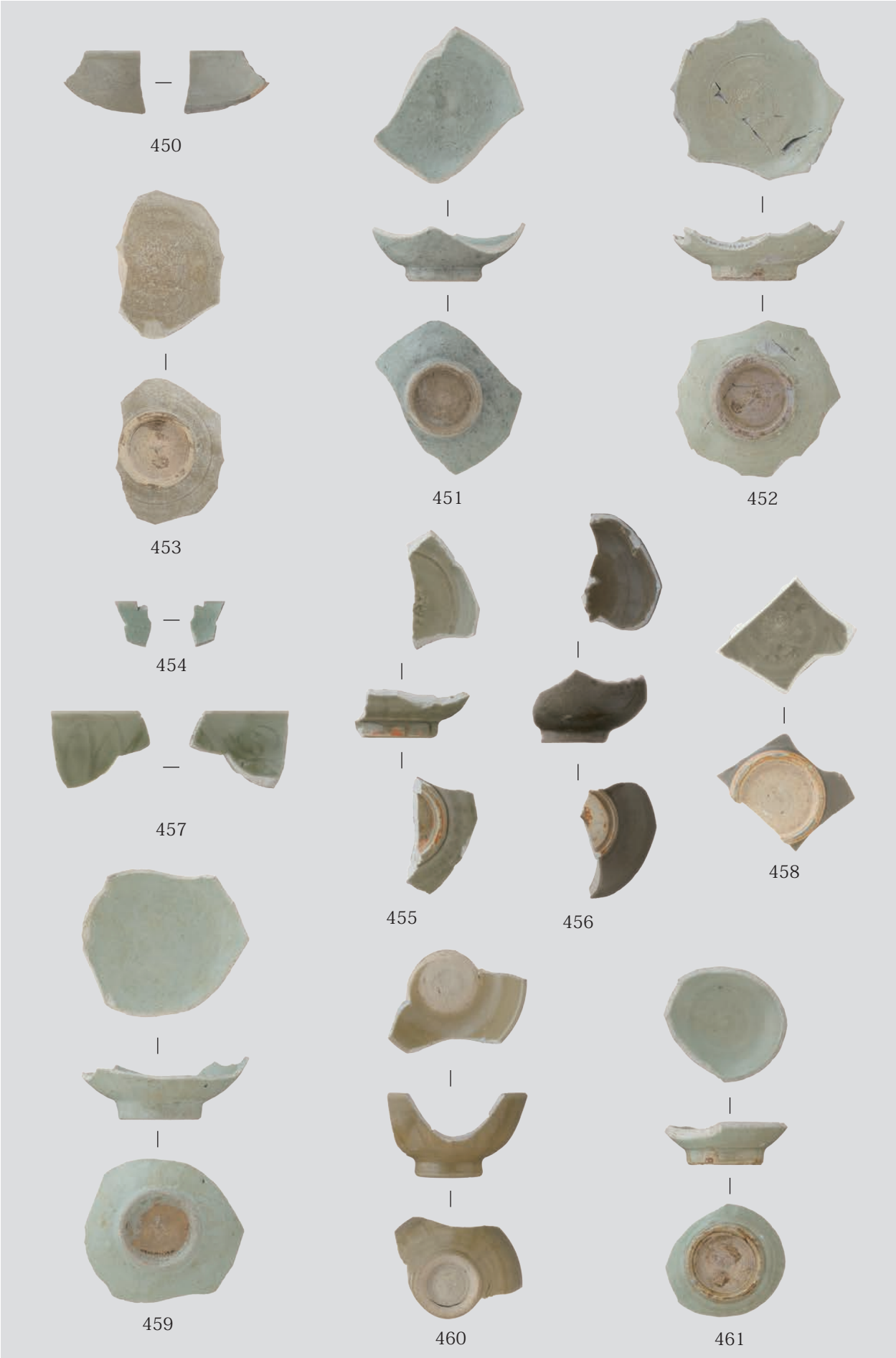
第 58 図　Ⅴ層 出土遺物 1



第 59 図　V 層 出土遺物 2



第 60 図　Ⅴ層 出土遺物 3



図版 62　Ⅴ層 出土遺物 1

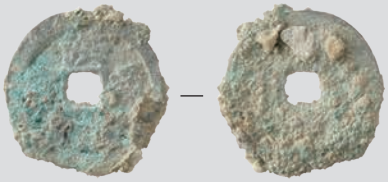
図版 63　Ⅴ層 出土遺物 2

478

479

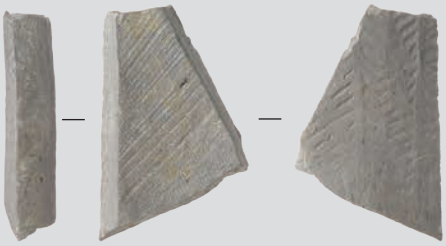
480

481



482

483



484

図版 64　Ⅴ層 出土遺物 3

第８項　第３検出面出土遺物（第 61 図　485 ～ 489　図版 65　485 ～ 489）

第３検出面の遺構から出土した遺物を遺構別にまとめる。総数 46 点の遺物が出土した（第 74 表）。遺物は青磁や白磁、褐釉陶器、石材が出土しており、グスク時代の遺物である。近世以降の遺物はみられない。青磁は碗･皿Ⅳ、Ⅴ類、白磁は福建産の碗が出土している。青磁Ⅳ類とⅤ類はほぼ同数の傾向となっている。遺物の出土自体が少ないため比較するのは難しいが、Ⅴ層の出土内容と大きな差はないものと考える。第３検出面の年代は 14 世紀中頃～ 15 世紀前半を主体とするものと考える。

以下に、遺構別に報告し、代表的な遺物については図化または写真図版を掲載する。

SD3 出土遺物（第 61 図　485、486　図版 65　485、486）

中国産青磁碗Ⅳ’類、碗・皿Ⅴ類、香炉が出土している。

485 は青磁碗Ⅴ類、486 は青磁盤Ⅰ－ａ群である。

SD4 出土遺物（第 61 図 487 ～ 489　図版 65　487 ～ 489）

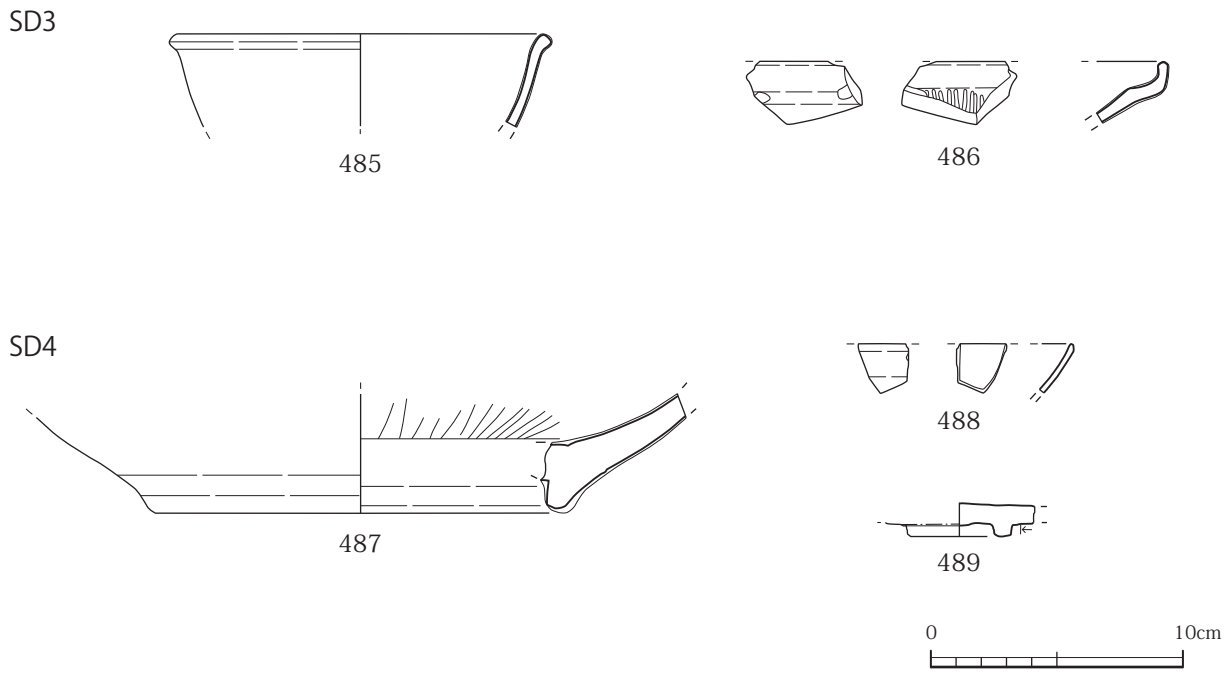
青磁碗Ⅳ類、碗・皿Ⅴ類、青磁の鉢、福建産の白磁碗、褐釉陶器が出土している。

487 は底Ⅰ－ｃ群、488 は皿Ｄ群、489 は皿Ｄ－Ⅰ２群である。

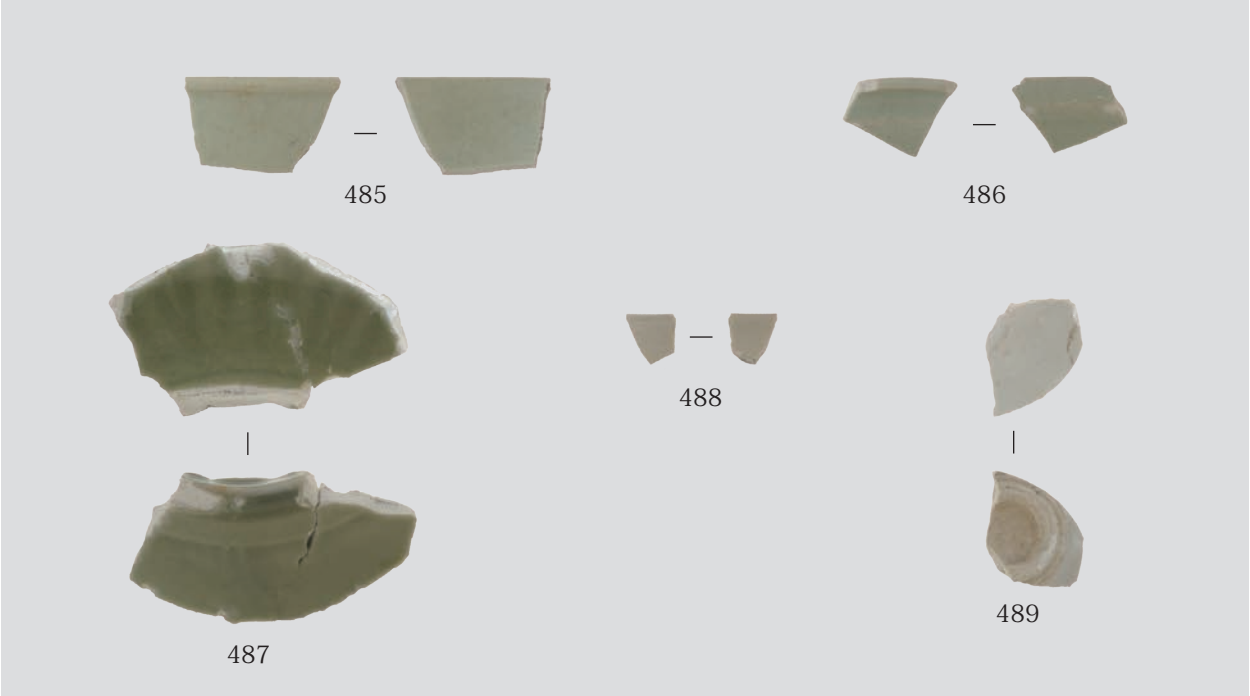
第 47 表　第３検出面出土遺物観察一覧

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝）			観察事項	出土地
						口径	底径	器高		
第 61 図 図版 65	485	青磁	碗	口	Ⅴ	(15.2)	－	－	素地は灰白色。釉は貫入が入る濃緑色を両面に厚く施釉。	1 地点 SD3 埋土
	486	青磁	盤	口	Ⅰ－ａ	－	－	－	素地は灰白色。釉は濃緑色を両面に厚く施釉。	1 地点 SD3 埋土
	487	青磁	盤	底	底Ⅰ－ｃ	－	(16.3)	－	素地は灰白色。釉は濃いオリーブ灰色を両面に厚く施釉。胴部内面に幅の広い蓮弁文。	1 地点 SD4 埋土
	488	白磁	皿	口	Ｄ	－	－	－	素地は灰白色。釉は透明を両面に施す。福建。	1 地点 SD4 埋土
	489	白磁	皿	底	Ｄ－Ⅰ２	－	(3.75)	－	素地は白色。釉は透明を内面から外面の胴部まで薄く施釉。高台は露胎。福建。	1 地点 SD4 埋土

※法量　（　）内は復元による推定値



第 61 図　第 3 検出面 出土遺物



図版 65　第 3 検出面出土遺物　　SD3（485・486）、SD4（487 ～ 489）

第９項　撹乱層出土遺物（第 62 図～ 82 図　490 ～ 733、図版 66 ～ 86　490 ～ 737）

撹乱層からは総数 4,031 点の遺物が出土した（第 74 表）。種類別にみると、中国産陶磁器 1,658 点、タイ産陶磁器 40 点、本土産陶磁器 786 点、沖縄産陶器 760 点、土器 99 点、石器 3 点、石製品 1 点、円盤状製品 24 点、銭貨 107 点、金属製品 2 点、高麗系瓦 2 点、大和系瓦 5 点、明朝系瓦 446 点、板状の瓦製品 16 点、塼 35 点である。グスク時代～近現代の遺物が出土しており、遺物の種類・バリエーションが最も多くみられる。

以下に代表的な遺物について図化または写真図版を掲載する。

青磁（490 ～ 516）　490 は碗Ⅳ類、491、492 は碗Ⅴ類、493 は碗Ⅴ－ｂ類、494 は碗Ⅴ－ｃ類、495 ～ 500 は碗Ⅵ－ｂ類、501 は碗Ⅵ－ｃ類、502 は碗Ⅵ類、504 は皿Ⅳ’類、505 は皿Ⅴ－ 1a 類、506 は皿Ⅴ－ 1b 類、507、508 は皿Ⅴ類、509 は皿Ⅴ類か、510、511 は皿Ⅵ類、512 は盤Ⅰ－ａ類、513 は盤底Ⅰ－ａ群、514 は盤底Ⅱ群、503 は幅広高台碗である。515 は大鉢で、良質の大型製品でⅣ層出土の 437 と同様に「官器」と考えられる。

白磁（517 ～ 531）　517、518 は碗Ｃ－３群、519 は皿Ｄ群、520 は皿、521 は小碗でＤ－Ⅰ３群、522 は福建産で明代、523 は小杯、524 は杯でいずれも景徳鎮窯系、526 は皿Ｅ群、525 は清代の碗で景徳鎮窯系、527、528 は小碗、529 は皿でいずれも徳化窯系で清代、530 は灯明具であり、徳化窯系で清代と考えられる。531 は蓮華で、柄の端が蝶形を呈する。

青花（532 ～ 573）　532、533 は碗Ｂ群、534 は碗Ｃ群、535 は景徳鎮窯系、536 ～ 539 は皿 B_1 群、540 は碁笥底皿、541 は小鉢、542 は瓶、543 は青磁染付の碗で、いずれも景徳鎮窯系で明代である。544、545 は碗で漳州窯系である。546 ～ 548 は碗、551 ～ 554 は小杯、555 は小型の壺でいずれも景徳鎮窯系で清代である。557 ～ 561 は福建・広東系の碗で清代である。562 は福建産の碗、556 は景徳鎮窯系と考えられる蓮華で、いずれも清代である。563 ～ 567 は碗、568、569 は小碗、571 ～ 573 は皿でいずれも徳化窯系で清代である。

褐釉陶器（574 ～ 584）　574 ～ 580 は壺、581 は大海と称される福州の洪塘窯産とされる小型の壺である。582 ～ 584 は鉢である。

無釉陶器（585 ～ 589）　585 ～ 587 は鉢、588 は擂鉢、589 は壺でいずれも中国産である。

色絵（590 ～ 594）　590 は碗で明代である。591 は碗、592、593 は小碗、594 は皿でいずれも徳化窯系で清代である。

瑠璃釉磁器（595 ～ 597）　595 は碗、596 は皿であり、景徳鎮窯系で明代である。597 は小杯であり、徳化窯系で清代である。

黒釉陶器（598 ～ 601）　598 ～ 601 は天目と称される碗である。

施釉陶器（602、603）　602 は華南三彩と称される明代の資料で、鶴形または鴨形水注の口縁部、603 は翡翠釉の皿と考えられる。

タイ産褐釉陶器（604）　シーサッチャナライ窯の壺である。

タイ産半練土器（605、606）　605 は壺、606 は蓋である。

タイ産鉄絵（607）　合子の蓋である。

産地不明陶器（608、609）　蓋と考えられ、いずれも調整痕が明瞭に残る。

本土産磁器（610 ～ 620）　610 ～ 613 は碗で、610 は肥前、611 ～ 613 は肥前系波佐見である。614 ～ 617 は皿で、614、615 は肥前系波佐見、616 ～ 618 は肥前である。619 と 620 は薩摩の小碗と碗である。

本土産陶器（621、622、624、626 ～ 640）　621、622、624、626 は碗で、621 は肥前系唐津、622、624 は肥前系内野山、626 は色絵である。627、628 は皿、629 は鉢でいずれも肥前系唐津である。630

～ 632 は備前の擂鉢、633 は関西系と考えられる擂鉢である。634 ～ 639 は薩摩で、634 ～ 637 は壺、638 は急須の蓋、639 は土管と考えられる。640 は瀬戸・美濃の灰吹きであり、口縁部には煙管の灰を落とす際の叩打痕があり、底部には穿孔がある。

沖縄産施釉陶器（641 ～ 686）　641 ～ 645 は碗 A 類、646、647 は碗 B － 1 類、648 は碗 B － 2 類、649 は碗 C 類、650 は碗 C － 1 類、651 は碗 C － 2 類、652、653 は小碗 C － 1 類、654 は小碗 C － 2 類、655 は小碗 C － 3 類、656 は小碗 D 類、657 ～ 659 は皿、660 ～ 667 は鉢、668、669 は大型の急須（アンビン）、670 は渡名喜瓶と称される瓶、671 ～ 673 は瓶子、674、675 は小型の壺（油壺）、676 は香炉、677、678 は鍋、679 ～ 681 は鍋の蓋、682 は急須の蓋、683 ～ 685 は火炉、686 は陶管である。
初期沖縄産無釉陶器（699、703）　699 は壺で外面胴下部に珊瑚目、また外底に貝目と思われるものがみられる。703 は火炉で、両面に泥釉が施され、焼き膨れが目立つ。
沖縄産無釉陶器（687 ～ 708）　687 は灯明皿、688、689 は鉢、690、691 は擂鉢、692 ～ 694 は瓶、695、696 は急須、697、698 は壺、700 ～ 702 は甕、704 は火取、705 ～ 707 は錘、708 は蔵骨器と考えられる。
本土産瓦質土器（709）　口縁部は逆「L」字状を呈し、内面及び口唇部に煤が付着しており、火鉢と考えられる。
宮古式土器（710・711）　710 は器面が白色を呈し、711 は器面が黒色で、口縁部は「く」の字状に屈曲する。いずれも壺の口縁部である。
硬質土器（712 ～ 714）　本土産焙烙で、いずれも器面に煤の付着がみられる。
本土産土師質土器（715）　土師質を呈する皿の口縁部が 1 点出土した。本土産と考えられる。
石製品（716）　硯の破片である。赤間硯か。
円盤状製品（718 ～ 721）　718 と 719 は白磁、720 と 721 は沖縄産無釉陶器を素材とするもの。
煙管（722 ～ 725）　煙管はすべて雁首が出土している。722、723 は沖縄産無釉陶器製、724 は沖縄産施釉陶器製、725 は瑠璃釉磁器製である。
銭貨（726、727）　727 は南宋銭の淳熙元寶と考えられる。726 は寛永通寶である。
金属製品（728）　把手金具と考えられる。
高麗系瓦（729）　平瓦であり、凸面に羽状文がみられる。
明朝系瓦（731 ～ 734）　すべて平瓦であり、734 の凸面には「大」の字を圏線で囲むタイプの刻印がみられる。
明朝系瓦 B タイプ（730）　軒平瓦で、瓦当部には唐草文。
板状の瓦製品（735、736）　735 は調整が丁寧なタイプ、736 は調整が粗いタイプである。
塼（737）　雲形文様が残る赤色系の有文塼。

第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧１

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 62 図 図版 66	490	青磁	碗	口	Ⅳ	(15.4)	－	－	素地は灰色。釉は貫入が入る透明なオリーブ灰色を両面に施釉。	撹乱
	491	青磁	碗	口	Ⅴ	－	－	－	素地は灰白色。釉は気泡が入る不透明な明オリーブ灰色を両面に施釉。	撹乱
	492	青磁	碗	口	Ⅴ	－	－	－	素地は灰白色。釉は貫入が入る半透明のオリーブ灰色を両面に厚く施釉。	撹乱
	493	青磁	碗	口	Ⅴ－ｂ	－	－	－	素地は灰白色。釉は気泡や貫入が入る半透明の淡い緑色を両面に施釉。外面蓮弁文。	撹乱
	494	青磁	碗	口	Ⅴ－ｃ	(14.0)	－	－	素地は灰白色。釉は貫入が入る透明なオリーブ灰色を両面に施釉する。口縁部にヘラ描きによる雷文。	撹乱
	495	青磁	碗	口	Ⅵ－ｂ	－	－	－	素地は灰色。釉は透明なオリーブ灰色を両面に施釉。外面に細蓮弁文。	撹乱
	496	青磁	碗	口	Ⅵ－ｂ	(14.0)	－	－	素地は灰白色。釉は半透明な灰オリーブ色を両面に施釉する。胴部に細蓮弁文。内底に圏線。	撹乱
	497	青磁	碗	底	Ⅵ－ｂ	－	(4.7)	－	素地は灰白色。釉は透明なオリーブ灰色を両面に施釉し、外底を蛇の目釉剥ぎ。外面に細蓮弁文と圏線、内底にラマ式蓮弁と「宝」字の印花。	撹乱
	498	青磁	碗	底	Ⅵ－ｂ	－	(4.9)	－	素地は灰白色で一部にぶい橙色。釉は半透明な灰オリーブ色を、内面から高台途中まで施釉。胴部に細蓮弁文。	撹乱
	499	青磁	碗	口～底	Ⅵ－ｂ	(6.8)	(3.4)	5.1	素地は浅橙色。釉は貫入が入る透明な明黄褐色を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。胴部に細蓮弁文。	撹乱
	500	青磁	碗	底	Ⅵ－ｂ	－	3.4	－	素地は浅橙色。釉は貫入が入る透明な明黄褐色を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。胴部に細蓮弁文。	撹乱
	501	青磁	碗	口	Ⅵ－ｃ	(16.0)	－	－	素地は明赤褐色。釉は気泡が入る半透明なオリーブ灰色を両面に施釉。内外面に雷文と草花文。	撹乱
	502	青磁	碗	底	Ⅵ	－	4.7	－	素地は灰白色。釉は透明で貫入の入る明オリーブ色を両面に施釉。高台と畳付露胎。	撹乱
	503	青磁	碗	底	幅広高台碗	－	(下部) 6.4	－	重ね焼きした２個体が釉着した状態。素地は灰白色。釉は透明な灰白色を両面に施釉し、内底は蛇の目釉剥ぎ。福建産。	撹乱
第 63 図 図版 66	504	青磁	皿	底	Ⅳ’	－	5.65	－	素地は灰色。釉はオリーブ灰色で両面に施釉し、外底は露胎、内底は釉剥ぎ。内底中心に小孔あり。	２地点 E11 撹乱
第 63 図 図版 67	505	青磁	皿	口～底	Ⅴ－１ａ	(12.4)	(6.4)	3.6	素地は灰白色。釉は光沢があり気泡の入る暗オリーブ色を両面に厚く施釉し、外底を蛇の目釉剥ぎ。内底に印花文。	撹乱
	506	青磁	皿	底	Ⅴ－１ｂ	－	6.0	－	素地は灰白色。釉は気泡が入る透明なオリーブ灰色を両面に施釉し、外底を蛇の目釉剥ぎ。腰部に蓮弁文。内底に唐草文及び印花文。腰折皿。	１地点 撹乱
	507	青磁	皿	口～底	Ⅴ	(11.8)	(5.8)	2.9	素地は灰白色。釉は気泡が入る半透明のオリーブ灰色を畳付まで施釉し、外底は露胎で畳付を釉剥ぎ。内面に唐草文。内底に圏線。稜花皿。	撹乱
	508	青磁	皿	口～底	Ⅴ	(10.7)	5.4	3.75	素地は灰色で焼成不良。釉はオリーブ灰色で、外底は露胎だが一部に釉が掛かる。粗い貫入が入る。内底に印花文、口縁内面に弧状文。	２地点 E11 撹乱
	509	青磁	皿	口	Ⅴか	(9.0)	－	－	素地は灰白色。釉は透明な淡い緑色を両面に施釉。口縁部と内底に圏線。	撹乱
	510	青磁	皿	口～底	Ⅵ	(4.6)	(8.1)	2.3	素地は灰白色。釉は貫入が入る淡い緑色を両面に施釉。内底に圏線。	撹乱
	511	青磁	皿	口～底	Ⅵ	(9.4)	(4.8)	2.7	素地は灰白色。釉は貫入が入る透明な淡い緑色を両面に施釉し、外底を蛇の目釉剥ぎ。内面の胴部に細蓮弁文と圏線。畳付に目痕。	撹乱
	512	青磁	盤	口	Ⅰ－ａ	－	－	－	素地は灰白色。釉は貫入が入るオリーブ灰色を両面に厚く施釉。胴部内面に櫛描き蓮弁文。	撹乱
	513	青磁	盤	底	Ⅰ―ａ	－	(10.0)	－	素地は灰白色。釉は不透明な灰白を両面に施釉し、外底を釉剥ぎ。内底に圏線と蓮弁文。	撹乱

第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 2

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 63 図 図版 67	514	青磁	盤	底	Ⅱ	－	（19.0）	－	素地は灰白色。釉は濃緑色を両面に厚く施釉。外底を蛇の目釉剥ぎ。内底に圏線と草花文。	撹乱
図版 67	515	青磁	大鉢	胴	－	－	－	－	素地は灰白色。釉はオリーブ灰色。内面は草花文、外面はラマ式蓮弁と草花文。官窯か。15 c 初頭。	撹乱
第 63 図 図版 67	516	青磁	香炉	口～底	－	（6.7）	（3.8）	5.1	素地は灰白色。釉は半透明なオリーブ灰色を両面に施釉し、口縁部内面と畳付を釉剥ぎ。腰に脚の略化した突起を貼り付ける。	撹乱
第 64 図 図版 68	517	白磁	碗	口～底	C－3	（16.1）	7.4	（6.0）	素地は灰白色で細かい貫入が入る。釉は透明で、外面は胴部途中まで、内底は蛇の目釉剥ぎ。	1 地点 D7 撹乱
	518	白磁	碗	口	C－3	（16.0）	－	－	素地は灰白色。釉は細かい貫入が入る半透明を両面に施釉。福建産。	撹乱
	519	白磁	皿	口	D	（13.6）	－	－	素地は灰白色で貫入が入る。釉は灰白色で透明。福建産。	1 地点 D7 撹乱
	520	白磁	皿	底	D－Ⅰ3	－	（4.8）	－	素地は灰白色。釉は透明な白色を両面に施釉し、内底を蛇の目釉剥ぎ。明代で福建産。	撹乱
	521	白磁	小碗	底	D－Ⅰ3	－	3.95	－	素地は白色。釉は透明な白色を内面から外面の胴部にかけて施釉し、内底は蛇の目釉剥ぎ。福建産。	撹乱
	522	白磁	皿	口	－	－	－	－	稜花皿。素地は淡黄色。釉は透明な白色を両面に施釉。ヘラ状の工具で口縁部を削って整形。明代で福建産。	撹乱
	523	白磁	小杯	口～底	－	（4.8）	（2.5）	3.75	素地は白色。釉は透明で両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。景徳鎮窯。	撹乱
	524	白磁	杯	口	－	－	－	－	素地は白色。釉は灰白色で透明で両面に施釉。口縁部をつまみ、稜花のように成形。景徳鎮窯。	3 地点 J13 撹乱
	525	白磁	碗	底	－	－	（5.1）	－	素地は白色。釉は透明で内面から外面の胴部にかけて薄く施釉。外底にカンナの痕が残る。清代で景徳鎮窯。	撹乱
	526	白磁	皿	口～底	E	（15.0）	（8.3）	3.0	素地は浅黄橙色。釉は透明で両面に薄く施釉し、畳付は釉剥ぎ。明代で景徳鎮窯。	撹乱
	527	白磁	小碗	口～底	－	（8.6）	3.5	4.8	素地は白色。釉は透明で両面に施釉後、口唇部を釉剥ぎ、外底は露胎。18 c 後～ 19 c 前で徳化窯。	3 地点 H9 撹乱
	528	白磁	小碗	口～底	－	（8.0）	3.75	3.45	素地は白色。釉は透明で両面に施釉し、口唇部を釉剥ぎ。型成形。清代で徳化窯。	撹乱
	529	白磁	皿	口～底	－	（12.6）	（7.8）	2.65	素地は白色。釉は透明で両面に施釉後、口唇部を釉剥ぎ。徳化窯。	撹乱
	530	白磁	灯明具	底	－	－	3.4	－	素地は白色。釉は細かい貫入が入る半透明を両面に施釉。清代で徳化窯。	撹乱
	531	白磁	蓮華	－	－	－	－	－	素地は白色。釉は透明な青白色を両面に施釉。柄の先端は蝶形。	撹乱
	532	青花	碗	底	B	－	4.0	－	素地は白色。釉は透明で両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外面は腰部に唐草文と圏線。内底に二重の圏線と梅月文。15 c 中～ 15 c 後で景徳鎮窯。	撹乱
	533	青花	碗	底	B	－	（4.6）	－	素地は灰白色。釉は透明な青白色を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。胴部に唐草文と圏線、高台に圏線。内底に圏線と「福」字。15 c 中～ 15 c 後で景徳鎮窯。	撹乱
第 65 図 図版 69	534	青花	碗	底	C	－	－	－	素地は白色。釉は透明で両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外面の胴部に芭蕉文、腰部に圏線。高台に二重の圏線。内底に法螺貝文。16 c 前で景徳鎮窯。	撹乱
	535	青花	碗	底	－	（5.3）	－	－	素地は灰白色。釉は透明を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外面は胴部に白抜き牡丹文、高台に三重の圏線。内底は圏線内に白抜き牡丹文。15 c 後～ 16 c 後で景徳鎮窯。	撹乱
	536	青花	皿	口～底	B_1	（15.8）	（8.6）	2.9	素地は灰白色。釉は透明な青白色を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外面は圏線の間に渦状の牡丹唐草文。内面は口縁部に圏線、内底に圏線と亀文か。15 c 後～ 16 c 前で景徳鎮窯。	撹乱

第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 3

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 65 図 図版 69	537	青花	皿	口	B_1	(16.0)	－	－	素地は白色。釉は透明な青白色を両面に施釉。外面は口縁部に二重の圏線、胴部に唐草文、腰部に圏線。内面は口縁部に二重の圏線、内底に三重の圏線。15 c 後～ 16 c 前で景徳鎮窯。	撹乱
	538	青花	皿	口	B_1	(12.0)	－	－	素地は白色。釉は透明で両面に施釉。外面は口縁部下に圏線、胴部に牡丹唐草文。内面は口縁部に圏線、内底に玉取獅子文か。15 c 後～ 16 c 前で景徳鎮窯。	撹乱
	539	青花	皿	底	B_1	－	(6.4)	－	素地は灰白色。釉は透明な青白色を両面に施釉。外面は胴部に牡丹唐草文。内底に圏線と玉取獅子文。15 c 後～ 16 c 前で景徳鎮窯。	撹乱
	540	青花	皿	底	－	－	－	－	素地は灰白色。釉は透明な青白色で両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。内底に圏線と花卉文、鉄釉の魚文。16 c 前～ 16 c 中葉で景徳鎮窯。	撹乱
	541	青花	小鉢	口	－	－	－	－	素地は白色。釉は細かい貫入が入る透明を両面に施釉。外面は口縁部に二重の圏線、胴部に突帯状の稜と草花文。内面は口縁部に二重の圏線。16 c 後～ 17 c 前で景徳鎮窯。	撹乱
	542	青花	瓶	胴	－	－	－	－	素地は灰白色。釉は白色で外面を施釉。胴部に麒麟文。腰部に圏線とラマ式蓮弁文。15 c 中葉で景徳鎮窯。	撹乱
	543	青花	碗	口	－	(14.4)	－	－	青磁染付。素地は灰白色。釉は掛け分けで外面にオリーブ灰色、内面に透明を施釉し、外底は露胎。口錆。外面は圏線と草花文、内面は口縁部下に圏線、内底に圏線と花弁文。15 c 中葉で景徳鎮窯。	撹乱
	544	青花	碗	口	－	(15.4)	－	－	素地は灰白色。釉は灰白色で両面に施釉。外面は寿字と花文。内面は口縁部下に圏線、内底に二重の圏線。16 c 末～ 17 c 前で漳州窯。	撹乱
	545	青花	碗	底	－	－	5.5	－	素地は灰白色。白化粧し、釉は透明な灰白色を両面に施釉。畳付に砂目付着。16 c 末～ 17 c 前で漳州窯。	撹乱
第 66 図 図版 70	546	青花	碗	口	－	(11.6)	－	－	素地は白色。釉は透明な青白色を両面に施釉。外面は波文と魚文。清代で景徳鎮窯。	3 地点 J13 撹乱
	547	青花	碗	口	－	(11.2)	－	－	素地は灰白色。釉は透明で両面に施釉。外面の口縁部下に圏線と「金」字。内面に圏線。17 c 代で景徳鎮窯。	撹乱
	548	青花	碗	口	－	－	－	－	素地は白色。釉は透明で両面に施釉。外面は口縁部下に二重の圏線と草花文。内面は口縁部下に二重の圏線、内底に二重の圏線。17 c 代で景徳鎮窯。	撹乱
	549	青花	皿	口～底	－	－	－	－	素地は白色。釉は透明な青白色で両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。外面にラマ式蓮弁文、内面の区画内に草花文と内底に花鳥文か。畳付に白砂付着か。17 c 前半で景徳鎮窯。	1 地点 D6 撹乱 D8 撹乱
	550	青花	皿	口～底	－	－	－	－	素地は白色。釉は白色で両面に施釉し、口唇部は釉剥ぎ。内底に二重の圏線。型打ち成形による菊花皿。清代で景徳鎮窯。	撹乱
	551	青花	小杯	口～底	－	(5.2)	19	3.3	素地は白色。釉は透明で胴部外面から内底にかけて施釉し、畳付と外底が露胎。外面は口唇部の圏線と胴部に略化した唐草文。内底は圏線内に文様。清代で景徳鎮窯。	撹乱
	552	青花	小杯	底	－	－	－	－	素地は白色。釉は透明な青白色で両面に施釉し、外底は露胎、畳付は釉剥ぎ。内底に文様あり。17 c で景徳鎮窯	1 地点 D6 撹乱
	553	青花	小杯	底	－	－	(2.7)	－	素地は白色。釉は光沢のある透明で両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外底に銘あり。内底は龍文か。17 c 代で景徳鎮窯。	撹乱
	554	青花	小杯	底	－	－	(2.0)	－	素地は白色。釉は透明で両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外面は松文か。17 c 代で景徳鎮窯。	撹乱
	555	青花	小壺	口	－	(3.6)	－	－	素地は白色。釉は透明な青白色で両面に施釉。外面には風景文か。清代で景徳鎮窯。	3 地点 H9 撹乱
	556	青花	蓮華	－	－	－	－	－	素地は白色。釉は透明な青白色を全体に施釉するが、被熱のためかやや黒ずむ。内面に梅花文。清代で景徳鎮窯か。	撹乱
	557	青花	碗	口	－	(13.1)	－	－	素地は灰白色。釉は透明な青白色を胴部の両面に施釉し、底部は露胎。外面に菊花文と唐草文。17 c 後～ 18 c 前で福建・広東系。	撹乱
	558	青花	碗	口	－	－	－	－	素地は灰白色。釉は透明な青白色で両面に施釉し、内底は釉剥ぎ。外面に花文。福建・広東系で清代。	3 地点 I11 撹乱

第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 4

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 66 図 図版 70	559	青花	碗	口	－	(14.8)	－	－	素地は灰白色。釉は透明で両面に施釉し、内底は釉剥ぎ。外面に草花文。清代で福建・広東系	3 地点 J13 撹乱
	560	青花	碗	底	－	－	(7.7)	－	素地は灰白色。釉は透明な青白色を薄く両面に施釉し、内底は釉剥ぎ、畳付は釉剥ぎ。外面に文様があるが発色は悪い。内底に重ね焼きの目痕あり。清代で福建・広東系。	2 地点 I11 撹乱
	561	青花	碗	底	－	－	(7.9)	－	素地は白色。釉は透明な青白色を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。内底は蛇の目釉剥ぎ。外面に唐草文。17 c 後～ 18 c 前で福建・広東系。	撹乱
	562	青花	碗	口～底	－	(15.0)	6.6	8.0	素地は白色。釉は透明な青白色を両面に施釉し、畳付は釉剥ぎ。外面は白抜きの菊唐草文、外底は圏線内に「合七口」、内面口縁部には白抜きの菊文、内底は草花文。18 c ～ 19 c で福建産。	3 地点 J13 撹乱
第 67 図 図版 71	563	青花	碗	口～底	－	(15.1)	(7.2)	6.5	素地は灰白色。釉は透明な青白色を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。内底は蛇の目釉剥ぎ。外面に丸文と花卉文。18 c 後～ 19 c で徳化窯。	撹乱
	564	青花	碗	口～底	－	(12.6)	(5.4)	5.9	素地は灰白色。釉は透明な青白色を両面に施し、畳付を釉剥ぎ。外面は圏線の間に山水文。内面は口縁部下に圏線、内底に草文かと圏線。外底に圏線と銘。18 c 後～ 19 c で徳化窯。	撹乱
	565	青花	碗	口～底	－	(13.2)	(6.8)	5.5	素地は灰白色。呉須の発色不良。釉は貫入が入る透明を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外面は口縁部下に圏線と草花文、腰部に略化した蓮弁文。内面は口縁部下に圏線、内底に二重の圏線。18 c 後～ 19 c で徳化窯。	撹乱
	566	青花	碗	口	－	(15.0)	－	－	素地は灰白色。釉は透明で両面に施釉。口錆。外面は圏線と山水文。内面は口縁部下に圏線。18 c 後～ 19 c で徳化窯。	撹乱
	567	青花	碗	底	－	－	(4.8)	－	素地は白色。釉は透明で両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外面は胴部に鳳凰文かと圏線、高台に圏線。内面は内底に圏線。18 c 後～ 19 c で徳化窯。	撹乱
	568	青花	小碗	口～底	－	(8.6)	(4.8)	4.3	素地は白色。釉は貫入が入る透明を両面に薄く施釉し、口唇部を釉剥ぎ。外面は口縁部下に圏線、胴部に牡丹唐草文、高台に圏線。内面は口縁と内底に圏線。19 c 代で徳化窯。	撹乱
	569	青花	小碗	口	－	(8.2)	－	－	素地は灰色。釉は透明を両面に施釉し、口唇部を釉剥ぎ。型成形。外面は口縁部下に二重の圏線と「寿」字、花卉文。内面は口縁部下と内底に二重の圏線。19 c 代で徳化窯。	撹乱
	570	青花	皿	－	－	－	－	－	素地は白色。釉はやや不透明な青白色で両面に施釉し、口唇部は釉剥ぎ。内底に草花文か。清代で徳化窯。	2 地点 F13 撹乱
	571	青花	皿	底	－	－	(8.8)	－	素地は白色。釉は透明で両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外底に二重の圏線。内面は、内底に圏線と菊花唐草文。18 c 後～ 19 c で徳化窯。	撹乱
	572	青花	皿	底	－	－	(8.0)	－	素地は白色。釉は透明で両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外面に雲文？、外底に銘あり。内底にも文様が描かれるが小片のため詳細不明。18 c 後～ 19 c で徳化窯。	撹乱
	573	青花	皿	口～底	－	(16.5)	(9.6)	3.45	素地は灰白色。釉は透明な青白色を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外面は口縁部下に圏線と鳥文か。内面は口縁部下に圏線と草花文、内底に圏線と草花文。外底に圏線。18 c 中～ 19 c で徳化窯。	撹乱
第 68 図 図版 72	574	中国産 褐釉 陶器	壺	口	－	(18.0)	－	－	素地は褐灰色で白色粒や黒褐色粒を含む。釉は黒褐色を両面に施釉。	3 地点 H8 撹乱
	575	中国産 褐釉 陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は暗赤褐色。釉は暗褐色で両面に施釉。	撹乱
	576	中国産 褐釉 陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は橙色。釉は褐色で両面に施釉。肩部にヘラによる圏線。	2 地点 F11 撹乱
	577	中国産 褐釉 陶器	壺	底	－	－	－	－	素地は灰色で黒色粒を含む。釉は黒褐色で外面胴部途中まで施釉。	2 地点 F11 撹乱
	578	中国産 褐釉 陶器	壺	底	－	－	－	－	素地は灰白色。釉は黒褐色で胴部の両面に施釉し、外底は露胎。外底に目跡。	撹乱
	579	中国産 褐釉	壺	底	－	－	－	－	素地は灰黄色で白色鉱物を含む。釉は黒褐色で両面に施釉、底部近くは一部露胎。内底に胎土目？と外底には砂付着。	3 地点 H9 撹乱
	580	中国産 褐釉 陶器	壺	底	－	－	(11.8)	－	素地は灰色で白色粒を含む。釉は黒褐色で口縁部から胴部に施し、外底は露胎。	撹乱

第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 5

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 68 図 図版 72	581	中国産 褐釉 陶器	小壺	口	－	(10.8)	－	－	素地は鈍い褐色で白色粒や赤色粒を含む。釉は半透明の黒褐色から極暗褐色で、外面の胴部から内面の頸部まで施釉。洪塘窯。	撹乱
	582	中国産 褐釉 陶器	鉢	口	－	－	－	－	素地は黒灰色で一部暗灰黄色。釉は黒褐色を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。	撹乱
	583	中国産 褐釉 陶器	鉢	口	－	－	－	－	素地は浅黄橙色。釉は黒褐色で両面に施釉し、口唇部は釉剥ぎ。	3 地点 J13 撹乱
	584	中国産 褐釉 陶器	鉢	口	－	(18.2)	－	－	素地は灰白色で一部暗灰黄色。釉は黒褐色で、口唇部を釉剥ぎ。	撹乱
第 69 図 図版 73	585	中国産 無釉陶 器	鉢	口	－	－	－	－	素地は灰白色で白色粒を含む。無釉。	2 地点 F11 撹乱
	586	中国産 無釉 陶器	鉢	口	－	－	－	－	素地は橙色で白色粒や黒色粒を含む。内面口縁部に段を有す。無釉。	2 地点 F11 撹乱
	587	中国産 無釉 陶器	鉢	口	－	－	－	－	素地は灰白色で白色粒を含む。器面は赤褐色を呈する。	撹乱
	588	中国産 無釉 陶器	擂鉢	底	－	－	－	－	素地は褐色で白色粒を含む。櫛目の重なりあり。	3 地点 I11 撹乱
	589	中国産 無釉 陶器	壺	口	－	(13.0)	－	－	素地は浅黄橙色で雲母や赤色粒を含む。外面に煤付着。	3 地点 H9 撹乱
	590	色絵	碗	口	－	－	－	－	素地は灰白色。釉は明青灰色を両面に施釉。外面に色絵で雷文か。景徳鎮窯。	撹乱
	591	色絵	碗	底	－	－	(7.0)	－	素地は灰白色。釉は透明を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。腰部に色絵で蓮弁文。18 c 後半で徳化窯か。	撹乱
	592	色絵	小碗	口	－	(9.2)	－	－	素地は白色。釉は透明で両面に施釉。外面に牡丹文。18 c 後～ 19 c 前で徳化窯。	3 地点 H9 撹乱
	593	色絵	小碗	口	－	(8.9)	－	－	素地は白色。釉は透明。外面に青で草花文。18 c 後～ 19 c 前で徳化窯。	3 地点 H9 撹乱
	594	色絵	皿	口～底	－	(12.4)	(7.4)	3.0	素地は白色。釉は透明を両面に施釉し、口唇部を釉剥ぎ。内底に色絵で草花文。19 c 代で徳化窯。	撹乱
	595	瑠璃釉	碗	口	－	(10.4)	－	－	素地は白色。釉は外面に瑠璃釉、内面は透明釉を掛け分け。明代で景徳鎮窯。	撹乱
	596	瑠璃釉	皿	底	－	－	－	－	素地は白色。釉は外面が半透明の瑠璃釉、内面は透明釉を掛け分け。明代。	撹乱
	597	瑠璃釉	小杯	口	－	(4.0)	－	－	素地は白色。釉は外面が半透明の瑠璃釉、内面は透明釉を掛け分けし、口唇部を釉剥ぎ。18 c 後～ 19 c 前で徳化窯。	撹乱
	598	黒釉 陶器	碗	口	－	－	－	－	素地は灰白色。釉はマットで赤褐色と黒色を二度掛けし、両面に施釉。	3 地点 J13 撹乱
	599	黒釉 陶器	碗	口	－	－	－	－	素地は灰白色。釉はややマットな明褐色と黒色を二度掛けし、両面に施釉。	撹乱
	600	黒釉 陶器	碗	口	－	－	－	－	素地は灰白色。釉はややマットな明褐色と黒色を二度掛けし、両面に施釉。	撹乱
	601	黒釉 陶器	碗	底	－	－	4.4	－	素地は灰白色。高台外面は灰黄色。釉は両面ともマットな褐色と黒色を二度掛けし、外面は胴部まで施釉して、高台は露胎。	撹乱
	602	三彩	鴨若しくは鶴形水注	口	－	(4.1)	－	－	素地は浅黄橙色。釉は透明で口縁部に緑釉、頸部に黄釉。口縁部は上位に蓮弁文と圏線、下位に逆さ蓮弁文。中国産。	撹乱
	603	翡翠釉	皿	口～底	－	(11.6)	(6.8)	1.8	素地は灰白色で硬質。釉は残存せず、剥げ落ちた可能性がある。内面は黒色。口縁部は稜花状。内面は雷文を組み合わせた文様を密に施す。中国産。	撹乱

第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 6

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 70 図 図版 74	604	タイ産施釉陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は暗赤褐色で白色粒や黒色粒を含む。釉は黒色で両面に施釉する。シーサッチャナライ窯。	3 地点 I11 撹乱
	605	タイ産半練土器	壺	口	－	(12.4)	－	－	素地は灰色で黒色粒や赤色粒を含み、表面は橙色。蓋との接地部は沈線状の凹みを巡らす。	撹乱
	606	タイ産半練土器	蓋	－	－	(12.6)	－	－	素地は灰白色で白色粒や赤色粒を含み、器面は黄橙色。口唇部を内側に折り返す。	撹乱
	607	タイ産鉄絵	合子の蓋	口	－	(11.2)	－	－	素地は灰白色。釉は透明な白色を外面に施し、口唇部釉剥ぎ。外面に縦線と横線を組み合わせた文様。16 c 代でシーサッチャナライ窯。	撹乱
	608	産地不明	蓋か	－	－	(19.0)	－	－	素地は灰白色で赤色粒が混ざる。硬質。上面は工具ナデ、下面はケズリや工具ナデで調整。産地不明。	撹乱
	609	産地不明	蓋か	－	－	(21.0)	－	－	素地は灰白色で黒色粒や白色粒が混じる。硬質。上下面ともケズリと工具ナデで調整され、特に下面に調整痕が残る。産地不明。	撹乱
第 71 図 図版 75	610	本土産磁器	碗	口	－	(9.8)	－	－	素地は灰白色。釉は透明を両面に施釉。外面に松の印文。17 c 後～ 18 c 後で肥前。	撹乱
	611	本土産磁器	碗	底	－	－	(5.7)	－	素地は灰白色。釉は透明で両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。腰部と高台に圏線。内底に二重圏線と不明文。19 c 代で波佐見。	撹乱
	612	本土産磁器	碗	口～底	－	(11.8)	(4.8)	5.05	素地は灰白色で緻密。釉は透明な青白色を両面に施釉し、内底は蛇の目釉剥ぎ、畳付は釉剥ぎ。外面に草花文。内底と畳付に砂付着。波佐見。	3 地点 I11 撹乱
	613	本土産磁器	碗	口	－	(11.4)	－	－	素地は灰白色。釉は灰白色で両面に施釉。外面に蔓草文。18 c 前半で波佐見。	撹乱
	614	本土産磁器	皿	口	－	(11.8)	－	－	素地は灰白色。釉は透明で両面に施釉。内面に二重斜格子文と圏線。18 c 中～ 18 c 後で波佐見。	撹乱
	615	本土産磁器	皿	底	－	－	4.7	－	素地は灰白色。釉は透明なオリーブ灰色を両面に施釉し、内底を蛇の目釉剥ぎ、畳付を釉剥ぎ。内底に二重圏線、胴部内面に二重斜格子文。18 c 中～ 18 c 後で波佐見。	撹乱
	616	本土産磁器	皿	口	－	－	－	－	素地は白色。釉は青白色を両面に施釉。轆轤成形後に型押し。口錆。外面に唐草文。内面は区画内に草花文。肥前。	撹乱
	617	本土産磁器	皿	底	－	－	(9.2)	－	素地は白色。釉は透明を両面に施釉。外面は胴部に唐草文、腰部と高台に圏線。内底に青海波、内底に圏線と環状松竹梅か。外底は蛇の目凹形高台。18 c 中～後で肥前。	撹乱
	618	本土産磁器	皿	底	－	(9.8)	－	－	素地は白色。釉は透明を両面に施釉。外面は圏線区画内に○×文。内面は区画文の中に文様、内底は花菱と環状松竹梅文、外底は蛇の目凹形高台。18 c 中～ 18 c 後で肥前。	撹乱
	619	本土産磁器	小碗	口	－	－	－	－	素地は灰白色。釉は透明を両面に施釉。外面に圏線と花唐草文。18 c 代で薩摩。	撹乱
	620	本土産磁器	碗	底	－	－	4.4	－	素地は白色。釉は透明な青白色を両面に施釉し、内底を蛇の目釉剥ぎ、畳付を釉剥ぎ。内底は釉剥ぎの後、耐火土を施す。腰部に草花文。外底に草文。19 c 代で薩摩。	撹乱
第 72 図 図版 76	621	本土産陶器	碗	底	－	－	4.5	－	素地は浅黄橙色で一部橙色。釉は一部白色の透明釉を内面から外面の胴部まで施釉し、高台は露胎。16 c 末～ 17 c 前で唐津。	撹乱
	622	本土産陶器	碗	口	－	－	－	－	素地は灰白色。釉は外面に銅緑釉、内面は貫入が入る透明釉を掛け分けし、外面は胴部まで施釉。17 c 後～ 18 c 前で内野山。	撹乱
	624	本土産陶器	碗	底	－	－	4.8	－	素地は灰白色で一部浅黄橙色。釉は銅緑釉を両面に施釉し、高台は露胎。内野山。	撹乱
	626	本土産陶器	碗	口	－	(9.4)	－	－	素地は暗灰黄色。釉は明緑灰色で貫入が入る。外面に色絵で草花文か。	3 地点 I11 撹乱
	627	本土産陶器	皿	底	－	－	(4.4)	－	素地は灰色で白色粒を含む。釉は透明な黄褐色で両面に施釉し、外面は胴部途中まで。内底に鉄絵草花文。外面に重ね焼きの目痕あり。17 c 前～ 17 c 中葉で唐津。	3 地点 J13 撹乱
	628	本土産陶器	皿	底	－	－	(4.4)	－	素地は鈍い橙色で白色粒や黒色粒、赤色粒を含む。釉は透明なオリーブ褐色を両面に施釉。内底と底部に目痕。ロクロ整形で底部糸切り。18 c 代で唐津。	撹乱

第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 7

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 72 図 図版 76	629	本土産陶器	鉢	底	－	7.5	－	－	素地は鈍い黄橙色で白色粒や黒色粒を含む。釉は透明なオリーブ褐色で両面に施釉し、外面は胴部途中まで、内底は蛇の目釉剥ぎ後に耐火土を塗布。内面に白土による羽状文を施文。畳付と内底に重ね焼きの痕あり。18 c 末～ 19 c 前で唐津。	3 地点 I11 撹乱
	630	本土産陶器	擂鉢	口	－	－	－	－	素地は灰色でやや大粒の白色の砂粒を含む。器面は暗赤褐色。高台内の削り残しは顕著ではない。口縁部下に鍔状の突帯。備前。	撹乱
	631	本土産陶器	擂鉢	口	－	－	－	－	素地は灰色でやや大粒の白色や赤色の砂粒を含む。器面は灰色～暗赤褐色。口縁部は断面三角形状に張り出す。櫛目の重なりあり。備前。	撹乱
	632	本土産陶器	擂鉢	口	－	－	－	－	素地は灰色でやや大粒の白色や赤色の砂粒を含む。器面は灰色～暗赤褐色。口縁部は断面三角形状に張り出す。備前。	撹乱
	633	本土産陶器	擂鉢	底	－	－	（9.2）	－	素地は暗赤褐色。内面は約 11 本で一単位の櫛目が密に施される。底部糸切り。関西。	撹乱
第 73 図 図版 77	634	本土産陶器	壺	口	－	－	－	－	素地は外面側が灰色、内面側が橙色で白色の砂粒を含む。釉は内外面に土灰釉。口唇部と内面の頸部を釉剥ぎ。薩摩。	撹乱
	635	本土産陶器	壺	底	－	－	（9.0）	－	素地は黒褐色で白色粒を含む。釉は土灰釉を両面に施釉。内面にロクロ痕が残る。薩摩。	撹乱
	636	本土産陶器	壺	底	－	－	－	－	素地は灰色で 2mm 以下の白色の砂粒が混じる。釉は黒褐色。内面にロクロ痕が残る。薩摩。	撹乱
	637	本土産陶器	壺	底	－	－	－	－	素地は暗赤褐色で大粒の白色粒や赤色粒を含む。釉はオリーブ黒色を両面に施釉。内面に石灰質が付着。薩摩。	撹乱
	638	本土産陶器	蓋	撮～袴	－	7.65	5.0	2.9	素地は灰色で白色粒を含む。釉は褐色で外面のみ施釉。撮み近くに棒状の物で外から穿孔。薩摩。	3 地点 H9 撹乱
	639	本土産陶器	土管	口	－	（22）	－	－	素地は赤灰色で白色粒や黒色粒を含む。釉は黒褐色で外面に施釉し、一部内面にも釉付着。外面に石灰分が付着している。薩摩。	3 地点 G・H8 撹乱
	640	本土産陶器	灰吹き	口～底	－	4.3	5.5	7.3	素地は灰白色。釉は灰釉を外面の胴部に施釉し、口唇部と腰部を釉剥ぎ。胴部に鉄絵で不明文。口縁部に羅宇による叩打痕、底部に穿孔有り。瀬戸・美濃。	3 地点 I11 撹乱
	641	沖縄産施釉陶器	碗	口～底	A	（13.4）	（6.6）	6.0	素地は灰白色。両面に灰釉を胴部途中まで施釉。	3 地点 H9 撹乱
	642	沖縄産施釉陶器	碗	口～底	A	（14.7）	（7.2）	6.1	素地は浅黄橙色。両面に灰釉を胴部途中まで施釉。	3 地点 H9 撹乱
	643	沖縄産施釉陶器	碗	口	A	－	－	－	素地は灰白色。釉は両面に灰釉を胴部途中まで施釉し、高台は露胎。	撹乱
	644	沖縄産施釉陶器	碗	底	A	－	（6.6）	－	素地は灰白色。釉は両面に灰釉を胴部途中まで施釉し、高台は露胎。	撹乱
第 74 図 図版 78	645	沖縄産施釉陶器	碗	底	A	－	（6.8）	3.4	素地は灰白色で絞まり良し。釉は両面に灰釉を胴部途中まで施釉し、高台は露胎。内底と畳付けに砂粒が付着。	撹乱
	646	沖縄産施釉陶器	碗	底	B－1	－	（5.6）	－	素地は灰褐色で一部鈍い赤褐色。釉は黒釉で内面から胴部外面まで施釉し、底部外面が露胎。	撹乱
	647	沖縄産施釉陶器	碗	底	B－1	－	（6.0）	－	素地は灰白色で一部浅黄橙色。釉は黒釉を両面に施釉。内底と畳付に白化粧土。内底に圏線と丸文。	撹乱
	648	沖縄産施釉陶器	碗	底	B－2	－	（7.2）	－	素地は灰白色。白化粧し、釉は褐釉を外面、透明釉を内面に施釉し、内底と畳付を釉剥ぎ。外面面取り。	撹乱
	649	沖縄産施釉陶器	碗	口～底	C	（14.8）	（5.9）	6.2	素地は灰白色。白化粧を施し、釉は透明釉を両面に施釉、内底と畳付を釉剥ぎ。内底に重ね焼きした碗の高台の破片が付着。	撹乱
	650	沖縄産施釉陶器	碗	底	C－1	－	5.8	－	素地は灰白色。白化粧し、釉は透明釉を両面に施釉後、内底と畳付を釉剥ぎ。内底に重ね焼きの痕有り。	撹乱

第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 8

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（cm） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 74 図 図版 78	651	沖縄産施釉陶器	碗	口～底	C－2	(12.6)	6.0	5.6	素地は灰色で一部橙色。白化粧し、釉は透明釉を両面に施釉後、内底と畳付を釉剥ぎ。外面に褐釉とコバルト釉で花文。	撹乱
	652	沖縄産施釉陶器	小碗	口～底	C－1	(8.3)	(3.7)	4.05	素地は灰白色で一部淡黄色。白化粧し、釉は透明で内底と畳付を釉剥ぎ。外面は面取りを施す。	撹乱
	653	沖縄産施釉陶器	小碗	口～底	C－1	(8.2)	3.7	4.3	素地は灰色。両面に白化粧し透明釉を施釉。畳付は釉剥ぎ。畳付に胎土目？付着。	1 地点 D7 撹乱
	654	沖縄産施釉陶器	小碗	口～底	C－2	(8.05)	3.0	3.9	素地は灰白色。白化粧し、釉は透明釉を両面に施釉後、内底と畳付を釉剥ぎ。内底に重ね焼きした小碗の高台の破片が付着。	撹乱
	655	沖縄産施釉陶器	小碗	底	C－3	－	(3.8)	－	素地は灰白色。釉は透明釉を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。コバルト釉で外面に草花文と二重圏線、内面に二重圏線と草文か。	撹乱
	656	沖縄産施釉陶器	小碗	口～底	D	(8.6)	(3.9)	3.75	素地は灰白色。釉は透明釉を両面に施釉し、畳付を釉剥ぎ。	撹乱
第 75 図 図版 79	657	沖縄産施釉陶器	皿	口	－	－	－	－	素地は灰白色。釉は透明釉を両面に施釉。内面に飴釉で草花文か。	撹乱
	658	沖縄産施釉陶器	皿	口～底	－	(16.0)	(8.0)	3.3	素地は灰白色で一部浅黄橙色。白化粧し、釉は透明釉を両面に施釉後、内底と畳付を釉剥ぎ。内面にコバルト釉で草花文。	撹乱
	659	沖縄産施釉陶器	皿	底	－	－	(8.0)	－	素地は浅黄色。白化粧し、釉は透明釉を両面に施釉後、内底と畳付を釉剥ぎ。外底が凹状になる。	撹乱
	660	沖縄産施釉陶器	鉢	口	－	(26.2)	－	－	素地は浅黄色。白化粧し、釉は掛け分けで飴釉を外面、透明釉を内面に施釉。	撹乱
	661	沖縄産施釉陶器	鉢	口～底	－	(28.1)	(10.6)	14.0	素地は灰白色で一部淡黄色。釉は飴釉を外面の胴部まで施釉。外面に丸箆で沈線を巡らす。内底付近はやや被熱している。	撹乱
	662	沖縄産施釉陶器	鉢	口	－	－	－	－	素地は灰白色で一部浅黄橙色。釉は飴釉を両面に施釉。	撹乱
	663	沖縄産施釉陶器	鉢	口	－	－	－	－	素地は灰白色。白化粧し、釉は掛け分けでコバルト釉を外面、透明釉を内面に施釉。内面にコバルト釉で圏線か。	撹乱
	664	沖縄産施釉陶器	鉢	底	－	－	9.7	－	素地は灰白色で一部淡黄色。白化粧し、釉は掛け分けで飴釉を外面、透明釉を内面に施釉後、内底を釉剥ぎ。	撹乱
	665	沖縄産施釉陶器	鉢	底	－	－	(12.4)	－	素地は淡黄色。白化粧し、釉は掛け分けで外面に飴釉、内面に透明を施釉後、内底を釉剥ぎ。高台は露胎。	撹乱
第 76 図 図版 80	666	沖縄産施釉陶器	鉢	底	－	－	－	－	素地は浅黄橙色。内面に白化粧し、釉は掛け分けで飴釉を外面、透明釉を内面に施釉。内底を蛇の目釉剥ぎ、高台と外底は露胎。外底に墨書。	撹乱
	667	沖縄産施釉陶器	鉢	底	－	－	(14.2)	－	素地は灰白色。器外面は明赤褐色を呈する。釉は黒釉を外面の口縁部から胴部に施釉し、内面と底部は露胎。	撹乱
	668	沖縄産施釉陶器	急須	底	－	－	(11.6)	－	素地は灰白色。釉は黒釉を両面に施釉し、内底と高台を釉剥ぎ。内底に輪状の白化粧土が残る。	撹乱
	669	沖縄産施釉陶器	急須	把手	－	－	－	－	把手。素地は灰白色。釉は黒釉。把手の断面形は、蒲鉾状に近い三日月形。	撹乱
	670	沖縄産施釉陶器	瓶	底	－	－	5.0	－	渡名喜瓶。素地は灰白色。頸部にトビガンナを施した後、褐釉を流し掛け。胴部は灰釉を施釉後、畳付を釉剥ぎ。畳付に砂粒が付着。	撹乱
	671	沖縄産施釉陶器	瓶	底	－	－	(7.2)	－	素地は浅黄橙色。白化粧し、釉は透明釉を両面に施釉後、畳付を釉剥ぎ。外面にコバルト釉と飴釉で草花文と蝶々文を描く。	撹乱
	672	沖縄産施釉陶器	瓶	口～底	－	4.6	8.0	22.0	素地は灰白色。釉は透明釉を外面に施釉し、脚台の裾を釉剥ぎ。外面に褐釉を流し掛け。	撹乱

第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 9

挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 76 図 図版 80	673	沖縄産 施釉 陶器	瓶	底	－	－	（7.6）	－	素地は灰白色で、一部浅黄色。釉は灰釉を外面に施釉。腰部に沈線を巡らせる。	撹乱
	674	沖縄産 施釉 陶器	小壺	胴	－	－	－	－	素地は灰白色。口縁部から肩部に白化粧し、釉は口縁から頸部に飴釉、灰釉を肩部以下に施釉し、畳付を釉剥ぎ。外底に砂が付着。	撹乱
	675	沖縄産 施釉 陶器	小壺	底	－	－	3.7	－	素地は黄橙色。釉は黒釉を口縁部から肩部に施釉し、腰部で釉剥ぎ。底部は露胎。	撹乱
	676	沖縄産 施釉 陶器	香炉	口	－	－	－	－	素地は灰白色。白化粧し、釉は銅緑釉を外面の口縁部から胴部に施釉。	撹乱
第 77 図 図版 81	677	沖縄産 施釉 陶器	鍋	口	－	（20.4）	－	－	素地は灰白色で白色粒や黒色粒を含む。釉は暗オリーブ色を外面に、褐釉を内面の底部～胴部途中まで施釉。	3 地点 H9 撹乱
	678	沖縄産 施釉 陶器	鍋	口	－	（14.2）	－	－	素地は褐灰色で一部鈍い褐色。釉は飴釉を両面に施釉し、蓋受けを釉剥ぎ。蓋受けには白化粧が薄く施される。	撹乱
	679	沖縄産 施釉 陶器	蓋	撮	－	撮 （6.7）	－	－	素地は鈍い橙色。釉は飴釉を両面とも胴部まで施釉。裏面は露胎。	撹乱
	680	沖縄産 施釉 陶器	蓋	口～底	－	（19.8）	－	－	素地は灰白色。両面に灰釉を胴部途中まで施釉。268 と口径が合う、鍋の蓋か。	3 地点 H9 撹乱
	681	沖縄産 施釉 陶器	蓋	口～胴	－	（18.8）	－	－	素地は灰白色。釉は灰釉を両面に施釉。	撹乱
	682	沖縄産 施釉 陶器	蓋	庇～袴	－	庇 （12.7）	袴（9）	－	素地は浅黄色。釉は黒釉を外面に施釉し、撮の周辺を蛇の目釉剥ぎ。釉剥ぎをした箇所に白化粧を施す。庇部内面に墨書か。	撹乱
	683	沖縄産 施釉 陶器	火炉	口	－	（12.8）	－	－	素地は褐灰色で一部鈍い褐色。釉は飴釉を両面に施釉し、口唇部を釉剥ぎ。外面に線彫。	撹乱
	684	沖縄産 施釉 陶器	火炉	底	－	－	（7.4）	－	素地は灰白色。腰部を白化粧し、釉は掛け分けで、灰釉を外面の胴部から内面の口縁部、呉須を外面の腰部に施釉。底部は露胎。	撹乱
	685	沖縄産 施釉 陶器	火炉	底	－	－	（13.0）	－	素地は灰白色で一部淡黄色。白化粧し、釉は掛け分けで外面に飴釉、内面に透明釉を施釉後、内底を釉剥ぎ。	撹乱
	686	沖縄産 施釉 陶器	陶管	口	－	（14.0）	－	－	陶管の口縁部。素地は赤橙色。釉は黒釉を両面に施釉。口縁部は粘土を貼り付けて成形。	撹乱
第 78 図 図版 82	687	沖縄産 無釉 陶器	灯明皿	口～底	－	（10.3）	（5.2）	2.65	素地は赤褐色。内面はロクロナデ。底部は篦切りの後、腰部をユビナデ。口唇部にススが付着。胴部にはナデによる凹部が巡る。	撹乱
	688	沖縄産 無釉 陶器	鉢	口	－	－	－	－	素地は赤黒色で一部赤褐色。マンガン釉を外面に施釉。器面は外面が黒褐色、内面は黒褐色と赤褐色。	撹乱
	689	沖縄産 無釉 陶器	鉢	口	－	－	－	－	素地は暗赤灰色。器面は内面が黒褐色、外面は白色みを帯びる。マンガン釉を両面に施釉。口縁部下に波状の沈線をめぐらす。	撹乱
	690	沖縄産 無釉 陶器	擂鉢	口	－	（29.2）	－	－	素地は明赤褐色。器面は橙から淡い橙色を呈する。外面にヘラナデの単位が残る。櫛目は密に施す。	撹乱
	691	沖縄産 無釉 陶器	擂鉢	口	－	－	－	－	素地は暗赤褐色。泥釉を両面に施釉。内面に櫛目あり。	撹乱
	692	沖縄産 無釉 陶器	瓶（徳利）	底	－	－	（9.0）	－	素地は赤褐色。器面は外面が暗赤褐色、内面が灰から暗灰色。肩部には自然釉が掛かる。外面にロクロナデの単位が残る。	撹乱
	693	沖縄産 無釉陶器	瓶	底	－	－	6.3	－	素地は鈍い赤褐色。泥釉を外面に施釉。口縁部から頸部は粘土帯を積み重ねた後、ロクロナデで成形。底部は篦切り。	撹乱
	694	沖縄産 無釉陶器	瓶か	底	－	－	（5.3）	－	素地は黒褐色で一部暗赤褐色。泥釉を外面に施し、畳付は釉剥ぎ。高台は削り出して成形か。	撹乱
	695	沖縄産 無釉陶器	急須	口～底	－	（9.2）	8.0	10.5	素地は赤褐色で赤色粒を含む。成形した身に円筒状の把手を付ける。ユビナデの痕が残る。	3 地点 J13 撹乱

第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 10

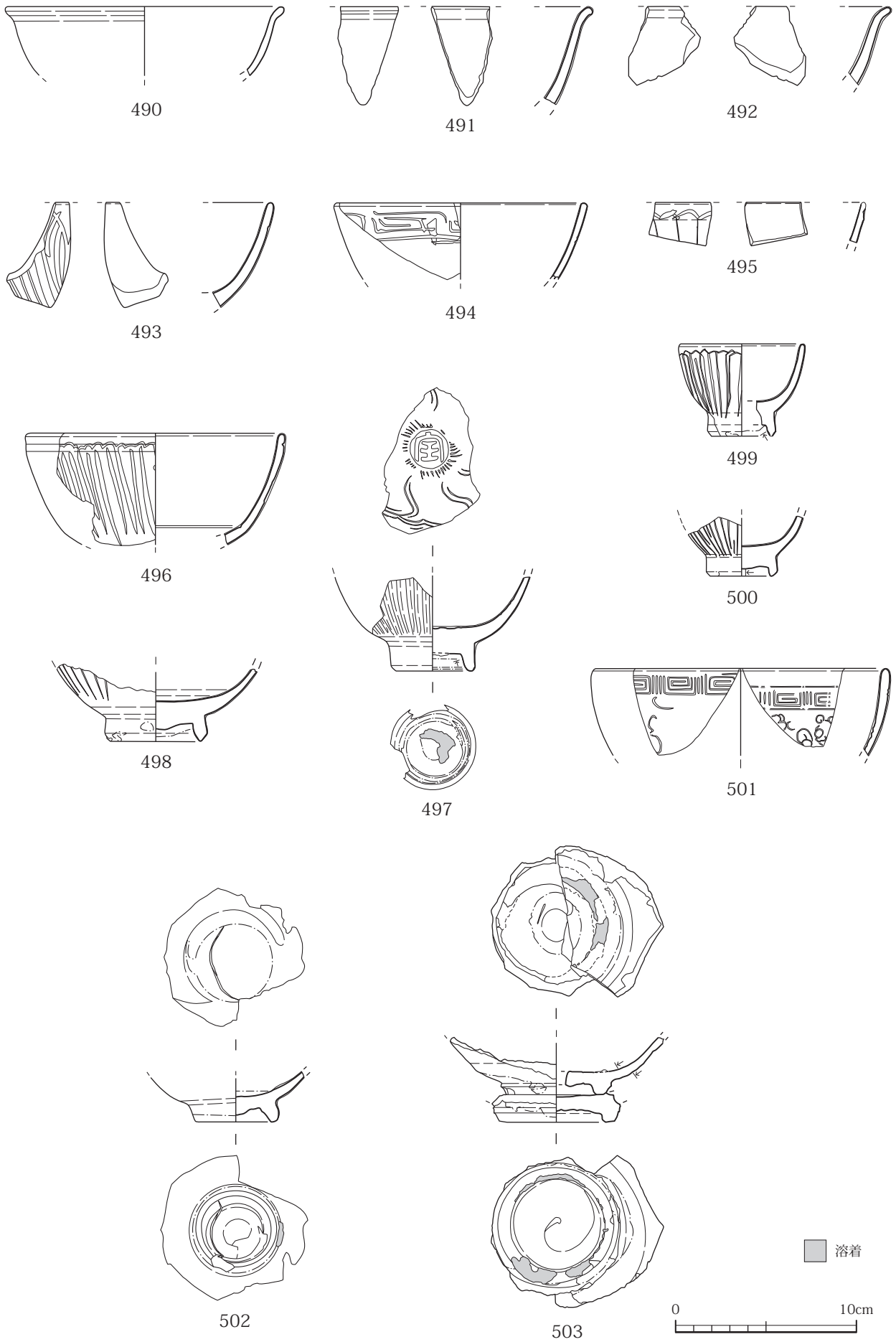
挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝）			観察事項	出土地
						口径	底径	器高		
第 78 図 図版 82	696	沖縄産 無釉陶 器	急須	口～底	－	5.8	5.1	7.0	素地は暗赤褐色。器面は両面とも鈍い褐色。把手は胴部の側面に取り付け、注口は胴部に穿った孔に口の部分を取り付ける。八重山焼の可能性有り。	撹乱
	697	沖縄産 無釉陶 器	壺	口	－	(16.4)	－	－	素地は暗赤灰色。釉はマンガン釉を両面に施釉。頸部はナデによって凹部を成す。	撹乱
	698	沖縄産 無釉陶 器	壺	口	－	(9.2)	－	－	素地は暗赤灰色。自然釉が外面に掛かり光沢を帯びる。	撹乱
第 79 図 図版 83	699	沖縄産 無釉陶 器	壺	底	－	－	7.5	－	素地は赤灰色で白色粒を含む。釉は黒色で外面胴部途中まで施釉。器壁が一部膨らむ。胴部に珊瑚と外底に二枚貝？の目痕あり。初期沖縄産無釉陶器。	3 地点 J13 撹乱
	700	沖縄産 無釉陶 器	甕	口	－	－	－	－	素地は赤褐色。外面は黒褐色で内面は赤褐色。マンガン釉が外面に掛かる。口唇部に沈線を巡らす。	撹乱
	701	沖縄産 無釉陶 器	甕	口	－	(20.2)	－	－	素地は赤褐色。外面は黒褐色で内面は赤褐色。自然釉が外面に掛かる。口唇部に沈線を巡らす。	撹乱
	702	沖縄産 無釉陶 器	甕	口	－	－	－	－	素地は赤褐色。口唇部は平坦に整えられ、断面三角形状に張り出す。口縁部下に圏線と波状の沈線を巡らす。	撹乱
	703	沖縄産 無釉陶 器	火炉	口～底	－	－	－	10.3	焼き膨れによる器面の凹凸が目立つ。素地は暗赤褐色。泥釉が両面に掛かる。内面の口縁部下に角状の突起を貼り付ける。口唇部はナデによって丸みを帯びる。	撹乱
	704	沖縄産 無釉陶 器	火取	口	－	(11.2)	－	－	素地は鈍い赤褐色。器表面は暗赤褐色。口縁部内面から胴部外面に自然釉が掛かる。	撹乱
	705	沖縄産 無釉陶 器	錘	－	－	最大長 3.95	最大幅 2.65	－	素地は鈍い黄橙色で一部褐灰色。胴部断面形は円形。ナデやユビオサエの痕が明瞭に残る。	撹乱
	706	沖縄産 無釉陶 器	土錘	－	－	最大長 4.1	最大幅 2.4	－	器面は鈍い橙色で一部黒褐色。平面形は小判状。断面形は分銅形。側面の長軸方向に溝。	撹乱
	707	沖縄産 無釉陶 器	土錘	－	－	最大長 4.1	最大幅 2.2	－	素地は赤褐色。器面は黒褐色。平面形は小判状。断面形は分銅形。側面の長軸方向に溝。	撹乱
	708	沖縄産 無釉陶 器	蔵骨器	口	－	－	－	－	いわゆるボージャー厨子。素地は暗赤褐色。外面に泥釉が施される。口縁部下に家形の装飾を貼り付ける。	撹乱
第 80 図 図版 84	709	瓦質土 器	火鉢か	口	－	－	－	－	素地は灰白色で白色粒を含む。口縁部は逆 L 字状でナデにより身と接着。口縁の区画内に円筒印章の凸文で雲を施文。内面と口唇部に煤付着。本土産。	3 地点 I11 撹乱
	710	宮古式 土器	壺	口	－	－	－	－	胎土は灰白色で白色粒や赤色粒を含んだ砂泥質。内外面ともナデ調整が丁寧に施されるが、頸部の外面はユビオサエの単位が残る。	撹乱
	712	土器	焙烙	口～底	－	(17.0)	(13.2)	3.15	素地は灰白色で白色粒を含む。内外面に煤付着。本土産硬質土器。	3 地点 I11 撹乱
	713	土器	焙烙	口	－	－	－	－	素地は灰白色で白色粒や黒色粒を含む。外面に煤付着。本土産硬質土器。	3 地点 I11 撹乱
	714	土器	焙烙	底	－	－	(12.2)	－	素地は灰白色で白色粒や黒色粒を含む。外面と内底に煤付着。本土産硬質土器。	3 地点 I11 撹乱
	715	土器	皿	口	－	－	－	－	素地は浅黄橙色で雲母？や白色粒を含む。本土産土師質土器。	3 地点 H9 撹乱
第 81 図 図版 85	716	石製器	硯	端部	－	－	－	－	素材は赤色頁岩。無数の線条痕が残る。縁の有段部分に浮き彫りの装飾か。	2 地点 E11 撹乱
	717	骨製品	梳櫛	－	－	－	－	－	素材を研磨やケズリで 2mm 程まで薄く加工し、端部はさらに鋭くする。梳櫛の製作途中と考えられる製品。	1 地点 E7 撹乱
	718	円盤状 製品	－	底	－	長径 6.2	短径 5.2	厚さ 1.5	素材は中国産白磁。内外面を剥離して成形。	撹乱
	719	円盤状 製品	－	底	－	長径 3.85	短径 3.8	厚さ 0.95	素材は中国産白磁。内外面を剥離して成形。	撹乱

第 48 表　撹乱層出土遺物観察一覧 11

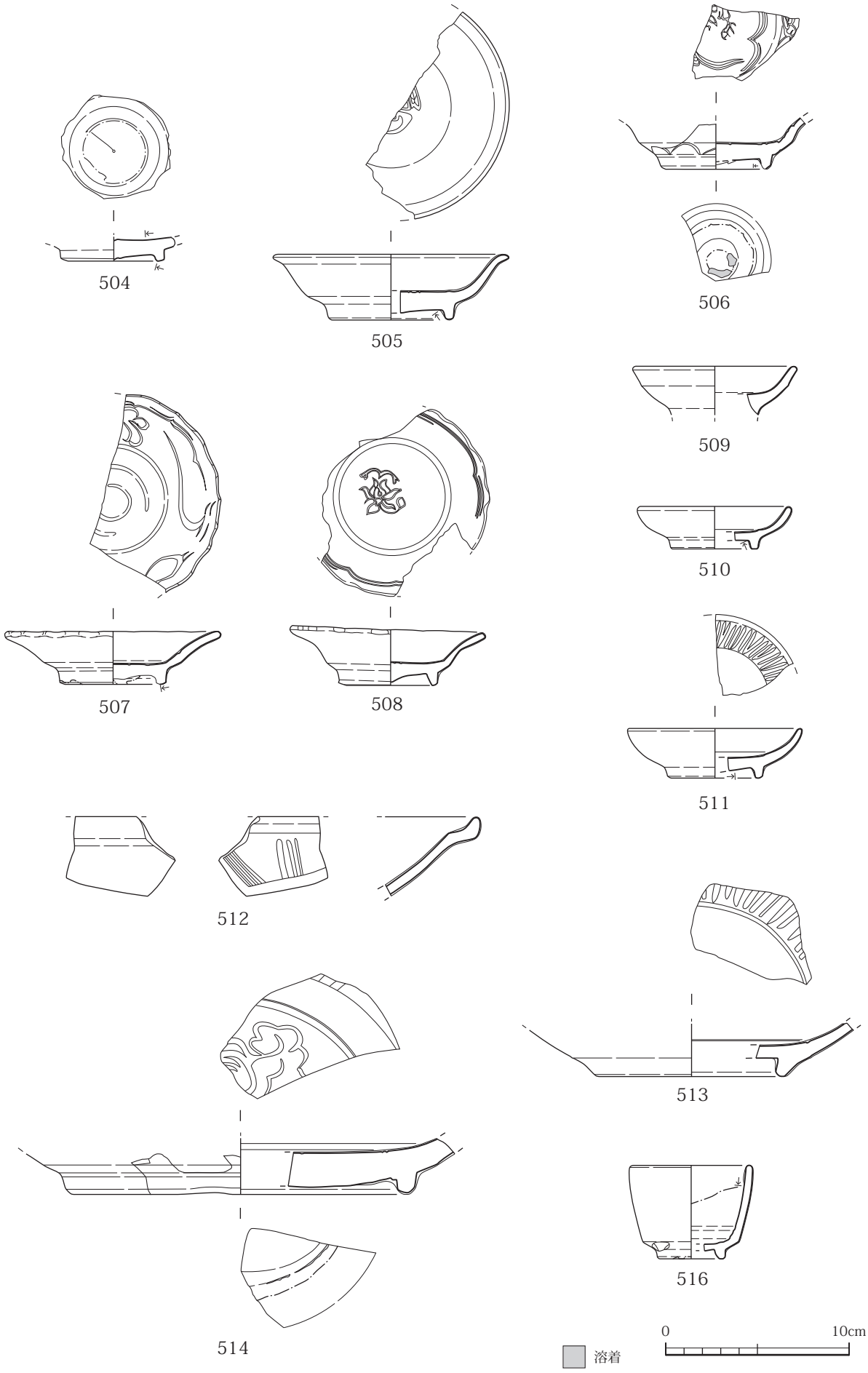
挿図番号 図版番号		種類	器種	部位	分類	法量（㎝） 口径	底径	器高	観察事項	出土地
第 81 図 図版 85	720	円盤状製品	－	—	－	長径（縦）4.1	厚さ 1.0	最大幅 4.2	素材は沖縄産無釉陶器。内外面を剥離して成形。	撹乱
	721	円盤状製品	－	—	－	長径（縦）4.55	厚さ 1.4	最大幅 4.65	素材は明朝系瓦。内外面を剥離して成形。	撹乱
	722	煙管	－	雁首	－	火皿 1.65	－	長さ 4.05	雁首。素地は暗赤褐色。泥釉を施釉。火皿の上面観八角形。羅宇の断面形は八角形を呈する。沖縄産無釉陶器。	撹乱
	723	煙管	－	雁首	－	火皿 1.4	羅宇接続部径 1.6	長さ 4.0	雁首。素地は黒褐色。自然釉が掛かる。火皿の上面観六角形。羅宇は面取によって断面形が多面体を呈する。沖縄産無釉陶器。	撹乱
	724	煙管	－	雁首	－	火皿 外 1.4 内 1.2	小口 外 1.5 内 1.2	長さ 2.8	雁首。素地は灰白色。釉は透明釉を火皿の内外面と羅宇の外面に施す。沖縄産施釉陶器。	撹乱
	725	煙管	－	雁首	－	火皿 外（1.4）内（10.5）	小口 外 1.2 内 0.8		雁首。素地は灰白色。釉は透明な暗青灰色の瑠璃釉。羅宇の内側は露胎。小口は釉剥ぎ。瑠璃釉。	撹乱
	726	銭貨	寛永通寶	－	－	－	－	－	銭文：寛永○○。３期の新寛永か？錆膨れがひどく詳細な銭文の判別は困難。初鋳年：1626 年。外径：23.65mm、内径：18.81mm、孔径：6.1mm、最大銭厚：2.23mm、重量：3.5g	撹乱
	727	銭貨	淳熙元寶か	－	－	－	－	－	銭文：淳□□寶。真書。背上月。初鋳年：1174 年。錆膨れのためやや変形しており、銭文も一部不鮮明。最大銭厚：2.28mm、残存重量：2.8g	撹乱
図版 85	728	把手金具	－	－	－	－	－	－	青銅製。円形の銅板に穿たれた孔の中に、撮み部分を取り付ける。	撹乱
図版 86	729	瓦（高麗系）	平瓦	－	－	－	－	－	平瓦の破片。素地は赤色粒や白色粒を含む鈍い橙色で、芯は明褐灰色。凸面は羽状押捺刻文、凹面は布目が明瞭に残り、端部は面取り。高麗系瓦。最大厚 18.42mm	撹乱
第 82 図 図版 86	730	瓦	軒平瓦	当瓦部	－	－	－	B タイプ	瓦当部。素地は橙色。瓦当文様は宝草唐草文か。平瓦との接合部は剥離のため不明。瓦当裏はナデが施される。明朝系瓦。瓦当厚 24.45mm	3 地点 J13 撹乱
	731	瓦	平瓦	広～狭端部	－	－	－	－	胎土は灰色で石灰岩粒を含む。凹面に布と糸圧痕がある。明朝系。	3 地点 I11 撹乱
	732	瓦	平瓦	広端部	－	－	－	－	胎土は灰色～鈍い褐色で白色粒を含む。凹面に布目痕がある。明朝系。	1 地点 D7 撹乱
	733	瓦	平瓦	広端部	－	－	－	－	胎土は灰色で白色粒を含む。凸面にヘラ印か。凹面に布目痕がある。明朝系。	3 地点 I11 撹乱
図版 86	734	瓦	平瓦	広端部	－	－	－	－	広端部。素地は灰色。凸面に○大の印有り。凹面には布目と桶綴りの圧痕が残る。明朝系瓦。最大厚 20.18mm	撹乱
	735	板状の瓦製品	－	－	－	－	－	－	端部。素地は橙色で暗赤褐色の粒含み、芯は鈍い赤褐色。凸面は筋状の整形痕とナデ、凹面も筋状の整形痕、側面はヘラ取り。最大厚 12.99mm	撹乱
	736	板状の瓦製品	－	－	－	－	－	－	端部。素地は明赤褐色で黒色の粒を含む。凸面は筋状の整形痕が残るナデ、凹面も筋状の整形痕、側面はヘラ取り。最大厚 14.20mm	撹乱
	737	塼	－	－	－	－	－	－	赤色。雲形文様が残る有文塼。	撹乱

※銭貨　□：欠損、○：不鮮明

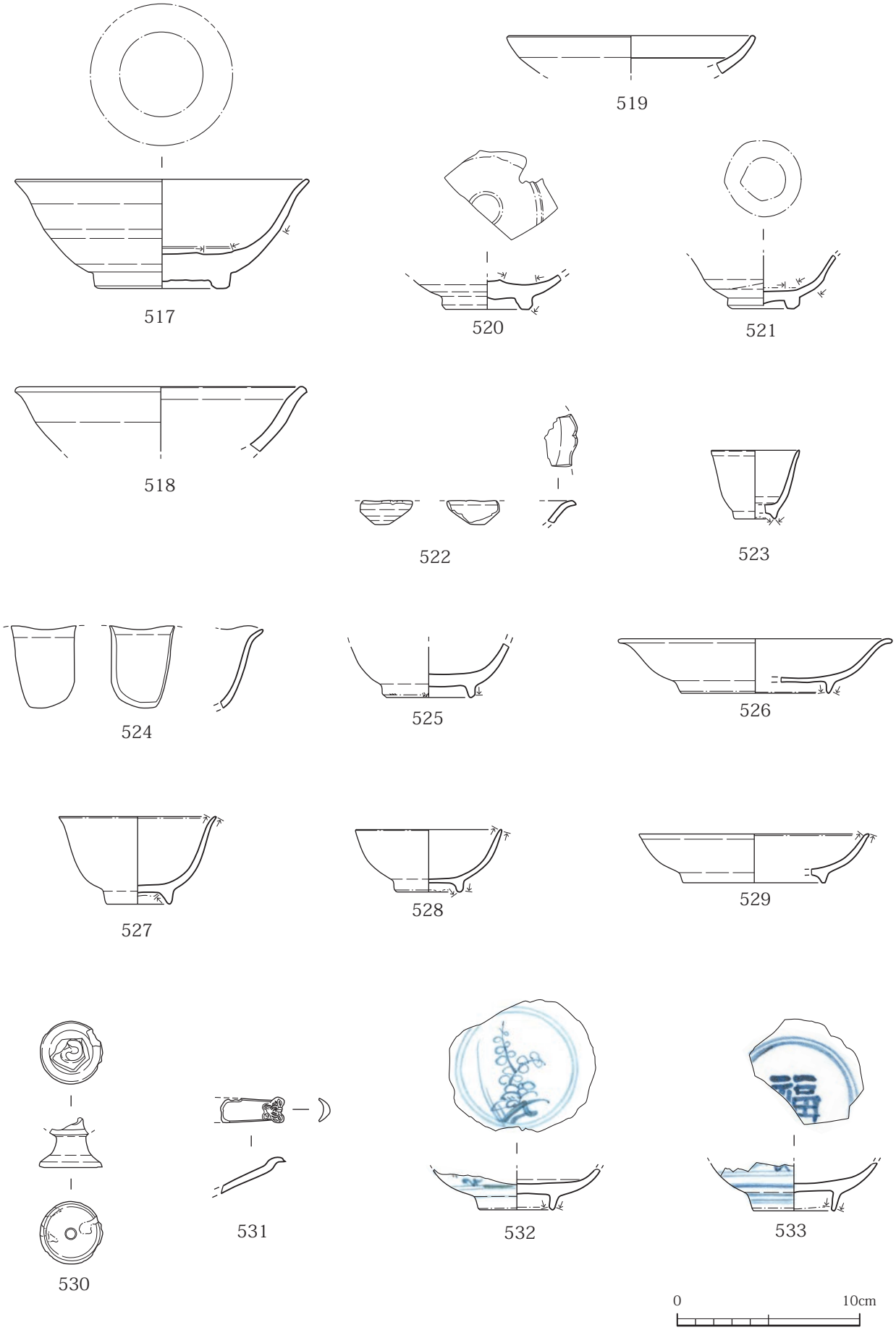
※法量　（　）内は復元による推定値



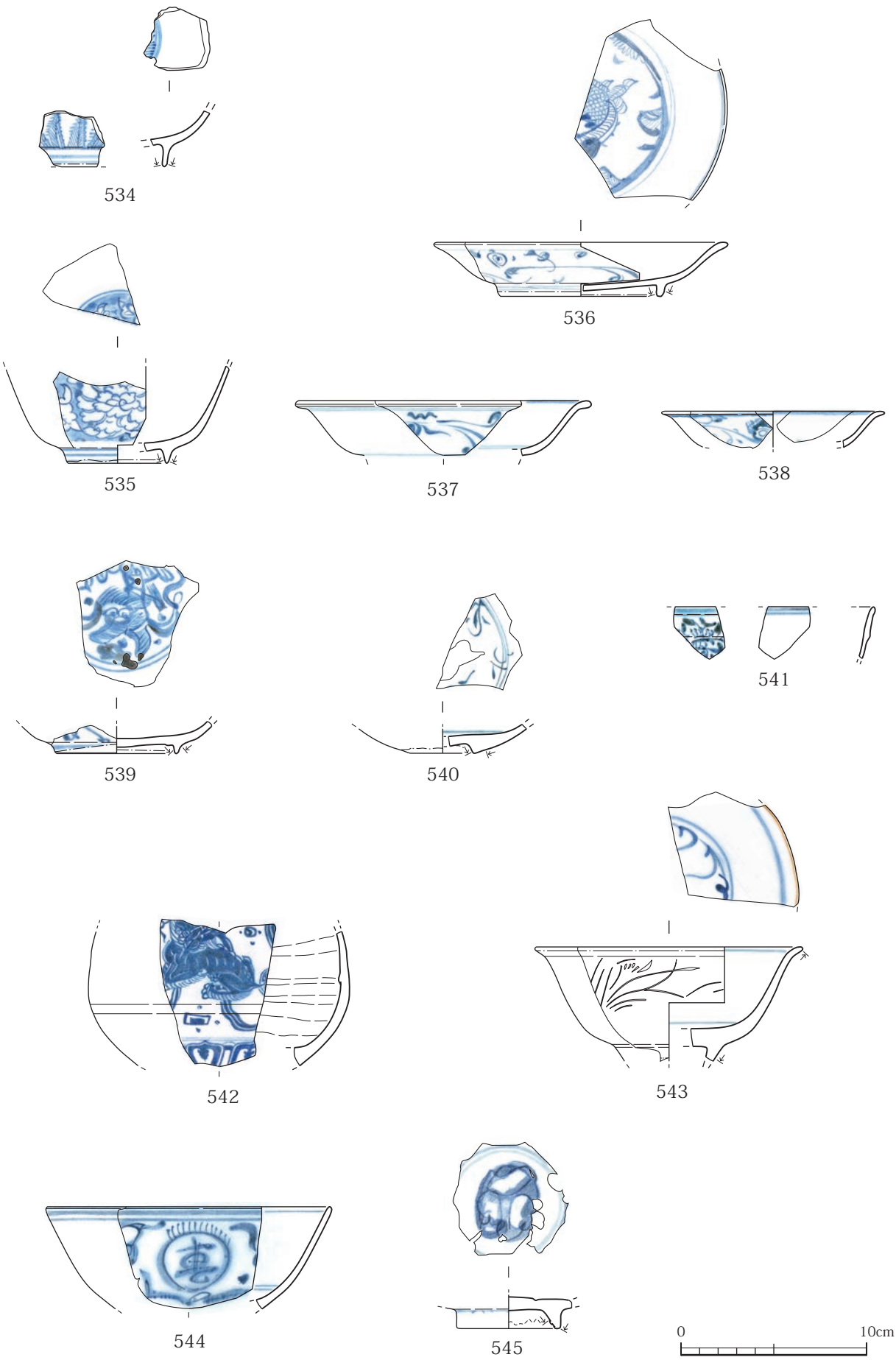
第 62 図　撹乱層 出土遺物 1



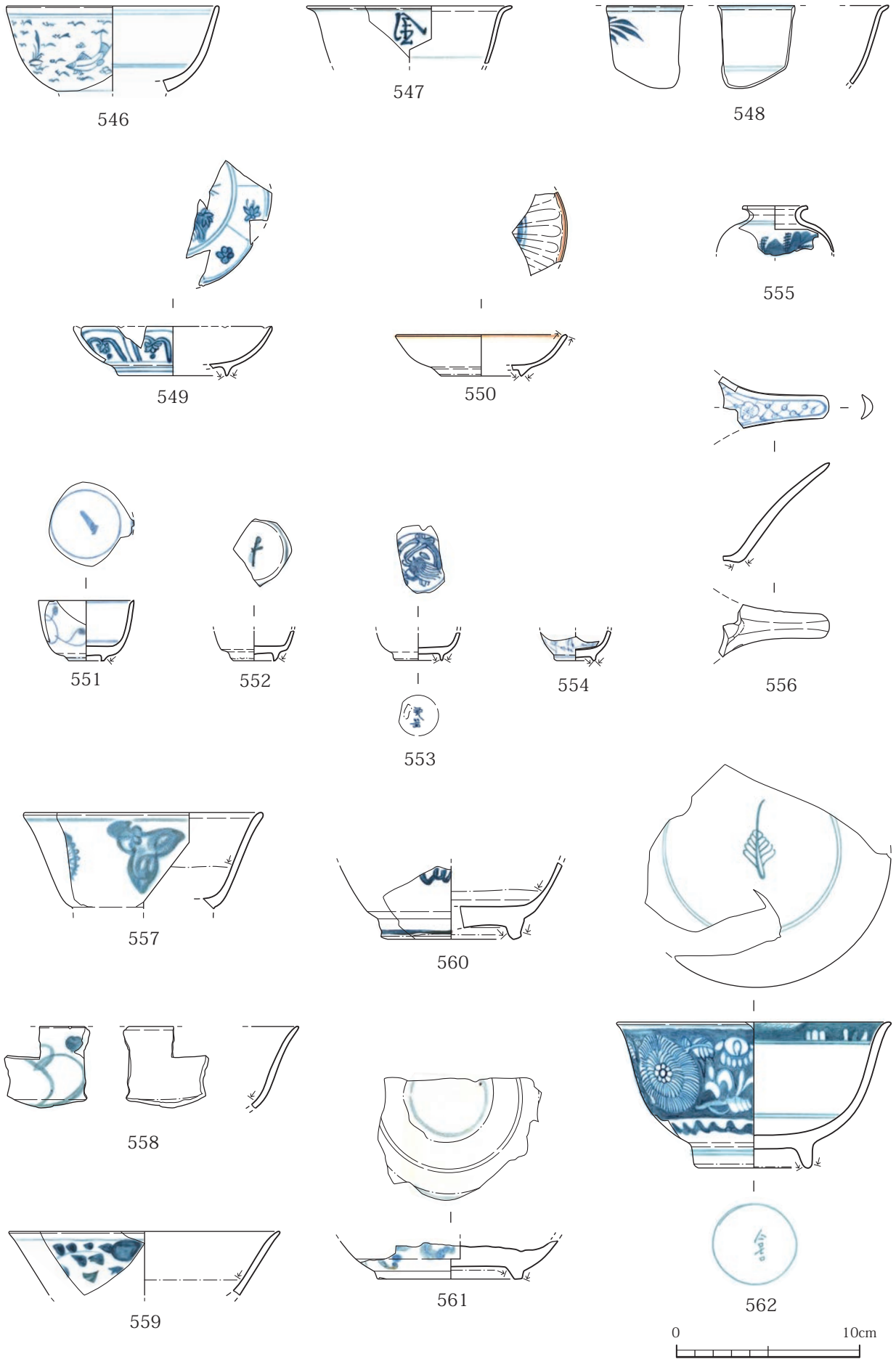
第 63 図　撹乱層 出土遺物 2



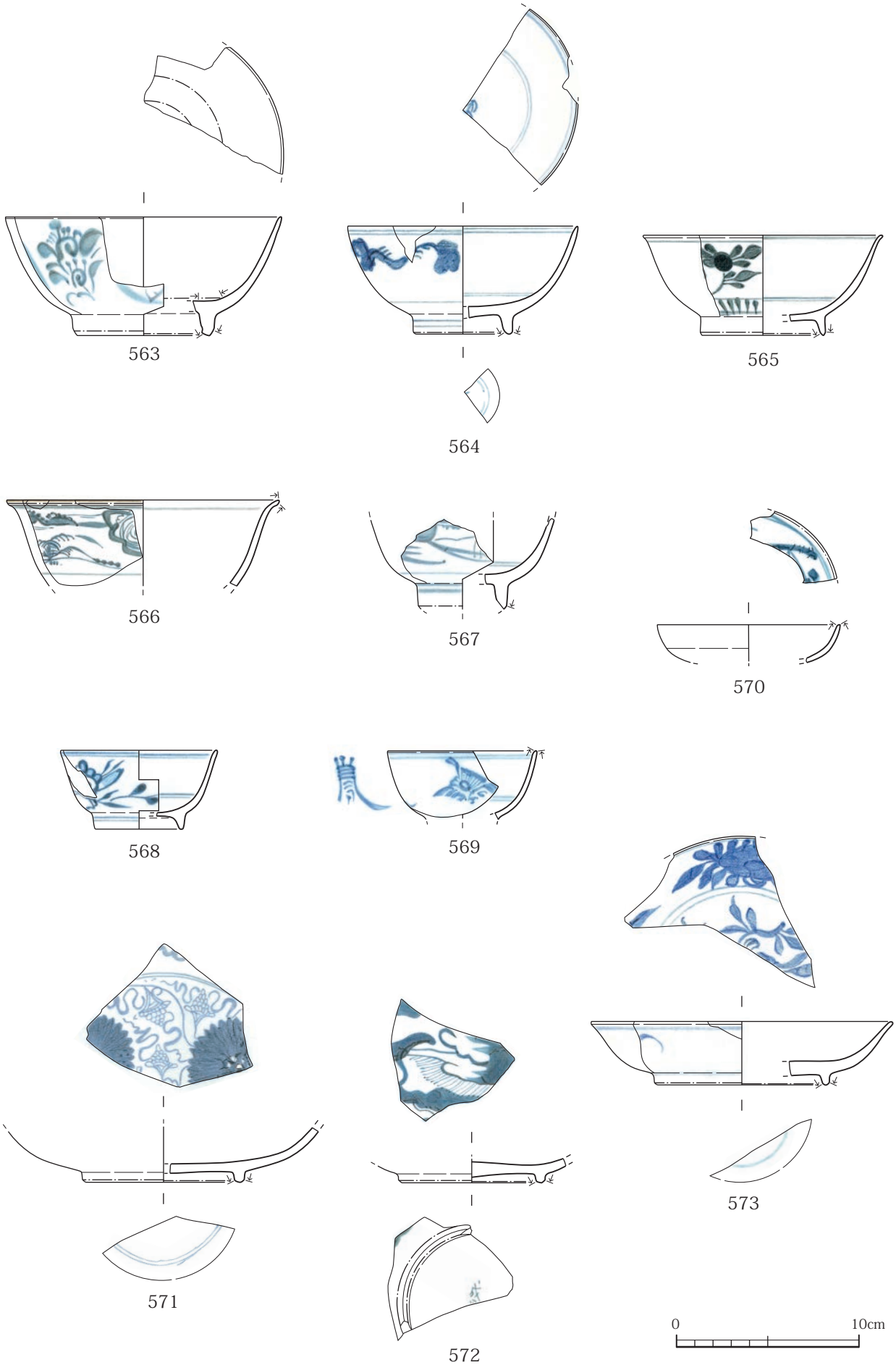
第 64 図　撹乱層 出土遺物 3



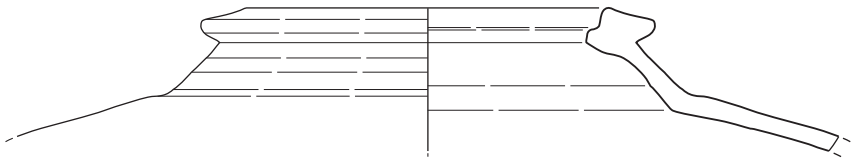
第 65 図　撹乱層 出土遺物 4



第 66 図　撹乱層 出土遺物 5



第 67 図　撹乱層 出土遺物 6

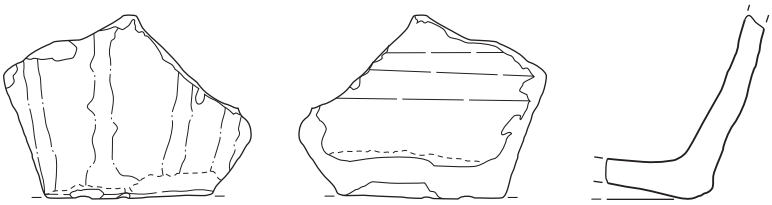


574

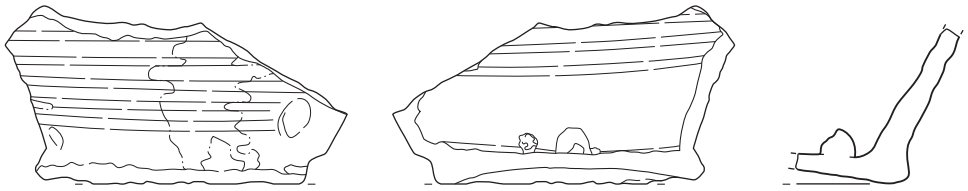
575

576

577

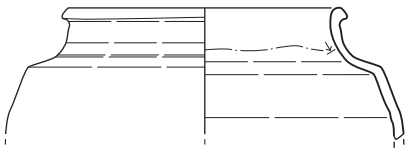


578

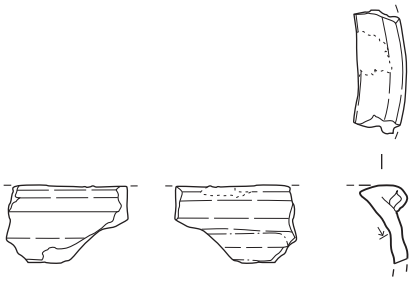


579

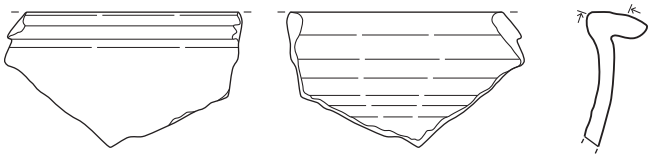
580



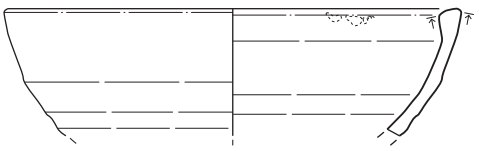
581



582



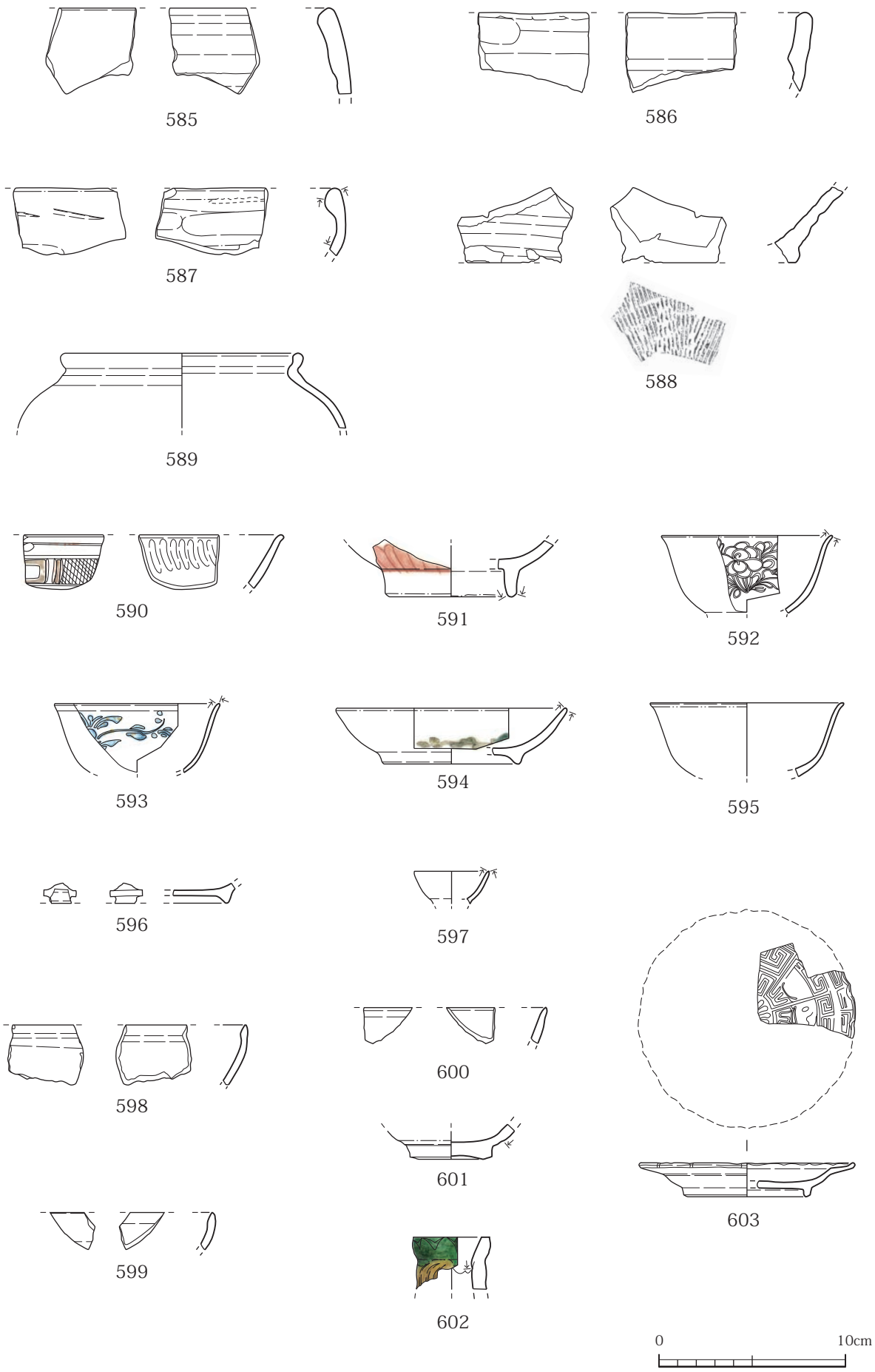
583



584

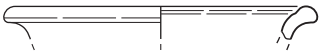
0　10cm

第 68 図　撹乱層 出土遺物 7



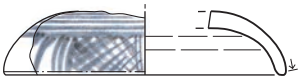
第 69 図　撹乱層 出土遺物 8

604

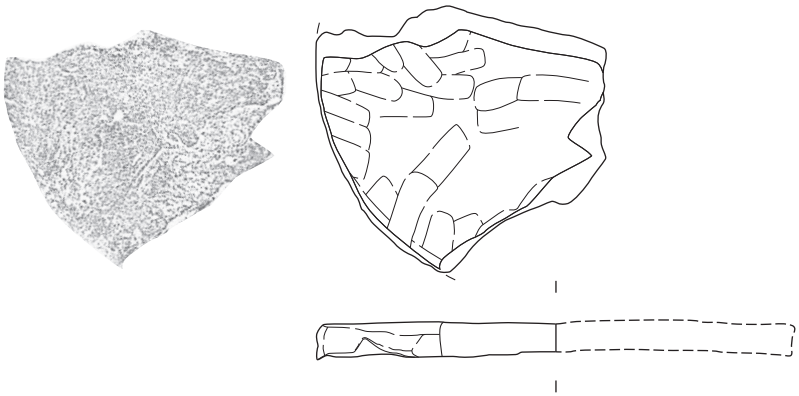


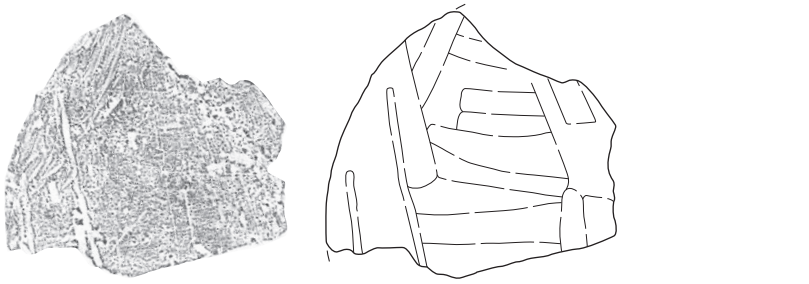
605

606

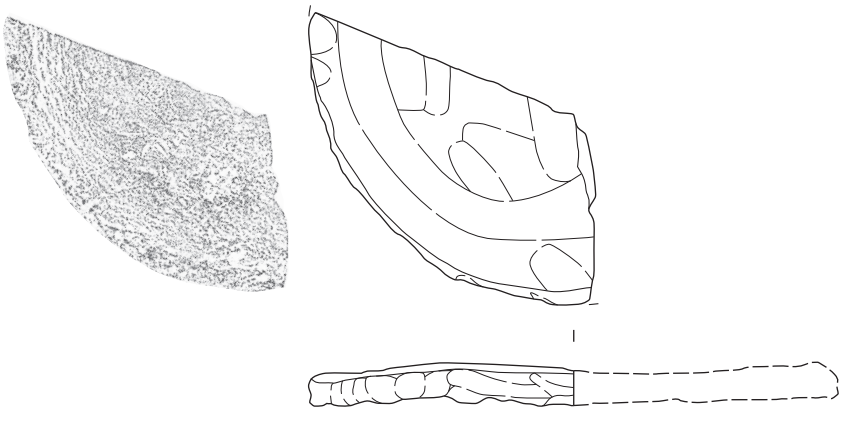


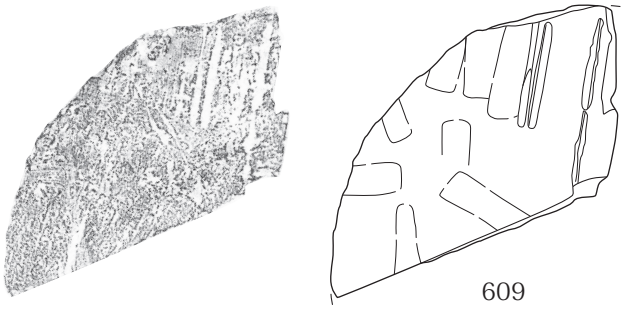
607





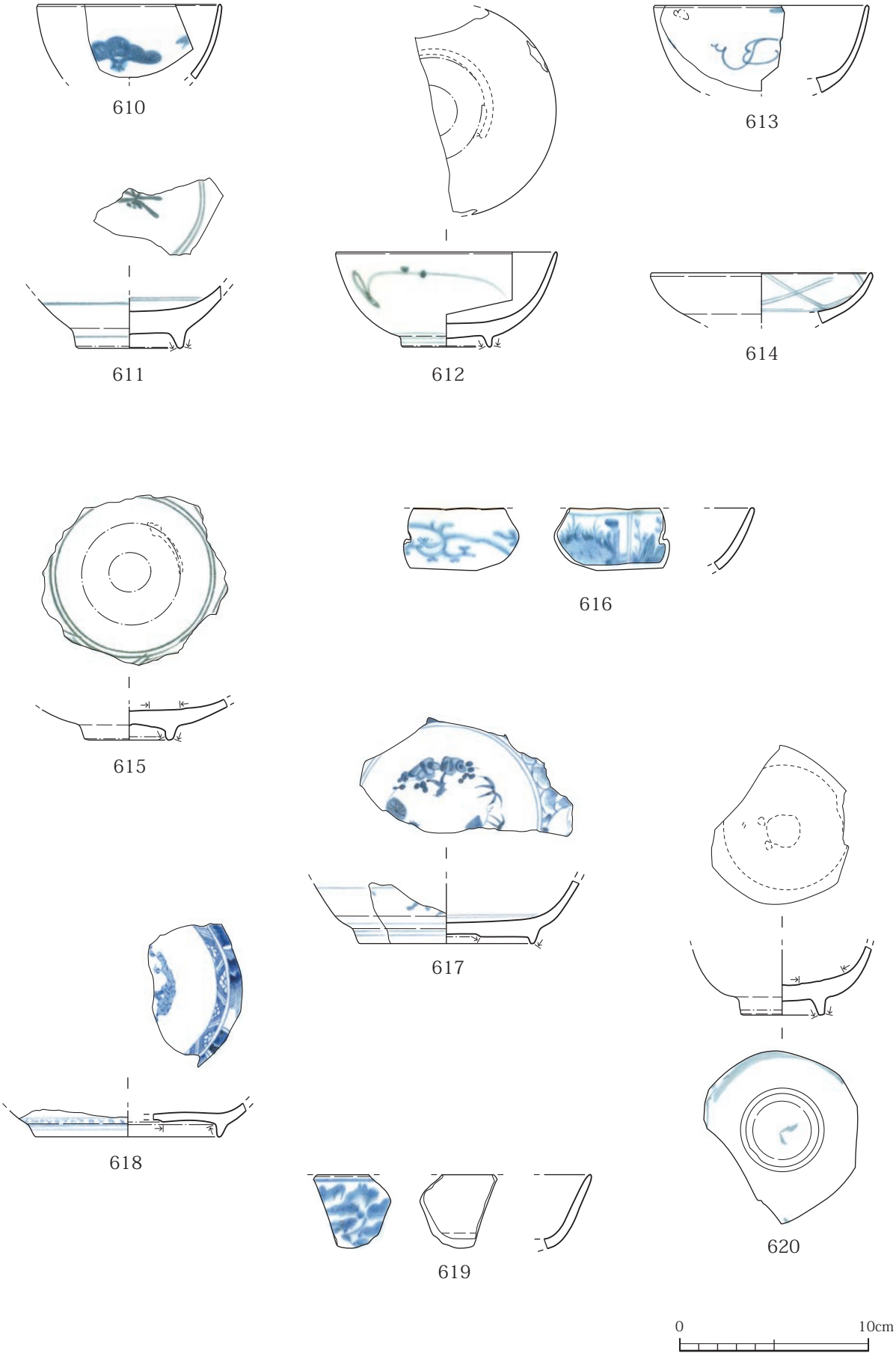
608



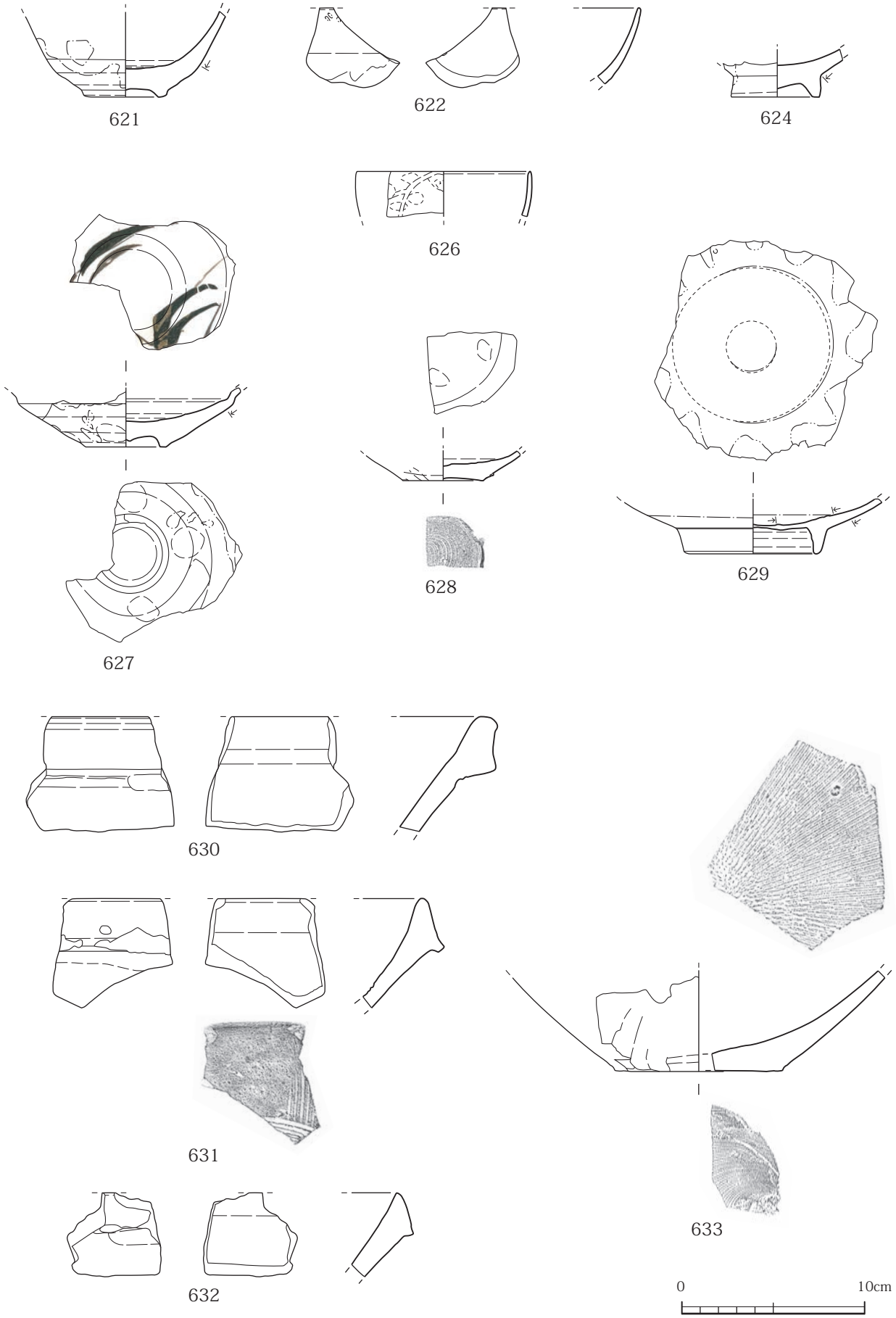


609

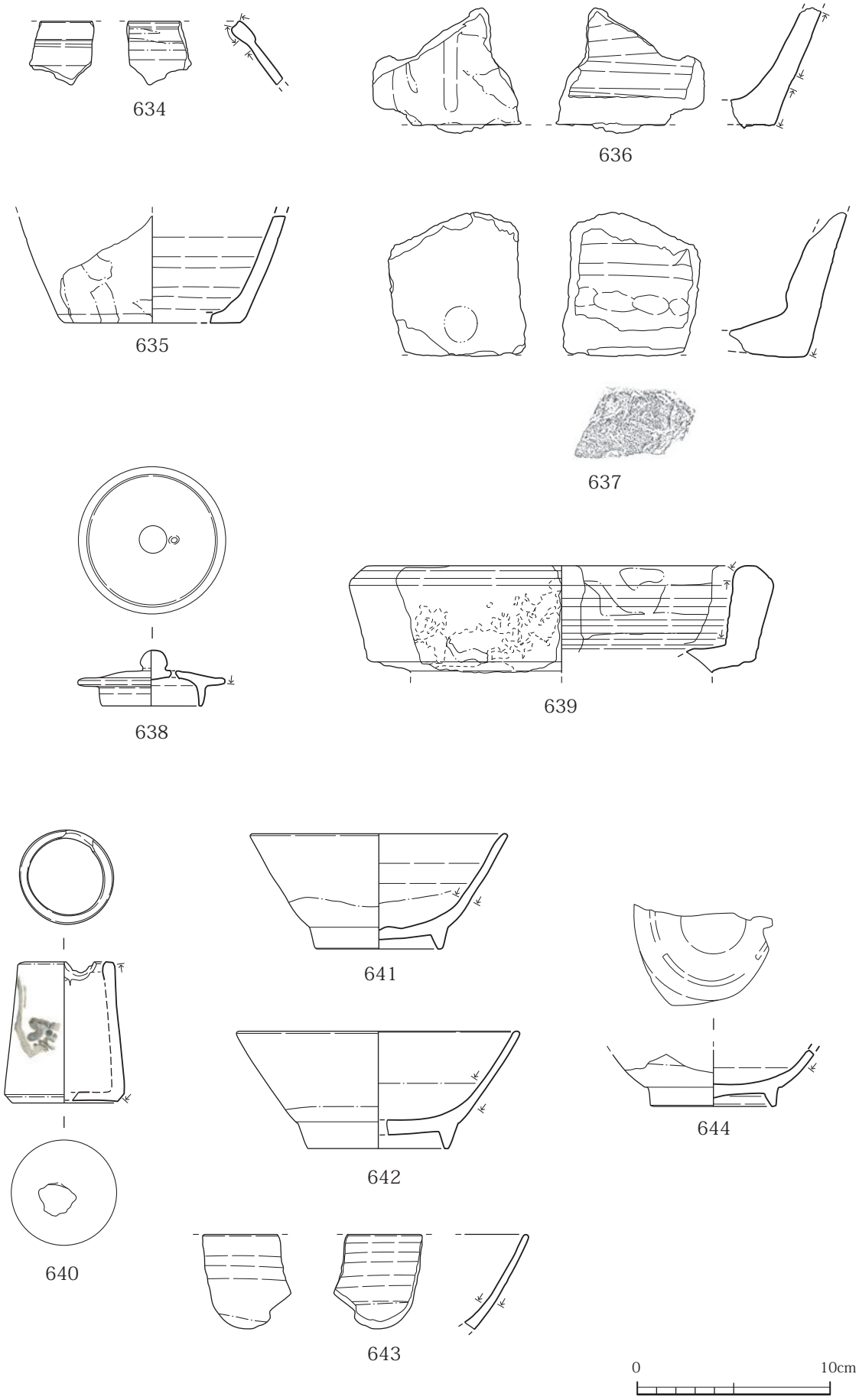
第 70 図　撹乱層 出土遺物 9



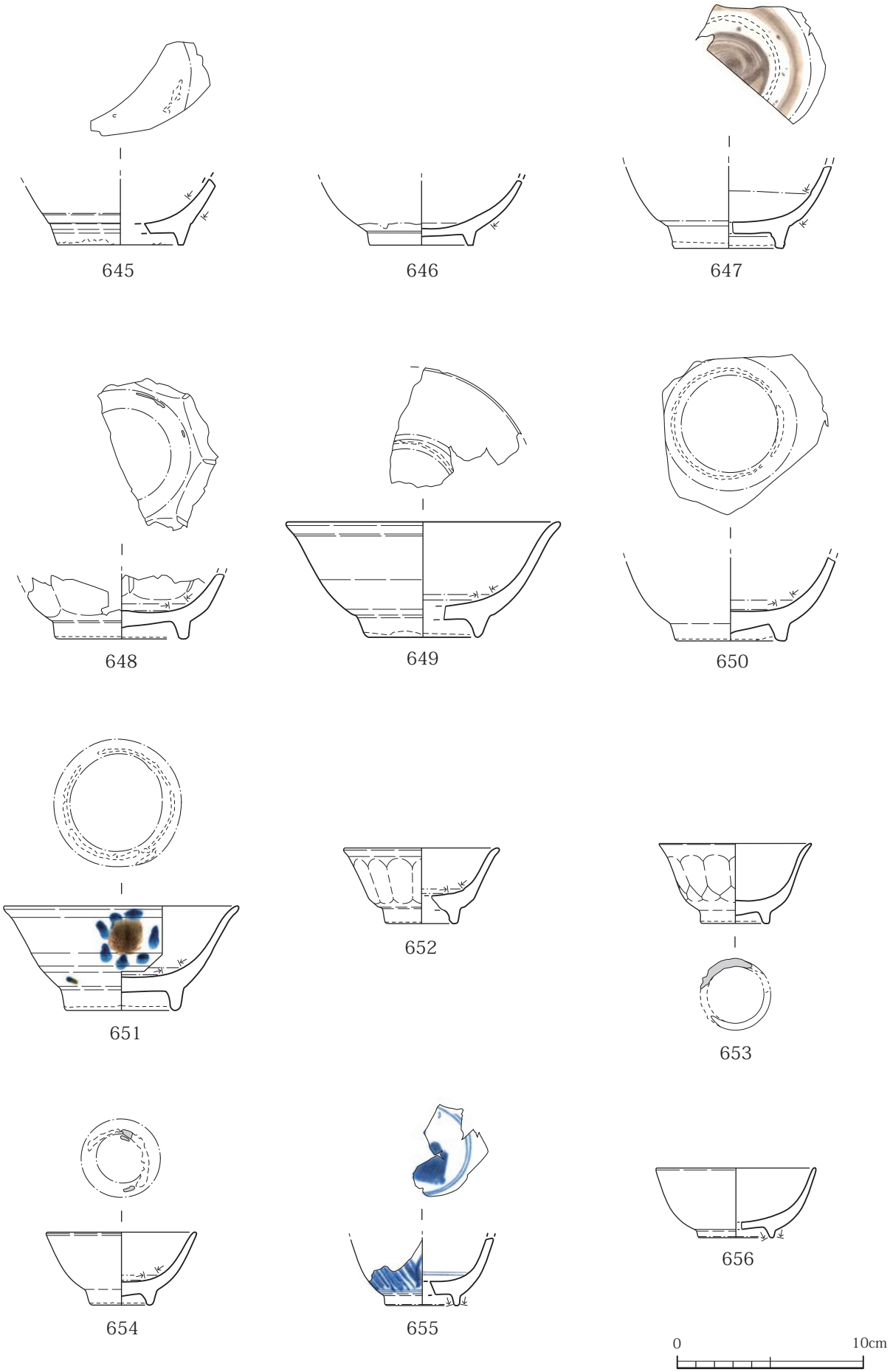
第 71 図　撹乱層 出土遺物 10



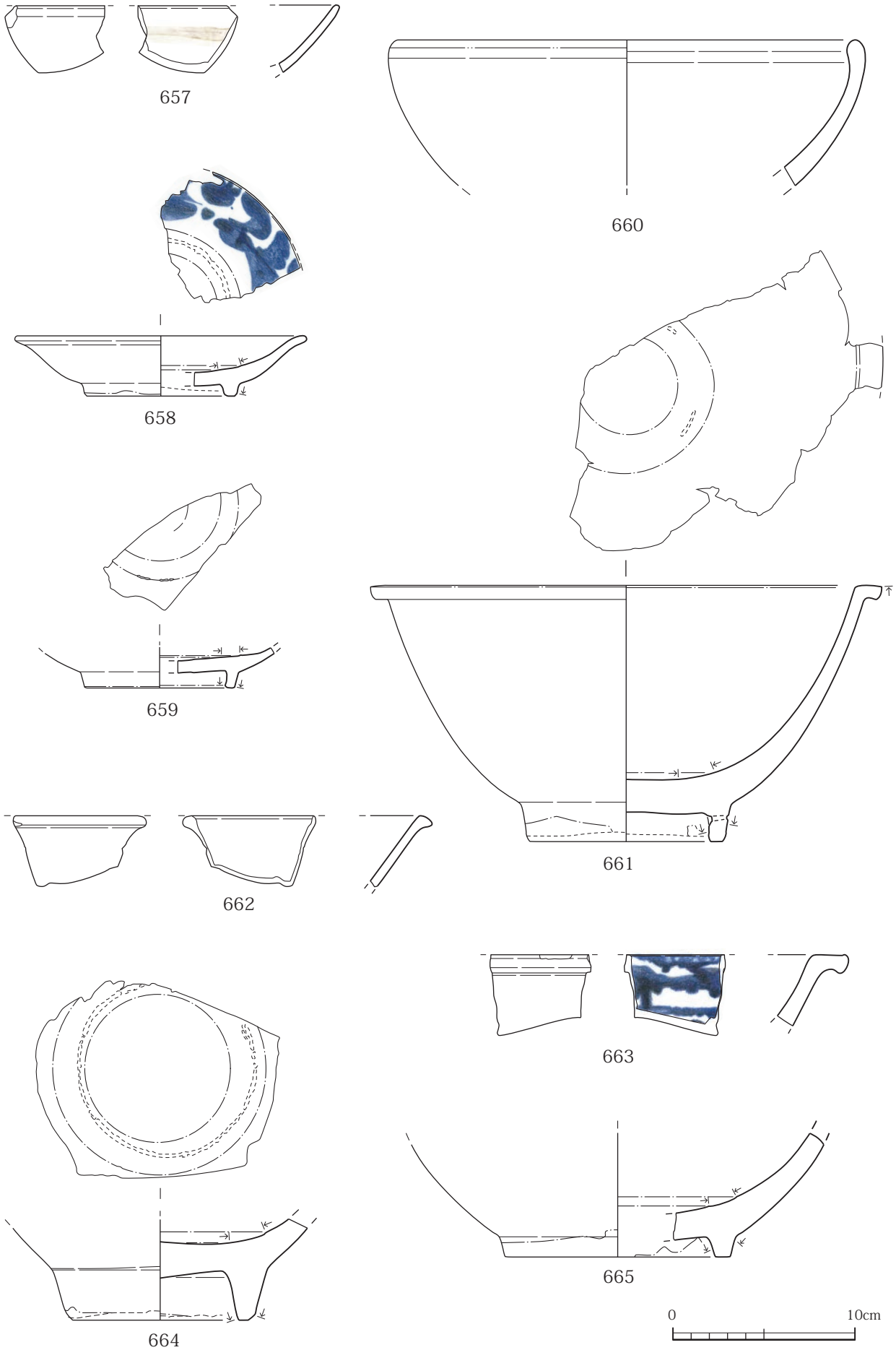
第 72 図　撹乱層 出土遺物 11



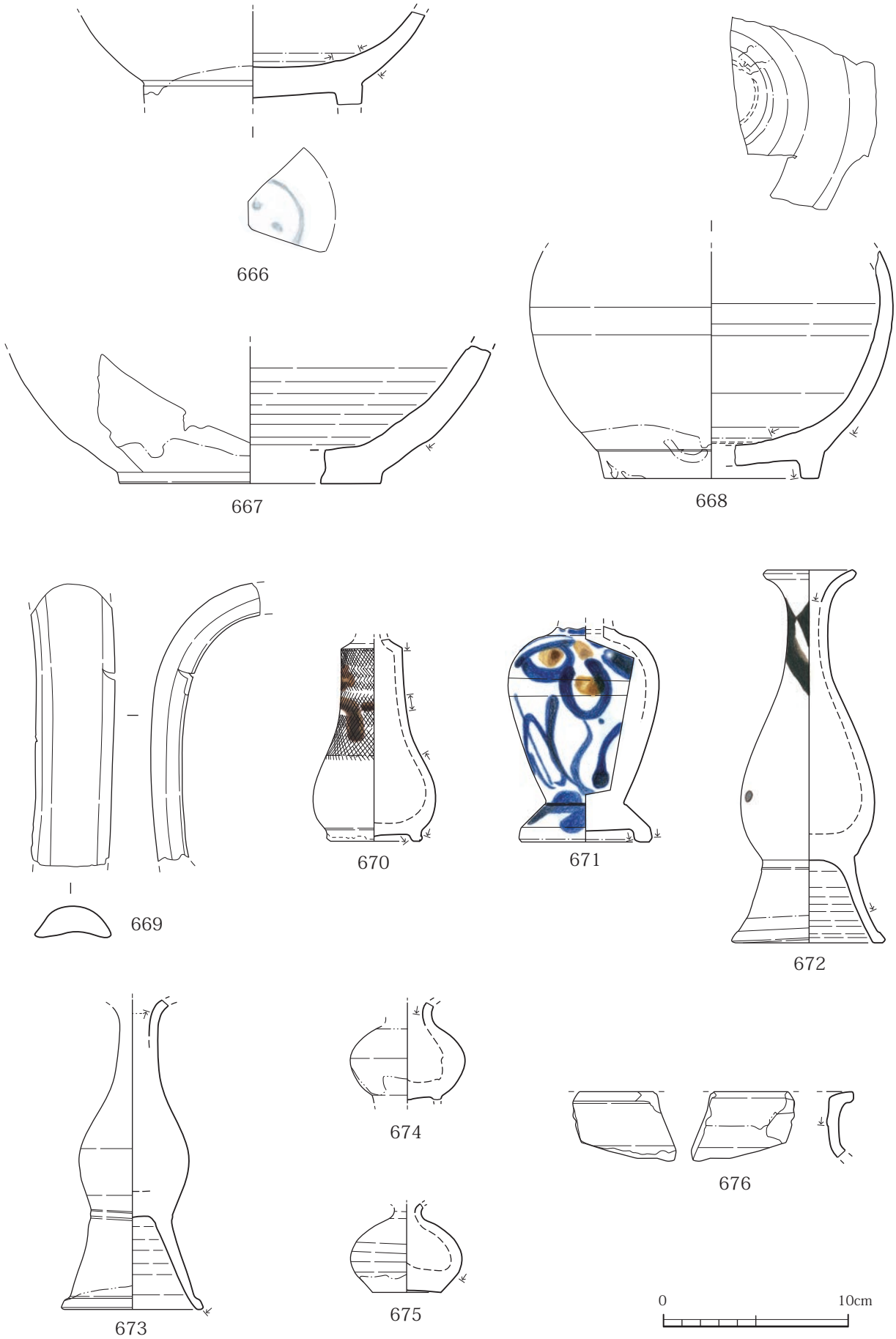
第 73 図　撹乱層 出土遺物 12



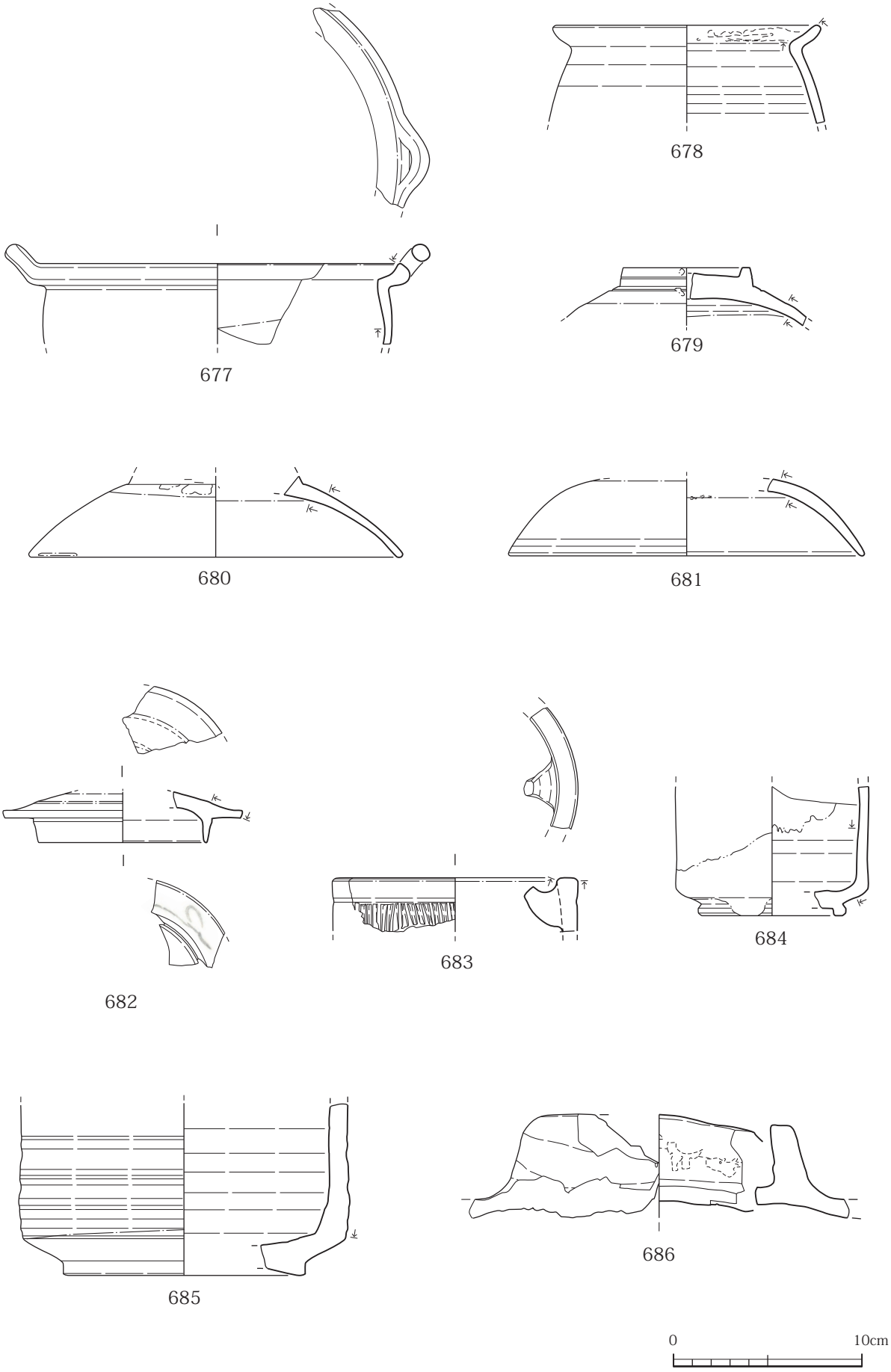
第 74 図　撹乱層 出土遺物 13



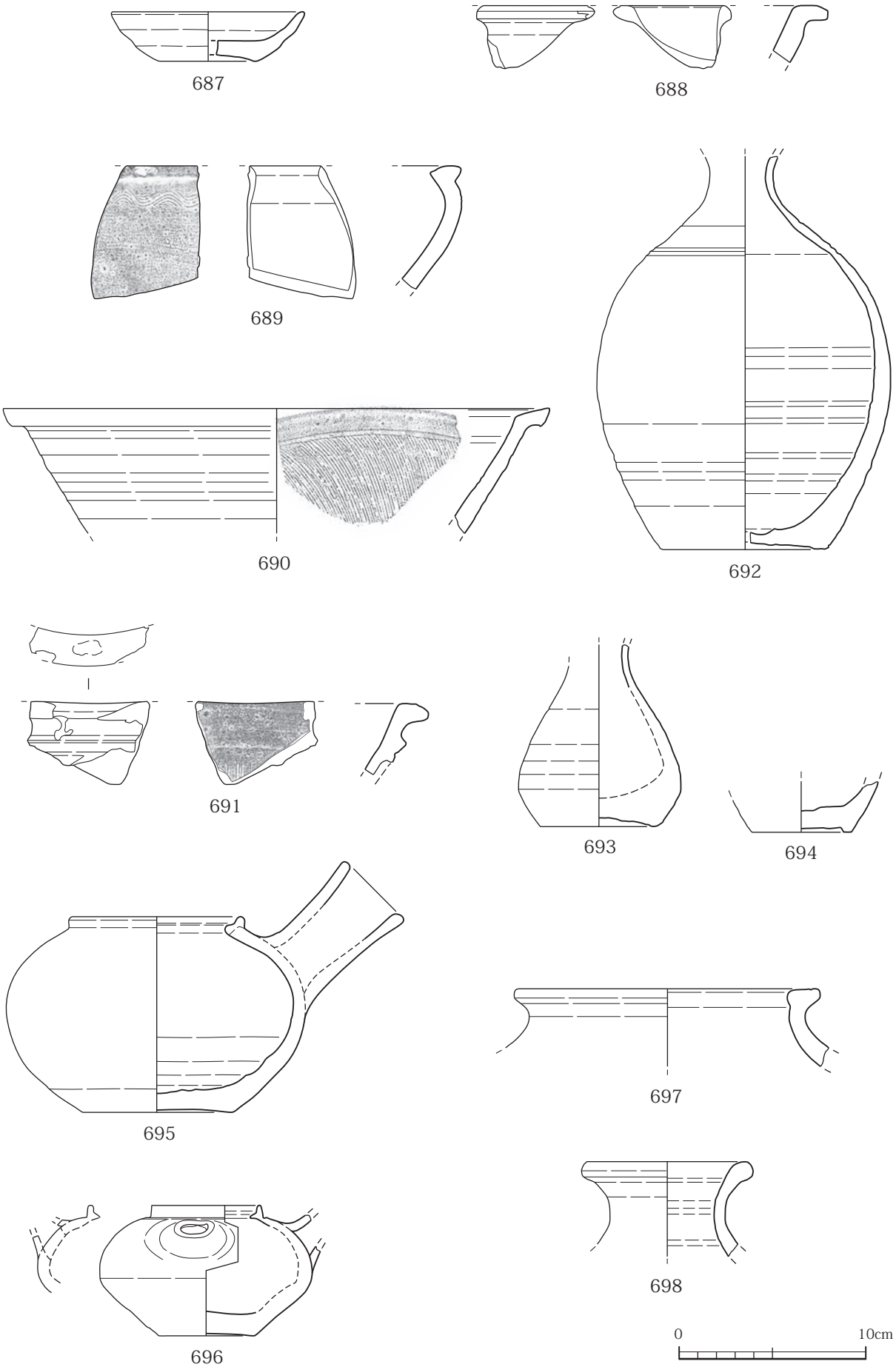
第 75 図　撹乱層 出土遺物 14



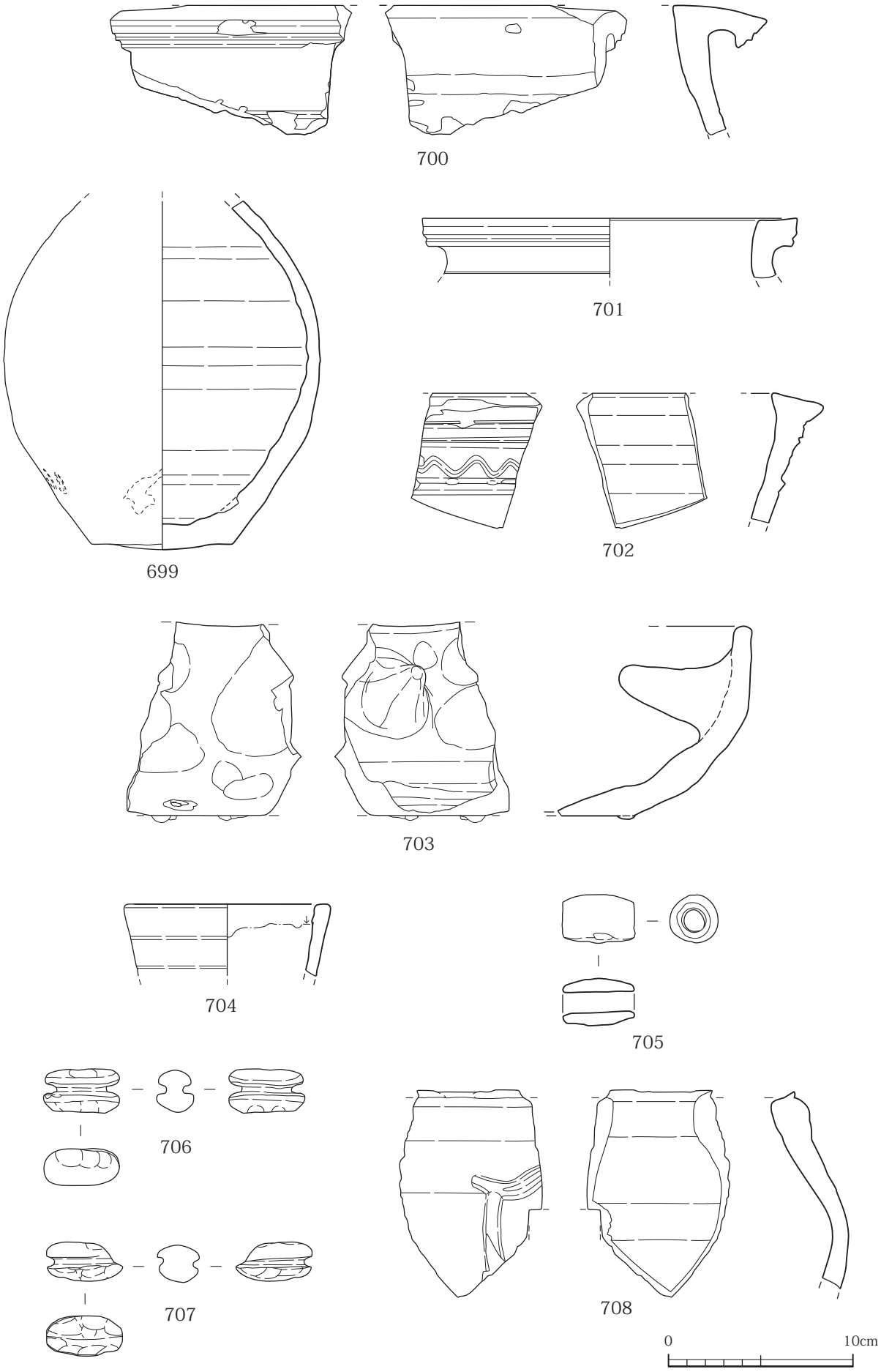
第 76 図　撹乱層 出土遺物 15



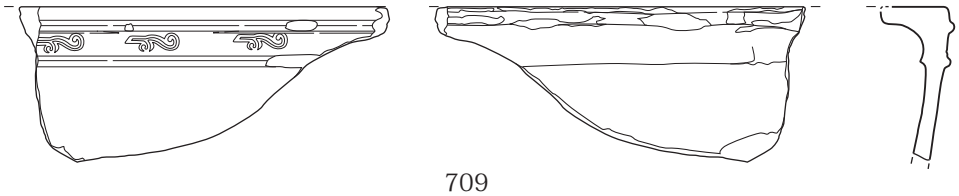
第 77 図　撹乱層 出土遺物 16



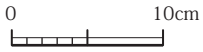
第 78 図　撹乱層 出土遺物 17

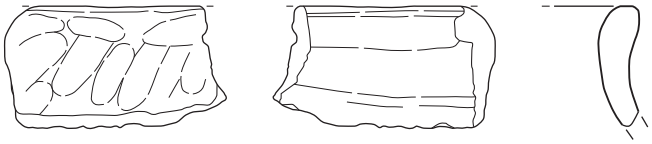


第 79 図　撹乱層 出土遺物 18

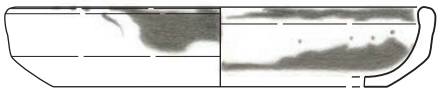


709



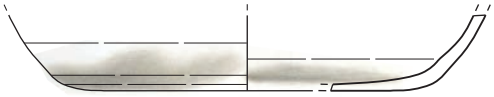


710



712

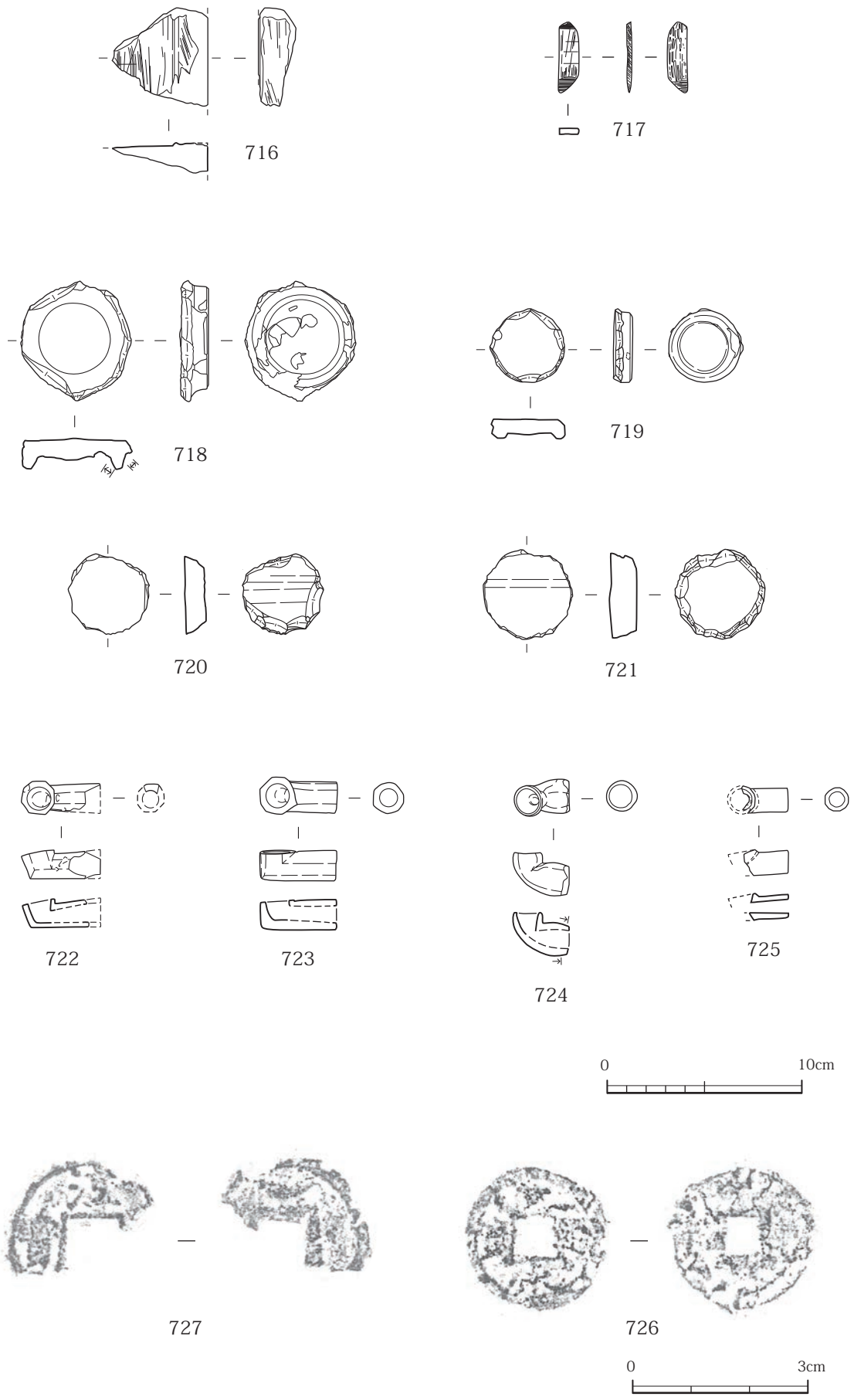
713



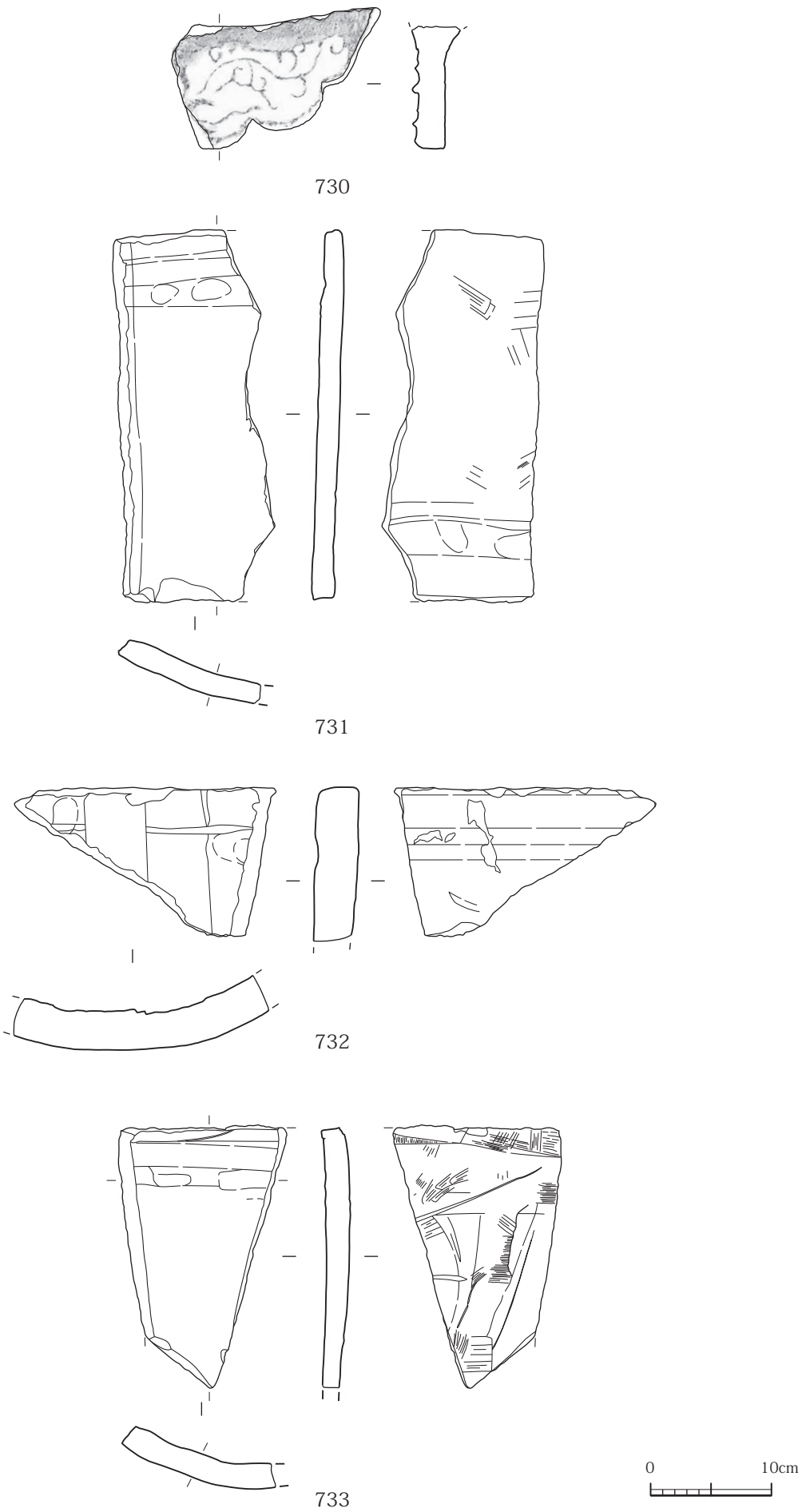
714

715

第 80 図　撹乱層 出土遺物 19

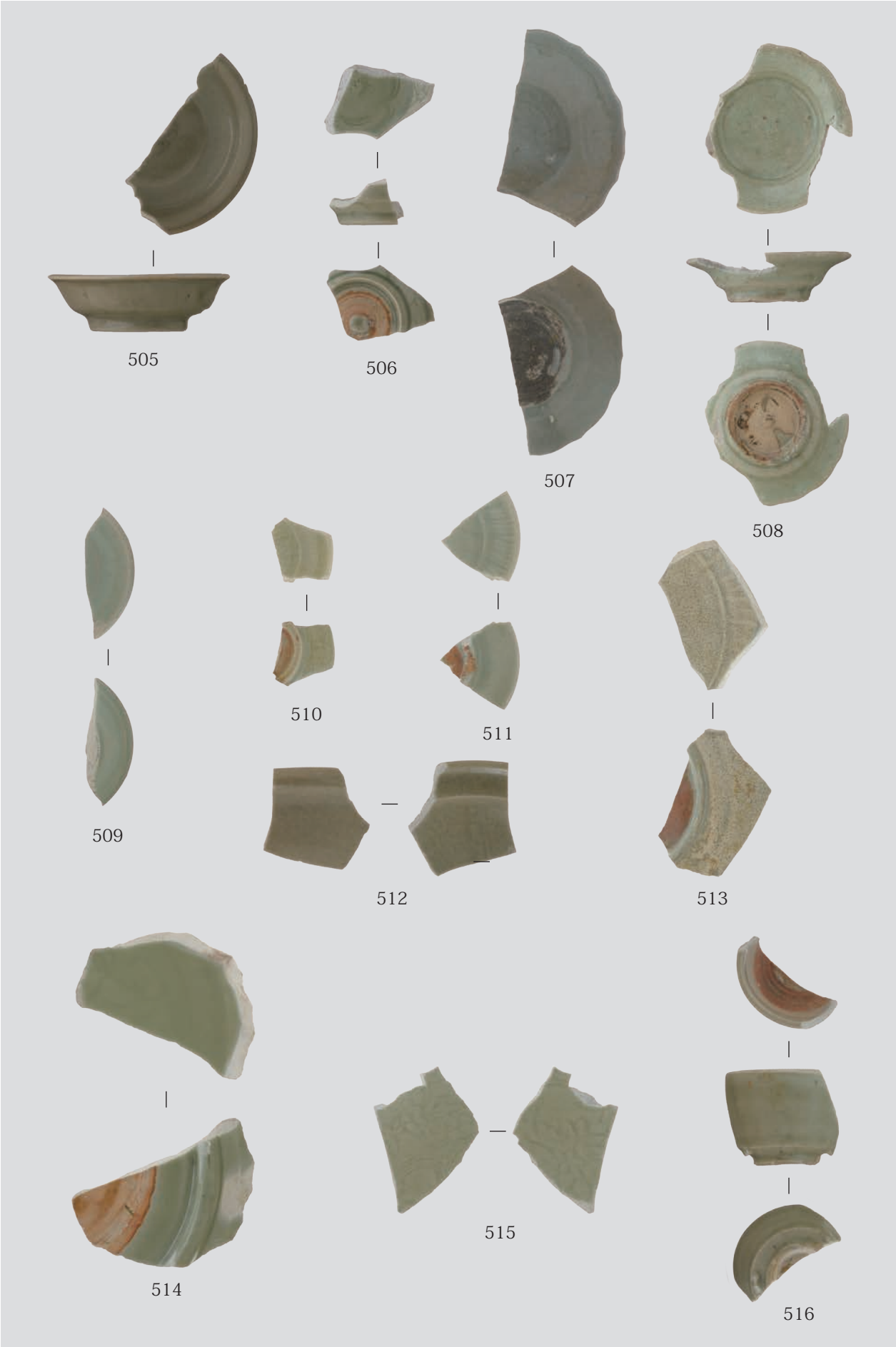


第 81 図　撹乱層 出土遺物 20

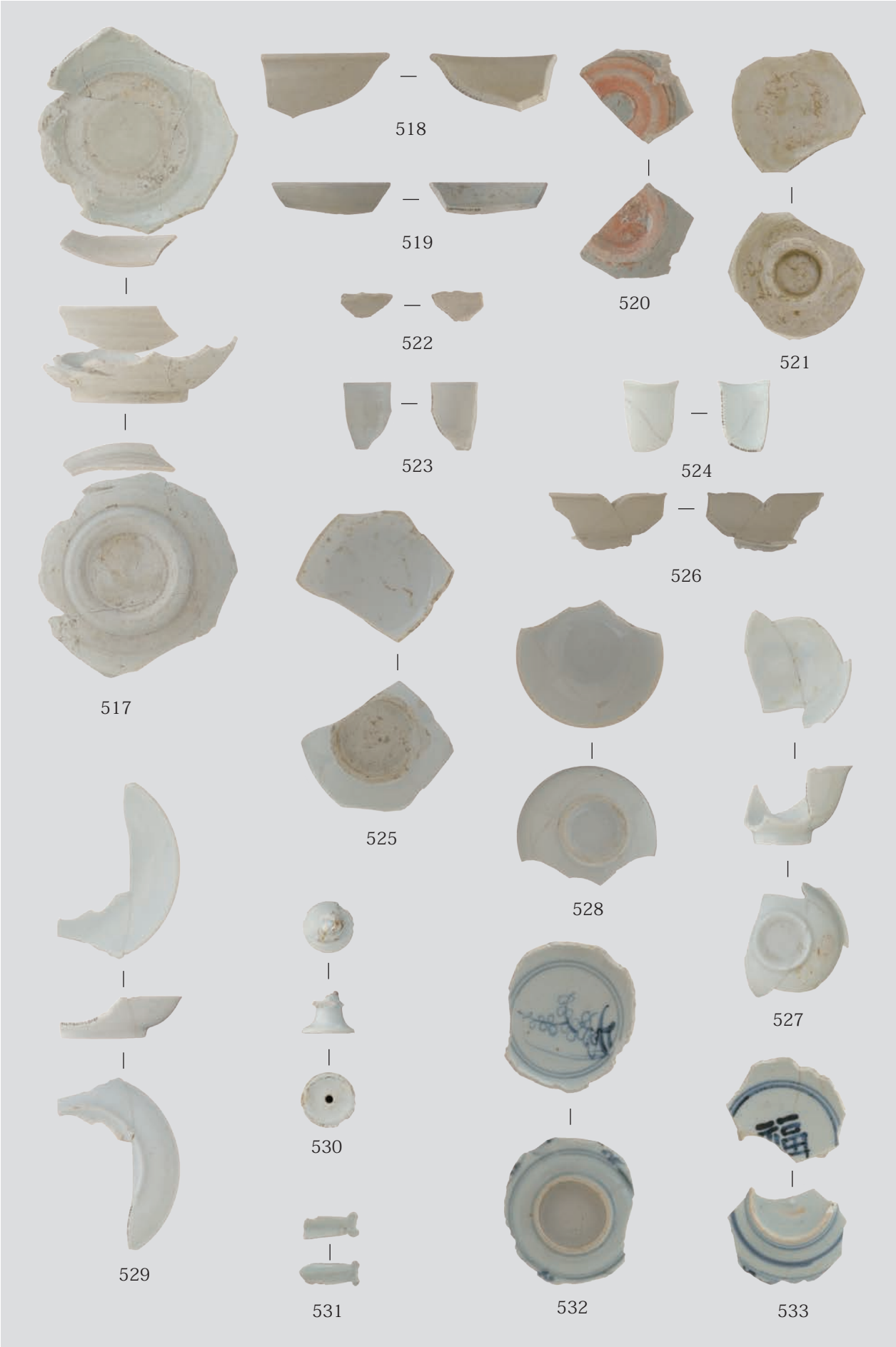


第 82 図　撹乱層 出土遺物 21

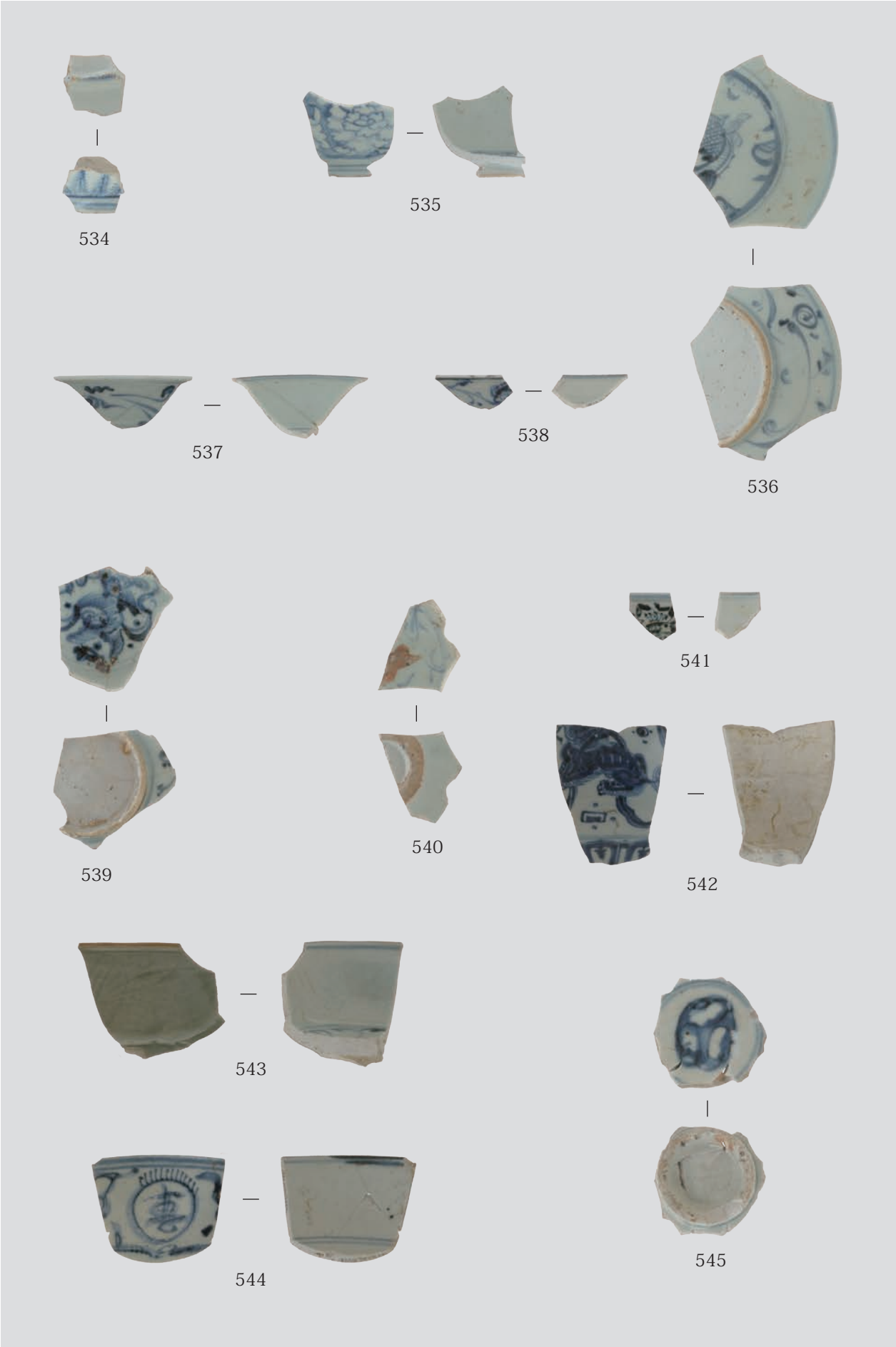
図版 66　撹乱層 出土遺物 1



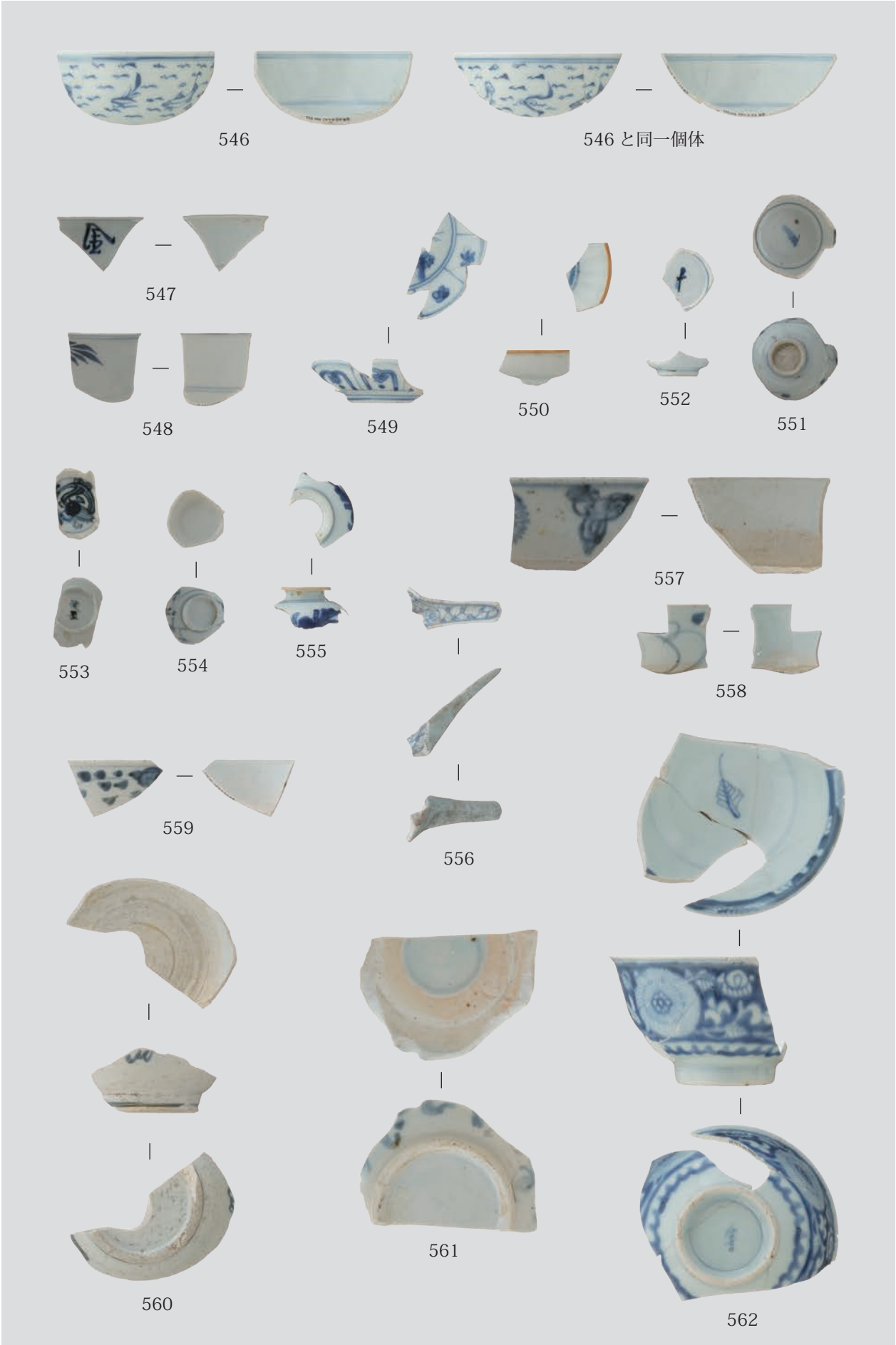
図版 67　撹乱層 出土遺物 2



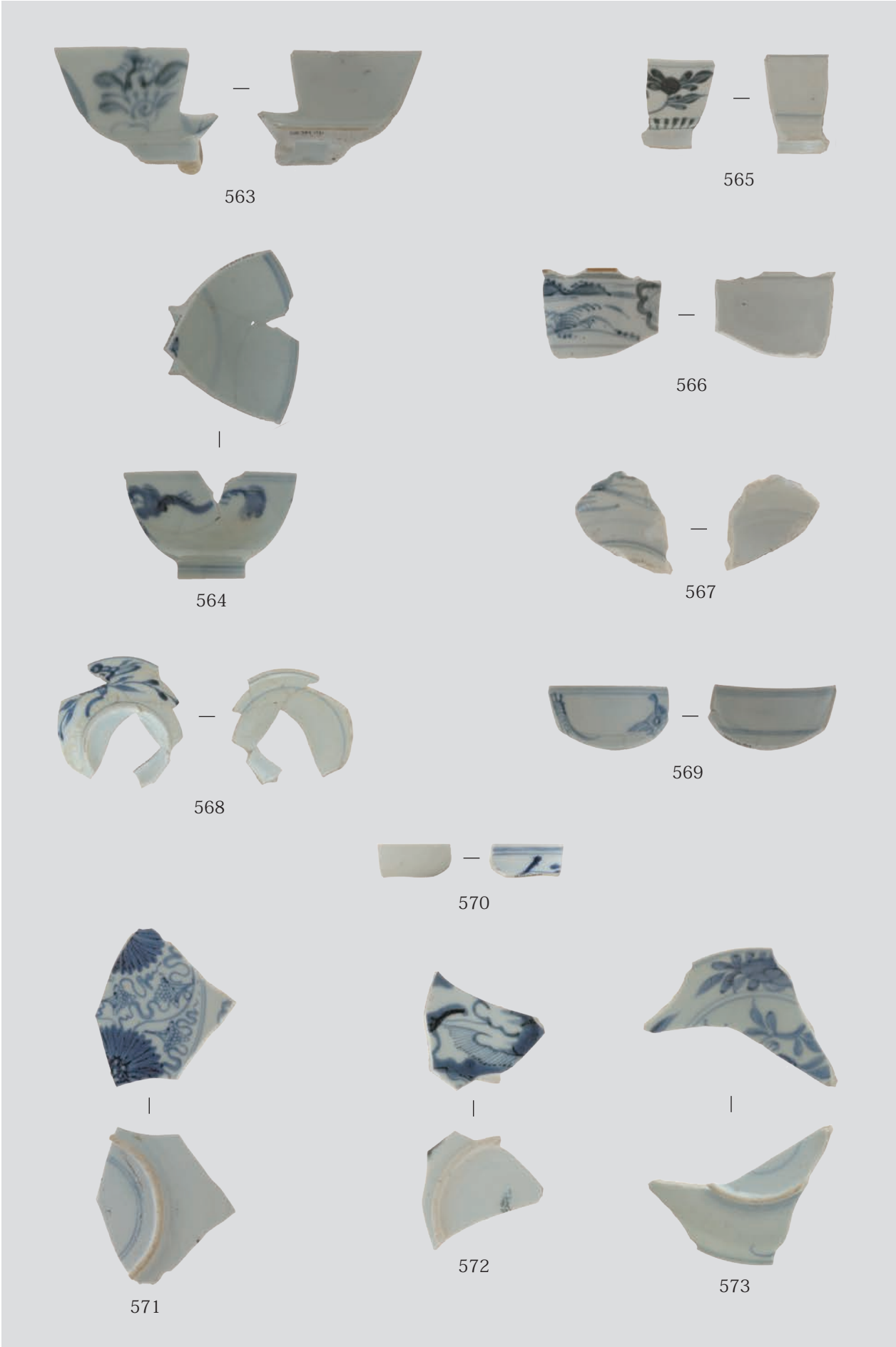
図版 68　撹乱層 出土遺物 3



図版 69　撹乱層 出土遺物 4



図版 70　撹乱層 出土遺物 5



図版 71　撹乱層 出土遺物 6

図版 72　撹乱層 出土遺物 7

図版 73　撹乱層 出土遺物 8

604

605

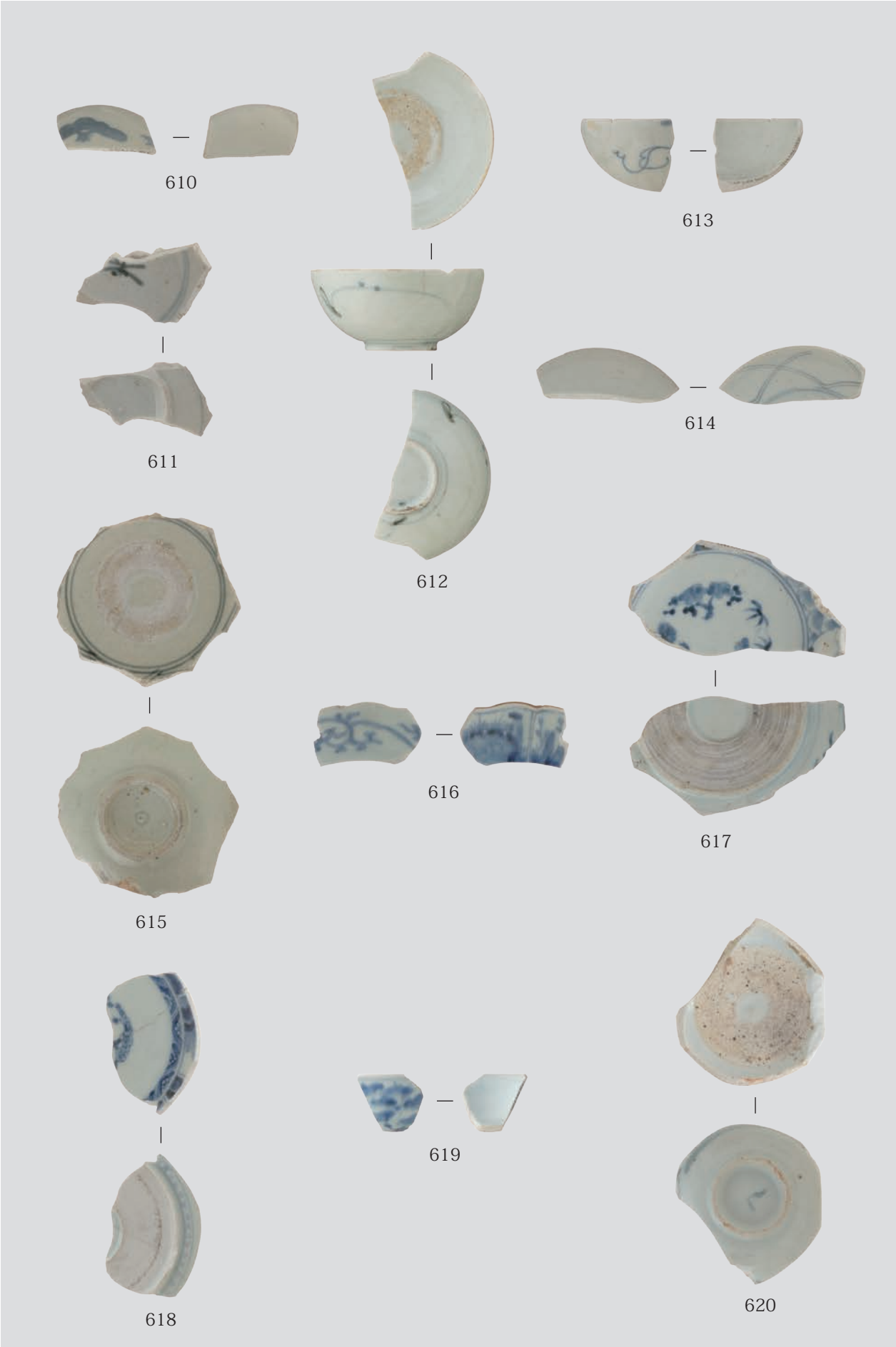
606

607

608

609

図版 74　撹乱層 出土遺物 9



図版 75　撹乱層 出土遺物 10

図版 76　撹乱層 出土遺物 11

634

635

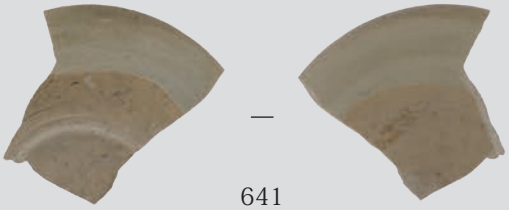
636

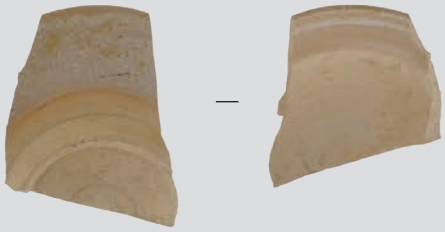
637

638

639

640

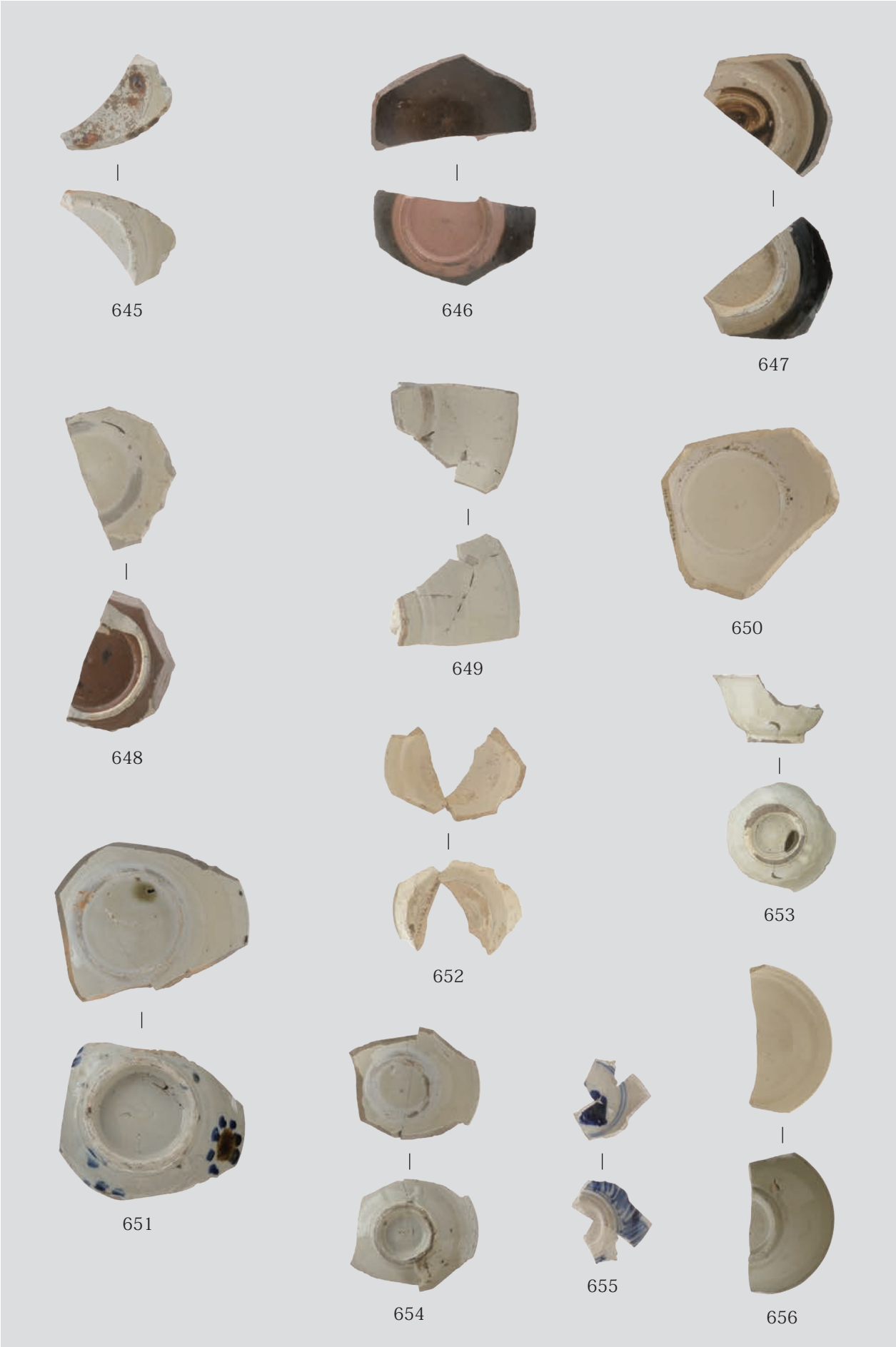

641


642

643

644

図版 77　撹乱層 出土遺物 12



図版 78　撹乱層 出土遺物 13

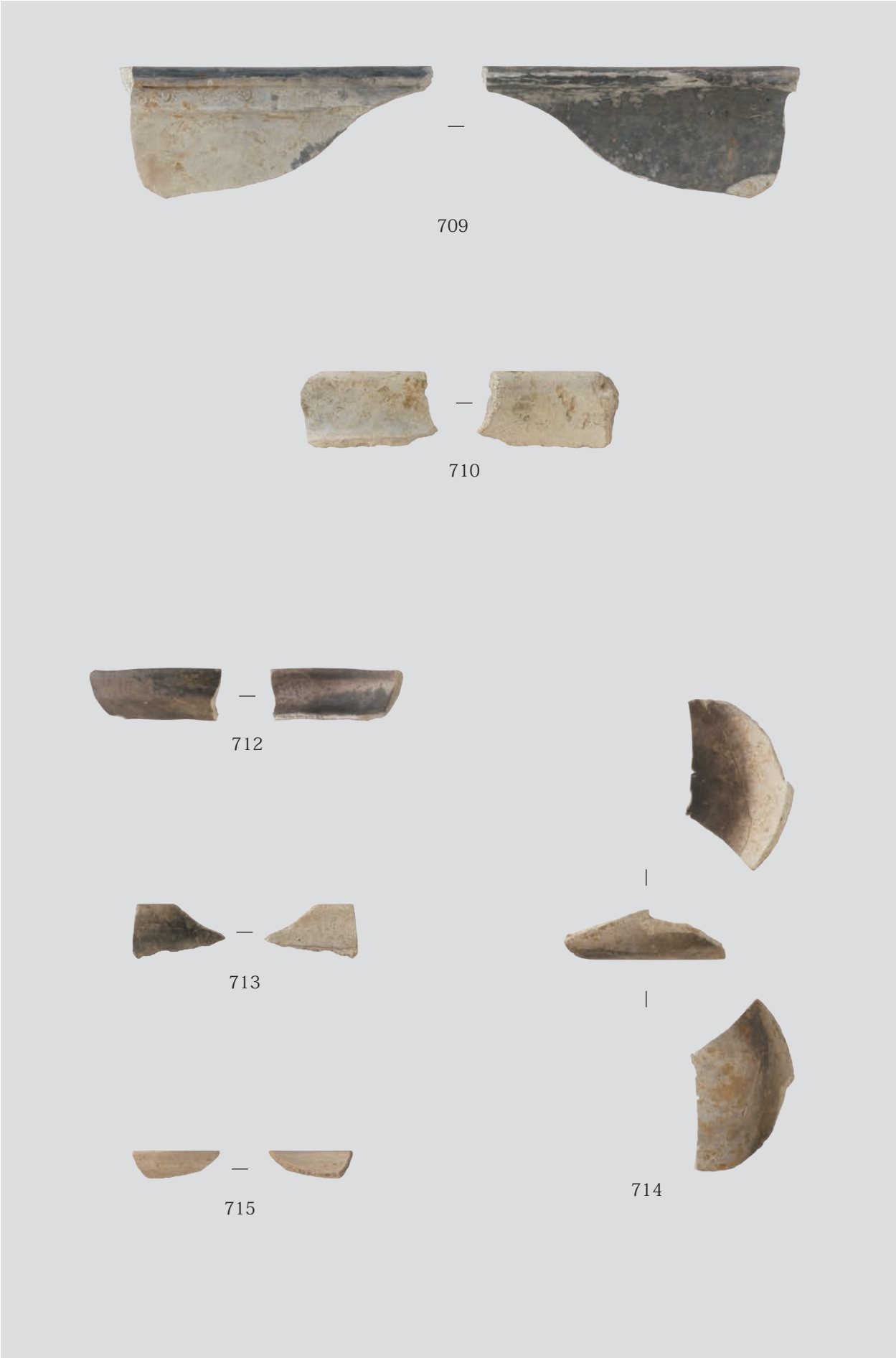
図版 79　撹乱層 出土遺物 14

図版 80　撹乱層 出土遺物 15

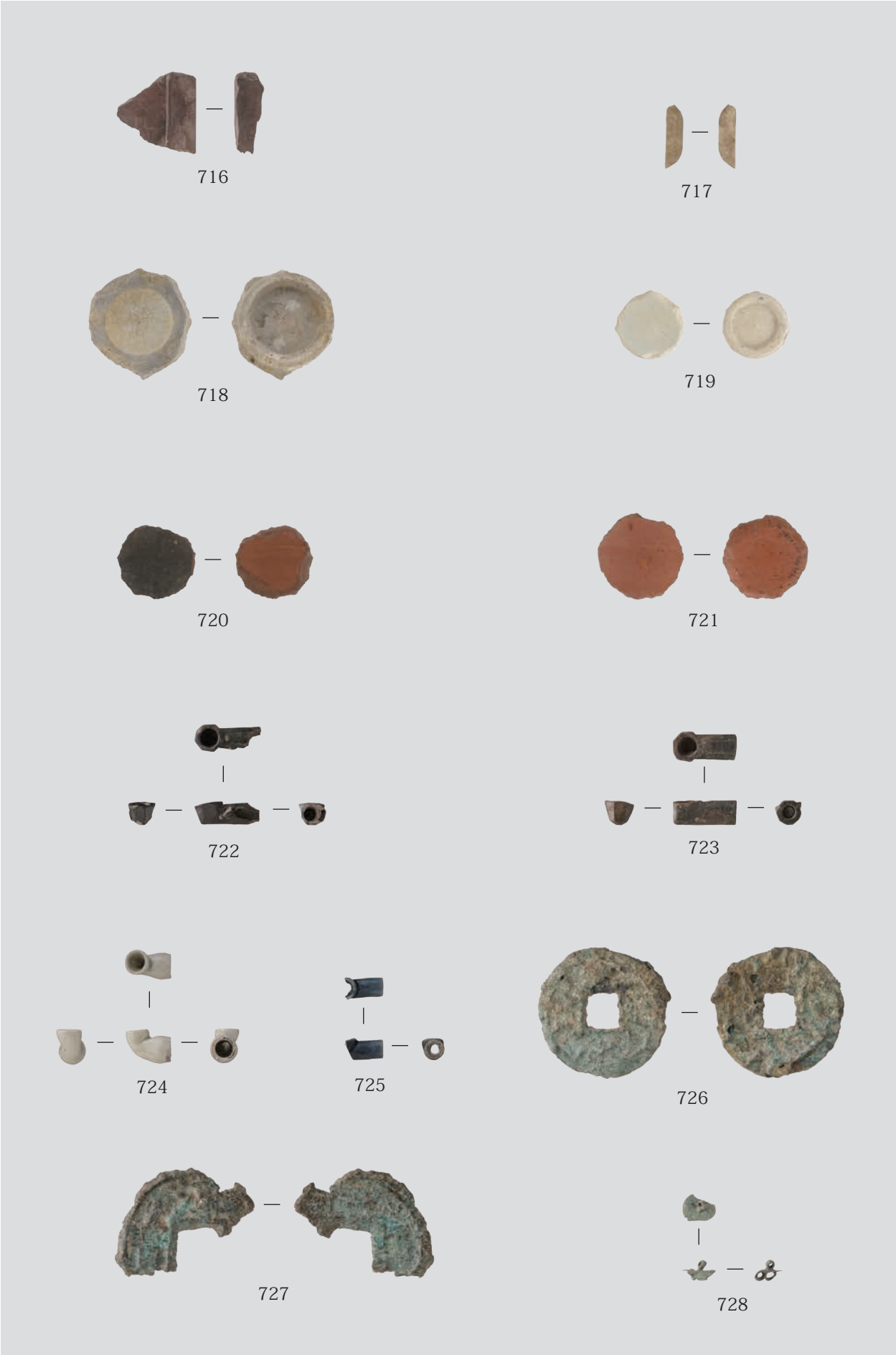
図版 81　撹乱層 出土遺物 16

図版 82　撹乱層 出土遺物 17

図版 83　撹乱層 出土遺物 18



図版 84　撹乱層 出土遺物 19



図版 85　撹乱層 出土遺物 20

図版 86　撹乱層 出土遺物 21

第５節　自然遺物

東村跡の発掘調査では多数の自然遺物（脊椎動物遺体及び貝類遺体）も出土した。以下に、種類別に概要をまとめる。

第１項　脊椎動物遺体

東村跡から出土した脊椎動物遺体については、東海大学海洋学部海洋文明学科講師の丸山真史氏に整理指導及び種同定をいただいた。分析資料は全て発掘現場で取り上げられた資料（ピックアップ資料）である。また、分析資料の出土層序は、下位からⅤ層（14 世紀後半～ 15 世紀前半）、Ⅳ層（15 世紀前半頃）、第２検出面の遺構（15 世紀～ 16 世紀代）、第１検出面の遺構（17 世紀後半～ 19 世紀代）である。Ⅲ層からも多くの脊椎動物遺体が出土したが、今回は時間的な制約もあり、調査で得られたすべての資料を整理・分析することはできなかった。遺構出土資料についても、同様に全遺構から出土した資料を整理・分析することはできなかった。そのため、本報告で掲載される資料は、出土した資料の一部となっている。

東村跡から出土した脊椎動物遺体は魚類、爬虫類、鳥類、哺乳類が確認されている（第 49 表）。

＜動物遺存体種名一覧＞

軟骨魚綱　Class Chondrichthyes
　サメ目 Lamnida
属・種不明　Gen.et sp.indet.
硬骨魚綱　Class Osteichthyes
　ハタ科　Family Serranidae
　属・種不明　Gen.et sp.indet
　タイ科　Family Sparidae
　属・種不明　Gen.et sp.indet.
　フエフキダイ科　Family Lethrinidae
　ハマフエフキ型　Lethrinus cf. L. nebulosus
　属・種不明　Gen.et sp.indet.
　ベラ科　Family Labridae
　アオブダイ属　Scarus spp
爬虫綱　Class Reptilia
　ウミガメ科　Family Cheloniidae
鳥綱　Class Aves
　ニワトリ　*Gallus gallus var. domesticus*
　科・属不明　Fam.et gen.indet
哺乳綱　Class Mammalia
　食肉目　Order Carnivora
　イヌ科　Family Canidae
　イヌ　*Canis familiaris*
　奇蹄目　Order Perissodactyla
　ウマ科　Family Equidae
　ウマ　*Equus caballus*
　偶蹄目　Order Artiodactyla
　イノシシ科　Family Suidae
　イノシシ　*Sus scrofa*
　ブタ　*Sus scrofa var. domesticus*
　ウシ科　Family Bovidae
　ウシ　*Bos taurus*
　ヤギ　*Capura hirucus*

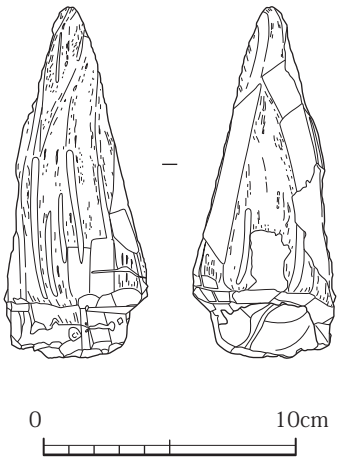
出土した脊椎動物遺体の中で最も多いのがイノシシ / ブタ類で、各層・遺構でも多い。続いて、ウシ / ウマ、ウシ、ウマと多い。それぞれ未成獣と考えられる骨も確認されている。

イノシシ / ブタ　部位をみると肩甲骨が一定量出土していることより、嗜好性があった可能性、あるいは事前に解体して東村に運んだ可能性も考えられる。その他、注目される事項として、遺構の頁でも触れたが、第 1 検出面遺構の SU5 では、それほど大きくない遺構にも関わらず幼獣の骨が 4 個体分出土していることが挙げられる。

ウシ　特徴的な資料として、牛角芯が 9 点得られている。すべて第 1 検出面の遺構出土である。角芯の表面を観察すると、角の根元部分から角先に向かって削り剥がされたような痕跡が確認される。また、角の根元は 2 方向から切断された痕跡も確認される。これらの資料について、丸山氏からいくつか重要な教示をいただいた。角芯の周囲には角鞘 (つのさや) 部がとりまく。角鞘は、爪や毛髪と同じくタンパク質の一種であるケラチン質でできており、この角鞘を切り剥がして熱を加えると板状に加工でき、これを偽鼈甲の材料として利用する事例が本土でみられる。関西では、16 世紀後半の遺構から牛角が出土しており、角鞘を切り開いて偽鼈甲に利用した事例が確認されている。

これらのことより、東村跡で出土した牛角芯も同様に、角鞘を切り開いて鼈甲の模造品を造った可能性が考えられる。中でも SK1 出土の牛角芯が注目され、同遺構からは 1 点の牛角芯が出土したが、ウミガメ科の甲板片も一緒に出土した。この出土状況から、同遺構出土のウミガメ科の甲板は鼈甲の原材料の可能性があり、また牛角は鼈甲細工の代用品としての利用を裏付けるものと考える。年代的には、東村跡では 17 世紀後半～ 19 世紀初の近世段階である。また、SK1 からは複数の脊椎動物遺体が出土しているが、ウシについては角芯以外に他の部位がみられない。このことより、解体時に牛角を切り離して東村に持ち運んだ可能性が考えられる。

その他の特徴的な事項として、東村跡出土の獣骨類には種類を問わず、切断痕のあるものが一定量確認された。また、中には骨髄をとるための作業工程である「スパイラル割れ」が確認される骨も散見された。魚骨については、一定量出土しているが、同定作業ができたのは一部に留まっている。



第 83 図　牛角芯 (SK1 出土)

図版 87　牛角芯　　1. SK1 出土　2・7 ～ 9. SD1 出土　3・4. SK89 出土　5・6. SK19 出土

第 49 表　脊椎動物遺体出土一覧

出土地 / 動物種	第1検出面									第2検出面						Ⅳ層	Ⅴ層	合計
	1地点				2地点	3地点				1地点		2地点		3地点				
	SK1	SK13	SK19	SD1	SU5	SK86	SK87	SK88	SK89	SU2	SU3	SX13		SK133	SL1			
												埋土	下層			1地点	1地点	
サメ類									1									1
ハタ科												1						1
ハマフエフキ型								2										2
フエフキダイ科			1									1						2
フエフキダイ科？												1						1
タイ科												1						1
ベラ科			1															1
ベラ科？												1						1
アオブダイ属？	1								1									2
種不明			2									2						4
種･部位不明		1	3									2						6
魚類 合計	1	1	7	0	0	0	0	2	2	0	0	9	0	0	0	0	0	22
ウミガメ科	1											3	5					9
ニワトリ			2			1												3
爬虫･鳥類 合計	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3	5	0	0	0	0	12
イヌ			2						1							1		4
イヌ？			2															2
イノシシ/ブタ	6	9	68		22	16		16	55		2	110	70	3	8	28	18	431
イノシシ/ブタ（未成獣）	1	1	3		34	2		3	3		1	10	26		5	1		90
イノシシ/ブタ？（ブタ？）	6		4						2									12
イノシシ/ブタ（ブタ?）（未成獣）			1					1				1						3
イノシシ/ブタ？					94				2			6	12			4	9	127
イノシシ/ブタ？（未成獣）			1													1		2
ウマ			1				1			1		8	4		1		1	17
ウマ（未成獣）	1											18						19
ウマ？												5						5
ウシ/ウマ		2	3						3	2		11	96			2	4	123
ウシ/ウマ（未成獣）	1											2						3
ウシ/ウマ？										1						1		2
ウシ			4		1				7		1	8	7			7	3	38
ウシ（角）	1		2	4					2									9
ウシ（未成獣）													1					1
ウシ？						1						1				1		3
ヤギ			3															3
ヤギ（未成獣）								1										1
ヤギ？					1													1
イノシシ/ヤギ（未成獣）			2															2
イルカ類？													1					1
哺乳類																1		1
哺乳類 合計	16	12	96	4	152	19	1	21	75	4	4	180	217	3	14	47	35	900
小哺乳類or鳥類			1															1
種不明 合計	0	0	3	0	2	3	0	0	7	0	0	54	0	1	0	0	0	70
種･部位不明	2	2	70	0	7	1	1	0	57	1	1	41	126	0	6	20	3	338
総　計	20	15	179	4	161	24	2	23	141	5	5	287	348	4	20	67	38	1,343

図版 88　脊椎動物遺体 1

ウミガメ科　1. 背甲板＋縁骨板　2 ～ 5. 甲板　ウシ　6 ～ 13. 角芯

図版 89　脊椎動物遺体２

イノシシ / ブタ　14. 右 下顎骨 P_4 ～ M_2 解体痕あり (未成獣)　15. 左 寛骨　ウマ　16. 右 寛骨 解体痕あり　17. 左 肋骨 解体痕あり　18. 右 脛骨　19. 右 大腿骨　20. 右 上腕骨 解体痕あり　21. 左 上顎骨 P_2 ～ M_1(未成獣)　22. 下顎骨 P_2 ～ P_3 解体痕あり　23. 左 上顎歯 P_3　24. 右 上顎歯 M_1　25. 左 下顎歯　26. 右 下顎歯 C　27. 右 上顎歯 I^1　28. 右 上顎歯 I^2　29. 右 上顎歯 I^3

第２項　貝類遺体

東村跡から出土した貝類遺体については、千葉県立中央博物館主任研究員の黒住耐二氏に整理指導及び種同定をいただいた。分析資料はすべて発掘現場で取り上げられた資料（ピックアップ資料）である。また、分析資料の出土層序は、下位からⅤ層（14 世紀後半～ 15 世紀前半）、Ⅳ層（15 世紀前半頃）、第２検出面の遺構（15 世紀～ 16 世紀代）、Ⅲ層（15 世紀中頃～ 17 世紀初）、第１検出面の遺構（17 世紀後半～ 19 世紀代）、Ⅱ層（近代～戦前）、撹乱層である。

東村跡から出土した貝類遺体は 50 科 206 種が確認されている。巻貝ではヤコウガイ、サラサバテイ、チョウセンサザエ、ハナマルユキ、ハナビラ等が多く、二枚貝ではアラスジケマンガイ、ウラキツキガイ等が多くみられる。中でも、サラサバテイについては集積遺構が複数検出され、なおかつそれらは首里城跡銭蔵東地区で見つかった螺鈿細工に利用されたサラサバテイと割れ方が類似していた。そこでサラサバテイについては首里城跡銭蔵東地区における分析方法を参考にしてデータ整理を行うとともに、同様に多数出土したヤコウガイについても、大量出土した同地区との比較を込めて、同地区における分析方法を参考にデータ整理を行った。以下にいくつか特徴的な貝について種類別に概要をまとめる。

チョウセンサザエ　東村跡で出土したチョウセンサザエの中には床面に接する部分が剥離しているものがみられた。これらはつぼ焼きの可能性を考えたが、黒住氏に見ていただいたところ、剥離の位置が適した箇所にみられるが、焼けている様子が見られないため、つぼ焼きとするにはやや厳しいとのご教示をいただいた。しかし、剥離がある資料も複数みられるため、整理作業に際しては剥離の有無についても注意して観察を行った。

タカラガイ　渡地村跡では、輸出用と考えられるハナビラダカラとハナマルユキがまとまって多く出土した。東村跡においても、ハナビラダカラとハナマルユキは出土しているが、遺構からの出土量は渡地村跡と比較すると少ない。よって、輸出用とは考えにくいと思われる。また、これらの資料の中には背面に孔がみられるものが 25 点あった。そのうち、製品を意識して人為的に孔を開けたと判断されるものは、３点確認された。これら以外は割る行為はうかがえるが、製品を意識しているとは言えない資料であった。

第 50 表　タカラガイ科有孔製品

出土地		グリッド	科名	種名	状態	縦(cm)	横(cm)	割れ面	割れ	スレ
1地点	第1検出面	C･D-5 SX5	タカラガイ科	ハナビラダカラ	完形	1.6	1.2	背面-中央欠	人為　製品	×
2地点	Ⅲ層	E-13	タカラガイ科	ハナマルユキ	完形	2	1.6	背面-中央欠	人為　製品	×
3地点	第2検出面	H-10 SK124	タカラガイ科	ハナマルユキ	完形	1.1	0.8	背面-下部欠	人為　製品	×

チョウセンサザエ

タカラガイ科有孔製品

ヒレジャコ　大型（最大幅約 20 ～ 30cm 大）の個体が４個あり、それぞれ観察すると、殻の縁部分を打割した痕跡が確認される。この割り方は中身を取り出す以外の目的で割っていることが考えらえる。また、縁部分が灰色を帯び、焼けている状況も確認された。４個はそれぞれ別個体のもので、死貝ではない。どのような目的で焼けているのかは不明である。

ヒレジャコ

イタヤガイ　沖縄では採れない貝であるイタヤガイが 17 点出土した（第 51 表）。第１検出面の遺構（SK4、９、19、SD1）から 14 点、第２検出面の遺構（SX13）から１点、撹乱層から２点出土しており、主に近世以降に量がみられる。すべて右殻で、加工の痕跡はみられないことより、何らかの製品を作る材料として、殻だけを本土から輸入した（持ち込んだ）と考えられる。イタヤガイは薩摩で採れ、薩摩の人がよく好んで食べるとの事より、薩摩からの持ち込まれたものとも考えられる。

第 51 表　イタヤガイ科

番号	網名	科名	種名	第1検出面 1地点 D6 SK4 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	D7 SK9 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	E8 SK11 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	E8 SK19 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	E8 SD1 上面 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	D8E8 SD1 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	第2検出面 2地点 F・G14 SX13 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	撹乱 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	合計
1	二枚貝	イタヤガイ科	不明					1										2		1		3	5				1					1					1					2	17

ヤコウガイ　東村跡から合計 2,219 点のヤコウガイが出土した。これらを①個体数、②殻の欠損状況における分類、③殻及び蓋の大きさ、④殻の破片の観察という大きく４つの観点から整理を行った。

(1) 個体数について

殻については、殻頂のみ残すもの、殻頂＋臍部分が残存するもの、臍盤のみ残存するものに分け、殻頂＋臍部分が残存するものを１個体と記録し、殻頂のみ残すものと臍盤のみ残存するものは多い方の数を最小個体数とし、それらの合計を最少個体数とカウントした（第 52 表）。

蓋については、完形と殻頂（内側にみえる渦巻きの芯部）を残すものに分け、それぞれの個体数を最少個体数とカウントした（第 53 表）。

集計の結果、ヤコウガイの出土状況は殻 334 点に対し、蓋は 127 点で、その割合は約３：１であり、殻の出土量が多い。この状況は殻と蓋が一対で同時に持ち込まれたものもあれば、殻と蓋は別の場所で分けられ、殻だけが集められて利用、廃棄されたものもあるかと考えらえる。層位別にみると、貝集積遺構が検出された第２検出面では、殻に対する蓋の割合が３割に満たないため、殻だけが集められて利用され、廃棄されたものの可能性が高いと考える。

第 52 表　ヤコウガイ殻の個体数

出土地		Ⅱ層 1地点		Ⅲ層 1地点					2地点						3地点					Ⅳ層 1地点	3地点	第1検出面 1地点									2地点				
		E-7	D-9	C-5	D-5	D-8	D-9	E-8	E-9	E-12	E-13	E-14	F-12	F-13	F-14	G-7	G-13	G-14	I-12	J-13	D-9	G-H8	D-7	D-8	E-8	E-8	E-8	E-8	D-・E-8	D-8	D-8・9	E-8	C-5	E-8・9	E-8	E7・8	D-5	G-13	F-12	F-12	F-11	F-13
殻個体数	殻頂のみ残存	1	2			3			2	5		4	1	2	8	1	1	1	1		2					1	1	1													1	1	
	殻頂＋臍部分残存			1	1	3			2	3		2	9	1	4			2		2		1							4		1	1	1				1				4	1
	臍の部分のみ残存	2			1	5	3	6	2	5	4	6	9		25	1	1	3	1	4			1	4	1				8	1	3			1	2	1	1	1	1		1	1	
	合計	3	2	1	2	11	3	6	6	13	4	12	19	3	37	2	2	6	2	6	2	1	1	4	1	1	1	1	12	2	5	1	1	1	2	1	2	1	1	1	6	2

出土地		第1検出面 3地点				第2検出面 1地点			2地点												3地点												撹乱	合計
		J-13	H9・10	H9・10	J-13	E8・9	D-8	E8・9	F-11	F-11	E-12	F-12	E-11	F-12	E-12	F-12	E-11	E-F-11	G14	E-F-14	F・G 13・14	E-F-13	F-13	F-12-13	G-6・7	G-6・7	G-7	I-11	I-11	H-10	I-11	H-8	I-11	H-11	I-11	I-10		
		SK86	SK89	SK89 掘方	SP289	SK24	SK55	SX9	SK83	SK84	SP199	SP216	SP234	SP239	SP259	SU6	SU7	SU8	SU9	SX12	SX13	SX14	SX16	SX20	SK90	SK90 掘方	SK97	SK118	SK121	SK131	SK133	SP405	SS6	SX25	SX26	SX27		
殻個体数	殻頂のみ残存	1		2	1	1								1					1	1	3	1		1			1	1		1				1	1	10	69
	殻頂＋臍部分残存		2		1		1	1	1						1	1	1	2		3	3			2	2		2					1			1		13	82
	臍の部分のみ残存	4		1	2			1		1	1	1	1				1			3	24	2	1	1	1	1	1		1	1			2	1	1	1	24	183
	合計	5	2	3	4	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	7	30	3	1	4		3	1	4	1	1	2	1	2	1	3	2	47	334

（個体数）
凡例：
・殻頂のみ残存…Ⅲ-①類
・殻頂＋臍部分残存…Ⅰ類・Ⅱ-①・②類、Ⅲ-②類・Ⅳ類
・臍の部分のみ残存…Ⅲ-③類

第 53 表　ヤコウガイ蓋の個体数

出土地			Ⅱ層						Ⅲ層																																															Ⅳ層		
			1地点						1地点																								2地点																					3地点			1地点		
			D-6・7			E-7			C-6			D-5			D-8			D-9			E-6			E-7・8			E-8			E-9			E-12			E-13			E-14			F-12			F-13			F-14			G-14			H-11			D-8		
網名/科名/種名/生息地			完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
腹足網	リュウテンサザエ科	ヤコウガイの蓋	1				1	1		1			1		1			2					1	1			3		1	5	1		5		11	4		1	1		3	2	1	8	10	5	1	3	5	1	2		1		1		1	1	

出土地			第1検出面																																																										
			1地点																																																									
			C-6			D-7			E-8			E-8			E-8			E-8			D-8・9			D-8			D-8			D-8			D-8			D-9			C-5			E-6			D-6			E-8・9			E-8			E-7・8			C-6			D-5		
			SK2			SK9			SK12			SK13			SK19掘方			SK19			SP1			SP13			SD1 トレ1			SD1トレ2			SD1			SD1上面			SS1			SS2トレ1			SS2			SE2			SE2掘方			SX1			SX5			SX7		
網名/科名/種名/生息地			完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
腹足網	リュウテンサザエ科	ヤコウガイの蓋	1			1			2			2	1				1	2	3	2	1					1	1			1				1		1					2			1	1			1			1			1					1			1

出土地			第1検出面															第2検出面																																													撹乱			合計			最少個体数
			2地点												3地点			1地点																											2地点									3地点																		
			E-12			E-12			F-13			E·F-11			H-10～I-11			D-6・E-6			E-13			F-11・12			F-14			F-13			D-6・7			C-4			E-8			E-8・9			F-14			F-13			F-12			G-6～H-7			G-7			H-10			H・I-9									
			SP201			SP202			SD5			SX10			SK88掘方			SK47			SK68			SK75			SU5			SE4			SS3			SS4			SX8			SX9			SX14			SX16			SX20			SK91			SK96			SK131			SL1									
網名/科名/種名/生息地			完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	
腹足網	リュウテンサザエ科	ヤコウガイの蓋			1		1		1			4		1	1			1			1			1			1	1	1	2			1		1	1				1		4		1	1			3			1			2					1	3		1	1		1	12	4	12	98	29	58	127

完形…1/2以上残存で巻き部分が残存するもの
殻頂…1/2以下で巻き部分が残存するもの
破片…殻頂なしで残存部分が1/2以下

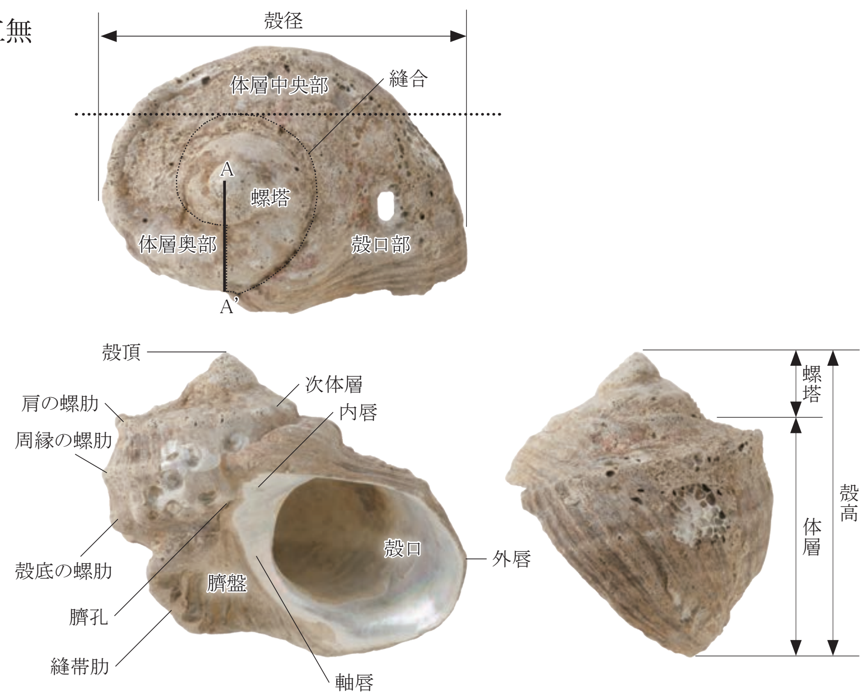
個体数…完形と殻頂の合計したものを最少個体数とする。

⑵ 殻の欠損状況における分類について

首里城跡銭蔵東地区における分類方法を参考にし、さらに本遺跡独自での項目も追加し分類を行った。その結果、以下の 12 分類に分けられた。

ヤコウガイ殻欠損による分類

Ⅰ類：体層全体を残すもの (いわゆる完形)
Ⅱ－①類：体層全体は残すものの殻口部分が欠損しているもの
Ⅱ－②類：殻口から体層を欠損するもの
Ⅲ－①類：体層を大きく欠損し螺搭部分のみが残存するもの
Ⅲ－②類：体層を大きく欠損し羅搭、臍盤、軸唇を残すもの
Ⅲ－③類：体層を大きく欠損し軸唇と臍盤を残すもの
Ⅳ類：体層途中で欠損するもの
螺肋：螺肋部分を残す破片
破片 -a：螺搭部分の破片
剥離 -a：剥離で加工有
剥離 -b：剥離で加工無
破片：不明破片



ヤコウガイ各部名称

Ⅰ類：体層全体を残存（完形）

Ⅱ－①類、Ⅱ－②類

Ⅲ－①類

Ⅲ－②類

Ⅲ－③類

Ⅳ類：体層途中を欠損

東村跡で出土したヤコウガイの殻 2,226 点を体層の欠損状況に着目して分類し、層位別に集計したものが第 54 表である。すべての層のⅠ類～Ⅳ類の出土数を合わせた 335 点のうち、Ⅰ類、Ⅱ類（①･②）、Ⅳ類の出土数は 35 点と出土割合全体の１割で、Ⅲ類が９割を占める。この傾向は首里城跡銭蔵東地区の傾向と差異はみられない。しかしながら、同地区においては、Ⅲ－①類とⅢ－③類の出土割合が１：１であるのに対し、東村跡では１：２を示し、Ⅲ－③類の割合が高い。また、本遺跡では螺塔部分の破片が 230 点と多く出土していることから、銭蔵東地区で指摘された一個体の殻を螺塔部分（Ⅲ－①類）と軸唇・臍盤（Ⅲ－③類）に２分割する工程を行った後に、さらに螺塔部分（Ⅲ－①類）を割り取る行為が行われたのではないかと考えられる。

その他、殻の分類にあたり、被熱の有無についても観察を行った。その結果、煤けている等、被熱を受けたと考えられる痕跡が複数の殻に確認された。また、被熱を受けたと考えられる箇所は臍部分に多い傾向がみられた。これはつぼ焼き等の調理方法の痕跡を示すものであろうか。

(3) 殻及び蓋の大きさについて

本遺跡から出土したヤコウガイの平均な大きさを把握するために、殻径が測れるものについては径の計測を行った。また西野望、木下尚子氏によるヤコウガイセ計測値を参考に、セ計測（最も残存率の高い殻頂（殻頂を欠損するものについては螺軸の中心：A）と、殻口と次体層の接点（A'）との水平距離を計測したもの。殻径と殻長の大きさは比例関係にあることを前提）についても実施した。計測値の結果は第 55 ～ 57 表のとおりである。蓋については､最大径を計測した（第 58 表）。

ヤコウガイ蓋分類

今回、セ計測値により殻の大きさを計測できたものは 55 点で、大きさの傾向をみると、最も多いのが 36 ～ 40mm であり、41 ～ 45mm もほぼ量的には変わらない。全体的にみると、31 ～ 55mm の範囲の大きさをもつ殻が全体の７割を占める。また、セ計測値が 90mm を超える大形のものが出土していることも特徴的である。この他参考資料として、出土したヤコウガイ殻の中にセ計測値と殻径の両方測れたものが８点あった（第 57 表）。これらの中には殻径が 200mm になる大型のものもみられた。これらのことより、本遺跡出土のヤコウガイの殻は小形の幼貝ではなく、成貝または成貝に近い大形のものが多いことが言える。

(4) ヤコウガイの殻の破片について

殻の破片が多く出土しており、これらを観察すると、方形状の破片や、穿孔の痕跡、切断面を研磨したような痕跡等が確認されるものが見つかった。これらのことより、ヤコウガイの殻を何かに利用するため人為的に手を加えたことが考えられた。

以上、本遺跡出土のヤコウガイの殻についてまとめると、大形のものが持ち込まれていること、またヤコウガイの殻には人為的な切断痕や、穿孔の痕跡等がみられ、明らかに何らかの素材として利用するために手が加えられている様相が確認された。この様相は首里城跡銭蔵東地区出土のヤコウガイと類似した特徴がみられる。同地区出土のヤコウガイに関する分析を行った西野氏は、螺鈿の材質として「ヤコウガイの蓋或いは未成殻を原料としたと思われるものは皆無で、殻の厚い老成殻のみを用いている。」という正倉院における螺鈿材質調査報告に触れ、成貝に限りなく近いやや大形の殻が多い同地区出土のヤコウガイについて、螺鈿素材として利用された可能性を大いに含んでいると指摘している。これらのことより、東村跡出土のヤコウガイについても螺鈿素材として利用された可能性を言うことができるものと思われる。

サラサバテイ　本遺跡出土のサラサバテイは集積遺構として多数検出された。しかも殻は同じサイズ・形状の破片がまとまっている様相が確認され、単に食糧残滓とは考えにくいものであった。そこで、サラサバテイについても、①殻の欠損状況における分類、②殻の大きさの２つの観点に分けて整理を行った。

(1) 殻の欠損状況について

首里城跡銭蔵東地区出土のサラサバテイを分析した黒住氏の分類方法を参考とし、以下の７分類に分けた。

サラサバテイ殻欠損による分類

完形：拡張の欠けが少なく、完形に近いもの。

殻頂：体層は欠落し、殻頂部分が残存しているもの。

体層：体層が途中で割れているもの。真ん中の体層に当たるもので、1/2 以上残存するもの。

下層：体層巻きの下部分。最下層に当たるもの。1/2 以上残存し、径が測れるもの。

破片 体層：真ん中の体層部分に当たる。残存部が 1/2 以下のもの。

破片 下層：最下層に当たる残存が 1/2 以下のもので、径は測れないもの。

破片：不明破片。

東村跡で出土したサラサバテイの殻 1,120 点を体層の欠損状況に着目して分類し、層位別に集計したものが第59表である。さらに一括出土したSU(集積遺構)における出土状況は第１表～第９表である。SU をみていくと、殻は体層の欠落した殻頂部と体層部がみられ、完形のものはない。つまり、体層を外して何かに利用していた痕跡を示す。また出土した殻には殻口部や体層部に人為的な穿孔のあるものが確認され、体層を外す前に開けられたものと体層を外すためと考えられる打点も確認された。

(2) 殻の大きさについて

本遺跡から出土したサラサバテイの平均な大きさを把握するために、殻径が測れるものについては径の計測を行った（第 60・61 表）。その結果、最も多いのが 111 ～ 115mm であり、全体的にはややばらつきがみられるが、91 ～ 115mm の範囲の大きさをもつ殻が全体の約８割を占める。完形資料の中には径が 100mm を超えるものもみられた。これらのことより、本遺跡出土のサラサバテイは大形の成貝であることが言える。

以上、本遺跡出土のサラサバテイについてまとめると、利用された貝については大形のものが持ち込まれていること、また貝の利用の仕方をみると、殻は体層が割り取られた殻頂部の破片や体層部の破片が多いことより、体層部分を小さい破片に加工するような利用の仕方がうかがえた。このような様相は、首里城跡銭蔵東地区から出土した、螺鈿細工に利用したサラサバテイと同様な特徴を示しており、本遺跡出土のサラサバテイについても螺鈿素材としての利用が考えられる。つまり、本遺跡においても、螺鈿細工が行われていた可能性が考えられる。SU5 以外の貝集積遺構は第２検出面の遺構で、出土遺物には青磁碗Ｖ類、Ⅵ類、白磁皿Ｄ群、明代の青花等が伴っている。よって、年代的には 15 世紀後半～ 16 世紀前半と考えられ、銭蔵東地区での螺鈿利用と同時期を示す。ただし、本遺跡では出土した貝類遺体については、土壌サンプルによる細片の分析は行っておらず、研磨がみられる小破片の抽出等はできていないことから、決定的な証拠に欠ける点が課題である。

しかしながら、人為的な痕跡がみられる破片資料も多くみられる状況もあり、螺鈿細工が行われていたことを想定した上であらためて SU 遺構出土の貝について考察すると、SU9 以外はサラサバテイが多く出土し、他にヤコウガイがみられる。銭蔵東地区では、真珠層のある貝類としてヤコウガイ、サラサバテイ、チョウセンサザエ、ギンタカハマの４種が、螺鈿細工の利用に挙げられている。本遺跡では、貝種についてはサラサバテイとヤコウガイの２種に限定的である。銭蔵東地区で螺鈿細工が行われた 15 世紀後半～ 16 世紀前半頃、那覇の各地域でも螺鈿細工が製作されており、螺鈿素材としてはこの２種を利用していたことが考えられる。

以上、東村跡出土の貝類遺体についてまとめると、①食用にされた貝（食べられた貝）、②砂利造成で持ち込まれた貝（死貝や微小貝など）を主体とし、一部の貝においては加工に利用された貝がみられ、サラサバテイ及びヤコウガイの２種は螺鈿細工の利用が想定される。

第 54 表　ヤコウガイ　殻の欠損状況による分類

（第54表 その1：II層・III層・IV層）

層序・グリッド		II層			III層																							IV層			
		1地点			1地点											2地点									3地点			1地点			3地点
		D-9	E-7	E-9	C-5	C-6	C-7	D-5	D-6	D-8	D-9	E-6	E-8	E-9	E-9	E-12	E-13	E-14	F-12	F-13	F-14	G14	I12	G7	J-11	J-11·12	J-12	C-6	D-8	D-9	G·H-7
殻	I類																														
	II-①類																														
	II-②類									1										1											
	III-①類	2	1							3				2		5		4	1	2	8	1	1	1						2	
	III-②類							1		2				1		3		1	6		4	1									
	III-③類		2					1		5	3		6	1	1	5	4	6	9		25	3	1	1							
	IV類				1									1				1	3			1									
	螺肋		8	1				4	5	6	5	2	3	4		3	17	56	29	31	120	9	1		2	2	2		3		
	破片-a		1					1		1			1	1		2	4	12	5	11	30	4					1		1		
	剥離-a(加工有)									1						5			2	1	2			2						
	剥離-b(加工無)									6			2	1		41	3	11	18	6	9	6		2						
	破片		16			1	1	2	6	17	12		6	11		63	9	38	40	17	134	8	1	1				1	2	1	1
合計		2	28	1	1	1	1	9	11	42	20	2	18	22	1	127	37	129	113	69	332	33	4	7	2	2	3	1	6	3	1

（第54表 その2：第1検出面 1地点）

層序・グリッド		第1検出面																									
		1地点																									
		C-4～D-5	C-6	D-7	D-8	E-8	E-8	E-8	E-8	D-6	C-6	E-8	E-8	C-6	E-8	D-6·8·9E-8	D-8	D-8	C-5	E-6	D-4	D-8～E-9	E-8	E-7	E-7·8	D-6～E-7	D-5	E-8·9
		SK1	SK2	SK8	SK10	SK11	SK12	SK13ホリカタ	SK13	SK16	SK17	SK19ホリカタ	SK19	SP1	SP3	SD1	SD1トレ1	SD1トレ2	SS1	SS2トレ1	SE1	SE2	SE2ホリカタ	SX1	SX1	SX4	SX7	SX9
殻	I類																		1									1
	II-①類																											
	II-②類																											
	III-①類						1		1				1			2		1				1					
	III-②類															3												1	
	III-③類			1	4	1										11		1				1	2		1		1	1
	IV類															1											
	螺肋	2	1		3		1			1		2			1	12								2	1	14			2
	破片-a		1									3				5						1				3	1			1
	剥離-a(加工有)																											
	剥離-b(加工無)				6											1				1									
	破片		2		9			1			1			1		21	2			1	2			2			1
合計		2	4	1	22	1	2	1	1	1	1	5	1	1	1	56	2	2	1	1	1	5	4	1	20	1	2	6

（第54表 その3：第1検出面 2地点・3地点、第2検出面 1地点）

層序・グリッド		第1検出面										第1検出面							第2検出面																			
		2地点										3地点							1地点																			
		E-14	E-13	G-13	F-12	F-11·12	F-13	F-14	F-13	E·F-11	F-13	J-13	I-12	H-10～I11	H-9·10	H-9·10	J-13	J-13	E-8·9	D-7	D-5	D-4	C-9	C-6	D-8	D-9	D-8·9	D-6	E-13·14	F-12	F-12	F-12	F-12	D-8	E-8	D6·7	D-8	D-6
		SK64	SK65	SK67	SK73	SK75	SD5	SU5	SE4	SX10	SX11	SK86	SK87	SK88ホリカタ	SK89上層	SK89ホリカタ	SP288	SP289	SK24	SK36	SK40	SK41	SP43	SP48	SK55	SK56	SK58	SP95	SP130	SP135	SP138	SP142	SP143	SU1	SU3	SS3トレ1	SS3トレ4	SS3
殻	I類														1																								
	II-①類									1																													
	II-②類														1																								
	III-①類									1		1				2		1	1													1						
	III-②類										1							1							1										1			
	III-③類			1						1	1	4				1		2													1						
	IV類									3																											
	螺肋		6	5	2	3	2		1	4	7	2	1			1	1	3		1	1	1	1			1	1		1		1		3		2			1
	破片-a						1			2		1																			2	1		1	1	1		
	剥離-a(加工有)										1																										
	剥離-b(加工無)	2		3						4	5																										
	破片	4	5	8	2		2	4	1	7	18	3		1				1						1				1		1		1			4		1	
合計		6	11	17	4	3	5	4	2	23	33	11	1	1	2	4	1	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	3	3	1	8	1	1	1

（第54表 その4：第2検出面 2地点）

層序・グリッド		第2検出面																								
		2地点																						
		E-12·13	F-11	F-11	F-13	E-12	E-12	F-12	E-11	F-12	E-12	E-12	E-12	E-12	F-12	E-11	F-11	G-14	E·F-14	F-13～G-14	F-13·14	E·F-13·14	F-13	F-12·13	F14
		SK79	SK83	SK84	SP170	SP191	SP199	SP216	SP234	SP239	SP259	SP267	SP272	SP279	SU6	SU7	SU8	SU9	SX12	SX13	SX13下層	SX14	SX16	SX20	SX21
殻	I類																								
	II-①類																1								
	II-②類														1										
	III-①類									1								1	1	2	1	1		1	
	III-②類		1								1								3		2			2	
	III-③類			1			1	1	1							1			3	8	16	2	1	1	
	IV類															1	1				1				
	螺肋	1		2							1		1	1	4		3	2	18	88	91	11		1	3
	破片-a	3	1															1	4	28	56	3			4
	剥離-a(加工有)																				6				
	剥離-b(加工無)																			2	10				
	破片	1			1	1						1			4		1		4	40	38	9			1
合計		5	2	3	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	9	2	6	4	33	168	221	26	1	5	8

（第54表 その5：第2検出面 3地点・撹乱・合計）

層序・グリッド		第2検出面																															撹乱	合計
		3地点																																
		G-6·7	G-6·7	G6～H7	H7	H7	G-7	G-7	G·H7	H-8	I10	H-10	H·I11	I11	I-11	H-10	I-11	H10～I11	I11	I11	H·I10	I9	H10	H8	G6	I10	H·I10	I-11	H·I-11	I-10·11	I-10	H9		
		SK90	SK90ホリカタ	SK91	SK93	SK94	SK96	SK97	SK99	SK103	SK111	SK114	SK117	SK118	SK121	SK131	SK133	SK137	SP320	SP328	SP344	SP363	SP377	SP405	SP439	SP447	SP450	SS6	SX25	SX26	SX27	SX28		
殻	I類																																2	5
	II-①類																																3	5
	II-②類																																2	6
	III-①類													1	1		1													1	1		11	71
	III-②類		2											2										1						1				4	46
	III-③類		1					1							1		1	1											2	1	1	1		29	183
	IV類																																5	19
	螺肋	1			2	1			1	2		1	1	3		1	2	2		1		1						1	1	9		3	114	781
	破片-a			1									1	6																3			19	230
	剥離-a(加工有)																																4	24
	剥離-b(加工無)																																36	175
	破片						1				1			1					1		1		1		1	1	1			2			73	681
合計		1	3	1	2	1	1	1	1	2	1	1	2	14	1	2	4	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	2	17	2	3	302	2226

第 55 表　ヤコウガイ殻　セ計測値別出土量

セ計測値(㎜)	出土地									合計
	カクラン	Ⅲ層	Ⅳ層	SP	SK	SD	SU	SS	SX	
～30							1		1	2
～35		2					1		3	6
～40	3	2			1	1	1		2	10
～45		3	1		1	3	1			9
～50		4		1					3	8
～55	1	4							1	6
～60		1								1
～65	1	1						1		3
～70										0
～75		1								1
～80										0
～85										0
～90	1								1	2
～95		1								1
～100	2	2								4
～105		2								2
合計	8	23	1	1	2	4	4	1	11	55

第 56 表　ヤコウガイ殻　セ計測値別孔の大きさ比較

（単位 :mm）

セ計測値	孔の大きさ(縦×横)				
	①	②	③	④	⑤
～30	1.2×1.3				
～40	1.0×1.2	1.5×1.6			
～45	1.2×1.2	0.6×0.7	1.6×1.2	1.2×1.6	
～50	1.7×1.4				
～55	1.0×1.5	1.8×1.7	1.5×1.9	1.5×1.2	1.5×1.5
～60	1.4×1.2				
～65	1.5×1.2				
～70	―				
～75	1.7×1.2				
～80	―				
～85	―				
～90	2.0×1.8	2.0×1.6			
～95	―				
～100	1.7×1.3	1.2×1.3			
～105	1.0×1.0				

第 57 表　ヤコウガイ殻　セ計測値と殻径の比較

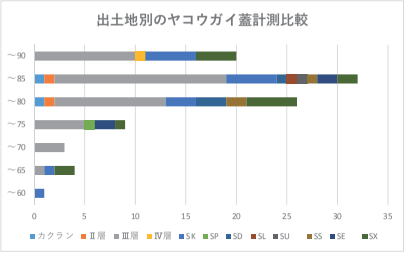
（単位 :mm）

層序	セ計測値	殻径
カクラン	55	157
カクラン	90	175
カクラン	100	175
Ⅲ層	75	205
Ⅲ層	105	166
Ⅲ層	46	153
SX	90	200
SS1	64	160

第 58 表　ヤコウガイ蓋　大きさ別出土量

計測(㎜)	出土地												合計
	カクラン	Ⅱ層	Ⅲ層	Ⅳ層	SK	SP	SD	SL	SU	SS	SE	SX	
～55													0
～60					1								1
～65			1		1							2	4
～70			3										3
～75			5			1					2	1	9
～80	1	1	11		3		3			2		5	26
～85	1	1	17		5		1	1	1	1	2	2	32
～90			10	1	5							4	20
合計	2	2	47	1	15	1	4	1	1	3	4	14	**95**

出土地別のヤコウガイ蓋計測比較



第 59 表　サラサバテイ　殻の欠損状況による分類

層序・グリッド		Ⅲ層																				Ⅳ層					Ⅴ層
		1地点								2地点							3地点					1地点			3地点		3地点
		C7	D5	D6	D8	D9	E7	E8	E9	E12	E13	E14	F12	F13	F14	G13	G14	H･I10	H11	I12	J11･12	D6	D8	D9	G･H7	G･H8	G6･7
殻個体数	完形												1		1												
	殻頂	1	2					3	2	7	4	1	14	3	6		2	1					1				
	体層	1			1			2	2	1	2		7	1	4		1										
	下層	1		1		1		3			2		1	1	5	1	3										
	破片 体層		1	1	3	1	1	5	2	9	5	2	6	11	36	1	4	1	1	1		1	12		1	1	
	破片 下層	1		1	5			9	2	18	4	5	28	6	8		3						1	1			1
	破片			1	9			5	1	15	2	2	18	5	17		1				1						
合計		4	3	4	18	2	1	27	9	50	19	10	75	27	77	2	14	2	1	1	1	1	14	1	1	1	1

層序・グリッド		第1検出面																																	
		1地点															2地点															3地点			
		C4.D5	C6	D6	D7	E8	E8	E8	E8.9	D7	D7	E6	E8.9	D6.E7	D4.5	D5	E12	E13	F12	G13	E12	E13	E13	F11.12	F12	F12	F13	F14	F13	F11	F13	H.9	I11	I12	J13
		SK1	SK2	SK16	SK6	SK12	SK19	SD1	SD1	SS2	SU2 トレ2	SS2 トレ1	SE2	SX4	SX6	SX7	SK72	SK65	SK73	SK67	SP141	SP131	SP146	SK75	SP149	SP138	SD5	SU5	SE4	SX10	SX11	SK89 ホリカタ	SK136 ホリカタ	SK87	SP290
殻個体数	完形						1																												
	殻頂		1				1	1			16									1					1			1		8		1			1
	体層										1								1					1				4		2					
	下層																							1						1					
	破片 体層			1	2	1	1		2	1	8	3	1	1	1		1	1		2		1	1	4			6	11		2					
	破片 下層			3			1		2		2								1	3				1		1		8		3			1	1	
	破片	1	1	1	3			1	1				1			1			1	4	3			2			1	12	1	5	1			3	
合計		1	2	5	5	1	4	2	5	1	27	3	2	1	1	1	1	1	3	10	3	1	1	9	1	1	7	36	1	21	1	1	1	4	1

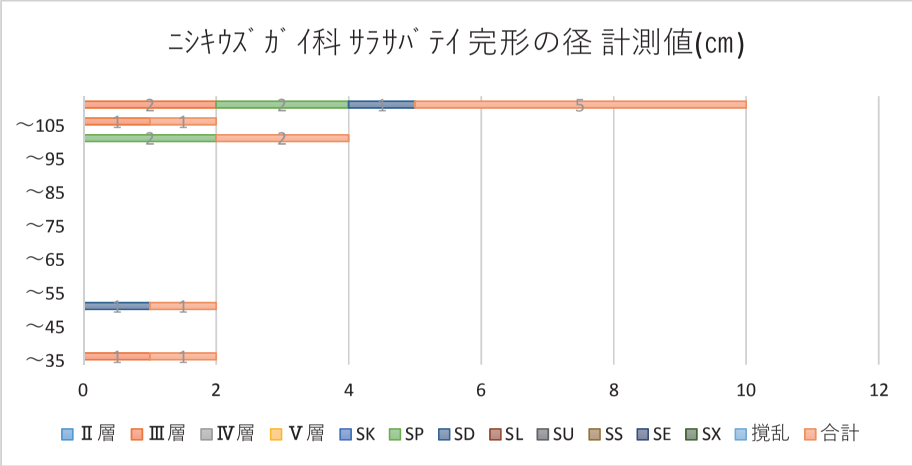
層序・グリッド		第2検出面																													カクラン	合計
		1地点															2地点					3地点										
		D7	D7	D8	D.E8	D9	D6	D7	D8	D7	D7	E8	D6.7	E8.9	E12	F11	F11	F11	E.F11	F12	F12	F.G13	H10.I11	I11	I11	I12	I12	H11	H. I10	H.I11		
		SK35	SK39	SK32	SK28	SK57	SP63	SP82	SU1	SU2	SU4	SU3	SS3 トレ	SX9	SP199	SK83	SK84	SP277	SU8	SU6	SX20	SX13	SK137	SK118	SK133	SP297	SP306	SP331	SP450	SX25		
殻個体数	完形						1											2							2						1	9
	殻頂								19	16	3	6				2			14	12	8		1								25	185
	体層									1	2	2								12								1			4	53
	下層					1					1								4	2											11	40
	破片 体層	1		1	1				5	29	1	22	1		2				50	11	20					1			1		42	345
	破片 下層		1						9	25	3	16		2	2			2	20	26				2			1			1	43	273
	破片				2			1	1	12		23					1		13	2		1									39	215
合計		1	1	1	3	1	1	1	34	83	10	69	1	2	4	2	1	4	101	65	28	1	1	2	2	1	1	1	1	1	165	1120

凡例：

完形：　殻頂の欠け少なく完形に近いもの。
殻頂：　大層は欠落し、殻頂部分が残存しているもの。
体層：　体層が途中で割れているもの。真ん中の体層に当たるもので残存1/2以上残すものとする。
下層：　体層巻きの下部分。最下層にあたるもの。残存が1/2以上で径が測れるものとする。
破片 体層：真ん中の体層部分に当る。残存部が1/2以下のものとする。
破片 下層：最下層に当たる残存が1/2以下のもので径は測れないものとする。
破片：　不明破片

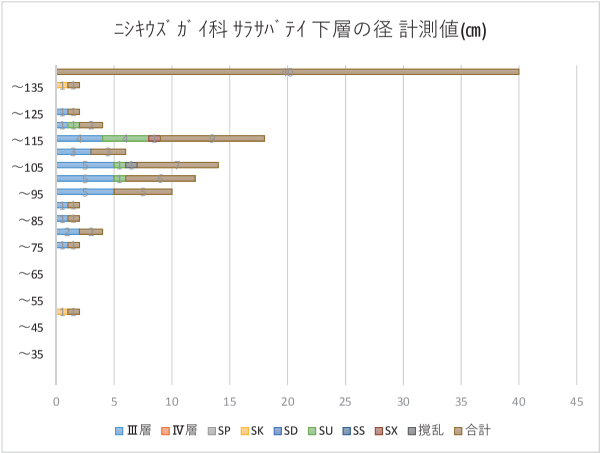
第 60 表　サラサバテイ殻　完形の径計測値

計測(mm)	Ⅱ層	Ⅲ層	Ⅳ層	Ⅴ層	SK	SP	SD	SL	SU	SS	SE	SX	撹乱	合計
～35		1												1
～40														
～45														
～50							1							1
～55														
～60														
～65														
～70														
～75														
～80														
～85														
～90														
～95														
～100						2								2
～105		1												1
合計		2				2	1							5



第 61 表　サラサバテイ殻　下層の径計測値

計測値(mm)	Ⅲ層	Ⅳ層	SP	SK	SD	SU	SS	SX	撹乱	合計
～30										
～35										
～40										
～45										
～50				1						1
～55										
～60										
～65										
～70										
～75	1									1
～80	2									2
～85	1									1
～90	1									1
～95	5									5
～100	5					1				6
～105	5					1			1	7
～110	3									3
～115	4					4		1		9
～120	1					1				2
～125	1									1
～130										
～135				1						1
合計										40



第 62 表　巻貝類　出土一覧（Ⅱ層・Ⅳ層・Ⅴ層）

Ⅱ層（1地点）

綱名	科名	種名	生息地	E-7 完形	E-7 殻頂	E-7 破片	E-9 完形	E-9 殻頂	E-9 破片	合計 完形	合計 殻頂	合計 破片	最小個体数
腹足綱	ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a			1						1	
		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a										
		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a										
		オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b										
		コシダカギンタカハマ	Ⅰ-4-a										
		オオウラウズ											
		不明	–										
	リュウテン科	チョウセンサザエ蓋	Ⅰ-3-a										
		カンギク	Ⅱ-1-b				1			1			1
		カンギク蓋	Ⅱ-1-b										
		コシダカサザエ	Ⅰ-2-a										
		不明	–										
	アマオブネガイ科	コシダカアマガイ											
		リュウキュウアマガイ	Ⅰ-0-a										
		マルアマオブネ	Ⅱ-1-b										
		アマオブネガイ	Ⅰ-1-b				1			1			1
		ニシキアマオブネ	Ⅰ-1-c										
		アラスジアマオブネ											
		マングローブアマガイ											
		不明	–										
	ムシロガイ科	イボヨフバイ											
	エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1-b										
	ヤツシロガイ科	ウズラガイ	Ⅰ-2-c										
		トキワガイ											
	オニノツノガイ科	イワカニモリ											
		ヒメクワカニモリ											
		カヤノミカニモリ	Ⅰ-1-b										
		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-b										
		コゲノツノブエ											
		オニノツノガイ	Ⅰ-2-c										
		ミツカドカニモリ											
		不明											
	イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-b										
		ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-a										
		チトセボラ											
		ツノマタモドキ	Ⅰ-3-a										
		不明	–										
	フデガイ科	イモフデガイ	Ⅰ-1-b										
		チリメンイモフデガイ											
		コシマヤタテ											
	ウミニナ科	イボシマウミニナ											
		イボウミニナ	Ⅲ-1-c										
		リュウキュウウミニナ	Ⅱ-1-c										
	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅰ-0-a										
	タマガイ科	トミガイ	Ⅰ-2-c										
		リスガイ	Ⅰ-2-c										
		ホウシュノタマ	Ⅱ-1-c				1			1			
		トラダマガイ											
		不明	–										
	フトヘナタリ科	センニンガイ	Ⅲ-0-c										
		キバウミニナ	Ⅲ-1-c										
		マドモチウミニナ	Ⅲ-1-c										
		フトヘナタリ	Ⅲ-0-d										
		ヘナタリ					1			1			1
		カワアイ	Ⅲ-1-c										
	ソデボラ科	オハグロガイ	Ⅱ-2-c										
		ムカシタモト											
		クモガイ											
		クモガイ（幼貝）											
		ネジマガキ											
		マガキガイ	Ⅰ-2-c										
		マイノソデガイ											
		不明	–										
	ツクシガイ科	ミノムシ											
	タカラガイ科	ヒメホシダカラ	Ⅰ-2-b										
		コモンダカラ	Ⅰ-2-b										
		ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a										
		ハナマルユキダカラ	Ⅰ-3-a										
		ホソヤクシマダカラ	Ⅱ-2-a	1						1			1
		ホシダカラ	Ⅰ-2-c			1						1	
		キイロダカラ	Ⅰ-1-a										
		ヤクシマダカラ	Ⅰ-2-a										
		ホシキヌタ	Ⅰ-2-a										
		クチムラサキダカラ											
		ヤナギシボリダカラ	Ⅰ-2-b										
		ジャノメダカラ											
		ヒロクチダカラ											
		不明	–	1						1			1
	オキニシ科	シロナルトボラ	Ⅰ-4-a										
		オキニシ	Ⅰ-3-a										
	フジツガイ科	ホラガイ	Ⅰ-4-a										
		シロシノマキ											
		シノマキガイ	Ⅰ-4-a										
	アッキガイ科	ツノレイシ	Ⅰ-3-a										
		ムラサキイガレイシ	Ⅰ-3-a										
		シラクモガイ	Ⅰ-3-a										
		コイワニシ	Ⅱ-1-a										
		不明	–										
	イモガイ科	サラサミナシ	Ⅰ-4-b										
		ヤキイモガイ	Ⅰ-2-c										
		サヤガタイモ	Ⅰ-1-a										
		アジロイモ	Ⅱ-2-c										
		クロフモドキ	Ⅰ-2-c										
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-3-a										
		マダライモガイ	Ⅰ-1-a										
		ナガシマイモガイ											
		ナンヨウクロミナシ	Ⅱ-2-c										
		サラサミナシモドキ	Ⅰ-4-b										
		タガヤサンミナシ	Ⅰ-2-c										
		ユキゲイモ											
		イボシマイモ	Ⅰ-2-a										
		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a										
		シロアンボイナ											
		アンボンクロザメ	Ⅰ-2-c										
		ナツメイモ		1						1			1
		不明	–										
	オニコブシ科	コオニコブシ	Ⅰ-3-a										
	ナツメガイ科	ナツメガイ	Ⅰ-2-c										
	タケノコガイ科	タケノコガイ	Ⅰ-2-c										
	マクラガイ科	サツマビナ	Ⅰ-2-c										
	アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ	v-9										
	オナジマイマイ科	パンダナマイマイ	v-8										
		オキナワウスカワマイマイ	v-8										
		不明	–										
	ユキノカサガイ科	リゥウキュウウノアシ	Ⅰ-1-a										
	ミミガイ科	ミミガイ	Ⅰ-2-a										
		イボアナゴ	–										
	スズメガイ科	アツキクスズメ											
	ナガウニ科	パイプウニ	Ⅰ-3-a										
	巻貝不明		–										
小計				3	0	2	4	0	0	7	0	2	6
合計（Ⅱ層）											9		

Ⅳ層（1地点・3地点）

綱名	科名	種名	生息地	C-4 完形	C-4 殻頂	C-4 破片	C-5 完形	C-5 殻頂	C-5 破片	C-6 完形	C-6 殻頂	C-6 破片	D-5 完形	D-5 殻頂	D-5 破片	D-6 完形	D-6 殻頂	D-6 破片	D-7 完形	D-7 殻頂	D-7 破片	D-8 完形	D-8 殻頂	D-8 破片	D-9 完形	D-9 殻頂	D-9 破片	G・H-7 完形	G・H-7 殻頂	G・H-7 破片	G・H-8 完形	G・H-8 殻頂	G・H-8 破片	合計 完形	合計 殻頂	合計 破片	最小個体数
腹足綱	ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a																														1			1	
		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																																		
		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a																																		
		オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b																																		
		コシダカギンタカハマ	Ⅰ-4-a																																		
		オオウラウズ																																			
		不明	–																																		
	リュウテン科	チョウセンサザエ蓋	Ⅰ-3-a																			5												5			5
		カンギク	Ⅱ-1-b										1																					1			1
		カンギク蓋	Ⅱ-1-b																																		
		コシダカサザエ	Ⅰ-2-a																																		
		不明	–																																		
	アマオブネガイ科	コシダカアマガイ																																			
		リュウキュウアマガイ	Ⅰ-0-a										1																					1			1
		マルアマオブネ	Ⅱ-1-b																															1			1
		アマオブネガイ	Ⅰ-1-b	1																														1			1
		ニシキアマオブネ	Ⅰ-1-c																																		
		アラスジアマオブネ																																			
		マングローブアマガイ																																			
		不明	–												1																					1	
	ムシロガイ科	イボヨフバイ																																			
	エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1-b																																		
	ヤツシロガイ科	ウズラガイ	Ⅰ-2-c																																		
		トキワガイ																																			
	オニノツノガイ科	イワカニモリ																																			
		ヒメクワカニモリ																																			
		カヤノミカニモリ	Ⅰ-1-b																																		
		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-b												1																					1	
		コゲノツノブエ																																			
		オニノツノガイ	Ⅰ-2-c																																		
		ミツカドカニモリ																																			
		不明																																			
	イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-b																																		
		ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-a																																		
		チトセボラ																																			
		ツノマタモドキ	Ⅰ-3-a																																		
		不明	–																																		
	フデガイ科	イモフデガイ	Ⅰ-1-b																																		
		チリメンイモフデガイ																																			
		コシマヤタテ																																			
	ウミニナ科	イボシマウミニナ					2							3																				2	3		5
		イボウミニナ	Ⅲ-1-c																																		
		リュウキュウウミニナ	Ⅱ-1-c					1						2																					3		3
	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅰ-0-a																																		
	タマガイ科	トミガイ	Ⅰ-2-c										1																					1			1
		リスガイ	Ⅰ-2-c																																		
		ホウシュノタマ	Ⅱ-1-c																																		
		トラダマガイ								1																								1			1
		不明	–											1																					1		1
	フトヘナタリ科	センニンガイ	Ⅲ-0-c														1																		1		1
		キバウミニナ	Ⅲ-1-c																																		
		マドモチウミニナ	Ⅲ-1-c																																		
		フトヘナタリ	Ⅲ-0-d					2					2	16	2		1																	2	19	2	21
		ヘナタリ											2	1																				2	1		3
		カワアイ	Ⅲ-1-c																																
	ソデボラ科	オハグロガイ	Ⅱ-2-c				1																											1			1
		ムカシタモト																																			
		クモガイ							1																											1	
		クモガイ（幼貝）																																			
		ネジマガキ																																			
		マガキガイ	Ⅰ-2-c																	1												1			1	1		2
		マイノソデガイ																																			
		不明	–																														1			1	
	ツクシガイ科	ミノムシ																																			
	タカラガイ科	ヒメホシダカラ	Ⅰ-2-b																																		
		コモンダカラ	Ⅰ-2-b											1																					1		1
		ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a	1						1			1																					3			3
		ハナマルユキダカラ	Ⅰ-3-a									1													1											1	
		ホソヤクシマダカラ	Ⅱ-2-a																																		
		ホシダカラ	Ⅰ-2-c																																		
		キイロダカラ	Ⅰ-1-a																																		
		ヤクシマダカラ	Ⅰ-2-a										1					1																1		1	1
		ホシキヌタ	Ⅰ-2-a																																		
		クチムラサキダカラ																																			
		ヤナギシボリダカラ	Ⅰ-2-b																																		
		ジャノメダカラ																																			
		ヒロクチダカラ																																			
		不明	–			1																		1												2	
	オキニシ科	シロナルトボラ	Ⅰ-4-a																																		
		オキニシ	Ⅰ-3-a																																		
	フジツガイ科	ホラガイ	Ⅰ-4-a																																		
		シロシノマキ																																			
		シノマキガイ	Ⅰ-4-a																																		
	アッキガイ科	ツノレイシ	Ⅰ-3-a																																		
		ムラサキイガレイシ	Ⅰ-3-a																																		
		シラクモガイ	Ⅰ-3-a																																		
		コイワニシ	Ⅱ-1-a																																		
		不明	–																																		
	イモガイ科	サラサミナシ	Ⅰ-4-b																																		
		ヤキイモガイ	Ⅰ-2-c																																		
		サヤガタイモ	Ⅰ-1-a																																		
		アジロイモ	Ⅱ-2-c																																		
		クロフモドキ	Ⅰ-2-c																																		
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-3-a																																		
		マダライモガイ	Ⅰ-1-a										1																					1			1
		ナガシマイモガイ																																			
		ナンヨウクロミナシ	Ⅱ-2-c																																		
		サラサミナシモドキ	Ⅰ-4-b																																		
		タガヤサンミナシ	Ⅰ-2-c																																		
		ユキゲイモ																																			
		イボシマイモ	Ⅰ-2-a																																		
		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																																		
		シロアンボイナ																																			
		アンボンクロザメ	Ⅰ-2-c																																		
		ナツメイモ		1																														1			1
		不明	–											1						1		1												1	2		3
	オニコブシ科	コオニコブシ	Ⅰ-3-a																																		
	ナツメガイ科	ナツメガイ	Ⅰ-2-c																																		
	タケノコガイ科	タケノコガイ	Ⅰ-2-c																																		
	マクラガイ科	サツマビナ	Ⅰ-2-c																																		
	アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ	v-9																																		
	オナジマイマイ科	パンダナマイマイ	v-8																																		
		オキナワウスカワマイマイ	v-8																																		
		不明	–						1																											1	
	ユキノカサガイ科	リゥウキュウウノアシ	Ⅰ-1-a																																		
	ミミガイ科	ミミガイ	Ⅰ-2-a																																		
		イボアナゴ	–																																		
	スズメガイ科	アツキクスズメ																																			
	ナガウニ科	パイプウニ	Ⅰ-3-a																																		
	巻貝不明		–												4						1			1			1										7	
小計				3	0	1	3	3	2	2	0	1	10	25	8	0	2	1	0	2	1	6	0	2	1	0	1	0	0	0	1	0	2	26	32	19	58
合計（Ⅳ層）																																			77		

Ⅴ層（1地点）

綱名	科名	種名	生息地	C-6 完形	C-6 殻頂	C-6 破片	D-4 完形	D-4 殻頂	D-4 破片	D-5 完形	D-5 殻頂	D-5 破片	D-6 完形	D-6 殻頂	D-6 破片	D-7 完形	D-7 殻頂	D-7 破片	D-8 完形	D-8 殻頂	D-8 破片	E-6 完形	E-6 殻頂	E-6 破片	E-7 完形	E-7 殻頂	E-7 破片	合計 完形	合計 殻頂	合計 破片	最小個体数
腹足綱	ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a																												
		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																												
		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a																												
		オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b										1															1			1
		コシダカギンタカハマ	Ⅰ-4-a																												
		オオウラウズ																													
		不明	–																												
	リュウテン科	チョウセンサザエ蓋	Ⅰ-3-a																												
		カンギク	Ⅱ-1-b																												
		カンギク蓋	Ⅱ-1-b																												
		コシダカサザエ	Ⅰ-2-a																												
		不明	–																												
	アマオブネガイ科	コシダカアマガイ																													
		リュウキュウアマガイ	Ⅰ-0-a										1													1			2			2
		マルアマオブネ	Ⅱ-1-b										1															1			1
		アマオブネガイ	Ⅰ-1-b																												
		ニシキアマオブネ	Ⅰ-1-c																												
		アラスジアマオブネ																													
		マングローブアマガイ																													
		不明	–																												
	ムシロガイ科	イボヨフバイ																													
	エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1-b																												
	ヤツシロガイ科	ウズラガイ	Ⅰ-2-c																												
		トキワガイ																													
	オニノツノガイ科	イワカニモリ																													
		ヒメクワカニモリ																													
		カヤノミカニモリ	Ⅰ-1-b																												
		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-b																												
		コゲノツノブエ		1									1															2			2
		オニノツノガイ	Ⅰ-2-c																												
		ミツカドカニモリ																													
		不明																													
	イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-b																												
		ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-a																												
		チトセボラ																													
		ツノマタモドキ	Ⅰ-3-a																												
		不明	–																												
	フデガイ科	イモフデガイ	Ⅰ-1-b																												
		チリメンイモフデガイ																													
		コシマヤタテ																													
	ウミニナ科	イボシマウミニナ		1																								1			1
		イボウミニナ	Ⅲ-1-c										1															1			1
		リュウキュウウミニナ	Ⅱ-1-c										1													1			2			2
	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅰ-0-a																												
	タマガイ科	トミガイ	Ⅰ-2-c																												
		リスガイ	Ⅰ-2-c																												
		ホウシュノタマ	Ⅱ-1-c																												
		トラダマガイ																													
		不明	–																												
	フトヘナタリ科	センニンガイ	Ⅲ-0-c																												
		キバウミニナ	Ⅲ-1-c																												
		マドモチウミニナ	Ⅲ-1-c																												
		フトヘナタリ	Ⅲ-0-d	1									1													1			3			3
		ヘナタリ											1										1						2			2
		カワアイ	Ⅲ-1-c																												
	ソデボラ科	オハグロガイ	Ⅱ-2-c																												
		ムカシタモト																													
		クモガイ									1																		1	
		クモガイ（幼貝）																													
		ネジマガキ																													
		マガキガイ	Ⅰ-2-c																												
		マイノソデガイ																													
		不明	–																												
	ツクシガイ科	ミノムシ																													
	タカラガイ科	ヒメホシダカラ	Ⅰ-2-b																												
		コモンダカラ	Ⅰ-2-b																												
		ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a																1									1			1
		ハナマルユキダカラ	Ⅰ-3-a				1																					1			1
		ホソヤクシマダカラ	Ⅱ-2-a																												
		ホシダカラ	Ⅰ-2-c																								1			1	
		キイロダカラ	Ⅰ-1-a																1									1			1
		ヤクシマダカラ	Ⅰ-2-a																												
		ホシキヌタ	Ⅰ-2-a																												
		クチムラサキダカラ																													
		ヤナギシボリダカラ	Ⅰ-2-b																												
		ジャノメダカラ																													
		ヒロクチダカラ																													
		不明	–																												
	オキニシ科	シロナルトボラ	Ⅰ-4-a																												
		オキニシ	Ⅰ-3-a																												
	フジツガイ科	ホラガイ	Ⅰ-4-a																												
		シロシノマキ																													
		シノマキガイ	Ⅰ-4-a																												
	アッキガイ科	ツノレイシ	Ⅰ-3-a																												
		ムラサキイガレイシ	Ⅰ-3-a																												
		シラクモガイ	Ⅰ-3-a										1															1			1
		コイワニシ	Ⅱ-1-a																												
		不明	–																												
	イモガイ科	サラサミナシ	Ⅰ-4-b																												
		ヤキイモガイ	Ⅰ-2-c																												
		サヤガタイモ	Ⅰ-1-a																												
		アジロイモ	Ⅱ-2-c																												
		クロフモドキ	Ⅰ-2-c																												
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-3-a																												
		マダライモガイ	Ⅰ-1-a																												
		ナガシマイモガイ																													
		ナンヨウクロミナシ	Ⅱ-2-c																												
		サラサミナシモドキ	Ⅰ-4-b																												
		タガヤサンミナシ	Ⅰ-2-c																												
		ユキゲイモ																													
		イボシマイモ	Ⅰ-2-a																								1			1	
		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																1									1			1
		シロアンボイナ																													
		アンボンクロザメ	Ⅰ-2-c																												
		ナツメイモ		1																								1			1
		不明	–											1	2					1									1	1	2	2
	オニコブシ科	コオニコブシ	Ⅰ-3-a																												
	ナツメガイ科	ナツメガイ	Ⅰ-2-c																												
	タケノコガイ科	タケノコガイ	Ⅰ-2-c																												
	マクラガイ科	サツマビナ	Ⅰ-2-c																												
	アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ	v-9																												
	オナジマイマイ科	パンダナマイマイ	v-8																												
		オキナワウスカワマイマイ	v-8																												
		不明	–																												
	ユキノカサガイ科	リゥウキュウウノアシ	Ⅰ-1-a																												
	ミミガイ科	ミミガイ	Ⅰ-2-a																												
		イボアナゴ	–																												
	スズメガイ科	アツキクスズメ																													
	ナガウニ科	パイプウニ	Ⅰ-3-a																												
	巻貝不明		–																												
小計				4	0	0	1	0	0	0	0	1	9	1	2	0	0	0	4	0	0	1	0	0	3	0	2	22	1	5	23
合計（Ⅴ層）																													28		

第63表　巻貝類　出土一覧（Ⅲ層）

Ⅲ層　1地点

綱名	科名	種名	生息地	C-6 完形	C-6 殻頂	C-6 破片	D-4 完形	D-4 殻頂	D-4 破片	D-5 完形	D-5 殻頂	D-5 破片	D-6 完形	D-6 殻頂	D-6 破片	D-9 完形	D-9 殻頂	D-9 破片	E-6 完形	E-6 殻頂	E-6 破片	E-7 完形	E-7 殻頂	E-7 破片	E-8 完形	E-8 殻頂	E-8 破片	E-9 完形	E-9 殻頂	E-9 破片
腹足綱	ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a									2					1	1												
		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																											
		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a																											
		オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b																											
		コシダカギンタカハマ	Ⅰ-4-a																											
		オオウラウズ																												
		不明	－												1															
	リュウテン科	チョウセンサザエ蓋	Ⅰ-3-a	1									1												1					
		カンギク	Ⅱ-1-b										1																	
		カンギク蓋	Ⅱ-1-b																											
		コシダカサザエ	Ⅰ-2-a																											
		不明	－																											
	アマオブネガイ科	コシダカアマガイ																												
		リュウキュウアマガイ	Ⅰ-0-a																											
		マルアマオブネ	Ⅱ-1-b																											
		アマオブネガイ	Ⅰ-1-b													1														
		ニシキアマオブネ	Ⅰ-1-c							1																				
		アラスジアマオブネ																												
		マングローブアマガイ																												
		不明	－																											
	ムシロガイ科	イボヨフバイ																												
	エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1-b																											
	ヤツシロガイ科	ウズラガイ	Ⅰ-2-c																											
		トキワガイ									1																			
	オニノツノガイ科	イワカニモリ																												
		ヒメクワカニモリ																												
		カヤノミカニモリ	Ⅰ-1-b																											
		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-b										1																	
		コゲノツノブエ																												
		オニノツノガイ	Ⅰ-2-c											1																
		ミツカドカニモリ																												
		不明	－																											
	イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-b																											
		ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-a										1																	
		チトセボラ																												
		ツノマタモドキ	Ⅰ-3-a																											
		不明	－																											
	フデガイ科	イモフデガイ	Ⅰ-1-b													1														
		チリメンイモフデガイ											1																	
		コシマヤタテ																												
	ウミニナ科	イボシマウミニナ																												
		イボウミニナ	Ⅲ-1-c																											
		リュウキュウウミニナ	Ⅱ-1-c										1															1		
	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅰ-0-a																											
	タマガイ科	トミガイ	Ⅰ-2-c																											
		リスガイ	Ⅰ-2-c																											
		ホウシュノタマ	Ⅱ-1-c										1																	
		トラダマガイ		1												1														
		不明	－																											
	フトヘナタリ科	センニンガイ	Ⅲ-0-c																											
		キバウミニナ	Ⅲ-1-c																											
		マドモチウミニナ	Ⅲ-1-c																											
		フトヘナタリ	Ⅲ-0-d				1			2													1			1				
		ヘナタリ																												
		カワアイ	Ⅲ-1-c																											
	ソデボラ科	オハグロガイ	Ⅱ-2-c																											
		ムカシタモト																												
		クモガイ						1				2			1															
		クモガイ（幼貝）																												
		ネジマガキ																												
		マガキガイ	Ⅰ-2-c								1														2	1				
		マイノソデガイ																												
		不明	－																					1						
	ツクシガイ科	ミノムシ																												
	タカラガイ科	ヒメホシダカラ	Ⅰ-2-b																											
		コモンダカラ	Ⅰ-2-b													1														
		ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a							1						3									1		1			
		ハナマルユキダカラ	Ⅰ-3-a							1	1	1				3	1		2						1			1		
		ホソヤクシマダカラ	Ⅱ-2-a																											
		ホシダカラ	Ⅰ-2-c																											
		キイロダカラ	Ⅰ-1-a							1			1																	
		ヤクシマダカラ	Ⅰ-2-a															1												
		ホシキヌタ	Ⅰ-2-a																						1					
		クチムラサキダカラ											1																	
		ヤナギシボリダカラ	Ⅰ-2-b																						1					
		ジャノメダカラ																												
		ヒロクチダカラ																												
		不明	－																											
	オキニシ科	シロナルトボラ	Ⅰ-4-a														1													
		オキニシ	Ⅰ-3-a																											
	フジツガイ科	ホラガイ	Ⅰ-4-a									1																		
		シロシノマキ																												
		シノマキガイ	Ⅰ-4-a																											
	アッキガイ科	ツノレイシ	Ⅰ-3-a																											
		ムラサキイガレイシ	Ⅰ-3-a																											
		シラクモガイ	Ⅰ-3-a																											
		コイワニシ	Ⅱ-1-a																											
		不明	－																											
	イモガイ科	サラサミナシ	Ⅰ-4-b																											
		ヤキイモガイ	Ⅰ-2-c																											
		サヤガタイモ	Ⅰ-1-a																											
		アジロイモ	Ⅱ-2-c																											
		クロフモドキ	Ⅰ-2-c																											
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-3-a																											
		マダライモガイ	Ⅰ-1-a																			1				1				
		ナガシマイモガイ																												
		ナンヨウクロミナシ	Ⅱ-2-c																											
		サラサミナシモドキ	Ⅰ-4-b																											
		タガヤサンミナシ	Ⅰ-2-c																											
		ユキゲイモ																												
		イボシマイモ	Ⅰ-2-a																											
		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																											
		シロアンボイナ																												
		アンボンクロザメ	Ⅰ-2-c																											
		ナツメイモ		1																										
		不明	－																					1		1				
	オニコブシ科	コオニコブシ	Ⅰ-3-a																											
	ナツメガイ科	ナツメガイ	Ⅰ-2-c																											
	タケノコガイ科	タケノコガイ	Ⅰ-2-c																											
	マクラガイ科	サツマビナ	Ⅰ-2-c																											
	アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ	v-9																											
	オナジマイマイ科	パンダナマイマイ	v-8																											
		オキナワウスカワマイマイ	v-8																											
		不明	－																											
	ユキノカサガイ科	リゥウキュウウノアシ	Ⅰ-1-a													1														
	ミミガイ科	ミミガイ	Ⅰ-2-a																											
		イボアナゴ	－																											
	スズメガイ科	アツキクスズメ																												
	ナガウニ科	パイプウニ	Ⅰ-3-a																						1					
	巻貝不明		－								1		2		1			2												
小計				3	0	0	1	1	0	6	4	6	11	1	3	11	3	4	2	0	0	1	1	2	8	4	1	2	0	0

Ⅲ層　2地点

科名	種名	E-12 完形	E-12 殻頂	E-12 破片	E-13 完形	E-13 殻頂	E-13 破片	E-14 完形	E-14 殻頂	E-14 破片	F-12 完形	F-12 殻頂	F-12 破片	F-13 完形	F-13 殻頂	F-13 破片	F-12・13 完形	F-12・13 殻頂	F-12・13 破片	F-14 完形	F-14 殻頂	F-14 破片	G-13 完形	G-13 殻頂	G-13 破片	G-14 完形	G-14 殻頂	G-14 破片
ニシキウズガイ科	ニシキウズ			15		2	3						1							1		1						
	ムラサキウズ		1	1																1								
	ギンタカハマ										1																	
	オキナワイシダタミ													1	1													
	コシダカギンタカハマ																											
	オオウラウズ																											
	不明						1															1						
リュウテン科	チョウセンサザエ蓋				1			3			4			1						4								
	カンギク		1								2			5						6								
	カンギク蓋	1																										
	コシダカサザエ																											
	不明																											
アマオブネガイ科	コシダカアマガイ																			1								
	リュウキュウアマガイ																											
	マルアマオブネ				1						1			6														
	アマオブネガイ	1												2														
	ニシキアマオブネ																			1								
	アラスジアマオブネ																											
	マングローブアマガイ																			2								
	不明																											
ムシロガイ科	イボヨフバイ																											
エゾバイ科	シマベッコウバイ													1						1								
ヤツシロガイ科	ウズラガイ											1																
	トキワガイ																											
オニノツノガイ科	イワカニモリ																			1								
	ヒメクワカニモリ																											
	カヤノミカニモリ										1																	
	クワノミカニモリ										1																	
	コゲノツノブエ																											
	オニノツノガイ													2						4								
	ミツカドカニモリ				1									1														
	不明																											
イトマキボラ科	イトマキボラ																									1		
	ナガイトマキボラ																											
	チトセボラ																											
	ツノマタモドキ																											
	不明									1									1									
フデガイ科	イモフデガイ																											
	チリメンイモフデガイ																											
	コシマヤタテ																											
ウミニナ科	イボシマウミニナ																											
	イボウミニナ	1												1														
	リュウキュウウミニナ										3			3						1								
ゴマフニナ科	ゴマフニナ													1														
タマガイ科	トミガイ																											
	リスガイ																											
	ホウシュノタマ							1						3	1													
	トラダマガイ	1									1									1								
	不明																											
フトヘナタリ科	センニンガイ					1						1																
	キバウミニナ							1																				
	マドモチウミニナ																			1								
	フトヘナタリ	1			1						1			6														
	ヘナタリ																											
	カワアイ	3									2			1								2						
ソデボラ科	オハグロガイ																											
	ムカシタモト													1														
	クモガイ			1								1	1		1	1						3						
	クモガイ（幼貝）																											
	ネジマガキ		1																									
	マガキガイ				1				1													2	1				1	
	マイノソデガイ										1																	
	不明		1	1			3								1							1						
ツクシガイ科	ミノムシ																											
タカラガイ科	ヒメホシダカラ		1								1																	
	コモンダカラ										1												1					
	ハナビラダカラ	1	1	2	6			3			5			5						8							1	
	ハナマルユキダカラ	4	2	1			1			2	2		1	7	1	2				11	6	8	1					
	ホソヤクシマダカラ												2															
	ホシダカラ		1									1																
	キイロダカラ				1						2	1																
	ヤクシマダカラ				1		1	1													1							1
	ホシキヌタ			1				1																				
	クチムラサキダカラ																											
	ヤナギシボリダカラ																			1								
	ジャノメダカラ																											
	ヒロクチダカラ																											
	不明			1		1	1		1	1						1						3						1
オキニシ科	シロナルトボラ																											
	オキニシ																											
フジツガイ科	ホラガイ															1												
	シロシノマキ																											
	シノマキガイ																											
アッキガイ科	ツノレイシ																											
	ムラサキイガレイシ																											
	シラクモガイ										1																	
	コイワニシ																											
	不明																											
イモガイ科	サラサミナシ																			1								
	ヤキイモガイ													1														
	サヤガタイモ				1			1																				
	アジロイモ																											
	クロフモドキ																											
	ヤナギシボリイモ		1	2	1	2									1													
	マダライモガイ	3						1			3			1	1		1			1			1					
	ナガシマイモガイ	1																										
	ナンヨウクロミナシ														1													
	サラサミナシモドキ						1																					
	タガヤサンミナシ																			1								
	ユキゲイモ																											
	イボシマイモ											1										1						
	キヌカツギイモ				1																					1		
	シロアンボイナ										1			1														
	アンボンクロザメ																											
	ナツメイモ																											
	不明	1		3	1		1					1	3			1				1	1	1						1
オニコブシ科	コオニコブシ																			1								
ナツメガイ科	ナツメガイ																											
タケノコガイ科	タケノコガイ																											
マクラガイ科	サツマビナ																											
アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ																											
オナジマイマイ科	パンダナマイマイ																											
	オキナワウスカワマイマイ																											
	不明																											
ユキノカサガイ科	リゥウキュウウノアシ	1																										
ミミガイ科	ミミガイ																											
	イボアナゴ																											
スズメガイ科	アツキクスズメ																			1								
ナガウニ科	パイプウニ																											
巻貝不明				3									2			4						3						1
小計		19	10	31	17	6	12	12	2	4	34	7	10	50	8	10	1	0	1	51	8	26	4	0	0	2	2	4

Ⅲ層　3地点・合計

科名	種名	G-6 完形	G-6 殻頂	G-6 破片	G-7 完形	G-7 殻頂	G-7 破片	H-11 完形	H-11 殻頂	H-11 破片	H-12 完形	H-12 殻頂	H-12 破片	H・I-9 完形	H・I-9 殻頂	H・I-9 破片	G-6〜H-7 完形	G-6〜H-7 殻頂	G-6〜H-7 破片	G・H-8 完形	G・H-8 殻頂	G・H-8 破片	I-10 完形	I-10 殻頂	I-10 破片	I-12 完形	I-12 殻頂	I-12 破片	H・I-9 完形	H・I-9 殻頂	H・I-9 破片	H-9〜I-10 完形	H-9〜I-10 殻頂	H-9〜I-10 破片	H・I-10 完形	H・I-10 殻頂	H・I-10 破片	H-11 完形	H-11 殻頂	H-11 破片	J-11・12 完形	J-11・12 殻頂	J-11・12 破片	J-11 完形	J-11 殻頂	J-11 破片	J-12 完形	J-12 殻頂	J-12 破片	合計 完形	合計 殻頂	合計 破片	最少個体数
ニシキウズガイ科	ニシキウズ													1															1							1	1													3	4	24	7
	ムラサキウズ																																																	1	1	1	2
	ギンタカハマ									1																														1										1		2	1
	オキナワイシダタミ																																																	1	1		2
	コシダカギンタカハマ																																																				
	オオウラウズ																																																				
	不明																																																			3	
リュウテン科	チョウセンサザエ蓋																																																	16			16
	カンギク					1																																			1									15	2		17
	カンギク蓋																																																	1			1
	コシダカサザエ																																																				
	不明																																																				
アマオブネガイ科	コシダカアマガイ																																																	1			1
	リュウキュウアマガイ																																																				
	マルアマオブネ																																																	8			8
	アマオブネガイ																1																								1			1						7			7
	ニシキアマオブネ																																																	2			2
	アラスジアマオブネ																																																				
	マングローブアマガイ																																																	2			2
	不明																																																				
ムシロガイ科	イボヨフバイ																															1																		1			1
エゾバイ科	シマベッコウバイ																																																	2			2
ヤツシロガイ科	ウズラガイ																																																		1		1
	トキワガイ																																																		1		1
オニノツノガイ科	イワカニモリ																																																	1			1
	ヒメクワカニモリ																																																				
	カヤノミカニモリ																																																	1			1
	クワノミカニモリ																																																	2			2
	コゲノツノブエ																																																				
	オニノツノガイ																																			1														6	2		8
	ミツカドカニモリ																																																	2			2
	不明																																																				
イトマキボラ科	イトマキボラ									1																																								1		1	1
	ナガイトマキボラ																																																	1			1
	チトセボラ																																																				
	ツノマタモドキ																																																				
	不明																																																			2	
フデガイ科	イモフデガイ																																																	1			1
	チリメンイモフデガイ																																																	1			1
	コシマヤタテ																																																				
ウミニナ科	イボシマウミニナ																																																				
	イボウミニナ																																																	2			2
	リュウキュウウミニナ																																																	9			9
ゴマフニナ科	ゴマフニナ																																																	1			1
タマガイ科	トミガイ																																																				
	リスガイ					1																																													1		1
	ホウシュノタマ																																																	5	1		6
	トラダマガイ																																																	5			5
	不明																																																				
フトヘナタリ科	センニンガイ																																																		2		2
	キバウミニナ																																																	1			1
	マドモチウミニナ																																																	1			1
	フトヘナタリ																																																	12	2		14
	ヘナタリ																																																				
	カワアイ																																																	6		2	6
ソデボラ科	オハグロガイ																																																	0			0
	ムカシタモト																																																	1			1
	クモガイ																																									1									4	9	4
	クモガイ（幼貝）																																																				
	ネジマガキ																																																		1		1
	マガキガイ					1																				1	1															1								5	7	2	12
	マイノソデガイ																																																	1			1
	不明																																																1		2	7	2
ツクシガイ科	ミノムシ																																																				
タカラガイ科	ヒメホシダカラ																																																	1	1		2
	コモンダカラ																																																	3			3
	ハナビラダカラ				2																					1	1																							36	3	3	39
	ハナマルユキダカラ							1			1						2																																	37	11	16	48
	ホソヤクシマダカラ																																																			2	
	ホシダカラ																																																		2		2
	キイロダカラ																																																	5	1		6
	ヤクシマダカラ									1															1												1													2	1	6	3
	ホシキヌタ																															1																		3		1	3
	クチムラサキダカラ																																																	1			1
	ヤナギシボリダカラ																																		2															4			4
	ジャノメダカラ																																																	0			0
	ヒロクチダカラ																																																				
	不明																																																		2	8	2
オキニシ科	シロナルトボラ																																																		1		1
	オキニシ																																																				0
フジツガイ科	ホラガイ																																																			2	
	シロシノマキ																																																				
	シノマキガイ																																																				
アッキガイ科	ツノレイシ																																																				
	ムラサキイガレイシ																																																				
	シラクモガイ	1																																																2			2
	コイワニシ																																																				
	不明																											1																								1	
イモガイ科	サラサミナシ																																																	1			1
	ヤキイモガイ							1																																										2			2
	サヤガタイモ																																																	2			2
	アジロイモ																																																				
	クロフモドキ																																																				
	ヤナギシボリイモ																																																	1	4	2	5
	マダライモガイ																									1															1									14	2		16
	ナガシマイモガイ																																																	1			1
	ナンヨウクロミナシ																																																		1		1
	サラサミナシモドキ																																																			1	
	タガヤサンミナシ																																																	1			1
	ユキゲイモ																																																				
	イボシマイモ																																																		1	1	1
	キヌカツギイモ																									1																								3			3
	シロアンボイナ																																																	2			2
	アンボンクロザメ																																																				
	ナツメイモ																																																	1			1
	不明	1																								1	1																							5	4	11	9
オニコブシ科	コオニコブシ																																																	1			1
ナツメガイ科	ナツメガイ																																																				
タケノコガイ科	タケノコガイ																																																				
マクラガイ科	サツマビナ																																																				
アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ																																																				
オナジマイマイ科	パンダナマイマイ																																																				
	オキナワウスカワマイマイ																																																				
	不明																																																				
ユキノカサガイ科	リゥウキュウウノアシ																																																	2			2
ミミガイ科	ミミガイ																																																				
	イボアナゴ																																																				
スズメガイ科	アツキクスズメ																																																	1			1
ナガウニ科	パイプウニ																																																	1			1
巻貝不明																												7			3						3													2	1	29	3
小計		2	0	0	2	3	0	2	0	3	1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	5	3	8	1	0	3	2	0	0	2	2	5	0	0	1	3	2	0	1	0	0	0	0	1	260	67	136	327
合計																																																		463			

第64表　巻貝類　出土一覧（SP）

番号/網名/科名/種名/生息地			出土地	第1検出面															第2検出面																																				合計			最少個体数
				1地点												2地点			1地点																		2地点																					
				C-6			D-8			C-6			D-5			E-12			D-6			D-6			D-7			D-7			D-8			E-7			E-11			E-11			E-12			E-12			E-13			F-12						
				SP1			SP1			SP67			SP75			SP142			SP63			SP66			SP81			SP82			SP13			SP31			SP233			SP235			SP259			SP271			SP161			SP280						
				完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	
腹足網	ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a																					1																																1	
		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																																																							
		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a																																																							
		オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b																																																							
		コシダカギンタカハマ	Ⅰ-4-a																																																							
		オオウラウズ																																																							
		不明	—																																																							
	リュウテン科	チョウセンサザエ蓋	Ⅰ-3-a																																																							
		カンギク	Ⅱ-1-b																																																							
		カンギク蓋	Ⅱ-1-b																																																							
		コシダカサザエ	Ⅰ-2—a																																																							
		不明	—																																																							
	アマオブネガイ科	コシダカアマガイ																																																							
		リュウキュウアマガイ	Ⅰ-0-a																																																							
		マルアマオブネ	Ⅱ-1-b																																																							
		アマオブネガイ	Ⅰ-1-b																																																							
		ニシキアマオブネ	Ⅰ-1-c																																																							
		アラスジアマオブネ																																																							
		マングローブアマガイ																																																							
		不明	—																																																							
	ムシロガイ科	イボヨフバイ																																																							
	エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1-b																																																							
	ヤツシロガイ科	ウズラガイ																																																							
		トキワガイ	Ⅰ-2-c																																																							
	オニノツノガイ科	イワカニモリ																																																							
		ヒメクワカニモリ																																																							
		カヤノミカニモリ																																																							
		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-b																																																							
		コゲノツノブエ	Ⅰ-1-b																																																							
		オニノツノガイ																																																							
		ミツカドカニモリ	Ⅰ-2-c																																																							
		不明																																																							
	イトマキボラ科	イトマキボラ																																																							
		ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-b																																																							
		チトセボラ	Ⅰ-2-a																																																							
		ツノマタモドキ	Ⅰ-2-b																																																							
		不明	—														1																																						1	
	フデガイ科	イモフデガイ																																																							
		チリメンイモフデガイ	Ⅰ-1-b																																																							
		コシマヤタテ																																																							
	ウミニナ科	イボシマウミニナ																																																							
		イボウミニナ																																																							
		リュウキュウウミニナ	Ⅲ-1-c																																																							
	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅱ-1-c																																																						
	タマガイ科	トミガイ																																																						
		リスガイ	Ⅰ-2-c							1																																											1			1
		ホウシュノタマ	Ⅰ-2-c																																																						
		トラダマガイ	Ⅱ-1-c																																																						
		不明	—																																																						
	フトヘナタリ科	センニンガイ												1																																							1		1
		キバウミニナ	Ⅲ-0-c																																																						
		マドモチウミニナ	Ⅲ-1-c																																																						
		フトヘナタリ	Ⅲ-1-c																																																						
		ヘナタリ	Ⅲ-0-d																																																						
		カワアイ																																																						
	ソデボラ科	オハグロガイ	Ⅲ-1-c																																																					
		ムカシタモト	Ⅱ-2-c																																																						
		クモガイ																																																						
		クモガイ（幼貝）																																																						
		ネジマガキ																																																						
		マガキガイ																												1																								1			1
		マイノソデガイ	Ⅰ-2-c																																																					
		不明	-																																																						
	ツクシガイ科	ミノムシ																																																						
	タカラガイ科	ヒメホシダカラ																																																						
		コモンダカラ	Ⅰ-2-b																																																					
		ハナビラダカラ	Ⅰ-2-b																																	1						1												2			2
		ハナマルユキダカラ	Ⅰ-1-a	1																																											5							1		5	1
		ホソヤクシマダカラ	Ⅰ-3-a																																																					
		ホシダカラ	Ⅱ-2-a																																																					
		キイロダカラ	Ⅰ-2-c																																																					
		ヤクシマダカラ	Ⅰ-1-a																																																					
		ホシキヌタ	Ⅰ-2-a																																																					
		クチムラサキダカラ	Ⅰ-2-a																																																					
		ヤナギシボリダカラ																																																						
		ジャノメダカラ	Ⅰ-2-b																																																					
		ヒロクチダカラ																																																						
		不明	-																																								1													1	
	オキニシ科	シロナルトボラ																																																						
		オキニシ	Ⅰ-4-a																																																					
	フジツガイ科	ホラガイ	Ⅰ-3-a																																																					
		シロシノマキ	Ⅰ-4-a																																																					
		シノマキガイ																																																						
	アッキガイ科	ツノレイシ	Ⅰ-4-a																																																					
		ムラサキイガレイシ	Ⅰ-3-a																																																					
		シラクモガイ	Ⅰ-3-a																																																					
		コイワニシ	Ⅱ-1-a																																																					
		不明																																																						
	イモガイ科	サラサミナシ																																																						
		ヤキイモガイ	Ⅰ-4-b																																																					
		サヤガタイモ	Ⅰ-2-c																																																					
		アジロイモ	Ⅰ-1-a																																																					
		クロフモドキ	Ⅰ-3-a																																																					
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-c																																																					
		マダライモガイ	Ⅰ-3-a																																																					
		ナガシマイモガイ	Ⅰ-1-a																																																					
		ナンヨウクロミナシ																																																						
		サラサミナシモドキ	Ⅱ-2-c																																																						
		タガヤサンミナシ	Ⅰ-1-a																																																					
		ユキゲイモ	Ⅰ-2-c																																																					
		イボシマイモ																						1																														1			1
		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																																																					
		シロアンボイナ	Ⅰ-2-a																																																					
		アンボンクロザメ																																																						
		ナツメイモ	Ⅰ-2-c	1																																																	1			1
		不明	-																																																					
	オニコブシ科	コオニコブシ																																																						
	ナツメガイ科	ナツメガイ	Ⅰ-2-c																																																					
	タケノコガイ科	タケノコガイ	Ⅰ-2-c																																																					
	マクラガイ科	サツマビナ	Ⅰ-2-c																																																					
	アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ	v-9																																																					
	オナジマイマイ科	パンダナマイマイ	v-8																															1																				1	
		オキナワウスカワマイマイ	v-8																																																					
		不明	—																																																						
	ユキノカサガイ科	リゥウキュウウノアシ	Ⅰ-1-a																																																					
	ミミガイ科	ミミガイ	Ⅰ-2-a																																																					
		イボアナゴ																																						1															1			1
	スズメガイ科	アツキクスズメ																																																						
	ナガウニ科	パイプウニ	Ⅰ-3-a																																																					
	巻貝不明		—																																1									1												2	
小計				2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	5	0	0	0	0	0	0	8	1	11	
合計																																																							20			9

第65表　巻貝類　出土一覧（SP以外の遺構）1

番号/綱名/科名/種名/生息地			出土地	第1検出面 1地点																																	
				C-6			D-7			D-7			D-8			C-4〜D-5			E-8			E-8			E-8			E-8			D-8			D-8・9			E-8		
				SK2			SK8			SK9			SK10			SK1			SK12			SK11			SK13			SK19			SD1 トレ2			SD1 トレ1			SD1 上面		
綱	科	種名	生息地	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
腹足綱	ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a						1																								1						
		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																																				
		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a									2																											
		オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b																																				
		コシダカギンタカハマ	Ⅰ-4-a																																				
		オオウラウズ																																					
		不明	—																																				
	リュウテン科	チョウセンサザエ蓋	Ⅰ-3-a																									7						1			1		
		カンギク	Ⅱ-1-b			1	1																					2											
		カンギク蓋	Ⅱ-1-b																																				
		コシダカサザエ	Ⅰ-2-a					1																															
		不明	—																																				
	アマオブネガイ科	コシダカアマガイ																																					
		リュウキュウアマガイ	Ⅰ-0-a																																				
		マルアマオブネ	Ⅱ-1-b																																				
		アマオブネガイ	Ⅰ-1-b																																				
		ニシキアマオブネ	Ⅰ-1-c																																				
		アラスジアマオブネ																																					
		マングローブアマガイ																																					
		不明	—																																				
	ムシロガイ科	イボヨフバイ																																					
	エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1-b				1																																
	ヤツシロガイ科	ウズラガイ																																					
		トキワガイ	Ⅰ-2-c																																				
	オニノツノガイ科	イワカニモリ																																					
		ヒメクワカニモリ																																					
		カヤノミカニモリ																																					
		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-b																																				
		コゲノツノブエ	Ⅰ-1-b																																				
		オニノツノガイ																																					
		ミツカドカニモリ	Ⅰ-2-c																																				
		オニノツノガイ不明	-																																				
	イトマキボラ科	イトマキボラ																																					
		ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-b																																				
		チトセボラ	Ⅰ-2-a																																				
		ツノマタモドキ	Ⅰ-2-b																																				
		不明	—																																				
	フデガイ科	イモフデガイ																																					
		チリメンイモフデガイ	Ⅰ-1-b																																				
		コシマヤタテ																																					
	ウミニナ科	イボシマウミニナ																																					
		イボウミニナ																																					
		リュウキュウウミニナ	Ⅲ-1-c																																				
	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅱ-1-c																																				
	タマガイ科	トミガイ																																					
		リスガイ	Ⅰ-2-c																																				
		ホウシュノタマ	Ⅰ-2-c																																				
		トラダマガイ	Ⅱ-1-c																																				
		不明	—																																				
	フトヘナタリ科	センニンガイ																								1													
		キバウミニナ	Ⅲ-0-c																																				
		マドモチウミニナ	Ⅲ-1-c																																				
		フトヘナタリ	Ⅲ-1-c																																				
		ヘナタリ	Ⅲ-0-d				2																																
		カワアイ																																					
	ソデボラ科	オハグロガイ	Ⅲ-1-c																									1											
		ムカシタモト	Ⅱ-2-c																																				
		クモガイ																																					
		クモガイ（幼貝）																																					
		ネジマガキ																																					
		マガキガイ					1			1						9	2											1											
		マイノソデガイ	Ⅰ-2-c																							1													
		不明																																					
	ツクシガイ科	ミノムシ																																					
	タカラガイ科	ヒメホシダカラ																																					
		コモンダカラ	Ⅰ-2-b																																				
		ハナビラダカラ	Ⅰ-2-b	1																		1						3											
		ハナマルユキダカラ	Ⅰ-1-a	2			2									1												5										1	
		ホソヤクシマダカラ	Ⅰ-3-a																																				
		ホシダカラ	Ⅱ-2-a									1																											
		キイロダカラ	Ⅰ-2-c																									1											
		ヤクシマダカラ	Ⅰ-1-a																																				
		ホシキヌタ	Ⅰ-2-a																																				
		クチムラサキダカラ	Ⅰ-2-a																																				
		ヤナギシボリダカラ																																					
		ジャノメダカラ	Ⅰ-2-b																																				
		ヒロクチダカラ																																					
		不明	—																																				
	オキニシ科	シロナルトボラ																																					
		オキニシ	Ⅰ-4-a																																				
	フジツガイ科	ホラガイ	Ⅰ-3-a																																				
		シロシノマキ	Ⅰ-4-a																																				
		シノマキガイ																																					
	アッキガイ科	ツノレイシ	Ⅰ-4-a																																				
		ムラサキイガレイシ	Ⅰ-3-a																																				
		シラクモガイ	Ⅰ-3-a																																				
		コイワニシ	Ⅱ-1-a																																				
		不明	—																																				
	イモガイ科	サラサミナシ																																					
		ヤキイモガイ	Ⅰ-4-b																																				
		サヤガタイモ	Ⅰ-2-c																																				
		アジロイモ	Ⅰ-1-a																																				
		クロフモドキ	Ⅰ-3-a																															1					
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-c																																				
		マダライモガイ	Ⅰ-3-a																																				
		ナガシマイモガイ	Ⅰ-1-a																																				
		ナンヨウクロミナシ																																					
		サラサミナシモドキ	Ⅱ-2-c																																				
		タガヤサンミナシ	Ⅰ-1-a																																				
		ユキゲイモ	Ⅰ-2-c																																				
		イボシマイモ					1																																
		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																							1													
		シロアンボイナ	Ⅰ-2-a																																				
		アンボンクロザメ																																					
		ナツメイモ	Ⅰ-2-c																																				
		不明	—																																				
	オニコブシ科	コオニコブシ																											1										
	ナツメガイ科	ナツメガイ	Ⅰ-2-c																																				
	タケノコガイ科	タケノコガイ	Ⅰ-2-c																																				
	マクラガイ科	サツマビナ	Ⅰ-2-c																																				
	アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ	v-9																																				
	オナジマイマイ科	パンダナマイマイ	v-8																																				
		オキナワウスカワマイマイ	v-8																																				
		不明	—																																				
	ユキノカサガイ科	リゥウキュウウノアシ	Ⅰ-1-a																																				
	ミミガイ科	ミミガイ	Ⅰ-2-a																																				
		イボアナゴ																																					
	スズメガイ科	アツキクスズメ																																					
	ナガウニ科	パイプウニ	Ⅰ-3-a						2																		1												
	巻貝不明		—												1															1									
小計				3	0	1	8	1	3	1		3	0	0	1	10	2	0	0	0	0	1	0	0	3	0	1	20	1	1	0	0	1	2	0	0	1	1	0

番号/綱名/科名/種名/生息地			出土地	第1検出面 1地点																																
				D・E-8・9			C・D-5			D-6・7			E-6			E-8			E-8・9			E-7・8			C-6			D-5			C・D-5			E・F-11		
				SD1			SS1			SS2			SS2 トレ1			SE2 ホリカタ			SE2			SE3			SX5			SX5			SX5			SX10		
綱	科	種名	生息地	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
腹足綱	ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a																																	
		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																																	
		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a		1				2																											
		オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b																																	
		コシダカギンタカハマ	Ⅰ-4-a																																	
		オオウラウズ																																		
		不明	—																																	
	リュウテン科	チョウセンサザエ蓋	Ⅰ-3-a	2						1																										
		カンギク	Ⅱ-1-b									1																						1		
		カンギク蓋	Ⅱ-1-b																																	
		コシダカサザエ	Ⅰ-2-a																																	
		不明	—																																	
	アマオブネガイ科	コシダカアマガイ																																		
		リュウキュウアマガイ	Ⅰ-0-a																																	
		マルアマオブネ	Ⅱ-1-b																																	
		アマオブネガイ	Ⅰ-1-b																																	
		ニシキアマオブネ	Ⅰ-1-c																																	
		アラスジアマオブネ																																		
		マングローブアマガイ																																		
		不明	—																																	
	ムシロガイ科	イボヨフバイ																																		
	エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1-b																																	
	ヤツシロガイ科	ウズラガイ																																		
		トキワガイ	Ⅰ-2-c																																	
	オニノツノガイ科	イワカニモリ																																		
		ヒメクワカニモリ																																		
		カヤノミカニモリ																																		
		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-b																																	
		コゲノツノブエ	Ⅰ-1-b																																	
		オニノツノガイ																																		
		ミツカドカニモリ	Ⅰ-2-c																																	
		オニノツノガイ不明	-																																	
	イトマキボラ科	イトマキボラ																																		
		ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-b																																	
		チトセボラ	Ⅰ-2-a																																	
		ツノマタモドキ	Ⅰ-2-b																																	
		不明	—																																	
	フデガイ科	イモフデガイ																																		
		チリメンイモフデガイ	Ⅰ-1-b																																	
		コシマヤタテ																																		
	ウミニナ科	イボシマウミニナ																																1		
		イボウミニナ																																4		
		リュウキュウウミニナ	Ⅲ-1-c																																	
	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅱ-1-c																																	
	タマガイ科	トミガイ																																		
		リスガイ	Ⅰ-2-c																																	
		ホウシュノタマ	Ⅰ-2-c																																	
		トラダマガイ	Ⅱ-1-c																																	
		不明	—																																	
	フトヘナタリ科	センニンガイ																																		
		キバウミニナ	Ⅲ-0-c																																	
		マドモチウミニナ	Ⅲ-1-c																																	
		フトヘナタリ	Ⅲ-1-c				1																									1				
		ヘナタリ	Ⅲ-0-d																																	
		カワアイ																																		
	ソデボラ科	オハグロガイ	Ⅲ-1-c																																	
		ムカシタモト	Ⅱ-2-c																																	
		クモガイ				1												1																		
		クモガイ（幼貝）																																		
		ネジマガキ																																		
		マガキガイ																																		
		マイノソデガイ	Ⅰ-2-c																																	
		不明				1																														
	ツクシガイ科	ミノムシ																																		
	タカラガイ科	ヒメホシダカラ																																		
		コモンダカラ	Ⅰ-2-b																																	
		ハナビラダカラ	Ⅰ-2-b	2																					1									2		
		ハナマルユキダカラ	Ⅰ-1-a	1																																
		ホソヤクシマダカラ	Ⅰ-3-a																																	
		ホシダカラ	Ⅱ-2-a	1					1																											
		キイロダカラ	Ⅰ-2-c																																	
		ヤクシマダカラ	Ⅰ-1-a		2	1																														
		ホシキヌタ	Ⅰ-2-a	1																																
		クチムラサキダカラ	Ⅰ-2-a																																	
		ヤナギシボリダカラ																																		
		ジャノメダカラ	Ⅰ-2-b																																	
		ヒロクチダカラ																																		
		不明	—																																	
	オキニシ科	シロナルトボラ																																		
		オキニシ	Ⅰ-4-a																																	
	フジツガイ科	ホラガイ	Ⅰ-3-a																																	
		シロシノマキ	Ⅰ-4-a																																	
		シノマキガイ																																		
	アッキガイ科	ツノレイシ	Ⅰ-4-a																																	
		ムラサキイガレイシ	Ⅰ-3-a																																	
		シラクモガイ	Ⅰ-3-a																																	
		コイワニシ	Ⅱ-1-a																																	
		不明	—																																	
	イモガイ科	サラサミナシ																																		
		ヤキイモガイ	Ⅰ-4-b																																	
		サヤガタイモ	Ⅰ-2-c																																	
		アジロイモ	Ⅰ-1-a																																	
		クロフモドキ	Ⅰ-3-a																																	
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-c																																	
		マダライモガイ	Ⅰ-3-a																																	
		ナガシマイモガイ	Ⅰ-1-a																																	
		ナンヨウクロミナシ																																		
		サラサミナシモドキ	Ⅱ-2-c																																	
		タガヤサンミナシ	Ⅰ-1-a																																	
		ユキゲイモ	Ⅰ-2-c																																	
		イボシマイモ																																		
		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a	1																								1								
		シロアンボイナ	Ⅰ-2-a																																	
		アンボンクロザメ																																		
		ナツメイモ	Ⅰ-2-c																																	
		不明	—																													1			1	
	オニコブシ科	コオニコブシ																																		
	ナツメガイ科	ナツメガイ	Ⅰ-2-c																																	
	タケノコガイ科	タケノコガイ	Ⅰ-2-c																																	
	マクラガイ科	サツマビナ	Ⅰ-2-c																																	
	アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ	v-9																																	
	オナジマイマイ科	パンダナマイマイ	v-8																																	
		オキナワウスカワマイマイ	v-8																																	
		不明	—																																	
	ユキノカサガイ科	リゥウキュウウノアシ	Ⅰ-1-a																																	
	ミミガイ科	ミミガイ	Ⅰ-2-a																																	
		イボアナゴ																																		
	スズメガイ科	アツキクスズメ																																		
	ナガウニ科	パイプウニ	Ⅰ-3-a																																	
	巻貝不明		—			1									1									1												
小計				8	3	4	1	0	3	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	2	0	8	1	0

番号/綱名/科名/種名/生息地			出土地	第1検出面 2地点																		第1検出面 3地点														
				E-12・13			D-8			F-13			F-13			E-11			F-13			H-10・11〜I-10・11			I-12			J-13			C-6			D-5		
				SK69			SD1			SD5			SE4			SX10			SX11			SK88			SK87			SK86			SD3			SD2		
綱	科	種名	生息地	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
腹足綱	ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a							1	1																									
		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																																	
		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a																			1		2												
		オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b																																	
		コシダカギンタカハマ	Ⅰ-4-a																																	
		オオウラウズ																																		
		不明	—																											1						
	リュウテン科	チョウセンサザエ蓋	Ⅰ-3-a																			1		1												
		カンギク	Ⅱ-1-b										1									2														
		カンギク蓋	Ⅱ-1-b																																	
		コシダカサザエ	Ⅰ-2-a																																	
		不明	—																																	
	アマオブネガイ科	コシダカアマガイ																																		
		リュウキュウアマガイ	Ⅰ-0-a																																	
		マルアマオブネ	Ⅱ-1-b										1																							
		アマオブネガイ	Ⅰ-1-b																																	
		ニシキアマオブネ	Ⅰ-1-c																																	
		アラスジアマオブネ											1																							
		マングローブアマガイ																																		
		不明	—																																	
	ムシロガイ科	イボヨフバイ																																		
	エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1-b																																	
	ヤツシロガイ科	ウズラガイ																																		
		トキワガイ	Ⅰ-2-c																																	
	オニノツノガイ科	イワカニモリ																																		
		ヒメクワカニモリ																																		
		カヤノミカニモリ																																		
		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-b																						1											
		コゲノツノブエ	Ⅰ-1-b	1																																
		オニノツノガイ																																		
		ミツカドカニモリ	Ⅰ-2-c																																	
		オニノツノガイ不明	-																																	
	イトマキボラ科	イトマキボラ								1																										
		ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-b																																	
		チトセボラ	Ⅰ-2-a							1																										
		ツノマタモドキ	Ⅰ-2-b																																	
		不明	—																																	
	フデガイ科	イモフデガイ																																		
		チリメンイモフデガイ	Ⅰ-1-b																																	
		コシマヤタテ																																		
	ウミニナ科	イボシマウミニナ																																		
		イボウミニナ																																		
		リュウキュウウミニナ	Ⅲ-1-c																																	
	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅱ-1-c																																	
	タマガイ科	トミガイ																																		
		リスガイ	Ⅰ-2-c																															1		
		ホウシュノタマ	Ⅰ-2-c																																	
		トラダマガイ	Ⅱ-1-c																																	
		不明	—																																	
	フトヘナタリ科	センニンガイ											1	1																						
		キバウミニナ	Ⅲ-0-c																																	
		マドモチウミニナ	Ⅲ-1-c																																	
		フトヘナタリ	Ⅲ-1-c																																	
		ヘナタリ	Ⅲ-0-d																																	
		カワアイ																																		
	ソデボラ科	オハグロガイ	Ⅲ-1-c																																	
		ムカシタモト	Ⅱ-2-c																																	
		クモガイ																								1				1						
		クモガイ（幼貝）																																		
		ネジマガキ																																		
		マガキガイ						1													1															
		マイノソデガイ	Ⅰ-2-c																																	
		不明																																		
	ツクシガイ科	ミノムシ																																		
	タカラガイ科	ヒメホシダカラ																																		
		コモンダカラ	Ⅰ-2-b																																	
		ハナビラダカラ	Ⅰ-2-b							3												1									1					
		ハナマルユキダカラ	Ⅰ-1-a							3		4	1						2			2									1					
		ホソヤクシマダカラ	Ⅰ-3-a																																	
		ホシダカラ	Ⅱ-2-a																																	
		キイロダカラ	Ⅰ-2-c																																	
		ヤクシマダカラ	Ⅰ-1-a																																	
		ホシキヌタ	Ⅰ-2-a																			1														
		クチムラサキダカラ	Ⅰ-2-a																																	
		ヤナギシボリダカラ																																		
		ジャノメダカラ	Ⅰ-2-b																																	
		ヒロクチダカラ																																		
		不明	—																											1						
	オキニシ科	シロナルトボラ																																		
		オキニシ	Ⅰ-4-a																																	
	フジツガイ科	ホラガイ	Ⅰ-3-a																																	
		シロシノマキ	Ⅰ-4-a										1																							
		シノマキガイ																																		
	アッキガイ科	ツノレイシ	Ⅰ-4-a																																	
		ムラサキイガレイシ	Ⅰ-3-a																																	
		シラクモガイ	Ⅰ-3-a																																	
		コイワニシ	Ⅱ-1-a																																	
		不明	—																																	
	イモガイ科	サラサミナシ																																		
		ヤキイモガイ	Ⅰ-4-b																																	
		サヤガタイモ	Ⅰ-2-c																																	
		アジロイモ	Ⅰ-1-a																																	
		クロフモドキ	Ⅰ-3-a																																	
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-c																																	
		マダライモガイ	Ⅰ-3-a																																	
		ナガシマイモガイ	Ⅰ-1-a																																	
		ナンヨウクロミナシ																																		
		サラサミナシモドキ	Ⅱ-2-c															1																		
		タガヤサンミナシ	Ⅰ-1-a																																	
		ユキゲイモ	Ⅰ-2-c																																	
		イボシマイモ																																		
		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																																	
		シロアンボイナ	Ⅰ-2-a																																	
		アンボンクロザメ																																		
		ナツメイモ	Ⅰ-2-c																																	
		不明	—																					1												
	オニコブシ科	コオニコブシ																										1								
	ナツメガイ科	ナツメガイ	Ⅰ-2-c																																	
	タケノコガイ科	タケノコガイ	Ⅰ-2-c																																	
	マクラガイ科	サツマビナ	Ⅰ-2-c																																	
	アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ	v-9																																	
	オナジマイマイ科	パンダナマイマイ	v-8																																	
		オキナワウスカワマイマイ	v-8																																	
		不明	—																																	
	ユキノカサガイ科	リゥウキュウウノアシ	Ⅰ-1-a																																	
	ミミガイ科	ミミガイ	Ⅰ-2-a																																	
		イボアナゴ																																		
	スズメガイ科	アツキクスズメ																																		
	ナガウニ科	パイプウニ	Ⅰ-3-a																																	
	巻貝不明		—						1																											
小計				1	0	0	0	1	1	9	1	4	6	1	0	0	0	0	3	1	0	8	0	4	1	1	0	1	0	3	2	0	0	1	0	0

第 65 表　巻貝類　出土一覧（SP 以外の遺構）２

番号/網名/科名/種名/生息地			出土地	第2検出面																																																																																			第3検出面			合計			最少個体数
				1地点															2地点																														3地点																																				1地点						
				E-13			D-7			F-14			C-4			D-6・7			F-11			E・F-12			E・F-11			G-14			F-13			E・F-14			E-13・14〜F-13・14			E・F-13			E・F-13			F-13・14〜G-13・14			G-6・7			H-7			H-7			H-10			I-11			I-11			G-6・H-7			H・I-9			I-11			I-10			I-11			H・I-11			C-5						
				SK68			SU2			SU5			SS4			SS3			SK83			SK81			SU8			SU9			SX16			SX12			SX14			SX15			SX16			SX13			SK90			SK92			SK93			SK131			SK118			SK133			SK91			SL1			SS6			SX27			SX26			SX25			SS5						
				完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	
腹足綱	ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a																																	1		2							1		1																							1													1				4	1	6	5
		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a																																																																																								
		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a															2																																																				1	1	1																2	2	9	4
		オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b																																																																																								
		コシダカギンタカハマ	Ⅰ-4-a																																																																																								
		オオウラウズ																																																																																							
		不明	—																																																																																				1	
	リュウテン科	チョウセンサザエ蓋	Ⅰ-3-a							1																					1							1																																	2																		18		1	18
		カンギク	Ⅱ-1-b																																												8											1																1							1							18		2	18
		カンギク蓋	Ⅱ-1-b																																												2																																										2			2
		コシダカサザエ	Ⅰ-2-a																																																																																					1		1
		不明	—																																																																																								
	アマオブネガイ科	コシダカアマガイ								1																																																																																					1			1
		リュウキュウアマガイ	Ⅰ-0-a																																																																																								
		マルアマオブネ	Ⅱ-1-b																																																																																					1			1
		アマオブネガイ	Ⅰ-1-b																																																																									1															1			1
		ニシキアマオブネ	Ⅰ-1-c																																																																																								
		アラスジアマオブネ																																																																																						1			1
		マングローブアマガイ																																																																																							
		不明	—																																																																																								
	ムシロガイ科	イボヨフバイ																																																																																							
	エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1-b																																												1																																										2			2
	ヤツシロガイ科	ウズラガイ																																																																																							
		トキワガイ	Ⅰ-2-c																																																																																								
	オニノツノガイ科	イワカニモリ																																																																																							
		ヒメクワカニモリ																																													1																																										1			1
		カヤノミカニモリ																																	1																																																						1			1
		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-b																																																																																					1			1
		コゲノツノブエ	Ⅰ-1-b																																																																																					1			1
		オニノツノガイ																				1																											1																																										1	1		2
		ミツカドカニモリ	Ⅰ-2-c																																																																																								
		オニノツノガイ不明	–																																																																																			1				1	
	イトマキボラ科	イトマキボラ																																																																																						1			1
		ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-b																													1																																																									1			1
		チトセボラ	Ⅰ-2-a																																																																																					1			1
		ツノマタモドキ	Ⅰ-2-b																																																																																								
		不明	—																																																																																								
	フデガイ科	イモフデガイ																																																																																							
		チリメンイモフデガイ	Ⅰ-1-b																																																																																								
		コシマヤタテ																																																																																							
	ウミニナ科	イボシマウミニナ																				1																																																																	1	1		2
		イボウミニナ																																			1										3																																						1	7		2	7
		リュウキュウウミニナ	Ⅲ-1-c																				1																											6		1							1																															7	1	1	8
	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅱ-1-c																																																																																								
	タマガイ科	トミガイ																																																																																		1			1		1
		リスガイ	Ⅰ-2-c																																												2																																					1			4			4
		ホウシュノタマ	Ⅰ-2-c																																																																																								
		トラダマガイ	Ⅱ-1-c													1											1																																																									2			2
		不明	—													1																																																																										1	
	フトヘナタリ科	センニンガイ													1																																																																											2	2		4
		キバウミニナ	Ⅲ-0-c																																																																																								
		マドモチウミニナ	Ⅲ-1-c																															1																																																						1			1
		フトヘナタリ	Ⅲ-1-c																						1																						2																																				1			5	1		6
		ヘナタリ	Ⅲ-0-d																																				1																1																																4			4
		カワアイ								1																																			3	1																																										4	1		5
	ソデボラ科	オハグロガイ	Ⅲ-1-c																																																																																	1					2			2
		ムカシタモト	Ⅱ-2-c																																																																																								
		クモガイ																					1														1				1																																	1																2	6	2
		クモガイ（幼貝）																																																1																																					1			1
		ネジマガキ																																																																																							
		マガキガイ																																	1										2		1	1															1										1			3			1				1		22	5	1	27
		マイノソデガイ	Ⅰ-2-c																																																																																					1			1
		不明																																																																																1	1					1	1	1	2
	ツクシガイ科	ミノムシ																																																																																							
	タカラガイ科	ヒメホシダカラ																																																																																							
		コモンダカラ	Ⅰ-2-b													1																																																									1											2			2
		ハナビラダカラ	Ⅰ-2-b																																				2				1							1																1																						20			20
		ハナマルユキダカラ	Ⅰ-1-a									2							1									2				2			2			2		1							9	3	3																1						1			1					1		1			1			39	8	11	47
		ホソヤクシマダカラ	Ⅰ-3-a																																																																																								
		ホシダカラ	Ⅱ-2-a																																																																																					1		2	1
		キイロダカラ	Ⅰ-2-c																																							1																																															2			2
		ヤクシマダカラ	Ⅰ-1-a																																												1																																										1	2	1	3
		ホシキヌタ	Ⅰ-2-a													1																				1																																																	4			4
		クチムラサキダカラ	Ⅰ-2-a																																																																																								
		ヤナギシボリダカラ																																																																																							
		ジャノメダカラ	Ⅰ-2-b																																																																																								
		ヒロクチダカラ																																																																																							
		不明	—																																																1							1					1																												1		3	1
	オキニシ科	シロナルトボラ																																																																																							
		オキニシ	Ⅰ-4-a																																																																																								
	フジツガイ科	ホラガイ	Ⅰ-3-a																																																																																								
		シロシノマキ	Ⅰ-4-a																																																																																					1			1
		シノマキガイ																																																																																							
	アッキガイ科	ツノレイシ	Ⅰ-4-a																																																																																								
		ムラサキイガレイシ	Ⅰ-3-a																																																																																								
		シラクモガイ	Ⅰ-3-a																																																																																								
		コイワニシ	Ⅱ-1-a																																																																																								
		不明	—																																																																																								
	イモガイ科	サラサミナシ																																																																																							
		ヤキイモガイ	Ⅰ-4-b																																																																																								
		サヤガタイモ	Ⅰ-2-c																																																																																								
		アジロイモ	Ⅰ-1-a															1																				2																																																	2		1	2
		クロフモドキ	Ⅰ-3-a																																																																																					1			1
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-c																																									1																																													1			1
		マダライモガイ	Ⅰ-3-a																																				2							1																																									3			3
		ナガシマイモガイ	Ⅰ-1-a																																																																																								
		ナンヨウクロミナシ																																																																																							
		サラサミナシモドキ	Ⅱ-2-c																																			1																																																				1		1	1
		タガヤサンミナシ	Ⅰ-1-a																																																																																								
		ユキゲイモ	Ⅰ-2-c																																																																1																				1			1
		イボシマイモ																																																					1																															2			2
		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a																																																																																					3			3
		シロアンボイナ	Ⅰ-2-a																																																																																								
		アンボンクロザメ																																																																																							
		ナツメイモ	Ⅰ-2-c																																																																																								
		不明	—													2				1													1												1																														1								4	3	2	7
	オニコブシ科	コオニコブシ																																																																																						1	1		2
	ナツメガイ科	ナツメガイ	Ⅰ-2-c																																																																																		1			1		1
	タケノコガイ科	タケノコガイ	Ⅰ-2-c																																					1																																																	1	
	マクラガイ科	サツマビナ	Ⅰ-2-c																																																																																								
	アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ	v-9																																																																																								
	オナジマイマイ科	パンダナマイマイ	v-8																																																																																								
		オキナワウスカワマイマイ	v-8																																																																																								
		不明	—																																																																																								
	ユキノカサガイ科	リゥウキュウウノアシ	Ⅰ-1-a																																																																																								
	ミミガイ科	ミミガイ	Ⅰ-2-a																																								1																																														1		1
		イボアナゴ																																																																																							
	スズメガイ科	アツキクスズメ																																																																																							
	ナガウニ科	パイプウニ	Ⅰ-3-a																			1																1																																																	5	
		巻貝不明	—																			1			1										2										2													1																			1				1		13	1
		小計							3	2			1	1	5		4		4	3	1		1			2	1			4			6	1	4	12		6	2	1		1			44	4	10	2					4			1		1	1			4			1			5	1	2	1	1		3			4	1		5	1	2	3	3	2	214	36	72	250
		合計																																																																																					322			

第 66 表　二枚貝類　出土一覧（Ⅲ層）1

番号/網名/科名/種名/生息地		出土地	Ⅲ層 1地点 C-6 完形L	C-6 完形R	C-6 破頂L	C-6 破頂R	C-6 破片	C-7 完形L	C-7 完形R	C-7 破頂L	C-7 破頂R	C-7 破片	D-4 完形L	D-4 完形R	D-4 破頂L	D-4 破頂R	D-4 破片	D-5 完形L	D-5 完形R	D-5 破頂L	D-5 破頂R	D-5 破片	D-6 完形L	D-6 完形R	D-6 破頂L	D-6 破頂R	D-6 破片	D-8 完形L	D-8 完形R	D-8 破頂L	D-8 破頂R	D-8 破片	D-9 完形L	D-9 完形R	D-9 破頂L	D-9 破頂R	D-9 破片	E-6 完形L	E-6 完形R	E-6 破頂L	E-6 破頂R	E-6 破片	E-7 完形L	E-7 完形R	E-7 破頂L	E-7 破頂R	E-7 破片	E-8 完形L	E-8 完形R	E-8 破頂L	E-8 破頂R	E-8 破片	E-9 完形L	E-9 完形R	E-9 破頂L	E-9 破頂R	E-9 破片
二枚貝網	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c																																																							
		アサジガイ																																																									
	イタボガキ科	ニセマガキ		1														1														1																1									
		シマガキ	Ⅲ-1-a																			3	1	1		4			1		6												2			1		1		1		1	2					1
		ノコギリガキ	Ⅱ-2-a																						1																																	
		不明					1																																								4					1					
	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ																																																							
		イタヤガイ																																																							
		不明																																																							
	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a																																																						
	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a																																																						
	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a				1												2	1																																	1				
		不明																																																								
	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c																																													1	1								
		リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c																1								1																1													
		不明																													1																										
	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ	Ⅱ-1-c																1		1	2																																1			1
		マスオガイ	Ⅱ-1-c																																																						
	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																																																						
		不明																																																							
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a																																																				1	
		シラナミ類	Ⅰ-3-a																																																					
		シャゴウ	Ⅰ-2-c																																																					
		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c			1															1	1					1			1	1					1																					
		ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-a					1				1																	1	1	1																	1	1		1	1				
		オオシャコガイ																																																							
		ナガジャコガイ	Ⅰ-2-a																																																					
		不明																			1	1					1				1					1																					
	タマキガイ科	ソメワケグリ																																																						
	チドリマスオガイ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c															1	1				1																									1	1							
	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-2-c									1		2				1			1		1																									1								
		ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c																					1																																
		ツキガイ	Ⅰ-2-c																																																					
		カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																			1				2																														
		不明																	1																																					
	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																													1								
		リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c															1	1		1											1	1															1							
		アマサギガイ	Ⅱ-2-c																			1																											1						
		ダイミョウガイ																																																							
		モチヅキザラ	Ⅰ-2-c																																																					
		ゴイシザラ																																																							
		サメザラ	Ⅰ-2-c															1				1																																			
		ヌノメチョウシラトリ	Ⅲ-1-c																																																					
		ニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																																					
		ヒラザクラ																																																							
		不明																																																							
	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																																					
		タマキガイ	Ⅱ-1-c																																																					
	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																																													1								
		ハイガイ	Ⅱ-1-c																																																			1		
		カリガネエガイ	Ⅰ-2-a																										1																											
		クロミノエガイ	Ⅱ-2-b																																																					
		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-b														1																	1													1								
		不明																																																						
	フナガタタガイ科	タガソデモドキ																																																						
		不明																																																						
	マルスダレガイ科	オイノカガミ	Ⅱ-2-c																3				1																																	
		アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b						1																																															
		ヌノメガイ	Ⅱ-2-c	1								1										4		1		1											2	1								1		1							
		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c	2														4	1			1	2	4					3		1		2	1	1	1											1	5							
		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c																			1	1									1						1																		
		ヒメアサリ	Ⅱ-1-c																																																					
		チャイロサラサ			1																			1				1																												
		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																												1							1																		
		ヒメリュウキュウアサリ		4									1										1			1																						1								
		ウスカワハマグリ類																																																						
		オトコエシハマグリ																																																						
		ヤエヤマスダレ																																																				1			
		ユウカケハマグリ	Ⅱ-2-c		2				1													2																											1							
		ハマグリ類	Ⅱ-2-c																					1				1																												
		タイワンシラオ																				1																																		
		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c																			3	1	1							1																									
		イオウハマグリ																	1																																					
		不明																																			2																			
	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種																	1																																				
	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ																																																						
	二枚貝不明																					1				1					2						1									2					1				1
小計			8	3	1	0	3	2	0	0	0	3	1	2	0	0	1	9	12	2	5	23	9	10	1	0	13	1	2	5	2	16	2	4	1	1	8	2	1	0	0	2	0	1	1	0	10	7	14	0	2	7	1	0	1	1	3

第 66 表　二枚貝類　出土一覧（Ⅲ層）２

出土地				Ⅲ層																																																	
				2地点																																				3地点									
				E-12					E-13					E-14					F-12					F-13					F-14					G-13					G-14					G-6					G-7				
番号/綱名/科名/種名/生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片
二枚貝網	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c																																																	
			アサジガイ																																																			
	イタボガキ科	ニセマガキ		1	1		1	2	1				1	1				1					1				1						2																				
		シマガキ	Ⅲ-1-a	1				2			3	1	12					2	4	1	1		7	1			1	6					3			1		2														
		ノコギリガキ	Ⅱ-2-a																				3																													
		不明								1				1					9												1	1		3																				
	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ																																																		
		イタヤガイ																																																		
		不明																																																		
	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a																				1																														
	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a																			1																															
	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a	1	1	1	2	1		2					2				3	1	1	4	2	4										1						1											
		不明																																																		
	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c								1			2							1		1		1		1			2			1						1												
		リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c				1		1		1			1						1	1	1	1			1																											
		不明													1																																							
	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ	Ⅱ-1-c	1				3		2		1				1			1	1			4		1				1		1	1	4																		1	
		マスオガイ	Ⅱ-1-c		1			1																																												
	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c								1	1		1				1		1							2			1	1	1						1	1													1					
		不明													1								1																																
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a					1										1					1																													
		シラナミ類	Ⅰ-3-a	2		1		6												3	1			1																													
		シャゴウ	Ⅰ-2-c						1																																												
		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c																																	1																				
		ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-a	1					1				1	1						2			1	2	3								1																				
		オオシャコガイ																																																		
		ナガジャコガイ	Ⅰ-2-a						1															1				1																								
		不明							2																					1					1																				
	タマキガイ科	ソメワケグリ																																																		
	チドリマスオガイ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c			1				1																		1																									
	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-2-c				1			2	1			3					2	2							1	1	1	5	3		3	2					1														
		ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c		1																									1																						
		ツキガイ	Ⅰ-2-c																																	1																				
		カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																																																		
		不明																																																		
	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																																		
		リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c					1	2											4	2	1		1	1	3										1																				
		アマサギガイ	Ⅱ-2-c																																																		
		ダイミョウガイ																																																		
		モチヅキザラ	Ⅰ-2-c																																																		
		ゴイシザラ																																																		
		サメザラ	Ⅰ-2-c																			2																																
		ヌノメチョウシラトリ	Ⅲ-1-c								1														1	1																											
		ニッコウガイ	Ⅱ-2-c																				1																															
		ヒラザクラ																																																		
		不明																																																		
	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																																		
		タマキガイ	Ⅱ-1-c																																																		
	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a	1		1		1		2										2	2				1						1																						
		ハイガイ	Ⅱ-1-c												1									1						1	2																					
		カリガネエガイ	Ⅰ-2-a																										1																							
		クロミノエガイ	Ⅱ-2-b																														1																					
		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-b	1	1			1	1	1						1				2	1		1	1	1	1			1				1																				1
		不明																																																		
	フナガタガイ科	タガソデモドキ																																																		
		不明																																																		
	マルスダレガイ科	オイノカガミ	Ⅱ-2-c							1											2							1																									
		アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b	1		1		1										1	1																																		
		ヌノメガイ	Ⅱ-2-c	2				5	4		1	1	5	1			1		2	1	2		4	1	2	1		3					3					1	1			1	1										
		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c	3	3	1	1		7	4	2	1		1		1		1	9	5		2	4	81	85		1	1	16	22	2	1	2		1			1	22	27	6	5	6								1			
		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c	5	1			1		2				1						3	5				2	8				1	4																							
		ヒメアサリ	Ⅱ-1-c																																																		
		チャイロサラサ																							1																												
		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c					4	1				1							1	1			2			1															1	1													
		ヒメリュウキュウアサリ		1																								1	2																							
		ウスカワハマグリ類																																																		
		オトコエシハマグリ																							1																												
		ヤエヤマスダレ																								1																											
		ユウカケハマグリ	Ⅱ-2-c						1	3							1					1																										1		1		
		ハマグリ類	Ⅱ-2-c	1							1																1			1			1	1								2	2	2												
		タイワンシラオ																																																		
		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c	3	3	2	1	4	2		1	1				1			2	1		1	2	1	1			1				1	1						1														
		イオウハマグリ																		1	1						1																											
		不明						7					1					1						2										1	1																				
	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種								1																																												
	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ																																																		
	二枚貝不明								18					4					3					3					3					7																			
小計				25	12	8	7	61	25	22	12	5	29	11	4	3	4	19	43	30	10	11	40	100	111	6	7	21	28	36	5	9	34	2	2	1	0	5	28	31	8	6	7	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1

第 66 表　二枚貝類　出土一覧（Ⅲ層）３

番号/網名/科名/種名/生息地		出土地	Ⅲ層 3地点 H-10 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	H-11 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	H-12 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	G-6～H-7 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	I-10 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	I-12 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	H・I-10 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	J-11 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	J-12 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	J-11・12 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	合計 Ⅲ層(1・2・3地点) 完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	最少個体数
二枚貝綱	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c																																																1					1	
		アサジガイ																																																								
	イタボガキ科	ニセマガキ																																																		5	1		2	9	8
		シマガキ	Ⅲ-1-a																								1		1																							8	3	8	3	53	22
		ノコギリガキ	Ⅱ-2-a																																																		1		3	1
		不明																																		1											1				1	2	1	1		21	4
	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ																																																						
		イタヤガイ																																																						
		不明																																																						
	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a																																																			1		1
	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a																																																		1			1
	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a					1																							1																				10	9	3	6	6	28
		不明																																																						
	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c																															1	1																4	4	2	2	3	12
		リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c			1																									1		1															1			3	6	3	2	2	14
		不明																																	1																				3	
	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ	Ⅱ-1-c		1																						1	1			1		1	1	1																5	8	3	4	17	20
		マスオガイ	Ⅱ-1-c																																3																	1			4	1
	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																										1																						3	5	2	1	3	11
		不明																																																		1		1	1
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a																																																			1	3	1
		シラナミ類	Ⅰ-3-a																								1	1																				1			6	3	1		7	10
		シャゴウ	Ⅰ-2-c																																																1					1
		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c																																																		1	2	5	3
		ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-a																																1																6	6	1	2	8	15
		オオシャコガイ																																																						
		ナガジャコガイ	Ⅰ-2-a																																															2				1	2
		不明																																																		1		8	1
	タマキガイ科	ソメワケグリ																																																						
	チドリマスオガイ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																																															3	3	1	1		8
	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-2-c	2				4	3			1																								3				1	1									22	14	2	6	6	44
		ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c																																															1	2				3
		ツキガイ	Ⅰ-2-c																																																			1	
		カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																						1																												1	3	1
		不明																																																		1			1
	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																														1					1
		リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																									1			3	2																		13	10	1	1	3	25
		アマサギガイ	Ⅱ-2-c																								1																							1	1			1	2
		ダイミョウガイ																																																						
		モチヅキザラ	Ⅰ-2-c														1																																					1	
		ゴイシザラ																																																						
		サメザラ	Ⅰ-2-c																																														1	2			1	3
		ヌノメチョウシラトリ	Ⅲ-1-c																																														1	1	1			3
		ニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																						1								1		1			2
		ヒラザクラ																																																						
		不明																																																						
	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																																					
		タマキガイ	Ⅱ-1-c																																																					
	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																								1						1																	5	7	1		1	13
		ハイガイ	Ⅱ-1-c																																														2	3	1			6
		カリガネエガイ	Ⅰ-2-a																																															1	1			2
		クロミノエガイ	Ⅱ-2-b																																														1					1
		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-b																												1	1		1	1													1	6	6	1	2	9	15
		不明																																																						
	フナガタガイ科	タガソデモドキ																																																						
		不明																																																						
	マルスダレガイ科	オイノカガミ	Ⅱ-2-c																																														3	4	1			8
		アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b																																							1								2	1	1	1	2	5
		ヌノメガイ	Ⅱ-2-c																						1	1			1		1		1		1														1		13	7	5	4	34	29
		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c			1							1					1	1								1	2				3										1					3	3			158	166	17	12	18	353
		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c		1																		1									1											1	1	1						16	23	1	1	2	41
		ヒメアサリ	Ⅱ-1-c																																																					
		チャイロサラサ																																														1				2	3				5
		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																														1		1															4	2	2		9	8
		ヒメリュウキュウアサリ																										3																						8	3		1	3	12
		ウスカワハマグリ類																																																						
		オトコエシハマグリ																																																						1
		ヤエヤマスダレ																																																						1	1
		ユウカケハマグリ	Ⅱ-2-c																								1					1																		5	6	1	2	2	14
		ハマグリ類	Ⅱ-2-c																																														5	4	4	1		14
		タイワンシラオ																																																				1	
		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c																				1					1							1	1													1		11	9	4	4	13	28
		イオウハマグリ																																																		1	3				4
		不明																																																				1	14	1
	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種																																																		1	1				2
	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ																																																						
	二枚貝不明																																																					47	0
小計			2	2	2	0	0	5	3	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	2	1	7	9	3	0	5	9	6	3	1	12	4	0	0	0	0	3	3	1	1	1	5	7	0	0	2	343	330	75	65	330	813
合計　Ⅲ層(1・2・3地点)																																																					1143					

第 67 表　二枚貝類　出土一覧（Ⅱ層・Ⅳ層）

番号/網名/科名/種名/生息地			出土地	Ⅱ層					Ⅳ層																																															合計					最少個体数
				1地点					1地点																																			3地点															
				E-7					C-4					C-5					C-6					D-5					D-6					D-7					D-8					D-9					G・H-7					G・H-8										
				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	
二枚貝綱	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c																																															1										1				1
		アサジガイ																																																													
	イタボガキ科	ニセマガキ																1										1																																		2	
		シマガキ	Ⅲ-1-a																				1						2	1			5											1					1										4	1			6	5
		ノコギリガキ	Ⅱ-2-a																									4																																	4	
		不明											1																																																	1	
	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ																																																													
		イタヤガイ																																																													
		不明																																																													
	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a																																																													
	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a																1																																									1					1
	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a															1								1																							1			1				1				1		2	1	1	4
		不明																																																														
	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c						1		1								1	1								1	1																														3	1	1		1	5
		リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c																																																	1					1					1
		不明																																																													
	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ	Ⅱ-1-c								1																	2																						1			1					1		1	1		4	2
		マスオガイ	Ⅱ-1-c																																																													
	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																																																													
		不明																																																														
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a																																																													
		シラナミ類	Ⅰ-3-a																					1															1								1									1	2				3
		シャゴウ	Ⅰ-2-c																																																													
		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c																																																													
		ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-a																																																													
		オオシャコガイ																																																													
		ナガジャコガイ	Ⅰ-2-a																																																													
		不明						2										1										2																																			5	
	タマキガイ科	ソメワケグリ																																																														
	ﾁﾄﾞﾘﾏｽｵｶﾞｲ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																					1	1															1																			1	2				3
	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-2-c																		1																																1					1	1			2
		ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c																																																													
		ツキガイ	Ⅰ-2-c																																																													
		カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																					1						1																														2				2
		不明																																																													
	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ	Ⅱ-2-c																	1																																							1				1
		リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c						1	1				1									2																				1						1	1									3	2			3	5
		アマサギガイ	Ⅱ-2-c																																								1							1								1		1			2
		ダイミョウガイ																			1		1																																					1		1	1
		モチヅキザラ	Ⅰ-2-c																																																													
		ゴイシザラ																																																													
		サメザラ	Ⅰ-2-c																																																													
		ヌノメチョウシラトリ	Ⅲ-1-c																																																													
		ニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																																													
		ヒラザクラ																																																													
		不明																				1																																								1	
	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																																													
	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																1						1																																		1	1				2
		ハイガイ	Ⅱ-1-c	1	1																																																						1	1				2
		カリガネエガイ	Ⅰ-2-a																																																													
		クロミノエガイ	Ⅱ-2-b																																																													
		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-b													1																																													1			1
		不明		1																																																								1					1
	フナガタガイ科	タカソテモドキ																																																													
		不明																																																													
	マルスダレガイ科	オイノカガミ	Ⅱ-2-c							2										1				1																															1					1	4				5
		アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b																																																													
		ヌノメガイ	Ⅱ-2-c							1				1						1			1					1					1										1										1	1				1	2	2			6	4
		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c	2	1						1			1						2				1	1				1												1									1				1		1				6	6	1		1	13
		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c										2						1	1				3																																				4	1			2	5
		ヒメアサリ	Ⅱ-1-c											1																																														1					1
		チャイロサラサ													1				1							1																																		1	1	1			3
		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c									1									1									1																															1	1	1		3
		ヒメリュウキュウアサリ																				2				1	1																																			1	3	1
		ウスカワハマグリ類																				1																																								1	
		オトコシハマグリ																																																													
		ヤエヤマスダレ																																																													
		ユウカケハマグリ	Ⅱ-2-c						1						1				1	1			1	1		1				1																															3	3	1		1	7
		ハマグリ類	Ⅱ-2-c																		1	1			1														1																					2	1	1		4
		タイワンシラオ																																										1																1				1
		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c																					1	2									1								1																		2	2		1		5
		イオウハマグリ																																																												
		不明																														2																															2	
	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種	Ⅰ-1-a																																																													
	キクザル科	キクザル類																																																													
	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ																																																													
	二枚貝不明												2									1	2					4																3						1																1	12	1
小計				4	2			2	3	4	3	1	5	4	2	1		3	6	8	4	2	12	8	8	3	1	16	4	4			8	1						3	1	1	5	2	1			1	4	3	2	1	3	2	3	1		2	38	38	15	6	57	97
																																																											合計	154					

第 68 表　二枚貝類　出土一覧（Ⅴ層）

番号/綱名/科名/種名/生息地			出土地	Ⅴ層 1地点 C-4					C-5					C-6					D-4					D-5					D-6					D-7					D-8					E-6					E-7					3地点 G-6・7					G.H7					合計					最少個体数
				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	
二枚貝綱	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c																																																																		
二枚貝綱	アサジガイ科	アサジガイ																																																																			
二枚貝綱	イタボガキ科	ニセマガキ																																																																			
二枚貝綱	イタボガキ科	シマガキ	Ⅲ-1-a																	1				1				4	3				5				1												1					1	1			1					3	6	2		1	17	9
二枚貝綱	イタボガキ科	ノコギリガキ	Ⅱ-2-a																																																																		
二枚貝綱	イタボガキ科	不明																																																																			
二枚貝綱	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ																																																																			
二枚貝綱	イタヤガイ科	イタヤガイ																																																																			
二枚貝綱	イタヤガイ科	不明																																																																			
二枚貝綱	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a																																																																		
二枚貝綱	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a																																																																		
二枚貝綱	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a																	1																																	1						1				1	1	1			2	2
二枚貝綱	ウミギク科	不明																																																																			
二枚貝綱	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c																																													1																				1	
二枚貝綱	ザルガイ科	リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c																																																																		
二枚貝綱	ザルガイ科	不明																																																																			
二枚貝綱	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ	Ⅱ-1-c																																																																		
二枚貝綱	シオサザナミガイ科	マスオガイ	Ⅱ-1-c																																																																		
二枚貝綱	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																																							1																									1		1
二枚貝綱	シジミ科	不明																																																																			
二枚貝綱	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a										1																																																1					1		1	1
二枚貝綱	シャコガイ科	シラナミ類	Ⅰ-3-a																																																																		
二枚貝綱	シャコガイ科	シャゴウ	Ⅰ-2-c																																																																		
二枚貝綱	シャコガイ科	ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c																																																																		
二枚貝綱	シャコガイ科	ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-a																																																																		
二枚貝綱	シャコガイ科	オオシャコガイ																																																																			
二枚貝綱	シャコガイ科	ナガジャコガイ	Ⅰ-2-a																																																																		
二枚貝綱	シャコガイ科	不明																																																																			
二枚貝綱	タマキガイ科	ソメワケグリ																																																																			
二枚貝綱	チドリマスオガイ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																																																																		
二枚貝綱	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-2-c	1																																																												1					1
二枚貝綱	ツキガイ科	ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c																																				1	1																								1	1				2
二枚貝綱	ツキガイ科	ツキガイ	Ⅰ-2-c																																																																		
二枚貝綱	ツキガイ科	カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																																																																		
二枚貝綱	ツキガイ科	不明																																																																			
二枚貝綱	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ	Ⅱ-1-c																																																																		
二枚貝綱	ニッコウガイ科	リュウキュウシラトリ	Ⅱ-2-c																																																								1	3				1	3				4
二枚貝綱	ニッコウガイ科	アマサギガイ												1					1			1																			1													1	1									3	1	1	1		6
二枚貝綱	ニッコウガイ科	ダイミョウガイ	Ⅰ-2-c																																																																		
二枚貝綱	ニッコウガイ科	モチズツキザラ																																																																			
二枚貝綱	ニッコウガイ科	ゴイシザラ	Ⅰ-2-c																																																																		
二枚貝綱	ニッコウガイ科	サメザラ	Ⅲ-1-c																																																																		
二枚貝綱	ニッコウガイ科	ヌノメチョウシラトリ	Ⅱ-2-c																																																																		
二枚貝綱	ニッコウガイ科	ニッコウガイ																																																																			
二枚貝綱	ニッコウガイ科	ヒラザクラ																																																																			
二枚貝綱	ニッコウガイ科	不明	Ⅱ-2-c																																																																		
二枚貝綱	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-1-c																																																																		
二枚貝綱	バカガイ科	タマキガイ	Ⅰ-1-a																																																																		
二枚貝綱	フネガイ科	エガイ	Ⅱ-1-c																																																								1					1					1
二枚貝綱	フネガイ科	ハイガイ	Ⅰ-2-a																																																																		
二枚貝綱	フネガイ科	カリガネエガイ	Ⅱ-2-b																					1																																								1					1
二枚貝綱	フネガイ科	クロミノエガイ	Ⅱ-2-b																																																																		
二枚貝綱	フネガイ科	リュウキュウサルボウ												1										1																																				1				2	1				3
二枚貝綱	フネガイ科	不明																																																																			
二枚貝綱	フナガタガイ科	タカソテモドキ																																																																			
二枚貝綱	フナガタガイ科	不明	Ⅱ-2-c																																																																		
二枚貝綱	マルスダレガイ科	オイノカガミ	Ⅰ-2-b																						1																																								1				1
二枚貝綱	マルスダレガイ科	アラヌノメガイ	Ⅱ-2-c																																																																		
二枚貝綱	マルスダレガイ科	ヌノメガイ	Ⅲ-1-c						1	1					1									1	1														1																									3	3				6
二枚貝綱	マルスダレガイ科	アラスジケマンガイ	Ⅱ-1-c																	1																																							1	2				1	3				4
二枚貝綱	マルスダレガイ科	ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c											1															1																														1					3					3
二枚貝綱	マルスダレガイ科	ヒメアサリ																																																																			
二枚貝綱	マルスダレガイ科	チャイロサラサ	Ⅱ-1-c																																					1																									1				1
二枚貝綱	マルスダレガイ科	スダレハマグリ																																	1																														1				1
二枚貝綱	マルスダレガイ科	ヒメリュウキュウアサリ																																	1																														1				1
二枚貝綱	マルスダレガイ科	ウスカワハマグリ類																																																																			
二枚貝綱	マルスダレガイ科	オトコシハマグリ																																																																			
二枚貝綱	マルスダレガイ科	ヤエヤマスダレ	Ⅱ-2-c																																																																		
二枚貝綱	マルスダレガイ科	ユウカケハマグリ								1																																																							1				1
二枚貝綱	マルスダレガイ科	ハマグリ類																																																																			
二枚貝綱	マルスダレガイ科	タイワンシラオ	Ⅲ-1-c																																																																		
二枚貝綱	マルスダレガイ科	ダテオキシジミ							1	1				1																																																		2	1				3
二枚貝綱	マルスダレガイ科	イオウハマグリ																																																																			
二枚貝綱	マルスダレガイ科	不明	Ⅰ-1-a																																																																		
二枚貝綱	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種																																																																			
二枚貝綱	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ																																																																			
二枚貝綱	二枚貝不明																																										1										1															2	
		小計		1	0	0	0	0	2	3	0	0	1	4	1	0	0	0	1	3	0	1	0	4	2	0	0	4	4	0	0	0	5	0	2	0	1	0	2	2	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	2	2	0	0	1	5	6	1	0	4	26	21	2	3	23	52
																																																															合計	75					

第 69 表　二枚貝類　出土一覧（SP）

番号/網名/科名/種名/生息地			出土地	第1検出面																				第2検出面																																																							合計					最小個体数
				1地点															2地点					1地点																				3地点																																							
				C-6										D-5					F-12					C-6					D-6										E-7					E-12					E-13					F-12										F-13					H-9・10					I-11										
				SP1					SP67					SP75					SP142					SP48					SP38					SP66					SP31					SP259					SP281					SP271					SP280					SP253					SP374					SP319										
				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	
二枚貝綱	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c																																																																														
		アサジガイ																																																																												
	イタボガキ科	ニセマガキ																																																																													
		シマガキ	Ⅲ-1-a																																	1										1					3																													5	
		ノコギリガキ	Ⅱ-2-a																																																																													
		イタボガキ科不明											1																																																																1	
	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ																																																																													
		イタヤガイ																																																																													
		イタヤガイ科不明																																																																													
	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a																								1																																																				1		1
	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a																																																																													
	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a					1										1																																																													2	
		ウミギク科不明																																																																													
	ザルガイ科	カワラガイ																												1																																																1				1
		リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c																																																																													
		ザルガイ科不明	Ⅱ-2-c																																																																													
	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ																						1																																																							1				1
		マスオガイ	Ⅱ-1-c																																																																													
	シジミ科	シレナシジミ	Ⅱ-1-c																																																																													
		シジミ科不明	Ⅲ-0-c																																																																													
	シャコガイ科	オオシラナミ																																																																														
		シラナミ類	Ⅰ-2-a																																																			1																										1	
		シャゴウ	Ⅰ-3-a																																																																													
		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c																																																																													
		ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-c																																																																													
		オオシャコガイ	Ⅰ-2-a																																																																													
		ナガジャコ																																																																														
		シャコガイ科　不明	Ⅰ-2-a																																																																													
	タマキガイ科	ソメワケグリ																																																																														
	チドリマスオガイ科	イソハマグリ																																																																														
	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-1-c																																																																													
		ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c																																																																														
		ツキガイ	Ⅰ-2-c																																																																														
		カブラツキガイ	Ⅰ-2-c																																																																														
		ツキガイ科不明																																																																														
	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ																																																																															
		リュウキュウシラトリ	Ⅱ-2-c																																							1																					1									1				2	1			3
		アマサギガイ	Ⅱ-1-c																																																																													
		ダイミョウガイ	Ⅱ-2-c																																																																													
		モチズキザラ																																																																														
		ゴイシザラ	Ⅰ-2-c																																																																													
		サメザラ																																																																														
		ヌノメイチョウシラトリ	Ⅰ-2-c																																																																														
		ニッコウガイ	Ⅲ-1-c																																																																														
		ヒラザクラ																																																																														
		ニッコウガイ科不明																																																																															
	バカガイ科	リュウキュウバカガイ																																																																														
		タマキガイ	Ⅱ-2-c																																																																													
	フネガイ科	エガイ	Ⅱ-1-c																					1																											1																												1		1		2
		ハイガイ	Ⅰ-1-a																																																																													
		カリガネエガイ	Ⅱ-1-c																																																																													
		クロミノエガイ	Ⅰ-2-a																																																																													
		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-b																								1																																																				1	
		フネガイ科不明																																																																														
	フナガタガイ科	タカソテモドキ	Ⅱ-2-b																																																																													
		フナガタガイ科不明																																																																														
	マルスダレガイ科	オイノカガミ																																																																														
		アラヌノメガイ	Ⅱ-2-c																																																																													
		ヌノメガイ	Ⅰ-2-b																			1											1																									1																				2				1	2
		アラスジケマンガイ	Ⅱ-2-c	1									1											1					1				1					1																																			1						3				4	3
		ホソスジイナミガイ	Ⅲ-1-c																																			1																																											1					1
		ヒメアサリ	Ⅱ-1-c																																																																														
		チャイロサラサ	Ⅱ-1-c																																																																														
		スダレハマグリ																																																																															
		ヒメリュウキュウアサリ	Ⅱ-1-c																						1																																																								1			1
		ウスカワハマグリ類																																																																														
		オトコシハマグリ																																																																														
		ヤエヤマスダレ																																																																														
		ユウカケハマグリ																																																																														
		ハマグリ類																																																																														
		タイワンシラオ	Ⅱ-2-c																																																																													
		ダテオキシジミ																																																																														
		イオウハマグリ	Ⅲ-1-c																																																																													
		マルスダレガイ科不明														1																																																															1	
	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種	Ⅰ-1-a																																																																													
	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ																																																																															
	二枚貝不明																																																																															
小計				1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	2	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	6	5	2	2	16	15
																																																																											合計	31					

第 70 表　二枚貝類　出土一覧（SP 以外）１

			出土地	第1検出面																																		
				1地点																																		
				C-4～D-5					C-6					D-6					D-7										D-8					D・E-8・9				
				SK1					SK2					SK16					SK8					SK9					SK10					SK13				
番号/綱名/科名/種名/生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片
二枚貝綱	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c																																				
		アサジガイ																																					
	イタボガキ科	ニセマガキ																																					
		シマガキ	Ⅲ-1-a													1																					
		ノコギリガキ	Ⅱ-2-a																																		
		不明																																					
	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ																																					
		イタヤガイ																																					
		不明																									1													
	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a																																		
	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a																																		
	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a																																		
		不明																																					
	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c		1																													1				
		リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c																																		
		不明																																					
	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ	Ⅱ-1-c																														1				1
		マスオガイ	Ⅱ-1-c																																		
	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																																		
		不明																																					
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a																																		
		シラナミ類	Ⅰ-3-a																																		
		シャゴウ	Ⅰ-2-c																																		
		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c																									2		1		5					1
		ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-a																																		
		オオシャコガイ																																					
		ナガジャコガイ	Ⅰ-2-a																																		
		不明																																4					1
	タマキガイ科	ソメワケグリ																																					
	チドリマスオガイ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																																		
	フネガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-2-c	2	2													9	7	1	2		13	13														
		ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c																																		
		ツキガイ	Ⅰ-2-c																																		
		カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																																		
		不明																																					
	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																		
		リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																																		
		アマサギガイ	Ⅱ-2-c																																		
		ダイミョウガイ																																					
		モチヅキザラ	Ⅰ-2-c																																		
		ゴイシザラ																																					
		サメザラ	Ⅰ-2-c																																		
		ヌノメチョウシラトリ	Ⅲ-1-c																																		
		ニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																		
		ヒラザクラ																																					
		不明																																					
	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																		
		タマキガイ	Ⅱ-1-c																																		
	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																																		
		ハイガイ	Ⅱ-1-c																																		
		カリガネエガイ	Ⅰ-2-a																																		
		クロミノエガイ	Ⅱ-2-b																																		
		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-b	1	1																																
		フネガイ科不明																																					
	フナガタガイ科	タカソテモドキ																																					
		不明																																					
	マルスダレガイ科	オイノカガミ	Ⅱ-2-c																																		
		アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b																																		
		ヌノメガイ	Ⅱ-2-c																																		
		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c		2			1	1	1			1						2			1	2											1				
		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c																																		
		ヒメアサリ	Ⅱ-1-c																																		
		チャイロサラサ																																					
		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																																		
		ヒメリュウキュウアサリ						1					1				1																				
		ウスカワハマグリ類																																					
		オトコシハマグリ																																					
		ヤエヤマスダレ																																					
		ユウカケハマグリ	Ⅱ-2-c																																		
		ハマグリ類	Ⅱ-2-c		1																	1															
		タイワンシラオ																																					
		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c	1	1			1																		1													
		イオウハマグリ																																					
		不明																																					
	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種	Ⅰ-1-a																																		
	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ																																					
	二枚貝不明															1																					
小計				4	8	0	0	3	1	1	0	0	2	0	0	0	1	2	9	9	1	2	2	15	14	0	0	1	2	0	1	0	9	3	0	0	0	3

			出土地	第1検出面																																		
				1地点																																		
				E-8																				C・D-5					D-6・7					E-6				
				SK11					SK12					SK19 ﾎﾘｶﾀ					SK19					SS1					SS2					SS2ﾄﾚ1				
番号/綱名/科名/種名/生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片
二枚貝綱	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c																									1									
		アサジガイ																																					
	イタボガキ科	ニセマガキ																																					
		シマガキ	Ⅲ-1-a																															1		1
		ノコギリガキ	Ⅱ-2-a																																		
		不明																																					
	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ																																					
		イタヤガイ																	1																			
		不明																1	1		2	5															
	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a																																		
	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a																																		
	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a																																		
		不明																																					
	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c																						1				1									
		リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c																																		
		不明																																					
	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ	Ⅱ-1-c																1	1																	1
		マスオガイ	Ⅱ-1-c																																		
	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																																		
		不明																																					
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a																																		
		シラナミ類	Ⅰ-3-a																																		
		シャゴウ	Ⅰ-2-c																									1										
		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c																															1					
		ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-a																1													1					
		オオシャコガイ																																					
		ナガジャコガイ	Ⅰ-2-a																																		
		不明																																		1					
	タマキガイ科	ソメワケグリ																																					
	チドリマスオガイ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																																		
	フネガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-2-c		1				1	1					1				51	42	1	3	8	21	23			1		1							
		ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c																																		
		ツキガイ	Ⅰ-2-c																																		
		カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																																		
		不明																																					
	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																		
		リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																																		
		アマサギガイ	Ⅱ-2-c																																		
		ダイミョウガイ																																					
		モチヅキザラ	Ⅰ-2-c																																		
		ゴイシザラ																																					
		サメザラ	Ⅰ-2-c																																		
		ヌノメチョウシラトリ	Ⅲ-1-c																																		
		ニッコウガイ	Ⅱ-2-c																														1						
		ヒラザクラ																																					
		不明																																					
	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																		
		タマキガイ	Ⅱ-1-c																																		
	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																																		
		ハイガイ	Ⅱ-1-c																																		
		カリガネエガイ	Ⅰ-2-a																																		
		クロミノエガイ	Ⅱ-2-b																																		
		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-b																																		
		フネガイ科不明																																					
	フナガタガイ科	タカソテモドキ																																					
		不明																																					
	マルスダレガイ科	オイノカガミ	Ⅱ-2-c																					1	1													
		アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b																																		
		ヌノメガイ	Ⅱ-2-c																1	1						1													
		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c		1					1										2	3		3		2						1		1							
		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c																3	2				1						1									
		ヒメアサリ	Ⅱ-1-c																																		
		チャイロサラサ																	1																			
		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																2	1		1																
		ヒメリュウキュウアサリ																																					
		ウスカワハマグリ類																																					
		オトコシハマグリ																																					
		ヤエヤマスダレ																																					
		ユウカケハマグリ	Ⅱ-2-c																																		
		ハマグリ類	Ⅱ-2-c																	2				1													1
		タイワンシラオ																																					
		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c																					1													
		イオウハマグリ																																					
		不明																																					
	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種	Ⅰ-1-a																																		
	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ																																					
	二枚貝不明																																						1
小計				0	2	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	62	55	1	9	13	27	26	0	1	1	2	3	0	2	3	0	0	1	0	4

			出土地	第1検出面																																		
				1地点																									2地点									
				D-8・9					D・E-8					E7・8					E8・9					C・D-5・6					E-12・13					F-11・12				
				SD1ﾄﾚ1					SD1上面					SE3					SE2					SX5					SK69					SK75				
番号/綱名/科名/種名/生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片
二枚貝綱	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c							1			1																								
		アサジガイ																																					
	イタボガキ科	ニセマガキ												1			1											1										
		シマガキ	Ⅲ-1-a																							2				2										2
		ノコギリガキ	Ⅱ-2-a																																		
		不明																			1																		
	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ																																					
		イタヤガイ											1	1																								
		不明											1																									
	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a																																		
	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a																																		
	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a										1												1	1												
		不明																																					
	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c																			1				1			1									
		リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c																											1									
		不明																																					
	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ	Ⅱ-1-c																							1		1												
		マスオガイ	Ⅱ-1-c																																		
	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																																		
		不明																																					
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a						1																													
		シラナミ類	Ⅰ-3-a																															1					
		シャゴウ	Ⅰ-2-c																																		
		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c						2				1																								
		ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-a																																		
		オオシャコガイ																																					
		ナガジャコガイ	Ⅰ-2-a																																		
		不明							1					4																									
	タマキガイ科	ソメワケグリ																																					
	チドリマスオガイ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																	1																	
	フネガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-2-c		1				18	11														3	2												
		ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c																																		
		ツキガイ	Ⅰ-2-c																																		
		カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																																		
		不明																																					
	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																		
		リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																																		
		アマサギガイ	Ⅱ-2-c													1																					
		ダイミョウガイ																																					
		モチヅキザラ	Ⅰ-2-c																																		
		ゴイシザラ																																					
		サメザラ	Ⅰ-2-c																																		
		ヌノメチョウシラトリ	Ⅲ-1-c																																		
		ニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																		
		ヒラザクラ																																					
		不明																																					
	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																		
		タマキガイ	Ⅱ-1-c																																		
	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																																		
		ハイガイ	Ⅱ-1-c																						1												
		カリガネエガイ	Ⅰ-2-a																																		
		クロミノエガイ	Ⅱ-2-b																																		
		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-b																																		
		フネガイ科不明																																					
	フナガタガイ科	タカソテモドキ																																					
		不明																																					
	マルスダレガイ科	オイノカガミ	Ⅱ-2-c																																		
		アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b																																		
		ヌノメガイ	Ⅱ-2-c										2											1				1										
		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c							1																1												
		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c						3																													
		ヒメアサリ	Ⅱ-1-c																																		
		チャイロサラサ																																					
		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c							1																											
		ヒメリュウキュウアサリ																																1							
		ウスカワハマグリ類																																					
		オトコシハマグリ																																					
		ヤエヤマスダレ																																					
		ユウカケハマグリ	Ⅱ-2-c																																		
		ハマグリ類	Ⅱ-2-c									1																									
		タイワンシラオ																																					
		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c						1																												1	
		イオウハマグリ																																					
		不明																											1									
	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種	Ⅰ-1-a																																		
	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ																																					
	二枚貝不明													1									3					2										
小計				0	1	0	0	1	25	14	0	3	12	0	0	2	0	0	1	1	1	0	3	8	6	1	0	9	0	1	0	1	0	0	0	0	1	2

			出土地	第1検出面																																		
				2地点																																		
				F-12					F-14					F-13					F-13					EF-11					F-11					F-13				
				SK73					SU5					SD5					SE4					SX10					SX10					SX11				
番号/綱名/科名/種名/生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片
二枚貝綱	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c																																		
		アサジガイ																																					
	イタボガキ科	ニセマガキ																																					
		シマガキ	Ⅲ-1-a											2				5				1	1														
		ノコギリガキ	Ⅱ-2-a																																		
		不明											1																									
	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ																																					
		イタヤガイ																																					
		不明																																					
	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a																																		
	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a																																		
	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a																																		
		不明																					1																
	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c																										1					1				
		リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c																																		
		不明																																					
	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ	Ⅱ-1-c											1																						
		マスオガイ	Ⅱ-1-c																																		
	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																															1				
		不明																																					
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a																																		
		シラナミ類	Ⅰ-3-a														1																					
		シャゴウ	Ⅰ-2-c																																		
		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c																										1							
		ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-a															2																			
		オオシャコガイ																																					
		ナガジャコガイ	Ⅰ-2-a																																		
		不明																																					
	タマキガイ科	ソメワケグリ																																					
	チドリマスオガイ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																																		
	フネガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-2-c	1											1				2	1				1					2	2			2					
		ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c																																		
		ツキガイ	Ⅰ-2-c																	1																
		カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																																		
		不明																																					
	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																		
		リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																																		
		アマサギガイ	Ⅱ-2-c																																		
		ダイミョウガイ																																					
		モチヅキザラ	Ⅰ-2-c																																		
		ゴイシザラ																																					
		サメザラ	Ⅰ-2-c																																		
		ヌノメチョウシラトリ	Ⅲ-1-c																																		
		ニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																		
		ヒラザクラ																																					
		不明																																					
	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																		
		タマキガイ	Ⅱ-1-c																																		
	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a						1																													
		ハイガイ	Ⅱ-1-c																															1				
		カリガネエガイ	Ⅰ-2-a																																		
		クロミノエガイ	Ⅱ-2-b																																		
		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-b																																		
		フネガイ科不明																																					
	フナガタガイ科	タカソテモドキ																																					
		不明																																					
	マルスダレガイ科	オイノカガミ	Ⅱ-2-c																																		
		アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b																																		
		ヌノメガイ	Ⅱ-2-c											1				1																			
		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c				1							1				1		1				2				3	2	2	1	1	3	2			
		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c																										1	1							
		ヒメアサリ	Ⅱ-1-c																																		
		チャイロサラサ																																					
		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c											1						1																
		ヒメリュウキュウアサリ																																					
		ウスカワハマグリ類																																					
		オトコシハマグリ																																					
		ヤエヤマスダレ														1		1																			
		ユウカケハマグリ	Ⅱ-2-c																																		
		ハマグリ類	Ⅱ-2-c					1																													
		タイワンシラオ																																					
		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c												1								1															
		イオウハマグリ																																					
		不明																																					
	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種	Ⅰ-1-a																																		
	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ																																					
	二枚貝不明																	2																			
小計				1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	5	4	0	2	10	3	4	1	2	1	1	2	0	0	0	7	6	2	1	3	6	2	0	0	0

第 70 表　二枚貝類　出土一覧（SP 以外）２

第1検出面 3地点

綱	科	種名	生息地	H-9・10					H・I-10・11					I-10・11										I-11・12					I-12					J-12・13					J13									
				SK89 上層					SK88					SK88 上層					SK88 下層					SK87 ﾎﾘｶﾀ					SK87					SK86清掃中					SK86 ﾎﾘｶﾀ					SK86				
番号/綱名/科名/種名/生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片
二枚貝綱	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c																																													
		アサジガイ																											1																			
	イタボガキ科	ニセマガキ																																														
		シマガキ	Ⅲ-1-a																																													
		ノコギリガキ	Ⅱ-2-a										1																																			
		不明																																														
	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ																																														
		イタヤガイ																																														
		不明																																														
	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a																																													
	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a																																													
	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a																					1																								
		不明						1																																								
	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c							1																		1																				
		リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c							1																																						
		不明																																														
	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ	Ⅱ-1-c																																													
		マスオガイ	Ⅱ-1-c																																													
	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																																								1					
		不明																																														
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a																																													
		シラナミ類	Ⅰ-3-a				1																																									
		シャゴウ	Ⅰ-2-c																																													
		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c		2																																											
		ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-a																																													
		オオシャコガイ																																														
		ナガジャコガイ	Ⅰ-2-a																																													
		不明																																														
	タマキガイ科	ソメワケグリ																																														
	チドリマスオガイ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																																													
	フネガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-2-c	2	2			1	54	56	1		8	23	26			3	4	3									1	1					1									6	6	4	1	1
		ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c																																													
		ツキガイ	Ⅰ-2-c																																													
		カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																																													
		不明																																														
	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																													
		リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																											1																		
		アマサギガイ	Ⅱ-2-c																																													
		ダイミョウガイ																																														
		モチヅキザラ	Ⅰ-2-c																																													
		ゴイシザラ																																														
		サメザラ	Ⅰ-2-c																												1																	
		ヌノメチョウシラトリ	Ⅲ-1-c																																					1								
		ニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																													
		ヒラザクラ																																														
		不明																																														
	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																													
		タマキガイ	Ⅱ-1-c																																													
	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																																													
		ハイガイ	Ⅱ-1-c																																													
		カリガネエガイ	Ⅰ-2-a																																													
		クロミノエガイ	Ⅱ-2-b																																													
		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-b																																													
		フネガイ科不明																																														
	フナガタガイ科	タカソテモドキ																																														
		不明																																														
	マルスダレガイ科	オイノカガミ	Ⅱ-2-c							1					1																														1			
		アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b																1																													
		ヌノメガイ	Ⅱ-2-c						1				1											1			1											1										
		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c					1																2	1				1	1					2				1					2	1			
		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c							1															1										1													
		ヒメアサリ	Ⅱ-1-c																																													
		チャイロサラサ																																														
		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																																						1							
		ヒメリュウキュウアサリ																																														
		ウスカワハマグリ類																																														
		オトコシハマグリ																																														
		ヤエヤマスダレ								1																																						
		ユウカケハマグリ	Ⅱ-2-c																																													
		ハマグリ類	Ⅱ-2-c							1				1																																		
		タイワンシラオ																																														
		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c						1																				1																			
		イオウハマグリ																																														
		不明																																														
	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種	Ⅰ-1-a																																													
	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ																																														
	二枚貝不明																																1															
小計				2	4	0	1	3	56	62	1	0	10	24	27	0	0	3	5	3	0	0	0	4	2	0	1	1	4	3	1	0	1	0	4	0	0	1	2	1	0	0	1	8	8	4	1	1

第2検出面 1地点

綱	科	種名	生息地	D-8・9					C-4					C・D-5～8					D-7					E-8					D-5					D-6				
				SK58					SS4					SS3					SU2					SU3					SD2					SD4				
番号/綱名/科名/種名/生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片
二枚貝綱	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c																																			
		アサジガイ																																				
	イタボガキ科	ニセマガキ												1				1																				
		シマガキ	Ⅲ-1-a			1		1						1		1	1	6											1					1				
		ノコギリガキ	Ⅱ-2-a																																			
		不明																2																1	1			1
	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ																1																				
		イタヤガイ																																				
		不明																																				
	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a																																			
	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a																																			
	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a															1																				1
		不明																																				
	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c													1												1										
		リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c																																			
		不明																																				
	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ	Ⅱ-1-c																										1									
		マスオガイ	Ⅱ-1-c																																			
	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																																			
		不明																																				
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a											1				1																				
		シラナミ類	Ⅰ-3-a																						1			1										
		シャゴウ	Ⅰ-2-c																																			
		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c															1																				
		ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-a																																			
		オオシャコガイ																																				
		ナガジャコガイ	Ⅰ-2-a																																			
		不明																																				
	タマキガイ科	ソメワケグリ																																				
	チドリマスオガイ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																																			
	フネガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-2-c																																			
		ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c																																			
		ツキガイ	Ⅰ-2-c																																			
		カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																																			
		不明																																				
	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																			
		リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																															1				
		アマサギガイ	Ⅱ-2-c											1	1																		1		1			
		ダイミョウガイ																																				
		モチヅキザラ	Ⅰ-2-c																																			
		ゴイシザラ																																				
		サメザラ	Ⅰ-2-c																																			
		ヌノメチョウシラトリ	Ⅲ-1-c																																			
		ニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																			
		ヒラザクラ																																				
		不明																																				
	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																			
		タマキガイ	Ⅱ-1-c																																			
	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																																			
		ハイガイ	Ⅱ-1-c																																			
		カリガネエガイ	Ⅰ-2-a											1																								
		クロミノエガイ	Ⅱ-2-b																																			
		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-b																															1	1			
		フネガイ科不明																																				
	フナガタガイ科	タカソテモドキ																																				
		不明																																				
	マルスダレガイ科	オイノカガミ	Ⅱ-2-c												2																							
		アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b																																			
		ヌノメガイ	Ⅱ-2-c															2					1												1			
		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c							1					3	1																						
		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c											3	1																			1				
		ヒメアサリ	Ⅱ-1-c																																			
		チャイロサラサ																																				
		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																																			
		ヒメリュウキュウアサリ							1									1													1			1				1
		ウスカワハマグリ類																																				
		オトコシハマグリ																																				
		ヤエヤマスダレ																																				
		ユウカケハマグリ	Ⅱ-2-c																						1													
		ハマグリ類	Ⅱ-2-c																																			
		タイワンシラオ																																				
		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c																									1										
		イオウハマグリ																																1				
		不明																																				
	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種	Ⅰ-1-a																																			
	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ																																				
	二枚貝不明																	2					1															
小計				0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	8	7	3	1	18	0	0	0	0	2	0	2	0	0	3	2	0	1	0	1	7	4	0	0	3

第2検出面 2地点

綱	科	種名	生息地	E・F-12					F-11					E-11					E・F-11					G-14					E・F-13・14					E-14					EF-13					F-13					F-13・14					F-14					F・G-13・14				
				SK81					SK83					SU7					SU8					SU9					SX14					SX12					SX15					SX16					SX13下層					SX12					SX13				
番号/綱名/科名/種名/生息地				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片
二枚貝綱	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c							1																																																					
		アサジガイ																																																													
	イタボガキ科	ニセマガキ					1																																																						1	
		シマガキ	Ⅲ-1-a					2					3																				19					2						1					1		1		7	2		2	1	1	4				7
		ノコギリガキ	Ⅱ-2-a																																																												
		不明																																																				1										
	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ																																																													
		イタヤガイ																																																													
		不明																																																													1
	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a																																																												
	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a																																																												
	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a								1																		2	2			2											1		1								1									
		不明																																																													
	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c																																1					1				1					1	1		1							1				
		リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c		1																									1																			3	2		1	1		1				7	3			
		不明																																																													
	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ	Ⅱ-1-c																										2		1		3																		1			1					1				
		マスオガイ	Ⅱ-1-c																																																												
	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																																														6	10	4	4							4	8	7	4	4
		不明																																																													
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a																														1																				1										
		シラナミ類	Ⅰ-3-a							1																																											1							1			
		シャゴウ	Ⅰ-2-c																																																												
		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c																										1																			1															
		ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-a																			1							1		1	1																					1						1				
		オオシャコガイ																																																													
		ナガジャコガイ	Ⅰ-2-a																																																													
		不明																																																								1					
	タマキガイ科	ソメワケグリ																																																													
	チドリマスオガイ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																										1																																		
	フネガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-2-c	13	13	3	3	2				1																																																			
		ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c																																																												
		ツキガイ	Ⅰ-2-c																																																												
		カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																											1																																	
		不明																																																													
	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																																												
		リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																										2	2									1													1	1										
		アマサギガイ	Ⅱ-2-c																																																												
		ダイミョウガイ																																																													
		モチヅキザラ	Ⅰ-2-c																																																												
		ゴイシザラ																																																													
		サメザラ	Ⅰ-2-c																														1																														
		ヌノメチョウシラトリ	Ⅲ-1-c																																																												
		ニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																																												
		ヒラザクラ																																																													
		不明																																																													
	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																																												
		タマキガイ	Ⅱ-1-c																																																												
	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a							1										1									2	1																			1											1			
		ハイガイ	Ⅱ-1-c																																																												
		カリガネエガイ	Ⅰ-2-a																																																												
		クロミノエガイ	Ⅱ-2-b																																																												
		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-b																										1					1	1														1	1										1			1
		フネガイ科不明																																																													
	フナガタガイ科	タカソテモドキ																																																													
		不明																																																													
	マルスダレガイ科	オイノカガミ	Ⅱ-2-c																																																												
		アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b																																																										1			
		ヌノメガイ	Ⅱ-2-c																				3						3	1		1	6	1				1						2	1					1			5						2	1			1
		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c	1																				62	57	18	17	47	1	5	1								1	1				1					98	96		2	1						255	275		2	2
		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c																	1				1	2					1															1					1	1				1					2			
		ヒメアサリ	Ⅱ-1-c																																																												
		チャイロサラサ																																															4	2									1	1			
		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c							1																			1															2					1														
		ヒメリュウキュウアサリ																																																1									2				
		ウスカワハマグリ類																												1																																	
		オトコシハマグリ																																																													
		ヤエヤマスダレ																																																													
		ユウカケハマグリ	Ⅱ-2-c												1									1	1					1																			6	7		1	2						18	17	4	3	6
		ハマグリ類	Ⅱ-2-c																											1																			3		2	2	3						2	2	3	1	3
		タイワンシラオ																																																													
		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c																									1																1												1				2			
		イオウハマグリ																																																													
		不明																																																													1
	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種	Ⅰ-1-a																																																												
	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ																																																													
	二枚貝不明																					1																													3										
小計				14	14	3	4	4	0	4	1	1	3	0	1	0	0	0	0	2	0	1	4	64	60	18	17	48	17	17	3	2	32	2	2	0	0	3	2	2	0	0	0	9	2	1	0	1	125	122	9	12	27	4	2	3	1	2	298	315	14	11	26

第 70 表　二枚貝類　出土一覧（SP 以外）3

番号/綱名/科名/種名/生息地			出土地	第2検出面																																																													第3検出面					合計					最小個体数
				3地点																																																												1地点										
				G-8					G・H6・7					G6・H7					H-7															H-10					I-10										HI-9					HI-11					I-10					I-11					C・D-4・5										
				SK102					SK90					SK91					SK92					SK93					SK95					SK131					SK118					SK133					SL1					SX25					SX27					SX26					SS5										
				完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	
二枚貝綱	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c																																																																							1	2	0	0	1	3
		アサジガイ																																																																								1	0	0	0	0	1
	イタボガキ科	ニセマガキ																																			1																																			1	1	1	2	3	5
		シマガキ	Ⅲ-1-a						2	1			1																												1																																1	1		7	17	3	7	3	68	30
		ノコギリガキ	Ⅱ-2-a																																																																								0	0	0	0	1	0
		不明																																																																								1	2	0	0	5	3
	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ																																																																	1					1	0	0	0	1	1
		イタヤガイ																																																																									0	1	0	1	1	2
		不明																																																																								1	1	0	3	7	5
	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a																												1	1																																												0	0	1	1	0	2
	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a																																																							1														0	1	0	0	0	1
	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a																																																				1																	6	3	2	0	6	11
		不明																																																																								0	1	0	0	1	1
	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c								1																													1		1							2										1										1					11	8	3	2	3	24
		リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c																											1																																														10	10	0	1	2	21
		不明																																																																								0	0	0	0	0	0
	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ	Ⅱ-1-c																										1						1				1	1			1															1																	11	3	3	0	7	17
		マスオガイ	Ⅱ-1-c																																																																							0	0	0	0	0	0
	シジミ科	シレナシジミ	Ⅲ-0-c																																																																							11	18	11	8	5	48
		不明																																																																								0	0	0	0	0	0
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a																																																																						2	0	0	0	3	2
		シラナミ類	Ⅰ-3-a																																																																							0	3	0	3	2	6
		シャゴウ	Ⅰ-2-c																																																																							0	0	0	1	0	1
		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c										1																					1																																										6	3	1	0	11	10
		ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-a																																																																							3	0	1	2	4	6
		オオシャコガイ																																	1																				1																			0	2	0	0	0	2
		ナガジャコガイ	Ⅰ-2-a																																																																							0	0	0	0	0	0
		不明																																																					1																	0	0	0	0	13	0
	タマキガイ科	ソメワケグリ																																																																								0	0	0	0	0	0
	チドリマスオガイ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c																																																																							2	0	0	0	0	2
	フネガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-2-c											2																										1	2														1			1		13	10				1											245	229	10	11	26	495
		ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c																																																																							0	0	0	0	0	0
		ツキガイ	Ⅰ-2-c																																																																							0	1	0	0	0	1
		カブラツキガイ	Ⅱ-2-c																																																																							0	1	0	0	0	1
		不明																																																																								0	0	0	0	0	0
	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																																																							0	0	0	0	0	0
		リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																							1		1	2	2											1																1						1																	6	8	1	1	2	16
		アマサギガイ	Ⅱ-2-c																													1																																							1	1			2	3	2	0	1	7
		ダイミョウガイ																																																																								0	0	0	0	0	0
		モチヅキザラ	Ⅰ-2-c																																																																							0	0	0	0	0	0
		ゴイシザラ																																																																								0	0	0	0	0	0
		サメザラ	Ⅰ-2-c																										1																																																	1	0	1	0	1	2
		ヌノメチョウシラトリ	Ⅲ-1-c																																																																							1	0	0	0	0	1
		ニッコウガイ	Ⅱ-2-c																																																													1						1				0	2	0	1	0	3
		ヒラザクラ																																																																			1				0	1	0	0	0	1
		不明																																																																								0	0	0	0	0	0
	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c																																																																							0	0	0	0	0	0
		タマキガイ	Ⅱ-1-c																																																																			1				0	1	0	0	0	1
	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																											1									1																																							5	5	0	0	0	10
		ハイガイ	Ⅱ-1-c																																																																								1	1	0	0	0	2
		カリガネエガイ	Ⅰ-2-a																																																																							1	0	0	0	0	1
		クロミノエガイ	Ⅱ-2-b																																																																							0	0	0	0	0	0
		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-b																						1																																																			5	6	0	0	1	11
		フネガイ科不明																																																																								0	0	0	0	0	0
	フナガタガイ科	タカソテモドキ																																																																									0	0	0	0	0	0
		不明																																																																									0	0	0	0	0	0
	マルスダレガイ科	オイノカガミ	Ⅱ-2-c																																																	1	1				1									1					2	8	1	0	0	11
		アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b																																																						1															2	1	0	0	0	3
		ヌノメガイ	Ⅱ-2-c																																						1	1	1															2															16	8	0	2	26	26
		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c		1															1				1	1				4	2				1					2	4									3	1		1			1				1															452	474	23	28	55	977
		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c						1	1																														1					1																														15	19	1	0	0	35
		ヒメアサリ	Ⅱ-1-c																						1																												1	1																			1	2	0	0	0	3
		チャイロサラサ																																																																					1		5	4	0	1	0	10
		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c																																		1																																							8	5	0	1	0	14
		ヒメリュウキュウアサリ																																						1																1											3	1	1	2	1	7	3	2	4	6	16
		ウスカワハマグリ類																																																																									0	1	0	0	0	1
		オトコシハマグリ																																																																									0	0	0	0	0	0
		ヤエヤマスダレ																																																																									0	2	0	1	0	3
		ユウカケハマグリ	Ⅱ-2-c																				1																																1		1															27	28	4	5	8	64
		ハマグリ類	Ⅱ-2-c																																								1						1			1																					9	7	6	4	9	26
		タイワンシラオ																																																																									0	0	0	0	0	0
		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c																														1					1		1	1												1																			6	8	1	3	4	18
		イオウハマグリ																																																							1														1	1	0	0	0	2
		不明																																																																									0	0	0	0	2	0
	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種	Ⅰ-1-a																																																																							0	0	0	0	0	0
	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ																																																																								0	0	0	0	0	0
	二枚貝不明																									1																																																	0	0	0	0	19	0
小計				0	1	0	0	0	3	2	1	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3	1	0	2	8	6	1	1	0	3	3	0	0	0	6	13	0	3	3	3	1	0	0	0	5	1	1	1	0	3	6	1	2	4	19	14	0	0	0	1	1	0	0	0	6	6	3	3	8	903	891	82	89	304	1,965
																																																																									合計	2,269					

第 71 表　巻貝類・二枚貝類　出土一覧（撹乱層）

番号/綱名/科名/種名/生息地			出土地	カクラン 完形	カクラン 殻頂	カクラン 破片	合計 完形	合計 殻頂	合計 破片	最少個体数
腹足綱	ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a	4		5	4		5	4
		ムラサキウズ	Ⅰ-3-a	1	1	1	1	1	1	2
		ギンタカハマ	Ⅰ-4-a	1		1	1		1	1
		オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b							
		コシダカギンタカハマ	Ⅰ-4-a		1			1		1
		オオウラウズ								
		不明	－			1			1	
	リュウテン科	チョウセンサザエ蓋	Ⅰ-3-a	16		1	16		1	16
		カンギク	Ⅱ-1-b	12	2		12	2		14
		カンギク蓋	Ⅱ-1-b	1			1			1
		コシダカサザエ	Ⅰ-2-a			1			1	
		不明	－			3			3	
	アマオブネガイ科	コシダカアマガイ		2			2			2
		リュウキュウアマガイ	Ⅰ-0-a							
		マルアマオブネ	Ⅱ-1-b	1			1			1
		アマオブネガイ	Ⅰ-1-b	2			2			2
		ニシキアマオブネ	Ⅰ-1-c							
		アラスジアマオブネ								
		マングローブアマガイ								
		不明	－			2			2	
	ムシロガイ科	イボヨフバイ								
	エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1-b							
	ヤツシロガイ科	ウズラガイ	Ⅰ-2-c							
		トキワガイ								
	オニノツノガイ科	イワカニモリ								
		ヒメクワカニモリ								
		カヤノミカニモリ	Ⅰ-1-b	2			2			2
		クワノミカニモリ	Ⅰ-1-b	4			4			4
		コゲノツノブエ								
		オニノツノガイ	Ⅰ-2-c	1			1			1
		ミツカドカニモリ								
		不明	－							
	イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-b	5		2	5		2	5
		ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-a							
		チトセボラ								
		ツノマタモドキ	Ⅰ-3-a							
		不明	－			1			1	
	フデガイ科	イモフデガイ	Ⅰ-1-b	1			1			1
		チリメンイモフデガイ								
		コシマヤタテ								
	ウミニナ科	イボシマウミニナ		1		1	1		1	1
		イボウミニナ	Ⅲ-1-c	31			31			31
		リュウキュウウミニナ	Ⅱ-1-c	26			26			26
	ゴマフニナ科	ゴマフニナ	Ⅰ-0-a							
	タマガイ科	トミガイ	Ⅰ-2-c							
		リスガイ	Ⅰ-2-c							
		ホウシュノタマ	Ⅱ-1-c	1			1			1
		トラダマガイ		1			1			1
		不明	－		1			1		1
	フトヘナタリ科	センニンガイ	Ⅲ-0-c		6	4		6	4	6
		キバウミニナ	Ⅲ-1-c							
		マドモチウミニナ	Ⅲ-1-c							
		フトヘナタリ	Ⅲ-0-d	5		1	5		1	5
		ヘナタリ								
		カワアイ	Ⅲ-1-c	3			3			3
	ソデボラ科	オハグロガイ	Ⅱ-2-c	2			2			2
		ムカシタモト								
		クモガイ			2	6		2	6	2
		クモガイ（幼貝）								
		ネジマガキ								
		マガキガイ	Ⅰ-2-c	12	6	1	12	6	1	18
		マイノソデガイ								
		不明	－		1	2		1	2	1
	ツクシガイ科	ミノムシ								
	タカラガイ科	ヒメホシダカラ	Ⅰ-2-b	1			1			1
		コモンダカラ	Ⅰ-2-b	3	1	1	3	1	1	4
		ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a	9	2	1	9	2	1	11
		ハナマルユキダカラ	Ⅰ-3-a	8	3	1	8	3	1	11
		ホソヤクシマダカラ	Ⅱ-2-a							
		ホシダカラ	Ⅰ-2-c		1	1		1	1	1
		キイロダカラ	Ⅰ-1-a	2			2			2
		ヤクシマダカラ	Ⅰ-2-a			4			4	
		ホシキヌタ	Ⅰ-2-a							
		クチムラサキダカラ								
		ヤナギシボリダカラ	Ⅰ-2-b	1			1			1
		ジャノメダカラ		1			1			1
		ヒロクチダカラ								
		不明	－		1	3		1	3	1
	オキニシ科	シロナルトボラ	Ⅰ-4-a							
		オキニシ	Ⅰ-3-a	1			1			1
	フジツガイ科	ホラガイ	Ⅰ-4-a			2			2	
		シロシノマキ								
		シノマキガイ	Ⅰ-4-a							
	アッキガイ科	ツノレイシ	Ⅰ-3-a	1	1	2	1	1	2	2
		ムラサキイガレイシ	Ⅰ-3-a							
		シラクモガイ	Ⅰ-3-a	2			2			2
		コイワニシ	Ⅱ-1-a							
		不明	－							
	イモガイ科	サラサミナシ	Ⅰ-4-b	1			1			1
		ヤキイモガイ	Ⅰ-2-c							
		サヤガタイモ	Ⅰ-1-a	1			1			1
		アジロイモ	Ⅱ-2-c	1			1			1
		クロフモドキ	Ⅰ-2-c							
		ヤナギシボリイモ	Ⅰ-3-a	2			2			2
		マダライモガイ	Ⅰ-1-a	1			1			1
		ナガシマイモガイ								
		ナンヨウクロミナシ	Ⅱ-2-c							
		サラサミナシモドキ	Ⅰ-4-b							
		タガヤサンミナシ	Ⅰ-2-c							
		ユキゲイモ								
		イボシマイモ	Ⅰ-2-a							
		キヌカツギイモ	Ⅰ-2-a	2			2			2
		シロアンボイナ								
		アンボンクロザメ	Ⅰ-2-c		1			1		1
		ナツメイモ		1			1			1
		不明	－	3	3	4	3	3	4	6
	オニコブシ科	コオニコブシ	Ⅰ-3-a	1	1		1	1		2
	ナツメガイ科	ナツメガイ	Ⅰ-2-c							
	タケノコガイ科	タケノコガイ	Ⅰ-2-c			1			1	
	マクラガイ科	サツマビナ	Ⅰ-2-c	1			1			1
	アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ	v-9	3			3			3
	オナジマイマイ科	パンダナマイマイ	v-8							
		オキナワウスカワマイマイ	v-8							
		不明	－							
	ユキノカサガイ科	リゅウキュウウノアシ	Ⅰ-1-a							
	ミミガイ科	ミミガイ	Ⅰ-3-a							
		イボアナゴ	Ⅰ-2-a							
	スズメガイ科	アツキクスズミ								
	ナガウニ科	バイブウニ	Ⅰ-3-a							
	巻貝不明		―		1	11		1	11	1
小計				181	35	64	181	35	64	216
						合計		280		

番号/綱名/科名/種名/生息地			出土地	カクラン 完形L	カクラン 完形R	カクラン 殻頂L	カクラン 殻頂R	カクラン 破片	合計 完形L	合計 完形R	合計 殻頂L	合計 殻頂R	合計 破片	最少個体数
二枚貝綱	アサジガイ科	サメザラモドキ	Ⅱ-1-c	1				1	1				1	1
		アサジガイ												
	イタボガキ科	ニセマガキ				1					1			1
		シマガキ	Ⅲ-1-a	1	1	1	1	5	1	1	1	1	5	4
		ノコギリガキ	Ⅱ-2-a											
		イタボガキ科不明												
	イタヤガイ科	シャゴウガイ												
		リュウキュウナデシコ												
		イタヤガイ												
		イタヤガイ科不明												
	ウグイスガイ科	ミドリアオリガイ	Ⅰ-1-a	1					1					1
	イガイ科	リュウキュウヒバリ	Ⅰ-1-a											
	ウミギク科	メンガイ類	Ⅰ-2-a	1	4	1		3	1	4	1		3	6
		ウミギク科不明			1					1				1
	ザルガイ科	カワラガイ	Ⅱ-2-c	10	2	3		5	10	2	3		5	15
		リュウキュウザルガイ	Ⅱ-2-c	3	1				3	1				4
		ザルガイ科不明												
	シオサザナミガイ科	リュウキュウマスオガイ	Ⅱ-1-c	2	1		1		2	1		1		4
		マスオガイ	Ⅱ-1-c											
	シジミ科	シレチシジミ	Ⅲ-0-c		2					2				2
		シジミ科不明												
	シャコガイ科	オオシラナミ	Ⅰ-2-a											
		シラナミ類	Ⅰ-3-a											
		シャゴウ	Ⅰ-2-c											
		ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c					1					1	
		ヒメジャコガイ	Ⅰ-2-a	1	1		1	4	1	1		1	4	3
		オオシャコガイ												
		ナガジャコ	Ⅰ-2-a											
		シャコガイ科　不明					1	3				1	3	1
	タマキガイ科	ソメワケゲリ			1					1				1
	チドリマスオガイ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c	1					1					1
	ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅰ-2-c	114	97	1	4	1	114	97	1	4	1	216
		ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c	2					2					2
		ツキガイ	Ⅰ-2-c	1					1					1
		カブラツキガイ	Ⅱ-2-c											
		ツキガイ科不明												
	ニッコウガイ科	ヒメニッコウガイ	Ⅱ-2-c											
		リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c		4		1	1		4		1	1	5
		アマサギガイ	Ⅱ-2-c	1				1	1				1	1
		ダイミョウガイ												
		モチズキザラ	Ⅰ-2-c					1					1	
		ゴイシザラ												
		サメザラ	Ⅰ-2-c		2			2		2			2	2
		ヌノメイチョウシラトリ	Ⅲ-1-c											
		ニッコウガイ	Ⅱ-2-c		1					1				1
		ヒラザクラ												
		ニッコウガイ科不明						1					1	
	バカガイ科	リュウキュウバカガイ	Ⅱ-2-c		1			1		1			1	1
		タマキガイ	Ⅱ-1-c											
	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a											
		ハイガイ	Ⅱ-1-c	1					1					1
		カリガネエガイ	Ⅰ-2-a		1					1				1
		クロミノエガイ	Ⅱ-2-b											
		リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-b	1	1				1	1				2
	フナガタガイ科	タカソテモドキ												
		フナガタガイ科不明												
	マルスダレガイ科	オイノカガミ	Ⅱ-2-c	1	4				1	4				5
		アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b					1					1	
		ヌノメガイ	Ⅱ-2-c	7	5		1	4	7	5		1	4	13
		アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c	10	9		2	5	10	9		2	5	21
		ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c	2	6		1	1	2	6		1	1	9
		ヒメアサリ	Ⅱ-1-c	1					1					1
		チャイロサラサ												
		スダレハマグリ	Ⅱ-1-c	2	1				2	1				3
		ヒメリュウキュアサリ												
		ウスカワハマグリ類												
		オトコシハマグリ												
		ヤエヤマスダレ												
		ユウカケハマグリ	Ⅱ-2-c	1	1		1		1	1		1		3
		ハマグリ類	Ⅱ-2-c		6			2		6			2	6
		タイワンシラオ												
		ダテオキシジミ	Ⅲ-1-c	3	6	1		1	3	6	1		1	10
		イオウマグリ												
		マルスダレガイ科不明												
	シュモクアオリ科	カイシアオリの一種	Ⅰ-1-a											
	トマヤガイ科	クロフトマヤガイ												
	二枚貝不明							11					11	
小計				167	159	8	14	54	167	159	8	14	54	348
							合計			402				

第 72 表　東村跡出土の巻貝類一覧

番号	和名	学名	生息地
	ニシキウズガイ科	Trochidae	
1	サラサバテイ	*Trochus(Rochia)niloticus*	Ⅰ-4-a
2	ニシキウズ	*Trochus(Trochus)maculatus*	Ⅰ-2-a
3	ムラサキウズ	*Trochus(Trochus)stellatus*	Ⅰ-3-a
4	ギンタカハマ	*Trochus(Trochus)pyramis*	Ⅰ-4-a
5	オキナワイシダタミ	*Mondonta labio*	Ⅱ-1-b
6	コシダカギンタカハマ	*Trochus(Tectus)triserialis*	Ⅰ-4-a
7	オオウラウズ	*Astralium rhodostomum*	Ⅰ-2-a
8	ニシキウズガイ科不明		
	リュウテン科	Turbinidae	
9	ヤコウガイ	*Turbo(Lunatia)marmoratus*	Ⅰ-4-a
10	ヤコウガイ蓋		Ⅰ-4-a
11	チョウセンサザエ	*Turbo(Marma.)angyrostomus*	Ⅰ-3-a
12	チョウセンサザエ蓋		Ⅰ-3-a
13	カンギク	*Lunella moniliformis*	Ⅱ-1-b
14	カンギク蓋		Ⅱ-1-b
15	コシダカサザエ	*Turbo(Marma.)stenogyrum*	Ⅰ-2-a
16	リュウテン科不明		
	アマオブネガイ科	Neritidae	
17	コシダカアマガイ	*Nerita undata*	
18	リュウキュウアマガイ	*Nerita(Ritena)insculpta*	Ⅰ-0-a
19	マルアマオブネ	*Nerita(Thelyostyla)squamulata*	Ⅱ-1-b
20	アマオブネガイ	*Nerita(Thelyostyla)albicilla*	Ⅰ-1-b
21	ニシキアマオブネ	*Nerita(Ampninerita)polita*	Ⅰ-1-c
22	アラスジアマオブネ	*Nerita undata*	
23	マングローブアマガイ	*Nerita undulata*	
24	アマオブネガイ科不明		
	ムシロガイ科	Nassariidae	
25	イボヨフバイ	*Nassarius coronatus*	
	エゾバイ科	Buccinidae	
26	シマベッコウバイ	*Japeuthria cingulata*	Ⅱ-1-b
	ヤツシロガイ科	Tonnidae	
27	ウズラガイ	*Tonna perdax*	Ⅰ-2-c
28	トキワガイ		
	オニノツノガイ科	Cerithiidae	
29	イワカニモリ	*Clypeomorus batillariaeformis*	Ⅰ-1-a
30	ヒメクワノミカニモリ	*Cerithium zonatum*	
31	カヤノミカニモリ	*Clypeomorus bifasciata*	Ⅰ-1-b
32	クワノミカニモリ	*Clypeomorus chemnitziana*	Ⅰ-1-b
33	コゲノツノブエ		Ⅲ-1-c
34	オニノツノガイ	*Cerithium(cerithium)modulosum*	Ⅰ-2-c
35	ミツカドカニモリ		
36	オニノツノガイ科不明		
	イトマキボラ科	Fasciolariidae	
37	イトマキボラ	*Pleuroploca trapezium*	Ⅰ-2-b
38	ナガイトマキボラ	*Pleuroploca filamentosa*	Ⅰ-2-a
39	チトセボラ	*Fusinus nicobaricus*	Ⅰ-2-c
40	ツノマタモドキ	*Latirus belcheri*	Ⅰ-3-a
41	イトマキボラ科不明		
	フデガイ科	Mitridea	
42	イモフデガイ	*Pterygia dactylus*	Ⅰ-1-b
43	チリメンイモフデガイ		
44	コシマヤタテ		
	ウミニナ科	Batillariidae	
46	イボシマウミニナ		
47	イボウミニナ	*Batillaria zonalis*	Ⅲ-1-c
48	リュウキュウウミニナ	*Batillaria flectosiphonata*	Ⅲ-1-c
	ゴマフニナ科	Planaxidae	
49	ゴマフニナ	*Planaxis sulcatus*	Ⅰ-0-a
	タマガイ科	Naticidae	
51	トミガイ	*Polinices tumidus*	Ⅰ-2-c
52	リスガイ	*Mammilla melanostoma*	Ⅰ-2-c
53	ホウシュノタマガイ	*Notochochlis gualtieriana*	Ⅱ-1-c
54	トラダマガイ		
55	タマガイ科不明		
	フトヘナタリ科	Potamididae	
56	センニンガイ	*Telescopium telescopium*	Ⅲ-0-c
57	キバウミニナ	*Terebralia parstris*	Ⅲ-1-c
58	マドモチウミニナ	*Terebralia sulcata*	Ⅲ-1-c
59	フトヘナタリ	*Cerithidea(cerithidea)moerchii*	Ⅲ-0-d
60	ヘナタリ		
61	カワアイ	*Cerithidea(Cer.)djadjariensis*	Ⅲ-1-c
	ソデボラ科		
62	オハグロガイ	*Strombus luhuanus*	Ⅰ-0-a
63	ムカシタモト		
64	クモガイ		Ⅰ-2-c
65	ネジマガキ	*Strombus gibberulus gibbosus*	Ⅱ-1-c
66	マガキガイ	*Strombus luhuanus*	Ⅰ-2-c
67	マイノソデガイ		
68	ソデボラ科不明		
	ツクシガイ科		
69	ミノムシ	*Vexilum balteolatum*	Ⅱ-2-c
	タカラガイ科	Cypraeidae	
70	ヒメホシダカラ	*Cypraea(Lyncina)lynx*	Ⅰ-2-b
71	コモンダカラ	*Cypraea(Erosaria)erosa*	Ⅰ-2-b
72	ハナビラダカラ	*Cypraea(Monetaria)annulus*	Ⅰ-1-a
73	ハナマルユキダカラ	*Cypraea(Rav.)caputserupentis*	Ⅰ-3-a
74	ホソヤクシマダカラ	*Cypraea(Arabica)eglantina*	Ⅱ-2-a
75	ホシダカラ	*Cypraea(s.s)tigris*	Ⅰ-2-c
76	キイロダカラ	*Cypraea(Monetaria)moneta*	Ⅰ-1-a
77	ヤクシマダカラ	*Cypraea(Arabica)arabica*	Ⅰ-2-a
78	ホシキヌタ	*Cypraea(Mystaponda)vitellus*	Ⅰ-2-a
79	クチムラサキダカラ		
80	ヤナギシボリダカラ	*Cypraea(Luria)isabella*	Ⅰ-2-b
81	ジャノメダカラ		
82	ヒロクチダカラ		
83	タカラガイ科不明		
	オキニシ科	Bursidae	
84	シロナルトボラ	*Tutufa bufo*	Ⅰ-4-a
85	オキニシ	*Bursa(s.s)bufonis dunkeri*	Ⅰ-3-a
	フジツガイ科	Ranellidae	
86	ホラガイ	*Charonia tritonis*	Ⅰ-4-a
87	シロシノマキ		
88	シノマキガイ	*Cymatium(Monoplex)pileare*	Ⅰ-4-a
	アッキガイ科	Muricidae	
90	ツノレイシ	*Mancinella tuberosa*	Ⅰ-3-a
91	ムラサキイガレイシ	*Drupa(s.s)morum*	Ⅰ-3-a
92	シラクモガイ	*Thais(Stramonita)armigera*	Ⅰ-3-a
93	コイワニシ	*Thais(Semiricinula)Squamosa*	Ⅱ-1-a
94	アッキガイ科不明		
	イモガイ科	Conidae	
95	サラサミナシ	*Conus(Rhizoconus)Capitaneus*	Ⅰ-4-b
96	ヤキイモガイ	*Conus(Pinoconus)magus*	Ⅰ-2-c
97	サヤガタイモ	*Conus(Virroconus)fulgetrum*	Ⅰ-1-a
98	アジロイモ	*Conus(Darioconus)pennaceus*	Ⅱ-2-c
99	クロフモドキ	*Conus(Lithoconus)leopardas*	Ⅰ-2-c
100	ヤナギシボリイモ	*Conus(Rhizoconus)miles*	Ⅰ-3-a
101	マダライモガイ	*Conus(Virroconus)ebraeus*	Ⅰ-1-a
102	ナガシマイモガイ		
103	ナンヨウクロミナシ	*Conus(s.s)marmoreus*	Ⅱ-2-c
104	サラサミナシモドキ		Ⅰ-4-b
105	タガヤサンミナシ	*Conus(Darioconus)textile*	Ⅰ-2-c
106	ユキゲイモ		
107	イボシマイモ	*Conus(Virgiconus)lividus*	Ⅰ-2-a
108	キヌカツギイモ	*Conus(Virgiconus)flavidus*	Ⅰ-2-a
109	シロアンボイナ		
110	アンボンクロザメ	*Conus(Lithoconus)litteratus*	Ⅰ-2-c
111	ナツメイモ		
112	イモガイ科不明		
	オニコブシ科	Vasidea	
207	コオニコブシ	*Vasum turbinellum*	Ⅰ-2-a
	ナツメガイ科	Bulllidae	
113	ナツメガイ	*Bulla vernicosa*	Ⅰ-2-c
	タケノコガイ科	Terebridae	
114	タケノコガイ	*Terebra Subulata*	Ⅰ-2-c
	マクラガイ科	Olividae	
115	サツマビナ	*Oliva annulata*	Ⅰ-2-c
	アフリカマイマイ科	Achatinidae	
116	アフリカマイマイ	*Achatina fulica*	Ⅴ-9
	オナジマイマイ科	Bradybaenidae	
117	パンダナマイマイ	*Bradybaena circulus*	Ⅴ-8
118	オキナワウスカワマイマイ		
119	オナジマイマイ科不明		
	ユキノカサガイ科	Lottiidae	
120	リュウキュウウノアシ	*Patelloida saccharina*	Ⅰ-1-a
	ミミガイ科	Haliotidae	
121	ミミガイ	*Haliotis(Haliotis)asinina*	Ⅰ-3-a
122	イボアナゴ	*Haliotis(Sanhalitos)varia*	Ⅰ-2-a
	ナガウニ科	Echinoidea	
123	パイプウニ	*Heterocentrotus mammillatus(spine)*	Ⅰ-3-a

第 73 表　東村跡出土の二枚貝類一覧

番号	和名	学名	生息地
	アサジガイ科	Semelidae	
1	サメザラモドキ	*Semele carnicolor*	Ⅱ−1−c
2	アサジガイ		
	イタボガキ科	Ostreidae	
3	ニセマガキ		
4	シマガキ	*Crassostrea bilineata*	Ⅲ-1-a
5	ノコギリガキ	*Dendrostrea sandwichensis*	Ⅱ-2-a
6	ｲﾀﾎﾞｶﾞｷ科不明		
	イタヤガイ科	Pectinidae	
7	リュウキュウナデシコ		
8	イタヤガイ		
9	イタヤガイ科不明		
	ウグイスガイ科	Pteriidae	
10	ミドリアオリガイ	*Pinctada panasesae*	Ⅰ-1-a
	イガイ科	Mytilidae	
11	リュウキュウヒバリ	*Modiolus auriculatus*	Ⅰ-1-a
	ウミギク科	Spondylidae	
12	メンガイ類	*Spondylus Spp*	Ⅰ−2−a
13	ウミギク科不明		
	キクザルガイ科	Chamidae	
14	カネツケザル	*Chama iostoma*	Ⅰ-1-a
15	ヒレインコ		
16	キクザルガイ科不明		
	ザルガイ科	Cardiidae	
17	カワラガイ	*Fragum unedo*	Ⅱ−2−c
18	リュウキュウザルガイ	*Vasticardium flavum*	Ⅱ−2−c
19	ザルガイ科不明		
	シオササザナミガイ科	Psammobiidae	
20	リュウキュウマスオガイ	*Asaphis violascens*	Ⅱ−1−c
21	マスオガイ	*Psammotaea elongata*	Ⅱ−1−c
	シジミ科	Corbiculidae	
22	シレナシジミ	*Geloina erosa*	Ⅲ−0−c
23	シジミ科不明		
	シャコガイ科	Tridacnidae	
24	オオシラナミ	*Tridacna maxima*	Ⅰ−2−a
25	シラナミ類	*Tridacna maxima＆noae*	Ⅰ−2−a
26	シャゴウ	*Hippopus hippopus*	Ⅰ-2
27	ヒレジャコガイ	*Tridacna squamosa*	Ⅰ−2−c
28	ヒメジャコガイ	*Tridacna crocea*	Ⅰ−2−a
29	オオシャコガイ		
30	ナガジャコガイ	*Tridacna noae*	Ⅰ−2−a
31	シャコガイ科不明		
	タマキガイ科	Glycymerididae	
32	ソメワケグリ	*Glycymeris(veletuceta)reevei*	Ⅱ−2−c
	チドリマスオガイ科	Mesodesmatidea	
33	イソハマグリ	*Atactodea striata*	Ⅰ−1−c
	ツキガイ科	Lucinidae	
34	ウラキツキガイ	*Codakia paytenorum*	Ⅱ−2−c
35	ヒメツキガイ	*Epicodakia bella*	Ⅰ−2−c
36	ツキガイ	*Codakia tigerna*	Ⅰ−2−c
37	カブラツキガイ	*Anodontia edentula*	Ⅱ−2−c
38	ツキガイ科不明		
	ニッコウガイ科	Tellinidae	
39	ヒメニッコウガイ	*Tellinella staureiia*	Ⅱ−2−c
40	リュウキュウシラトリ	*Quidnipays palatum*	Ⅱ−1−c
41	アマサギガイ	*Macalia bruguieri*	Ⅱ−2−c
42	ダイミョウガイ		
43	モチヅキザラ	*Cyclotellina remies*	Ⅰ−2−c
44	ゴイシザラ		
45	サメザラ	*Scutarcopagia scobinata*	Ⅰ−2−c
46	ヌノメチョウイシラトリ	*Pistris capsoides*	Ⅲ-1-c
47	ニッコウガイ	*Tellinella virgata*	Ⅱ−2−c
48	リュウキュウサラガイ		
49	ヒラザクラ		
50	ニッコウガイ科不明		
	バカガイ科	Mactridae	
51	リュウキュウバカガイ	*Mactra maculata*	Ⅱ−2−c
52	タママキガイ		

番号	和名	学名	生息地
	フネガイ科	Arcidae	
53	エガイ	*Barbatia(Abarbatia)trapezina*	Ⅰ-1-a
54	カリガネエガイ		
55	クロミノエガイ	*Barbatia(Ustularca)Cruciata*	Ⅱ-2-b
56	リュウキュウサルボウ	*Anadana(Anadana)antiquata*	
57	ハイガイ	*Tegillarca granosa f.obessa*	Ⅲ-1-c
	フナガタガイ科		
58	タカソテモドキ		
59	フナガタガイ科不明		
	マルスダレガイ科	Veneridae	
60	オイノカガミ	*Bonartemis histrio*	Ⅱ−2−c
61	リュウキュウアサリ	*Tapes literatus*	Ⅱ−2−c
62	アラヌノメガイ	*Periglypta reticulata*	Ⅰ−2−b
63	ヌノメガイ	*Periglypta puerpera*	Ⅱ−2−c
64	アラスジケマンガイ	*Gafrarium tumidum*	Ⅲ-1-c
65	ホソスジイナミガイ	*Gafrarium pectinatum*	Ⅱ−1−c
66	ヒメアサリ	*Ruditapes variegata*	Ⅱ−1−c
67	チャイロサラサ		
68	スダレハマグリ	*Katelysia Japonica*	Ⅱ−1−c
69	ヒメリュウキュウアサリ	*Tapes literatus*	Ⅱ−2−c
70	ウスカワハマグリ類	*Pitar Sp.*	Ⅱ−2−c
71	マルオミエシ	*Lioconcha castrensis*	Ⅰ−2−c
72	オトコエシハマグリ		
73	ヤエヤマスダレ		
74	ユウカゲハマグリ	*Pitar striatum*	Ⅱ−2−c
75	カブラツキガイ		
76	ハマグリ類似種	*Meretrix sp.cf.lusoria*	Ⅱ−2−c
77	タイワンシラオ		
78	ダテオキシジミ	*Cyclina orientalis*	Ⅲ-1-c
79	イオウハマグリ	*Pitar sulfureum*	Ⅱ−1−c
80	マルスダレガイ科不明		
	シュモクアオリ科		
81	カイシアオリの一種	*Isognomon sp.cf.perna*	Ⅰ-1-a
	トマヤガイ科	Carditidae	
82	クロフトマヤガイ		

図版 90　貝類遺体 (巻貝) 1　　番号は第 72 表と一致

図版 91　貝類遺体 (巻貝) 2　番号は第 72 表と一致

図版 92　貝類遺体 (二枚貝) 1　　番号は第 73 表と一致

図版 93　貝類遺体（二枚貝）２　　番号は第 73 表と一致

第 74 表　遺物出土状況 (全体)

種類 / 出土地			層/検出面								総計
産地	種類		Ⅱ層	第1検出面	Ⅲ層	第2検出面	Ⅳ層	Ⅴ層	第3検出面	撹乱	
中国産	青磁		39	511	2, 282	1, 155	332	260	38	814	5, 431
	白磁		4	113	335	406	38	25	3	168	1, 092
	青花		6	191	234	70		1		434	936
	褐釉陶器		12	158	506	199	25	23	2	195	1, 120
	白釉陶器			4	9	3				6	22
	無釉陶器			1	1					5	7
	色絵			9	9	1				8	27
	瑠璃釉			3	5					10	18
	褐釉磁器		2	7	1						10
	黒釉陶器		1	7	68	18	10	3		16	123
	三彩			1	1					1	3
	緑釉					1					1
	翡翠釉				3						3
	朱泥			5							5
	紫泥			2						1	3
タイ産	青磁			1		1					2
	褐釉陶器			4	22	75	31	2	1	36	171
	無釉陶器				4	1					5
	鉄絵			1	2	3				1	7
	半練土器			2	19	11	2			3	37
ベトナム	青花				1	1	1				3
朝鮮	青磁				1						1
東南アジア	無釉陶器				1						1
本土産	磁器	染付		11	1					25	37
		色絵								2	2
		磁器		24	1					18	43
		近現代		39	1	7	3			310	360
	陶器	陶器	3	44	20	13	4	1		401	486
		近代		3		1				21	25
		瓦質土器		3	3	2	2			3	13
		硬質土器		5						5	10
		土師質土器								1	1
沖縄産	沖縄産施釉陶器		3	111	9	5		1		344	473
	初期沖縄産無釉陶器			23	3	1				18	45
	沖縄産無釉陶器		6	250	29	10				330	625
	瓦質土器		1	9	5	9				13	37
	陶質土器			36	4	6				55	101
土器	カムィヤキ				1						1
	宮古式土器		9	95	783	220	8			68	1, 183
	八重山式土器				4						4
	パナリ焼		11	7	7					29	54
	県外産不明				2						2
	不明土器			4	5	3				2	14
産地不明陶器				9	3	7				4	23
産地不明磁器				3	1					1	5
土製品				1	1						2
石器				5	8	4	1	1		3	22
石製品			1	1	2					1	5
石材			2	69	98	71	8	2	2	17	269
骨製品					2	2				1	5
円盤状製品			1	15	12	6	2	1		24	61
煙管				4		1				5	10
銭貨			19	23	181	39		2		107	371
金属製品				3	8	2				2	15
鉄製品				5	16	14		1		1	37
窯道具						2					2
瓦製品			3	7	12	19	1			16	58
高麗系瓦	平瓦			1	6	3	2	4		1	17
	丸平不明					1				1	2
大和系瓦	丸瓦			1	1	1					3
	平瓦			6	3	1				5	15
	雁振瓦				5						5
	丸平不明			2							2
明朝系瓦	軒丸				1	3				1	5
	軒平			1	5	5	1			5	17
	丸瓦		6	140	73	35	3			80	337
	平瓦		17	320	292	113	3	1		227	973
	丸平不明		7	139	259	121	8			127	661
	Bタイプ	軒丸		1			1				2
		軒平		4		1				1	6
		丸瓦		2	2	4				2	10
		平瓦		2	5	6	1			3	17
		丸平不明			4	2					6
塼			5	45	52	41	3			35	181
その他				4	2	3				18	27
総計			158	2, 497	5, 436	2, 729	490	328	46	4, 031	15, 715

第４章　東村跡の自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

東村跡は、沖縄県那覇市東町に所在する。発掘調査からは、グスク時代～近世期頃の遺構や遺物が確認されている。本報告では、発掘調査で検出された遺構埋土を対象に、遺構の年代や性格、周辺の古環境などの情報を得ることを目的として、放射性炭素年代測定、微細物分析、花粉分析、植物珪酸体分析、炭化材同定を実施する。

1. 試料

試料は、平成 26 年度調査の 1 地点で検出された SK19 下層、2 地点で検出された SX13 ベルト南壁Ⅲ・Ⅳ層、3 地点で検出された SK133 6 層の覆土 3 点と、3 地点で検出された SL1 より出土した炭化材 1 点である。各遺構の調査所見によると、1 地点 SK19 は近世～近代の方形石組遺構、2 地点の SX13 はグスク時代の陶磁器一括廃棄土坑、3 地点の SK133 はグスク時代～近世初期？の円形石組遺構、SL1 は近世～近代の窯跡と考えられている。これらの土壌について、微細物分析、花粉分析、植物珪酸体分析を、土壌より抽出した炭化材および SL1 の炭化材について、放射性炭素年代測定、炭化材同定を実施する。

分析試料および分析項目一覧を第 75 表に示す。

第 75 表　分析試料及び分析項目一覧

調査年度	地点	遺構	層位	№.	試料の質	AMS	微細	花粉	珪酸体	材同定
H26	1地点	SK19	下層	1112	土壌	○	○	○	○	
H26	2地点	SX13	ベルト南壁Ⅲ･Ⅳ層	1114	土壌		○	○	○	
H26	3地点	SK133	6層	1119	土壌	○	○	○	○	
H26	3地点	SL1		1117	炭化材	○				○
合計点数						3	3	3	3	1

1)AMS：放射性炭素年代測定、微細：微細物分析、花粉：花粉分析、珪酸体：植物珪酸体分析、材同定：炭化材同定。

2. 分析方法

(1) 放射性炭素年代測定

分析試料は AMS 法で実施する。試料表面の汚れや付着物をピンセット、超音波洗浄などにより物理的に除去する。次に塩酸や水酸化ナトリウムを用いて、試料内部の汚染物質を化学的に除去する (酸―アルカリ―酸処理：AAA)。その後超純水で中性になるまで洗浄し、乾燥させる。なお、アルカリ処理は、0.001M ～ 1M まで濃度を上げ、試料の様子をみながら処理を進める。1M の水酸化ナトリウムで処理が可能であった場合は AAA と記す。一方、試料が脆弱で 1M の水酸化ナトリウムでは試料が損耗し、十分な炭素が得られないと判断された場合は、薄い濃度の水酸化ナトリウムの状態で処理を終える。その場合は AaA と記す。

精製された試料を燃焼して CO_2 発生させ、真空ラインで精製する。鉄を触媒とし、水素で還元してグラファイトを生成する。処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径 1mm の孔にプレスし、測定試料とする。

測定はタンデム加速器をベースとした 14C-AMS 専用装置を用いて、14C の計数、13C 濃度 (13C/12C)、14C 濃度 (14C/12C) を測定する。AMS 測定時に、標準試料とバックグラウンド試料の測定も行う。

δ 13C は試料炭素の 13C 濃度 (13C/12C) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差 (‰) で表したものである。

放射性炭素の半減期は LIBBY の半減期 5,568 年を使用する。また、測定年代は 1950 年を基点とした

年代 (BP) であり、誤差は標準偏差 (One Sigma;68%) に相当する年代である。測定年代の表示方法は、国際学会での勧告に従う (Stuiver and Polach,1977)。また、暦年較正用に一桁目まで表した値も記す。

暦年較正に用いるソフトウエアは、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.1.0、較正曲線は Intcal13(Reimer et al.,2013) である。

暦年較正とは、大気中の 14C 濃度が一定で半減期が 5,568 年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の 14C 濃度の変動、及び半減期の違い (14C の半減期 5,730 ± 40 年) を較正することによって、暦年代に近づける手法である。較正のもとになる直線は暦時代がわかっている遺物や年輪 (年輪は細胞壁のみなので、形成当時の 14C 年代を反映している) 等を用いて作られており、最新のものは 2013 年に発表された Intcal13(Reimer et al.,2013) である。また、較正年代を求めるソフトウエアはいくつか公開されているが、今回は CALIB を用いる。なお、年代測定値に関しては、国際的な取り決めにより、測定誤差の大きさによって値を丸めるのが普通であるが (Stuiver and Polach,1977)、将来的な較正曲線ならびにソフトウエアの更新に伴う再計算ができるようにするため、表には丸めない値 (1 年単位) を記す。また、中央値は、確率分布の面積が二分される値を年代値に換算したものである。

(2) 微細物分析

試料から炭化種実等の微細な遺物を分離・抽出するために、試料を 48 時間常温乾燥後、水を満たした容器内に投入し、速やかに容器を傾けて浮いた炭化物を粒径 0.5mm の篩に回収する。容器内の残土に水を入れて軽く攪拌し、容器を傾けて炭化物を回収する作業を炭化物が浮かなくなるまで繰り返す (20 回程度)。残土を粒径 0.5mm の篩を通して水洗する。

水洗後、水に浮いた試料 (炭化植物主体) と水に沈んだ試料 (砂礫・骨貝主体) を、粒径別に常温乾燥させる。乾燥後、粒径の大きな試料から順に双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な種実遺体と炭化材 (主に径 2mm 以上) の他、主に状態良好な遺物を抽出する。

種実遺体の同定は、現生標本や中山ほか (2010)、鈴木ほか (2012) 等を参考に実施し、部位・状態別の個数を数えて、結果を一覧表で示す。同定された分類群は、写真図版に示して同定根拠とする。

その他の遺物は重量を表示し、炭化材と土器片は最大径を併記する。分析残渣は、炭化材主体と、骨貝類・砂礫類・サンゴ片に大まかに分け、粒径別重量を表示する。分析後は、抽出物と分析残渣を容器に入れて保管する。

(3) 花粉分析

試料約 10g について、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液 (臭化亜鉛，比重 2.3) による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス (無水酢酸 9：濃硫酸 1 の混合液) 処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、400 倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定・計数する。同定は、当社保有の現生標本や島倉 (1973)、中村 (1980)、三好ほか (2011) 等を参考にする。

結果は同定・計数結果の一覧表として表示する。表中で複数の種類をハイフォンで結んだものは、種類間の区別が困難なものを示す。

(4) 植物珪酸体分析

各試料について過酸化水素水・塩酸処理、沈定法、重液分離法 (ポリタングステン酸ナトリウム，比重 2.5) の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これをカバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリュウラックスで封入してプレパラートを作製する。400 倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部 (葉身と葉鞘) の葉部短細胞に由来した植物珪酸体 (以下、短細胞珪酸体と呼ぶ) および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体 (以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ) を、近藤 (2010)

の分類を参考に同定し、計数する。

分析の際には、分析試料の乾燥重量、プレパラート作成に用いた分析残渣量を正確に計量し、乾土 1g あたりの植物珪酸体含量 (同定した数を乾土 1g あたりの個数に換算) を求める。

結果は、植物珪酸体含量の一覧表で示す。その際、100 個 /g 未満は「<100」で表示する。各分類群の含量は 10 の位で丸め (100 単位にする)、合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。また、各分類群の植物珪酸体含量を図示する。

(5) 炭化材同定

試料を自然乾燥させた後､木口 (横断面)･柾目 (放射断面)･板目 (接線断面) の３断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本と比較して種類 (分類群) を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東 (1982) や Richter 他 (2006) を参考にする。

3. 結果

(1) 放射性炭素年代測定

同位体効果による補正を行った測定結果を第 76 表に、暦年較正結果を第 77 表に示す。試料の測定年代 (補正年代) は、1 地点 SK19 の下層出土炭化材が 230 ± 20BP、3 地点 SK133 の 6 層出土炭化材が 330 ± 20BP、同じく 3 地点の SL1 出土炭化材が 660 ± 20BP の値を示す。

測定誤差を２ σとして計算させた結果、1 地点の SK19 は calAD 1,644 ～ 1,950(以降)、3 地点の SK133 は calAD 1,484 ～ 1,639、3 地点の SL1 は calAD 1,280 ～ 1,389 である。暦年較正の中央値は 1 地点の SK19 は calAD 1,763、3 地点の SK133 は calAD 1,565、3 地点の SL1 は calAD 1,315 である。

第 76 表　放射性炭素年代測定結果

地点	遺構	層位	種類	処理	補正年代 BP	δ^{13}C (‰)	測定年代 BP	Code No.
1地点	SK19	下層	炭化材	AAA	230±20	−27.69±0.22	270±20	IAAA−161200
3地点	SK133	6層	炭化材	AaA	330±20	−24.96±0.19	330±20	IAAA−161201
3地点	SL1	ー	炭化材	AaA	660±20	−24.22±0.17	650±20	IAAA−161202

1)年代値の算出には、Libbyの半減期5,568年を使用。
2)BP年代値は、1950年を基点として何年前であるかを示す。
3)付記した誤差は、測定誤差σ(測定値の68%が入る範囲)を年代値に換算した値。
4)AAAは酸ーアルカリー酸処理、AaAはアルカリの濃度を薄くした処理を示す。

第 77 表　暦年較正結果

試料名	補正年代 (BP)	暦年較正年代						Code No.
			年代値			相対比	中央値	
1地点 SK19 下層	225±21	σ	cal AD 1,652 − cal AD 1,667	cal BP 298 − 283	0.529	calAD 1,763	IAAA−161200
			cal AD 1,783 − cal AD 1,796	cal BP 167 − 154	0.471		
		2σ	cal AD 1,644 − cal AD 1,676	cal BP 306 − 274	0.504		
			cal AD 1,767 − cal AD 1,771	cal BP 183 − 179	0.012		
			cal AD 1,777 − cal AD 1,800	cal BP 173 − 150	0.414		
			cal AD 1,940 − cal AD 1,950+	cal BP 10 − 0	0.070		
3地点 SK133 6層	334±22	σ	cal AD 1,496 − cal AD 1,527	cal BP 454 − 423	0.281	calAD 1,565	IAAA−161201
			cal AD 1,555 − cal AD 1,601	cal BP 395 − 349	0.527		
			cal AD 1,615 − cal AD 1,633	cal BP 335 − 317	0.193		
		2σ	cal AD 1,484 − cal AD 1,639	cal BP 466 − 311	1.000		
3地点 SL1	662±22	σ	cal AD 1,286 − cal AD 1,303	cal BP 664 − 647	0.521	calAD 1,315	IAAA−161202
			cal AD 1,366 − cal AD 1,383	cal BP 584 − 567	0.479		
		2σ	cal AD 1,280 − cal AD 1,315	cal BP 670 − 635	0.515		
			cal AD 1,355 − cal AD 1,389	cal BP 595 − 561	0.485		

1)計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.1.0を使用。
2)計算には表に示した丸める前の値を使用している。
3)1桁目を丸めるのが慣例だが、暦年較正曲線や暦年較正プログラムが改正された場合の再計算や比較が行いやすいように、1桁目を丸めていない。
4)統計的に真の値が入る確率はσは68%、2σは95%である。
5)相対比は、σ、2σのそれぞれを1とした場合、確率的に真の値が存在する比率を相対的に示したものである。
6)中央値は、確率分布図の面積が二分される値を年代値に換算したもの。

(2) 微細物分析

結果を第 78 表に示す。また、種実遺体各分類群の写真を図版 94 に示して同定根拠とする。

3 試料全量 3,078g を洗い出した結果、被子植物 7 分類群 (木本のオキナワジイ、栽培種のイネ、アワ、ソバ、トウガン ?、ゴマ、草本のナス属)9 個の種実遺体が抽出同定され、オキナワジイ、イネ、アワは炭化している。その他に、不明種実 ? が 1 個、炭化材が 11.1g、魚鱗が 1.8g、歯が 0.1g、骨片が 6.4g、二枚貝類が 7.2g、巻貝類が 11.0g、ヤコウガイ ? の殻片が 62.3g、ウニ類の棘が 0.2g、金属製品 (釘等) が 2.2g、土器片が 0.3g(2 個) 確認された。分析残渣は、骨貝類・砂礫類・サンゴ片が 811.8g、炭化材主体が 4.5g を量る。以下、試料別出土状況を述べる

・1 地点 SK19 下層

試料 1,048g からは、栽培種のトウガン ? の種子片が 1 個、ゴマの種子が 1 個、草本のナス属の種子が 1 個と、炭化材が 9.7g(最大 1.4cm)、魚鱗が 1.8g、歯が 0.1g、骨片が 2.2g、二枚貝類が 5.5g、巻貝類が 0.8g、ウニ類の棘が 0.1g、金属製品 (釘等) が 2.2g 確認された。分析残渣は、骨貝類・砂礫類・サンゴ片が 162.1g、炭化材主体が 3.0g を量る。魚鱗が多く、分析残渣中にも巻貝や魚鱗を多く含む。

・2 地点 SX13 ベルト南壁Ⅲ・Ⅳ層

試料 1,250g からは、栽培種のアワの炭化胚乳が 1 個、高木になる常緑広葉樹のオキナワジイの炭化果皮片が 1 個と、炭化材が 0.1g(最大 0.5cm)、魚鱗が 0.0g、骨片が 2.3g、二枚貝類が 0.8g、巻貝類が 7.0g、ヤコウガイ ? の殻片が 59.2g、ウニ類の棘が 0.1g 確認された。分析残渣は、骨貝類・砂礫類・サンゴ片が 425.5g、炭化材主体が 0.5g を量る。サンゴ片や巻貝が多い。

・3 地点 SK133 6 層

試料 780g からは、栽培種のイネの炭化穎の破片が 1、炭化胚乳が 1 個、ソバの果皮片が 1 個、トウガン ? の種子片が 1 個と、不明種実 ? が 1 個、炭化材が 1.3g(最大 1.6cm)、魚鱗が 0.0g、骨片が 1.8g、二枚貝類が 0.9g、巻貝類が 3.2g、ヤコウガイ ? の殻片が 3.1g、ウニ類の棘が 0.1g、土器片が 2 個 0.3g(最大 1.4cm)、植物片が 0.1g 確認された。分析残渣は、骨貝類・砂礫類・サンゴ片が 224.2g、炭化材主体 (植物片含む) が 0.9g を量る。植物片や巻貝が多い。

第 78 表　微細物分析結果

分類群	部位・状態		1地点 SK19 下層	2地点 SX13 ベルト南壁 Ⅲ・Ⅳ層	3地点 SK133 6層	備考
種実						
オキナワジイ	炭化果皮	破片	−	1	−	
イネ	炭化穎	破片	−	−	1	
	炭化胚乳	完形	−	−	1	残存長3.8mm,裂開
アワ	炭化胚乳	完形	−	1	−	頂部欠損
ソバ	果皮	破片	−	−	1	1/3片
トウガン?	種子	破片	1	−	1	SK133;分析中破損
ナス属	種子	完形	1	−	−	径1.8mm
ゴマ	種子	完形	1	−	−	
不明	種実?	完形	−	−	1	
炭化材			13.9	5.3	16.4	最大径(mm)
		>4mm	7.0	−	1.1	乾重(g)
		4−2mm	2.7	0.1	0.2	乾重(g)
炭化材主体		2−1mm	1.9	0.3	0.5	乾重(g),SK19:巻貝・魚鱗含む,SK133植物片含む
		1−0.5mm	1.1	0.2	0.5	乾重(g)
骨貝類・砂礫類・サンゴ片		>4mm	41.1	175.2	106.2	乾重(g)
		4−2mm	16.1	61.6	31.9	乾重(g)
		2−1mm	44.7	100.9	48.2	乾重(g)
		1−0.5mm	60.2	87.8	37.9	乾重(g)
魚鱗			1.8	0.0	0.0	乾重(g),主な遺物を抽出
歯			0.1	−	−	乾重(g),主な遺物を抽出
骨片			2.2	2.3	1.8	乾重(g),主な遺物を抽出
二枚貝類			5.5	0.8	0.9	乾重(g),主な遺物を抽出
巻貝類			0.8	7.0	3.2	乾重(g),主な遺物を抽出
ヤコウガイ?			−	59.2	3.1	乾重(g),主な遺物を抽出
ウニ類の棘			0.1	0.1	0.1	乾重(g),主な遺物を抽出
金属製品			2.2	−	−	乾重(g),釘等主な遺物を抽出,磁着
土器片			−	−	0.3	乾重(g),2個,最大14.4mm
植物片		>4mm	−	−	0.1	乾重(g)
分析量			1048	1250	780	湿重(g)

(3) 花粉分析

結果を第 79 表に示す。いずれの試料においても検出される花粉化石数は少なく、定量分析を行うだけの個体数は得られなかった。また、わずかに検出された花粉化石には、花粉外膜が破損あるいは溶解しているなど、保存状態の悪いものも多く含まれていた。

花粉化石の産状を試料ごとにみると、1 地点 SK19 の下層では、モミ属、マツ属複維管束亜属などの木本花粉、イネ科、キク亜科、タンポポ亜科などの草本花粉が産出し、栽培種のベニバナ属も認められた。2 地点 SX13 のベルト南壁Ⅲ・Ⅳ層は、わずかにイネ科が認められた程度である。3 地点 SK133 の 6 層は、他の試料と比較すると花粉化石の種類数・個体数が多く、木本花粉ではマツ属複維管束亜属を含むマツ属、クマシデ属－アサダ属、ブドウ属が、草本花粉ではイネ科、カヤツリグサ科、サトイモ科、アカザ科、トウダイグサ科、キク亜科、タンポポ亜科などが産出した。

花粉やシダ類胞子以外では、SK133 の 6 層より、寄生虫の卵である回虫卵が検出された。

第 79 表　花粉分析結果

種　類	1地点 SK19 下層	2地点 SX13 ベルト南壁 Ⅲ・Ⅳ層	3地点 SK133 6層
木本花粉			
モミ属	1	－	－
マツ属複維管束亜属	1	－	8
マツ属（不明）	－	－	16
クマシデ属－アサダ属	－	－	1
ブドウ属	－	－	1
草本花粉			
イネ科	5	3	21
カヤツリグサ科	－	－	3
サトイモ科	－	－	4
アカザ科	－	－	7
アブラナ科	－	－	1
ナデシコ科	－	－	1
バラ科	－	－	1
トウダイグサ科	－	－	2
ヨモギ属	－	－	1
ベニバナ属	2	－	－
キク亜科	4	－	2
タンポポ亜科	2	－	3
不明花粉			
不明花粉	3	－	6
シダ類胞子			
シダ類胞子	8	3	19
合　計			
木本花粉	2	0	26
草本花粉	13	3	46
不明花粉	3	0	6
シダ類胞子	8	3	19
合計（不明を除く）	23	6	91
その他			
回虫卵	－	－	15

(4) 植物珪酸体分析

結果を第 80 表、第 84 図に示す。1 地点 SK19 の下層、2 地点 SX13 のベルト南壁Ⅲ・Ⅳ層、3 地点 SK133 の 6 層の 3 試料からは植物珪酸体が検出されるものの、保存状態が悪く、表面に多数の小孔 (溶食痕) が認められる。また検出される分類群も少ない。

いずれの試料からも栽培植物であるイネ属が産出し、葉部の短細胞珪酸体や機動細胞珪酸体が見られる。その含量は少なく、短細胞珪酸体が 200 ～ 300 個 /g 程度 (SK133 の 6 層を除く)、機動細胞珪酸体が 100 個 /g 未満～ 300 個 /g 程度である。

この他に、各試料からは分類群が明確にならない不明が検出され、SX13 のベルト南壁Ⅲ・Ⅳ層ではタケ亜科の機動細胞珪酸体も見られる。

また、SK19 の下層では、イネ科以外に由来する植物珪酸体として樹木であるクスノキ科の葉部に由来する植物珪酸体も検出される。

第 80 表　植物珪酸体含量

（個/g）

分　類　群	1地点 SK19 下層	2地点 SX13 ベルト南壁 Ⅲ・Ⅳ層	3地点 SK133 6層
イネ科葉部短細胞珪酸体			
イネ属	200	300	－
不明	500	700	200
イネ科葉身機動細胞珪酸体			
イネ属	200	300	<100
タケ亜科	－	<100	－
不明	600	600	100
合　計			
イネ科葉部短細胞珪酸体	700	1,000	200
イネ科葉身機動細胞珪酸体	800	1,000	200
植物珪酸体含量	1,500	2,000	400
珪化組織片			
イネ属穎珪酸体	＊	＊	＊
イネ属短細胞列	＊	＊	－
樹木起源珪酸体			
クスノキ科	＊	－	－

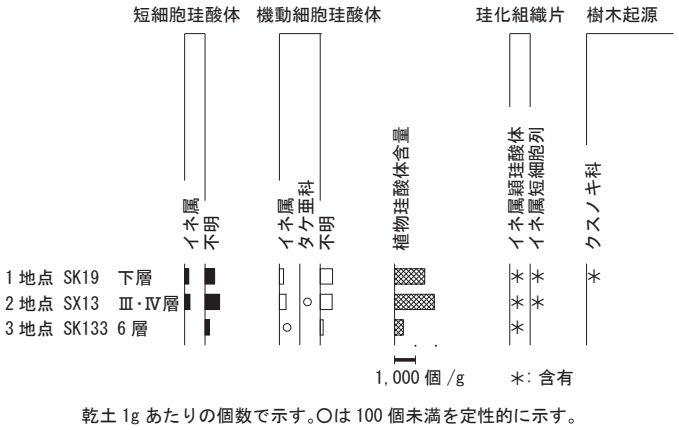
1)含量は、10の位で丸めている(100単位にする)。
2)合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。
3)<100：100個/g未満。
4)－：未検出、＊：含有。

(5) 炭化材同定

炭化材は、針葉樹のマツ属複維管束亜属に同定された（図版 93）。以下に解剖学的特徴等を記す。

・マツ属複維管束亜属 (Pinus subgen. Diploxylon)　マツ科

軸方向組織は、観察した範囲では仮道管のみで構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は急～やや緩やかで、晩材部の幅は広い。放射組織は、観察した範囲では仮道管と柔細胞で構成される。分野壁孔は窓状となる。放射仮道管内壁には鋸歯状の突起が認められる。放射組織は単列、1-15 細胞高。



第 84 図　植物珪酸体含量

軸方向および放射方向の樹脂道が認められないが、放射柔細胞内壁が窓状となり、放射仮道管内壁に鋸歯を持つのは、日本産ではマツ属複維管束亜属 1 種類のみである。

4. 考察

(1) 遺構の年代観

各遺構の放射性炭素年代測定の結果、1 地点 SK19 の下層が補正年代で 230 ± 20BP、暦年代で calAD 1,644 ～ calAD 1,950(以降)、3 地点 SK133 の 6 層が補正年代で 330 ± 20BP、暦年代で calAD 1,484 ～ calAD 1,639、3 地点の SL1 が補正年代で 660 ± 20BP、暦年代で calAD 1,280 ～ calAD 1,389 の値が得られた。

発掘調査時の所見によれば、1 地点 SK19 は近世～近代の方形石組遺構、3 地点の SK133 はグスク時代～近世初期？の円形石組遺構、3 地点の SL1 は近世～近代の窯跡とされている。暦年代をみると、SK19 は 17 世紀中頃～現代、SK133 は 15 世紀後半～ 17 世紀前半、SL1 は 13 世紀後半～ 14 世紀後半頃の遺構の可能性が指摘され、SK19、SK133 は調査所見と調和的であるが、SL1 は所見よりも古い値を示している。これについては、炭化材の出土状況等も含め、改めて検討する必要がある。

(2) 遺構の用途推定

1 地点の SK19、2 地点の SX13、3 地点の SK133 における微細物分析の結果、栽培種を主体とする種実遺体群の他、炭化材、動物遺存体 (魚鱗、歯、骨片、二枚貝類、巻貝類、ヤコウガイ ?、ウニ類の棘など)、金属製品 (釘等)、土器片などの遺物が検出された。いずれの遺物も、当時利用された生活残滓と推測される。

栽培種は、SK133 より穀類のイネ、ソバ、SX13 より雑穀類のアワ、SK19･133 より果菜類のトウガン ?、SK19 より食用・油料に利用されるゴマが確認された。イネ属は、植物珪酸体分析においても、各遺構から確認されている。これらが当時の東村跡近辺で栽培されていたか、持ち込まれたかは不明であるが、少なくとも当時利用された植物質食料と示唆される。また、イネ、アワは炭化していることから、火を受けたとみなされる。イネ、アワはグスク時代以降多くの出土事例があるが、ソバとゴマは少なく、貴重な出土事例である。また、炭化した果皮片が出土しているオキナワジイは、果実内部の子葉が食用可能な有用植物であることから、周辺の照葉樹林から持ち込まれた植物質食料の可能性もある。

花粉分析からは、SK19 より栽培種のベニバナ属が、SK133 から寄生虫卵 (回虫卵) が確認された。今回は顕著な多産が認められないが、寄生虫卵はトイレ遺構などから多産する事例があることから、そのような用途の可能性もないとはいえない。

以上の結果を踏まえると、1 地点の SK19、2 地点の SX13、3 地点の SK133 は、動植物食料残渣や炭、金属製品、土器片などの生活残渣が含まれていることから、ゴミ捨て場などとして利用された可能性が高いと考えられる。なお、SK133 では、寄生虫卵が少ないながらも確認された。那覇市の中城御殿では、寄生虫卵分析や土壌理化学分析の結果から、トイレとして使用していた場所をゴミ穴に変更した可能性がある土坑が確認されている。SK133 も、その可能性がまったくないとは言い切れないことから、寄生虫卵分析や土壌理化学分析を実施し、再検証することが望まれる。

一方、3 地点の SL1 の炭化材は、窯の燃料材とされる。小片であり、利用時の形状と木取りは不明である。炭化材は、針葉樹のマツ属複維管束亜属に同定された。日本のマツ属複維管束亜属には、アカマツ、クロマツ、リュウキュウマツの 3 種があるが、このうち沖縄本島に生育するのはリュウキュウマツ 1 種である。したがって、今回の試料もリュウキュウマツの可能性が高い。リュウキュウマツは、伐採地や林縁部、海岸の石灰岩上などに生育する常緑高木である。木材は軽軟で強度は低く、白アリの食害も受けやすいが、松脂を多く含み、比較的保存性が高く、また燃焼性が高い。窯の燃料材として見た場合には、燃焼性が高い点が利用の背景に考えられる。

(3) 古植生

今回、古植生推定のための花粉分析や植物珪酸体分析を実施したが、いずれも産状が悪かった。花粉やシダ類胞子は、一般的に堆積した場所が常に酸化状態にあるような場合、酸化や土壌微生物によって分解・消失するとされている (中村 ,1967; 徳永・山内 ,1971; 三宅・中越 ,1998 など)。対象とした遺構は、ゴミ捨て場などとして利用された可能性が指摘されることから、堆積時に取り込まれた花粉やシダ類胞子は、好気的環境下にさらされることにより分解・消失したと考えられる。一方、植物珪酸体についても、亜熱帯湿潤気候の下では堆積物中で珪酸分を含む無機成分の溶脱作用が起こるとされている (松井 ,1988)。また、湿潤な土壌や土壌温度が高い堆積物の方が植物珪酸体の風化の度合いが高いともされている (近藤 ,1988)。よって、植物珪酸体も、遺構が埋積した後の風化作用により、風化が進み、現代までに保存されにくい状態にあったと思われる。

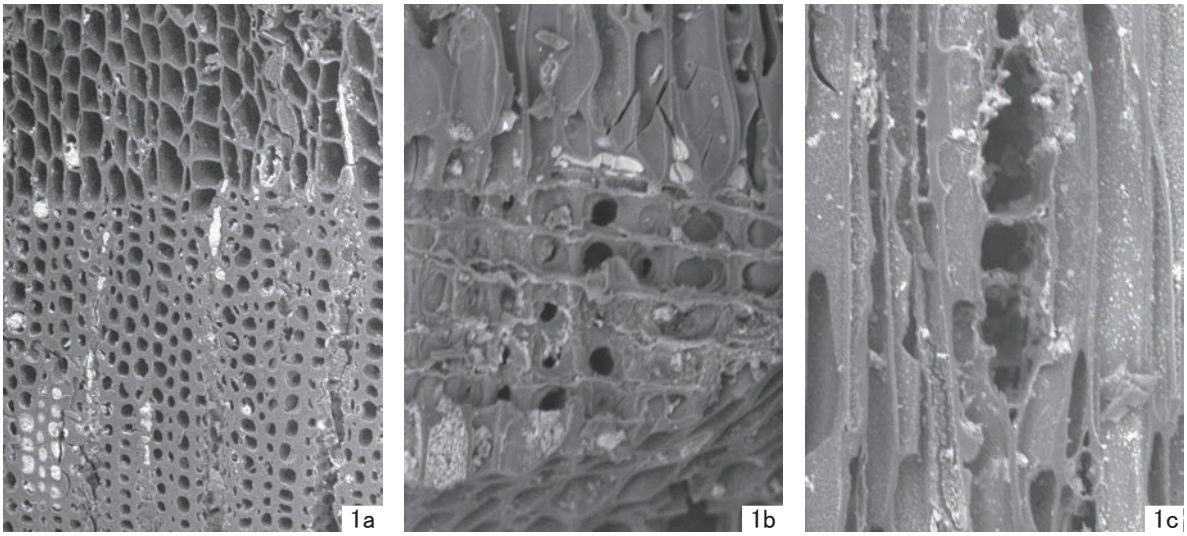
わずかに検出された花粉化石、植物珪酸体、種実遺体などを考慮すると、木本類ではモミ属、マツ属 (複維管束亜属を含む)、クマシデ属－アサダ属、オキナワジイ、クスノキ科、ブドウ属などが確認された。マツ属複維管束亜属は、前述のようにリュウキュウマツに由来すると思われる。リュウキュウマツは、海岸から山地まで、普通に生育する種類であり、オキナワジイやクスノキ科は常緑広葉樹林 (照葉樹林) の主要構成種である。クマシデ属－アサダ属は渓谷沿いや河畔などに、ブドウ属は林縁部などの明るい林地に生育することから、これらが当時の東村跡周辺に生育していたと推測される。なお、モミ属は、現在は屋久島より北に生育することから、遠方より飛来した可能性がある。

草本類については、タケ亜科を含むイネ科、カヤツリグサ科、サトイモ科、アカザ科、トウダイグサ科、ナス属、キク亜科、タンポポ亜科などが確認された。SK19 から確認されたナス属は、種子が小型 (径 1.8mm) であることから栽培種のナスと区別している。これらは、いずれも開けた明るい場所に生育する種を含む分類群であることから、当時の調査区周辺の草地環境に生育していたと考えられる。

引用文献

近藤錬三 ,1988, 植物珪酸体 (Opal Phytolith) からみた土壌と年代 . ペドロジスト ,32,189-203.
近藤錬三 ,2010, プラント・オパール図譜 . 北海道大学出版会 ,387p.
松井　健 ,1988, 土壌地理学序説 , 築地書館株式会社 ,316p.
三宅　尚・中越信和 ,1998, 森林土壌に堆積した花粉・胞子の保存状態 . 植生史研究 ,6,15-30.
三好教夫・藤木利之・木村裕子 ,2011, 日本産花粉図鑑 . 北海道大学出版会 ,824p.
中村　純 ,1967, 花粉分析 . 古今書院 ,232p.

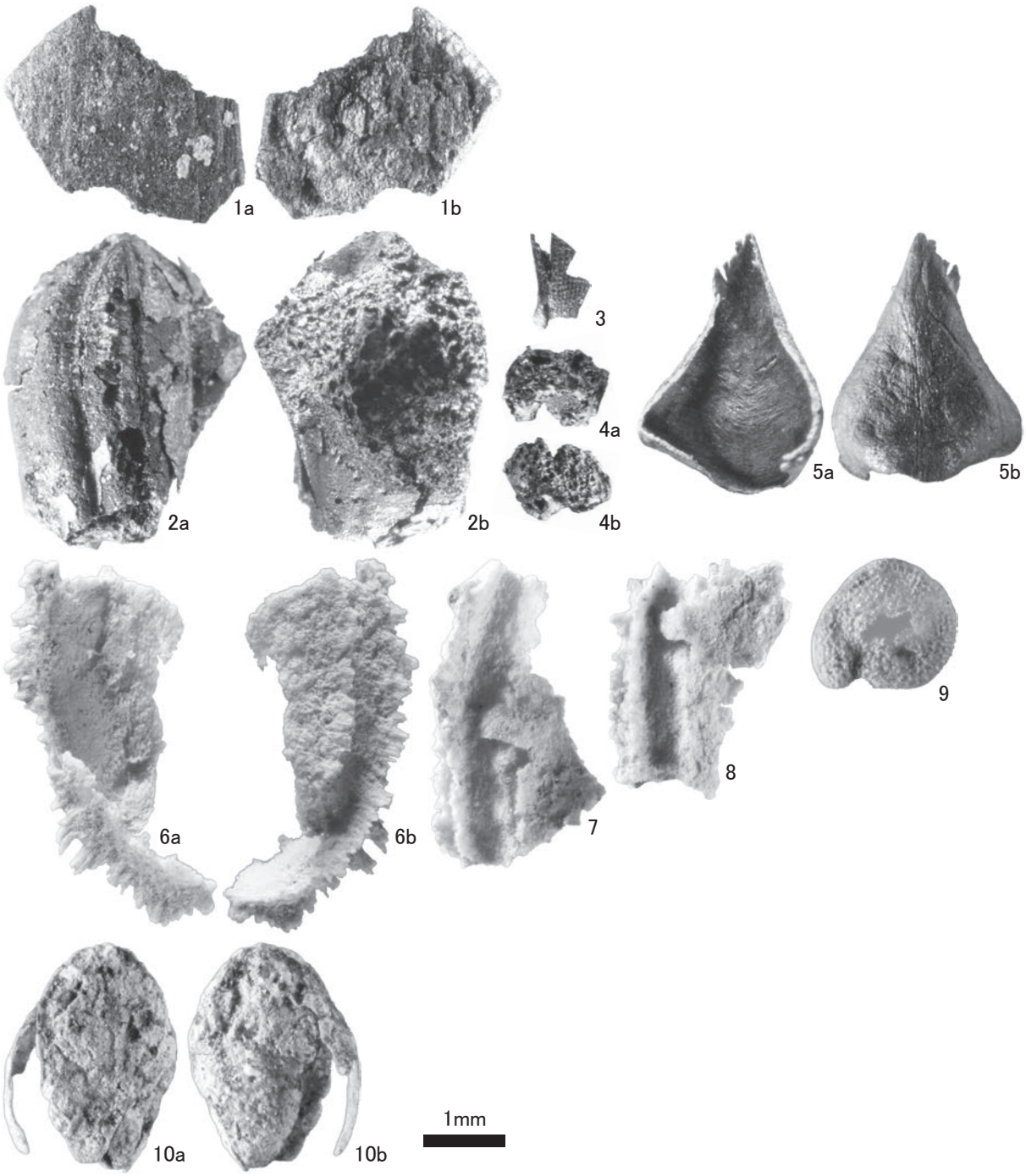
中村　純,1980,日本産花粉の標徴　Ⅰ　Ⅱ(図版).大阪市立自然史博物館収蔵資料目録　第12,13集,91p.
中山至大・井之口希秀・南谷忠志,2010,日本植物種子図鑑(改訂版).東北大学出版会,678p.
Reimer, P. J., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J. W., Blackwell, P. G., Bronk Ramsey, C., Grootes, P. M., Guilderson, T. P., Haflidason, H., Hajdas, I., Hatté, C., Heaton, T. J., Hoffmann, D. L., Hogg, A. G., Hughen, K. A., Kaiser, K. F., Kromer, B., Manning, S. W., Niu, M., Reimer, R. W., Richards, D. A., Scott, E. M., Southon, J. R., Staff, R. A., Turney, C. S. M., and van der Plicht, J.,2013,IntCal13 and Marine13 Radiocarbon Age Calibration Curves 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon,55,1869–1887.
Richter H. G., Grosser D., Heinz I. and Gasson P. E.(編),2006,針葉樹材の識別　IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト.伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部　久・内海泰弘(日本語版監修),海青社,70p.［Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E.(2004)IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification］.
島地　謙・伊東隆夫,1982,図説木材組織.地球社,176p.
島倉巳三郎,1973,日本植物の花粉形態.大阪市立自然科学博物館収蔵目録　第5集,60p.
Stuiver, M., and Polach, H. A.,1977,Discussion Reporting of 14C Data. Radiocarbon,19, 355-363.
鈴木庸夫・高橋　冬・安延尚文,2012,ネイチャーウォッチングガイドブック 草木の種子と果実－形態や大きさが一目でわかる植物の種子と果実632種－.誠文堂新光社,272p.
徳永重元・山内輝子,1971,花粉・胞子.化石の研究法,共立出版株式会社,50-73.



1. マツ属複維管束亜属(3地点 SL1)
a:木口,b:柾目,c:板目

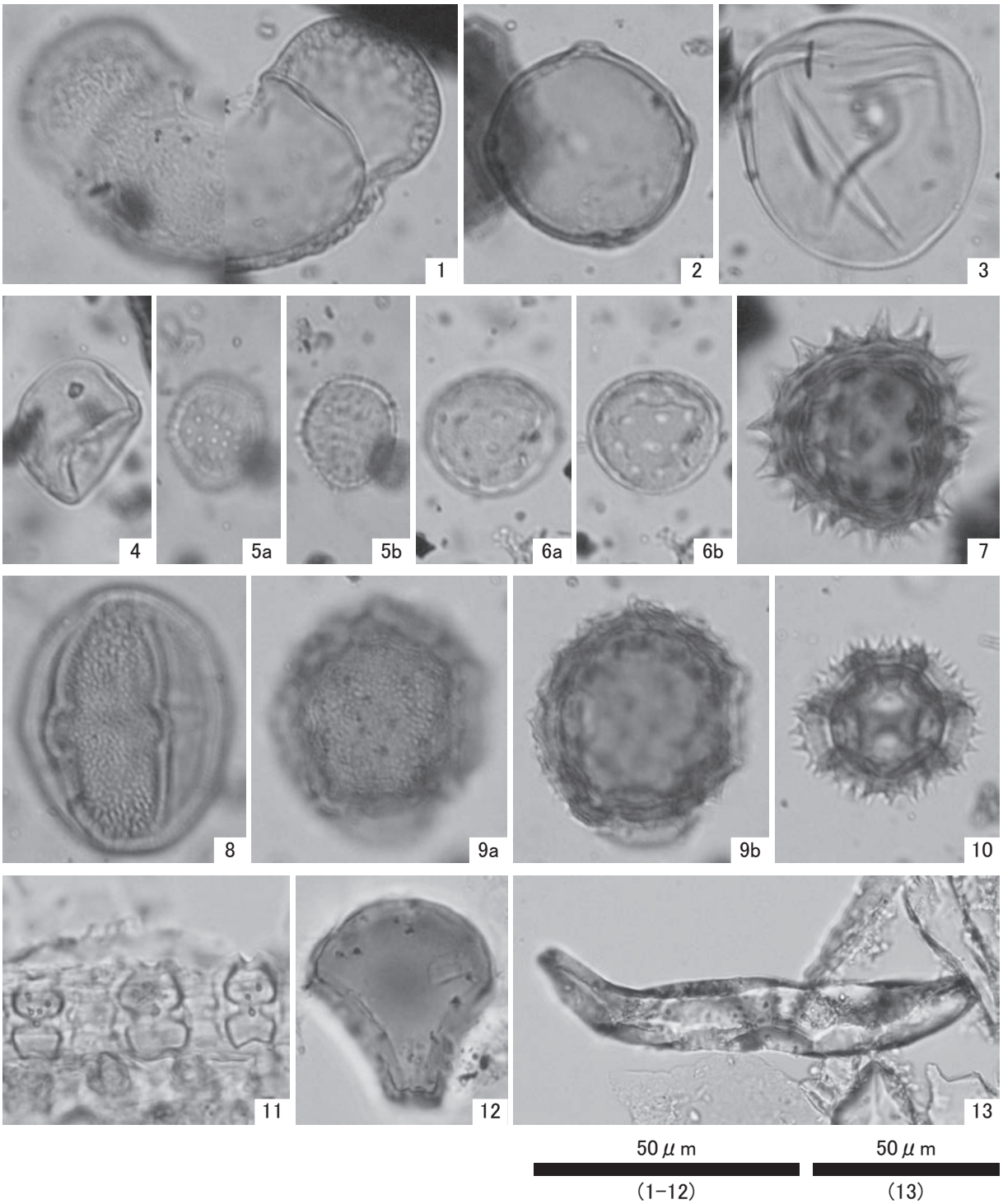
100μm:a
100μm:b,c

図版 94　炭化材



1．オキナワジイ 炭化果皮(2地点 SX13;ベルト南壁Ⅲ･Ⅳ層)
2．イネ 炭化胚乳(3地点 SK133;6層)
3．イネ 炭化穎(3地点 SK133;6層)
4．アワ 炭化胚乳(2地点 SX13;ベルト南壁Ⅲ･Ⅳ層)
5．ソバ 果皮(3地点 SK133;6層)
6．トウガン? 種子(1地点 SK19;下層)
7．トウガン? 種子(3地点 SK133;6層)
8．トウガン? 種子(3地点 SK133;6層)
9．ナス属 種子(1地点 SK19;下層)
10．ゴマ 種子(1地点 SK19;下層)

図版 95　種実遺体



1．マツ属(3地点 SK133;6層)
2．クマシデ属－アサダ属(3地点 SK133;6層)
3．イネ科(3地点 SK133;6層)
4．カヤツリグサ科(3地点 SK133;6層)
5．サトイモ科(3地点 SK133;6層)
6．アカザ科(3地点 SK133;6層)
7．キク亜科(1地点 SK19;下層)
8．トウダイグサ科(3地点 SK133;6層)
9．ベニバナ属(1地点 SK19;下層)
10．タンポポ亜科(3地点 SK133;6層)
11．イネ属短細胞列(1地点 SK19;下層)
12．イネ属機動細胞珪酸体(1地点 SK19;下層)
13．樹木起源(クスノキ科)(1地点 SK19;下層)

図版 96　花粉化石・植物珪酸体

第５章　基礎資料

第 81 表　第１検出面の遺構内出土遺物１

検出面	地点	遺構名	遺物名
第1検出面	1	SK1	**青磁** 碗Ⅴ(1)、碗Ⅵ(1)、碗Ⅶ(2)、碗(6)、皿(1)、袋物(1)、その他(1)、**白磁** 福・碗(1)、**青花** 景・碗(1)、景・B皿(1)、福広・碗(5)、徳・碗(2)、徳・皿(1)、**中褐** 壺(3)、**タイ褐** シ・壺(1)、**本磁** 肥・碗(1)、近現・小碗(1)、近現・小鉢(1)、その他・磁器(1)、**本陶** 碗(1)、近現・急須(1)、薩・蓋(1)、壺(1)、**沖施** 碗B(1)、皿(2)、急須(1)、鍋(2)、**沖無** 碗(1)、皿(2)、擂鉢(6)、壺(8)、小壺(2)、その他(1)、初期・その他(2)、**陶質** 急須(2)、蓋(1)、**土製品** 土鈴(1)、**石製品**か(1)、**石材**(1)、**骨製品**(1)、**円盤**(2)、**瓦** 明・丸(2)、明・平(5)、明(1)、**塼**(3)
		SK1ホリカタ	**青磁** 碗Ⅳ(1)、**盤**(1)、**中褐** 壺(1)、**瓦** 明・平(1)、明(1)、**塼**(1)
		SK2	**本陶** 肥・皿(1)、薩・その他(2)、**石材**(1)
		SK8	**青磁** 碗Ⅵ(2)、碗(4)、皿(3)、盤(1)、鉢(1)、**白磁** その他(3)、**青花** 景・碗(3)、景・皿(3)、景・高足杯(1)、福広・碗(6)、徳・碗(2)、徳・その他(1)、漳・碗(1)、**中褐** 壺(17)、**褐磁**(1)、**朱泥**(2)、**本磁** 肥・碗(2)、**本陶** 肥・碗(2)、肥・小碗(1)、**沖無** 皿(1)、鉢(3)、擂鉢(2)、瓶(2)、壺(5)、小壺(1)、火炉(1)、土錘(1)、その他(2)、初期・鉢(1)、初期・壺(3)、**銭貨**(1)、**鉄製品**(1)、**瓦** 明・丸(6)、明・平(14)、明(4)、**塼**(4)
		SK9	**青磁** 碗(4)、**青花** 景・碗(2)、景・皿C(1)、景・皿(1)、福広・碗(3)、**中褐** 壺(2)、**本磁** 肥・碗(1)、**本陶** 火入(1)、**沖無** 鉢(1)、擂鉢(3)、急須(2)、蓋(1)、壺(2)、袋物(1)、その他(3)、**硬質** 焙烙(1)、**石材**(3)、**円盤**(1)、**瓦** 明・丸(14)、明・平(18)、明(4)、**塼**(1)
		SK10	**青磁** 碗Ⅵ(5)、碗(1)、**青花** 景・高足杯(1)、**中褐** 壺(1)、**半練** その他(1)、**土器** 宮古(2)、**石器**(1)、**瓦** 明・平(11)
		SK11	**青磁** 碗Ⅴ(1)、碗Ⅳ・Ⅴ(3)、**本陶** 肥・皿(1)、その他(1)、その他・陶器(1)、**石器**(1)、**瓦** 明・平(2)
		SK12	**青磁** 碗Ⅴ(1)、碗Ⅵ(1)、碗(1)、皿(3)、**青花** 徳・碗(2)、**中褐** 壺(4)、**黒釉**(1)、**沖無** 壺(1)、その他(1)、**陶質** 鍋(1)、**土器** 宮古(4)、**石器**(1)、**石材**(1)、**瓦** 明・丸(3)、明・平(1)、明(5)、**塼**(2)
		SK13	**青磁** 碗Ⅳ(2)、碗Ⅴ(3)、碗Ⅵ(2)、香炉(1)、**青花** 景・碗(1)、景・皿(1)、景・小杯(2)、福広・碗(1)、徳・碗(2)、**中褐** 壺(6)、**色絵**(2)、**本磁** 碗(1)、小碗(4)、皿(3)、**本陶** 薩・壺(1)、**沖施** 碗A(1)、碗B1(1)、その他(1)、**沖無** 火炉(1)、袋物(1)、**陶質** 鍋(2)、**土器** 宮古(2)、**石材**(3)、**瓦** 明・丸(11)、明・平(23)、大・丸(1)、大・平(1)、**塼**(4)
		SK13ホリカタ	**青磁** 碗Ⅴ(4)、碗Ⅳ・Ⅴ(2)、碗Ⅵ(1)、碗(2)、その他(1)、**白磁** 皿(2)、**青花** 小杯(1)、**中褐** 壺(1)、**タイ褐** メ・壺(1)、その他・陶器(1)、**瓦質**(1)、**土器**か(2)、**石材**(6)、**瓦** 明・丸(1)、明・平(1)
		SK16	**青磁** 碗(2)、**タイ褐** メ・壺(1)、**本磁** 近現・小碗(1)、**土器** 宮古(1)、**瓦** 明・平(4)
		SK19	**青磁** 碗Ⅳ(3)、碗Ⅳ'(1)、碗Ⅴ(1)、碗Ⅳ・Ⅴ(4)、**白磁** 皿D(4)、徳・小碗(2)、小碗(2)、餌入れか(1)、**青花** 景・碗(10)、小碗(1)、皿(3)、その他(1)、福広・碗(14)、福・碗(1)、徳・皿(2)、**朱泥**(3)、**中褐** 壺(1)、袋物(1)、その他(2)、**褐磁**(1)、**半練** 壺(1)、**本陶** 肥・碗(2)、薩・蓋(1)、薩・土瓶(1)、その他・急須(1)、**本磁** 肥・碗(1)、肥・小碗(5)、肥・皿(1)、肥・瓶(1)、肥・蓋(1)、**沖施** 碗B(4)、鉢(1)、瓶(2)、急須(1)、香炉(1)、袋物(2)、**沖無** 鉢(5)、擂鉢(4)、瓶(1)、急須(2)、蓋(1)、壺(12)、香炉(1)、火炉(3)、袋物(1)、その他(14)、初期・その他(2)、その他・陶器(1)、**陶質**(4)、**瓦質**(2)、**硬質** 焙烙(2)、**土器** 宮古(3)、パナリ(2)、**石材**(1)、**円盤**(1)、**煙管**(3)、**瓦** 明・丸(13)、明・平(31)、明(13)、**塼**(3)
		SK19ホリカタ	**青磁** 碗(2)、盤Ⅰ(1)、**青花** 景・皿(1)、福広・碗(2)、**本陶** 薩・急須(1)、**沖無** 壺(2)、擂鉢(2)、**円盤**(2)、**瓦** 明・丸(1)、明・平(5)、明(1)、**塼**(1)
		SP1	**青磁** 碗Ⅴ(1)、**中褐** 壺(1)
		SP67	**青磁** 碗(1)、**白磁** 皿D(1)、**黒釉**(1)、**土器** 宮古(1)、**銭貨**(2)、**瓦** 明・丸(1)、明(2)
		SP73	**青磁** 酒会壺(1)、**白磁** 皿D(1)、**瓦** 明・平(1)、明(7)
		SP75	**青磁** 碗Ⅵ(1)、**白磁** 小碗(1)、**中褐** 壺(1)、**瓦** 明・丸(1)
		SD1	**青磁** 碗Ⅳ(3)、碗Ⅴ(4)、碗Ⅵ(13)、碗(6)、皿Ⅴ(1)、**白磁** 福・皿D(2)、皿E(1)、福・碗(3)、福・皿(1)、その他(2)、徳・小碗(6)、**青花** 景・碗(5)、景・皿(2)、景・小鉢(1)、福広・碗(5)、福広・大鉢(1)、徳・碗(5)、徳・皿(1)、漳・碗(1)、**中褐** 壺(8)、**褐磁**(1)、**瑠璃釉**(1)、**色絵**(5)、**黒釉**(2)、**紫泥**(1)、**タイ褐** メ・壺(2)、**本磁** 肥・碗(1)、肥・皿(1)、その他・磁器(2)、**本陶** 肥・盤(1)、薩・擂鉢(1)、薩・壺(2)、九州か・碗(1)、碗(1)、**沖施** 碗A(2)、皿(2)、鉢(1)、瓶(7)、急須(2)、蓋(1)、鍋(1)、袋物(1)、火取(1)、灯明具(2)、香炉(1)、火炉(1)、その他(1)、**沖無** 鉢(3)、擂鉢(2)、蓋(1)、壺(20)、甕(2)、その他(4)、初期・壺(3)、**陶質**(3)、**瓦質** 擂鉢(1)、**硬質**(1)、**土器** 宮古(5)、**石器**(2)、**瓦** 明・丸(13)、明・平(36)、大・平(2)、**塼**(6)
		SD1上面	**青磁** 碗Ⅵ(2)、**白磁** 皿E(1)、**青花** 徳・碗(1)、漳・碗(1)、**タイ褐** メ・甕(1)、**本陶** 信・その他(1)、**沖施** 碗A(1)、皿(1)、初期・壺(1)、**沖無** 壺(7)、擂鉢(2)、**陶質** 急須(1)、**土器** 宮古(1)、**石器**(1)、**石材**(4)、**瓦** 明・丸(13)、明・平(19)、**塼**(5)
		SD1トレ1	**青磁** 碗Ⅳ・Ⅴ(1)、幅広高台・碗(1)、皿(1)、**白磁** 皿D(1)、**青花** 景・碗D(1)、景・碗(4)、景・皿B(1)、福広・碗(1)、徳・碗(1)、**黒釉**(1)、**沖無** 壺(2)、その他(2)、**土器** 宮古(1)、パナリ(1)、**陶質** 急須(1)、**金属**(1)、**瓦** 明・丸(3)、明・平(2)、**塼**(1)
		SD1トレ2	**青磁** 碗Ⅵ(1)、碗(4)、**白磁** 皿D(1)、**青花** 碗(2)、**沖無** 壺(2)、擂鉢(2)、**土器** 宮古(3)、**瓦** 明・丸(1)、明・平(3)、明(2)、**塼**(1)
		SS1	**青磁** 碗Ⅳ(1)、碗Ⅳ'(1)、碗Ⅴ(1)、碗(2)、**白磁** 徳・碗(1)、**青花** 福広・碗(5)、漳・瓶(3)、**中褐** 蓋(1)、**褐磁**(1)、**本陶** 唐・大皿(1)、薩・蓋(1)、薩(1)、その他(2)、**本磁** 肥・碗(2)、近現・小碗E(1)、碗(1)、袋物(2)、**沖施** 鉢(2)、擂鉢(4)、瓶(1)、**沖無** 壺(15)、擂鉢(2)、鉢(1)、急須(2)、袋物(1)、その他(8)、初期・その他(1)、**石材**(3)、**円盤**(1)、**瓦** 明・丸(4)、明・平(18)、明(7)、大(1)、**塼**(2)
		SS2	**青磁** 碗Ⅴ(1)、碗Ⅵ(2)、碗(8)、皿Ⅴ(2)、皿(3)、**白磁** 皿D(3)、皿(1)、**青花** 景・皿(1)、景・袋物(1)、福広・碗(2)、福・碗(1)、**中褐** 壺(1)、**黒釉** 碗(1)、**タイ褐** メ・壺(1)、**タイ鉄絵** シ・合子(1)、**本磁** 肥・碗(2)、近現・小碗(1)、**本陶** 薩・壺(2)、その他(1)、**沖施** 碗B(1)、急須(1)、その他(1)、**沖無** 碗(1)、壺(2)、甕(2)、その他(3)、初期・擂鉢(1)、初期・壺(1)、**土器** 宮古(2)、パナリ(2)、**石材**(17)、**銭貨**(2)、**瓦** 明・丸(5)、明・平(1)
		SS2トレ1	**青磁** 碗(2)、盤(1)、**青花** 福広・碗(1)、**中褐** その他(1)、**白釉**(2)、**タイ褐** メ・壺(1)、**本磁** 皿(1)、**沖無** 壺(1)、**石材**(1)、**瓦** 明・丸(3)、明・平(1)、明(2)、高・平(1)
		SS2トレ2	**青磁** 碗Ⅳ・Ⅴ(1)、**中褐** 瓶(1)、壺(1)
		SS5	**青磁** 碗Ⅳ(2)、碗Ⅳ'(1)、碗(6)、皿Ⅴ(2)、盤 底Ⅱ(1)、盤(3)、鉢(1)、**白磁** 福・皿(2)、**本陶** 肥・碗(2)、**石材**(1)、**瓦** 明・平(1)、明(1)、**塼**(1)
		SE1	**青磁** 碗Ⅵ(1)、碗(2)、皿(2)、**青花** 福広・碗(1)、**中褐** 壺(2)、**沖施** 碗A(1)、皿(1)、鉢(1)、急須(1)、蓋(2)、**陶質** 蓋(1)、**瓦質**(1)、**瓦** 明・丸(1)
		SE2	**青磁** 碗Ⅵ(1)、碗(2)、**白磁** 景・皿(1)、皿(1)、**青花** 景・瓶(1)、徳・碗(1)、**中褐** 壺(2)、**褐磁** 景・小碗(1)、**本磁** 肥・皿(1)、近現・皿(1)、近現・小杯(1)、近現・鉢(7)、近現・瓶(2)、**本陶** 近現・小碗(1)、**沖施** 碗C(1)、皿(1)、瓶(1)、急須(1)、酒器(1)、蓋(1)、小壺(1)、**沖無** 壺(2)、その他(2)、**陶質** 火炉(1)、**瓦** 明・丸(5)、明・平(6)、明(2)
		SE2ホリカタ	**青磁** 碗Ⅳ(1)、碗Ⅴ(3)、碗Ⅵ(1)、皿Ⅴ(3)、皿(1)、**中褐** 壺(7)、**磁器** 小碗(1)、**沖施** 火取(1)、**陶質** 蓋(1)
		SE3	**本磁** 肥・碗(1)、肥・皿(1)、近現・小碗(1)、**沖施** 碗C(1)、鉢(1)、**沖無** 壺(2)、**瓦** 明・平(1)
		SX5	**青磁** 碗Ⅴ(2)、碗Ⅵ(9)、碗(11)、皿Ⅴ(2)、盤(1)、**青花** 景・皿(1)、徳・碗(1)、**中褐** 壺(2) **本陶** 備・擂鉢(1)、**土器** 宮古(1)、**石材**(1)、**瓦** 明・軒丸(1)、明・ 軒平(2)、明・丸(1)、明・平(1)、明(1)、大・平(3)、**その他**(2)

※基礎資料は、本報告書の「遺構」又は「遺物」の頁で取り上げた遺構について作成。

第 81 表　第１検出面の遺構内出土遺物２

検出面	地点	遺構名	遺物名
第1検出面	2	SK68	青磁 碗Ⅴ(2)、碗(3)、黒釉(1)、土器 宮古(1)
		SK69	青磁 碗(2)、瓦 明・平(1)、明(2)
		SK73	青磁 碗Ⅴ(1)、碗Ⅵ(1)、碗(4)、皿(1)、白磁 皿E(1)、青花 景・瓶(1)、中褐 壺(4)、本磁 肥・小碗(1)、沖無 擂鉢(1)、土器 宮古(2)、石材(1)、瓦 明・平(1)、明(5)
		SK75	青磁 碗Ⅴ(1)、碗Ⅳ・Ⅴ(1)、袋物(1)、中褐 壺(2)、土器 宮古(2)、銭貨(4)
		SK76	青磁 碗Ⅳ・Ⅴ(1)、碗(2)、皿(1)、白磁 福・碗(1)、青花 景・小杯(1)、中褐 壺(6)、タイ褐 メ・壺(1)、本陶 壺(1)、本磁 近現・皿B(1)、袋物(1)、土器 宮古(2)、パナリ(1)、銭貨(1)、瓦 明(2)
		SP136	青磁 碗Ⅳ・Ⅴ(1)、碗Ⅵ(2)、瑠璃(1)
		SP142	青磁 皿(1)、タイ褐　メ・壺(1)
		SD5	青磁 碗Ⅳ(1)、碗Ⅳ'(1)、碗Ⅴ(12)、碗Ⅳ・Ⅴ(6)、碗Ⅵ(5)、碗(31)、皿Ⅳ(1)、皿(1)、高足杯(1)、盤Ⅰ(3)、盤底Ⅰ(1)、盤(1)、白磁 碗D'(1)、皿D(6)、その他(1)、青花 景・皿(2)、景・小杯(2)、中褐 壺(13)、タイ褐 シ・壺(2)、シ・瓶(1)、土器 宮古(9)、石材(2)、瓦 明・丸(3)、明・平(8)、明(2)、塼(3)
		SU5	青磁 碗Ⅴ(5)、碗Ⅵ(1)、碗(1)、皿Ⅴ(2)、皿(1)、白磁 皿D(1)、その他(2)、青花 景・碗(1)、景・小杯(1)、中褐 植木鉢(2)、壺(3)、タイ褐 メ・壺(1)、シ・壺(2)、瑠璃(1)、土器 宮古(9)、石材(5)、鉄製品か(1)、瓦 明・丸(1)、明・平(4)、明(9)
		SE4	青磁 碗Ⅴ(2)、碗Ⅵ(2)、碗(4)、皿(1)、白磁 景・皿(1)、福・皿D(1)、青花 景・碗(1)、景・小碗(1)、景・皿(1)、景・小杯(1)、中褐 壺(5)、色絵(1)、本陶 備・擂鉢(1)、急須(1)、その他(1)、本磁 近現・碗(2)、近現・皿(2)、袋物(1)、その他(3)、沖施 碗A(1)、急須(1)、袋物(1)、陶質(3)、土器 宮古(1)、瓦 明・軒平(1)、明・丸(5)、明・平(26)、明(5)、塼か(1)、その他(2)
		SX10	青磁 碗Ⅳ(2)、碗Ⅴ(13)、碗Ⅵ(3)、碗(9)、皿Ⅴ(1)、皿(2)、盤底Ⅱ(1)、盤・その他(2)、香炉(1)、白磁 碗C(1)、皿D(1)、皿(1)、中褐 壺(8)、白釉 壺(1)、タイ褐 メ・壺(1)、沖施 碗A(1)、蓋(1)、酒器(1)、沖無 擂鉢(1)、瓦質 本土・擂鉢(1)、土器 宮古(8)、その他(1)、円盤(1)、銭貨(1)、瓦 明・平(3)
		SX11	青磁 碗Ⅳ(1)、碗Ⅴ(8)、皿Ⅳ・Ⅴ(1)、盤Ⅰ(1)、白磁 皿D(7)、青花 徳・碗(1)、碗(1)、中褐 壺(5)、土器 宮古(9)、瓦 明・平(1)
	3	SK86	青磁 碗Ⅵ(1)、碗(2)、皿Ⅴ(1)、盤(1)、白磁 皿D(1)、徳・小碗(1)、青花 景・皿C(1)、福広・碗(2)、中褐 壺(4)、紫泥(1)、タイ褐 シ・壺(1)、本磁 肥・碗(2)、肥・皿(1)、肥・仏飯具(1)、沖無 壺(2)、その他・陶器(1)、瓦質 その他(1)、円盤(1)、瓦 明・丸(2)、明・平(5)、瓦製品(1)、塼(1)
		SK86ホリカタ	青磁 碗Ⅳ(3)、碗Ⅴ(1)、碗Ⅵ(3)、碗(5)、盤(1)、白磁 皿D(2)、青花 景・碗(1)、景・小碗(1)、中褐 壺(3)、本磁 近現・皿(1)、本陶 碗(1)、陶器 その他(1)、瓦 明・丸(3)、明・平(2)、明(2)
		SK86清掃中	青磁 碗(1)、白磁 皿D(2)、沖無 初期・鉢(1)、金属(1)、瓦 明・平(1)
		SK87	青磁 碗Ⅳ(1)、碗Ⅵ(1)、碗(6)、白磁 碗(2)、杯(1)、小杯(1)、青花 漳・皿(1)、中褐 その他(1)、沖無 初期・壺(4)、石材(2)、銭貨(3)、瓦 明・丸(2)、明・平(6)、塼(1)
		SK87ホリカタ	青磁 碗Ⅳ・Ⅴ(1)、碗(3)、皿(1)、瓶(2)
		SK88	青磁 碗(3)、白磁 福・皿D(1)、徳・小碗(1)、青花 景・碗(1)、景・小碗(1)、福広・碗(4)、福・皿(1)、徳・碗(1)、中褐 壺(3)、褐磁(1)、本磁 肥・小碗(1)、本陶 肥・皿(1)、薩 壺(1)、沖無 壺(3)、その他(5)、初期・その他(1)、瓦質 鉢(2)、土器 宮古(1)、石材(2)、煙管(1)、瓦 明・丸(5)、明・平(16)、明(22)
		SK88ホリカタ	青磁 碗Ⅴ(1)、碗(3)、皿Ⅳ(1)、皿Ⅴ(1)、皿(1)、盤(1)、タイ褐 シ・壺(1)、本磁 肥・瓶(1)、その他(1)、本陶 薩(1)、石材(4)、瓦 明・丸(2)、明・平(1)、明(4)
		SK88上層	青花 景・皿(2)、福広・碗(2)、福広・小碗(2)、中褐 壺(2)、その他(1)、褐磁(1)、本磁 肥・碗(2)、肥・小碗(2)、本陶 肥・杯(1)、関西・碗(1)、沖施 碗B(1)、沖無 鉢(1)、壺(3)、その他(3)、硬質(1)、円盤(3)、瓦 明・丸(5)、明・平(5)
		SK88下層	青花 福広・碗(2)、沖無 壺(1)
		SK89上層	青磁 皿(1)、白磁 徳・小碗(9)、青花 徳・碗(5)、徳・小碗(3)、中褐 壺(3)、袋物(1)、本陶 肥・小碗(1)、近現・香炉(1)、沖施 碗A(11)、小碗(1)、皿(3)、杯(1)、瓶(1)、鍋(7)、火炉(1)、その他(1)、沖無 鉢(3)、擂鉢(7)、瓶(1)、壺(8)、甕(3)、火炉(1)、陶質 蓋(1)、鍋(13)、石材(2)、円盤(2)、銭貨(3)、瓦 明・丸(4)、明・平(3)、明(10)
		SK89ホリカタ	青磁 碗Ⅳ・Ⅴ(2)、碗Ⅵ(1)、碗(2)、盤(2)、白磁 皿D(1)、青花 皿(1)、中褐 壺(1)、本磁 近現・皿(1)、石材(1)、石製品か(1)、瓦 明・平(1)、明(1)、塼(1)
		SK136	青磁 皿(1)、青花 景・皿(1)、福広・皿(1)、中褐 壺(1)、タイ褐 シ・壺(1)、土器 宮古(1)、石材(1)、瓦 明・丸(2)、明・平(5)、明(9)
		SS6	青磁 碗Ⅴ(3)、碗Ⅳ・Ⅴ(1)、碗Ⅵ(1)、碗(4)、皿(3)、盤(1)、中褐 壺(1)、白釉 壺(1)、沖無(1)、瓦質 本土・火鉢(1)、土器 宮古(2)、その他(1)、石材(1)、円盤(1)、瓦 明・平(1)、塼(1)
		SS6ホリカタ	瓦 明・平(3)、明(1)、瓦製品(2)、その他(1)

第 82 表　第２検出面の遺構内出土遺物

検出面	地点	遺構名	遺物名
第2検出面	1	SK35	青磁 碗(1)、中褐 その他(1)、銭貨(1)
		SK36	青磁 碗(1)、タイ無釉 バ・壺(1)、ベ青花 碗(1)、塼(1)
		SK58	青磁 碗Ⅳ(2)、瓦 明・平(1)、明(2)
		SP13	中褐 壺(1)、煙管(1)、瓦 明(1)
		SP17	瓦質 擂鉢(1)、土器 宮古(1)、瓦 明・平(1)
		SP31	青磁 碗(2)、青花 景・碗B(1)、中褐 その他(1)
		SP38	白磁 福・碗(1)、黒釉(1)、瓦 明・平(1)、明(1)
		SP43	青磁 碗Ⅳ(1)、瓶(1)、青花 景・碗B(1)、瓦 明(1)
		SP48	青磁 その他(1)、白磁 碗C(1)
		SP57	白磁 壺(1)、黒釉(1)、銭貨(1)
		SP61	青磁 碗Ⅳ(1)、碗Ⅴ(1)、本磁 近現・碗(1)、瓦 明・平(1)
		SP63	青磁 碗Ⅳ(1)、碗Ⅴ(1)、本磁 近現・碗(1)、瓦 明・平(2)
		SP68	青磁 碗(2)、瓦 明・平(2)
		SP81	青磁 盤(1)
		SP83	中褐 壺(1)、土器 宮古(1)、瓦 明(1)
		SU2	青磁 碗(2)、皿Ⅴ(1)、青花 景・皿(1)、瓦 明(2)
		SU3	青磁 碗Ⅳ(1)、碗Ⅵ(2)、碗(1)、皿(2)、タイ青磁 袋物(1)、石材(1)、銭貨(3)、瓦 明(4)
		SS3	青磁 碗Ⅳ(29)、碗Ⅳ'(1)、碗Ⅴ(26)、碗Ⅳ・Ⅴ(22)、碗Ⅵ(3)、碗(29)、皿Ⅳ'(1)、皿Ⅴ(3)、皿Ⅵ(1)、皿(4)、盤Ⅰ(7)、盤底Ⅰ(2)、盤底Ⅱ(1)、盤(6)、香炉(1)、器台(1)、その他(1)、白磁 景・碗(3)、福広・皿(1)、福・碗C(3)、福・碗(1)、福・小碗D(1)、福・皿D(16)、青花 景・碗(2)、景・皿(1)、中褐 壺(11)、黒釉(2)、本陶 薩・碗(1)、合子(1)、沖施 碗A(1)、土器 宮古(2)、石材(7)、銭貨(1)、瓦 明・丸(1)、明・平(6)、明(5)、高・平(1)
		SS4	青磁 皿Ⅴ(1)、皿(1)、青花 福・碗(1)、中褐 その他(1)、黒釉(1)、タイ褐 壺(1)、沖無 初期・その他(1)、石材(1)、瓦 明・丸(4)、明・平(1)、明(2)、塼(1)
		SS5	青磁 碗Ⅳ(2)、碗Ⅳ'(1)、碗(6)、皿Ⅴ(2)、盤Ⅰ(1)、盤Ⅳ(1)、盤底Ⅱ(1)、盤(1)、鉢(1)、白磁 福・皿D(2)、本磁 肥・碗(2)、石材(1)、瓦 明・平(1)、明(1)、塼(1)
	2	SK81	青磁 碗Ⅴ(2)、碗(10)、白磁 福・皿D(9)、福・皿(1)、瓦 明(1)
		SK82	青磁 碗Ⅵ(1)、盤底Ⅱ(1)、土器 宮古(1)、その他(1)
		SK83	青磁 碗Ⅳ(3)、碗Ⅴ(4)、碗Ⅳ・Ⅴ(4)、碗Ⅴ・Ⅵ(3)、碗Ⅶ(1)、盤Ⅱ(1)、盤底Ⅰ(1)、盤(1)、白磁 福・皿D(2)、中褐 壺(3)、黒釉(1)、石材(1)、窯道具 ハマ(2)
		SP159	青磁 碗Ⅵ(1)、その他(1)
		SP161	青磁 碗(1)
		SP165	青磁 碗(2)
		SP191	青磁 碗Ⅴ(1)、土器 宮古(1)、瓦 明・平(1)
		SP227	青磁 碗Ⅳ(1)、碗Ⅴ(2)、碗(2)、白磁 皿D(1)、土器 宮古(1)
		SP233	青磁 碗Ⅵ(1)
		SP235	青磁 碗Ⅵ(2)、皿Ⅴ(1)、皿(1)、青花 景・皿(1)、土器 宮古(1)、瓦 明(1)
		SP253	青磁 碗Ⅴ(1)、皿Ⅴ(1)、皿(1)、沖施 碗A(1)、土器 宮古(2)、石材(1)
		SP259	黒釉(1)
		SP271	青磁 碗Ⅵ(1)、碗(1)
		SP280	中褐 その他(1)
		SU7	中褐 壺(1)
		SU8	青磁 碗Ⅴ(2)、碗Ⅵ(1)、白磁 福・皿D(2)、黒釉(1)、土器 宮古(1)
		SU9	青磁 皿(3)、白磁 福・皿D(11)、中褐 壺(1)、土器 宮古(1)
		SX12	青磁 碗Ⅳ(1)、碗Ⅴ(24)、碗Ⅳ・Ⅴ(15)、碗Ⅵ(2)、碗(8)、皿Ⅴ(5)、皿(2)、盤Ⅰ(1)、盤Ⅱ(1)、白磁 福・碗(1)、福・皿D(3)、青花 景・碗(1)、中褐 壺(8)、鉢(1)、タイ褐 メ・壺(1)、沖施 壺(1)、土器 宮古(64)、石材(2)、鉄製品(2)、瓦 明(6)、大か(1)、瓦製品(1)
		SX13	青磁 碗Ⅳ(2)、碗Ⅴ(61)、碗Ⅳ・Ⅴ(11)、碗Ⅵ(2)、碗(10)、皿Ⅳ(2)、皿Ⅴ(13)、皿(7)、盤Ⅰ(1)、盤Ⅲ(1)、盤底Ⅰ(1)、盤(2)、白磁 景・碗E(1)、景・皿(1)、福・皿D(47)、青花 景・小碗(1)、中褐 壺(2)、タイ褐 シ・壺(1)、その他・陶器(1)、土器(1)
		SX13下層	青磁 碗Ⅳ(5)、碗Ⅳ'(2)、碗Ⅴ(156)、碗Ⅵ(1)、碗(2)、皿(3)、白磁 福・碗C(1)、福・皿D(205)、青花 景・碗B(1)、景・碗(3)、中褐 壺(20)、タイ褐 シ・壺(4)、メ・壺(1)、土器 宮古(4)、石材(1)、骨製品 ヤス(1)、銭貨(1)、鉄製品(2)、瓦 明(3)、瓦製品(3)
		SX14	青磁 碗Ⅳ(8)、碗Ⅳ'(2)、碗Ⅴ(17)、碗Ⅳ・Ⅴ(2)、碗Ⅵ(12)、碗(10)、皿Ⅴ(5)、皿Ⅳ・Ⅴ(1)、皿(3)、盤Ⅲ(1)、盤底Ⅰ(1)、白磁 景・碗(1)、福・皿D(12)、青花 景・小碗(1)、中褐 壺(8)、色絵(1)、黒釉(1)、白釉(1)、瓦質 本土(1)、土器 宮古(22)、石材(6)、貝製品 貝錘(1)、銭貨(4)、瓦 明(1)、瓦製品(2)、その他(1)
		SX15	青磁 碗Ⅳ(2)、碗Ⅳ・Ⅴ(1)、碗Ⅴ(2)、碗(1)、皿(2)、白磁 福・皿D(1)、銭貨(2)
		SX16	青磁 碗Ⅴ(5)、碗Ⅳ・Ⅴ(1)、碗Ⅵ(1)、碗(6)、皿(2)、盤Ⅰ(1)、盤(2)、鉢(1)、タイ褐 シ・壺(1)、銭貨(2)、瓦 明・平(1)

第 83 表　第２・３検出面の遺構内出土遺物

検出面	地点	遺構名	遺物名
第2検出面	3	SK90	**青磁** 碗VI(4)、**青花** 福広・皿(2)、**中褐** 壺(1)、**沖無** 壺(1)、**土器** パナリ(1)、**石材**(1)、**瓦** 明・軒丸(1)、明・平(2)、**塼**(12)
		SK91	**青磁** 幅広高台碗(1)、碗(2)、**白磁** 景・碗(1)、景・皿E(1)、景・皿(1)、福・碗D(1)、碗(2)、福・杯D(1)、**青花** 福広・碗(1)、その他(1)、**中褐** 壺(1)、**タイ鉄絵** シ・合子(1)、**瓦質** 植木鉢(1)、その他(2)、**土器** 宮古(5)、**石材**(1)、**瓦** 明・丸(1)、明・平(2)、明(3)、**塼**(1)
		SK92	**青磁** 碗Ⅴ(1)、碗(1)、**白磁** 福・皿D(1)、**青花** 景・碗B(1)、**中褐** その他(1)、**三彩**(1)、**土器** パナリ(1)、**瓦** 明・平(3)、明(2)
		SK93	**青磁** 碗IV(1)、碗Ⅴ(1)、碗IV・Ⅴ(2)、碗VI(2)、碗(7)、皿IV'(1)、皿(1)、盤Ⅰ(1)、**白磁** 福・皿D(3)、**青花** 景・碗(2)、**中褐** 鉢(1)、壺(5)、その他(1)、**タイ褐** シ・壺(1)、**本磁** 近現・小碗(1)、**沖無** 壺(1)、その他(1)、**石材**(1)、**瓦** 明・軒平(1)、明・丸(2)、明・平(5)、明(2)、**瓦製品**(1)、**塼**(1)、**その他**(1)
		SK95	**青磁** 碗IV・Ⅴ(2)、碗VI(4)、碗(14)、皿Ⅴ(1)、皿(1)、袋物(2)、**白磁** 福・皿D(1)、**青花** 福広・皿(1)、**中褐** 壺(1)、その他(1)、**タイ褐** シ・壺(1)、**半練** 壺(1)、**本陶** 薩(1)、**陶質**(1)、**土器** 宮古(1)、**石材**(2)、**瓦** 明・軒平(1)、明・丸(1)、明・平(1)
		SK102	**青磁** 皿(3)、**中褐** 鉢(1)、**土器** 宮古(4)、**骨製品** 荷札か(1)、**瓦** 明・平(1)、明(1)
		SK118	**青磁** 碗IV(2)、碗Ⅴ(2)、碗VI(4)、碗(11)、皿IV'(1)、皿Ⅴ(3)、皿(10)、盤Ⅱ(1)、盤底Ⅰ(1)、盤(1)、擂鉢(1)、袋物(1)、**白磁** 福・碗(1)、福・皿D(4)、福・皿(1)、福・瓶(1)、**青花** 景・碗(3)、景・小碗(1)、**中褐** 壺(4)、**タイ褐** シ・壺(2)、**半練** 蓋(1)、その他(1)、**本陶** 壺(1)、その他・陶器(3)、**陶質** その他(1)、**土器** 宮古(6)、**石器**(1)、**石材**(5)、**瓦** 明・軒丸(1)、明・丸(1)、明・平(4)、明(5)、**塼**(3)、**その他**(6)
		SK131	**青磁** 碗VI(3)、碗(1)、**青花** 景・皿(2)、**中褐** 壺(1)、**半練** 壺(1)、**土器** 宮古(1)、**石材**(5)、**瓦** 明・軒平(1)、明・丸(1)、明・平(10)、明(4)、大・平(1)、**塼**(1)、**その他**(1)
		SK133	**青磁** 碗Ⅴ(1)、碗(5)、小碗(1)、盤Ⅱ(1)、**白磁** 景・皿D(1)、福・碗(1)、**青花** 景・碗(1)、漳・瓶(1)、**中褐** 壺(7)、**タイ鉄絵** シ・ 合子(1)、**本陶** 薩(1)、**土器** 宮古(16)、**瓦** 明・丸(4)、明・平(5)、明(2)、**塼**(3)
		SK136	**青磁** 皿(1)、**青花** 景・皿(1)、福広・皿(1)、**中褐** 壺(1)、**タイ褐** シ・壺(1)、**土器** 宮古(1)、**石材**(1)、**瓦** 明・丸(2)、明・平(5)、明(9)
		SP319	**白磁** 景・碗(1)、景・皿(1)
		SP344	**青磁** 碗Ⅴ(1)、碗IV・Ⅴ(1)、**土器** 宮古(1)、**円盤**(1)
		SP420	**青磁** 皿Ⅴ(1)、**白磁** 福・皿D(1)、**黒釉**(1)
		SL1	**青磁** 碗Ⅴ(2)、碗(1)、皿(1)、**白磁** 福・皿D(1)、**青花** 景・碗(5)、**タイ褐** メ・壺(1)、**瓦** 明・平(2)、**その他**(3)
		SX25	**青磁** 碗IV'(1)、碗VI(2)、碗(3)、盤Ⅰ(1)、盤(2)、**青花** 景・小杯(1)、**中褐** 壺(2)、**半練** その他(1)、**沖無** その他(1)、**土器** 宮古(1)、パナリ(1)、**石材**(1)、**瓦** 明・丸(6)、明・平(15)、明(13)、大・丸(1)、**塼**(2)
		SX26	**青磁** 碗IV(1)、碗Ⅴ(2)、碗VI(1)、皿(3)、盤(2)、**白磁** 福・皿D(1)、**青花** 景・碗B(1)、景・碗(1)、**中褐** 壺(5)、**タイ褐** シ・壺(1)、**土器** 宮古(1)、**石材** (1)、**銭貨**(1)、**瓦** 明(1)、**瓦製品**(1)
		SX27	**青磁** 碗IV(1)、碗Ⅴ(2)、碗IV・Ⅴ(1)、碗VI(2)、碗(2)、皿VI(2)、香炉(1)、**白磁** 福・皿D(4)、**中褐** 壺(2)、**半練** 蓋(1)、**本陶** 備・擂鉢(1)、**瓦質** その他(1)、**土器** 宮古(5)、**石器**(1)、**石製品**(1)、**石材**(2)、**瓦** 明・平(3)、明(2)、**塼**(5)、**その他**(2)
第3検出面	1	SD2	**青磁** 碗(2)、皿Ⅴ(1)、皿(1)、**石材**(2)
		SD3	**青磁** 碗IV'(1)、碗Ⅴ(2)、碗(5)、皿Ⅴ(1)、盤Ⅰ(1)、香炉(1)
		SD4	**青磁** 碗IV(7)、碗Ⅴ(6)、碗(3)、皿Ⅴ(2)、皿(1)、盤(1)、鉢(1)、その他(1) **白磁** 碗(1)、**中褐** 壺(2)

凡例：　種類

中国産青磁・・・・・・・・青磁
中国産白磁・・・・・・・・白磁
中国産青花・・・・・・・・青花
中国産褐釉陶器・・・・・・中褐
中国産色絵・・・・・・・・色絵
中国産瑠璃釉・・・・・・・瑠璃
中国産褐釉磁器・・・・・・褐磁
中国産黒釉陶器・・・・・・天目
中国産三彩・・・・・・・・三彩
タイ産青磁・・・・・・・・タイ青
タイ産褐釉陶器・・・・・・タイ褐
タイ産半練土器・・・・・・半練
ベトナム産青花・・・・・・ベ青花
高麗青磁・・・・・・・・・高青
本土産陶器・・・・・・・・本陶
本土産磁器・・・・・・・・本磁
沖縄産施釉陶器・・・・・・沖施
沖縄産無釉陶器・・・・・・沖無
陶質土器・・・・・・・・・陶質
瓦質土器・・・・・・・・・瓦質
カムィヤキ・・・・・・・・カムイ
円盤状製品・・・・・・・・円盤
金属製品・・・・・・・・・金属
ガラス製品・・・・・・・・ガラス

産地

福建産　・・・・・・・・・福
福建・広東系・・・・・・・福広
泉州窯系　・・・・・・・・泉
磁灯窯系　・・・・・・・・磁
景徳鎮窯　・・・・・・・・景
漳州窯　・・・・・・・・・漳
徳化窯　・・・・・・・・・徳
シーサッチャナライ・・・・シ
メナムノイ・・・・・・・・メ
バンプーン・・・・・・・・バ
薩摩・・・・・・・・・・・薩
肥前・・・・・・・・・・・肥
備前・・・・・・・・・・・備
信楽・・・・・・・・・・・信

瓦

明朝系・・・・・・・・・・明
高麗系・・・・・・・・・・高
大和系・・・・・・・・・・大
丸瓦・・・・・・・・・・・丸
平瓦・・・・・・・・・・・平
軒丸瓦・・・・・・・・・・軒丸
軒平瓦・・・・・・・・・・軒平

その他

近現代・・・・・・・・・・近現

第６章　総括

以上、沖縄県立離島児童生徒支援センター建設に伴う記録保存を目的とした東村跡緊急発掘調査の成果について、層序や遺構別に報告を行った。ここではあらためて各時期の遺構・遺物について再整理を行うとともに、本遺跡の特徴的な遺構・遺物についてまとめ、総括とする。

遺跡の立地

東村跡は琉球王国の当時、海外交易の玄関口であった那覇港と近接する地点に位置していた。今調査箇所は、本遺跡範囲の南側の一部であり、那覇港に近接したかつての海岸線近くの低地で、標高は約３ｍである。その周辺には天使館、親見世等、琉球王国の歴史を語る上で重要な施設が点在していた。

層序

本遺跡の基本層序として７枚の層序が確認された。これらはグスク時代～近代（戦前）における数回に及ぶ造成等に伴う堆積土で、その内訳は次のとおりである。Ⅰ層は現代の造成土。Ⅱ層が近代～戦前の造成土、第１検出面（Ⅲ層上面）は 17 世紀～ 19 世紀代、Ⅲ層は 15 世紀後半～ 16 世紀中頃を主体、第２検出面（１地点ではⅣ層上面、２・３地点ではⅥ層上面）は 15 世紀代を主体とし、一部 16 世紀以降の遺構がみられる。Ⅳ層は 15 世紀前半～中頃を主体、Ⅴ層は 14 世紀中頃～ 15 世紀前半を主体、第３検出面（Ⅵ層上面）は 14 世紀中頃～ 15 世紀前半を主体とする。

遺構

遺構は、大きく３つの検出面で確認された。第１検出面はⅢ層上面、第２検出面は１地点ではⅣ層上面、２・３地点ではⅥ層上面、第３検出面はⅥ層上面（１地点のみ検出）である。

第１検出面（Ⅲ層上面）

青磁や白磁等、グスク時代の遺物から、清代の青花、近世の沖縄産陶器、近代以降の本土産陶磁器等の出土より、17 世紀～ 19 世紀代が主体と考えられ、一部については近代（戦前）と判断される。遺構は、建物跡（ピット）や土坑、方形石組遺構、溝状遺構、獣骨集積遺構、石列、井戸跡等が確認された。

ピット群・土坑

検出されたピットのうち、明確な建物プランと判断できたものは、２地点で確認された建物跡１（SB4）のみである。建物跡は、柱穴内に約 40 × 30cm 大の地下式礎石を伴うものが検出された。柱穴は２基のみ確認され、柱穴間の距離は約 140cm である。建物の規模や構造等については不明である。

方形石組遺構

調査区全体で７基確認された。中でも３地点の SK86 ～ 89 は北西 ‐ 南東方向（北 60 度西）に、ほぼ等間隔（約３ｍ間隔）に並ぶ。それぞれの規模は、大きいものが 175 × 140cm、小さいもので 100 ×（70）cm が確認された。石組はほぼ垂直方向に積まれているが、SK19 をみると西壁は傾斜する特徴がみられる。その他、SK88 は円形石組遺構（SK136）を切る状況が確認された。方形石組遺構の年代や用途等に関する知見を得るために、１地点の SK19 下層出土炭化材について放射性炭素年代測定を行った結果、230 ± 20BP（17 世紀中頃以降）の値が示された。本遺構からは清代の徳化窯製品、本土産、沖縄産陶器等の出土がみられ、年代的には 17 世紀～ 19 世紀代を示している。この出土遺物の内容と年代測定結果は調和的といえる。また、その用途については、本遺構の下層埋土について詳細に分析した結果、食糧残滓を含む生活残滓が確認された。これにより、自然科学分析の成果からはゴミ捨て場等の利用の可能性が高いと考えられる。この結果を踏まえてその他の方形石組遺構についても検討すると、SK19 と同様な出土資料がみられるため、方形石組遺構についてはゴミ捨て場として利用された可能性が考えられる。

溝状遺構

１地点と２地点で確認され、SD1 は方形石組遺構（SK19）方向へ、また SD5 は井戸（SE4）方向へ延びるように検出されており、これらは水を誘導する機能が考えらえる。

獣骨集積遺構

１基確認された。２地点で確認された SU5 は、イノシシ / ブタの幼獣の骨が４個体分出土していることが注目される。

石列

３地点において１基確認された。規模は全長 4.2 m、幅 40cm で、北東 ‐ 南西方向に延び、西側に面をもつ。方形石組遺構（SK87・88）間を仕切る位置関係にあるが、区画としての機能があるのか、詳細については不明である。

井戸跡

井戸跡は５基確認された。いずれも直径 80cm 前後の同規模であり、石灰岩切石の積み方も、相方積みで共通する。下部まで断ち割りできたものをみると、岩盤から石灰岩切石を積み上げている状況が確認された。戦前まで付近に住んでいたという地元住民の方からは､周辺には防火水槽用の井戸があった事や、井戸の水は海水混じりで飲めないため、飲料用の水は買いに行っていたという内容のお話を伺うことができた。かつて東町一体では何度か火事が起こったことが記録にも残っている。これらの情報により、今回確認された井戸は、飲料用ではなく、防火用として造られたものと考えられる。なお、SE4 内の埋土からは本土産の近現代磁器の他、沖縄戦時の不発弾が見つかったことから、終戦後の早い時期に埋められたものと考えられる。

近代（戦前) の遺構

この他、第１検出面からは近代（戦前）の遺構が見つかった。

建物基礎

SS1 と SS2 は建物基礎部分（フーチン）と考えられる。那覇市歴史博物館が製作した戦前（昭和初期）の那覇中心部の復元模型に、調査箇所の一部分が含まれる。この模型資料を参考にすると、SS1 と SS2 が検出された付近には「沖縄書籍株式会社」という２階建ての書籍会社があったことがうかがえ、本遺構との関連性が考えられる。

第２検出面（１地点ではⅣ層上面、２・３地点ではⅥ層上面）

青磁や白磁等、グスク時代の遺物から、15 世紀代を主体とし、一部 16 世紀以降の遺構がみられる。遺構は、建物跡（ピット）や土坑、円形石組遺構、石列、窯跡、貝集積、廃棄土坑等が確認された。

ピット群・土坑

ピットや土坑は多数検出された。中でもピットは密集して検出され､明確に建物跡と判断できたものは、１地点で確認された建物跡２（SB3）及び２地点で確認された建物跡３（SB7）である。ピットは直径約 20 ～ 30cm、いずれも掘立柱建物である。建物跡２の平面プランは長方形状を呈し、規模は梁行 2.3 m、建物跡３については平面プランや規模は不明である。２棟の軸（向き）は揃っていない。ピットや土坑の検出数は最も多く、それぞれ切り合った状況で検出され、建物プランの把握が難しかった。このような状況から、何回も建て直しが行われた様相がうかがえ、本遺跡における建物は渡地村跡の調査（那覇市 2012）でも言及された簡易的な建物や暫定的な施設が存在した可能性が考えられる。

円形石組遺構

６基確認され、年代や用途等に関する知見を得るために、３地点の SK133 の最下層（６層）から出土した炭化材について、放射性炭素年代測定を行った結果、補正年代で 330 ± 20BP、暦年代で calAD 1,484 ～ calAD 1,639 の値が示された。本遺構からは青磁碗Ⅴ類、白磁皿Ｅ群、漳州窯系の青花、本土産陶器（薩摩)、宮古式土器、明朝系瓦等の出土がみられ、年代的には 15 世紀中頃～ 17 世紀前半代を示し

ている。出土遺物の内容と年代測定結果とに大きな差異はみられない。また本遺構内埋土の分析からは寄生虫卵 (回虫卵) が確認されたことより、糞便を廃棄していたと考えられる。また、SK136 の円形石組遺構が SK88（方形石組遺構）に切られた状態で検出されたことより、近世以前は円形の石組遺構で、近世以降には方形状に変わることが想定される。

円形石組遺構の類例として、首里城跡御内原北地区で検出された 17 世紀前半の円形石組遺構が挙げられる。遺構内からは糞石が多く検出された他、多量の食糧残滓も出土し、生活ゴミを廃棄したシーリ遺構（沖縄の方言で生ゴミを廃棄する穴、肥溜めを指す）と考えられている。

石列

１地点で２基確認された。SS3 と SS5 は北東－南西方向に並行するように検出されたが、小範囲での検出に留まり、全体規模は不明である。機能については区画の可能性も考えられる。

窯跡

窯跡は３地点で１基確認された。全長は約 1.8m の規模で、燃焼部と灰原部に分けられ、堆積土には炭粒を多く含む。本遺構から出土した炭化材について、放射性炭素年代測定を行った結果、補正年代で 660 ± 20BP、暦年代で calAD 1,280 ～ calAD 1,389 の値が示された。出土遺物をみると、青磁碗Ｖ類、白磁皿Ｄ群、明代の青花、タイ産褐釉陶器、明朝系瓦等が得られており、陶磁器の年代から本遺構が廃棄されたのは 15 世紀以降と考えられる。どのような作業に使用された窯かについては不明である。

貝集積遺構

第２検出面で８基確認された。特に主体を占めるサラサバテイを観察すると、殻は同じサイズ・形状の破片がまとまる様相が確認され、単に食糧残滓とは考えにくい状況であった。また、首里城跡銭蔵東地区で見つかった螺鈿細工に利用されたとされるサラサバテイと割れ方が類似する様相がみられたため、同地区における分析方法を参考に整理を行った結果、利用された貝については大形のものが持ち込まれていること、また貝の利用の仕方をみると、体層部分を小さい破片に加工するような利用の仕方がうかがえた。このような様相は、首里城跡銭蔵東地区から出土した資料と同様な特徴を示していることが分かった。また、多数出土したヤコウガイについても、同地区における分析方法を参考にして整理を行った結果、大形のものが持ち込まれていること、またヤコウガイの殻には人為的な切断痕や穿孔の痕跡等がみられ、明らかに何らかの素材として利用するために手が加えられている様相が確認された。

以上のことより、本遺跡出土のサラサバテイ及びヤコウガイについても螺鈿素材としての利用が考えられる。整理すると、首里城内で螺鈿細工が行われた 15 世紀後半～ 16 世紀前半頃、本遺跡においても、螺鈿細工が行われていた可能性が考えられる。しかしながら、本遺跡では出土した貝類遺体については、土壌水洗選別による細片の確認は行っておらず、螺鈿のパーツと考えられる研磨がみられる小破片の抽出に至っておらず、決定的な証拠に欠けるという課題があり、今後さらなる検討が必要である。

廃棄土坑（SX13）

土坑内から多量の青磁や白磁、染付、貝、大型の獣骨類等が出土した。この状況から破損した輸入製品や食料残滓等を廃棄した土坑と考えられる。注目されるのが、陶磁器類がまとまって出土したことである。自然遺物を除いて総点数 725 点の遺物がまとまって出土した。その内訳は、青磁、白磁、褐釉陶器（中国産、タイ産）の他、僅かに明代の青花、白釉陶器、黒釉陶器、産地不明陶器の蓋、瓦質土器、銭貨、金属製品、板状の瓦製品等が出土している。中でも青磁が５割、白磁が４割を占めており、青磁碗Ｖ類、白磁皿Ｄ群を主体とする。青磁はⅣ類～Ⅵ類が確認された。青磁Ⅵ類（弁先が繋がる細蓮弁文で、青磁Ｖ類末相に相当するもの）は４点に留まる。また、青花は明代のものが僅か７点の出土である。年代的には 15 世紀前半～中頃を主体とする一群であると考えられ、首里城京の内跡 SK01 出土資料（1459 年焼失の倉庫跡から出土した陶磁器一括資料）とそれほど差がない頃の一群（SX13 の一括資料が若干古くなるか）と思われる。また、器種構成をみると、青磁碗が全体の 42%、白磁皿が全体の 35% を占めており、

種類によって器種構成に差がみられるのも注目される。

このように破損した輸入製品を一括で廃棄した様相は、当時の東村が交易品の集積地として機能したことを示すと考えられ重要である。同様の遺構は渡地村跡でも確認されている（那覇市 2012）。

第３検出面（１地点のⅥ層上面）

確認された遺構は少なく、溝状遺構が３基確認されたのみである。いずれも北東 - 南西方向に延びる。

遺物

①　陶磁器類

本遺跡からは多種多様な遺物は数多く出土した。中でも青磁の出土量は圧倒的で、碗を主体に皿、盤、鉢、擂鉢、壺、香炉、袋物等、全体の約４割を占める。青磁についてはいくつかの特徴的な事項がみられる。まず一つ目に、外底部の釉剥ぎするものを主体とする青磁のＶ類資料についてである。本資料を主体とする首里城京の内跡 SK01 出土資料は、外底部を蛇の目状に釉剥ぎするタイプがほとんどを占めるが、本遺跡出土資料を観察すると、外底蛇の目釉剥ぎ資料以外に外底内途中まで釉が掛かるタイプがみられた。このように釉剥ぎの方法が、従来確認されている資料と差異がみられるものが確認された。また、素地に着目すると、首里城京の内跡 SK01 資料は白色がほとんどで、釉薬も光沢の強いものが主体を占めるが、本遺跡出土のＶ類の多くは、素地は灰色の粗粒子を呈し、透明感のない釉薬を薄く施され造りが雑な様相を呈する等、Ｂ窯系（瀬戸 2015）と分類される資料であった。一括資料の SX13 出土資料をみても、Ｂ窯系の青磁Ｖ類を主体とし、その他白磁Ｄ群、褐釉陶器（中国産、タイ産）、明代の青花、白釉陶器、黒釉陶器、産地不明陶器の蓋、瓦質土器等と共伴する。

二つ目に、第 56 図（図版 60）437 及び図版 67-515 の青磁大鉢の胴部片が出土したことが注目される。これらは渡地村跡でも出土した、青磁の中でも最高なクラスに属する「官器」と称されるものである。本遺跡出土の青磁の多くはいわゆる雑器とされるものである（中には高台内に窯道具が付着したもの、内底にヒビ(窯割れの痕跡)がみられるもの等も出土している)。それらに高級品が数点含まれる点は興味深い。

三つ目に、内底露胎の資料（Ⅳ’類）において、内底の中央部に点状のくぼみがみられるものが確認された。中には第 63 図 504 のように、コンパス状の工具で釉剥ぎを施したと思われる資料もみられたことは注目される。これらの内底中央部に小孔がみられる資料については、釉剥ぎ方法等により生産地の推定や系譜を追う手掛かりとなるものと考えられ、重要である。

白磁については 14 世紀～ 19 世紀代と幅広い年代の資料が出土した。碗、皿、小碗、小杯、瓶、蓮華、袋物等が出土し、中でも皿Ｄ群が多い。青花は 15 世紀～ 19 世紀代の資料がみられた。その他、タイ産、ベトナム産陶磁器が出土し、朝鮮産陶磁器も青磁が１点のみ出土した。本土産は肥前(肥前系含む)が多く、その他備前、薩摩等がみられた。また、本土産の瓦質土器や硬質土器も確認された。その他土器では、カムィヤキの壺の胴部片が１点出土した他、宮古式土器が多く出土した。破片数だけでみると、白磁の出土量よりも多い。今回は分類等を行っていないが、本遺跡で出土した宮古式土器は、器面が黒色を呈するもの、橙色や灰色を呈するものがある他、口縁部形態や耳の有無等いくつかのタイプが確認される。その他にも八重山式土器やパナリ焼も出土している。本遺跡と近接した場所には宮古蔵（宮古・八重山の全体の税金や行政を管理する役所）もあることから、宮古、八重山諸島との交流や交易を考える上で重要である。

②　瓦

瓦は高麗系瓦、大和系瓦、明朝系瓦、近代大和系瓦が出土し、明朝系が主体である。また、典型的なものと瓦当文や造りが異なる製品を便宜的に「Ｂタイプ」として整理を行った。明朝系瓦は第２検出面から多く出土する。渡地村跡では鬼面文の軒丸瓦も出土しているが、本遺跡では確認されなかった。

またその他に、瓦に類似するものとして形状が直線的で厚さが約 1.5cm 前後の扁平を呈する板状の瓦

製品が注目される。明朝系瓦と同様に第２検出面から主にみられる。東南アジア地域にみられる扁平な瓦の可能性もあり、類例資料の増加がまたれる。

③　塼

塼はⅣ層からの出土がみられ、Ⅲ層で最も多い。中でも窯の壁材（耐火材）としての機能が考えられるⅥ式が数点確認されており、火を使用する等の目的でどこかの窯場等から持ち運んできたものであろうか。また、有文塼が１点出土した。撹乱層からの出土であるが、現在のところ有文塼の出土については、首里城跡と湧田古窯跡の２遺跡で限定的であり、本遺跡からの出土がみられたことは注目される。

④　その他の遺物

陶磁器類や瓦以外の遺物の出土量は少なかった。中でも土製と貝製の錘が数点出土したのは注目される。また、銭貨は錆化の進んだ状態のものがほとんどで、銭種が判読できる資料は少なかったが、27 種、353 点が確認された。

⑤　自然遺物

自然遺物のうち、脊椎動物遺体については時間的な制約もあり、資料整理を行うことができたのは一部だけであるが、本遺跡ではイノシシ / ブタ、ウシ、ウマ等が多く出土した。また、本遺跡から出土した獣骨類は種類を問わず、切断痕のあるものが一定量確認された。また、中には食用の目的で骨髄をとるための作業工程「スパイラル割れ」が確認される骨も散見された。その他、牛角芯の出土が注目された。角芯の表面を観察すると、角の根元部分から角先に向かって削り剥がされたような痕跡が確認され、角鞘を切り開いて鼈甲の模造品を造った可能性が考えられる。中でも 17 世紀後半～ 19 世紀初の近世段階に位置付けられる SK1 からは牛角芯とウミガメ科の甲板片が共伴しており、牛角の鼈甲細工の代用品としての利用を裏付けるものと考えられる。また、SK1 はウシについては角芯以外に他の部位がみられないことから、別の場所で解体する際に牛角を切り離して東村に持ち運んだ可能性も考えられる。

貝類遺体については、食用にされた貝（食べられた貝）及び造成時に持ち込まれた貝（死貝や微小貝など）が主体となり、サラサバテイ及びヤコウガイの２種は螺鈿細工の利用が想定された。

まとめ

以上、東村跡の層序、主な遺構や出土遺物についてまとめた。ここであらためて各層序・遺構検出面における遺物出土量をみると、Ⅳ及びⅤ層で徐々に遺物の量が増え始め、第２検出面で一気に出土量が増加する。さらにⅢ層が最も多く、第２検出面の２倍にせまる量となる。その後、第１検出面では最もピークとなるⅢ層より２倍超の出土量の減少がみられ、Ⅱ層ではさらに減少傾向を示す。

第２検出面で一気に出土量が増加する背景にはどのような状況があるのかを想定すると、1451 年の長虹堤の築造が契機と考えられる。長虹堤は安里崇元寺からイベガマに至る約 1 km の海中道路である。かつて首里と那覇の間は海で隔てられ往来が不便であったのを、この長虹堤の築造によって陸路での首里への往復が可能となり、海外交易の活発化等、発展の契機にもなったとされる。このような状況から、Ⅳ層と第２検出面における遺物出土量の差は長虹堤の築造が鍵となると考える。Ⅴ層及びⅣ層の時代（14 世紀中～ 15 世紀中頃）は 14 世紀後半、中国との冊封・進貢関係の下、琉球から進貢船が派遣され通交が行われた時代、第２検出面以降（15 世紀代以降）が長虹堤築造後における海外交易が活発化した状況と符合する。このような見解を基にすると、SX13 出土の陶磁器類はまさに長虹堤が築かれた直後の海外交易によってもたらされた一群と考えることができる。その後、Ⅲ層の段階（15 世紀後半～ 16 世紀中頃を主体）に貿易の最盛期を迎え、16 世紀以降（第１検出面以降）、徐々に海外交易が衰退していくという

状況がうかがえる。これらの様相は従来の歴史学的見解と一致する。

戦前の状況については、大きく撹乱を受けていることもあり、不明な部分も多いが、撹乱層からはバリエーション豊かな遺物が多く出土しており、これらは戦前、調査箇所周辺は那覇市の中心地であった状況を伝えるものと言える。

最後に、今回の発掘調査で明らかになった東村跡は、グスク期から近代期に至る人々の活動の痕跡がみられ、中でも交易品の集積地としての機能があった他、何らかの工芸や産業に関わる作業場としての一面等がうかがえるものであった。さらには、かつての琉球王国が中国を中心に、タイ、ベトナム、朝鮮半島など東アジア各地の他、日本と中継貿易によって繁栄した往時の歴史を伝えるものであった。

これらは文献記録を裏付ける成果も含まれるが、さらに詳細な文献記録との検証等については今後の課題としたい。

引用・参考文献

瀬戸哲也 2016「14 ～ 16 世紀の沖縄出土龍泉窯系青磁における生産地の模索（２）」『亀井明徳氏追悼・貿易陶磁研究等論文集』亀井明徳さん追悼文集刊行会

瀬戸哲也 2015「14 ～ 16 世紀の沖縄出土龍泉窯系青磁における生産地の模索」『中近世陶磁器の考古学』第１巻

瀬戸哲也 2015「14・15 世紀の沖縄出土中国産青磁について」『貿易陶磁研究』第 35 号　日本貿易陶磁研究会

瀬戸哲也・仁王浩司・玉城靖・宮城弘樹・安座間充・松原哲志 2007「沖縄における貿易陶磁研究」『紀要　沖縄埋文研究５』沖縄県立埋蔵文化財センター

新垣 力・瀬戸哲也 2005「沖縄における 14 世紀～ 16 世紀の中国産白磁の再整理」『紀要　沖縄埋文研究３』沖縄県立埋蔵文化財センター

新垣 力 2003「沖縄出土の清朝陶磁」『紀要　沖縄埋文研究１』沖縄県立埋蔵文化財センター

上原静 2011「琉球の塼と煉瓦」『南島考古』第 30 号　沖縄考古学会

上原静 2010「琉球砥石考」『南島考古』第 29 号　沖縄考古学会

金武正紀 2004「沖縄から出土したタイ・ベトナム陶磁」『シンポジウム陶磁器が語る交流－九州・沖縄から出土した東南アジア産陶磁器－』東南アジア考古学会

上田秀夫 1982「14 ～ 16 世紀の青磁椀の分類」『貿易陶磁研究』第２号　日本貿易陶磁研究会

森田 勉 1982「14 ～ 16 世紀の白磁の型式分類と編年」『貿易陶磁研究』第２号　日本貿易陶磁研究会

小野正敏 1982「15、16 世紀の染付碗、皿の分類とその年代」『貿易陶磁研究』第２号　日本貿易陶磁研究会

中野雄二 2004「18 世紀中葉～ 19 世紀中葉の波佐見窯業について」『金沢大学考古学研究室紀要』第 27 号　金沢大学文学部考古学講座

松井 章 2000「斃牛馬利用の動物考古学的考察　特に牛角の利用について」『動物考古学　久保和士氏追悼号』第 14 号　動物考古学研究会

沖縄県立埋蔵文化財センター 2016『首里城―銭蔵東地区発掘調査報告書―』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 80 集　沖縄県立埋蔵文化財センター

沖縄県立埋蔵文化財センター 2014『円覚寺跡２―右掖門地区・南側石牆地区の遺構確認調査報告書―』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 70 集　沖縄県立埋蔵文化財センター

沖縄県立埋蔵文化財センター 2013『首里城―御内原北地区発掘調査報告書 (２)―』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 69 集　沖縄県立埋蔵文化財センター

沖縄県立埋蔵文化財センター 2013『首里城―淑順門西地区・奉神門埋甕地区発掘調査報告書―』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 68 集　沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県立埋蔵文化財センター 2012『中城御殿跡－県営首里城公園　中城御殿跡発掘調査報告書 (3) －』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 63 集　沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県立埋蔵文化財センター 2011『中城御殿跡－県営首里城公園　中城御殿跡発掘調査報告書 (2) －』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 58 集　沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県立埋蔵文化財センター 2010『首里城跡―御内原北地区発掘調査報告書 (Ⅰ)―』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書 第 54 集 沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県立埋蔵文化財センター 2007『渡地村跡－臨港道路那覇 1 号線整備に伴う緊急発掘調査報告－』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第 46 集　沖縄県立埋蔵文化財センター
沖縄県教育委員会 1995『湧田古窯跡（Ⅱ）－県庁舎議会棟建設に係る発掘調査－』沖縄県文化財調査報告書第 121 集　沖縄県教育委員会
沖縄県教育委員会 1993『湧田古窯跡（Ⅰ）－県庁舎行政棟建設に係る発掘調査－』沖縄県文化財調査報告書第 111 集　沖縄県教育委員会
那覇市教育委員会 2012『渡地村跡－臨港道路那覇 1 号線整備事業に伴う緊急発掘調査－』那覇市文化財調査報告書第 91 集　那覇市教育委員会
那覇市教育委員会 1996『那覇市の遺跡』那覇市教育委員会
北谷町教育委員会 2016『平安山原 A 遺跡―桑江伊平土地整理事業に伴う発掘調査事業（平成 19・21・22・23 年度）―』北谷町文化財調査報告書第 38 集　北谷町教育委員会
財団法人　大阪府文化財センター『堺環濠都市遺跡Ⅱ（SKT960 地点）－少林寺・B 団地建替に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』㈶大阪府文化財センター調査報告書　第 178 集　財団法人大阪府文化財センター
財団法人沖縄県文化振興会史料編集室 2010『沖縄県史　各論編　第３巻　古琉球』沖縄県教育委員会
那覇市企画部市史編集室 1987『那覇市史　資料編第３巻１ 戦後の都市計画』那覇市役所
那覇市企画部市文化振興課 1985『那覇市史　通史編第１巻　前近代史』那覇市役所
那覇市企画部市史編集室 1974『那覇市史　通史編第２巻　近代史』那覇市役所
那覇市企画部市史編集室 1980『琉球処分百年記念出版写真集 激動の記録 那覇百年のあゆみ - 琉球処分から交通法変更まで -』
沖縄風土記刊行会 1969『沖縄風土記全集　那覇の今昔』沖縄図書教材株式会社
沖縄県立博物館・那覇市立壺屋焼物博物館 2011『琉球陶器の来た道：沖縄県立博物館・美術館、那覇市立壺屋焼物博物館合同企画展　図録』
九州国立博物館 2016『きらめきで飾る－螺鈿の美を集めて－』九州国立博物館
町田市立博物館 2001『ベトナム青花－大越の至上の華－』町田市立博物館図録第 122 集
佐賀県立九州陶磁文化館編 2016『特別企画展　日本磁器の源流』佐賀県立九州陶磁文化館
佐賀県立九州陶磁文化館編 2012『古伊万里の文様集成』佐賀県立九州陶磁文化館
佐賀県立九州陶磁文化館編 2008『土の美　古唐津―肥前陶器のすべて―』佐賀県立九州陶磁文化館
九州近世陶磁学会 2000『九州陶磁の編年－九州近世陶磁学会 10 周年記念－』九州近世陶磁学会
波佐見町教育委員会 2013『くらわんか藤田コレクション―寄贈記念図録―』波佐見町教育委員会
上里隆史 2012『海の王国・琉球－「海域アジア」屈指の交易国家の実像』洋泉社
早坂優子 2000『日本・中国の文様事典』視覚デザイン研究所編
永井久美男編 1996『日本出土銭総覧　1996 年度版』兵庫埋蔵銭調査会

報告書抄録

ふりがな	あがりむらあと
書　　名	東村跡
副　書　名	沖縄県立離島児童生徒支援センター建設に伴う緊急発掘調査報告書
巻　　次	―
シリーズ名	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第92集
編 著 者 名	金城貴子、具志堅清大、玉城 綾、南 勇輔、島袋 洋
編 集 機 関	沖縄県立埋蔵文化財センター
所 在 地	〒903-0125　沖縄県中頭郡西原町字上原193-7　　TEL　098-835-8752
発行年月日	平成29(2017)年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °　′　″	東経 °　′　″	調査期間	調査面積	調査原因
あがりむらあと 東村跡	おきなわけんなはし 沖縄県那覇市 あざひがしまち 字東町	472018	―	26° 12′ 45″	127° 40′ 24″	2014.07.01～ 2014.12.26	450㎡	記録保存調査

所収遺跡名	種　別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
東村跡	集落跡 生産遺跡	グスク時代 近世 近代～戦前	建物跡、土坑、円形石組遺構、石列、窯跡、貝集積遺構、廃棄土坑 建物跡、土坑、方形石組遺構、溝状遺構、石列、獣骨集積遺構、井戸 建物の基礎跡、井戸	中国産陶磁器 タイ産陶磁器、 ベトナム産陶磁器 朝鮮産陶磁器 本土産陶磁器 沖縄産陶器 土器、土製品、石器、石製品 骨製品、貝製品 円盤状製品、煙管、銭貨 金属製品、瓦、塼、石材 脊椎動物遺体、貝類遺体	国内・外産の多種多様な陶磁器類が出土した。 廃棄土坑から15世紀前半～中頃の陶磁器が一括で出土した。 貝集積遺構のサラサバテイ及び本遺跡出土のヤコウガイ片から螺鈿細工の利用が考えられた。 近世の遺構出土の牛角芯から、偽鼈甲細工の利用がうかがえた。

要 約	東村跡発掘調査を行った結果、グスク時代、近世期、近代～戦前の様々な遺構や遺物が確認された。グスク時代の遺構では、15世紀前～中頃の陶磁器類がまとまって廃棄された土坑が検出される等、本遺跡が物資の集積地であった様相をうかがえた。また貝集積遺構出土のサラサバテイ、本遺跡出土のヤコウガイ片は螺鈿細工の利用が想定され、小規模な螺鈿製作が那覇地域で行われていた可能性が考えられた。また、近世の遺構から出土した牛角芯は、偽鼈甲細工の利用が想定される等、グスク時代、近世期と何らかの工芸品を製作する作業場としての一側面もうかがえる成果が得られた。その他、遺物については、中国産を中心に、タイ、ベトナム、朝鮮産の他、日本産等様々な遺物が数多く出土し、かつての琉球王国が各国との中継貿易によって繁栄した往時の姿が垣間見える重要な成果が得られた。

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第 92 集

東　村　跡

－沖縄県立離島児童生徒支援センター建設に伴う緊急発掘調査報告書－

発　行　日　平成 29（2017）年 3 月 31 日
発行・編集　沖縄県立埋蔵文化財センター
〒903-0125　沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7
TEL　098（835）8751・8752

印　　刷　株式会社　近代美術
〒901-1111　沖縄県南風原町字兼城 206
TEL　098（889）4113